

4. 解析結果

4.1 動的解析

本資料においては、代表として、基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d の基本ケースの地震応答解析結果を示す。

4.1.1 固有値解析結果

基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d の基本ケースの固有値解析結果（固有周期及び固有振動数）を表4-1～表4-16に示す。刺激関数図を S_s-1 、 S_d-1 の結果を代表として図4-1及び図4-2に示す。

なお、刺激係数は、モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる値を示す。

4.1.2 応答解析結果

基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d の基本ケースの地震応答解析結果を図4-3～図4-28、表4-17及び表4-18に示す。

表4-1 固有値解析結果 (Ss-1)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.439	2.28	1.585	建屋-地盤連成1次
2	0.192	5.20	-0.697	
3	0.091	11.03	0.068	
4	0.078	12.88	0.061	
5	0.077	12.98	0.070	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.429	2.33	1.547	建屋-地盤連成1次
2	0.191	5.23	-0.617	
3	0.082	12.16	-0.028	
4	0.077	12.97	0.138	
5	0.071	14.02	-0.044	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.279	3.58	9.356	屋根トラス1次
2	0.258	3.87	-8.417	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.092	
4	0.051	19.45	-0.116	
5	0.047	21.32	0.112	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-2 固有値解析結果 (Ss-2)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.438	2.28	1.585	建屋-地盤連成1次
2	0.192	5.21	-0.698	
3	0.091	11.03	0.068	
4	0.078	12.89	0.062	
5	0.077	12.99	0.070	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.428	2.34	1.547	建屋-地盤連成1次
2	0.191	5.25	-0.618	
3	0.082	12.16	-0.029	
4	0.077	12.97	0.139	
5	0.071	14.03	-0.044	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.279	3.58	8.918	屋根トラス1次
2	0.257	3.90	-7.979	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.093	
4	0.051	19.45	-0.118	
5	0.047	21.33	0.114	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-3 固有値解析結果 (Ss-3)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.441	2.27	1.584	建屋-地盤連成1次
2	0.193	5.17	-0.694	
3	0.091	11.03	0.067	
4	0.078	12.88	0.060	
5	0.077	12.96	0.072	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.431	2.32	1.546	建屋-地盤連成1次
2	0.192	5.20	-0.615	
3	0.082	12.16	-0.028	
4	0.077	12.96	0.137	
5	0.071	14.01	-0.045	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.281	3.56	10.170	屋根トラス1次
2	0.261	3.83	-9.229	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.088	
4	0.051	19.45	-0.113	
5	0.047	21.31	0.109	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-4 固有値解析結果 (Ss-4)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.433	2.31	1.587	建屋-地盤連成1次
2	0.190	5.27	-0.704	
3	0.091	11.03	0.070	
4	0.078	12.90	0.064	
5	0.077	13.03	0.068	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.422	2.37	1.549	建屋-地盤連成1次
2	0.188	5.31	-0.622	
3	0.082	12.17	-0.029	
4	0.077	12.98	0.142	
5	0.071	14.07	-0.045	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.279	3.59	8.488	屋根トラス1次
2	0.255	3.92	-7.551	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.095	
4	0.051	19.45	-0.119	
5	0.047	21.34	0.115	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-5 固有値解析結果 (Ss-5)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.435	2.30	1.586	建屋-地盤連成1次
2	0.191	5.24	-0.701	
3	0.091	11.03	0.069	
4	0.078	12.89	0.063	
5	0.077	13.00	0.069	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.425	2.35	1.548	建屋-地盤連成1次
2	0.189	5.28	-0.620	
3	0.082	12.16	-0.029	
4	0.077	12.98	0.141	
5	0.071	14.05	-0.045	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.279	3.58	8.918	屋根トラス1次
2	0.257	3.90	-7.979	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.093	
4	0.051	19.45	-0.118	
5	0.047	21.33	0.114	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-6 固有値解析結果 (Ss-6)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.434	2.31	1.587	建屋-地盤連成1次
2	0.190	5.26	-0.703	
3	0.091	11.03	0.070	
4	0.078	12.90	0.064	
5	0.077	13.02	0.069	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.424	2.36	1.548	建屋-地盤連成1次
2	0.189	5.30	-0.621	
3	0.082	12.17	-0.029	
4	0.077	12.98	0.141	
5	0.071	14.06	-0.045	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.279	3.59	8.700	屋根トラス1次
2	0.256	3.91	-7.763	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.094	
4	0.051	19.45	-0.118	
5	0.047	21.34	0.114	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-7 固有値解析結果 (Ss-7)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.436	2.30	1.586	建屋-地盤連成1次
2	0.191	5.24	-0.700	
3	0.091	11.03	0.069	
4	0.078	12.89	0.063	
5	0.077	13.00	0.068	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.425	2.35	1.548	建屋-地盤連成1次
2	0.190	5.28	-0.620	
3	0.082	12.16	-0.029	
4	0.077	12.98	0.140	
5	0.071	14.04	-0.045	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.279	3.58	9.137	屋根トラス1次
2	0.257	3.88	-8.198	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.092	
4	0.051	19.45	-0.117	
5	0.047	21.33	0.113	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-8 固有値解析結果 (Ss-8)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.434	2.30	1.587	建屋-地盤連成1次
2	0.191	5.25	-0.701	
3	0.091	11.03	0.069	
4	0.078	12.89	0.063	
5	0.077	13.00	0.068	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.424	2.36	1.548	建屋-地盤連成1次
2	0.189	5.29	-0.620	
3	0.082	12.16	-0.029	
4	0.077	12.98	0.141	
5	0.071	14.05	-0.045	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.279	3.58	8.918	屋根トラス1次
2	0.257	3.90	-7.979	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.093	
4	0.051	19.45	-0.118	
5	0.047	21.33	0.114	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

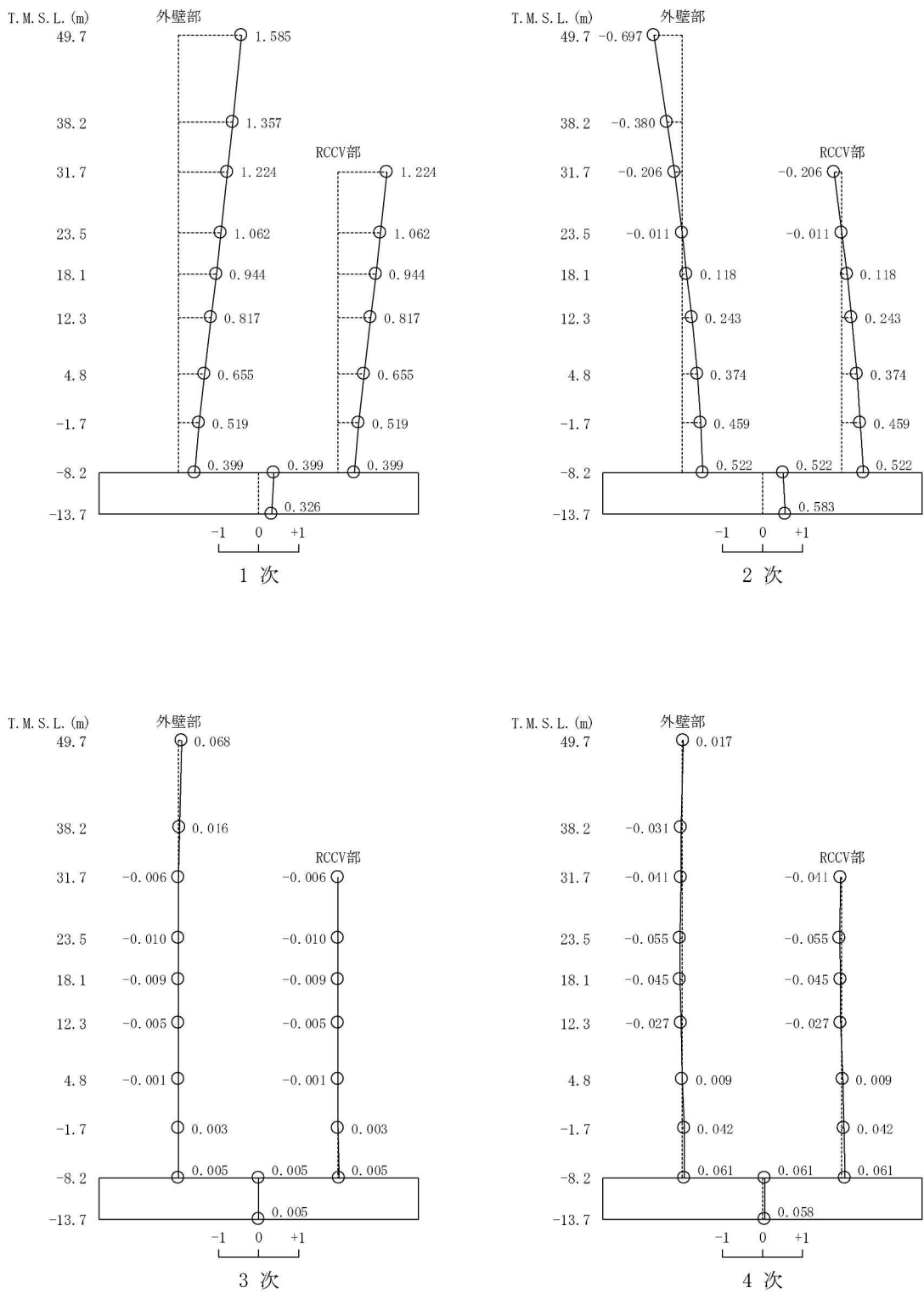


図4-1 刺激関数図 (Ss-1, NS方向) (1/3)

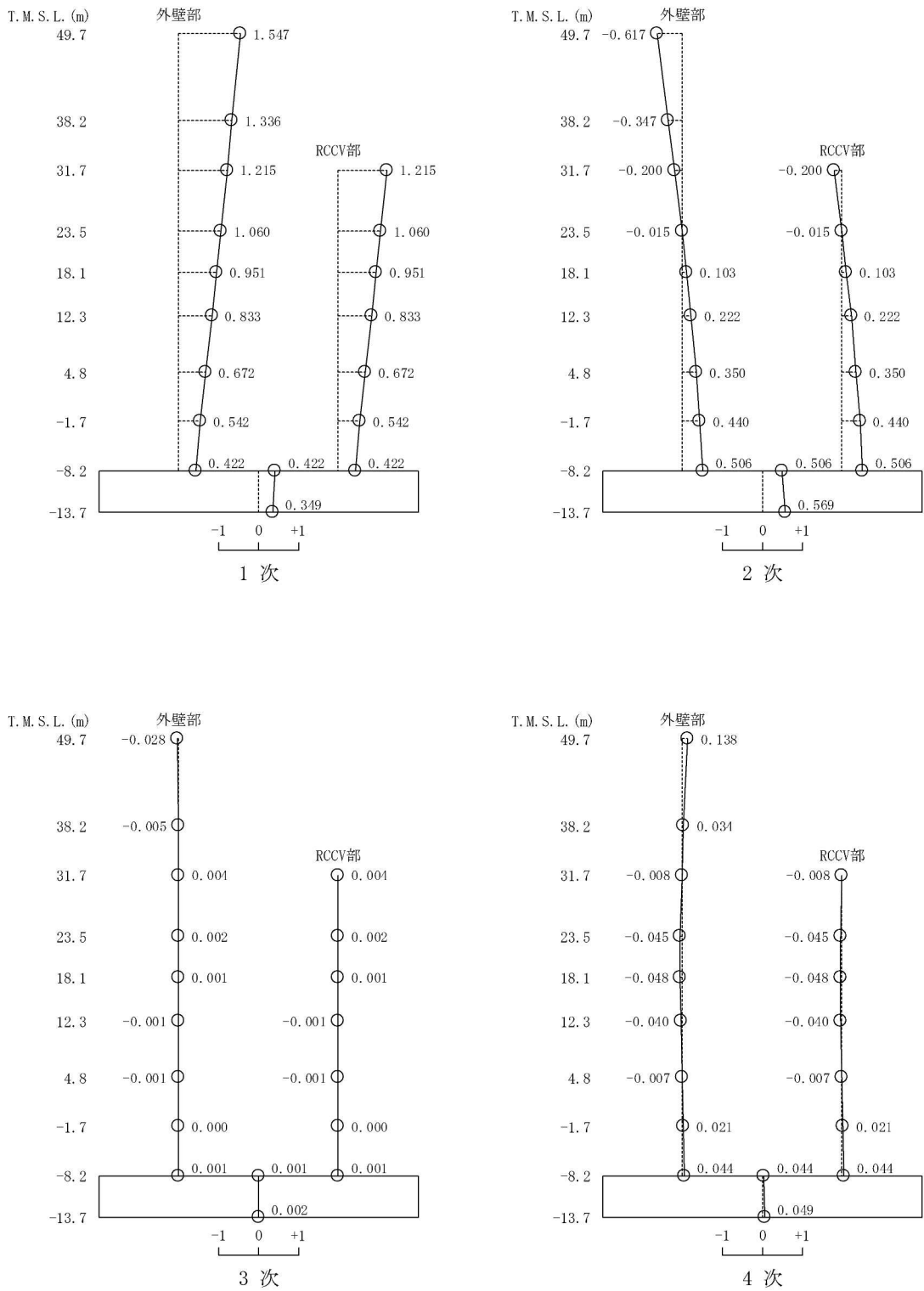


図4-1 刺激関数図 (Ss-1, EW方向) (2/3)

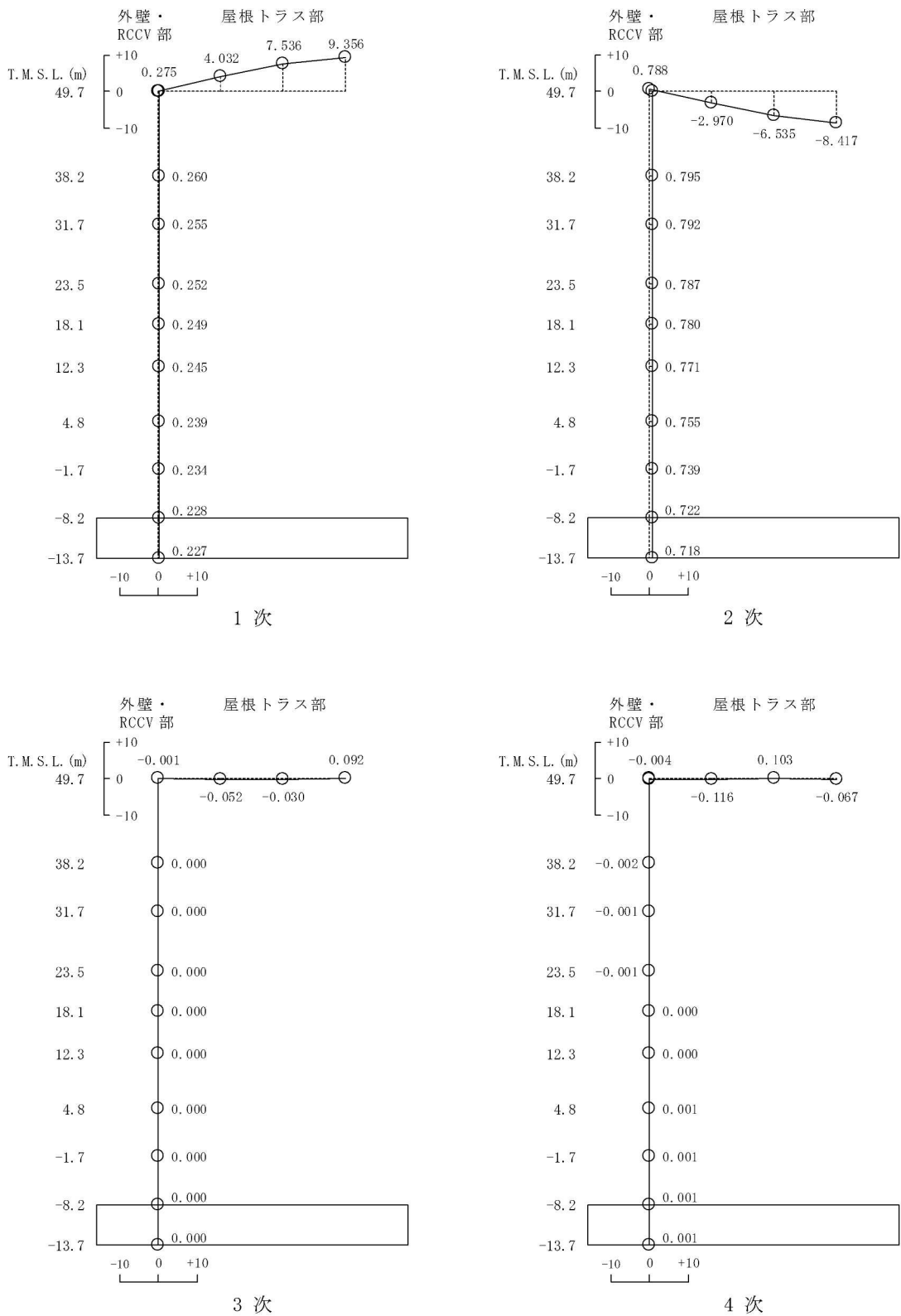


図4-1 刺激関数図 (Ss-1, 鉛直方向) (3/3)

表4-9 固有値解析結果 (Sd-1)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.427	2.34	1.590	建屋-地盤連成1次
2	0.188	5.33	-0.709	
3	0.091	11.03	0.072	
4	0.077	12.91	0.066	
5	0.077	13.06	0.067	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.417	2.40	1.551	建屋-地盤連成1次
2	0.186	5.37	-0.625	
3	0.082	12.17	-0.030	
4	0.077	12.99	0.144	
5	0.071	14.10	-0.046	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.278	3.60	7.879	屋根トラス1次
2	0.253	3.96	-6.943	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.097	
4	0.051	19.45	-0.121	
5	0.047	21.35	0.117	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-10 固有値解析結果 (Sd-2)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.427	2.34	1.590	建屋-地盤連成1次
2	0.187	5.34	-0.710	
3	0.091	11.03	0.072	
4	0.077	12.91	0.067	
5	0.077	13.07	0.068	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.417	2.40	1.551	建屋-地盤連成1次
2	0.186	5.38	-0.626	
3	0.082	12.17	-0.030	
4	0.077	13.00	0.145	
5	0.071	14.10	-0.045	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.278	3.60	7.689	屋根トラス1次
2	0.252	3.97	-6.754	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.098	
4	0.051	19.45	-0.122	
5	0.047	21.35	0.118	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-11 固有値解析結果 (Sd-3)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.427	2.34	1.590	建屋-地盤連成1次
2	0.188	5.33	-0.709	
3	0.091	11.03	0.071	
4	0.077	12.91	0.066	
5	0.077	13.06	0.065	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.417	2.40	1.551	建屋-地盤連成1次
2	0.186	5.37	-0.625	
3	0.082	12.17	-0.030	
4	0.077	12.99	0.144	
5	0.071	14.10	-0.046	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.278	3.59	8.076	屋根トラス1次
2	0.253	3.95	-7.140	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.096	
4	0.051	19.45	-0.121	
5	0.047	21.35	0.116	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-12 固有値解析結果 (Sd-4)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.424	2.36	1.591	建屋-地盤連成1次
2	0.186	5.37	-0.712	
3	0.091	11.03	0.073	
4	0.077	12.92	0.068	
5	0.076	13.08	0.067	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.414	2.42	1.552	建屋-地盤連成1次
2	0.185	5.41	-0.627	
3	0.082	12.17	-0.030	
4	0.077	13.00	0.146	
5	0.071	14.12	-0.046	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.278	3.60	7.505	屋根トラス1次
2	0.251	3.98	-6.571	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.098	
4	0.051	19.45	-0.123	
5	0.047	21.36	0.118	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-13 固有値解析結果 (Sd-5)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.425	2.35	1.590	建屋-地盤連成1次
2	0.187	5.35	-0.710	
3	0.091	11.03	0.072	
4	0.077	12.91	0.067	
5	0.076	13.07	0.065	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.415	2.41	1.551	建屋-地盤連成1次
2	0.186	5.39	-0.626	
3	0.082	12.17	-0.030	
4	0.077	13.00	0.145	
5	0.071	14.11	-0.046	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.278	3.60	7.689	屋根トラス1次
2	0.252	3.97	-6.754	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.098	
4	0.051	19.45	-0.122	
5	0.047	21.35	0.118	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-14 固有値解析結果 (Sd-6)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.425	2.35	1.590	建屋-地盤連成1次
2	0.187	5.35	-0.711	
3	0.091	11.03	0.072	
4	0.077	12.91	0.067	
5	0.077	13.07	0.066	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.415	2.41	1.551	建屋-地盤連成1次
2	0.186	5.39	-0.626	
3	0.082	12.17	-0.030	
4	0.077	13.00	0.145	
5	0.071	14.11	-0.046	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.278	3.60	7.689	屋根トラス1次
2	0.252	3.97	-6.754	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.098	
4	0.051	19.45	-0.122	
5	0.047	21.35	0.118	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-15 固有値解析結果 (Sd-7)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.426	2.35	1.590	建屋-地盤連成1次
2	0.187	5.35	-0.710	
3	0.091	11.03	0.072	
4	0.077	12.91	0.067	
5	0.077	13.07	0.065	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.416	2.41	1.551	建屋-地盤連成1次
2	0.186	5.38	-0.626	
3	0.082	12.17	-0.030	
4	0.077	13.00	0.145	
5	0.071	14.11	-0.046	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.278	3.60	7.689	屋根トラス1次
2	0.252	3.97	-6.754	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.098	
4	0.051	19.45	-0.122	
5	0.047	21.35	0.118	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

表4-16 固有値解析結果 (Sd-8)

(a) NS方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.426	2.35	1.590	建屋-地盤連成1次
2	0.187	5.35	-0.710	
3	0.091	11.03	0.072	
4	0.077	12.91	0.067	
5	0.077	13.07	0.067	

(b) EW方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.416	2.41	1.551	建屋-地盤連成1次
2	0.186	5.39	-0.626	
3	0.082	12.17	-0.030	
4	0.077	13.00	0.145	
5	0.071	14.10	-0.046	

(c) 鉛直方向

次数	固有周期 (s)	固有振動数 (Hz)	刺激係数*	備考
1	0.278	3.60	7.689	屋根トラス1次
2	0.252	3.97	-6.754	建屋-地盤連成1次
3	0.077	12.95	0.098	
4	0.051	19.45	-0.122	
5	0.047	21.35	0.118	

注記* : モードごとに固有ベクトルの最大値を1に規準化して得られる刺激係数を示す。

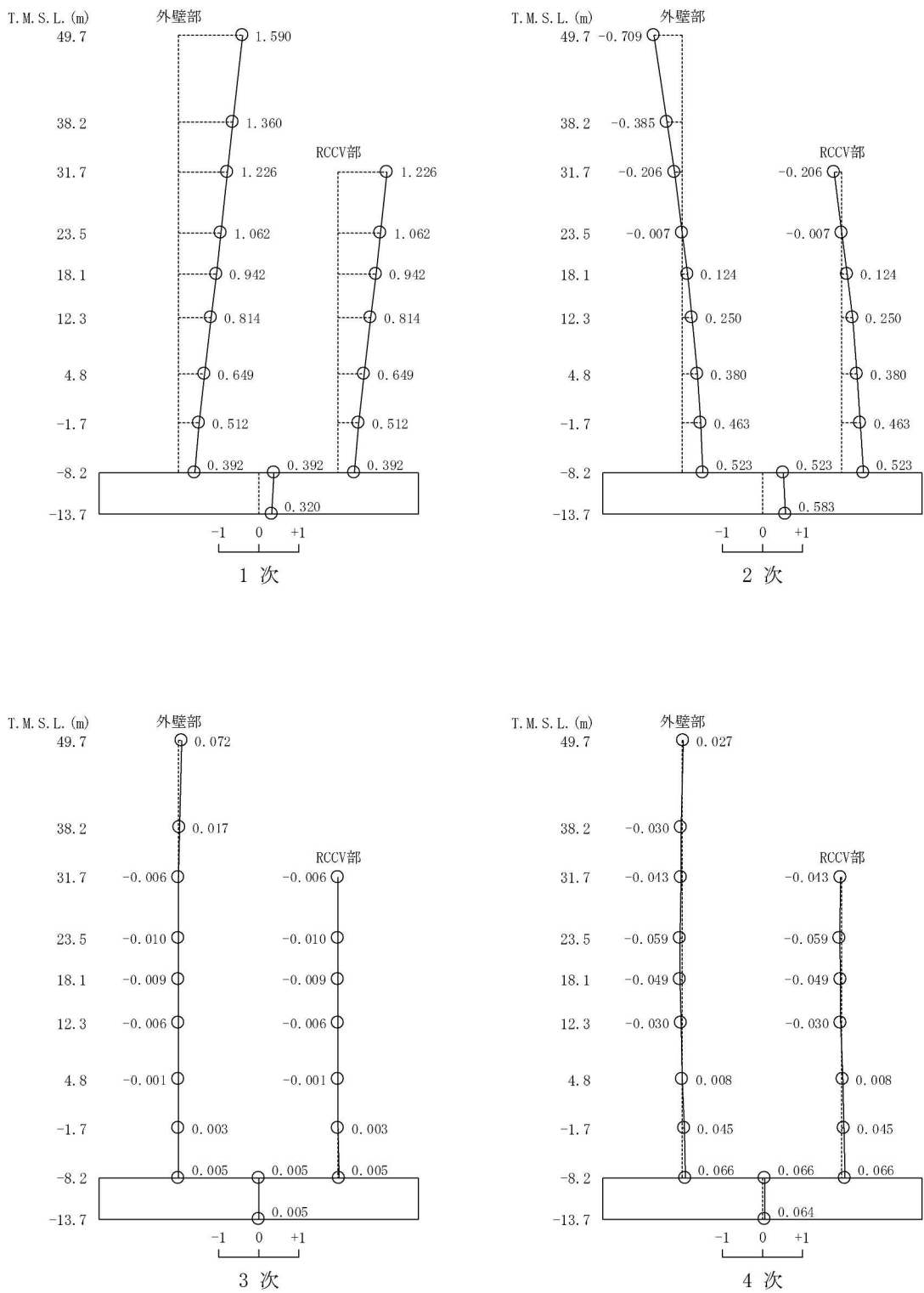


図4-2 刺激関数図 (Sd-1, NS方向) (1/3)

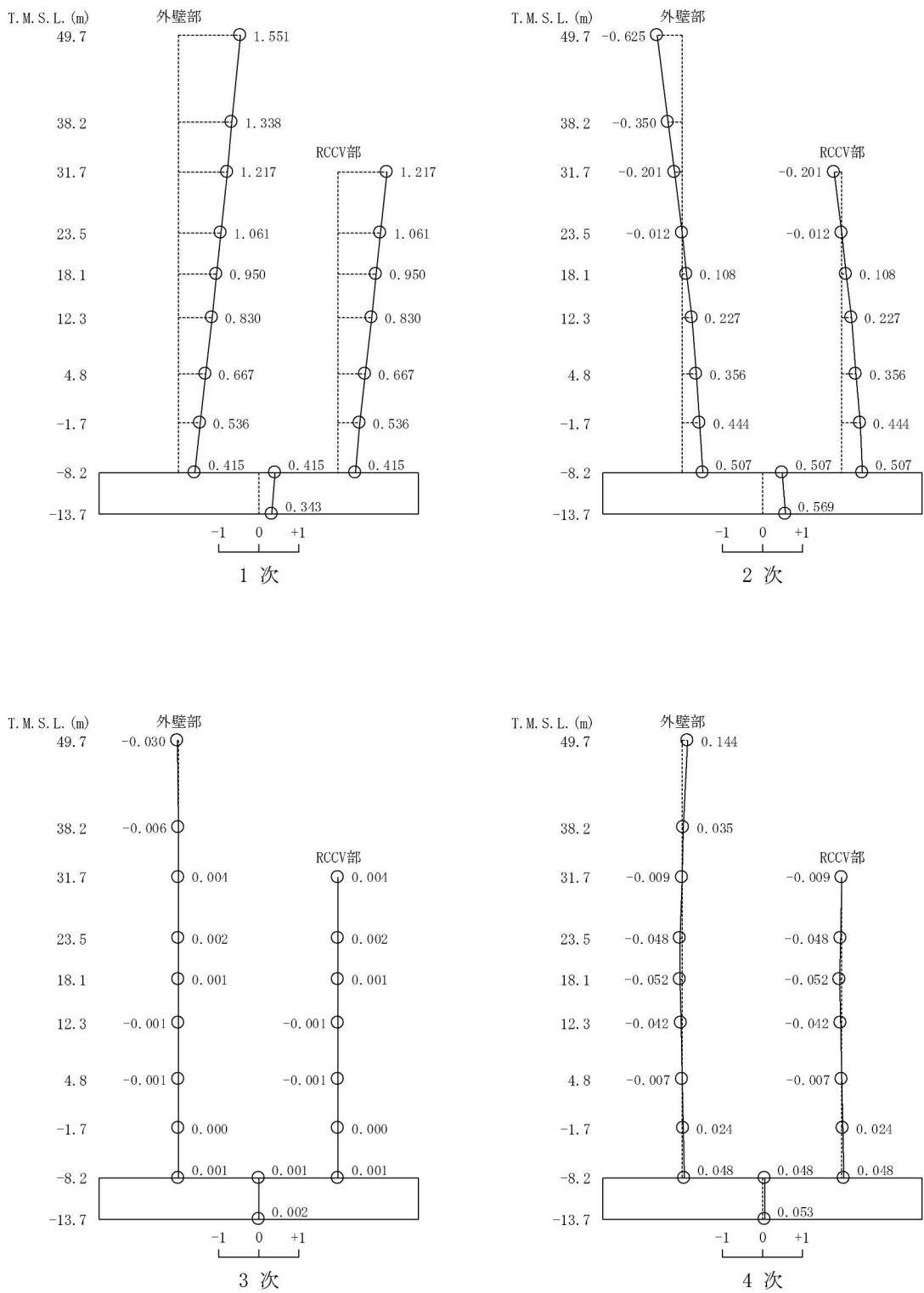


図4-2 刺激関数図 (Sd-1, EW方向) (2/3)

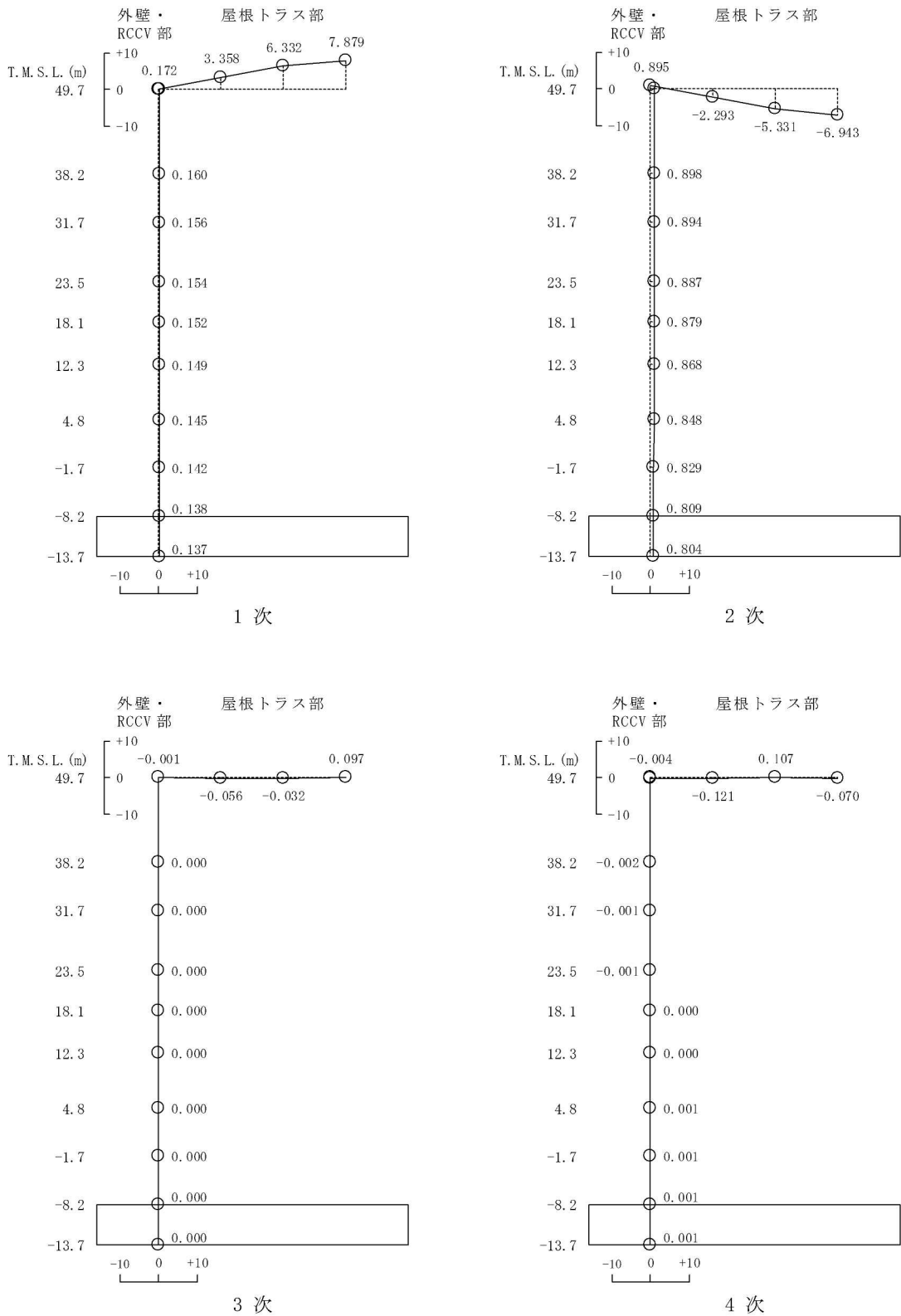
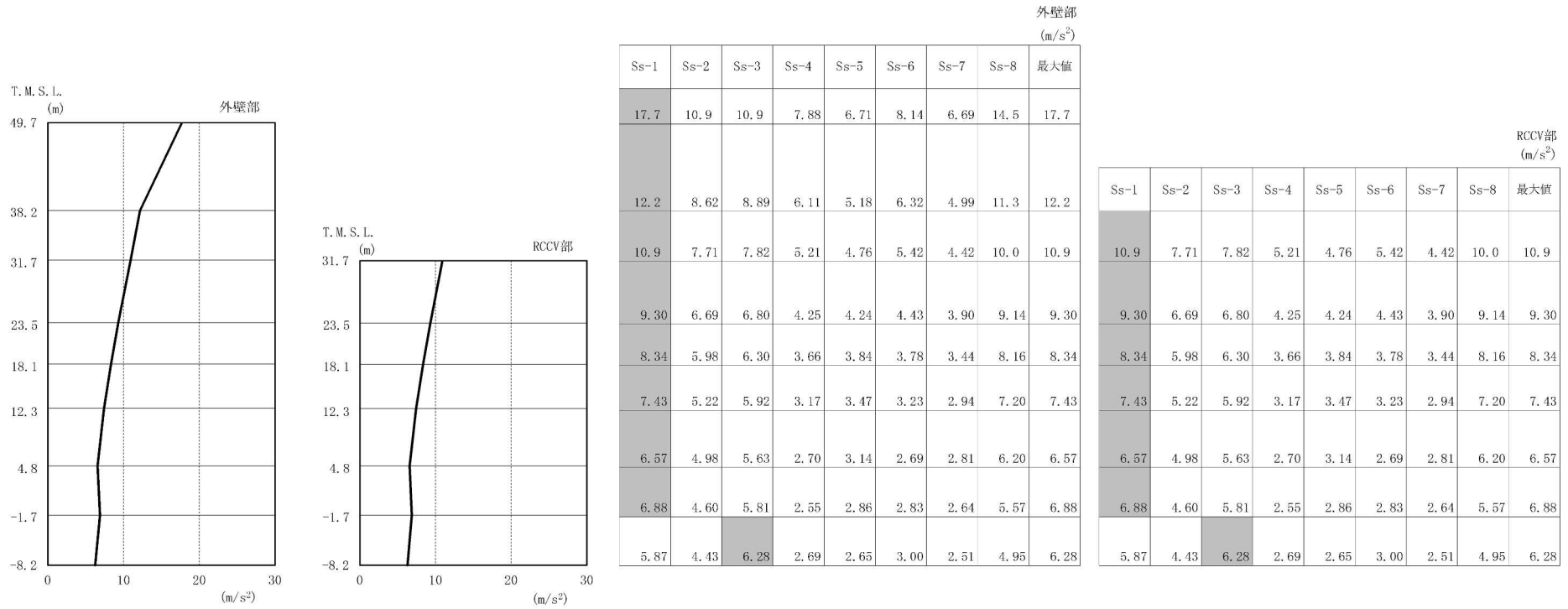
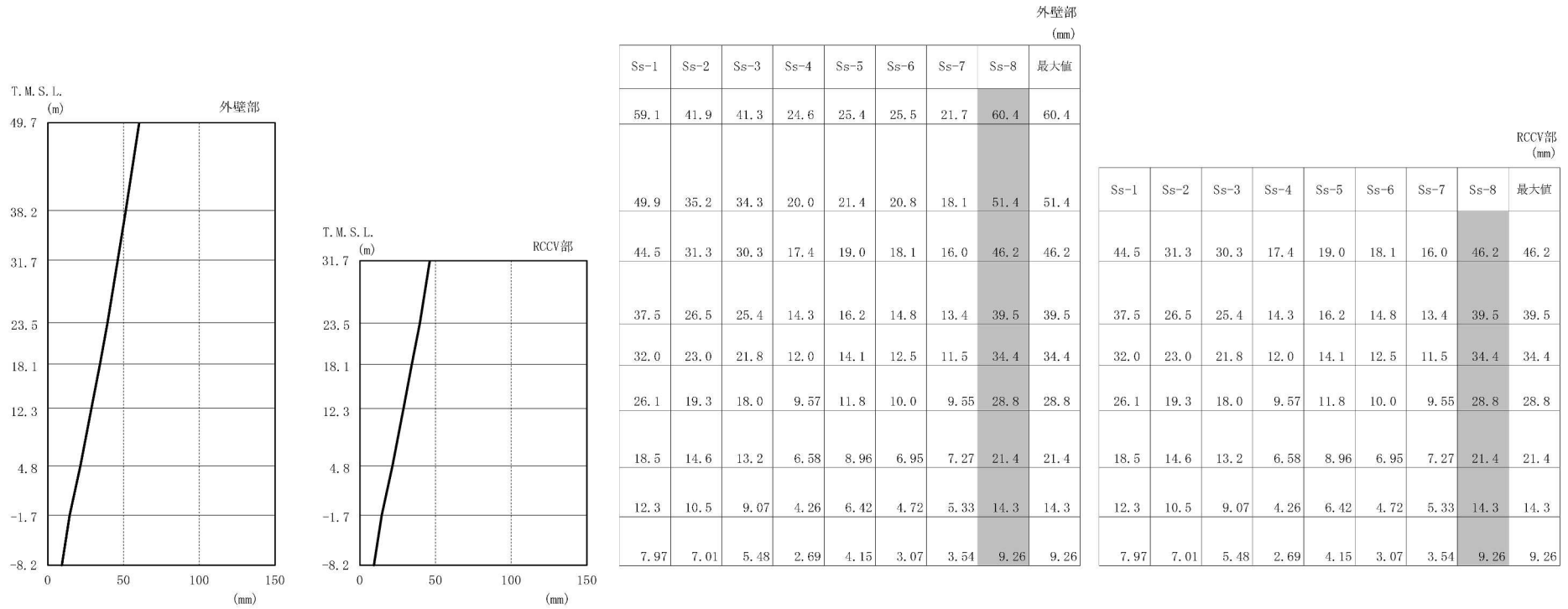


図4-2 刺激関数図 (Sd-1, 鉛直方向) (3/3)



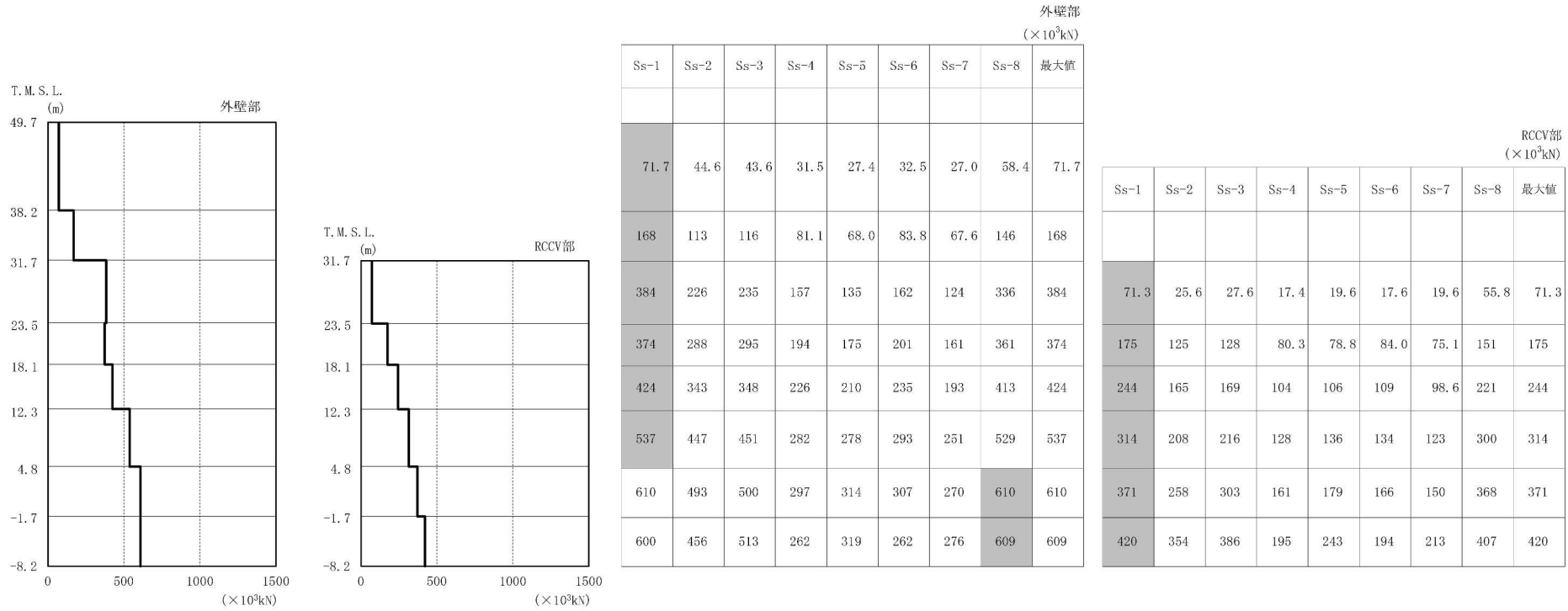
注1：分布図はSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-3 最大応答加速度（基準地震動 S_s，NS方向）



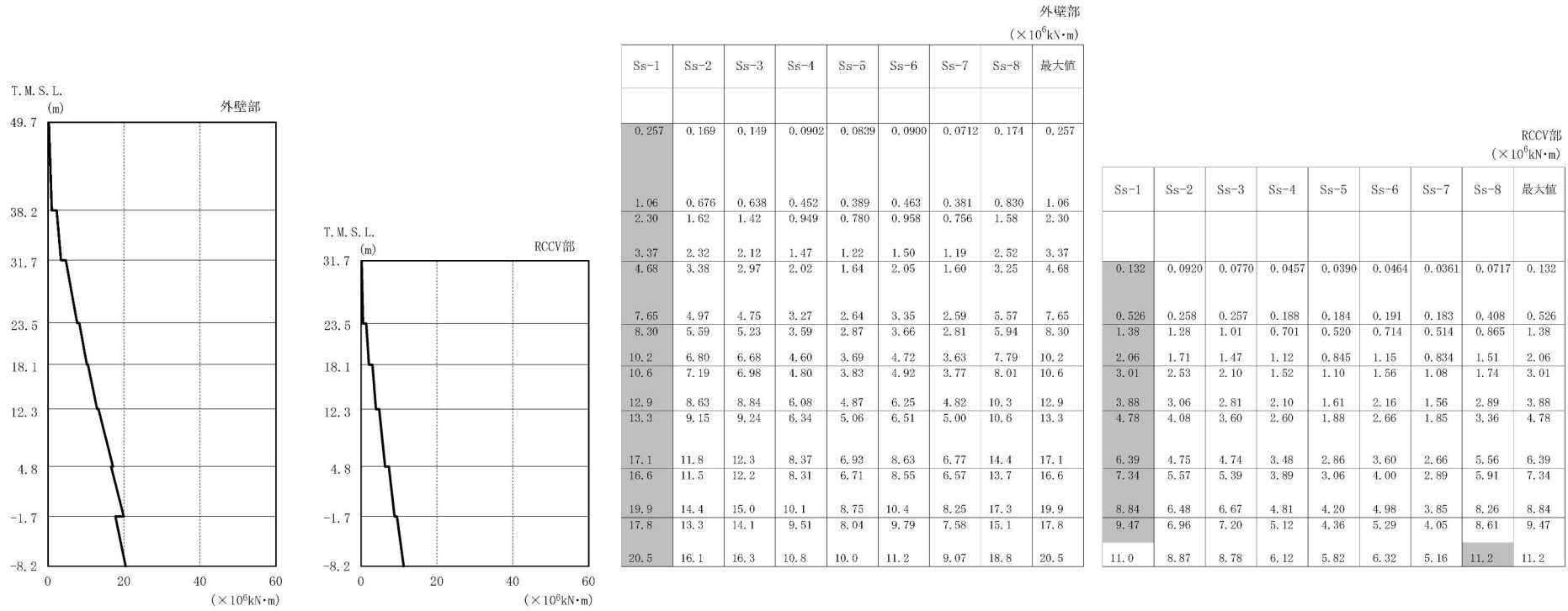
注1：分布図はSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-4 最大応答変位 (基準地震動 S_s, NS方向)



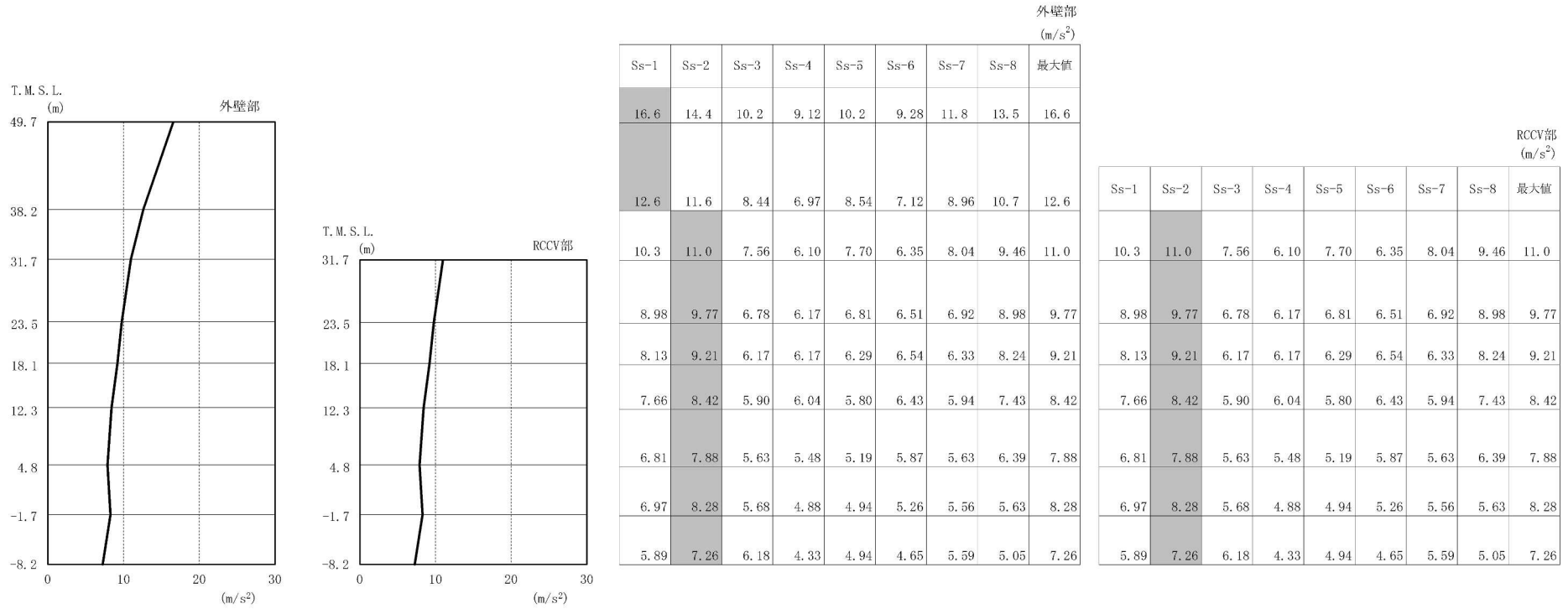
注1：分布図はSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-5 最大応答せん断力（基準地震動 S_s，NS方向）



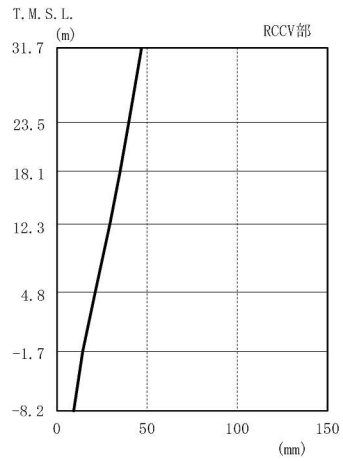
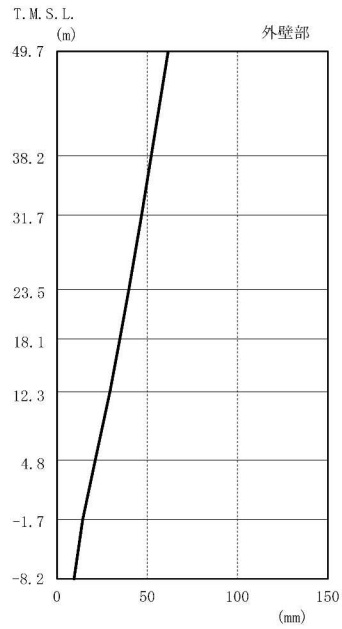
注1：分布図はSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-6 最大応答曲げモーメント（基準地震動 S s , NS方向）



注1：分布図はSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-7 最大応答加速度（基準地震動 S s，EW方向）



外壁部
(mm)

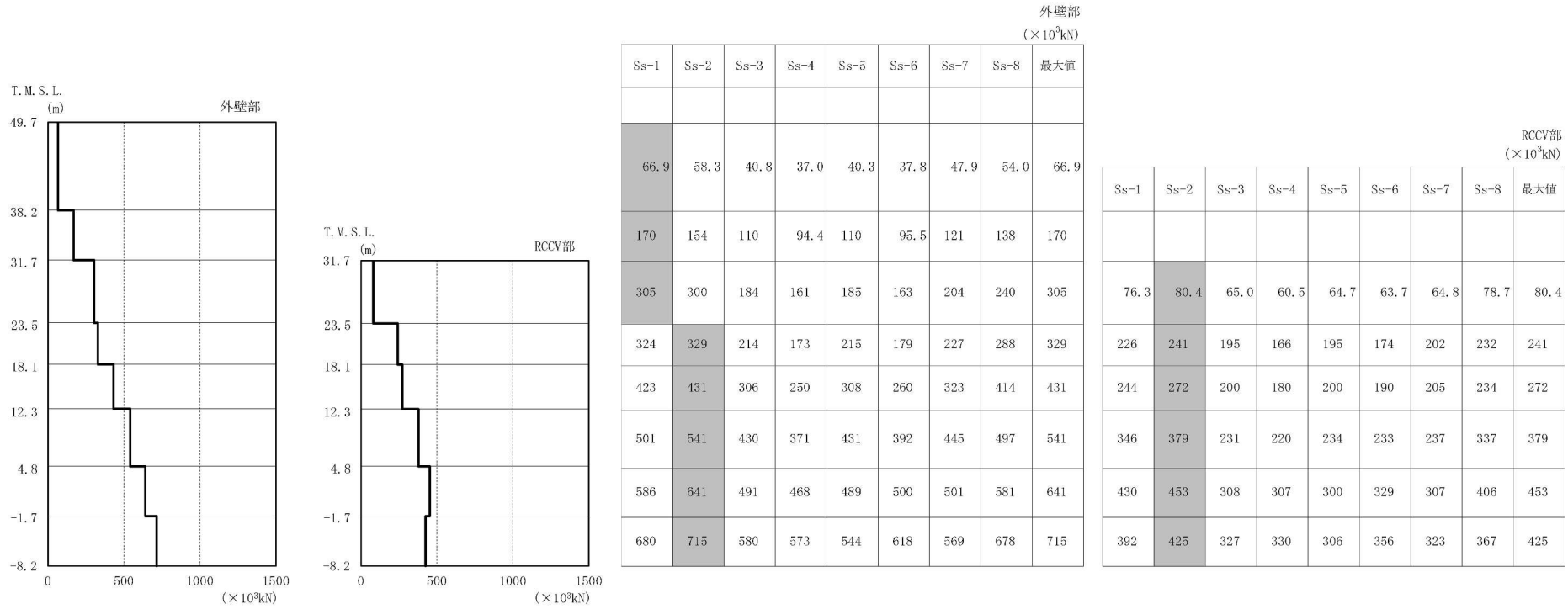
Ss-1	Ss-2	Ss-3	Ss-4	Ss-5	Ss-6	Ss-7	Ss-8	最大値
53.1	61.6	36.9	31.6	36.5	34.1	39.2	53.9	61.6
44.7	52.2	30.9	26.5	30.4	28.7	32.7	45.8	52.2
40.0	46.9	27.5	23.7	27.0	25.7	29.0	41.1	46.9
33.7	39.8	23.2	20.1	22.5	21.9	24.3	35.1	39.8
29.2	34.9	20.2	17.6	19.4	19.3	21.1	30.9	34.9
24.3	29.4	17.0	14.9	16.1	16.4	17.5	26.3	29.4
17.5	21.1	12.7	11.2	11.5	12.4	12.7	19.6	21.1
12.2	14.2	9.04	8.05	7.97	9.08	8.84	14.2	14.2
8.10	8.50	5.67	5.14	5.04	5.92	5.39	9.34	9.34

RCCV部
(mm)

Ss-1	Ss-2	Ss-3	Ss-4	Ss-5	Ss-6	Ss-7	Ss-8	最大値
40.0	46.9	27.5	23.7	27.0	25.7	29.0	41.1	46.9
33.7	39.8	23.2	20.1	22.5	21.9	24.3	35.1	39.8
29.2	34.9	20.2	17.6	19.4	19.3	21.1	30.9	34.9
24.3	29.4	17.0	14.9	16.1	16.4	17.5	26.3	29.4
17.5	21.1	12.7	11.2	11.5	12.4	12.7	19.6	21.1
12.2	14.2	9.04	8.05	7.97	9.08	8.84	14.2	14.2
8.10	8.50	5.67	5.14	5.04	5.92	5.39	9.34	9.34

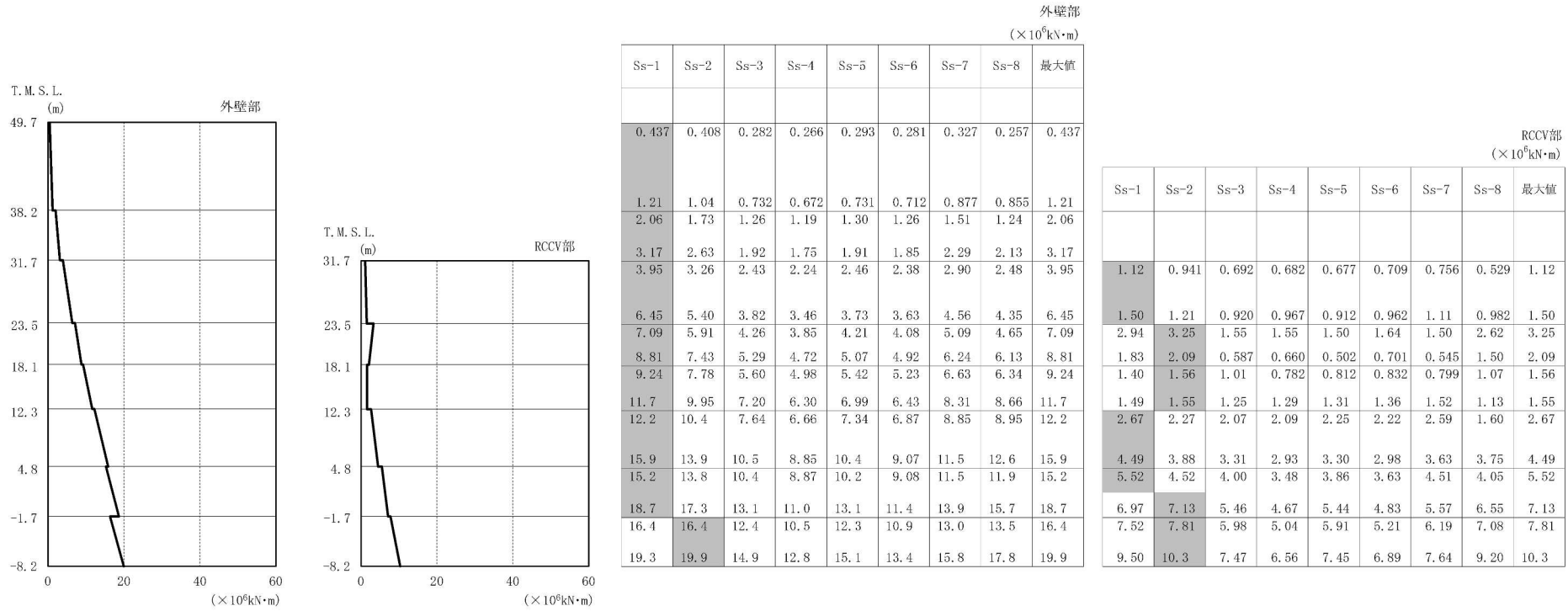
注1：分布図はSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-8 最大応答変位（基準地震動 S_s，EW方向）



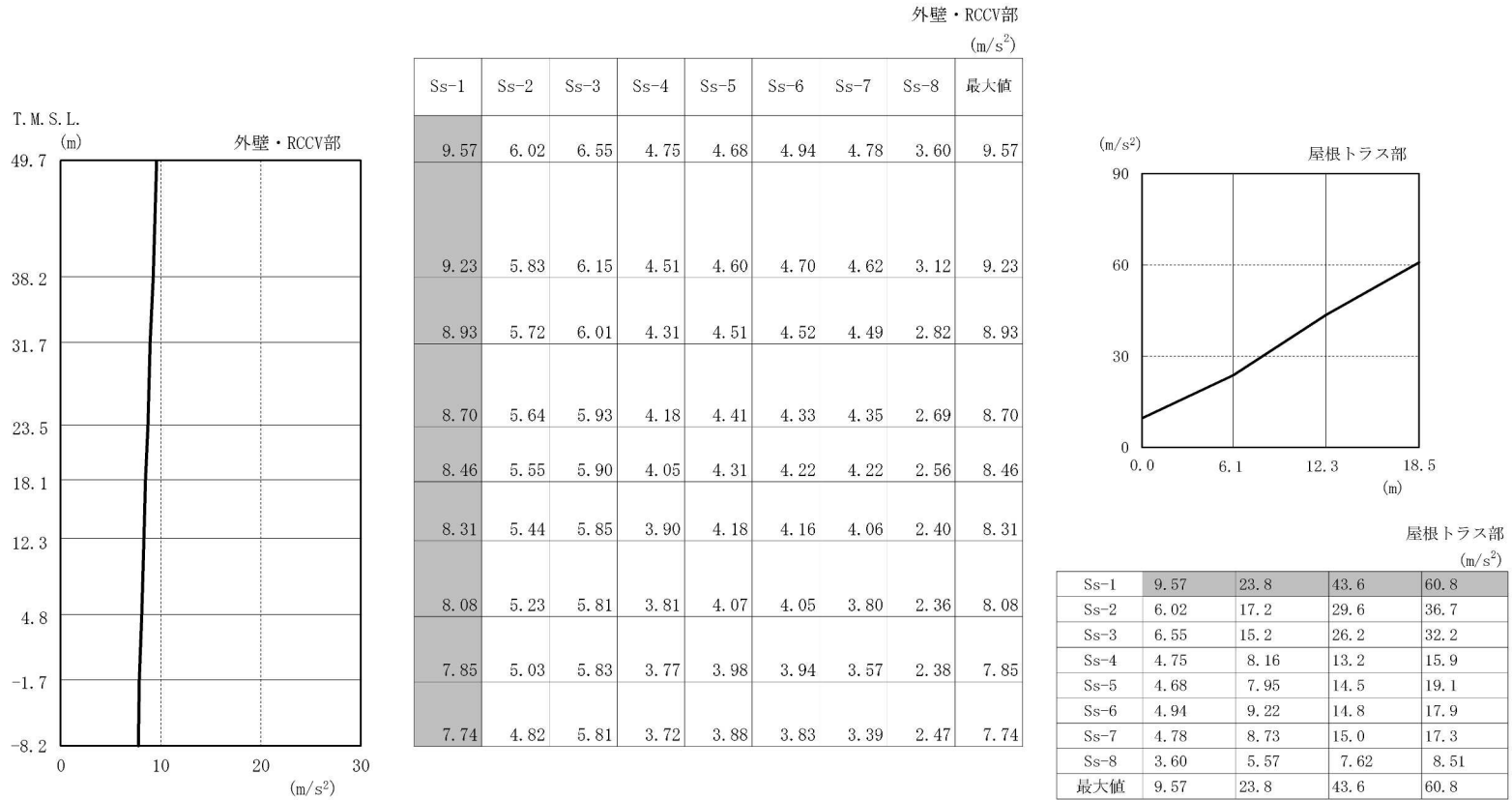
注1：分布図はSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-9 最大応答せん断力（基準地震動 S_s，EW方向）



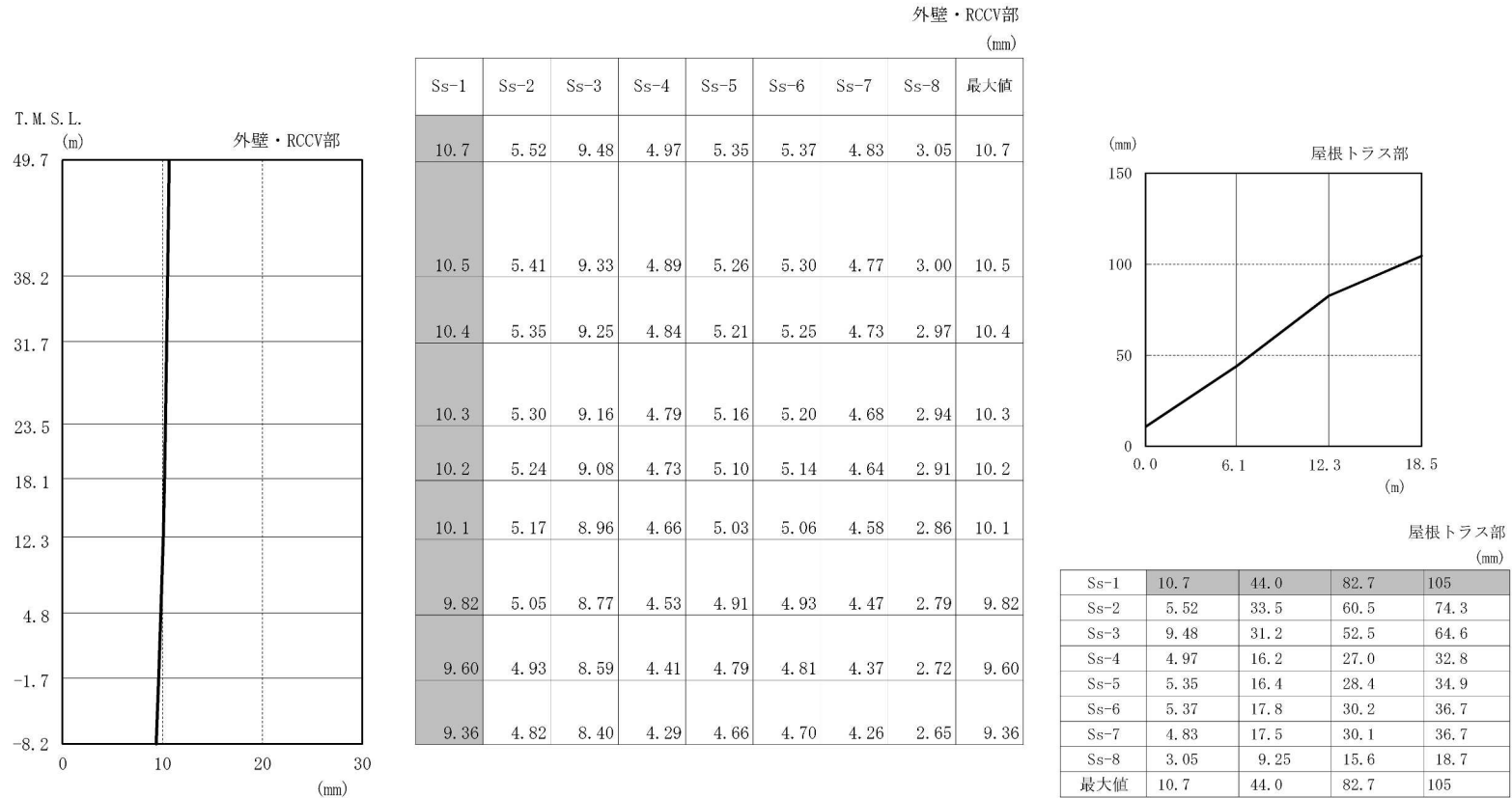
注1：分布図はSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-10 最大応答曲げモーメント（基準地震動 S s , EW方向）



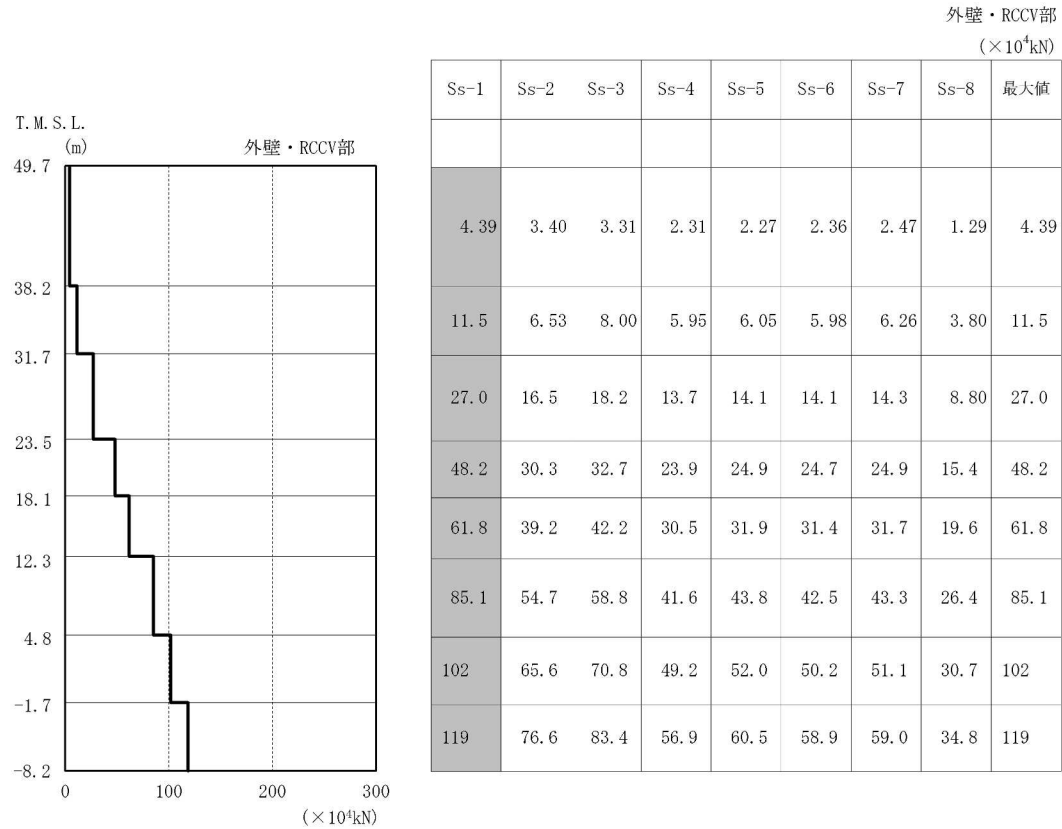
注1：分布図はSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-11 最大応答加速度（基準地震動 S s ，鉛直方向）



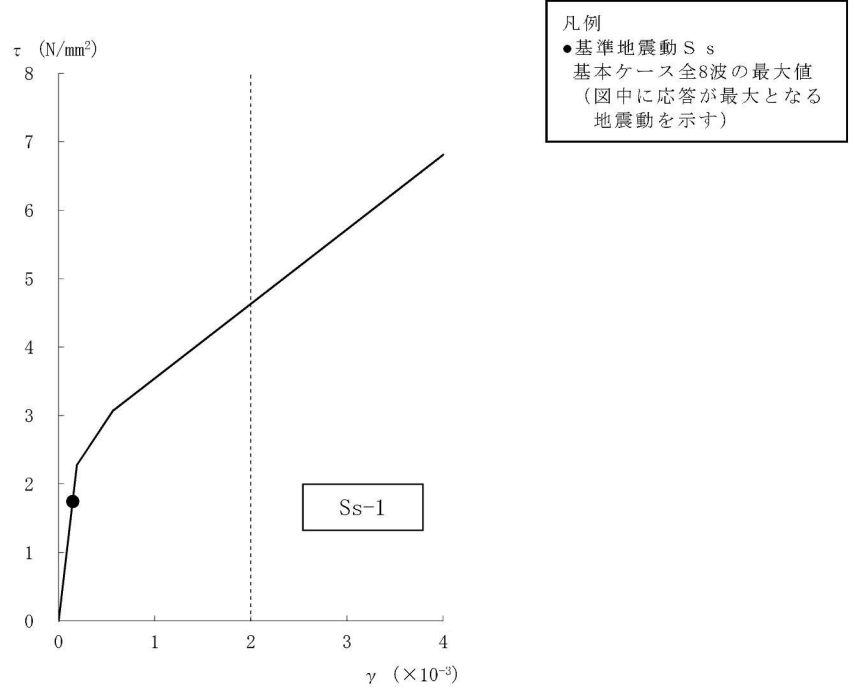
注1：分布図はSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-12 最大応答変位（基準地震動 S_s，鉛直方向）



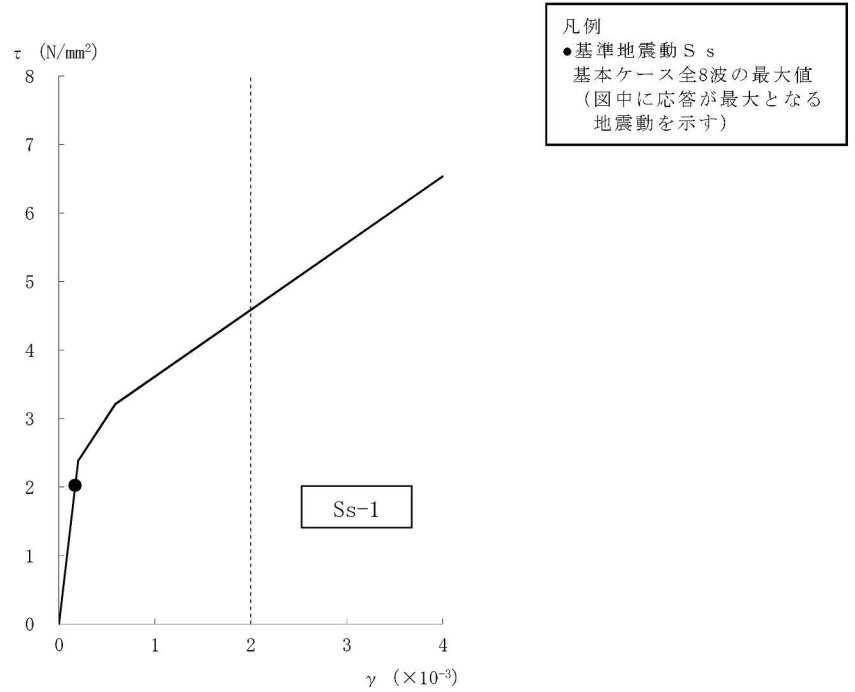
注1：分布図はSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSs-1～Ss-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-13 最大応答軸力（基準地震動 S s ，鉛直方向）



[外壁部]

図4-14 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S_s, NS方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

図4-14 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S_s, NS方向, 4F) (2/8)

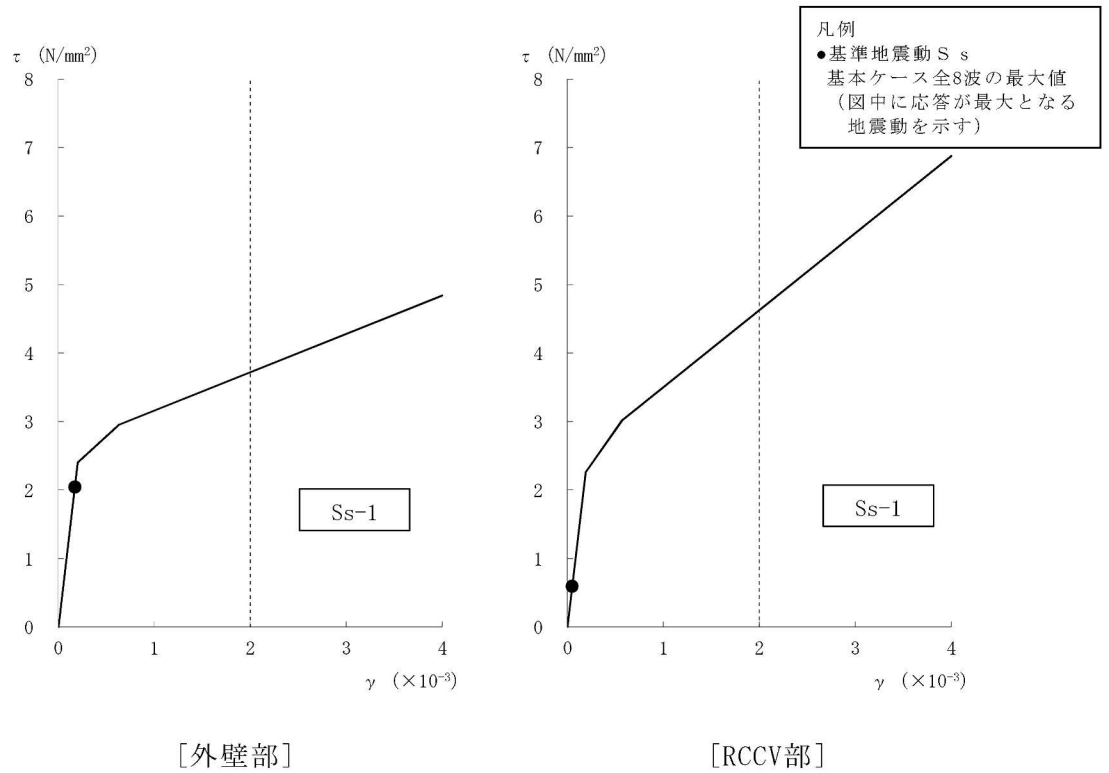


図4-14 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s , NS方向, 3F) (3/8)

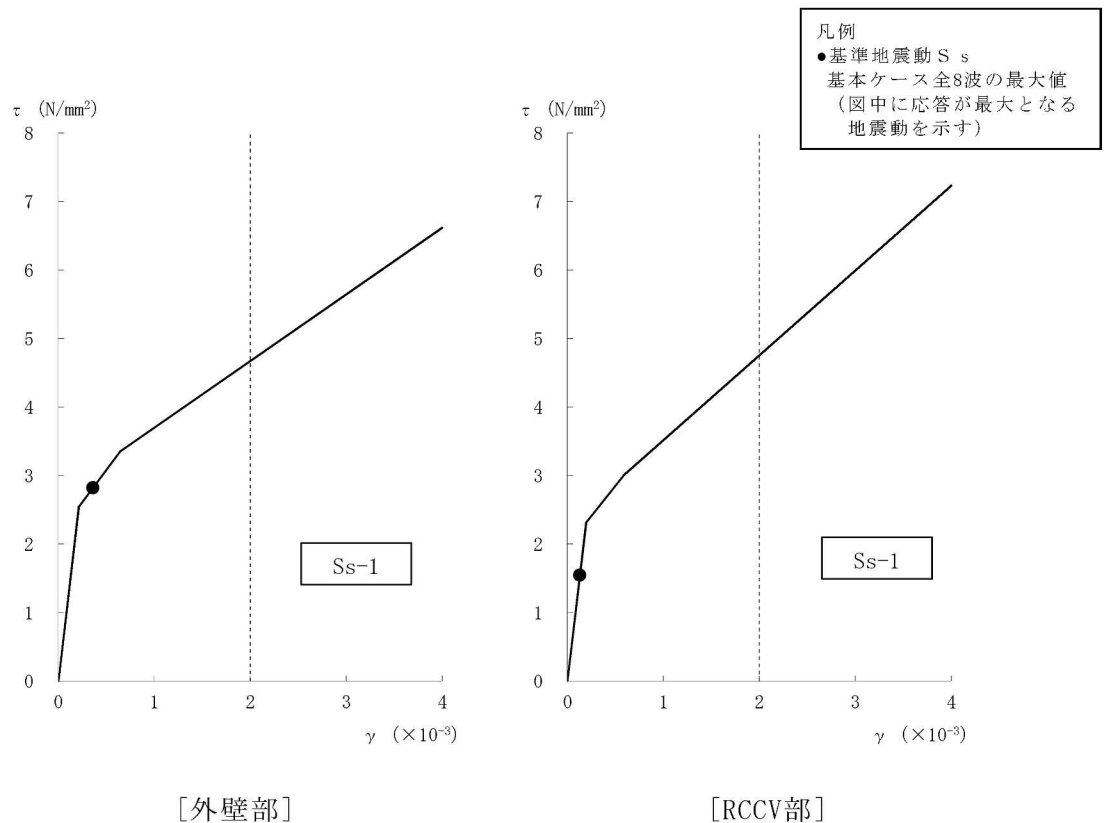


図4-14 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s , NS方向, 2F) (4/8)

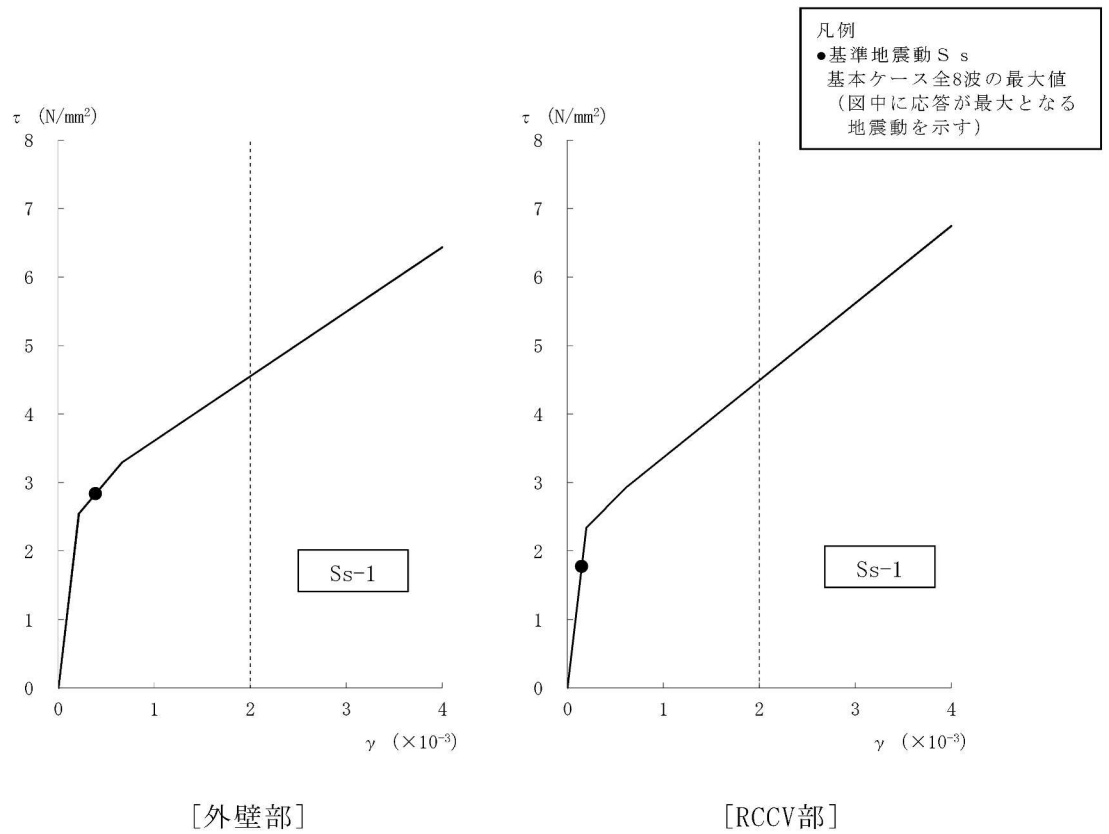


図4-14 せん断スケルトン曲線上の最大応答値（基準地震動 S s，NS方向，1F）（5/8）

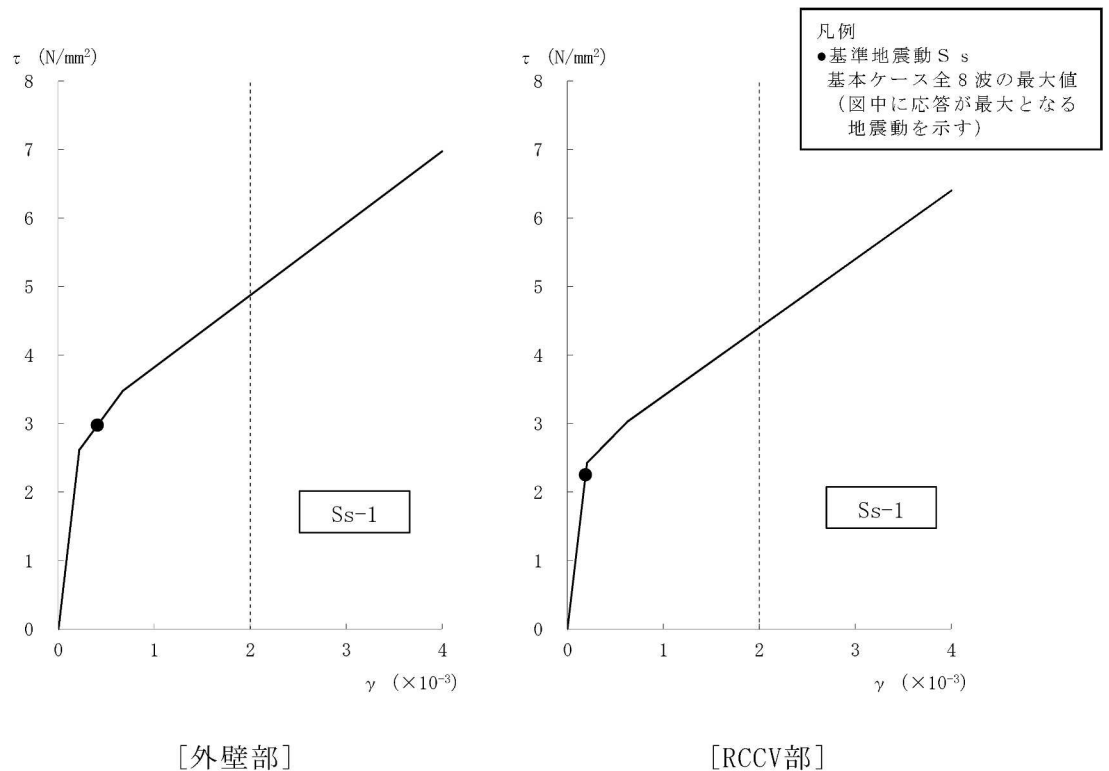


図4-14 せん断スケルトン曲線上の最大応答値（基準地震動 S s，NS方向，B1F）（6/8）

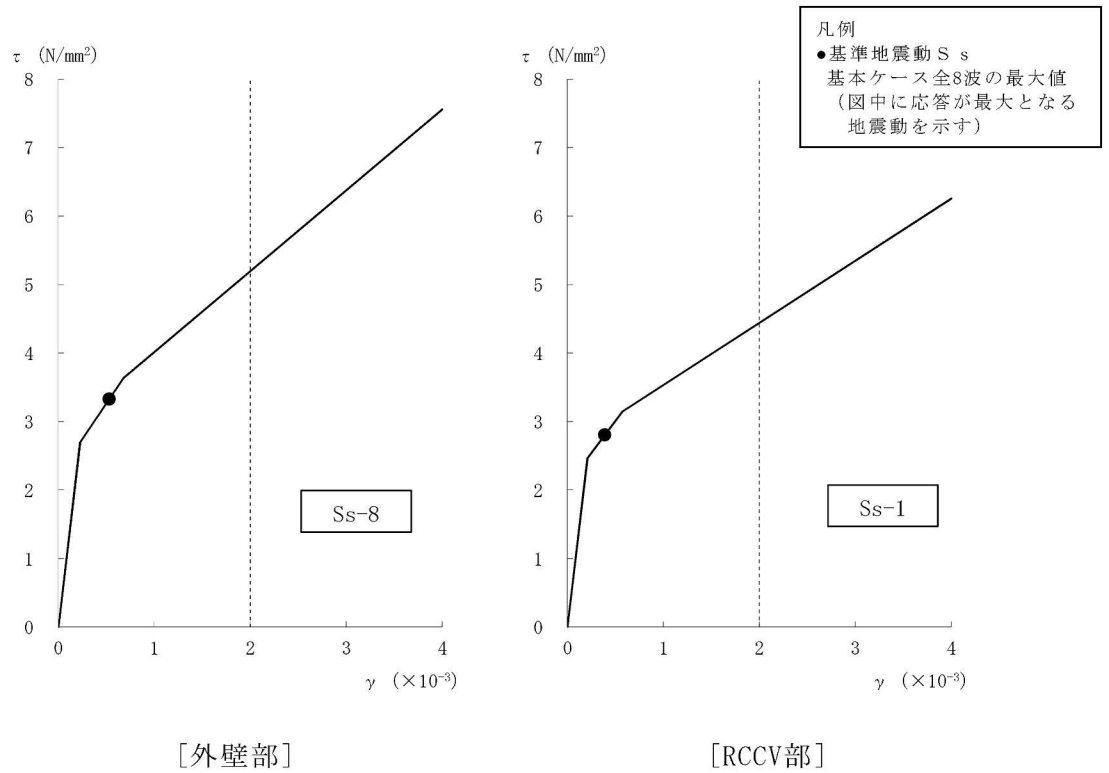


図4-14 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s, NS方向, B2F) (7/8)

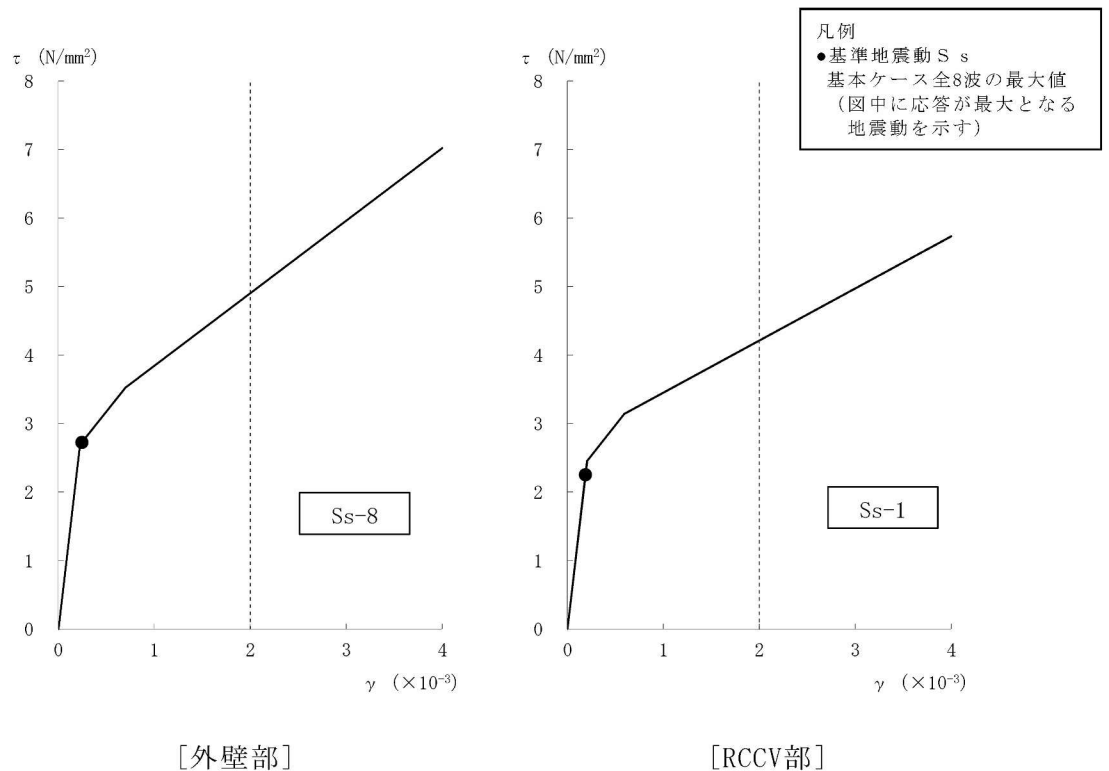
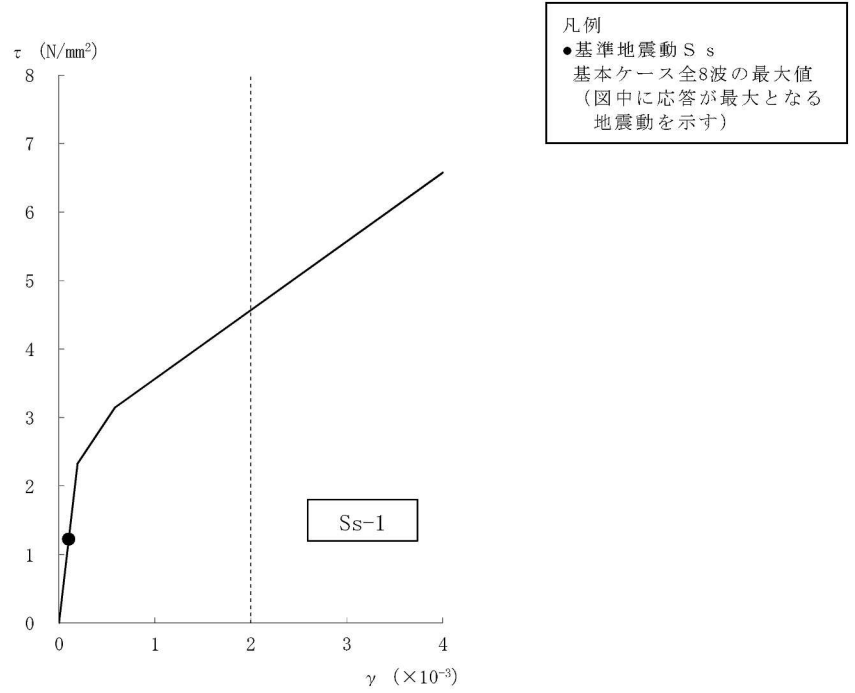
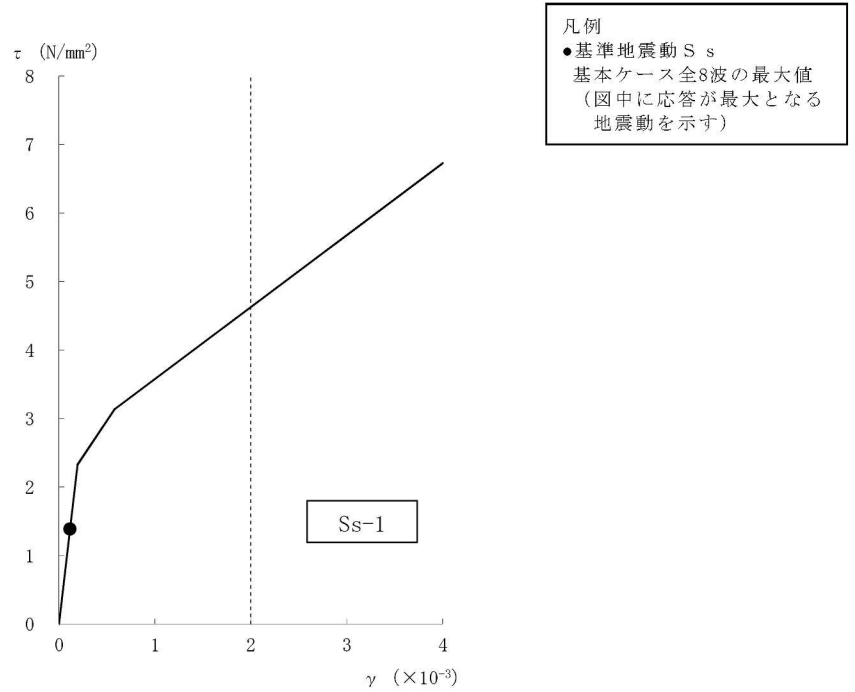


図4-14 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s, NS方向, B3F) (8/8)



[外壁部]

図4-15 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s , EW方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

図4-15 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S s , EW方向, 4F) (2/8)

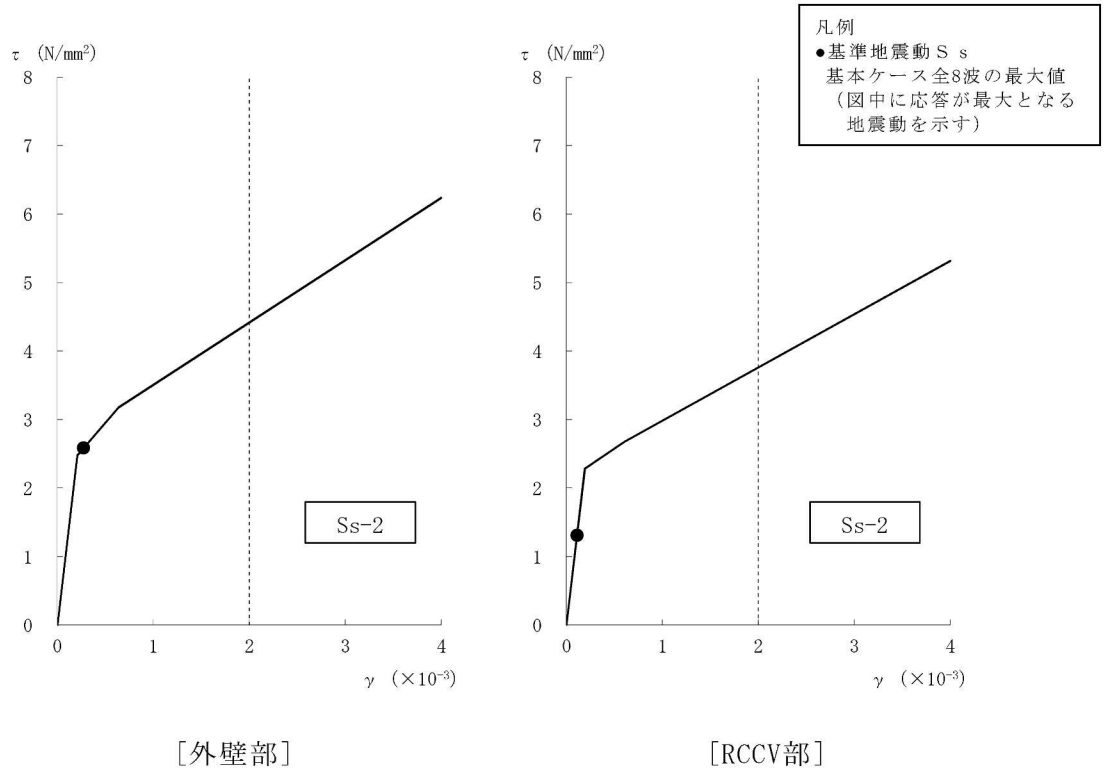


図4-15 せん断スケルトン曲線上の最大応答値（基準地震動 S s，EW方向，1F）（5/8）

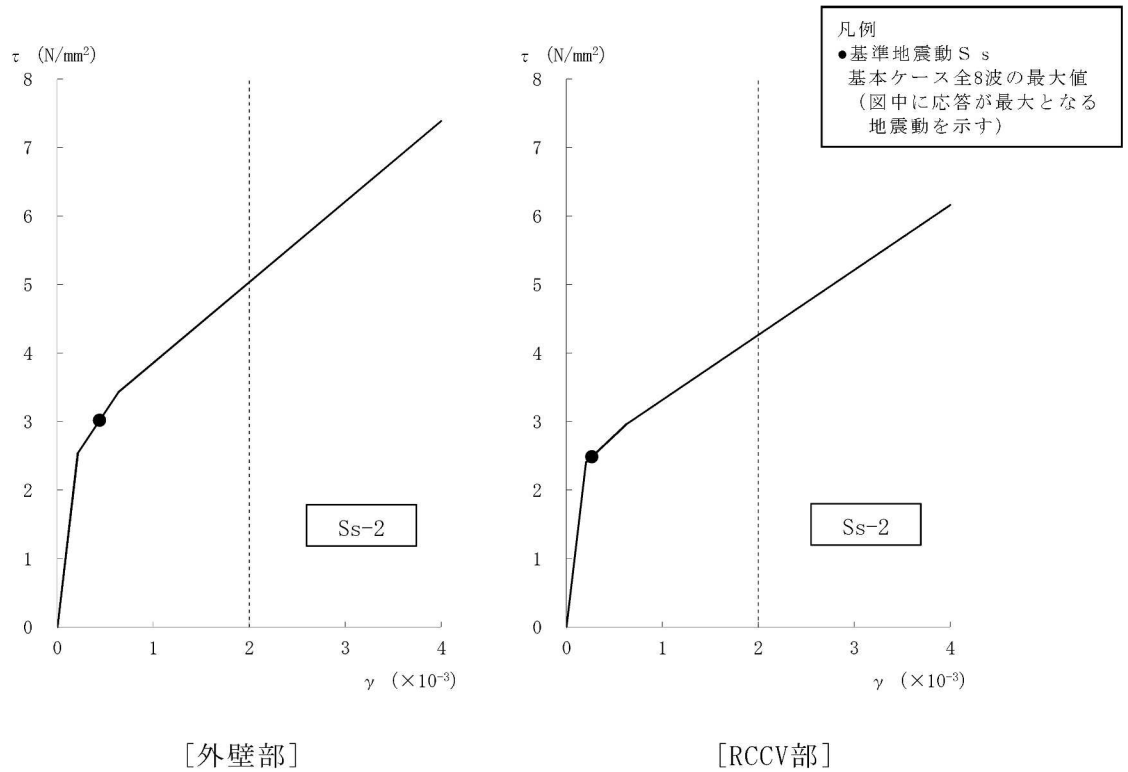


図4-15 せん断スケルトン曲線上の最大応答値（基準地震動 S s，EW方向，B1F）（6/8）

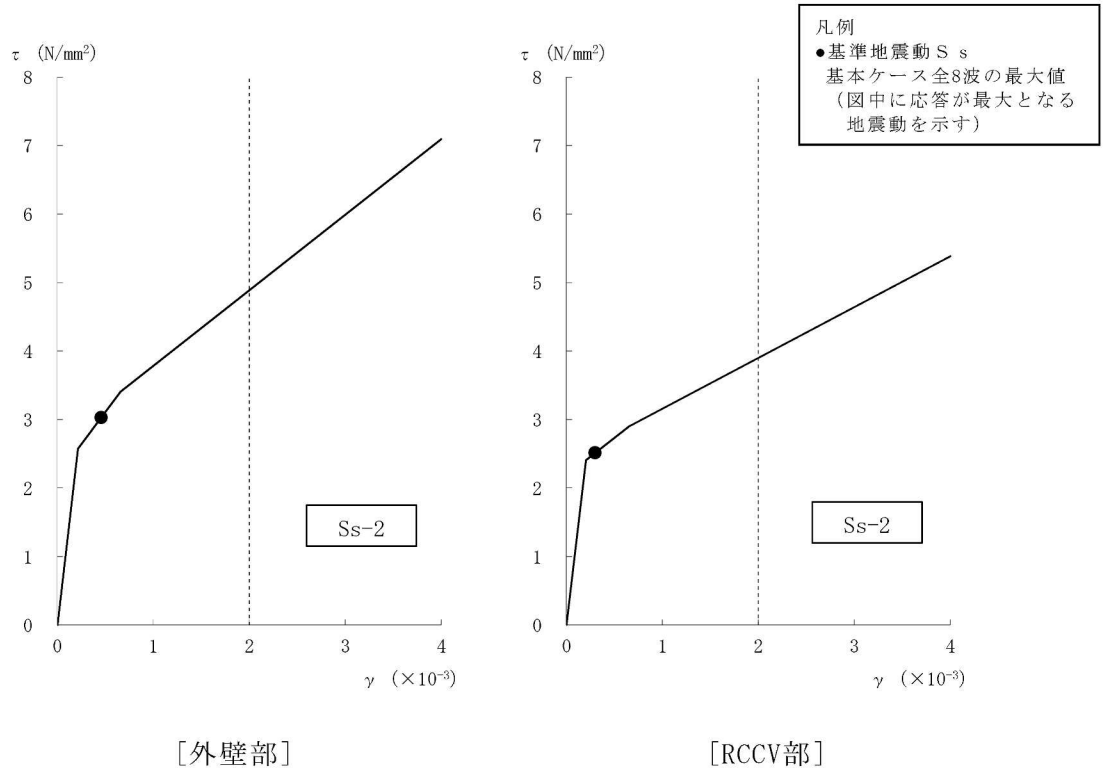


図4-15 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S_s, EW方向, B2F) (7/8)

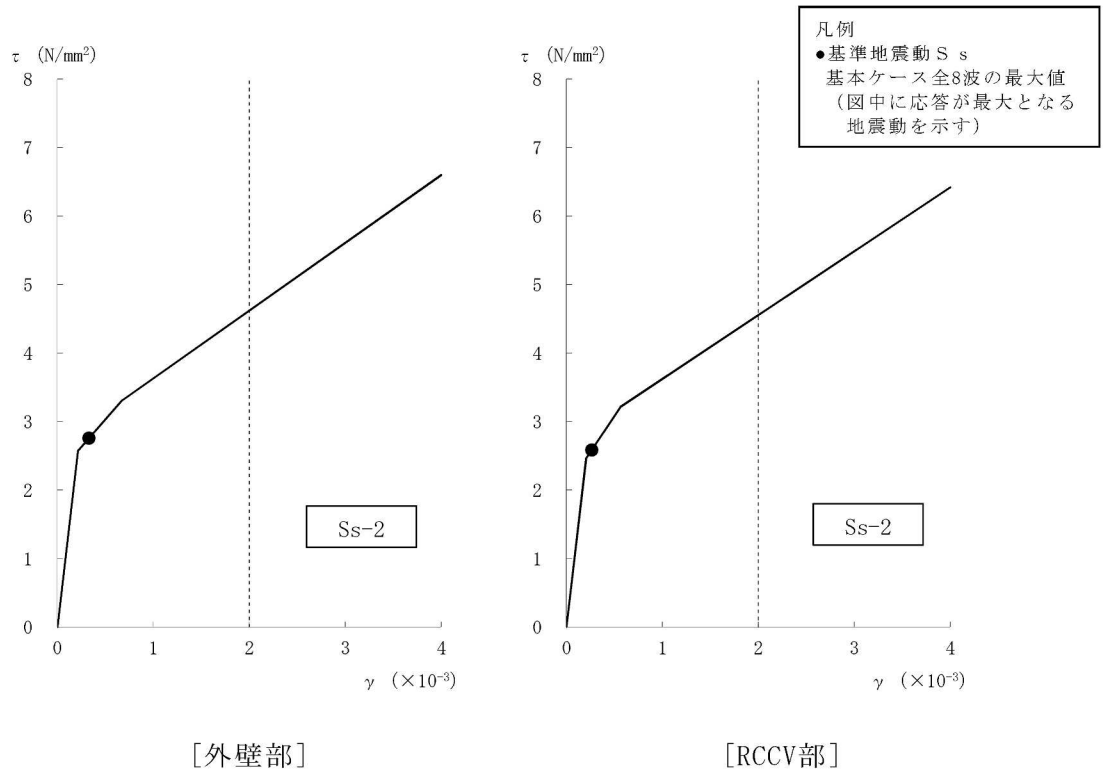


図4-15 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (基準地震動 S_s, EW方向, B3F) (8/8)

表4-17 基準地震動 S_s による地震応答解析結果に基づく接地率

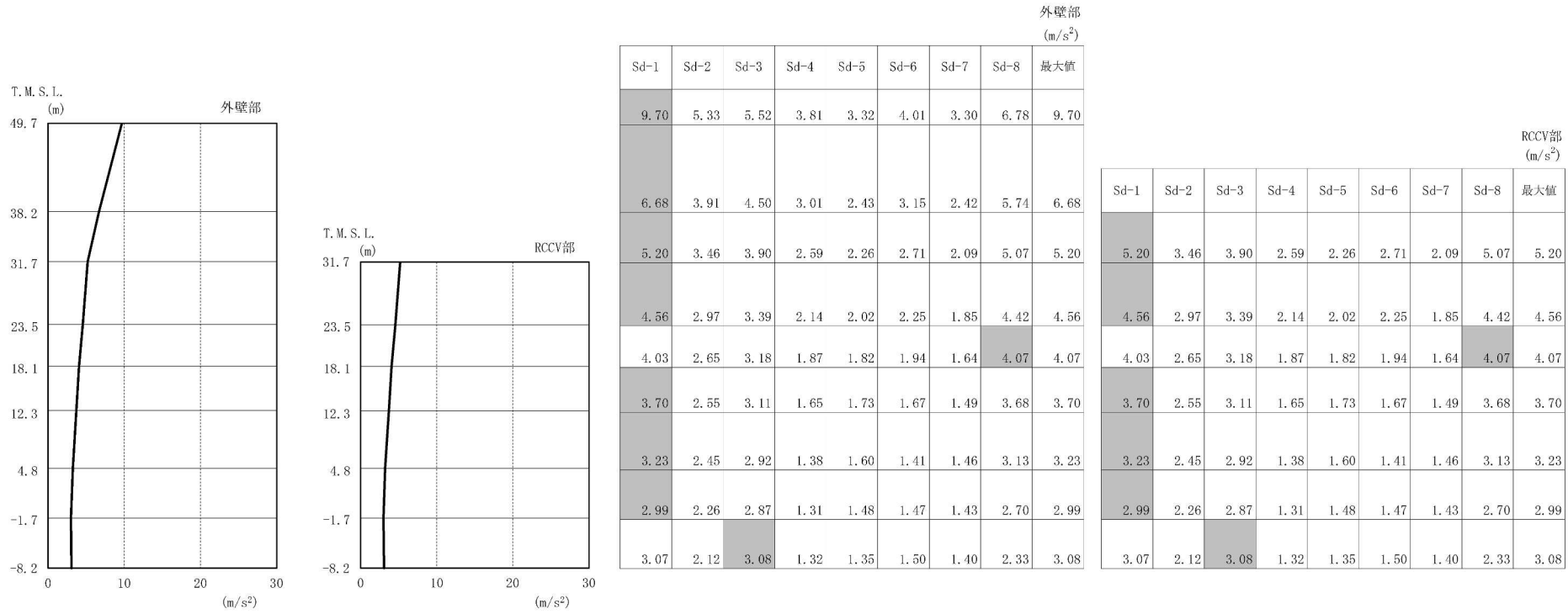
(a) NS方向

基準地震動 S _s	最大接地圧 (kN/m ²)	最大転倒モーメント (×10 ⁶ kN・m)	最小接地率 (%)
S _s -1	1890	30.0	68.6
S _s -2	1550	25.2	81.7
S _s -3	1540	24.7	83.0
S _s -4	1200	16.6	100.0
S _s -5	1210	16.7	100.0
S _s -6	1220	17.2	100.0
S _s -7	1130	14.4	100.0
S _s -8	1750	30.0	68.7

(b) EW方向

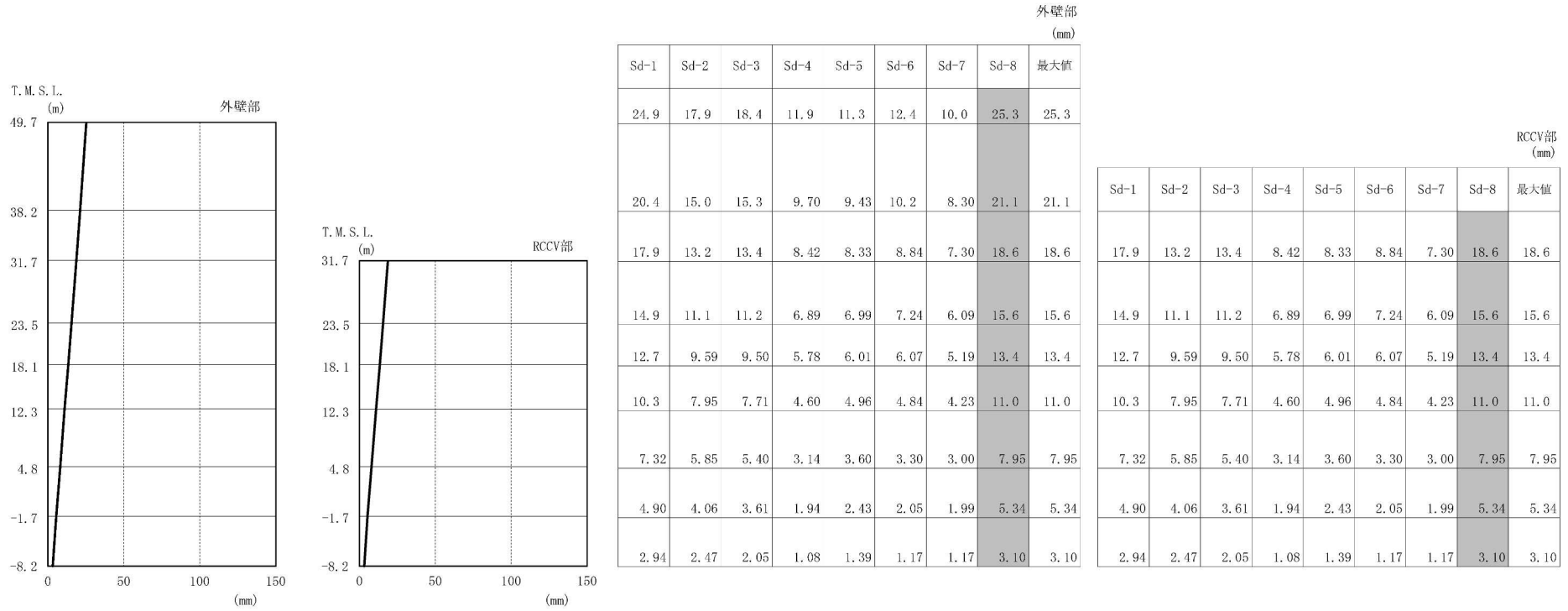
基準地震動 S _s	最大接地圧 (kN/m ²)	最大転倒モーメント (×10 ⁶ kN・m)	最小接地率 (%)
S _s -1	1890	31.5	68.8
S _s -2*	2110	34.3	67.4
S _s -3	1530	25.5	84.3
S _s -4	1370	22.7	91.4
S _s -5	1500	26.0	83.2
S _s -6	1420	23.9	88.4
S _s -7	1540	26.8	80.9
S _s -8	1740	31.3	69.4

注記* : 誘発上下動考慮の結果を示す。



注1：分布図はSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-16 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d，NS方向）



注1：分布図はSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-17 最大応答変位（弾性設計用地震動 S d , NS方向）

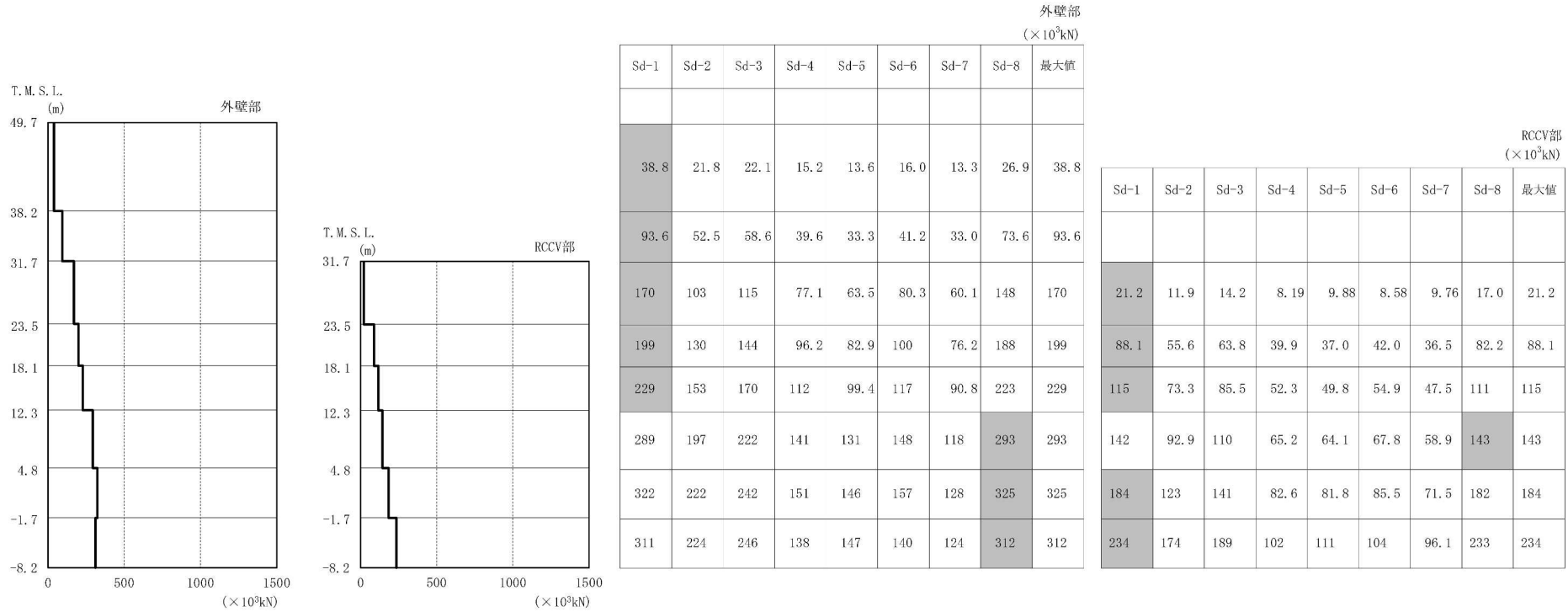
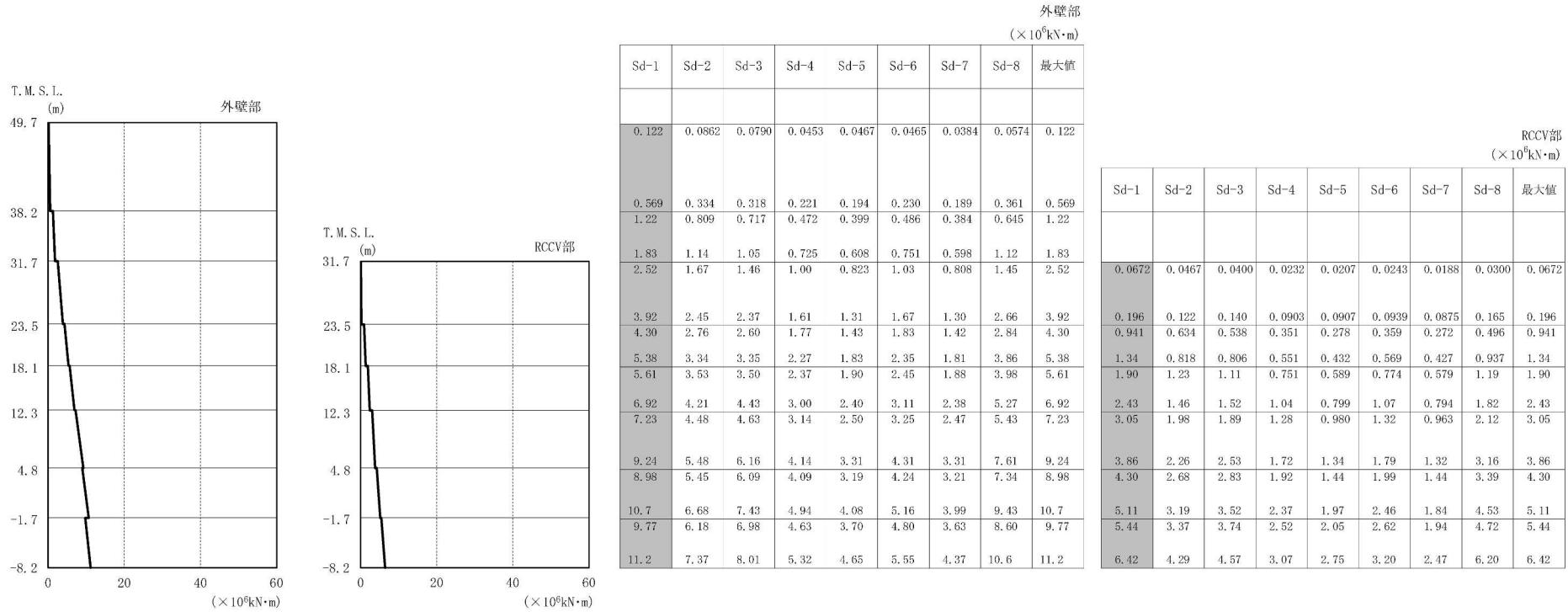
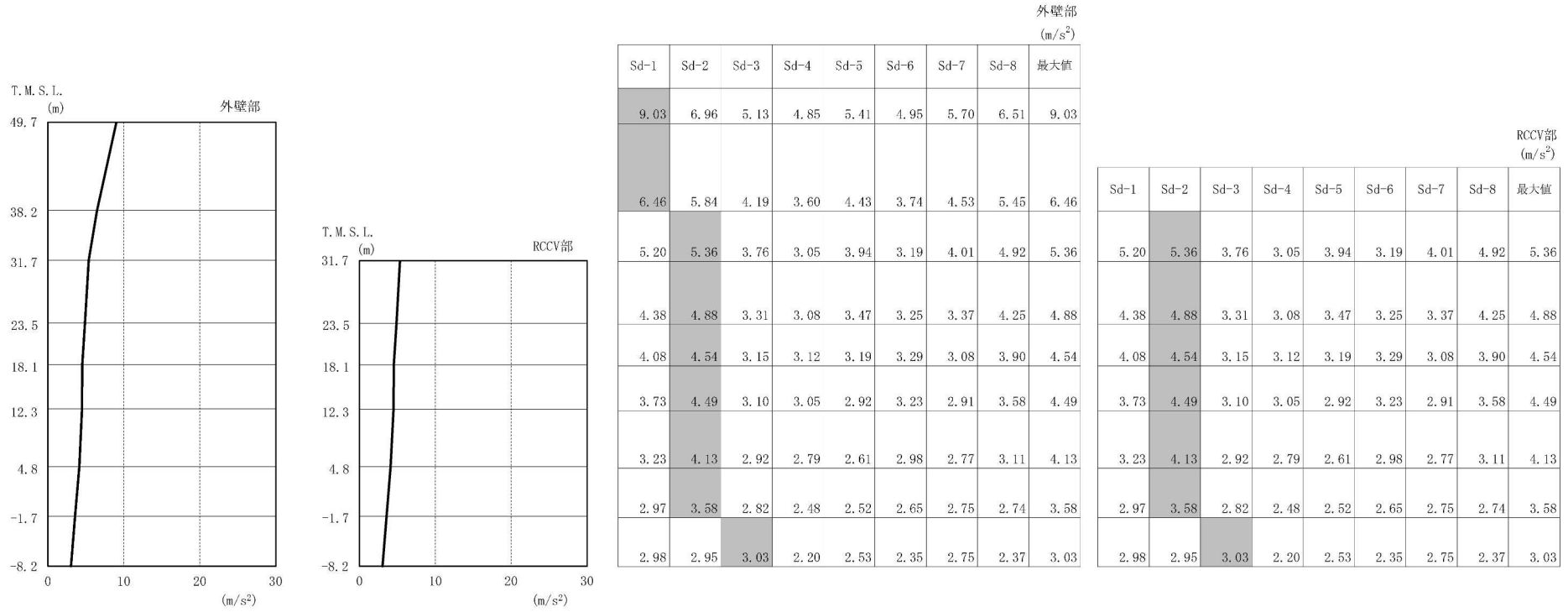


図4-18 最大応答せん断力（弾性設計用地震動 S d , NS方向）



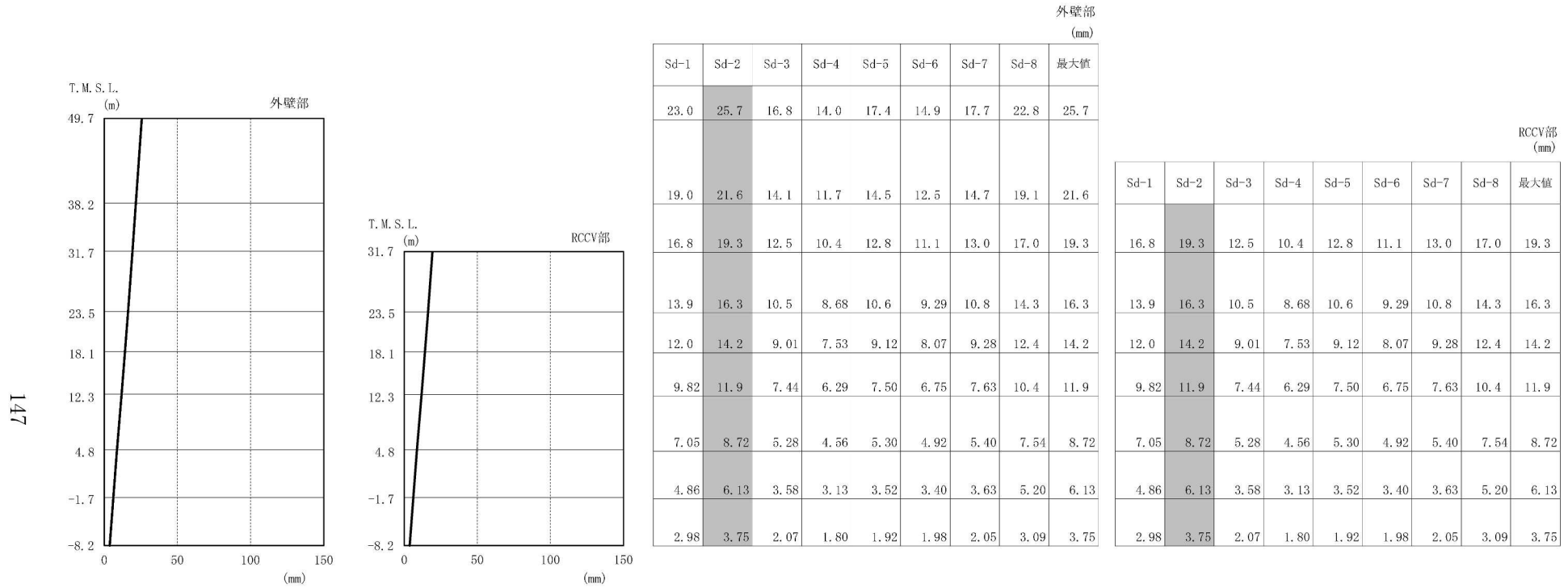
注1：分布図はSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-19 最大応答曲げモーメント（弾性設計用地震動 S d，NS方向）



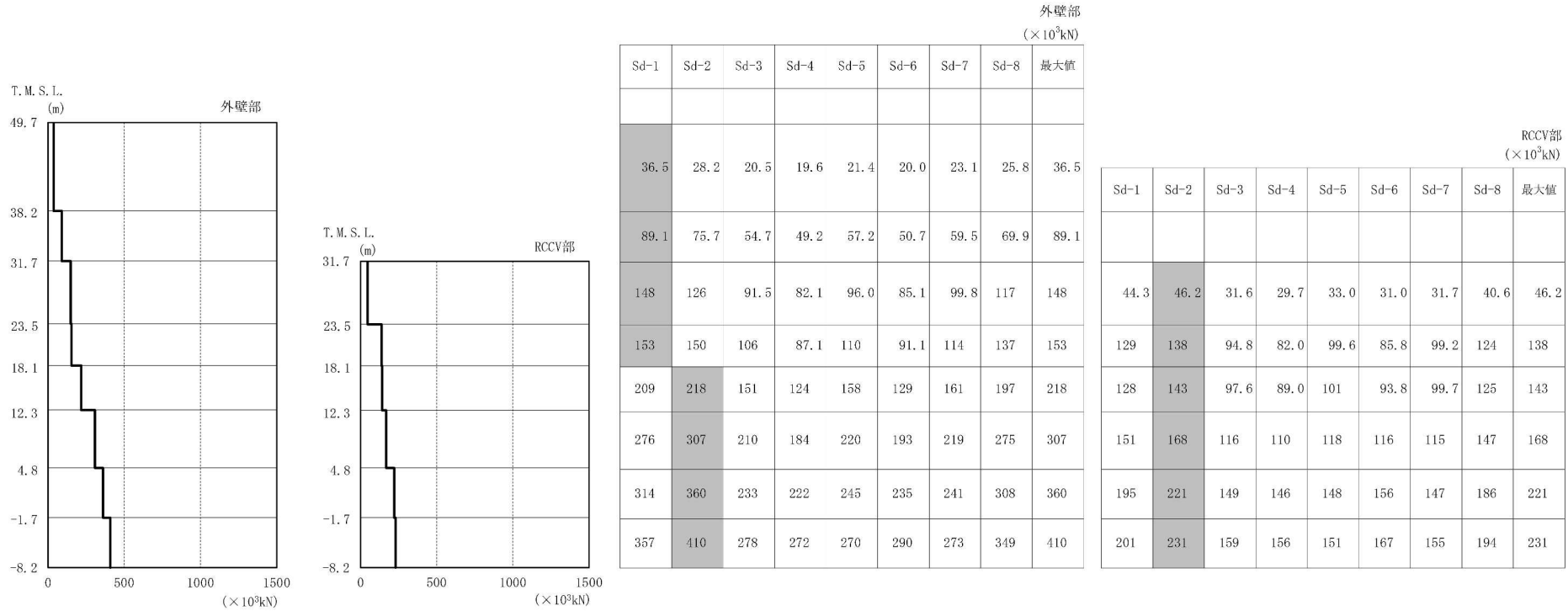
注1：分布図はSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-20 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d , EW方向）



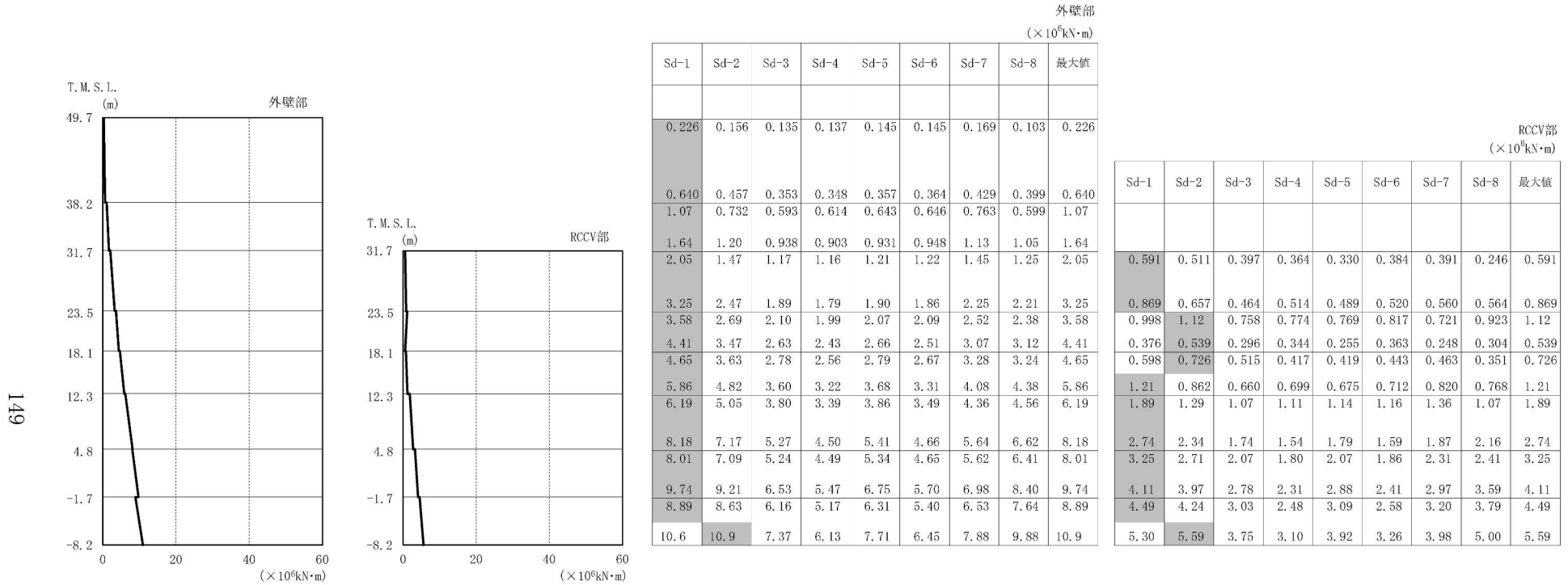
注1：分布図はSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-21 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d , EW方向)



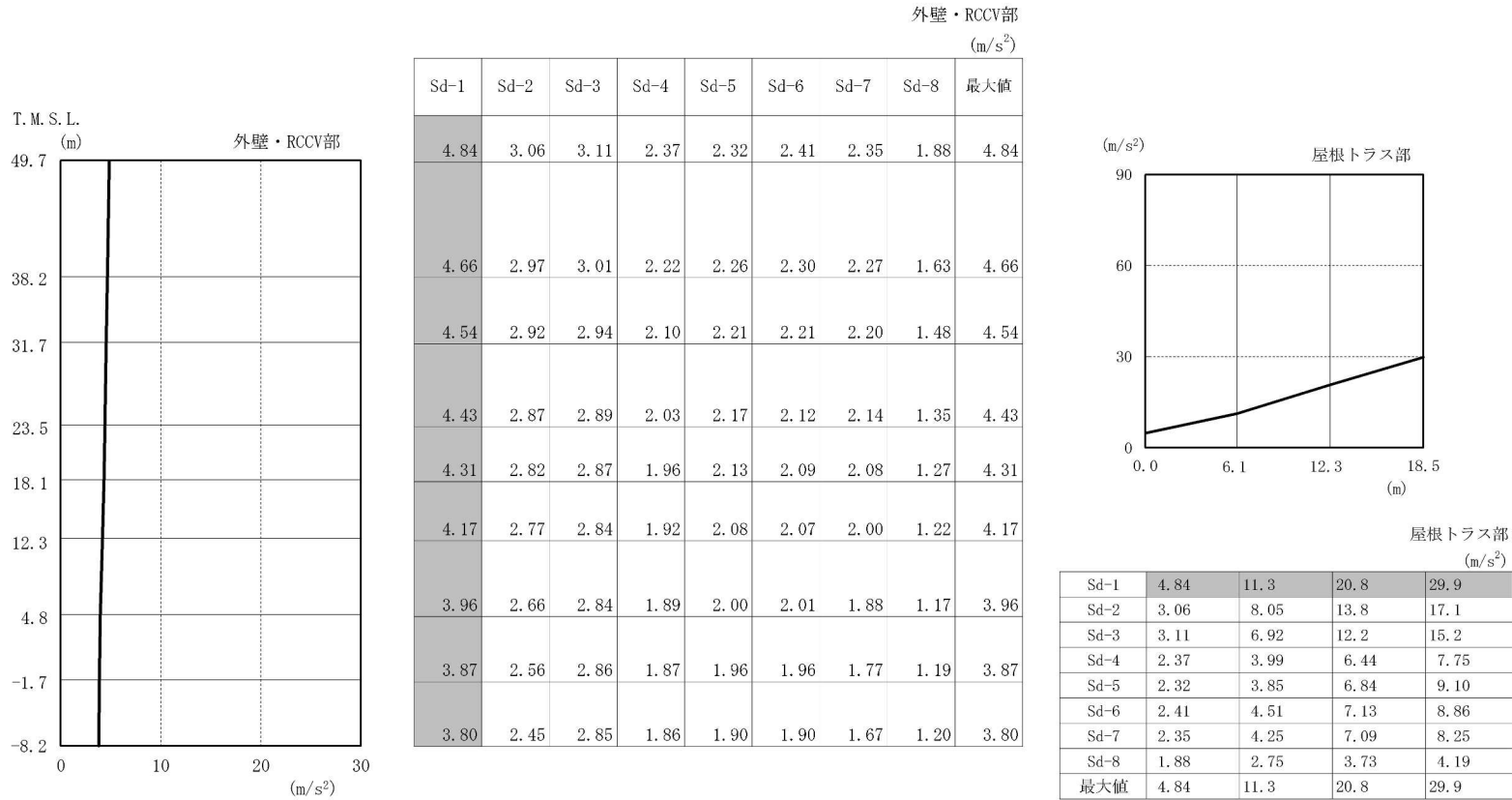
注1：分布図はSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-22 最大応答せん断力（弾性設計用地震動S_d，EW方向）



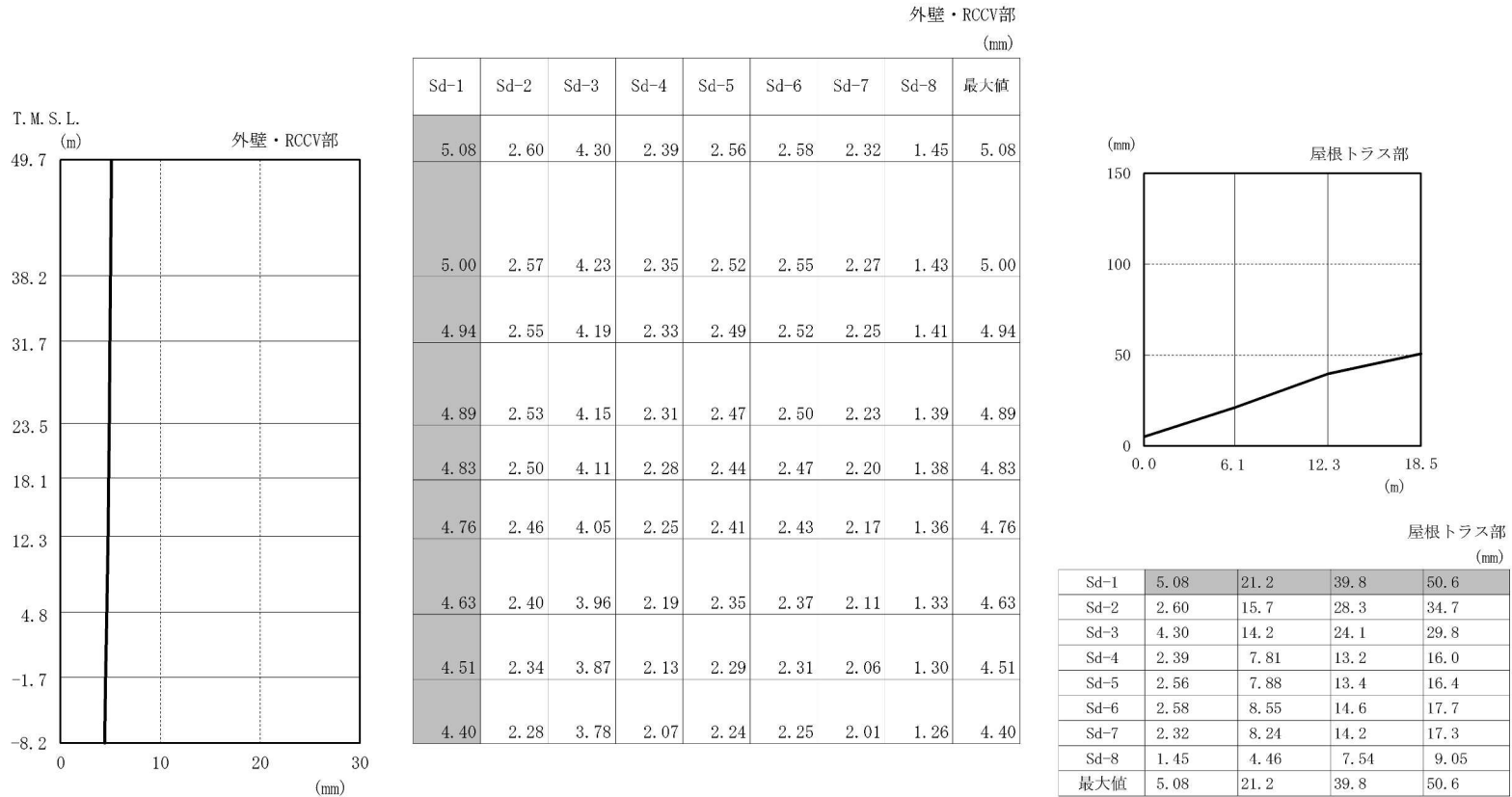
注1：分布図はSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-23 最大応答曲げモーメント（弾性設計用地震動 S_d, EW方向）



注1：分布図はSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

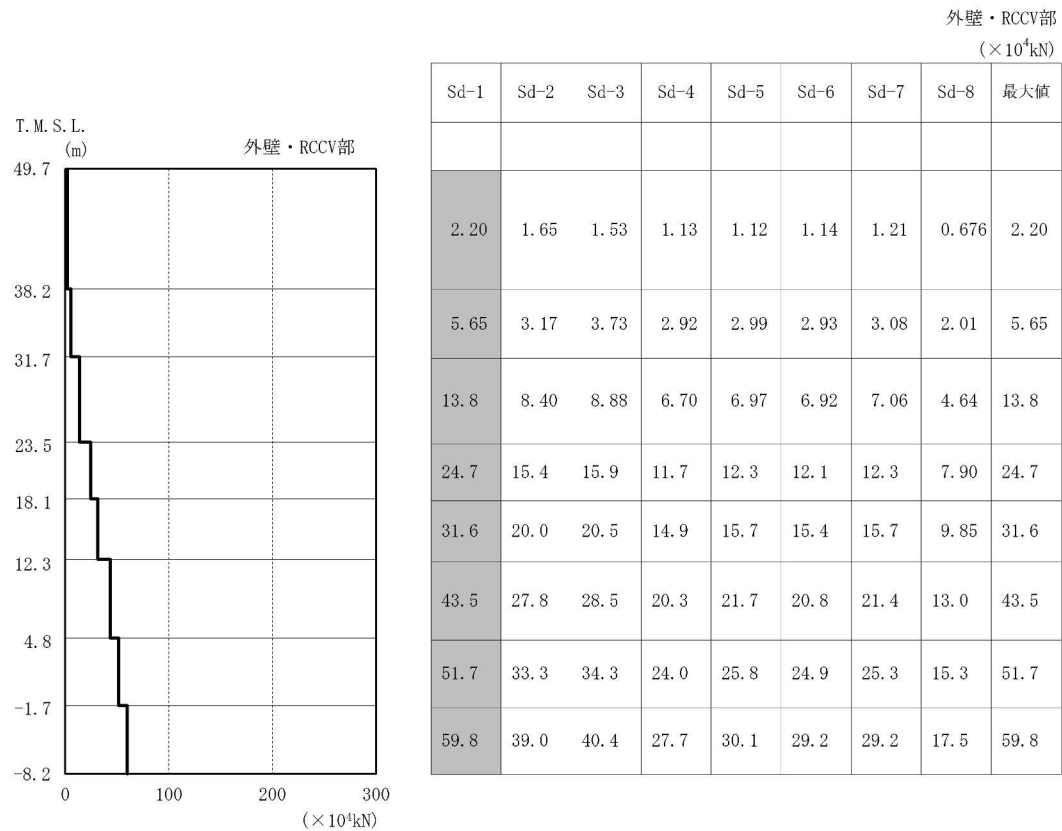
図4-24 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）



注1：分布図はSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

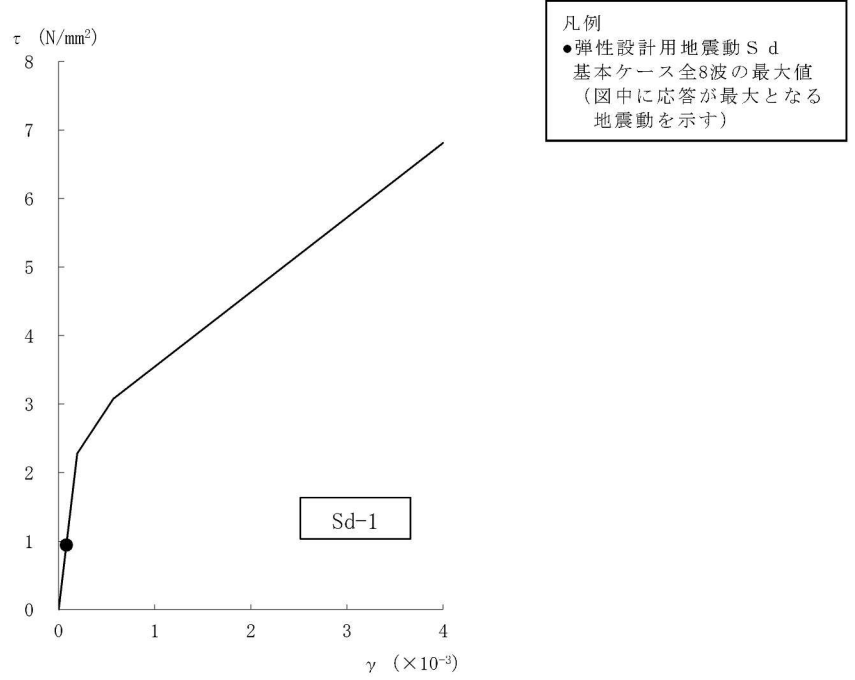
注2：ハッチングはSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-25 最大応答変位（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）



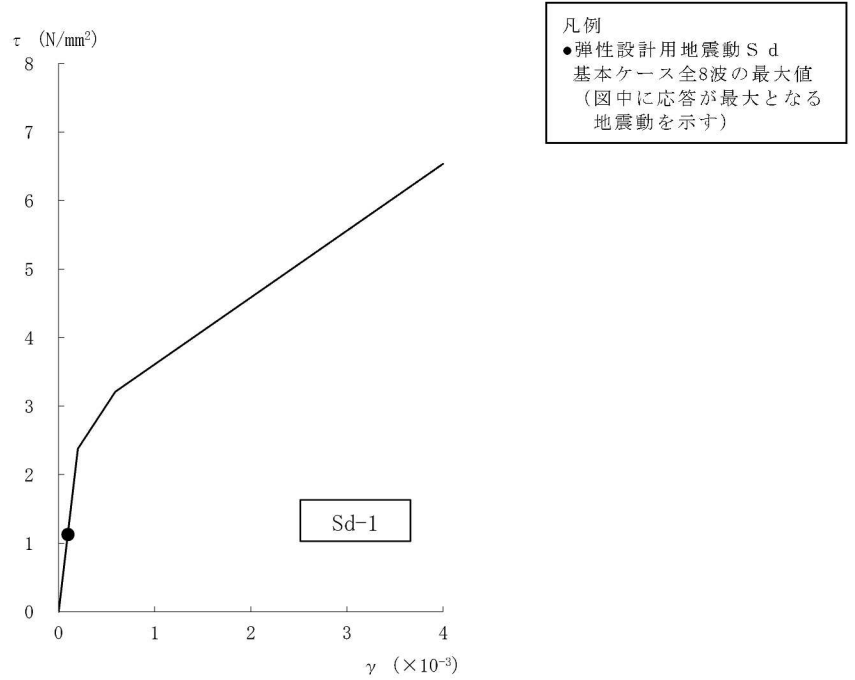
注1：分布図はSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示
 注2：ハッチングはSd-1～Sd-8の最大応答値のうち最も大きい値を表示

図4-26 最大応答軸力（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）



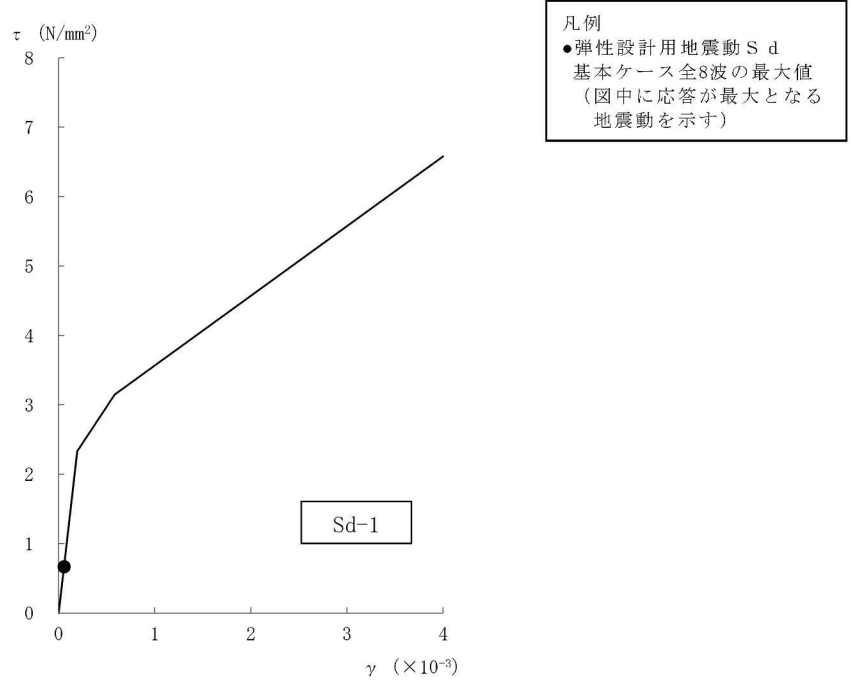
[外壁部]

図4-27 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (弾性設計用地震動 S d, NS方向, CRF)
(1/8)



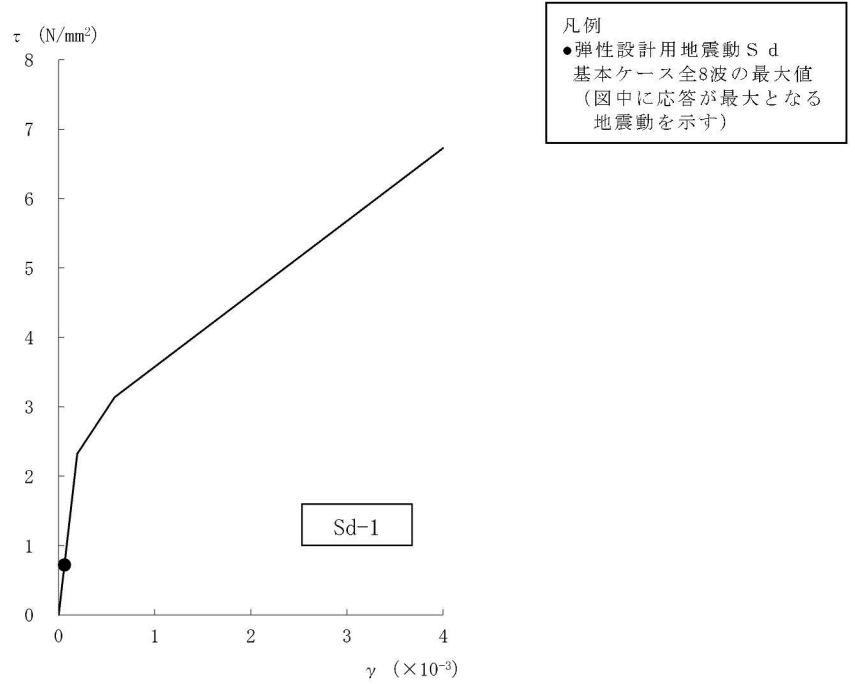
[外壁部]

図4-27 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (弾性設計用地震動 S d, NS方向, 4F)
(2/8)



[外壁部]

図4-28 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (弾性設計用地震動 S d, EW方向, CRF)
(1/8)



[外壁部]

図4-28 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (弾性設計用地震動 S d, EW方向, 4F)
(2/8)

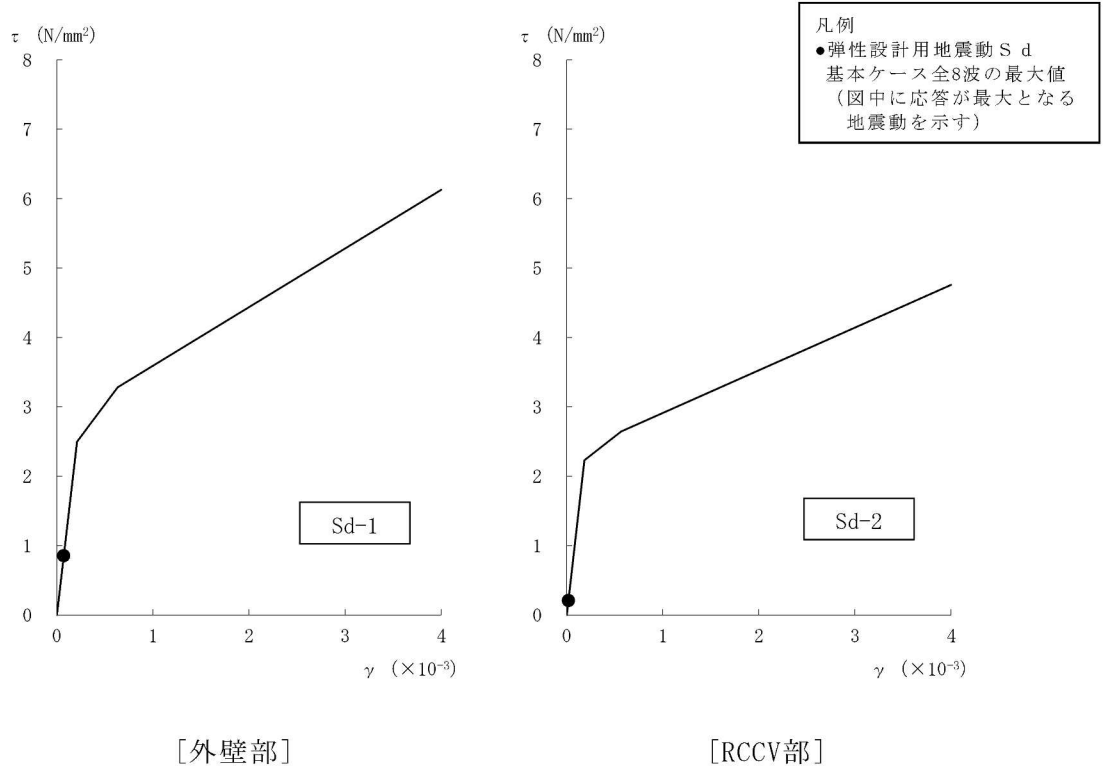


図4-28 せん断スケルトン曲線上の最大応答値（弾性設計用地震動 S d，EW方向，3F）
(3/8)

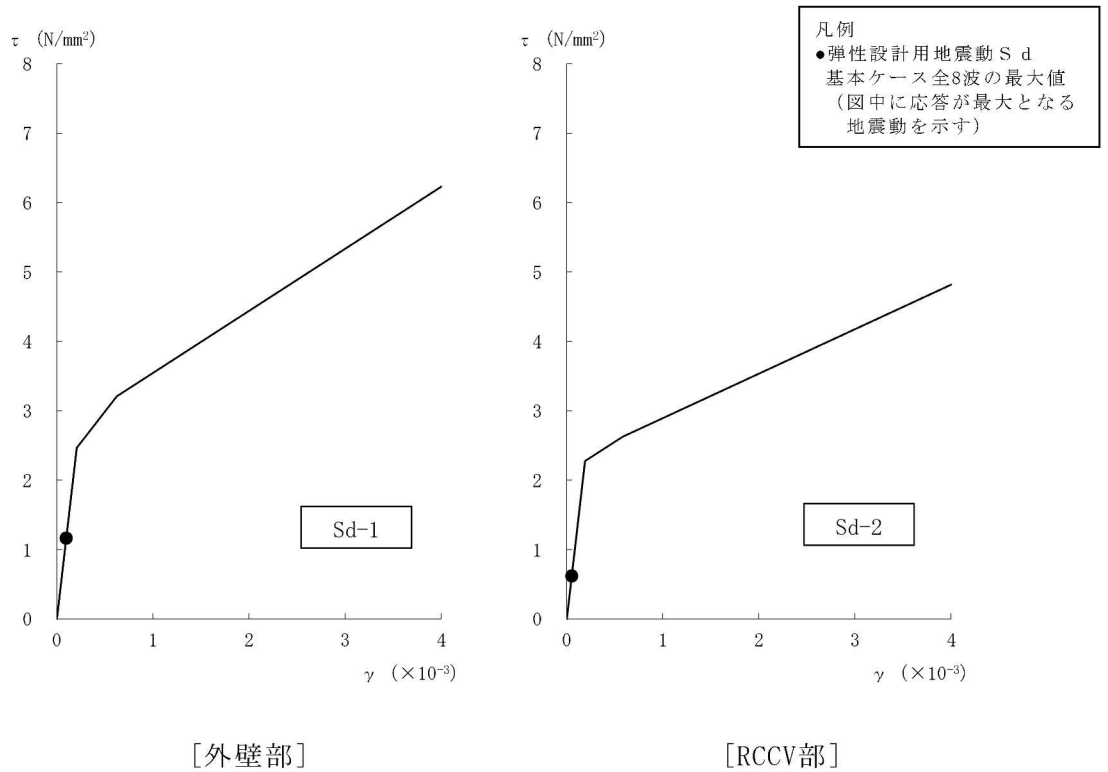


図4-28 せん断スケルトン曲線上の最大応答値（弾性設計用地震動 S d，EW方向，2F）
(4/8)

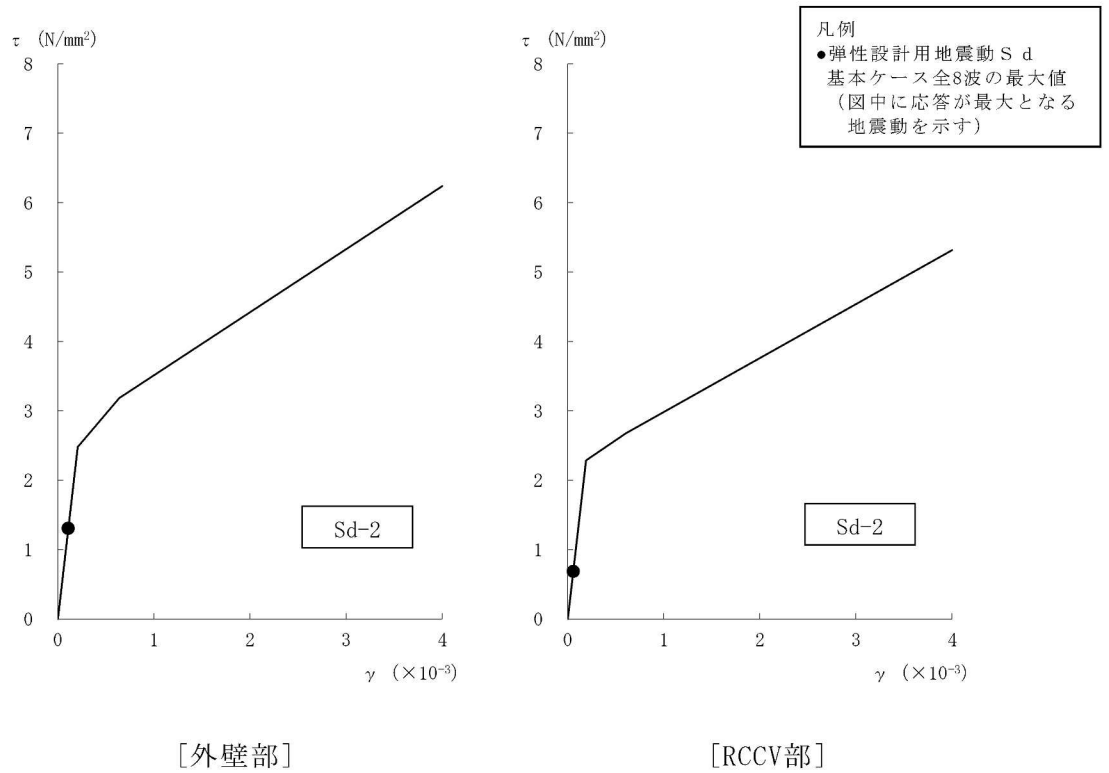


図4-28 せん断スケルトン曲線上の最大応答値（弾性設計用地震動 S d，EW方向，1F）
(5/8)

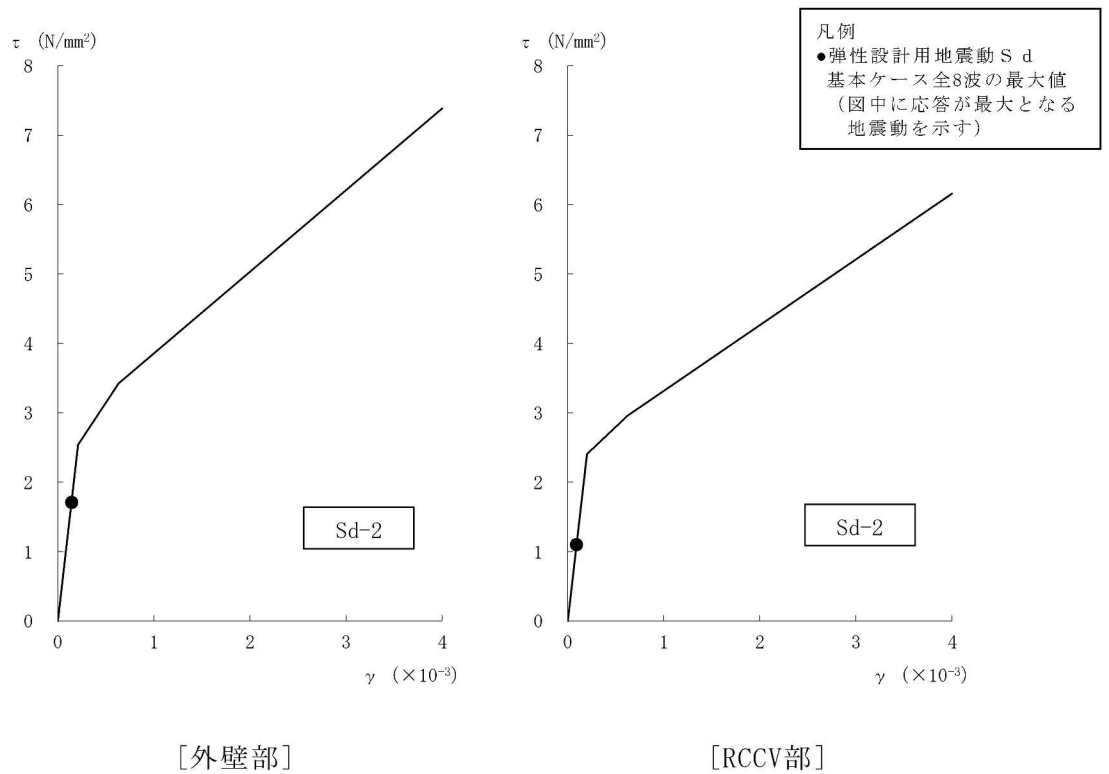


図4-28 せん断スケルトン曲線上の最大応答値（弾性設計用地震動 S d，EW方向，B1F）
(6/8)

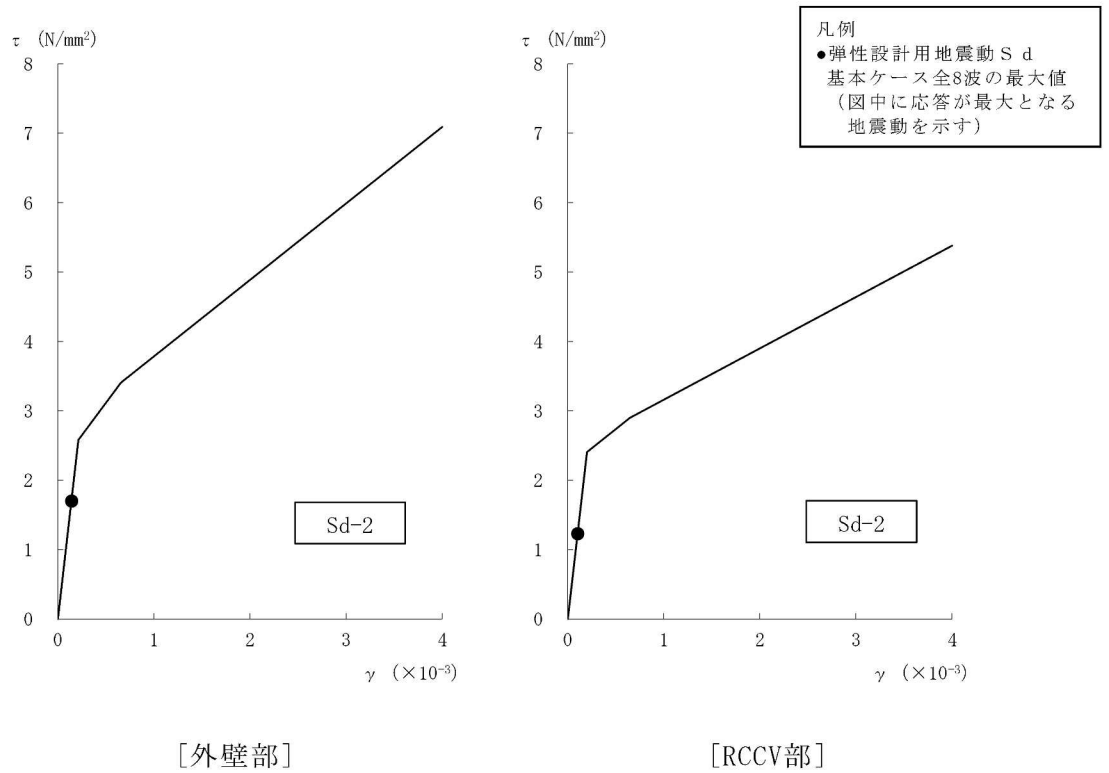


図4-28 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (弾性設計用地震動 S d, EW方向, B2F)
(7/8)

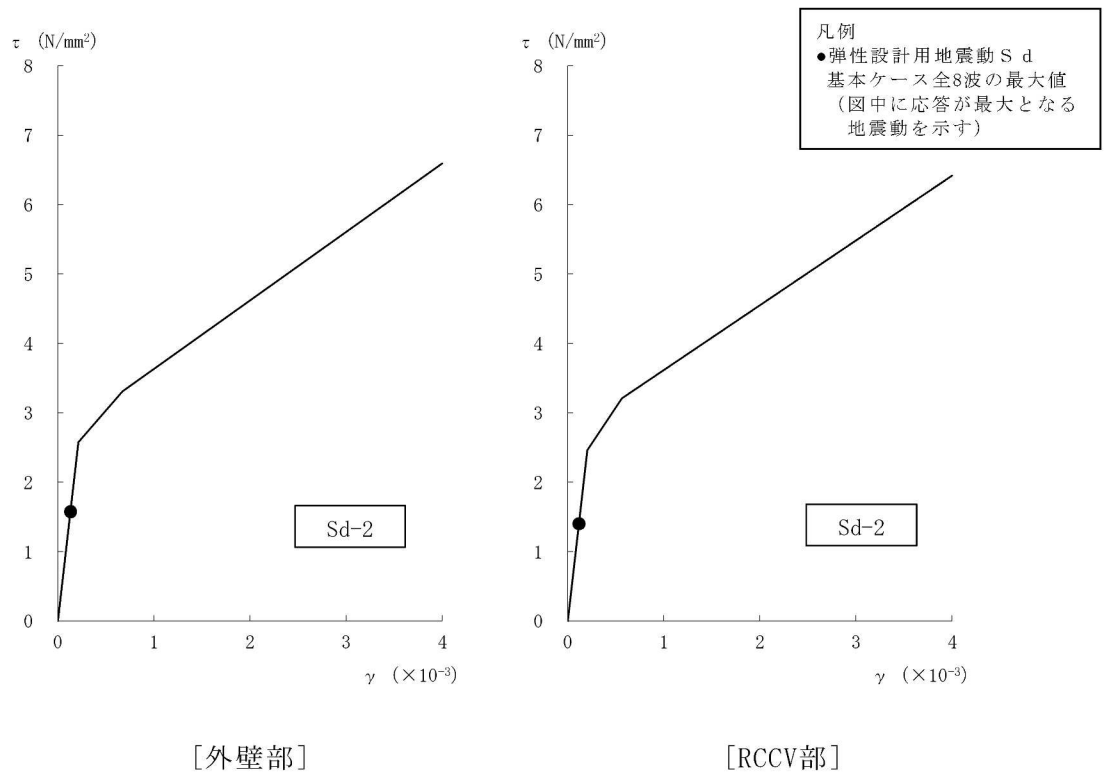


図4-28 せん断スケルトン曲線上の最大応答値 (弾性設計用地震動 S d, EW方向, B3F)
(8/8)

表4-18 弾性設計用地震動 S d による地震応答解析結果に基づく接地率

(a) NS方向

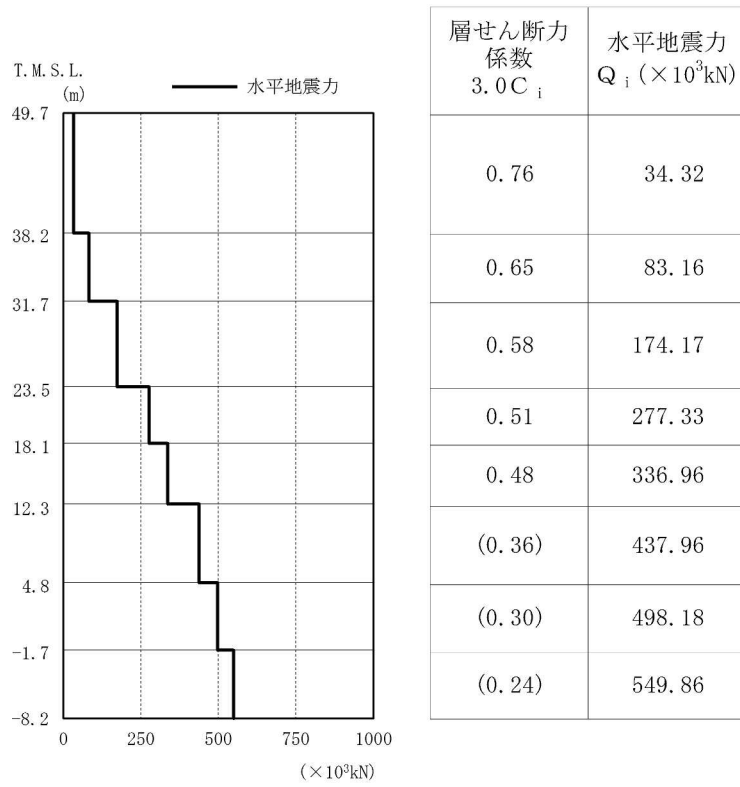
弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 (kN/m ²)	最大転倒モーメント (×10 ⁶ kN・m)	最小接地率 (%)
Sd-1	1230	17.5	100.0
Sd-2	1030	12.1	100.0
Sd-3	1060	12.8	100.0
Sd-4	889	8.32	100.0
Sd-5	878	7.91	100.0
Sd-6	904	8.71	100.0
Sd-7	848	7.01	100.0
Sd-8	1170	17.6	100.0

(b) EW方向

弾性設計用地震動 S d	最大接地圧 (kN/m ²)	最大転倒モーメント (×10 ⁶ kN・m)	最小接地率 (%)
Sd-1	1230	18.1	100.0
Sd-2	1230	19.4	100.0
Sd-3	1050	13.1	100.0
Sd-4	949	10.8	100.0
Sd-5	1040	13.5	100.0
Sd-6	970	11.4	100.0
Sd-7	1040	13.7	100.0
Sd-8	1140	17.7	100.0

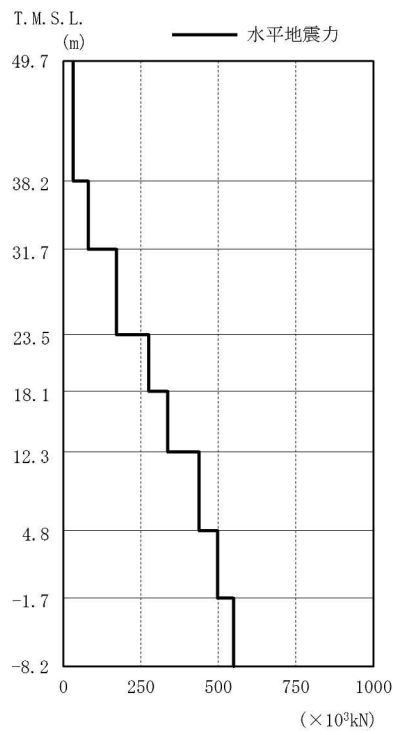
4.2 静的解析

静的地震力については、「3.3 解析方法」に示すとおり、平成3年8月23日付け3資庁第6675号にて認可された工事計画の添付資料「IV-2-3 原子炉建屋の地震応答計算書」にて算出した値を用いる。地震層せん断力係数 $3.0C_1$ 及び静的地震力（水平地震力）を図4-29及び図4-30に示す。



注：() 内数値は地下震度を示す。

図4-29 地震層せん断力係数 ($3.0 C_i$) 及び水平地震力 (NS方向)



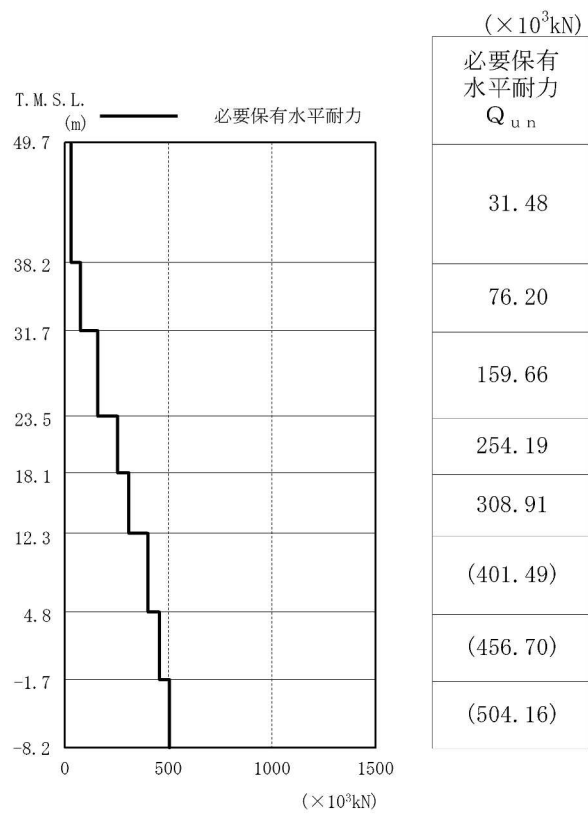
層せん断力係数 $3.0C_i$	水平地震力 $Q_i (\times 10^3 \text{kN})$
0.72	32.95
0.64	80.90
0.57	171.42
0.51	276.25
0.48	336.96
(0.36)	437.96
(0.30)	498.18
(0.24)	549.86

注：() 内数値は地下震度を示す。

図4-30 地震層せん断力係数 ($3.0C_i$) 及び水平地震力 (EW方向)

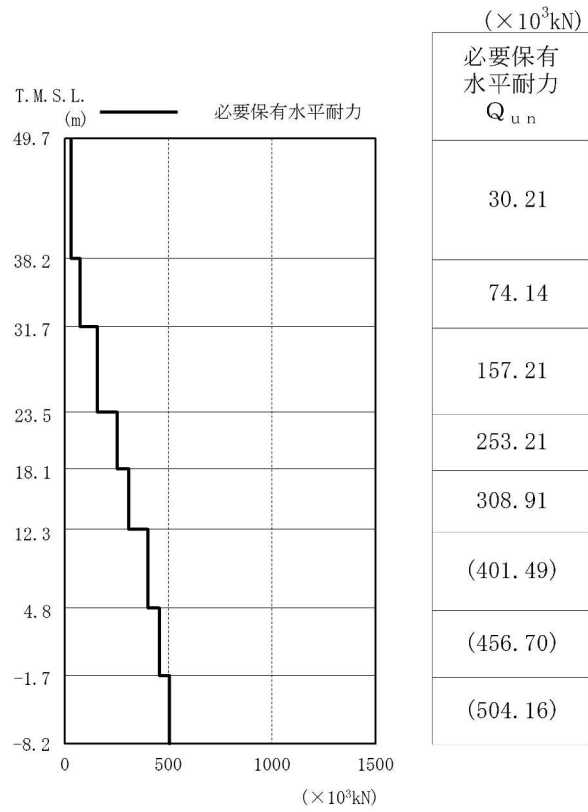
4.3 必要保有水平耐力

必要保有水平耐力については、「3.3 解析方法」に示すとおり、平成3年8月23日付け3資庁第6675号にて認可された工事計画の添付資料「IV-2-7-1 原子炉建屋の耐震性についての計算書」にて算出した値を用いる。必要保有水平耐力 Q_{un} を図4-31及び図4-32に示す。



注：() 内数値は地下震度を使用した場合を示す。

図4-31 必要保有水平耐力 Q_{un} (NS方向)



注：() 内数値は地下震度を使用した場合を示す。

図4-32 必要保有水平耐力 Q_{un} (EW方向)

別紙3 DAC3N

1. 使用状況一覧

使用添付書類		バージョン
V-2-2-1	原子炉建屋の地震応答計算書	Ver.97

2. 解析コードの概要

項目 \ コード名	D A C 3 N
使用目的	固有値解析及び地震応答解析
開発機関	清水建設株式会社
開発時期	1997 年
使用したバージョン	Ver. 97
コードの概要	<p>本解析コードは、ばね要素やはり要素などでモデル化された建屋－地盤連成系モデルの固有値解析及び地震応答解析を行うプログラムである。</p>
検証 (Verification) 及び 妥当性確認 (Validation)	<p>本解析コードは、原子炉建屋について、基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d に対する建屋の応答を評価するために使用している。</p> <p>【検証 (Verification)】</p> <p>本解析コードの検証内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既工事計画において実績のある別コード による弾塑性を考慮した多質点系の解析結果と一致することを確認している。 ・動作環境を満足する計算機にインストールして使用している。 <p>【妥当性確認 (Validation)】</p> <p>本解析コードの妥当性確認内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検証の内容のとおり、弾塑性を考慮した多質点系の地震応答について検証していることから、解析の目的に照らして今回の解析に適用することは妥当である。

別紙4 GRIMP2

1. 使用状況一覧

使用添付書類		バージョン
V-2-2-1	原子炉建屋の地震応答計算書	Ver. 2.5

2. 解析コードの概要

項目 \ コード名	G R I M P 2
使用目的	地震応答解析モデルにおける基礎底面地盤ばねの算定
開発機関	清水建設株式会社
開発時期	1988 年
使用したバージョン	Ver. 2.5
コードの概要	<p>本解析コードは、振動アドミッタンス理論により、基礎の水平、上下及び回転に対する地盤の複素ばね剛性を振動数領域で計算するプログラムである。</p>
検証 (Verification) 及び 妥当性確認 (Validation)	<p>本解析コードは、原子炉建屋の水平方向及び鉛直方向の地震応答解析における質点系建屋－地盤連成モデルの基礎底面地盤ばねを評価するために使用している。</p> <p>【検証 (Verification)】</p> <p>本解析コードの検証内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本解析コードを用いて評価した基礎底面地盤の水平ばね、鉛直ばね及び回転ばねが * の計算結果と良い一致を示すことを確認している。 ・動作環境を満足する計算機にインストールして使用している。 <p>【妥当性確認 (Validation)】</p> <p>本解析コードの妥当性確認内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検証の内容のとおり、基礎底面地盤の水平ばね、鉛直ばね及び回転ばねについて検証していることから、解析の目的に照らして今回の解析に適用することは妥当である。

注記* :

別紙5 KSHAKE

1. 使用状況一覧

使用添付書類		バージョン
V-2-2-1	原子炉建屋の地震応答計算書	Ver.2

2. 解析コードの概要

項目 \ コード名	K S H A K E
使用目的	入力地震動の策定
開発機関	清水建設株式会社
開発時期	1983 年
使用したバージョン	Ver. 2
コードの概要	<p>本解析コードは、米国カリフォルニア大学から発表された S H A K E を基本に開発したプログラムで、1次元重複反射理論に基づく地盤の伝達関数及び時刻歴応答波形を計算するプログラムである。</p>
検証 (Verification) 及び 妥当性確認 (Validation)	<p>本解析コードは、原子炉建屋の地震応答解析における入力地震動の策定において、基準地震動 S_s 及び弾性設計用地震動 S_d に対する地盤の応答を評価するために使用している。</p> <p>【検証 (Verification)】</p> <p>本解析コードの検証内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本解析コードを用いて評価した弾性地盤の増幅特性が理論解と一致することを確認している。 ・既工事計画において実績のある別コード による解析結果と一致することを確認している。 ・動作環境を満足する計算機にインストールして使用している。 <p>【妥当性確認 (Validation)】</p> <p>本解析コードの妥当性確認内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検証の内容のとおり、地盤の応答解析について検証していることから、解析の目的に照らして今回の解析に適用することは妥当である。

別紙6 NVK263

1. 使用状況一覧

使用添付書類		バージョン
V-2-2-1	原子炉建屋の地震応答計算書	Ver. 1.0

2. 解析コードの概要

項目 \ コード名	N V K 2 6 3
使用目的	地震応答解析モデルにおける側面地盤ばねの算定
開発機関	清水建設株式会社
開発時期	1985 年
使用したバージョン	Ver. 1.0
コードの概要	<p>本解析コードは、に基づき、水平、上下、回転及びねじれに対する地盤の複素ばね剛性を振動数領域で計算するプログラムである。</p>
検証 (Verification) 及び 妥当性確認 (Validation)	<p>本解析コードは、原子炉建屋の水平方向の地震応答解析における質点系建屋－地盤連成モデルの建屋埋込み部分の側面地盤ばねを評価するために使用している。</p> <p>【検証 (Verification)】</p> <p>本解析コードの検証内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本解析コードを用いて評価した建屋側面地盤の水平ばね及び回転ばねが の計算結果と良い一致を示すことを確認している。 ・動作環境を満足する計算機にインストールして使用している。 <p>【妥当性確認 (Validation)】</p> <p>本解析コードの妥当性確認内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検証の内容のとおり、建屋側面地盤の水平ばね及び回転ばねについて検証していることから、解析の目的に照らして今回の解析に適用することは妥当である。

3. 解析手法

3.1 一般事項

本解析コードは、Novakの論文に基づき、水平、上下、回転及びねじれに対する地盤の複素ばね剛性を振動数領域で計算するプログラムである。本解析コードは、原子炉建屋の水平方向の地震応答解析における質点系建屋－地盤連成モデルの建屋埋込み部分の側面地盤ばねを評価するために使用している。

3.2 解析コードの特徴

本解析コードの主な特徴を以下に示す。

- ・平面ひずみを仮定した無限地盤にある円形基礎の側面地盤ばねを算定できる。
- ・円形基礎は剛体として扱う。

3.3 解析手法

円形基礎の側面と接する地盤に対する水平，上下，回転及びねじれ加振した場合の力-変形関係から建屋の側面地盤ばねを算定する方法である。

建屋側面地盤の水平ばね K_a 及び回転ばね K_c は，0 次と 1 次の変形ベッセル関数を用いて，(3.1) 式及び(3.2) 式で評価される。

$$K_a = -\pi H_j G_j a_0^2 \frac{4K_1(b_0^*) K_1(a_0^*) + a_0^* K_1(b_0^*) K_0(a_0^*) + b_0^* K_0(b_0^*) K_1(a_0^*)}{b_0^* K_0(b_0^*) K_1(a_0^*) + a_0^* K_1(b_0^*) K_0(a_0^*) + b_0^* a_0^* K_0(b_0^*) K_0(a_0^*)} \quad (3.1)$$

$$K_c = \pi G_j r_0^2 \left[1 + a_0^* \frac{K_0(a_0^*)}{K_1(a_0^*)} \right] \quad (3.2)$$

ここで，

- π : 円周率
- H_j : 建物質点 j の支配高さ
- G_j : 建物質点 j の支配高さにおける地下部外壁に接する地盤のせん断弾性係数

$$a_0 = \omega r_0 / V_s \quad (\text{等価円置換の無次元振動数})$$

$$b_0 = \omega r_0 / V_p \quad (\text{等価円置換の無次元振動数})$$

$$r_0 = \sqrt{B_x B_y / \pi} \quad (\text{等価円半径})$$

- ω : 円振動数
- V_s : 地下部外壁に接する地盤の S 波速度
- B_x, B_y : 建物の辺長
- $K_0(), K_1()$: それぞれ 0 次と 1 次の変形ベッセル関数

$$a_0^* = \frac{a_0}{\sqrt{1+i \cdot 2h_j}} \cdot i, \quad b_0^* = a_0^* / \eta_j, \quad \eta_j = \sqrt{2(1-\nu_j)/(1-2\nu_j)}$$

- h_j, ν_j : 地下部外壁に接する地盤のそれぞれの減衰定数とポアソン比

3.4 解析フローチャート

解析フローチャートを図3-1に示す。

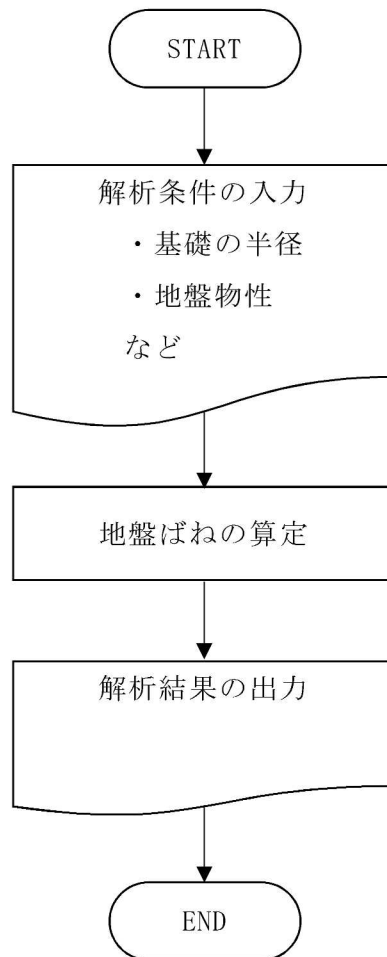


図 3-1 解析フローチャート

3.5 検証 (Verification) と妥当性確認 (Validation)

3.5.1 文献との比較による検証

以下に示す条件について水平ばね及び回転ばねを評価し、

の計算結果との比較を行う。

- ・地盤のポアソン比は 0.33 とする。
- ・地盤の材料減衰定数は 0.00, 0.05, 0.10 の 3 ケースとする。

水平ばね及び回転ばねの比較結果を図 3-2 に示す。

図 3-2 より、本解析コードの結果は の計算結果と良い一致を示しており、本解析コードが建屋側面地盤の水平ばね及び回転ばねを正しく評価していることが確認できる。



図 3-2 解析結果の比較

3.5.2 使用内容に対する妥当性

原子炉建屋の地震応答解析における側面地盤ばねの算定に本解析コードを使用することは、次のとおり、本解析の適用範囲に対して検証されており、妥当である。

- ・検証の内容のとおり、建屋側面地盤の水平ばね及び回転ばねについて検証していることから、解析の目的に照らして今回の解析に使用することは妥当である。

4. 引用文献

別紙3-2 材料物性の不確かさを考慮した地震応答解析結果

目 次

1. 概要	別紙3-2-1
2. 地震応答解析結果	別紙3-2-1
2.1 建屋剛性及び地盤剛性の不確かさ	別紙3-2-1
2.2 建屋剛性の不確かさ	別紙3-2-110
2.3 側面回転ばねの不確かさ	別紙3-2-219
3. まとめ	別紙3-2-316

1. 概要

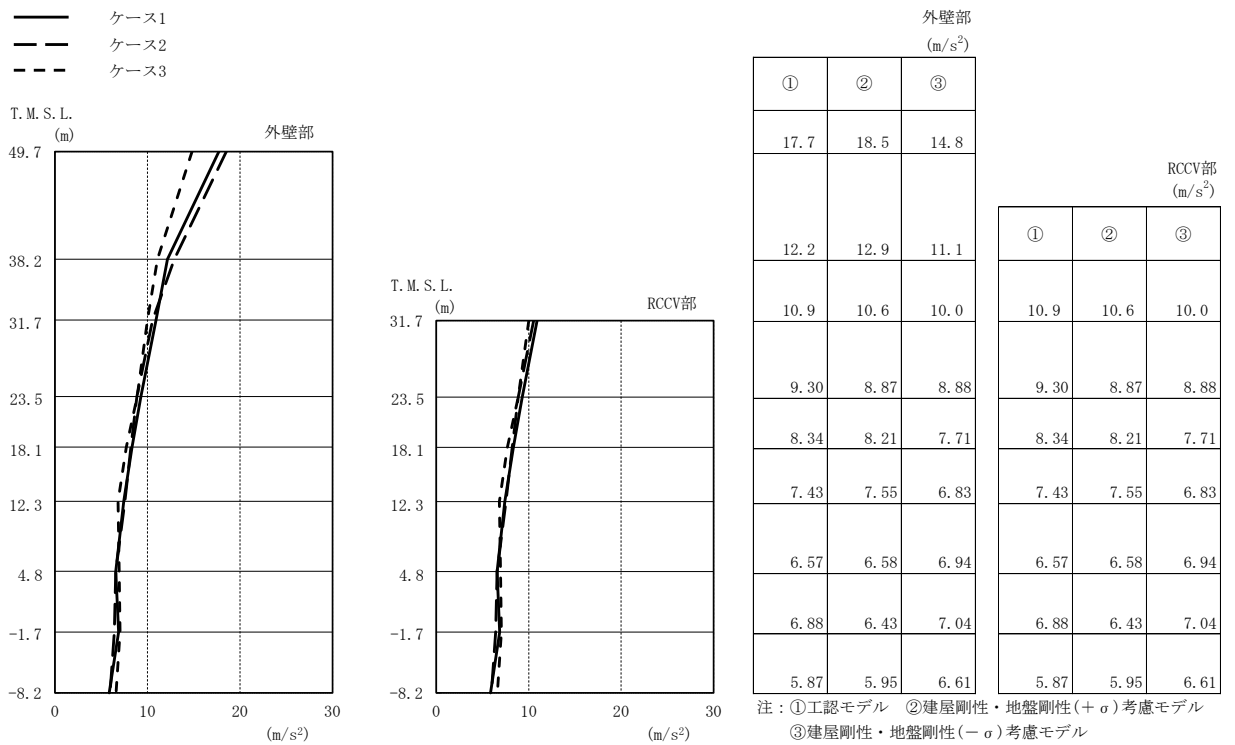
本資料は原子炉建屋の地震応答解析において、材料物性の不確かさを考慮した地震応答解析結果を示すものである。

2. 地震応答解析結果

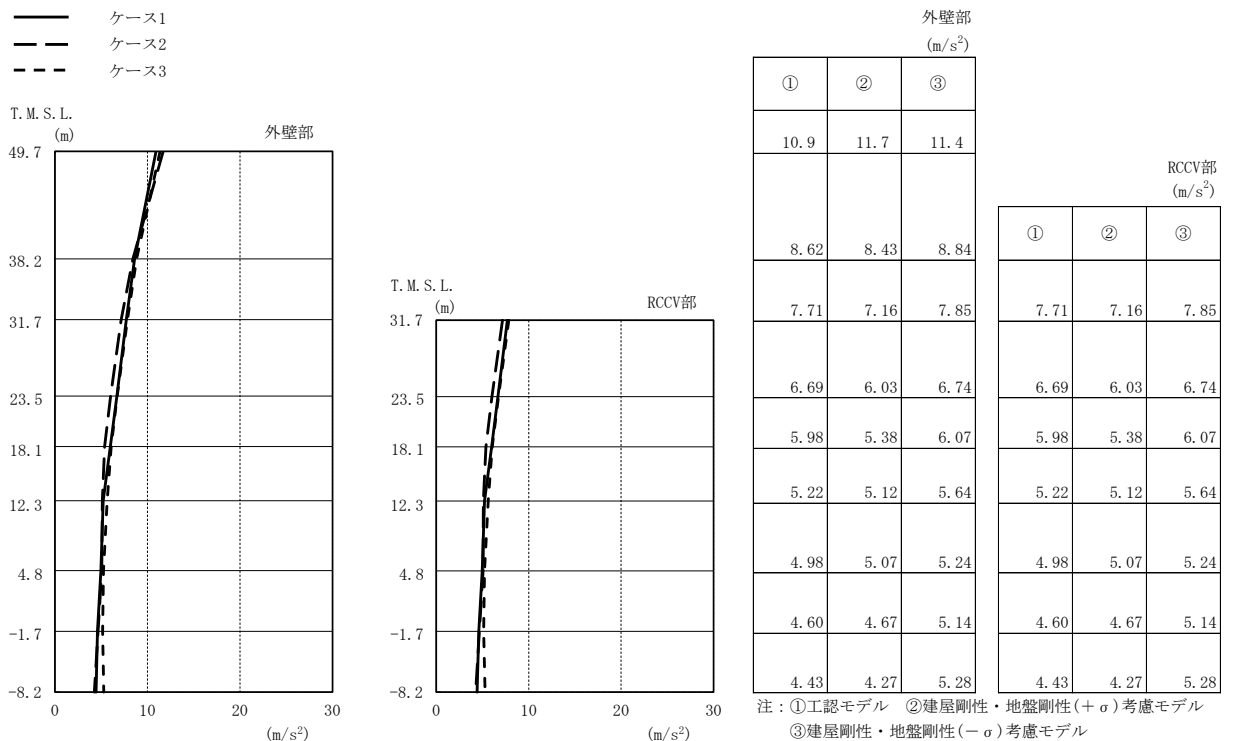
2.1 建屋剛性及び地盤剛性の不確かさ

建屋剛性及び地盤剛性の不確かさを考慮した基準地震動 S_s に対する地震応答解析結果を図2-1～図2-19に、弾性設計用地震動 S_d に対する地震応答解析結果を図2-20～図2-38に示す。

以後、基本ケースをケース1、建屋剛性+ σ 地盤剛性+ σ としたケースをケース2、建屋剛性- σ 地盤剛性- σ としたケースをケース3として示す。

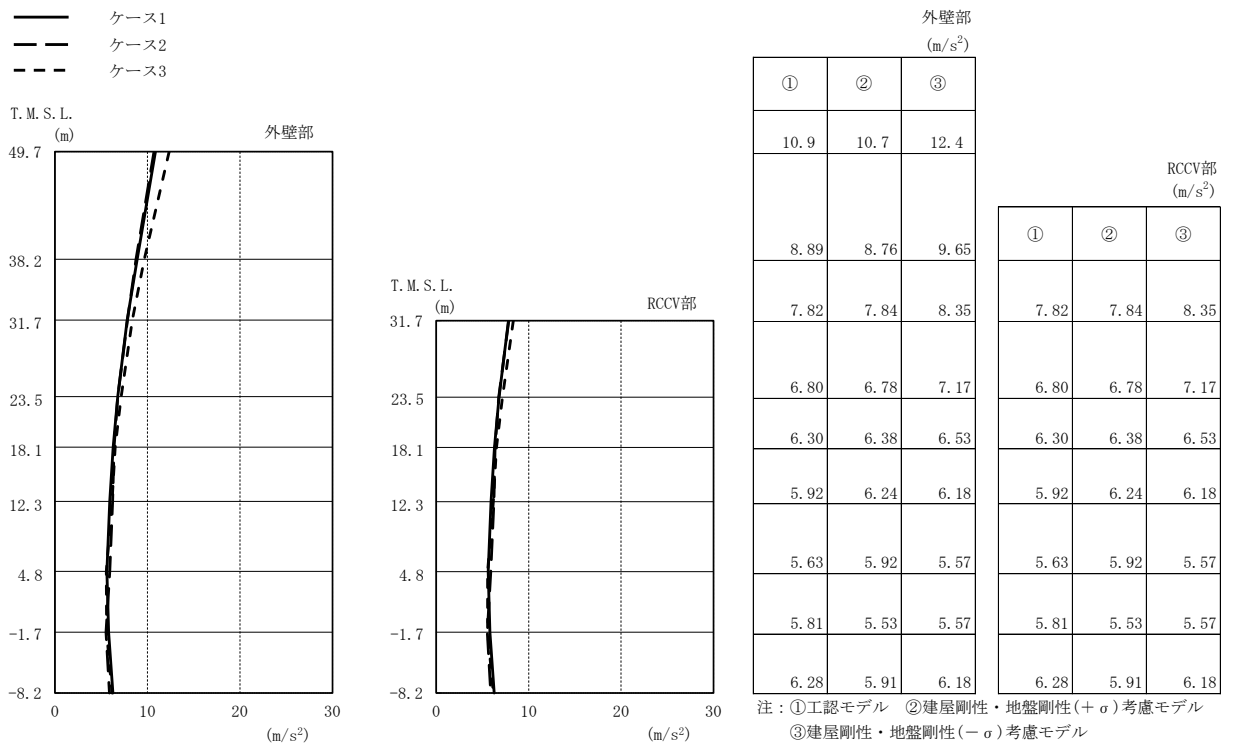


(a) Ss-1

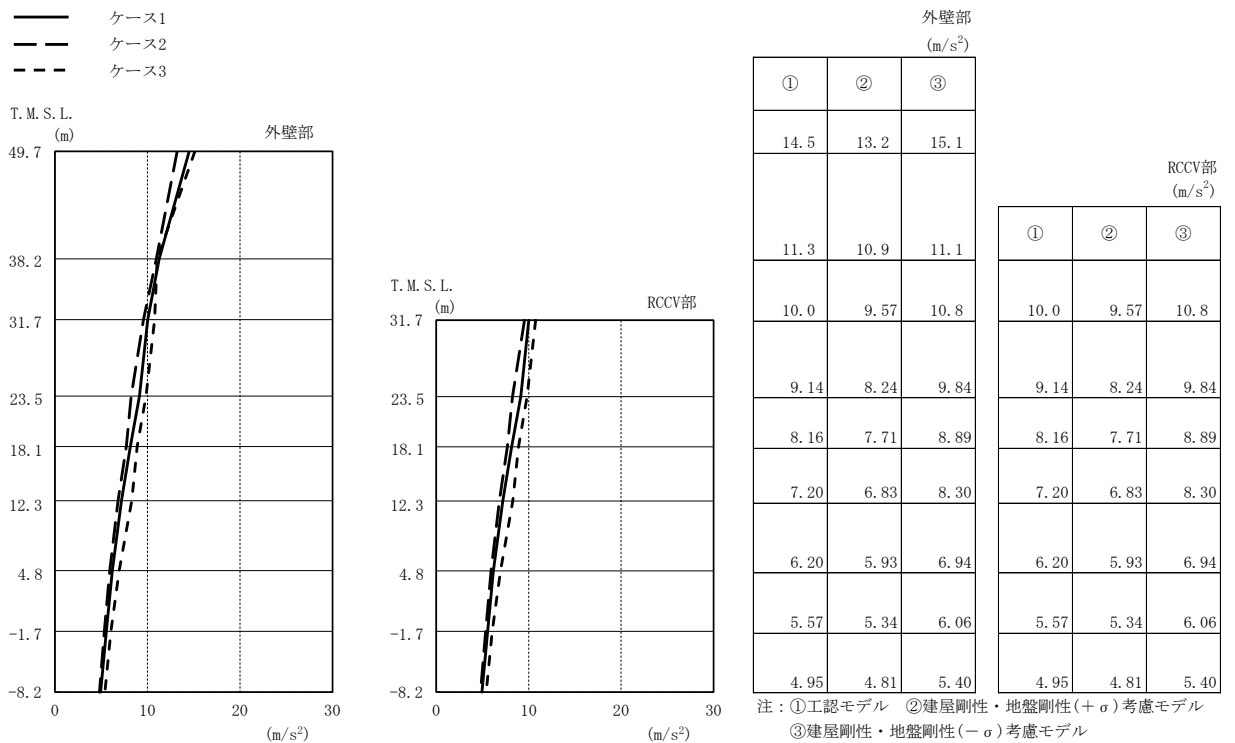


(b) Ss-2

図2-1 最大応答加速度 (基準地震動 S_s, NS方向) (1/2)

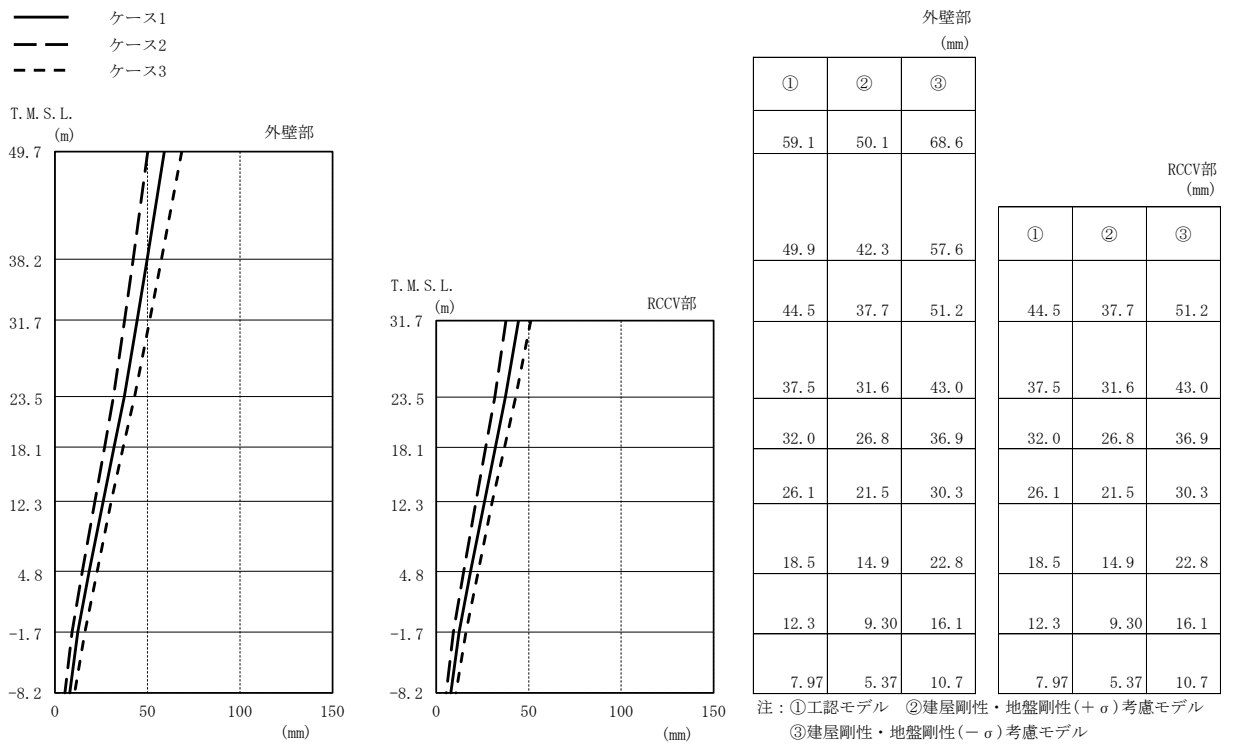


(c) Ss-3

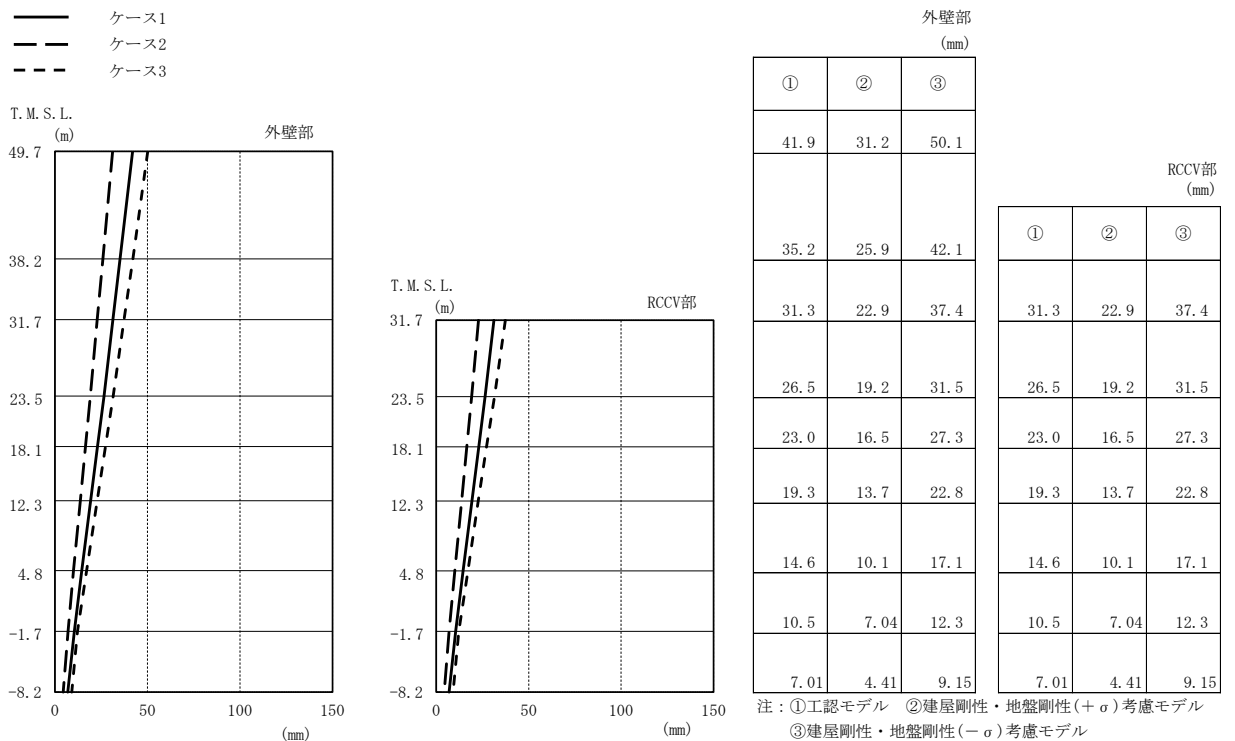


(d) Ss-8

図2-1 最大応答加速度 (基準地震動 S_s, NS方向) (2/2)

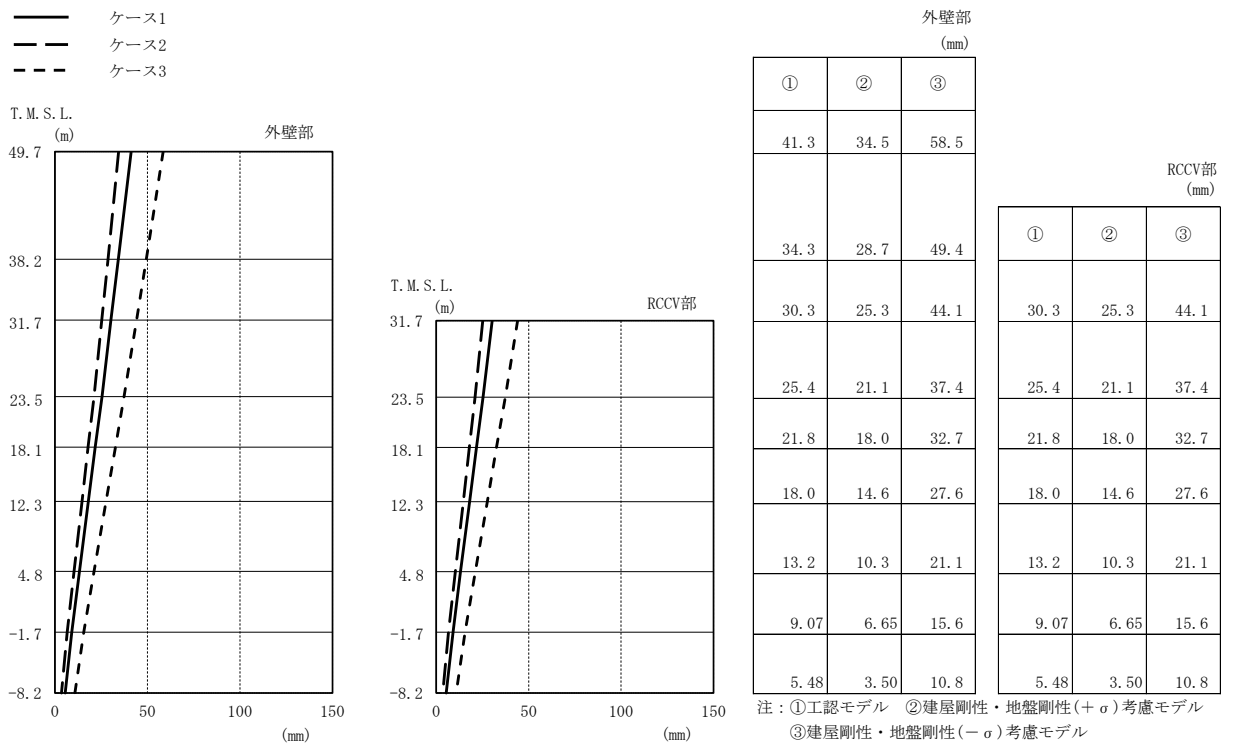


(a) Ss-1

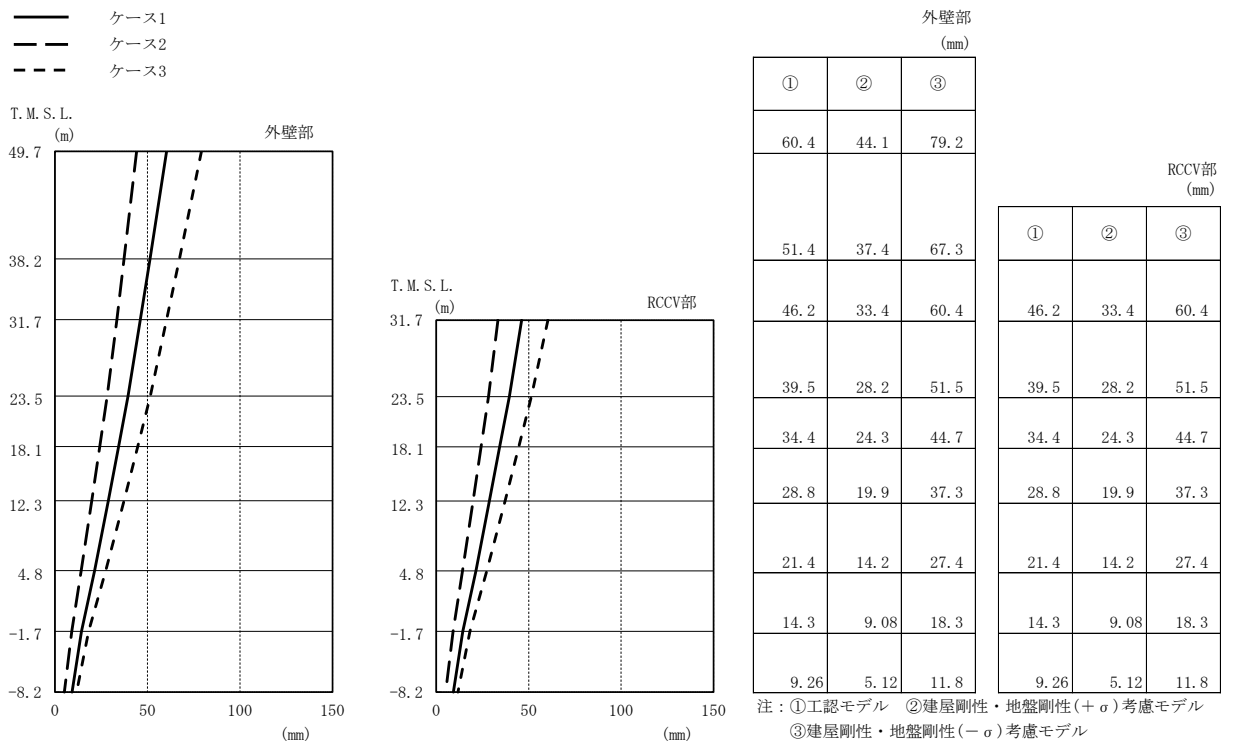


(b) Ss-2

図2-2 最大応答変位 (基準地震動 S_s, NS方向) (1/2)

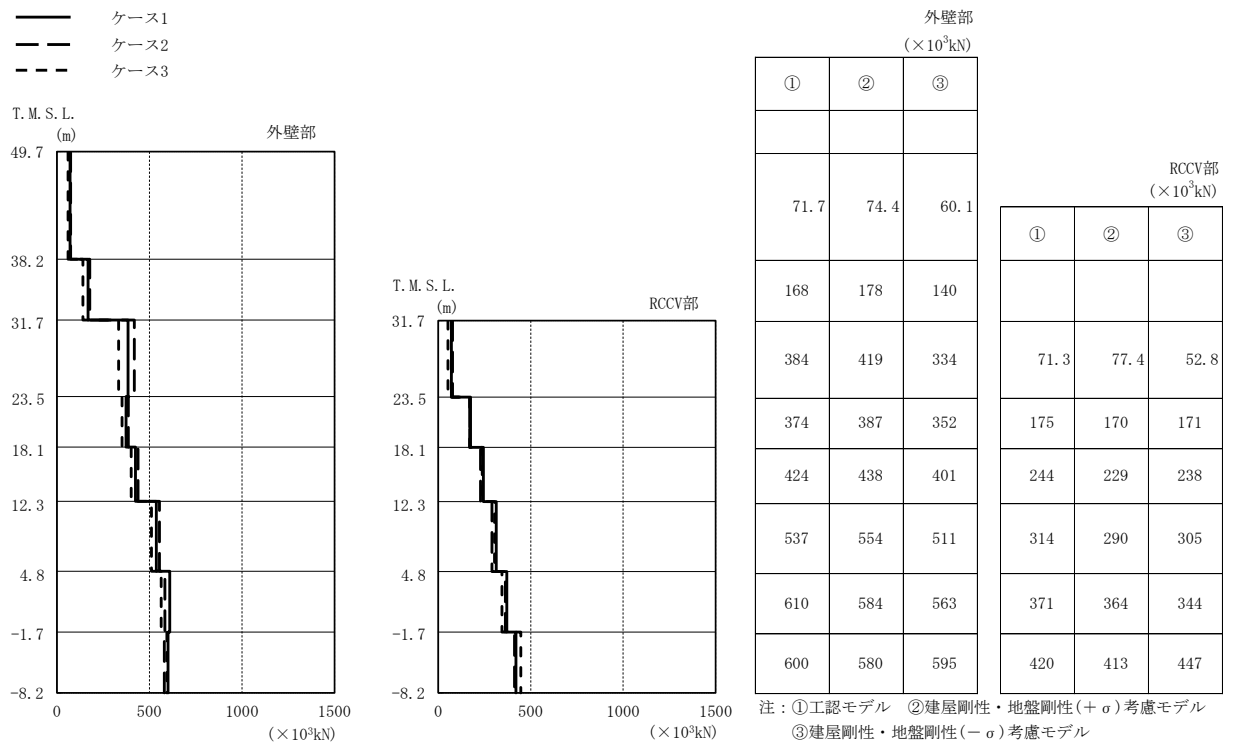


(c) Ss-3

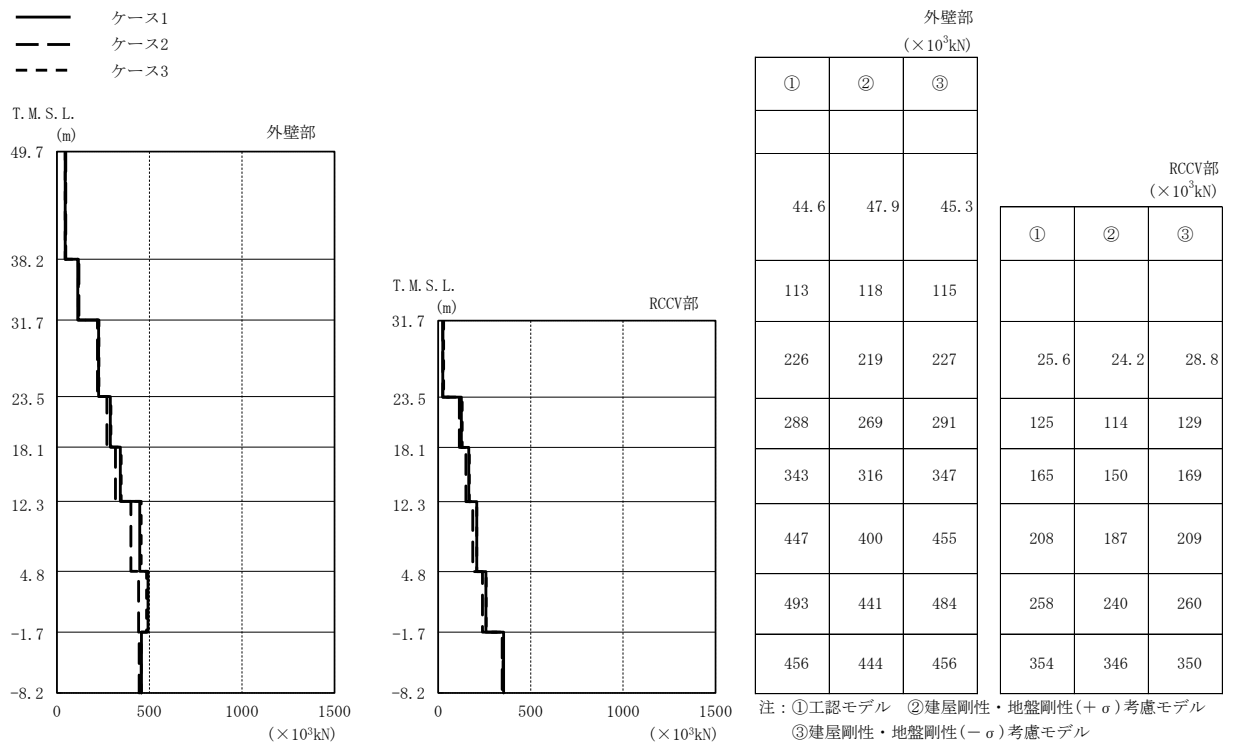


(d) Ss-8

図2-2 最大応答変位 (基準地震動 S_s, NS方向) (2/2)

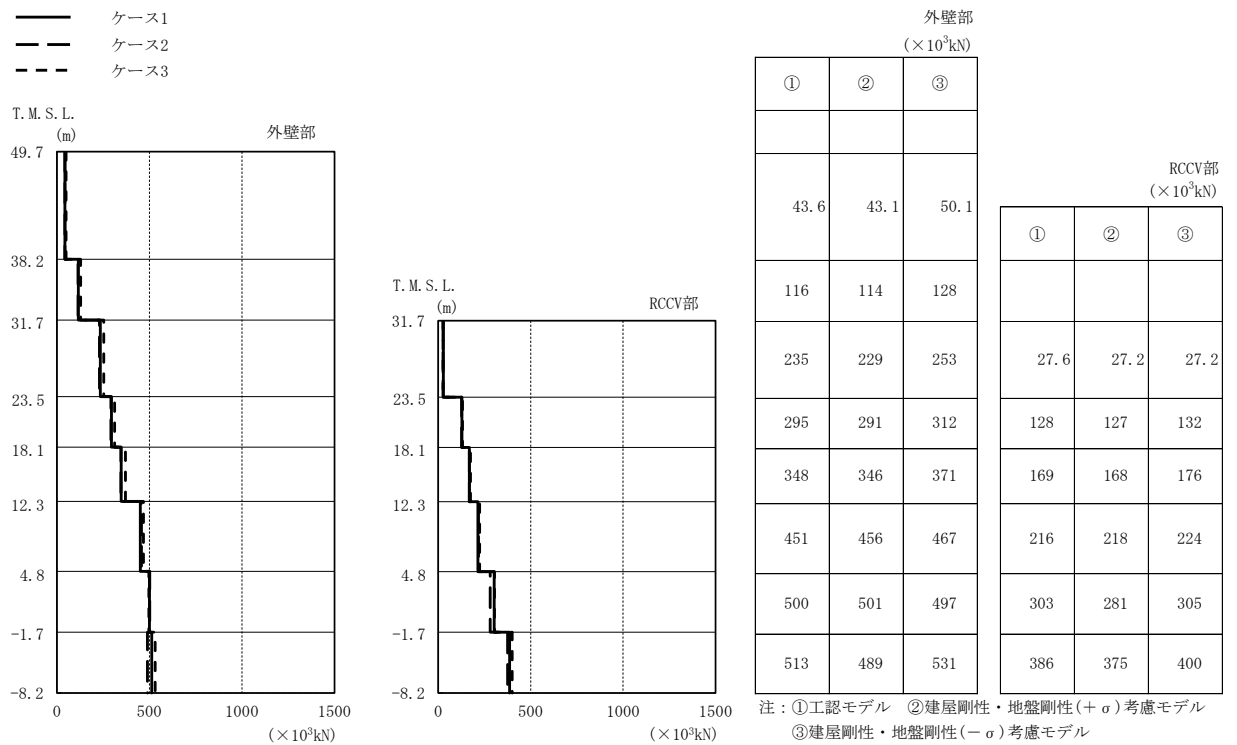


(a) Ss-1

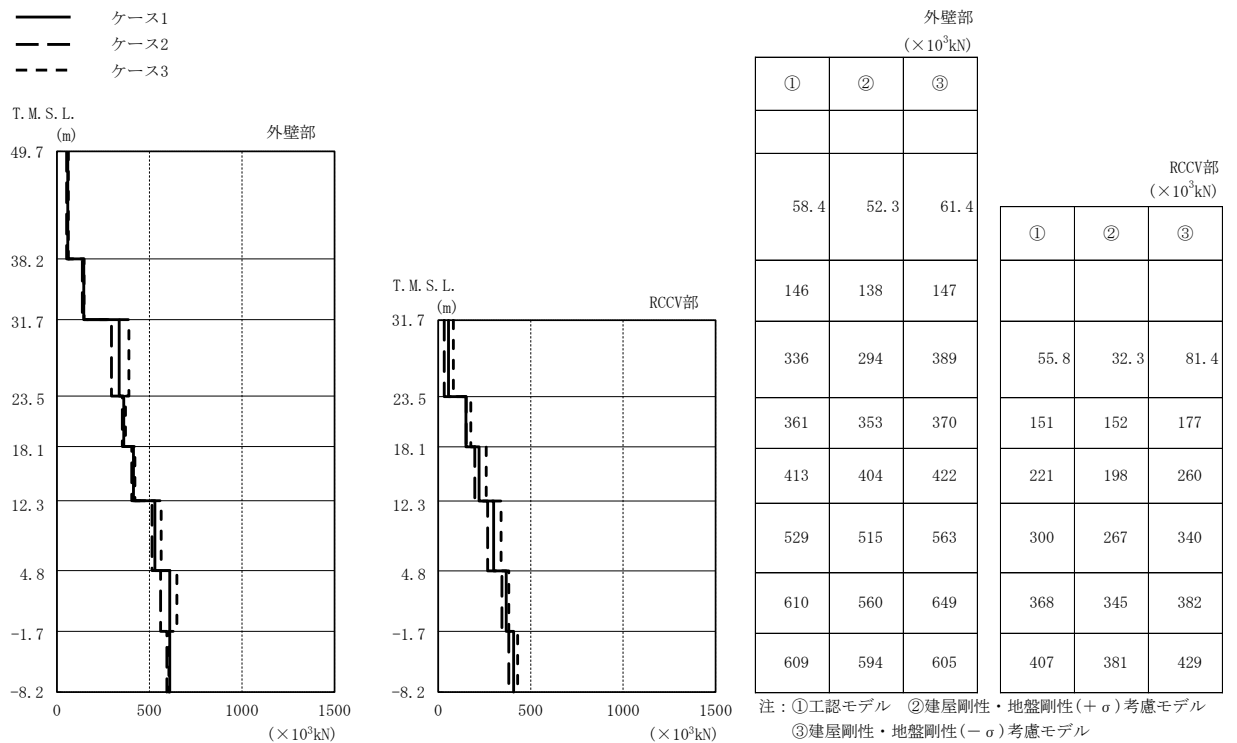


(b) Ss-2

図2-3 最大応答せん断力（基準地震動 S_s, NS方向）(1/2)

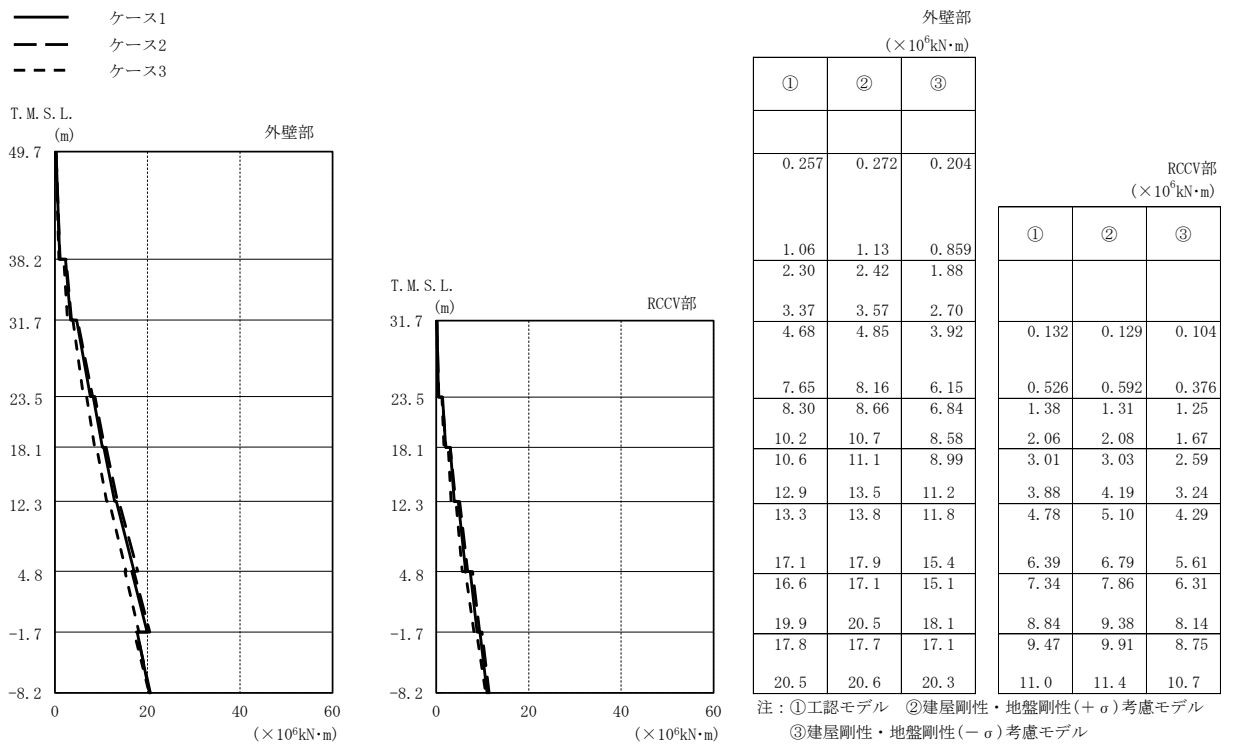


(c) Ss-3

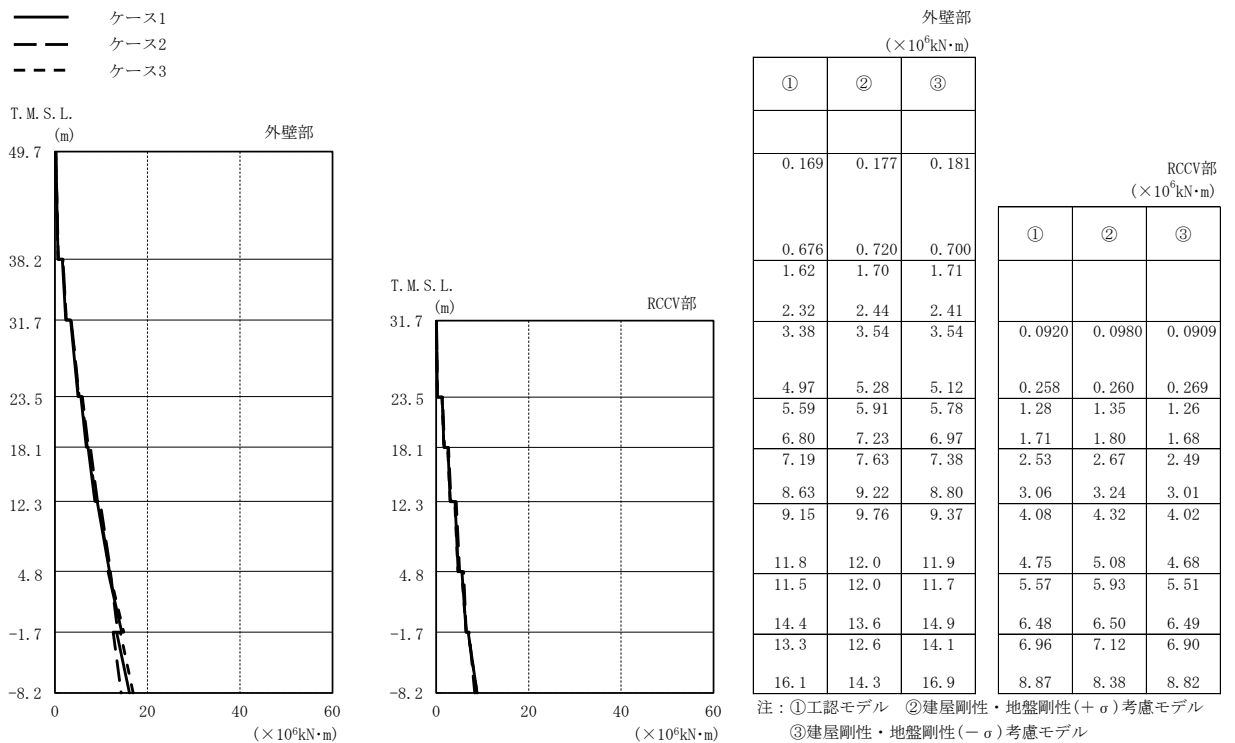


(d) Ss-8

図2-3 最大応答せん断力 (基準地震動 S_s, NS方向) (2/2)

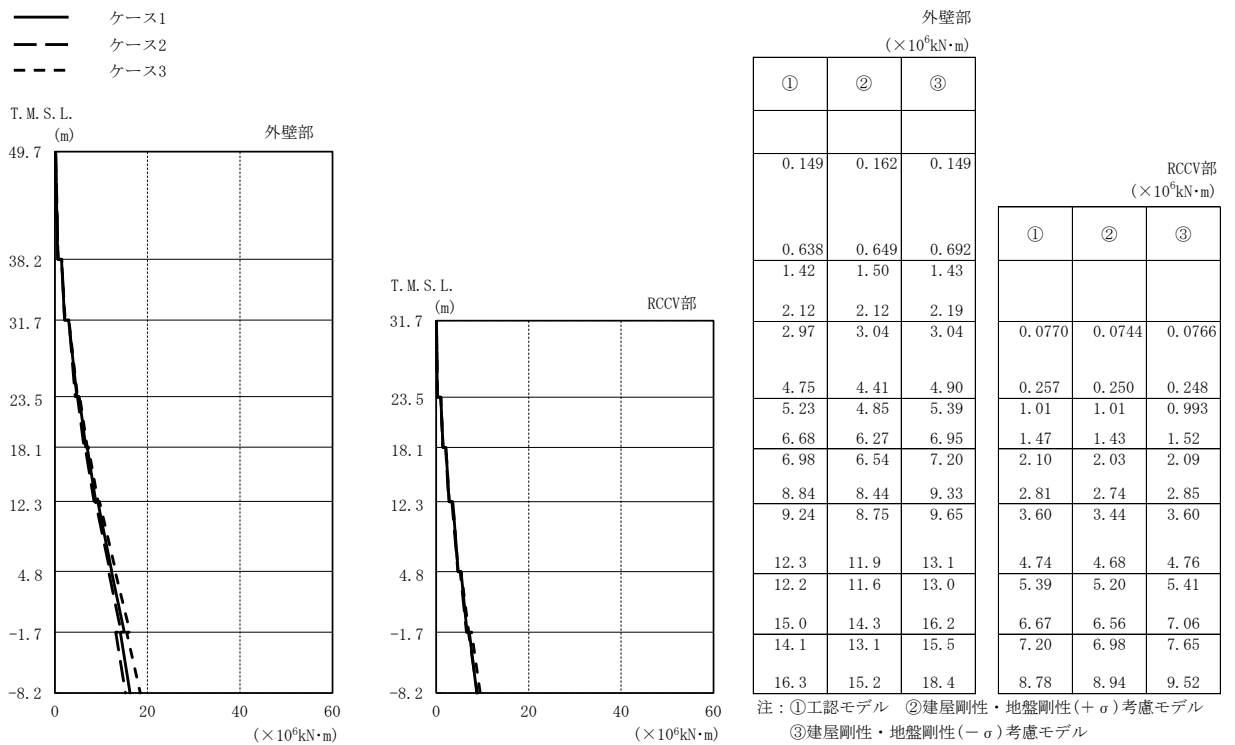


(a) Ss-1

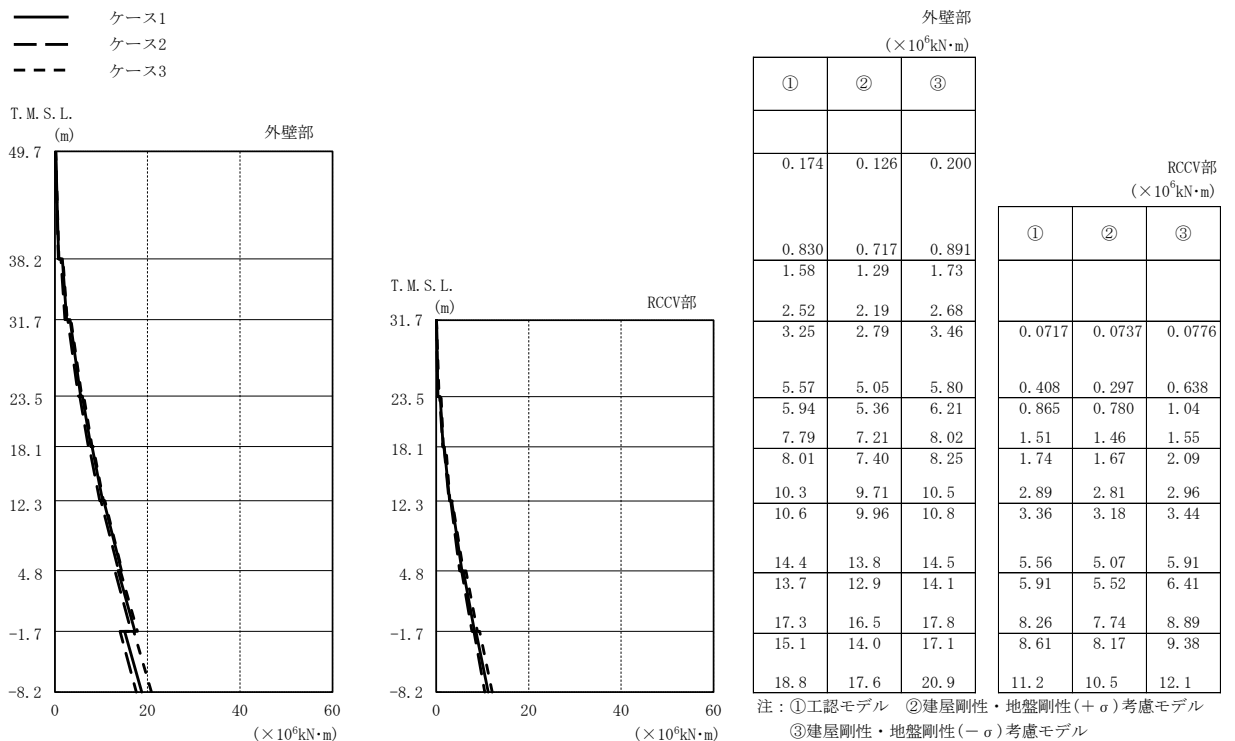


(b) Ss-2

図2-4 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S_s, NS方向) (1/2)

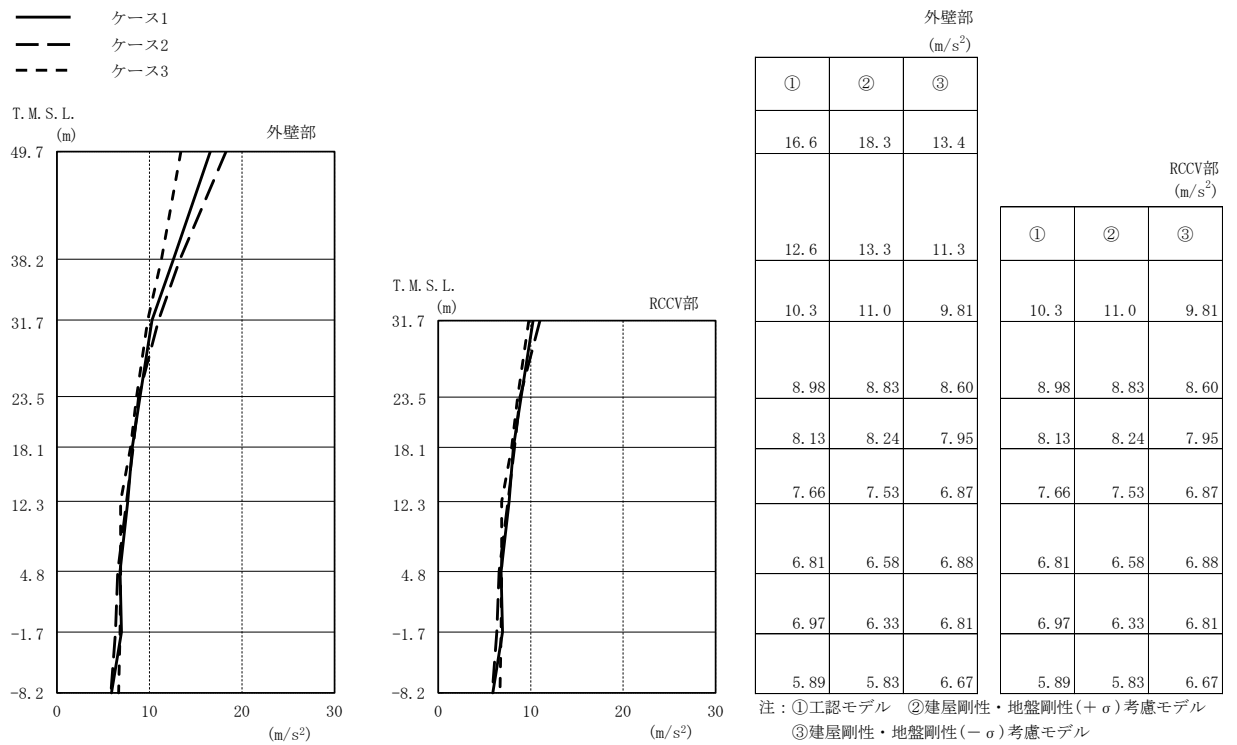


(c) Ss-3

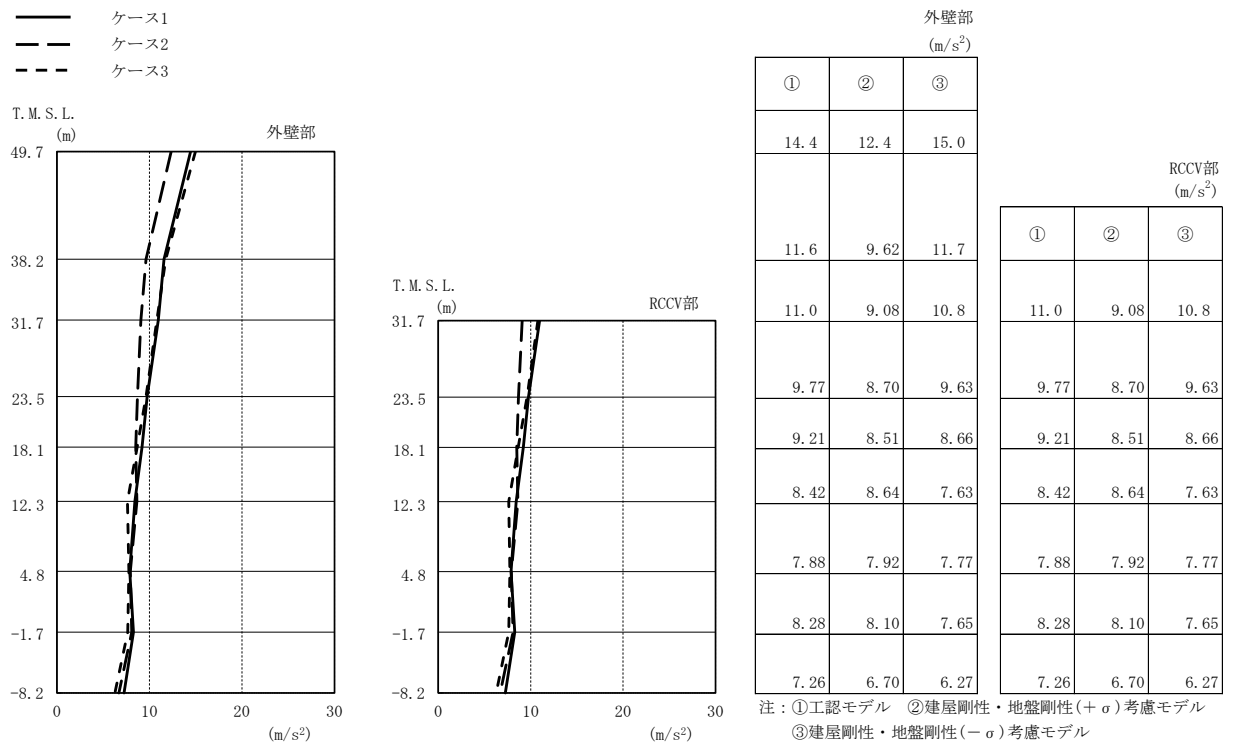


(d) Ss-8

図2-4 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S_s, NS方向) (2/2)

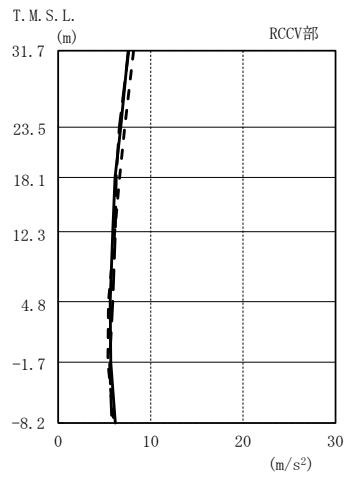
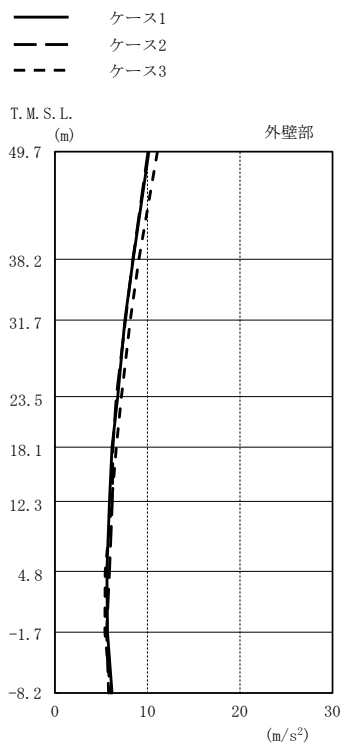


(a) Ss-1



(b) Ss-2

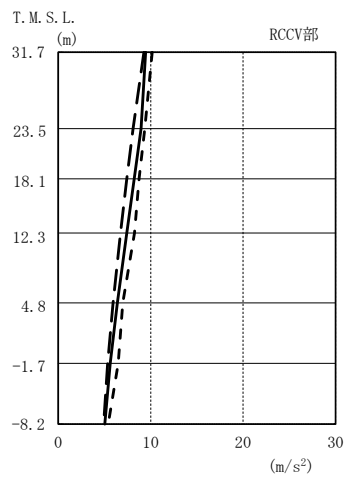
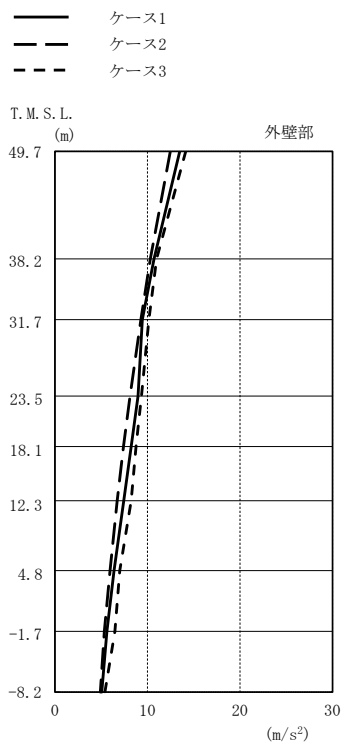
図2-5 最大応答加速度 (基準地震動 S_s, EW方向) (1/2)



外壁部 (m/s ²)			RCCV部 (m/s ²)		
①	②	③	①	②	③
10.2	10.1	11.1	7.56	7.64	8.15
8.44	8.43	9.07	6.78	6.62	7.20
7.56	7.64	8.15	6.17	6.28	6.65
6.78	6.62	7.20	5.90	6.20	6.13
6.17	6.28	6.65	5.63	5.90	5.43
5.90	6.20	6.13	5.68	5.58	5.40
5.63	5.90	5.43	6.18	5.81	6.03
5.68	5.58	5.40	6.18	5.81	6.03
6.18	5.81	6.03	6.18	5.81	6.03

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性(+σ)考慮モデル
③建屋剛性・地盤剛性(-σ)考慮モデル

(c) Ss-3

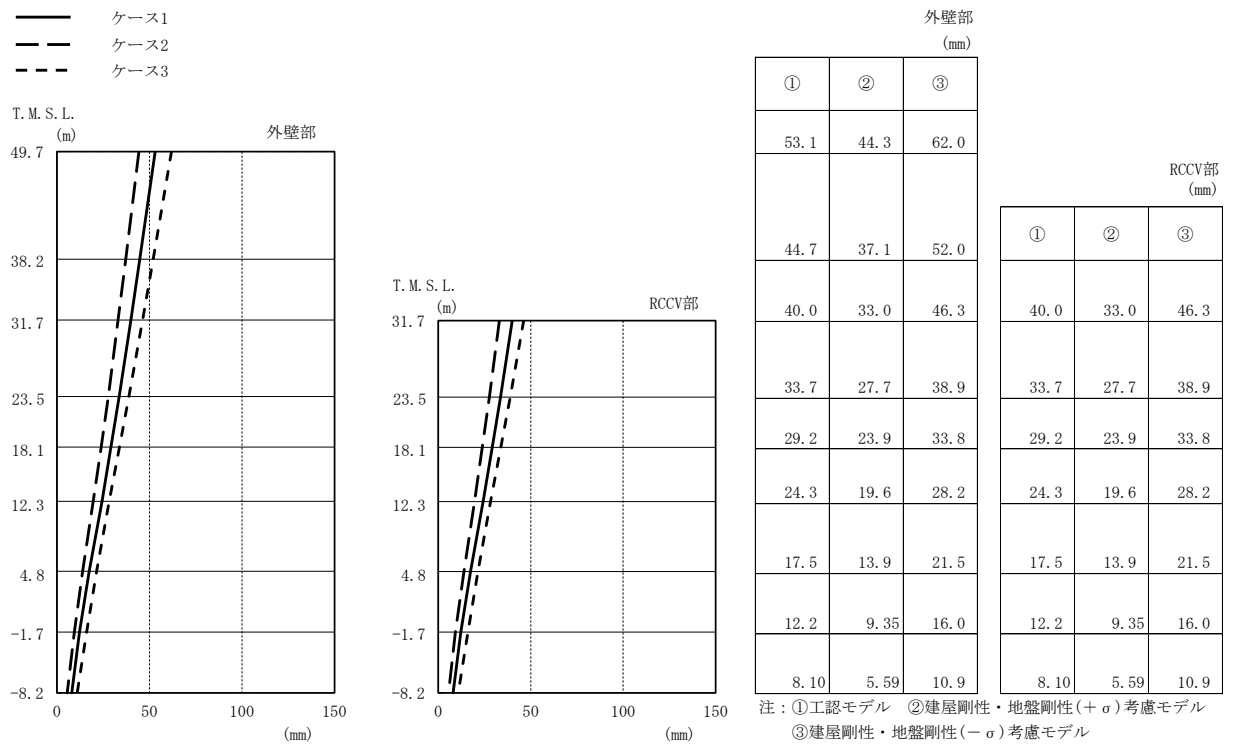


外壁部 (m/s ²)			RCCV部 (m/s ²)		
①	②	③	①	②	③
13.5	12.5	14.2	9.46	9.28	10.2
10.7	10.3	11.0	8.98	8.10	9.36
9.46	9.28	10.2	8.24	7.41	8.75
8.98	8.10	9.36	7.43	6.73	8.24
8.24	7.41	8.75	6.39	5.95	7.00
7.43	6.73	8.24	5.63	5.35	6.49
6.39	5.95	7.00	5.05	4.92	5.40
5.63	5.35	6.49	5.05	4.92	5.40
5.05	4.92	5.40	5.05	4.92	5.40

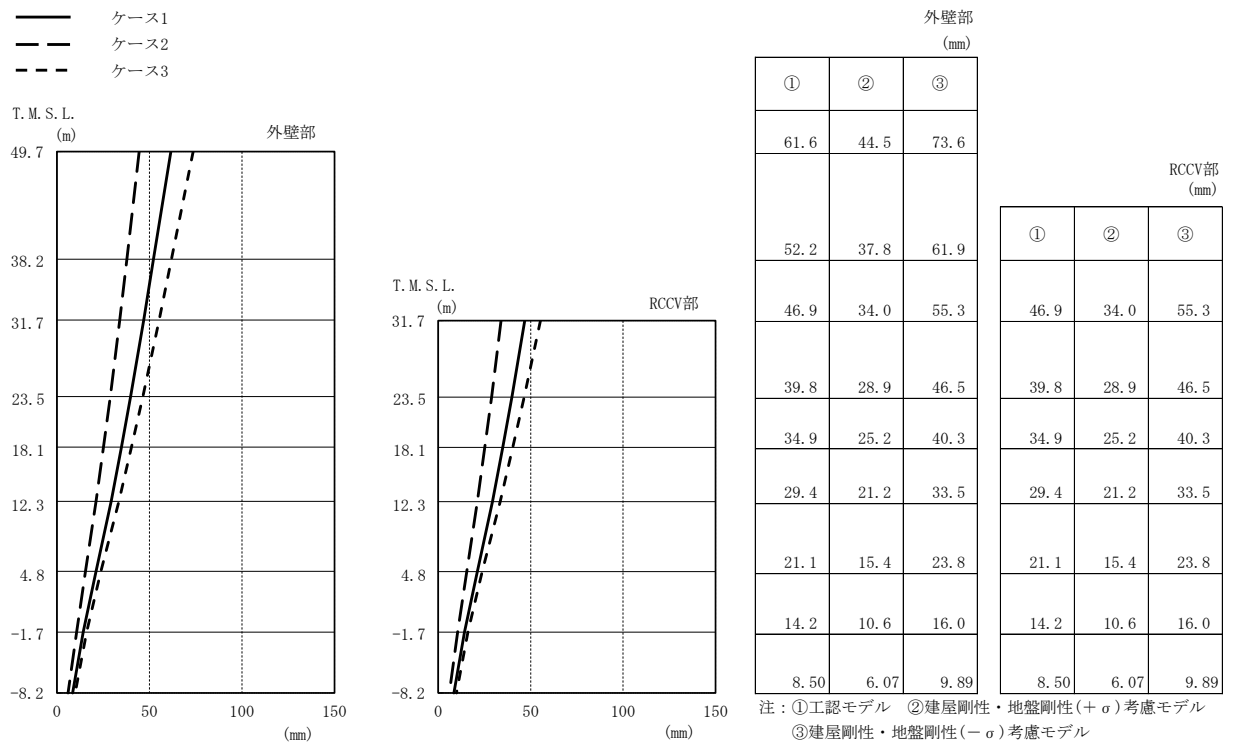
注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性(+σ)考慮モデル
③建屋剛性・地盤剛性(-σ)考慮モデル

(d) Ss-8

図2-5 最大応答加速度 (基準地震動 S_s, EW方向) (2/2)

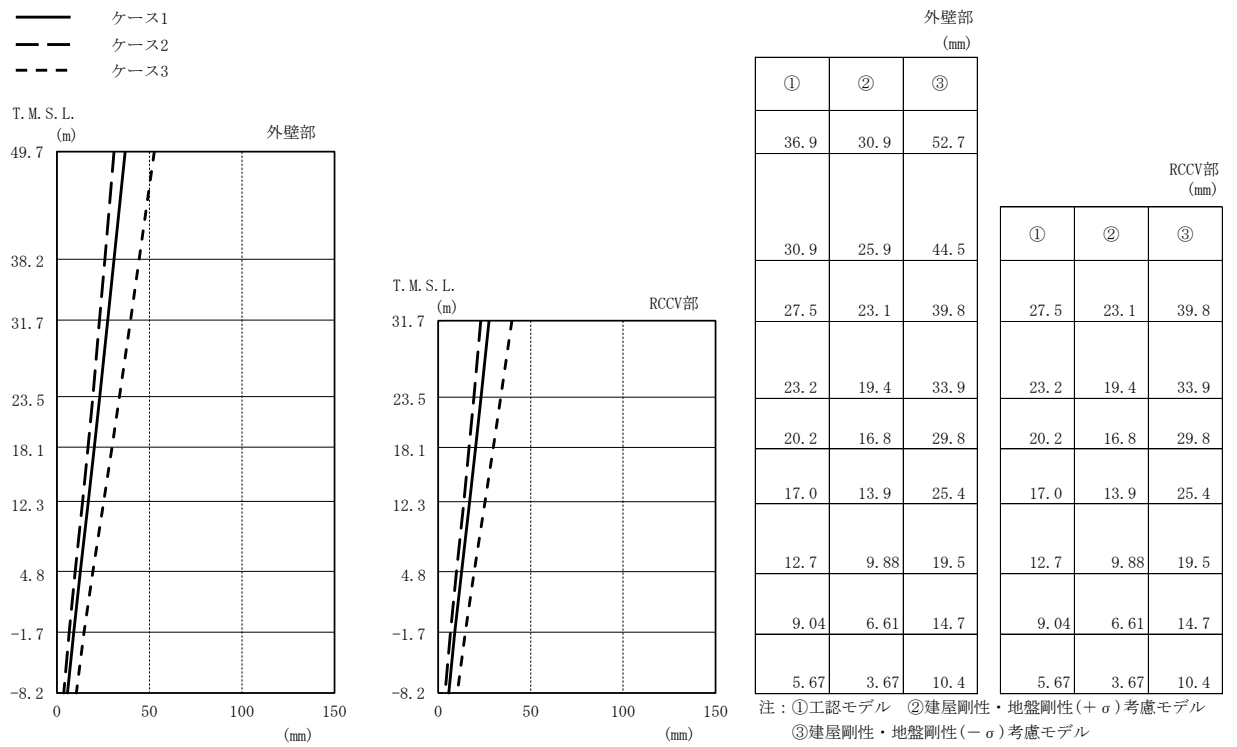


(a) Ss-1

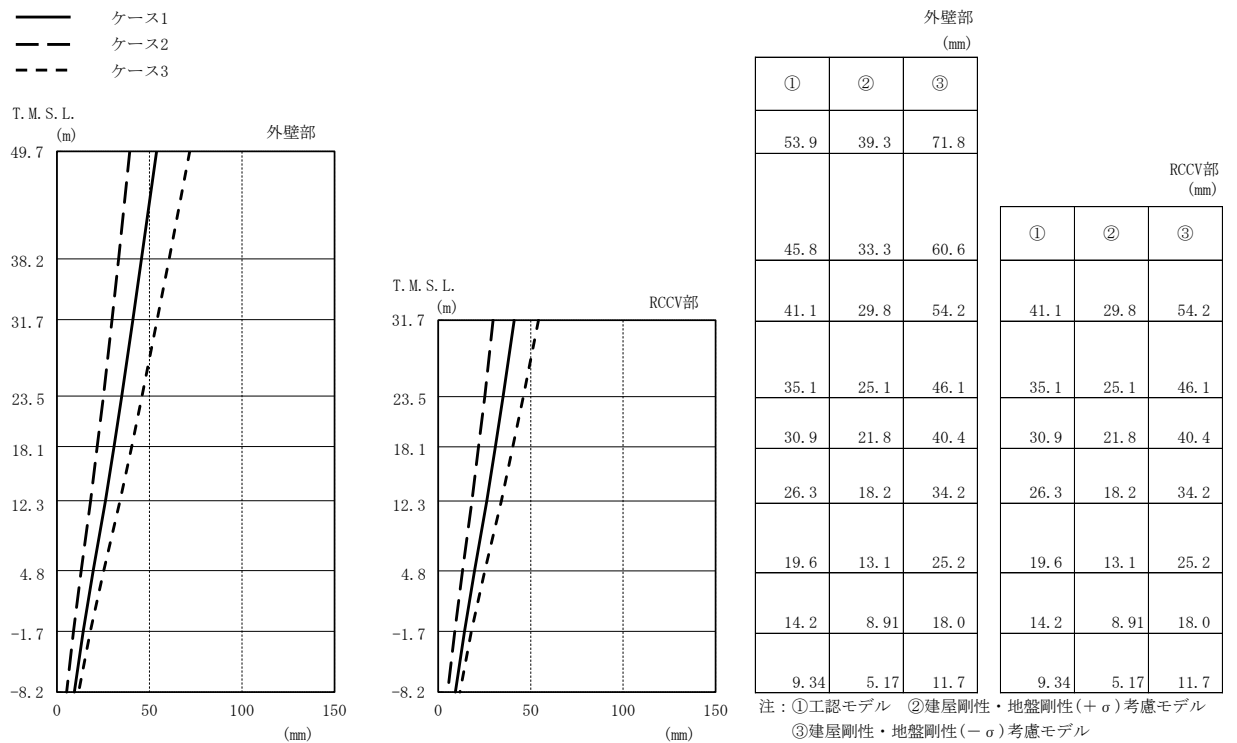


(b) Ss-2

図2-6 最大応答変位 (基準地震動 S_s, EW方向) (1/2)

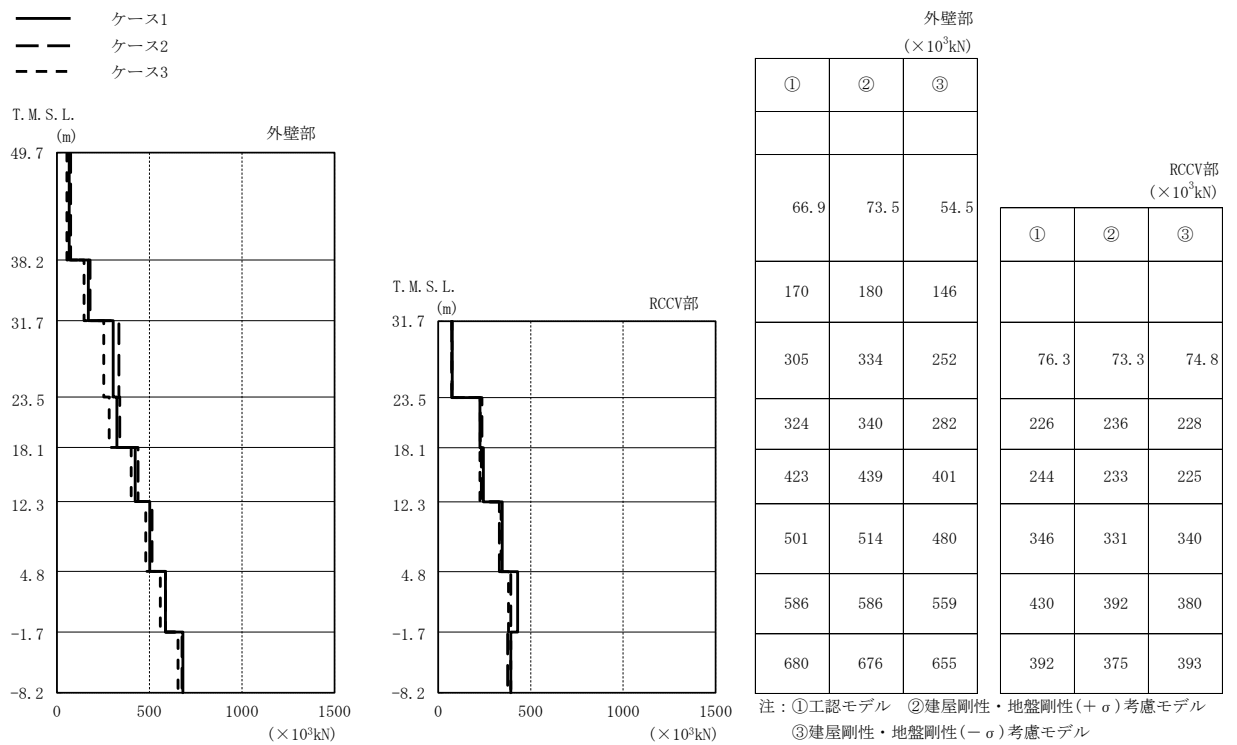


(c) Ss-3

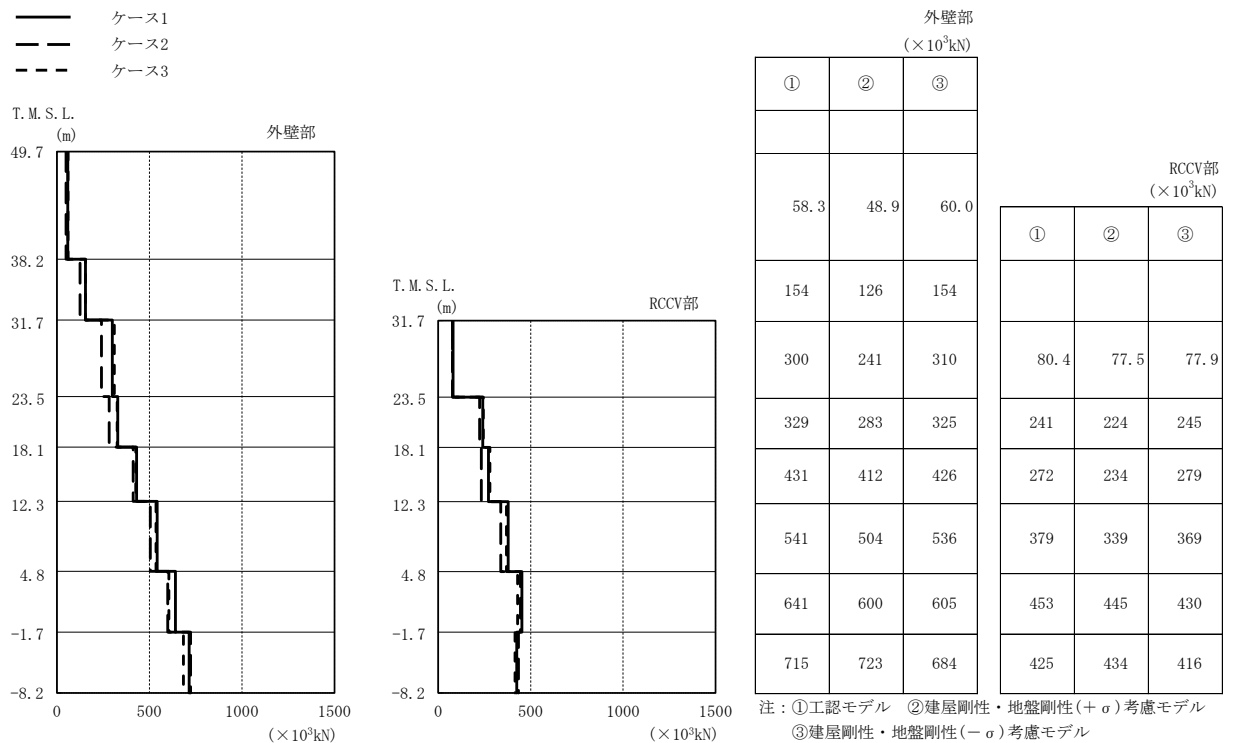


(d) Ss-8

図2-6 最大応答変位 (基準地震動 S_s, EW方向) (2/2)

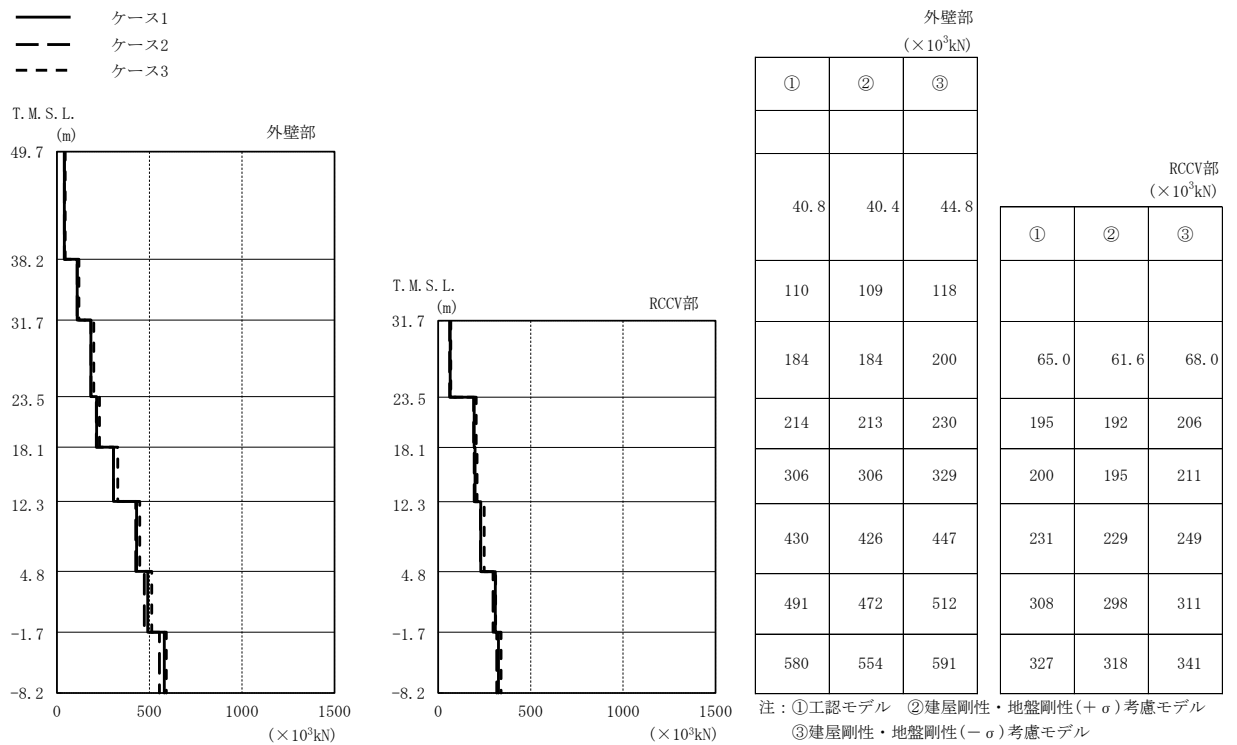


(a) Ss-1

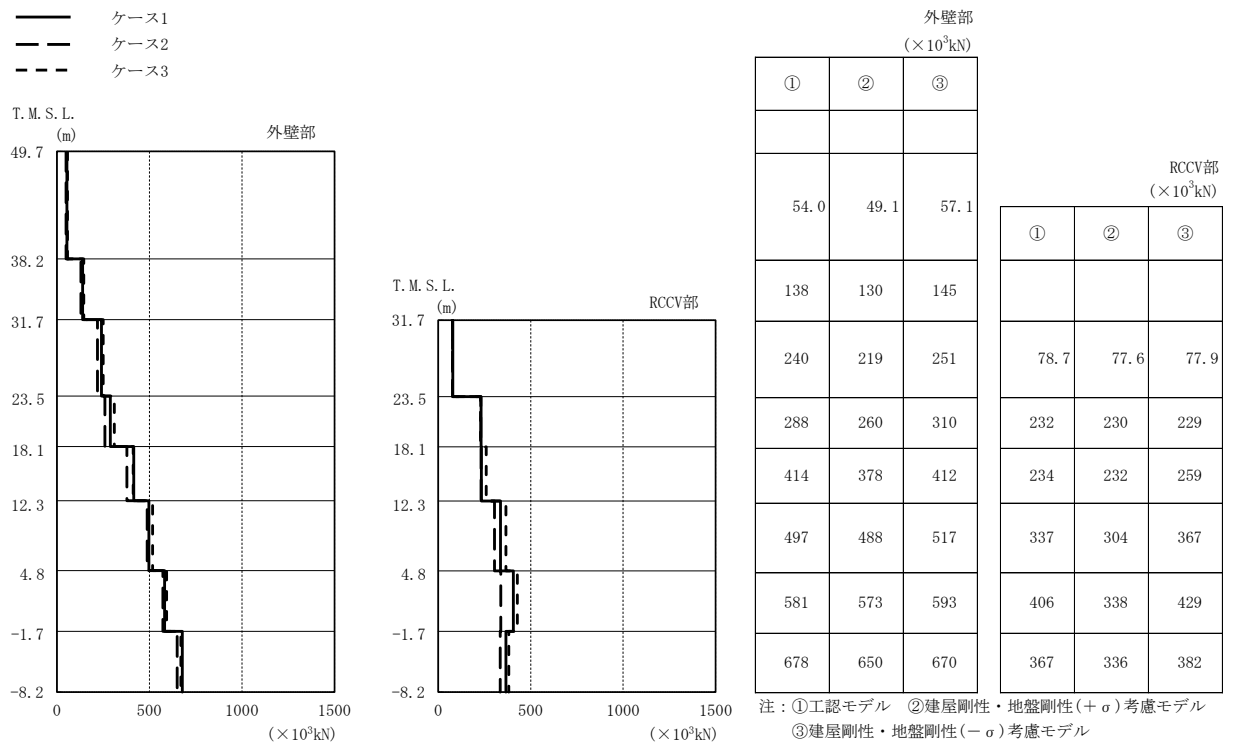


(b) Ss-2

図2-7 最大応答せん断力（基準地震動 S_s，EW方向）（1/2）

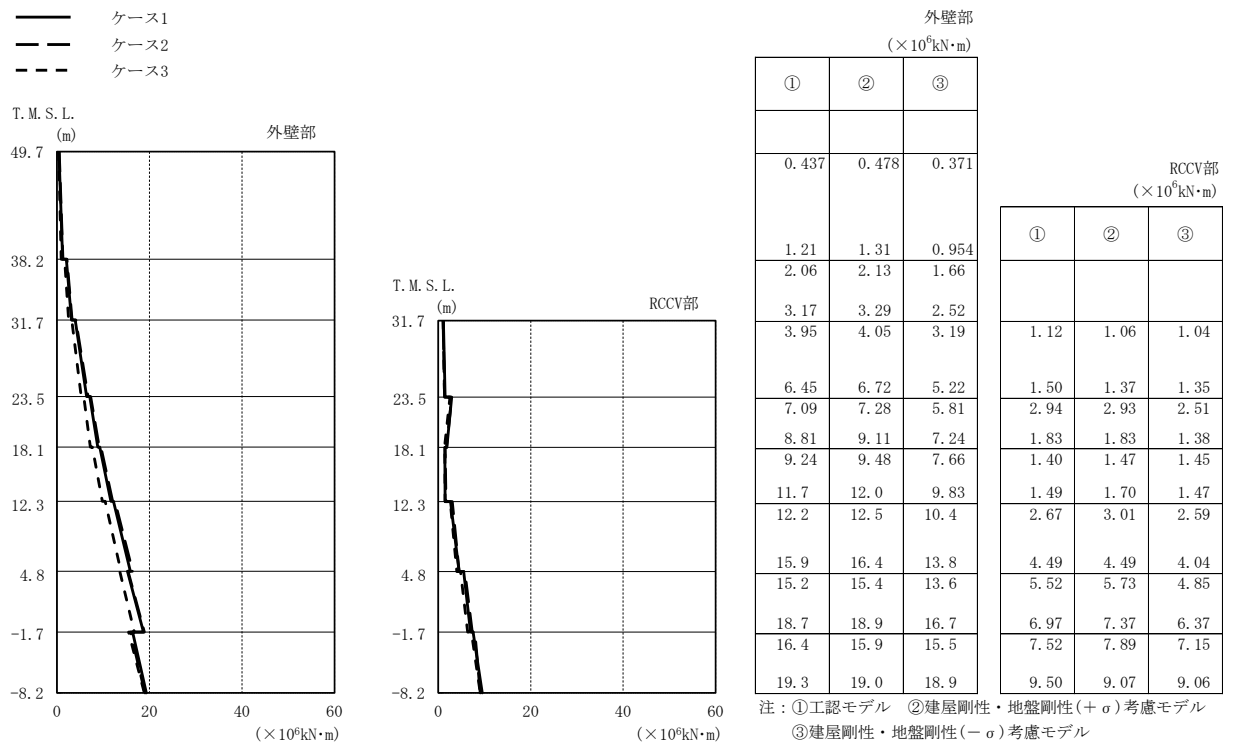


(c) Ss-3

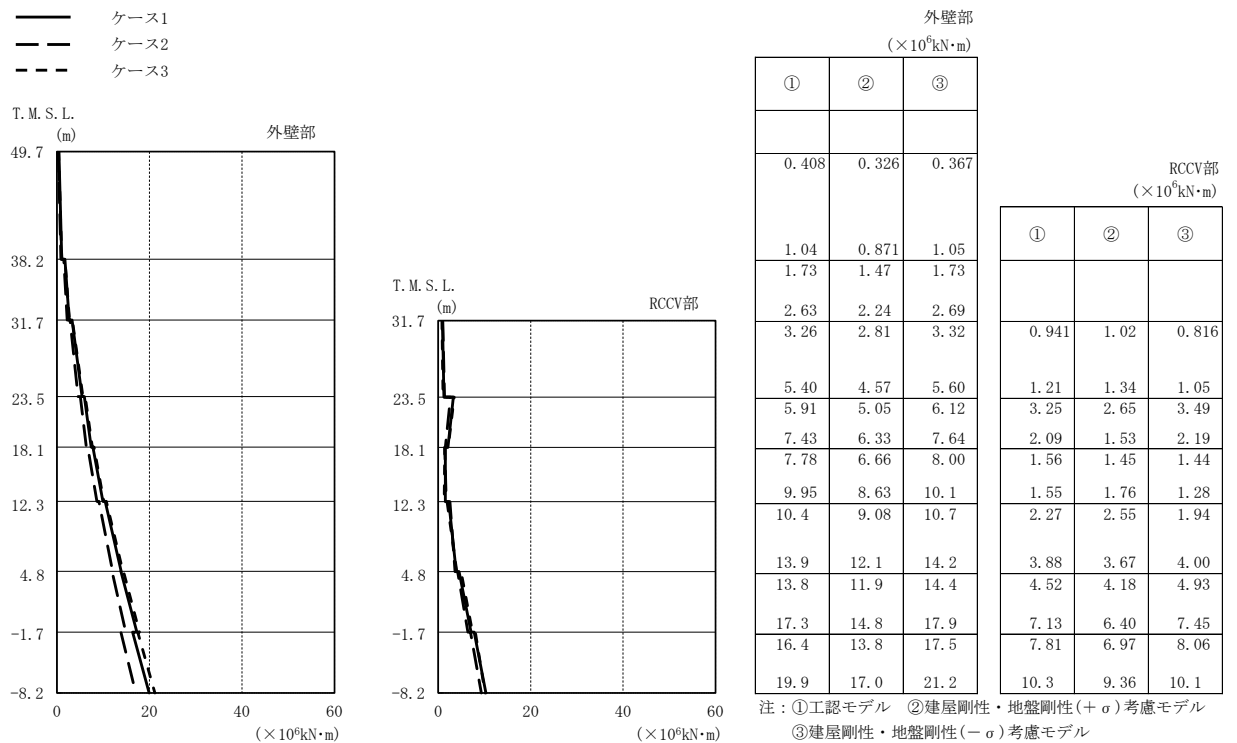


(d) Ss-8

図2-7 最大応答せん断力（基準地震動 S_s，EW方向）（2/2）

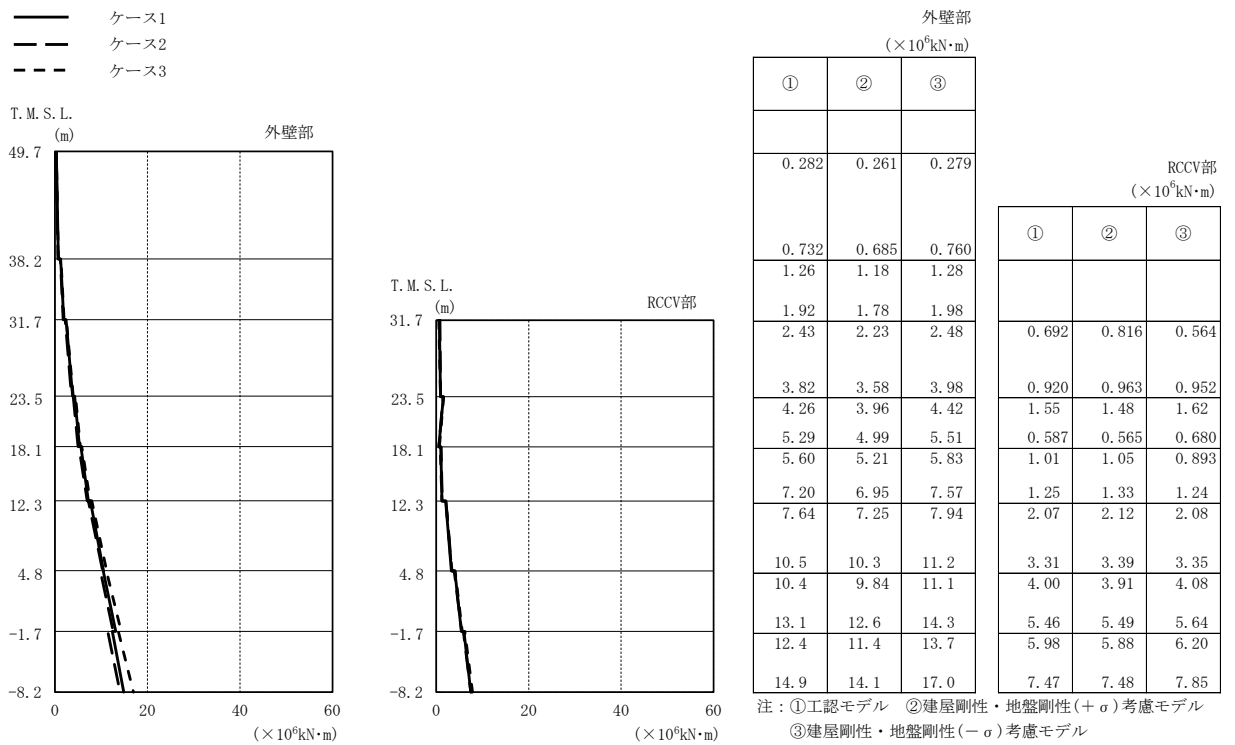


(a) Ss-1

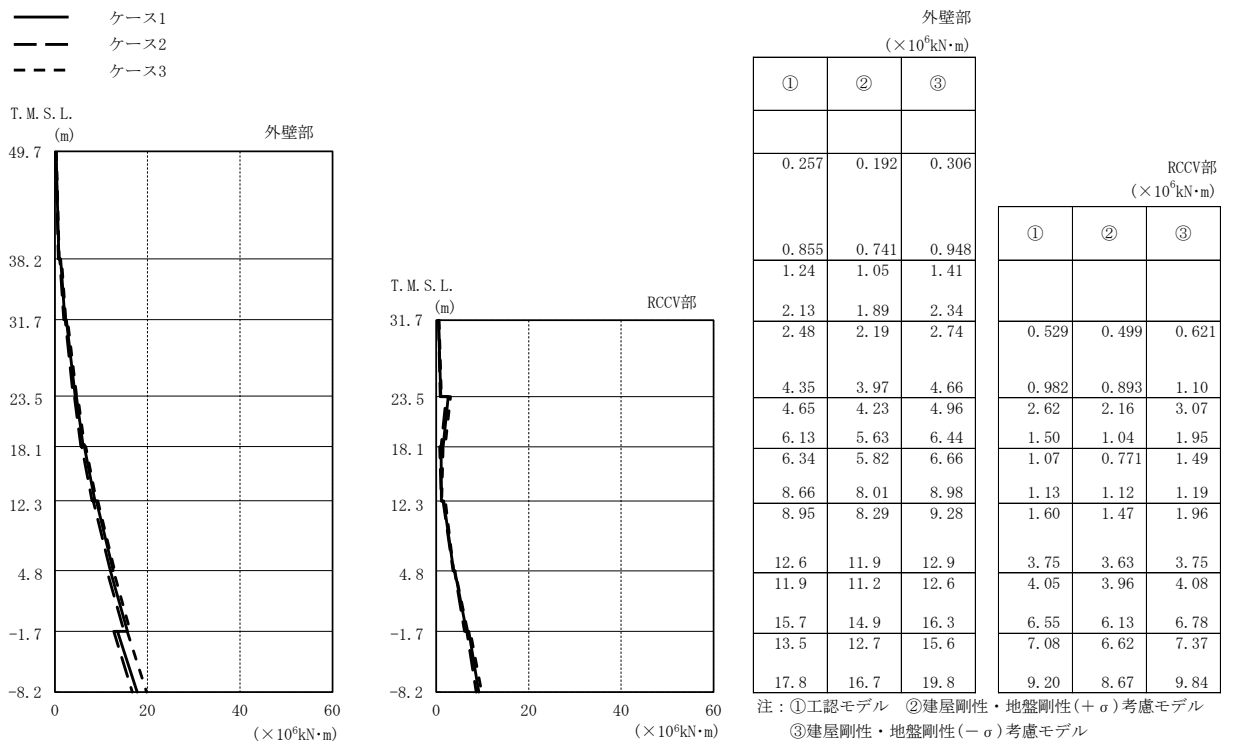


(b) Ss-2

図2-8 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S_s, EW方向) (1/2)

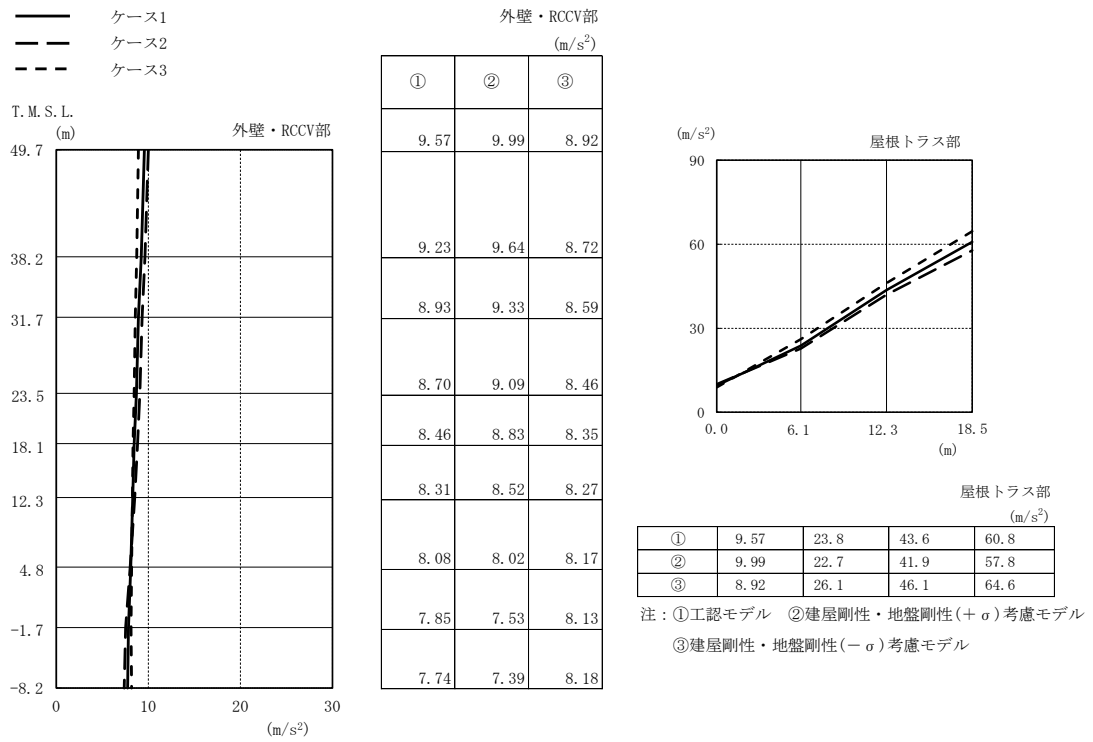


(c) Ss-3

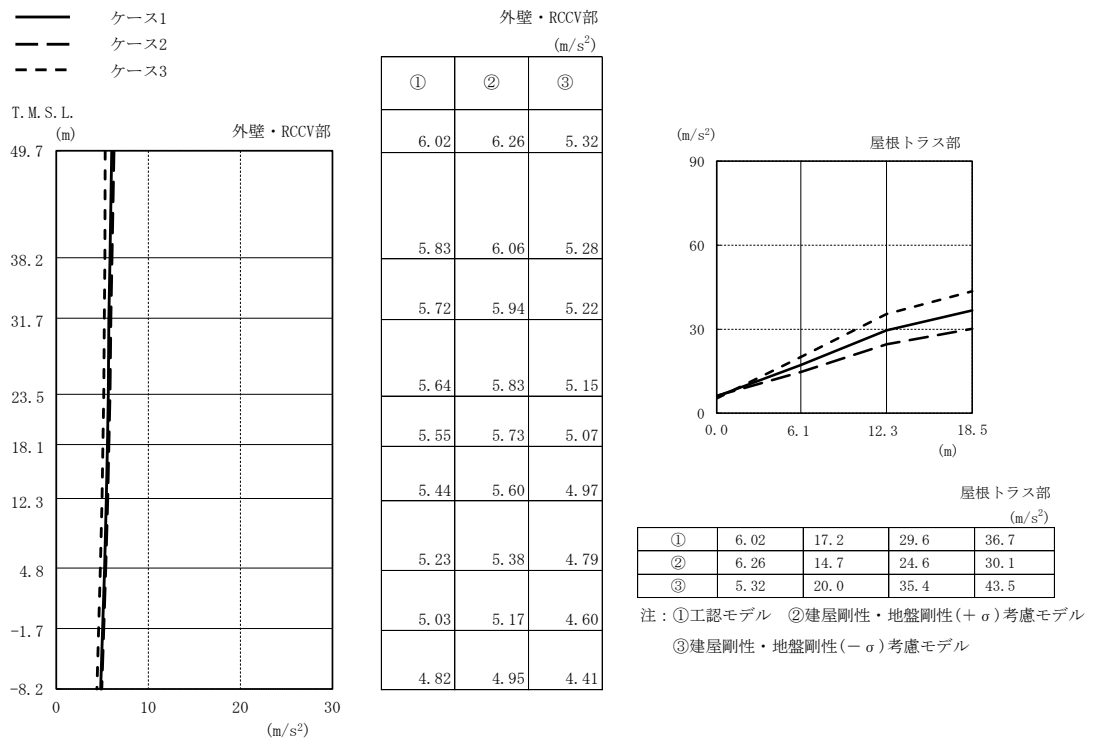


(d) Ss-8

図2-8 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S_s, EW方向) (2/2)

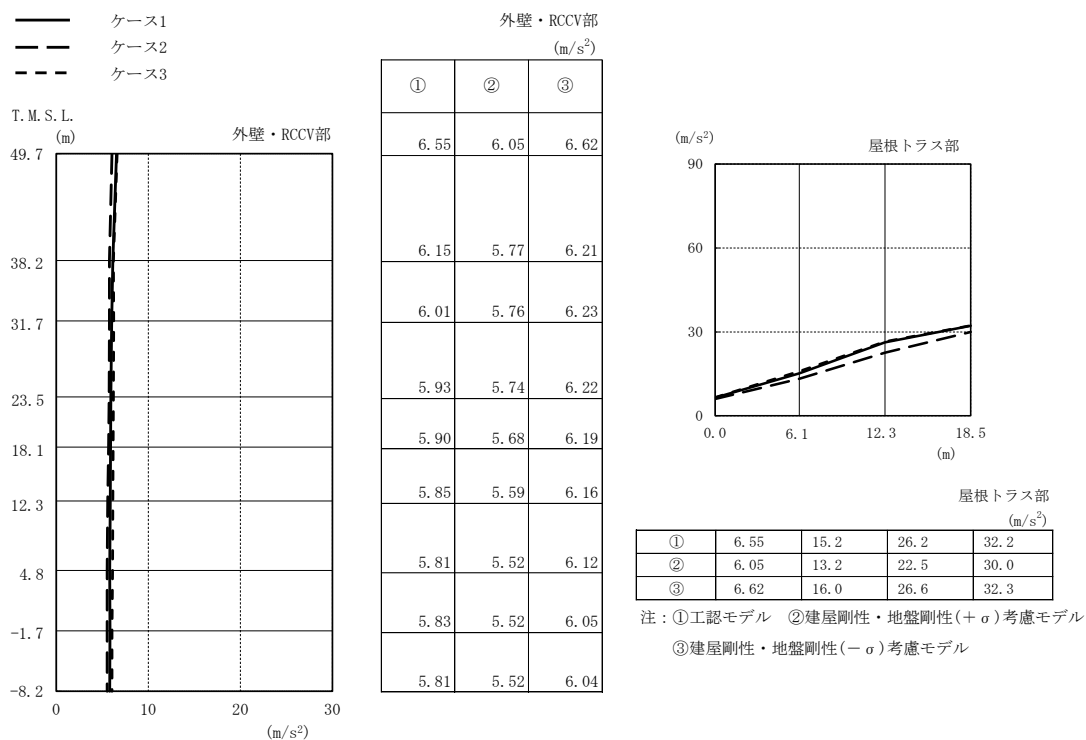


(a) Ss-1

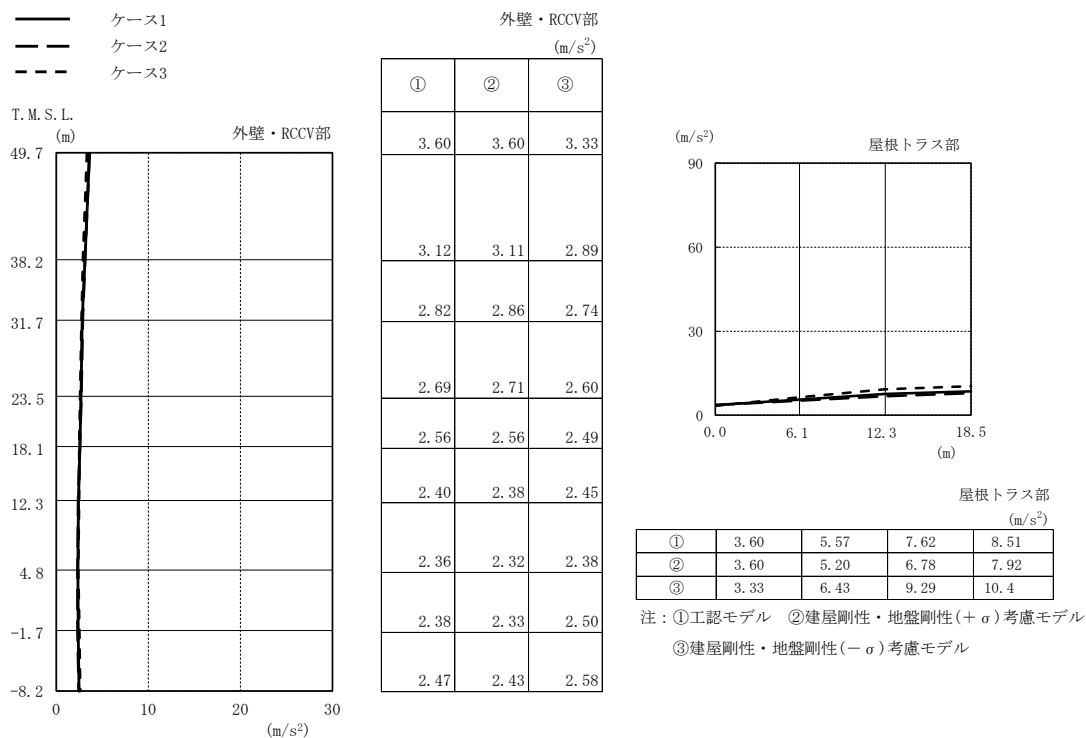


(b) Ss-2

図2-9 最大応答加速度 (基準地震動 S_s, 鉛直方向) (1/2)

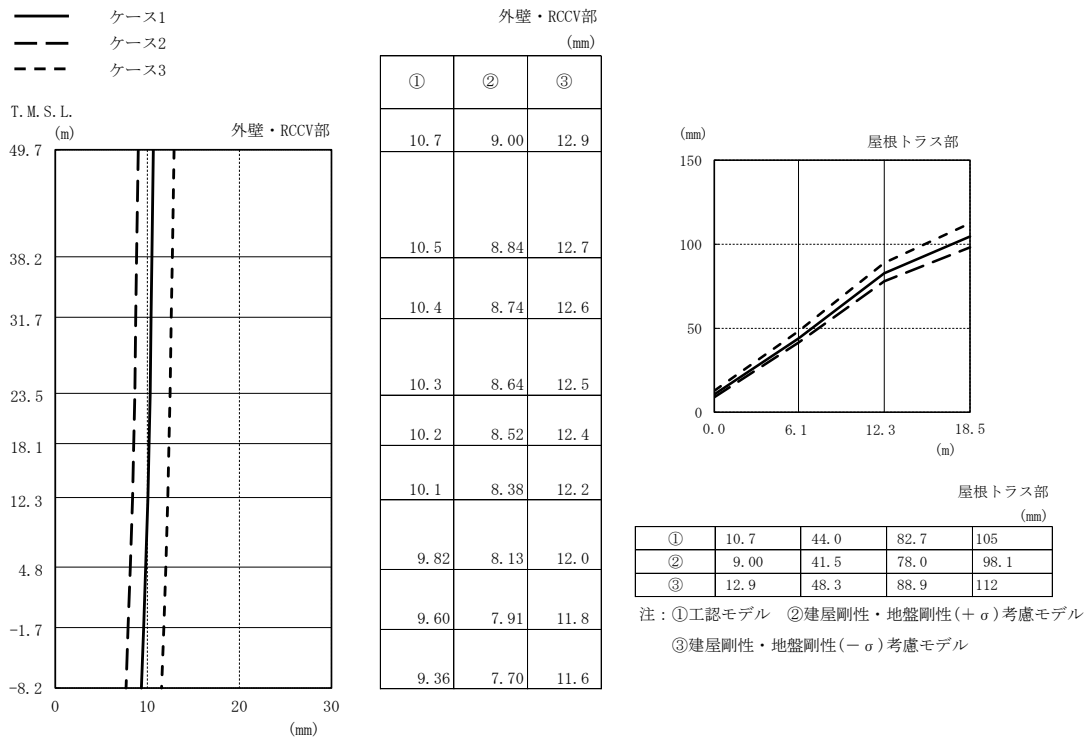


(c) Ss-3

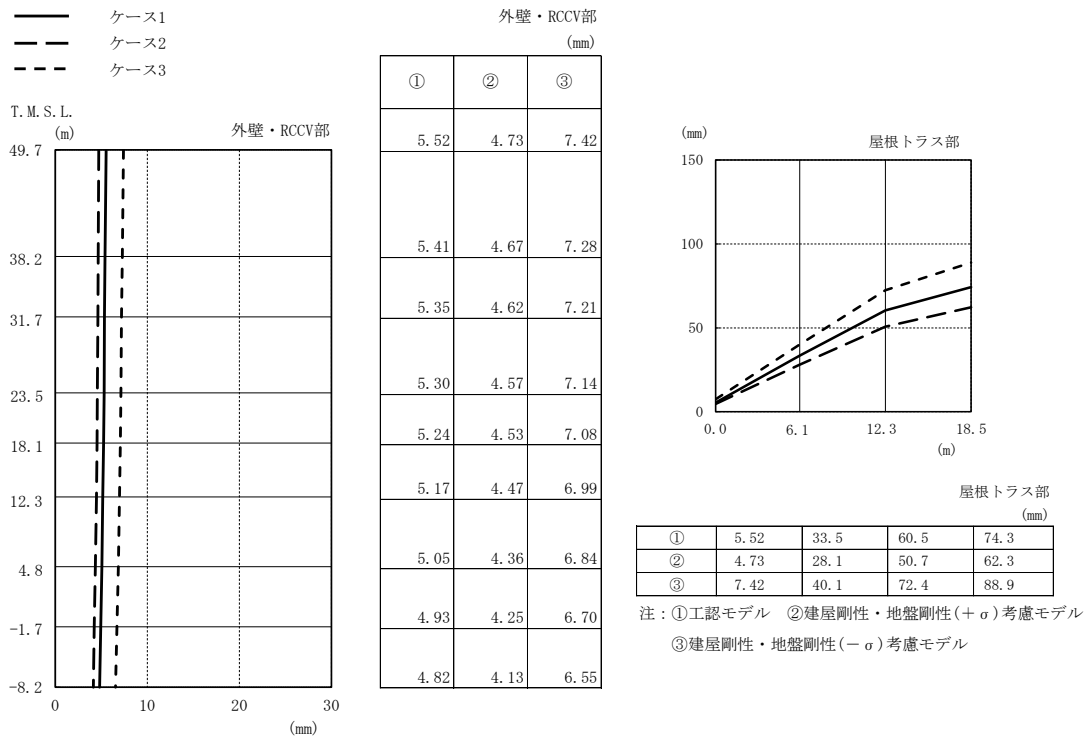


(d) Ss-8

図2-9 最大応答加速度（基準地震動 S_s，鉛直方向）（2/2）

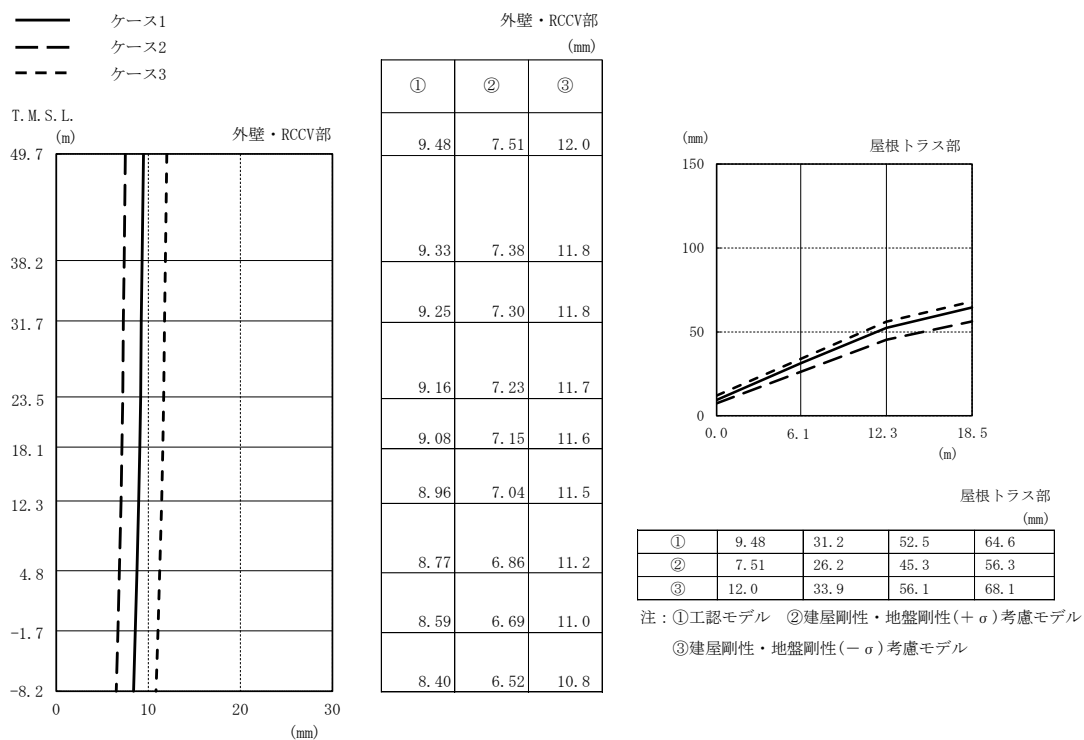


(a) Ss-1

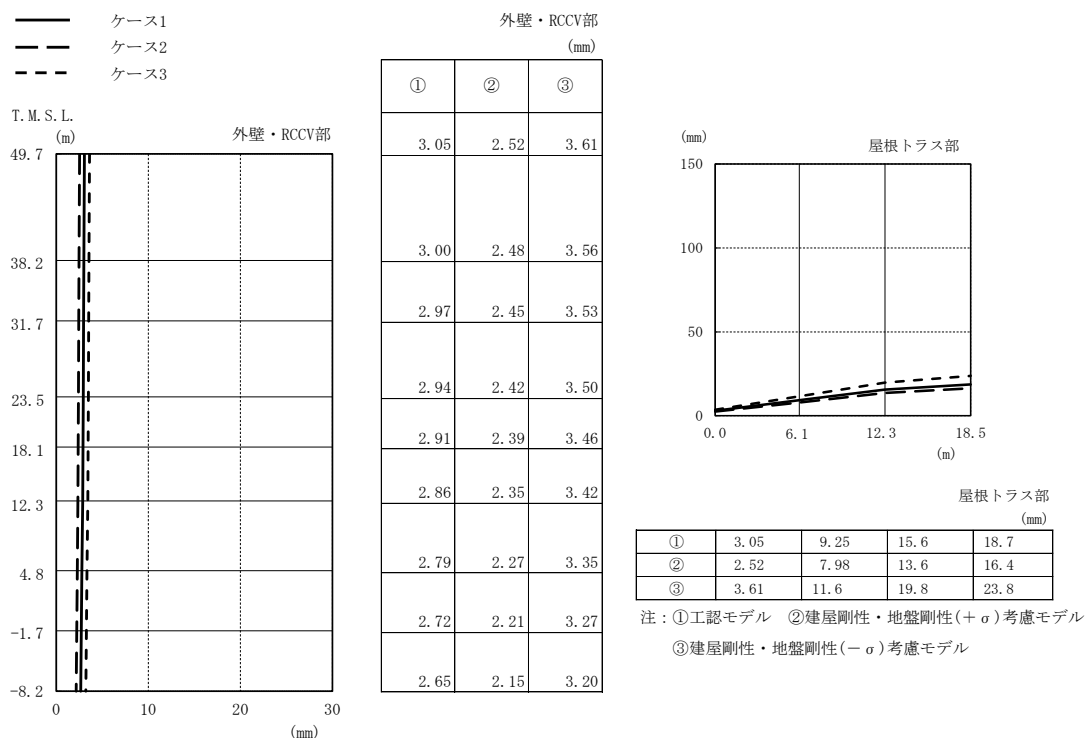


(b) Ss-2

図2-10 最大応答変位（基準地震動 S_s，鉛直方向）（1/2）

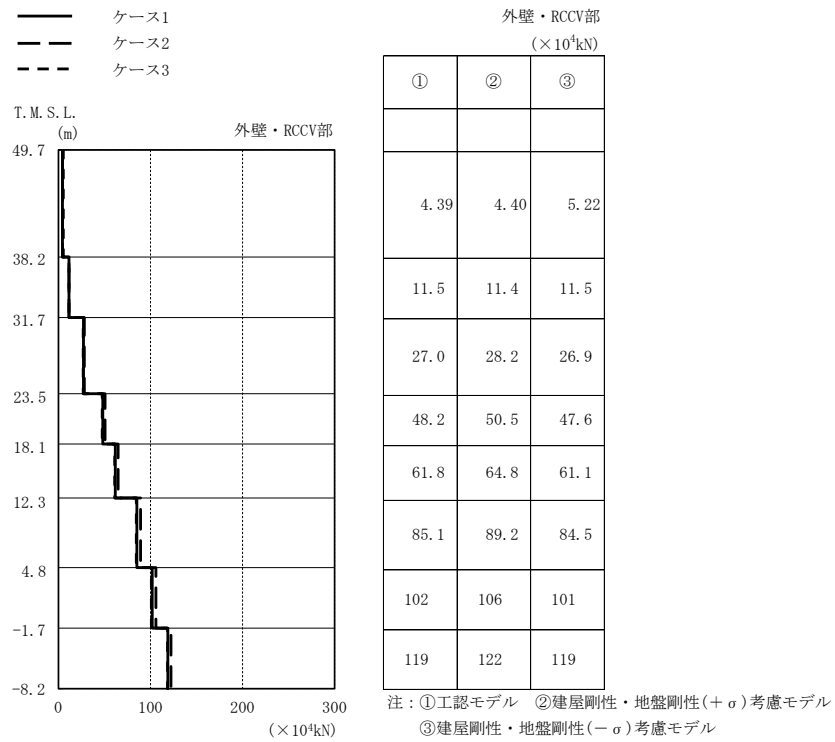


(c) Ss-3

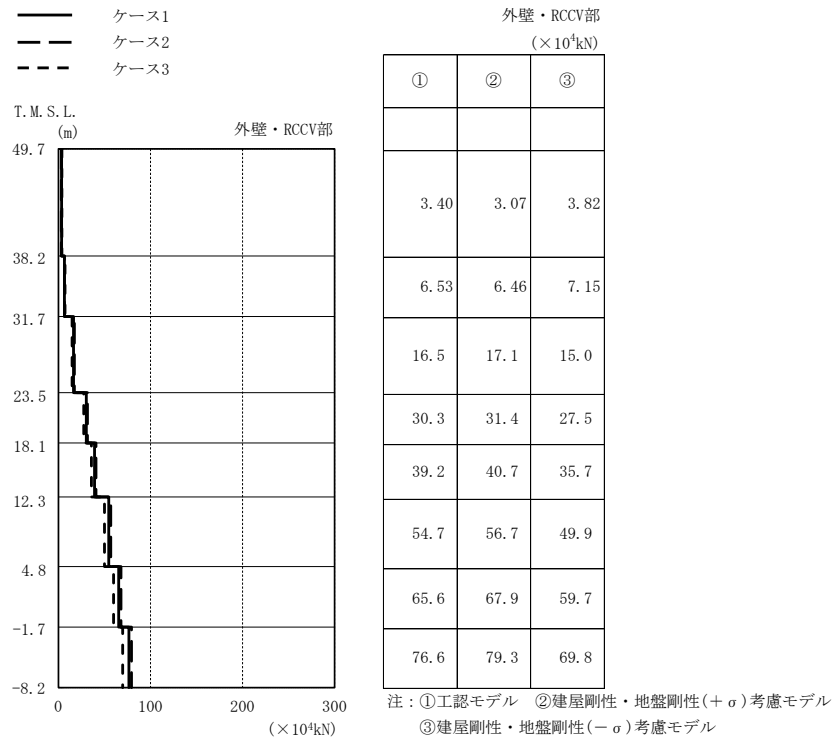


(d) Ss-8

図2-10 最大応答変位 (基準地震動 S_s, 鉛直方向) (2/2)

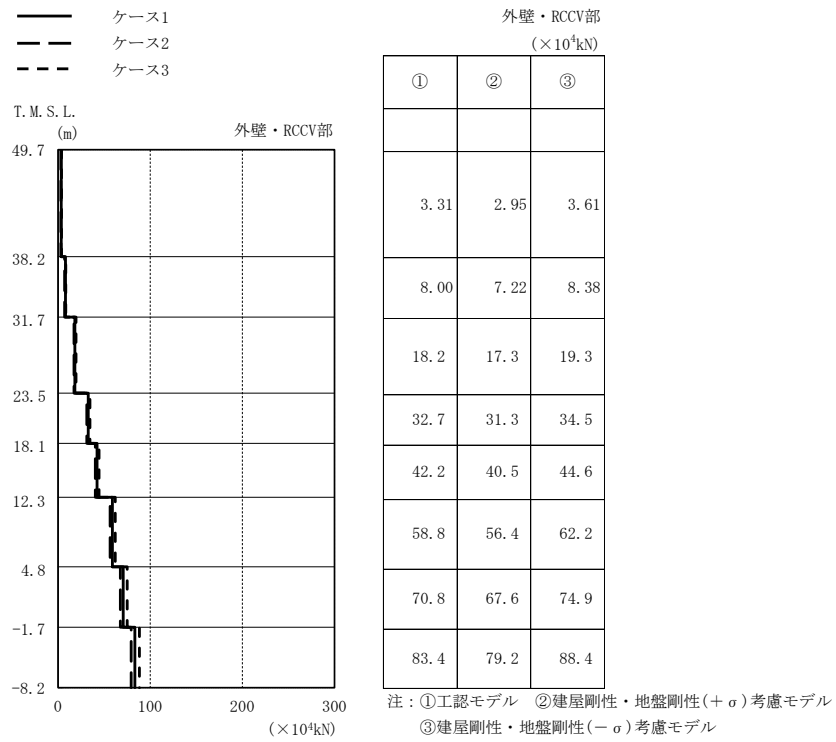


(a) Ss-1

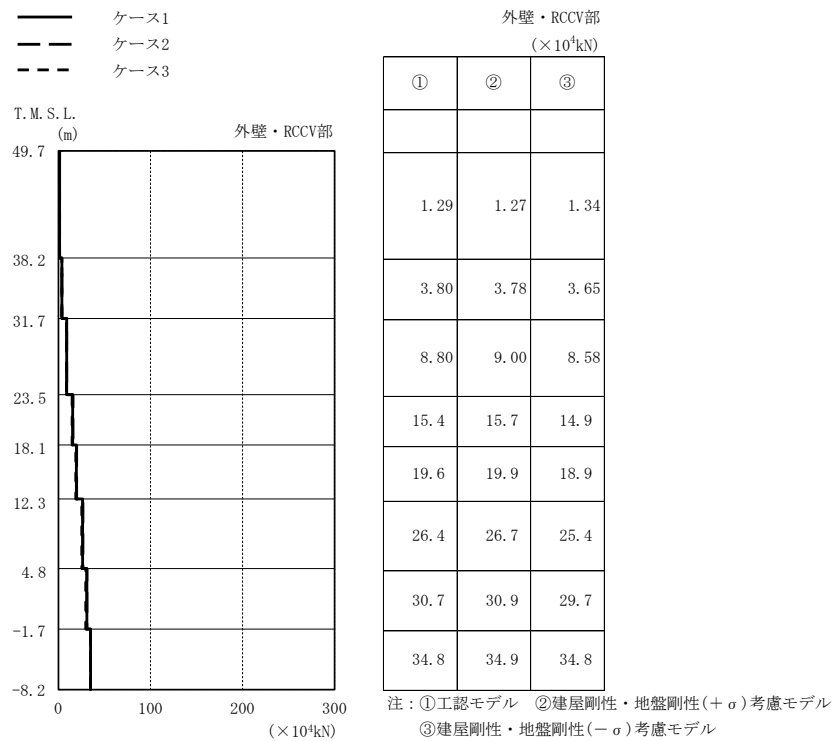


(b) Ss-2

図2-11 最大応答軸力（基準地震動 S s ，鉛直方向）（1/2）

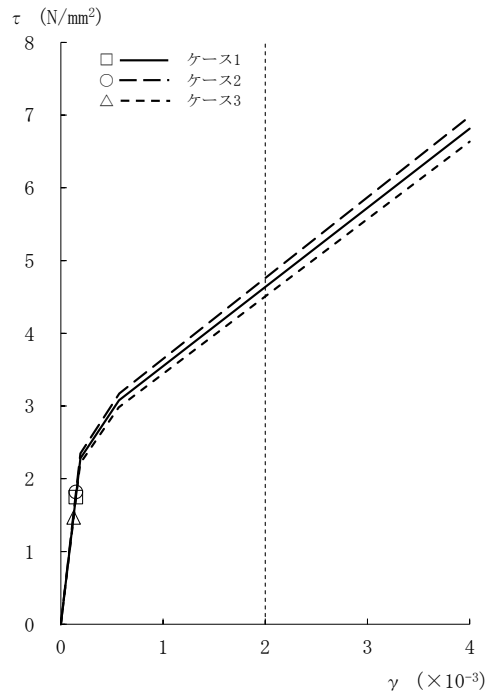


(c) Ss-3



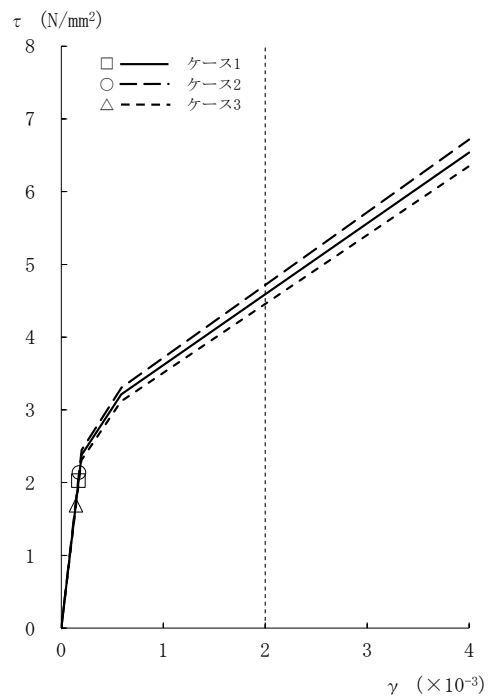
(d) Ss-8

図2-11 最大応答軸力 (基準地震動 S s , 鉛直方向) (2/2)



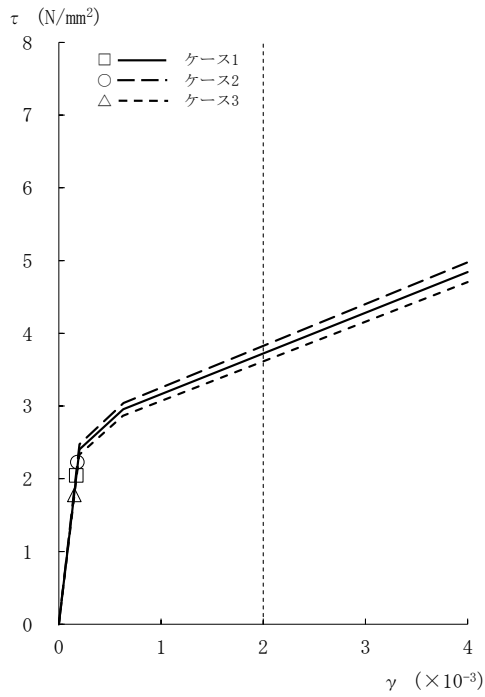
[外壁部]

図2-12 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, CRF) (1/8)

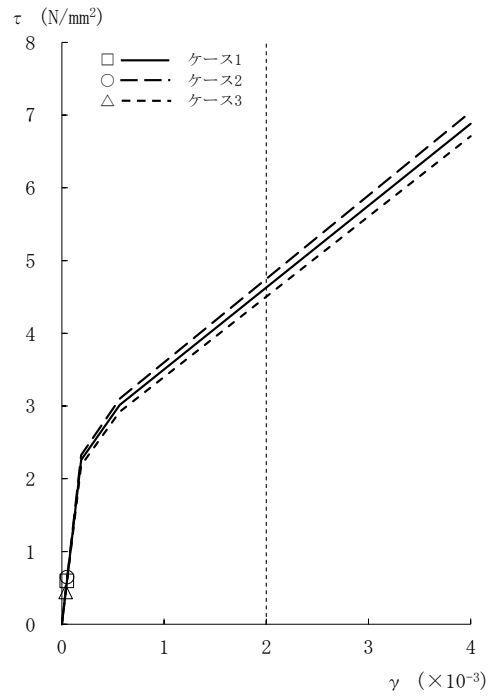


[外壁部]

図2-12 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, 4F) (2/8)

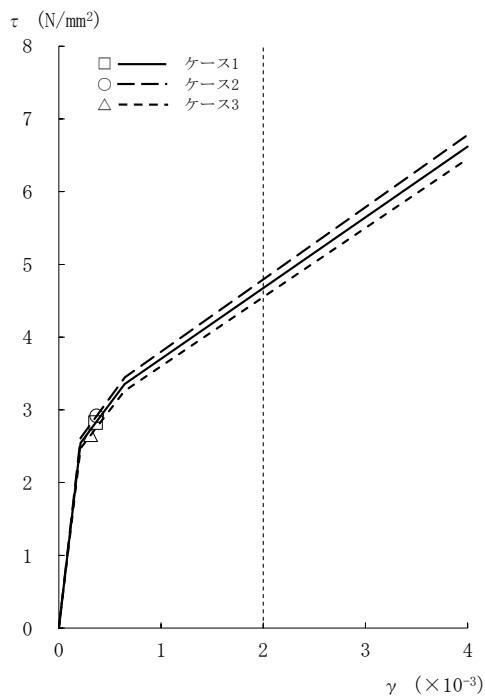


[外壁部]

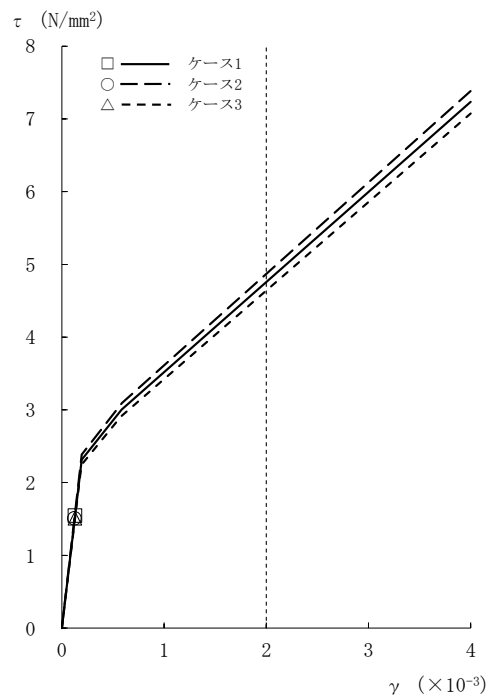


[RCCV部]

図2-12 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, 3F) (3/8)

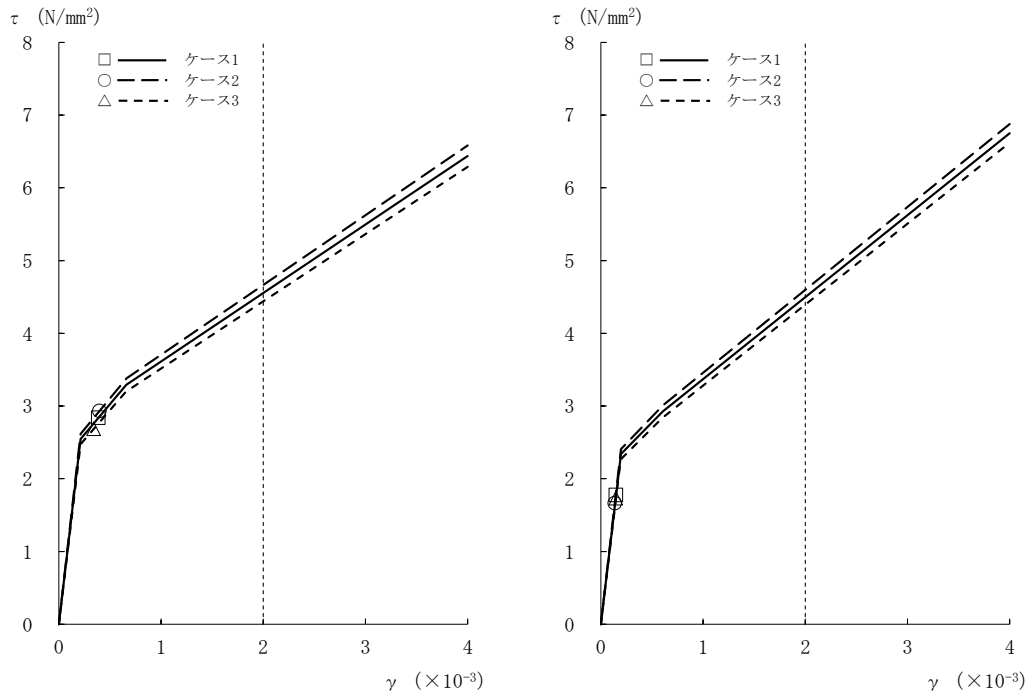


[外壁部]



[RCCV部]

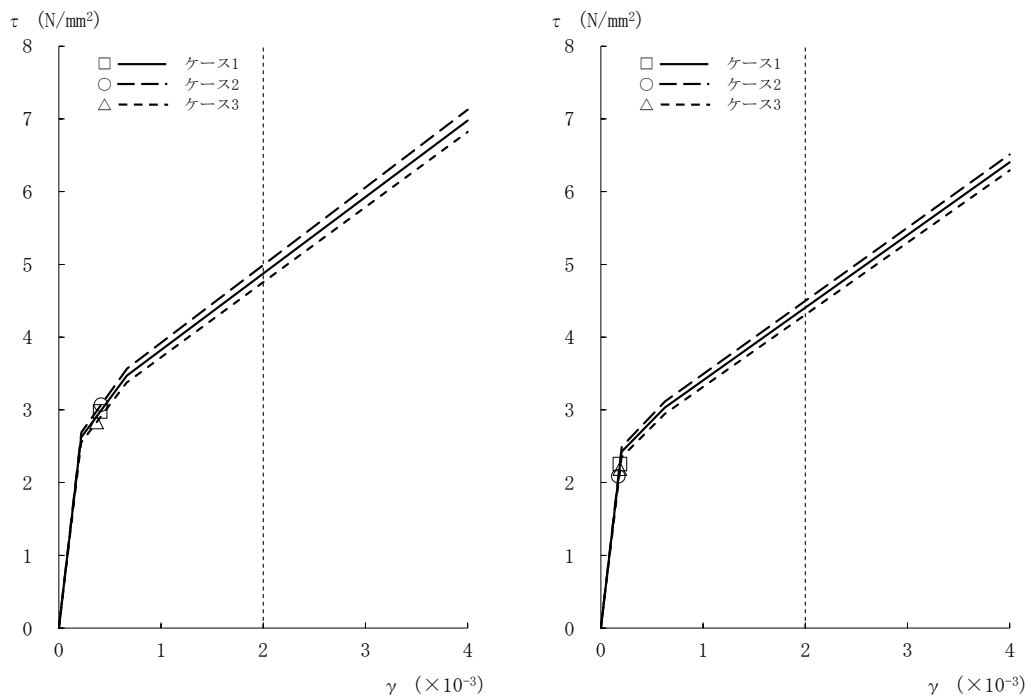
図2-12 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, 2F) (4/8)



[外壁部]

[RCCV部]

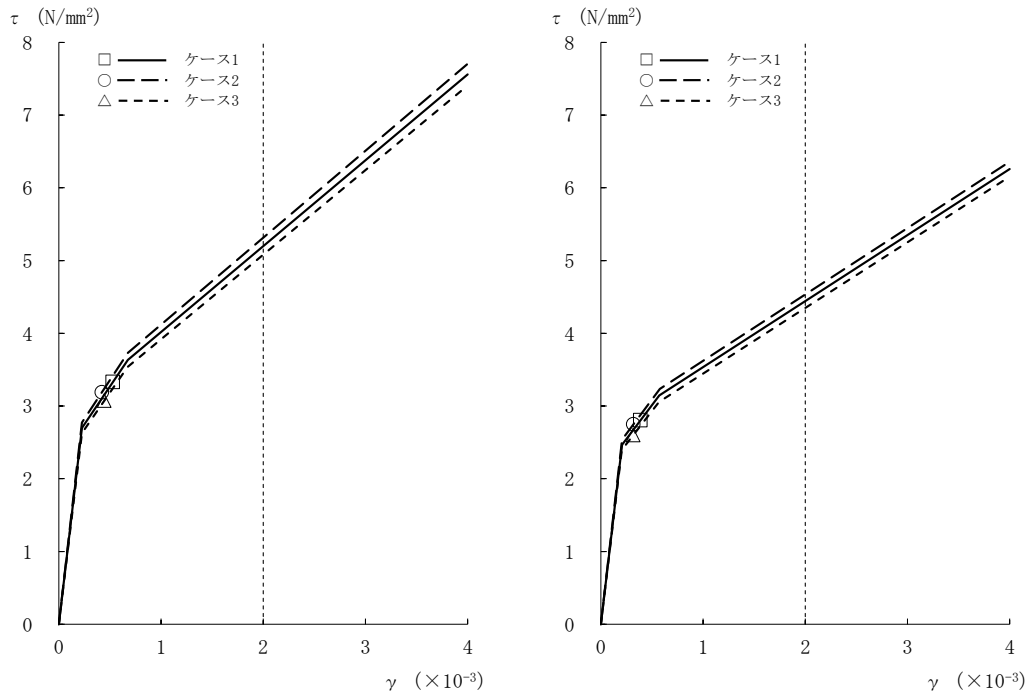
図2-12 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-1, NS方向, 1F) (5/8)



[外壁部]

[RCCV部]

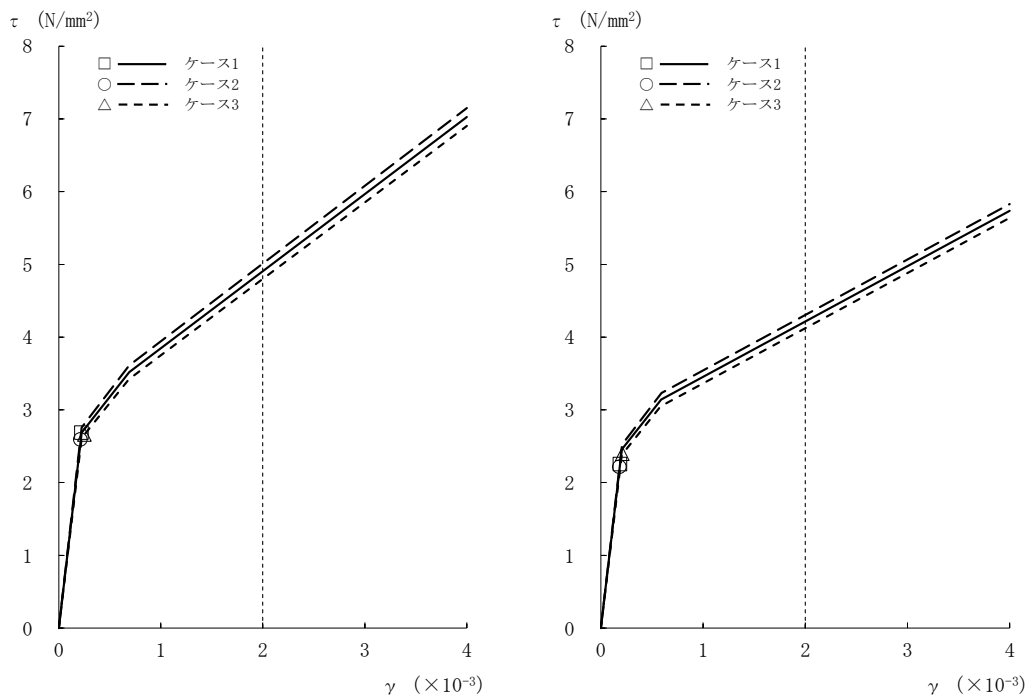
図2-12 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-1, NS方向, B1F) (6/8)



[外壁部]

[RCCV部]

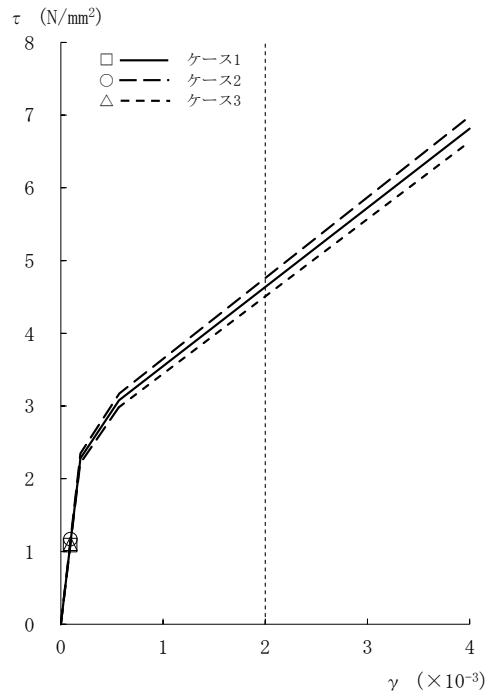
図2-12 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, B2F) (7/8)



[外壁部]

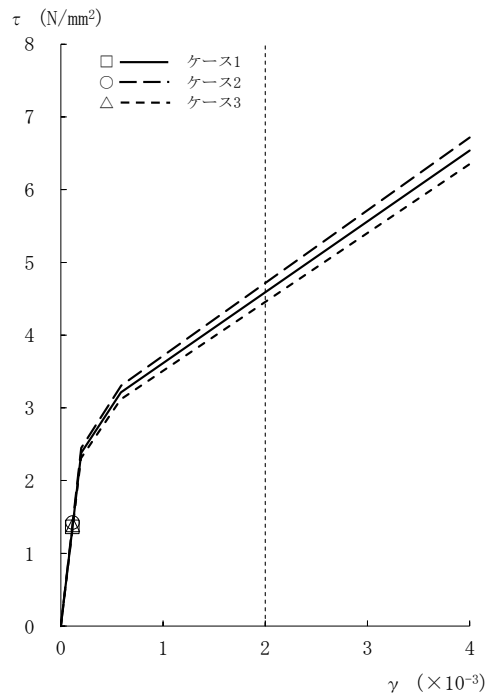
[RCCV部]

図2-12 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, B3F) (8/8)



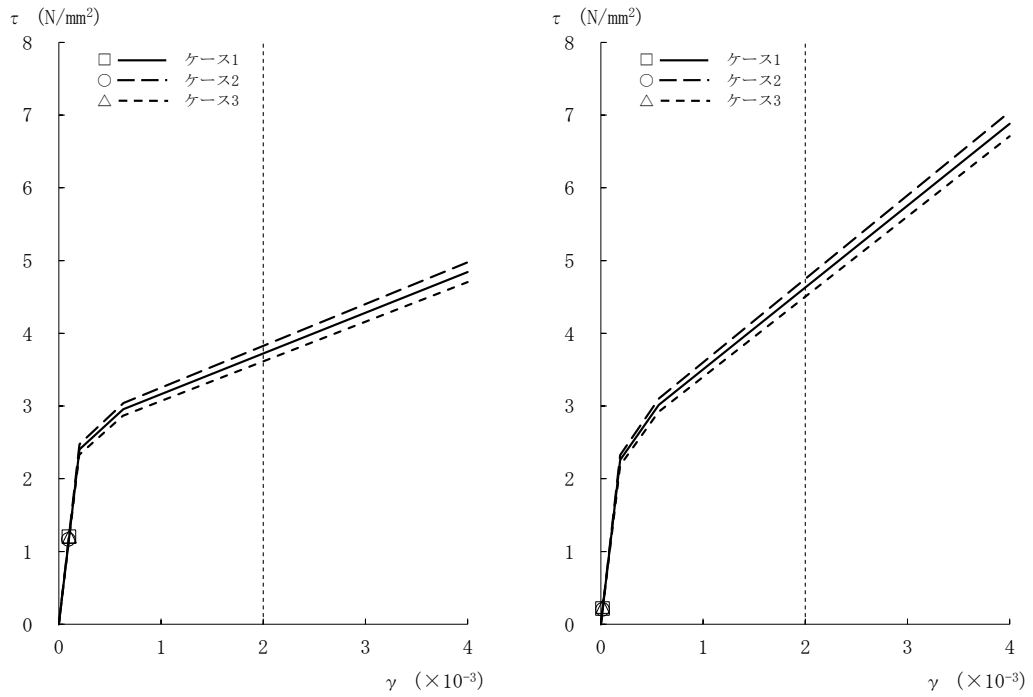
[外壁部]

図2-13 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

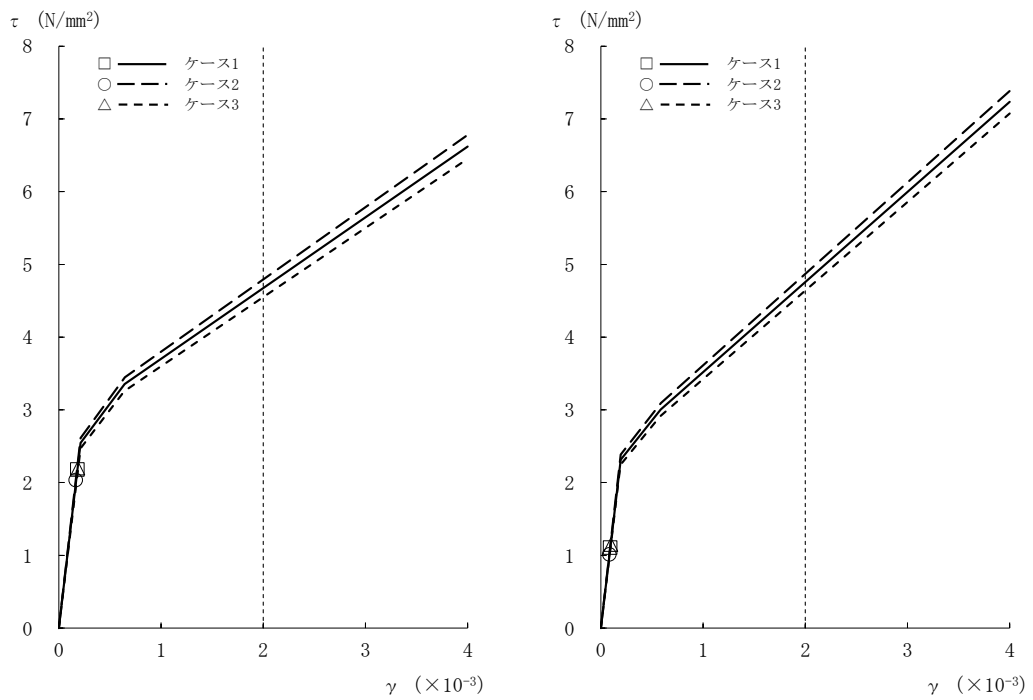
図2-13 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, 4F) (2/8)



[外壁部]

[RCCV部]

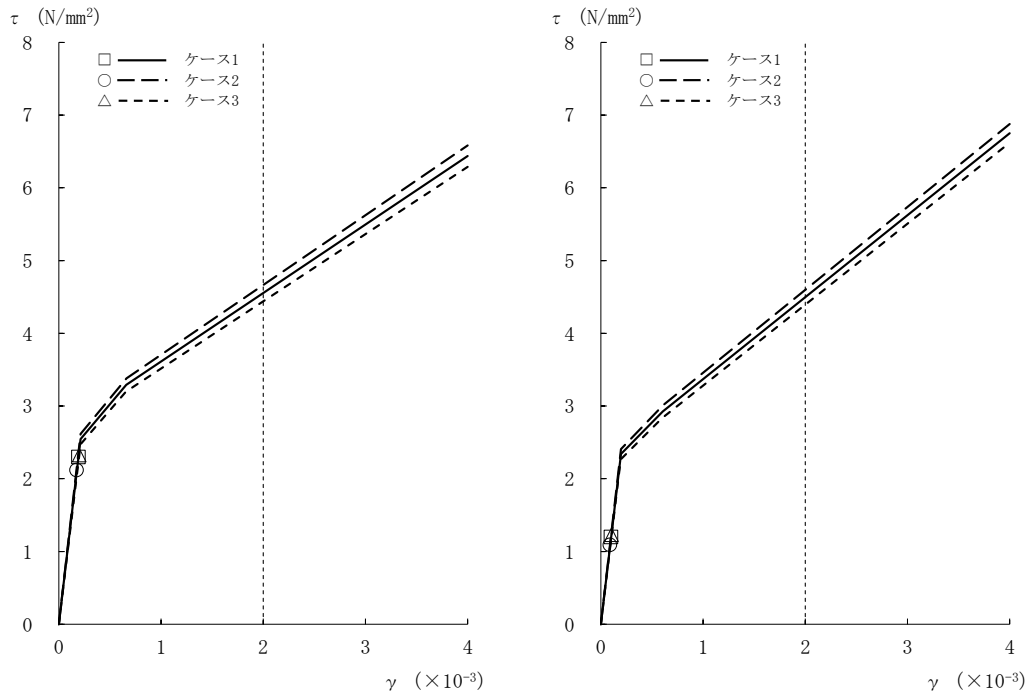
図2-13 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, 3F) (3/8)



[外壁部]

[RCCV部]

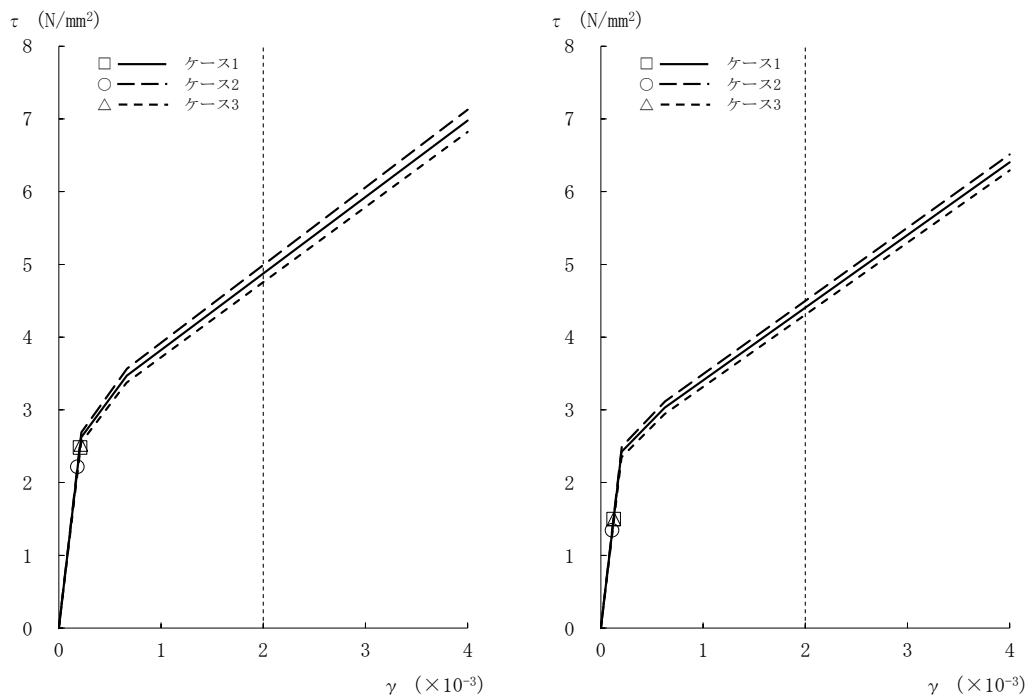
図2-13 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, 2F) (4/8)



[外壁部]

[RCCV部]

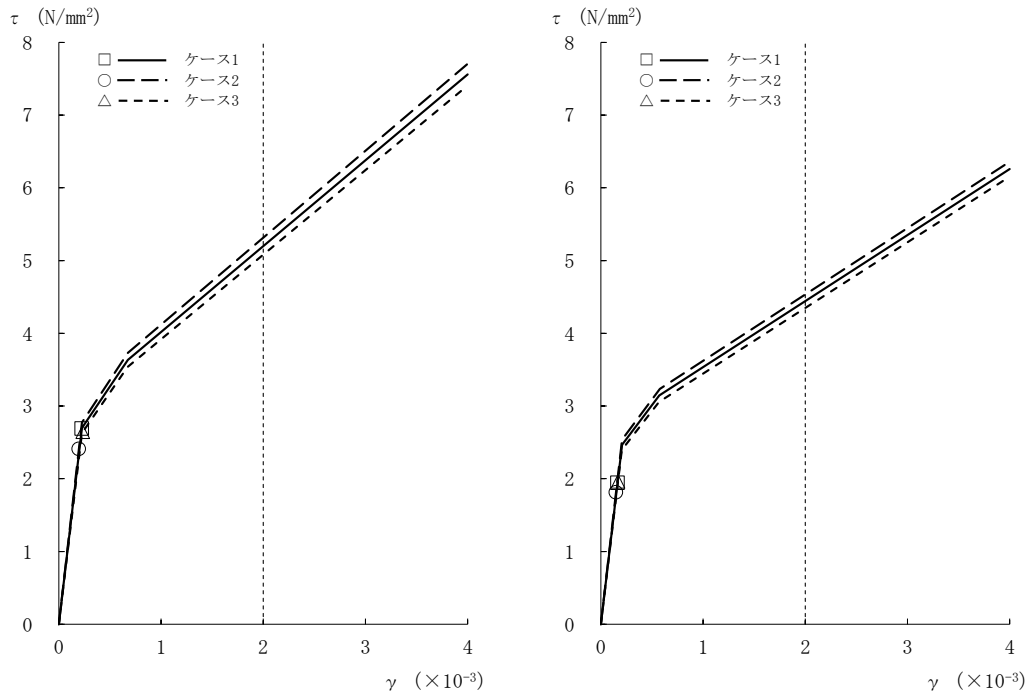
図2-13 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, NS方向, 1F) (5/8)



[外壁部]

[RCCV部]

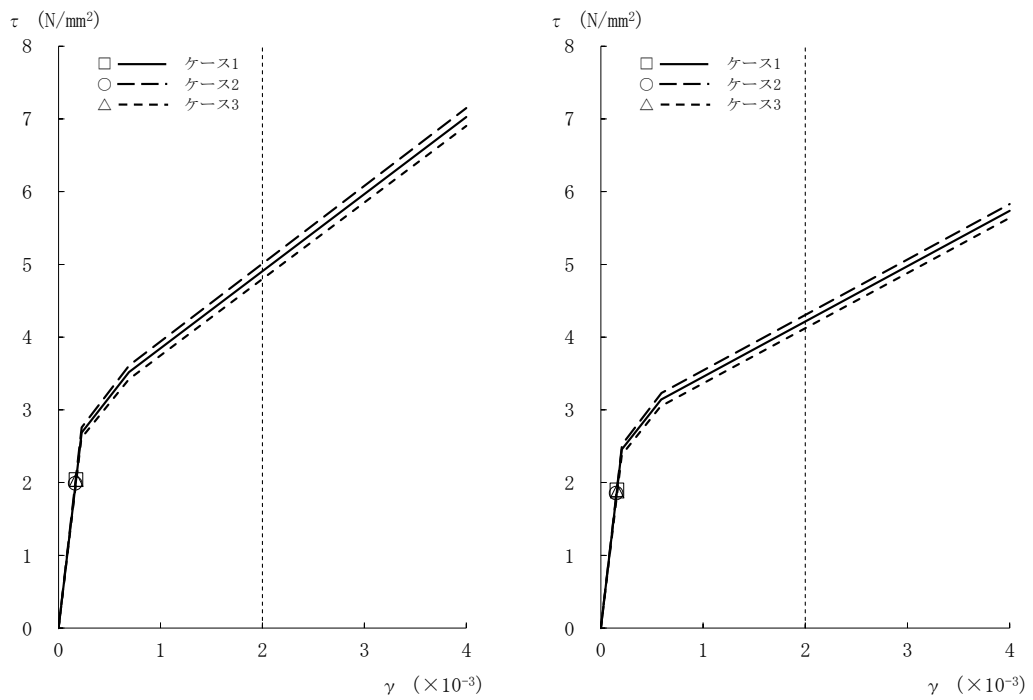
図2-13 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, NS方向, B1F) (6/8)



[外壁部]

[RCCV部]

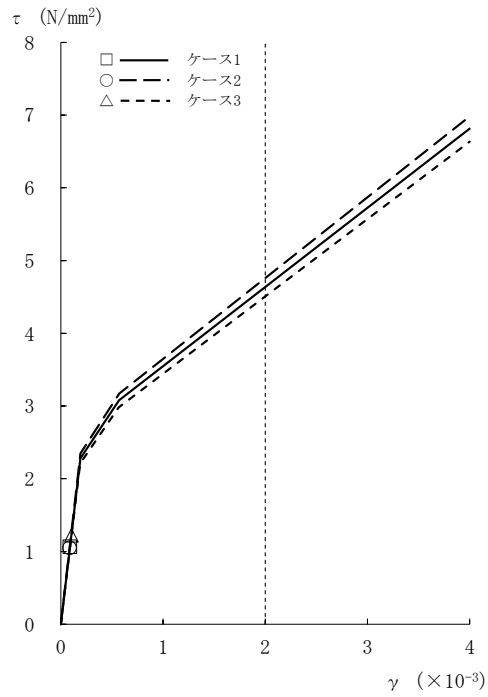
図2-13 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-2, NS方向, B2F) (7/8)



[外壁部]

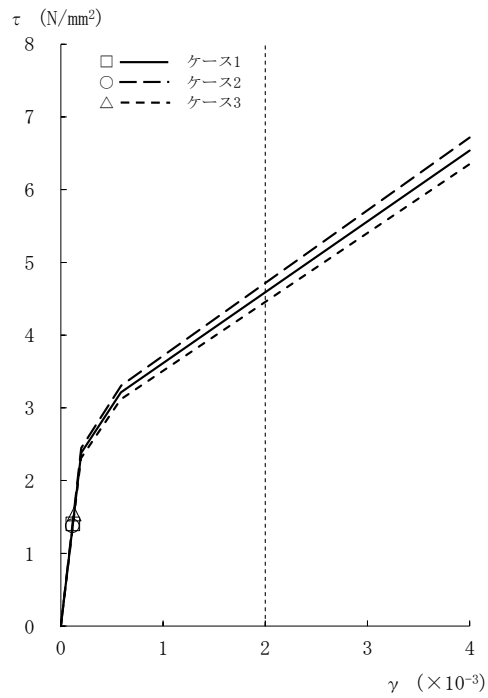
[RCCV部]

図2-13 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-2, NS方向, B3F) (8/8)



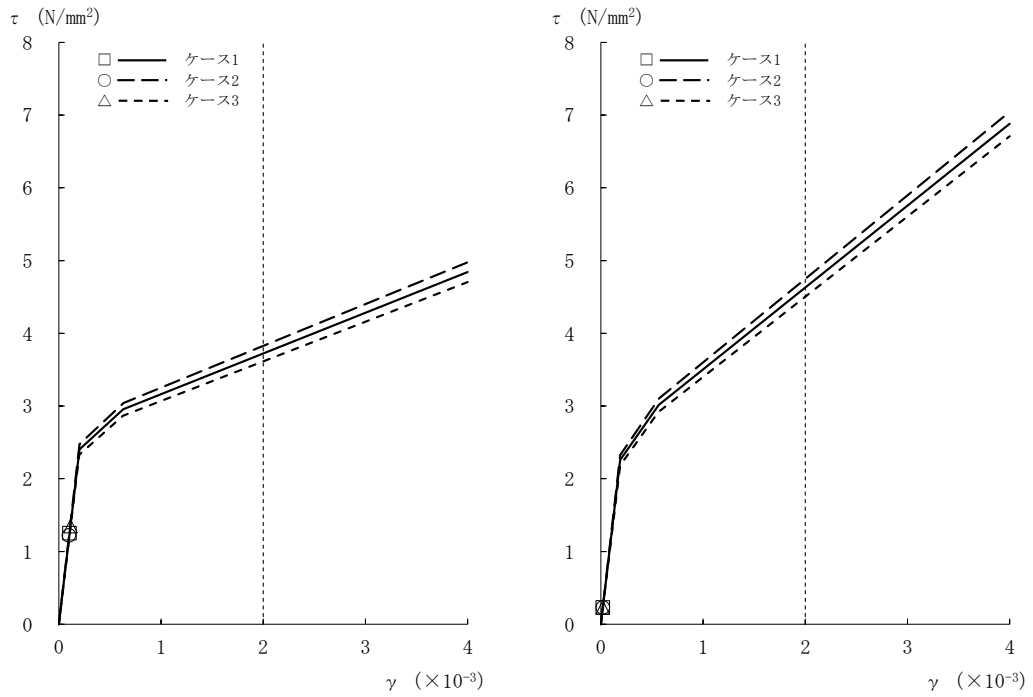
[外壁部]

図2-14 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

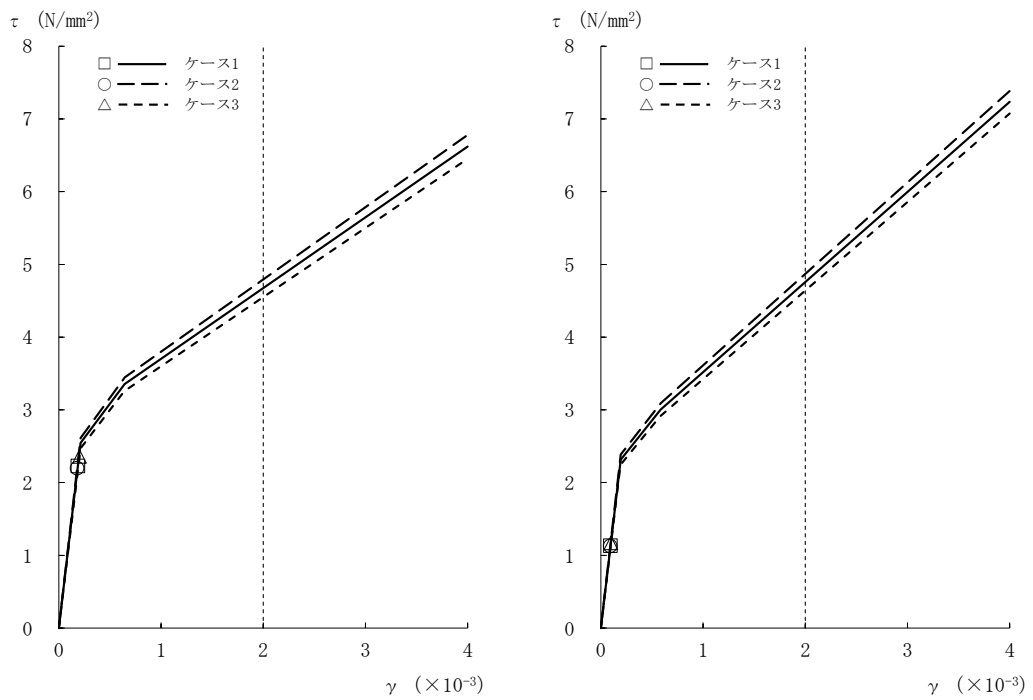
図2-14 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, 4F) (2/8)



[外壁部]

[RCCV部]

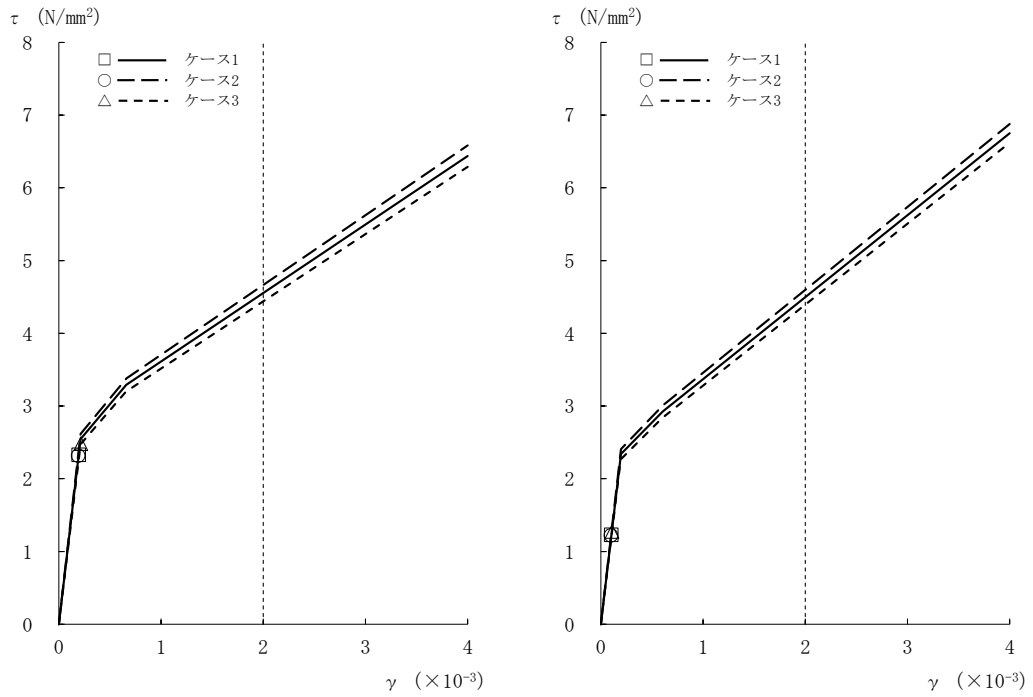
図2-14 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, 3F) (3/8)



[外壁部]

[RCCV部]

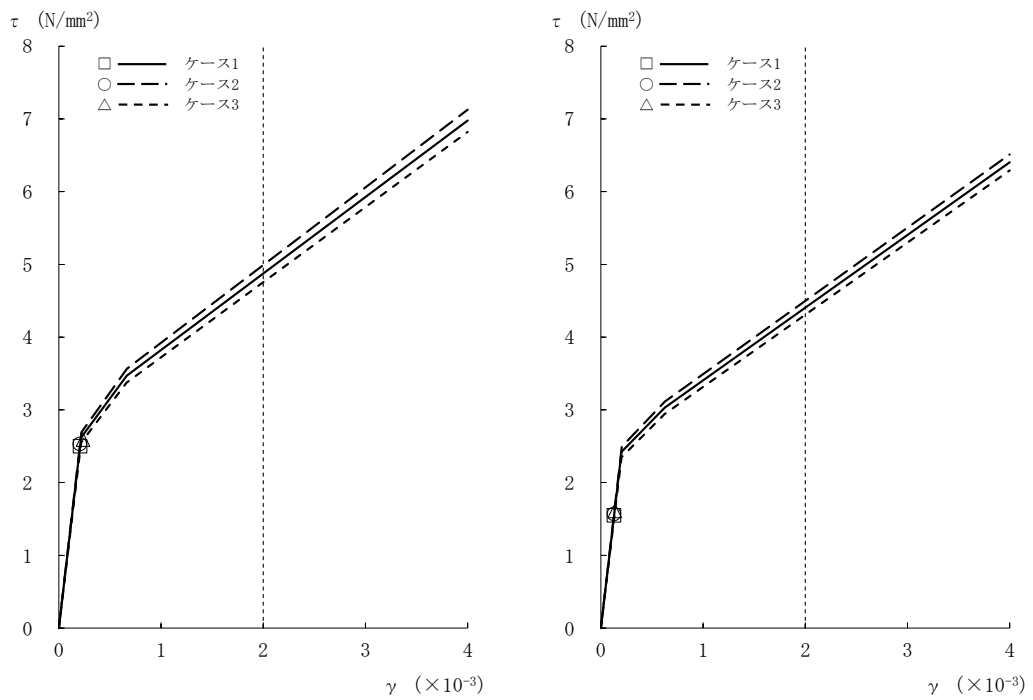
図2-14 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, 2F) (4/8)



[外壁部]

[RCCV部]

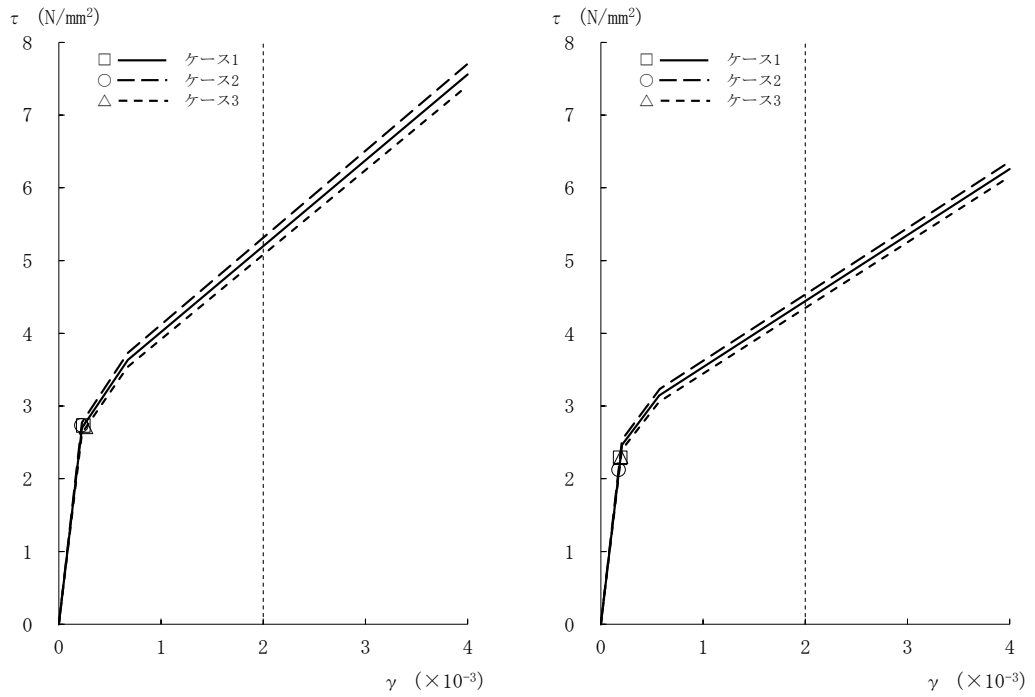
図2-14 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, 1F) (5/8)



[外壁部]

[RCCV部]

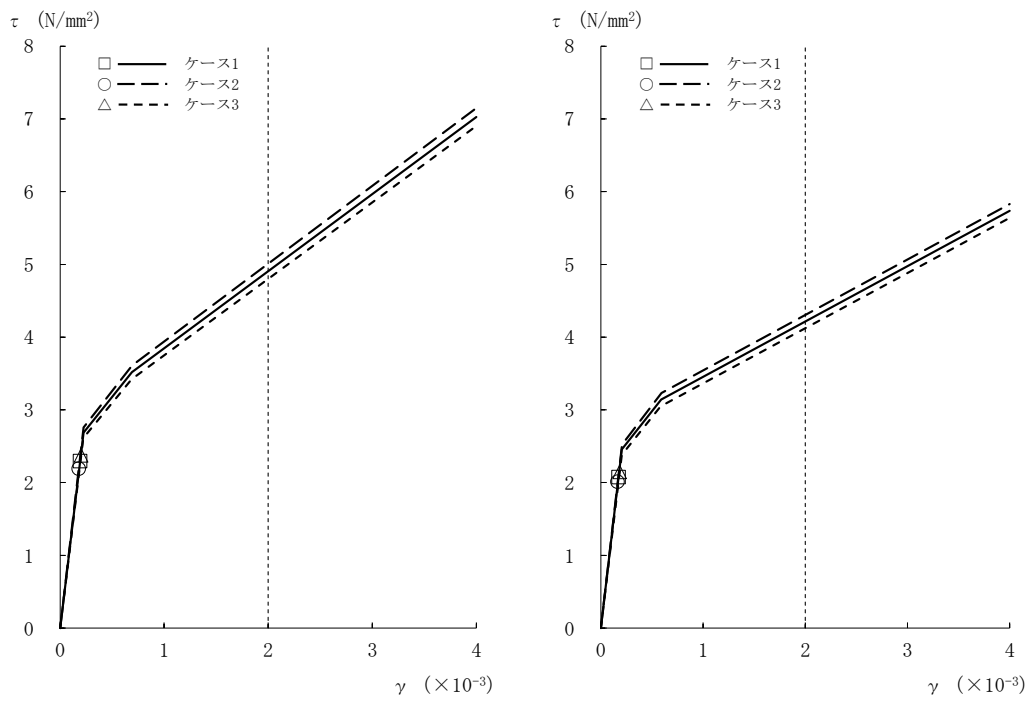
図2-14 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, B1F) (6/8)



[外壁部]

[RCCV部]

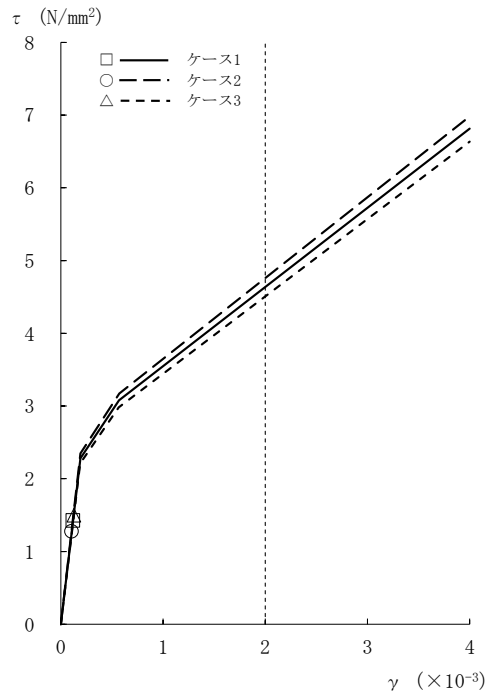
図2-14 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, B2F) (7/8)



[外壁部]

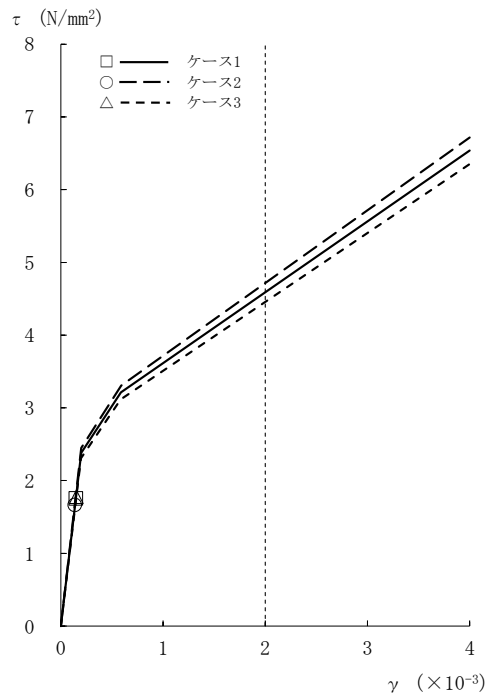
[RCCV部]

図2-14 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, B3F) (8/8)



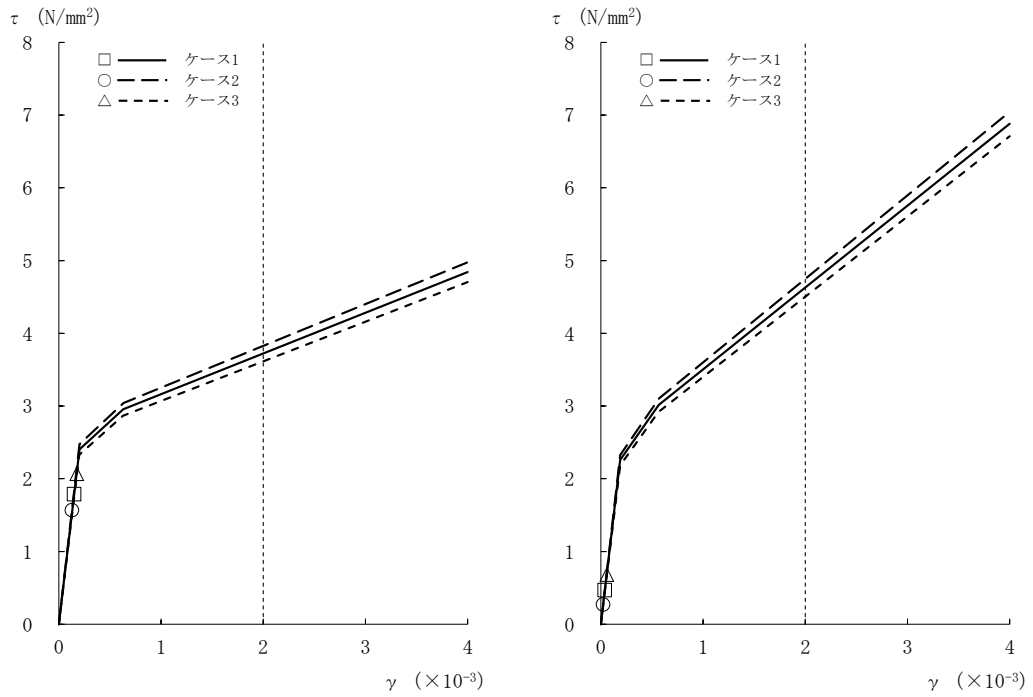
[外壁部]

図2-15 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

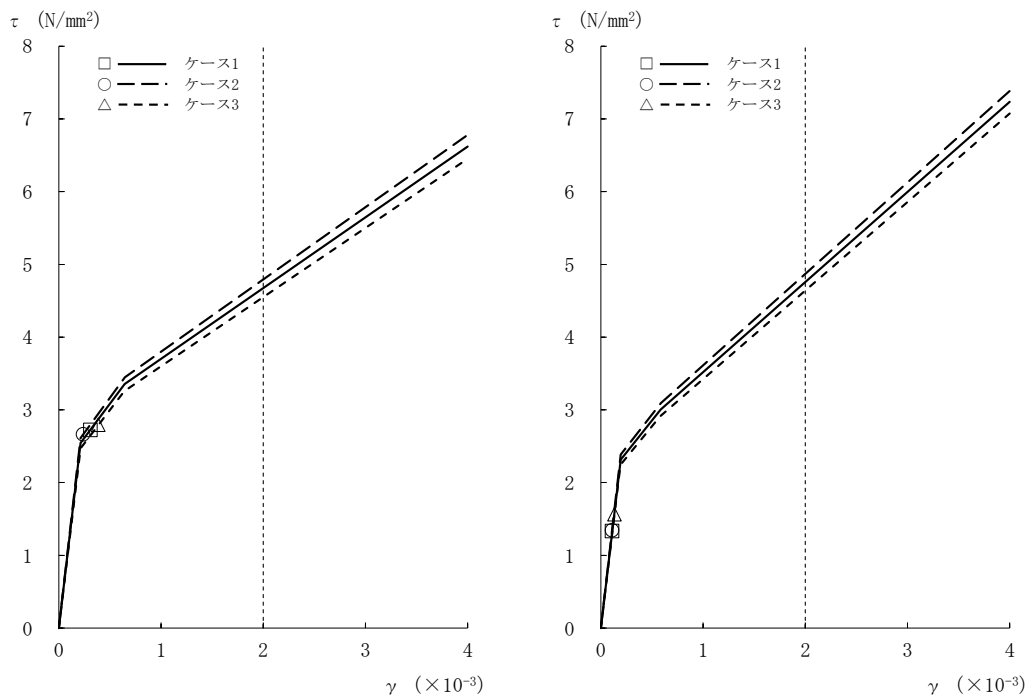
図2-15 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, 4F) (2/8)



[外壁部]

[RCCV部]

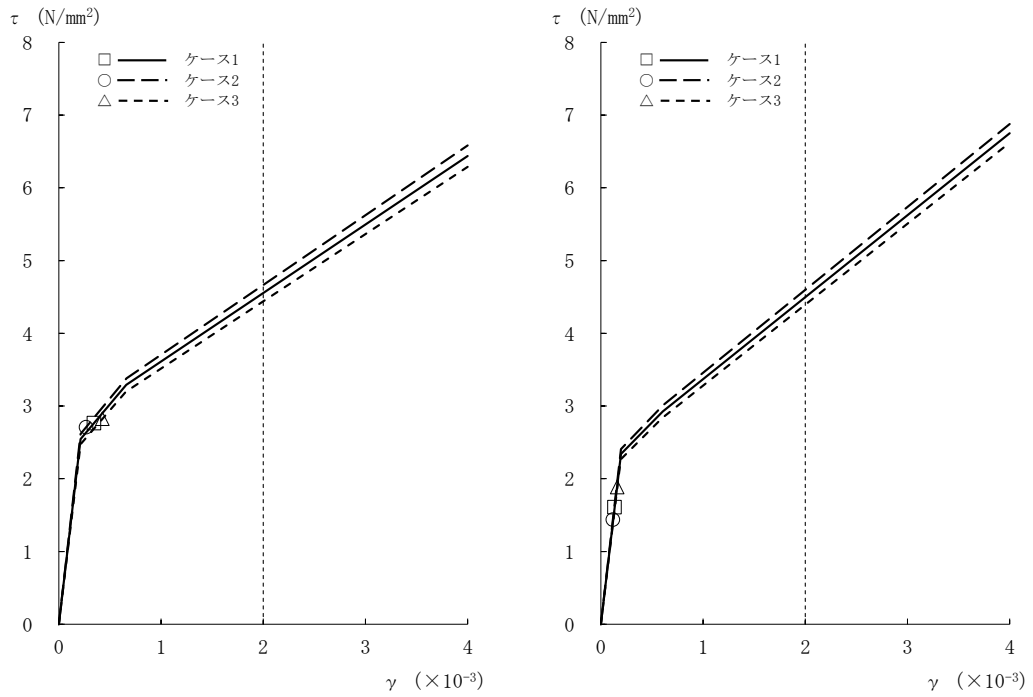
図2-15 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, 3F) (3/8)



[外壁部]

[RCCV部]

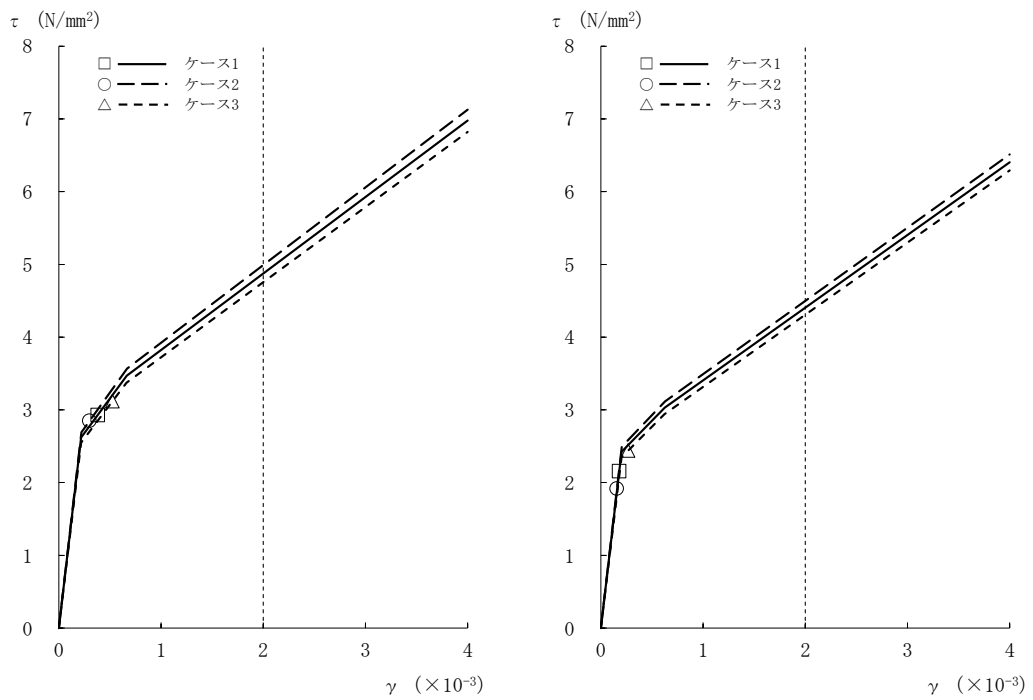
図2-15 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, 2F) (4/8)



[外壁部]

[RCCV部]

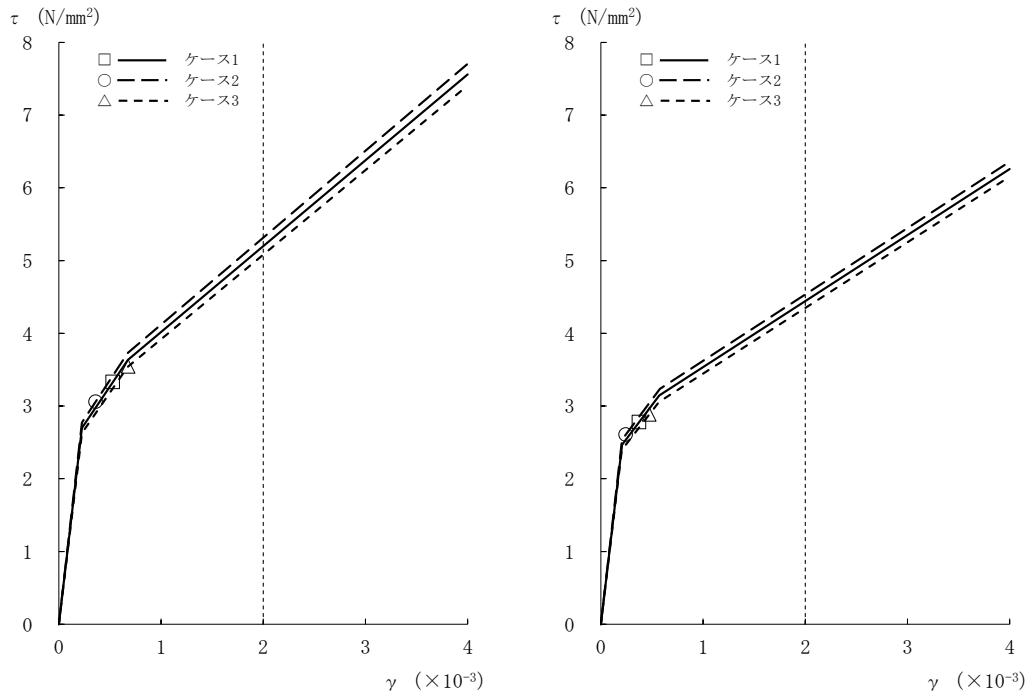
図2-15 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-8, NS方向, 1F) (5/8)



[外壁部]

[RCCV部]

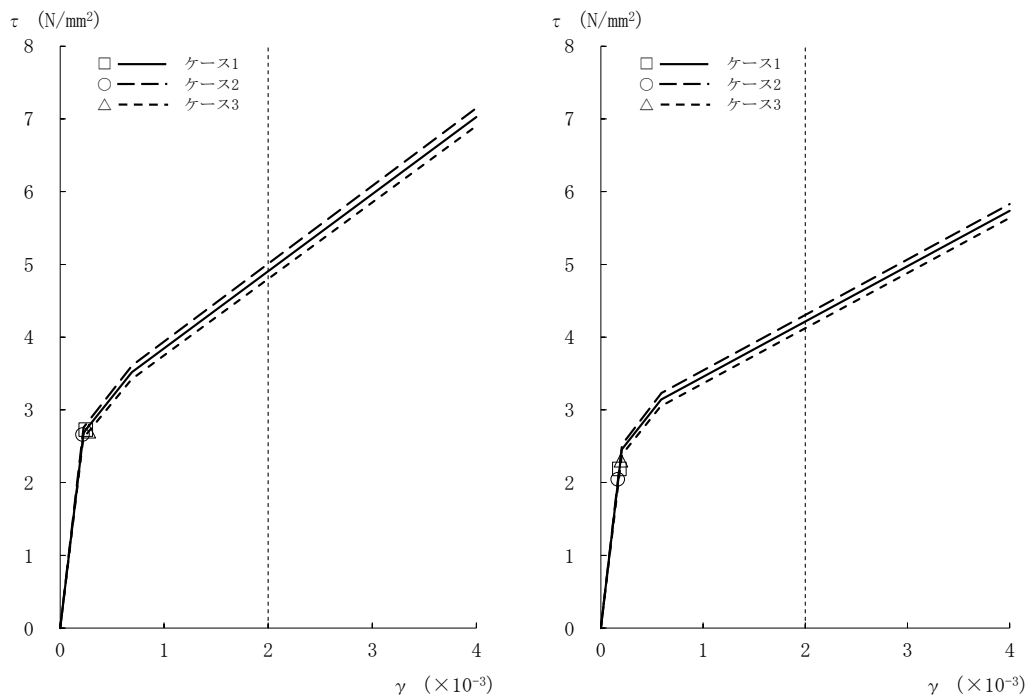
図2-15 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-8, NS方向, B1F) (6/8)



[外壁部]

[RCCV部]

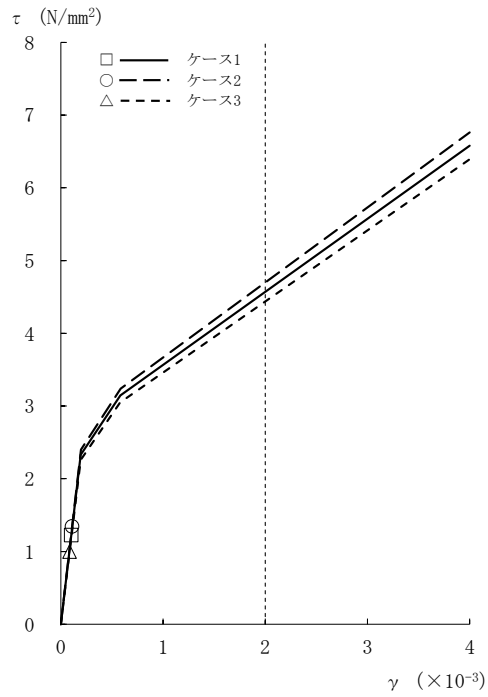
図2-15 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-8, NS方向, B2F) (7/8)



[外壁部]

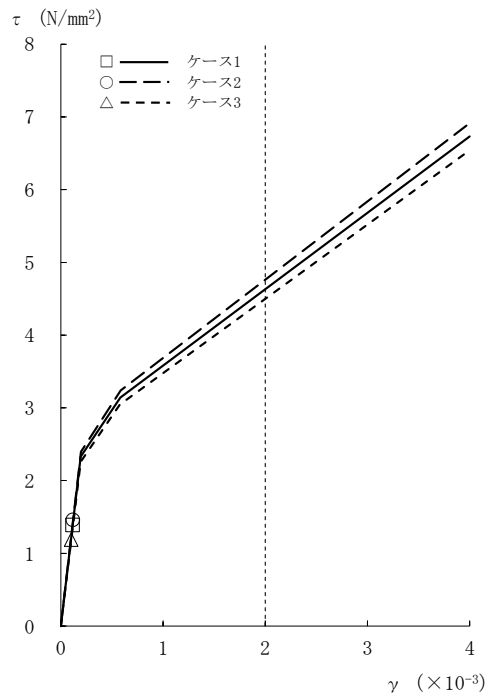
[RCCV部]

図2-15 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-8, NS方向, B3F) (8/8)



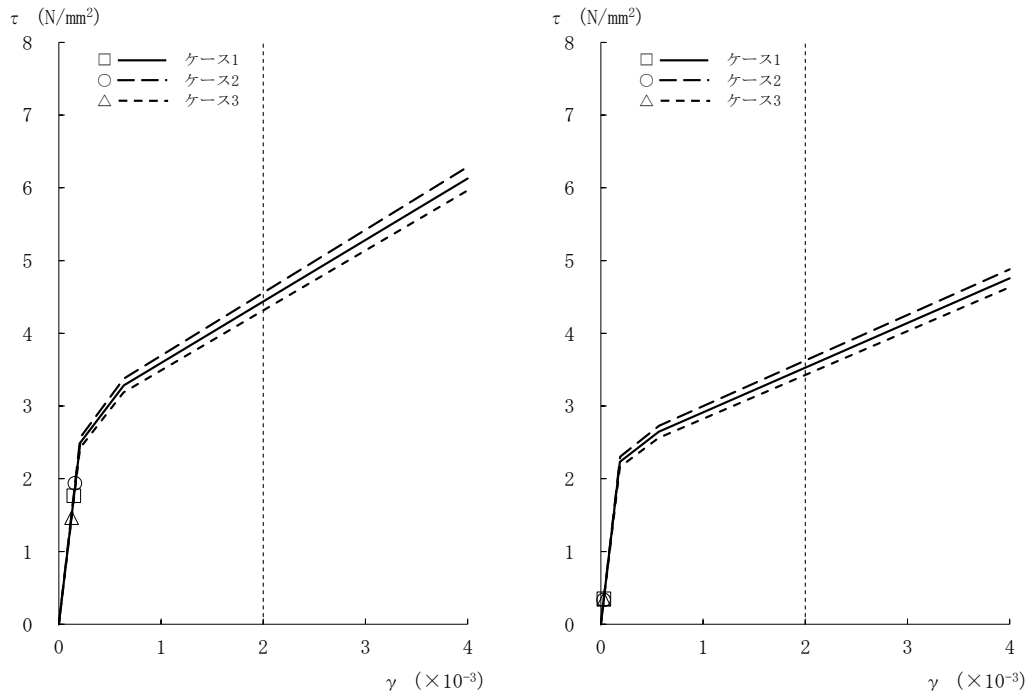
[外壁部]

図2-16 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

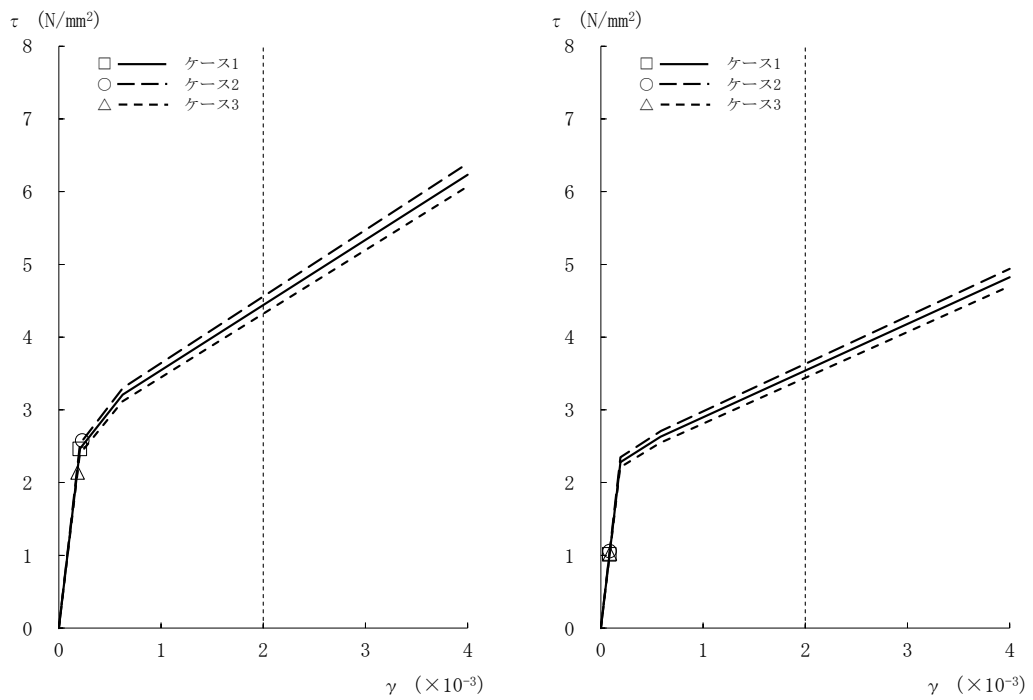
図2-16 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, 4F) (2/8)



[外壁部]

[RCCV部]

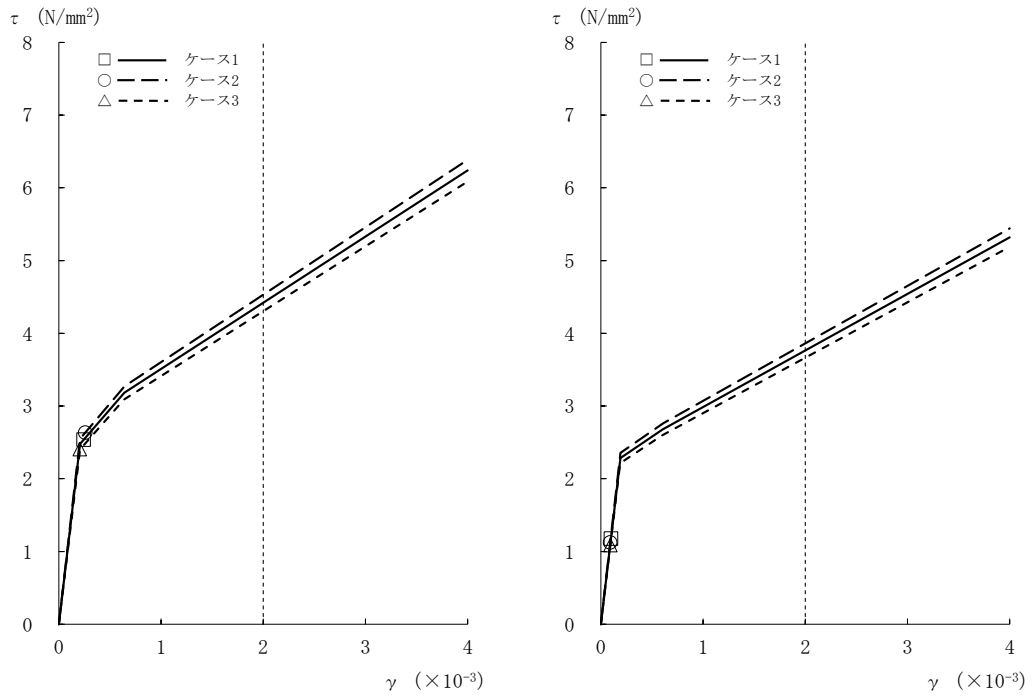
図2-16 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, 3F) (3/8)



[外壁部]

[RCCV部]

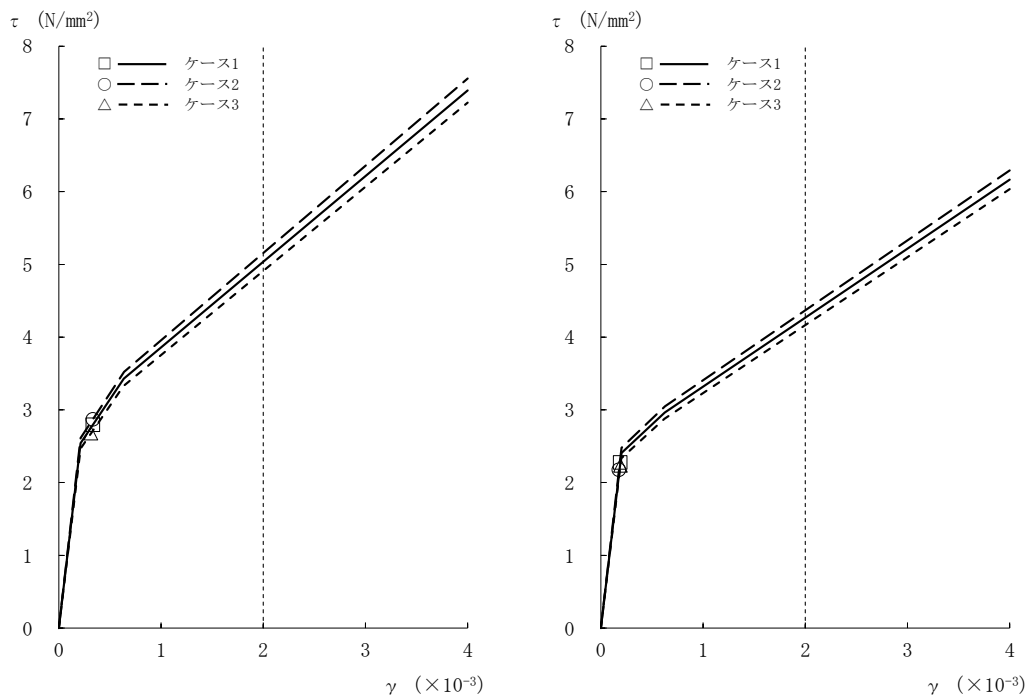
図2-16 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, 2F) (4/8)



[外壁部]

[RCCV部]

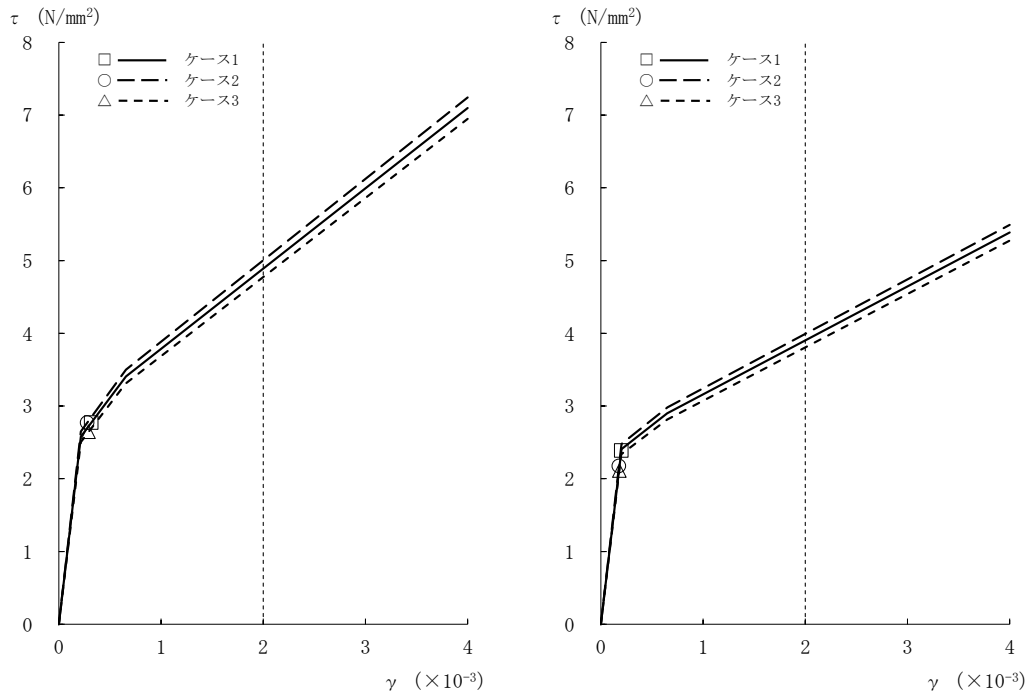
図2-16 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, 1F) (5/8)



[外壁部]

[RCCV部]

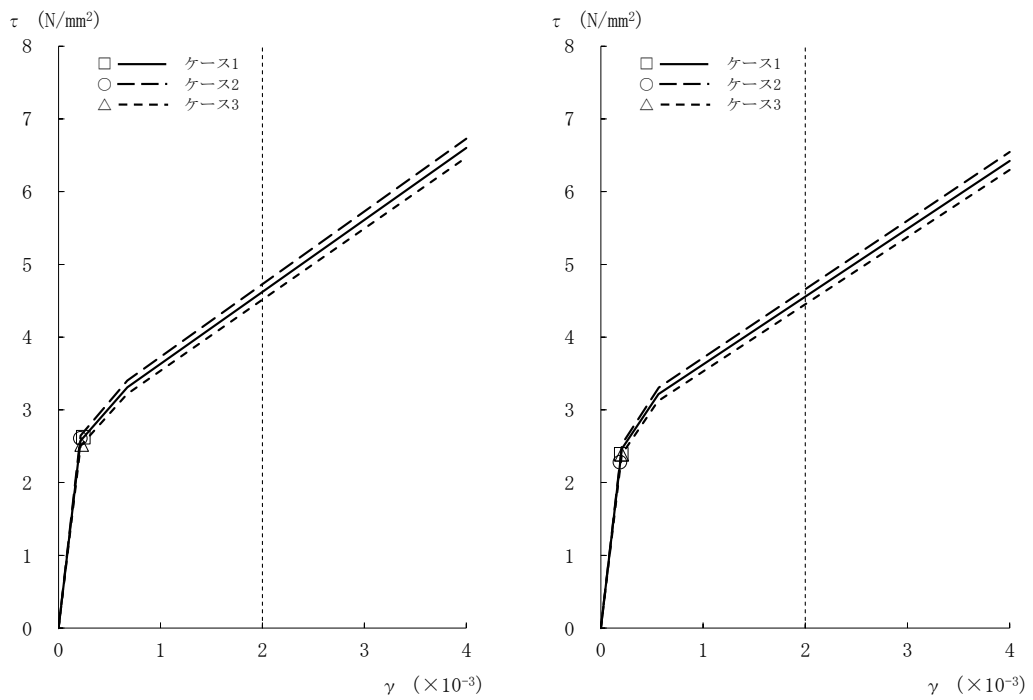
図2-16 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, B1F) (6/8)



[外壁部]

[RCCV部]

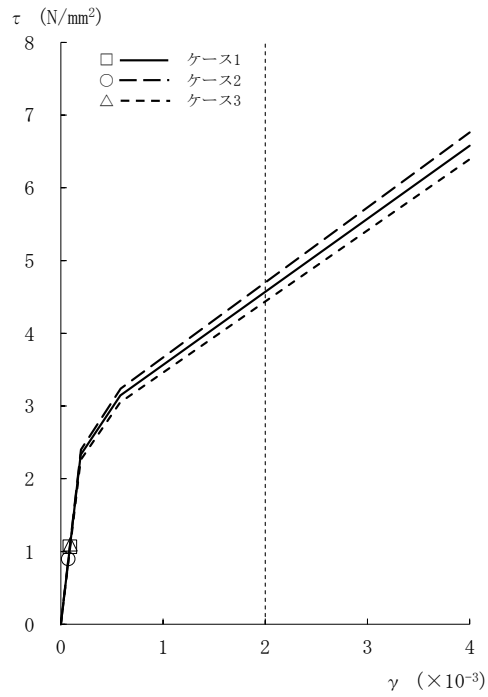
図2-16 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-1, EW方向, B2F) (7/8)



[外壁部]

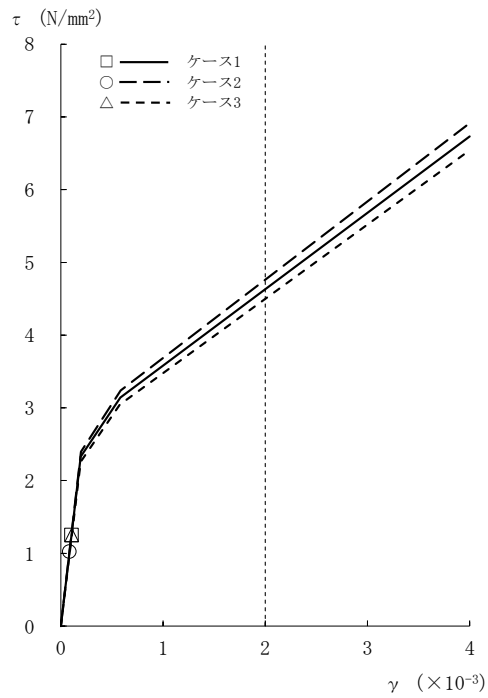
[RCCV部]

図2-16 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-1, EW方向, B3F) (8/8)



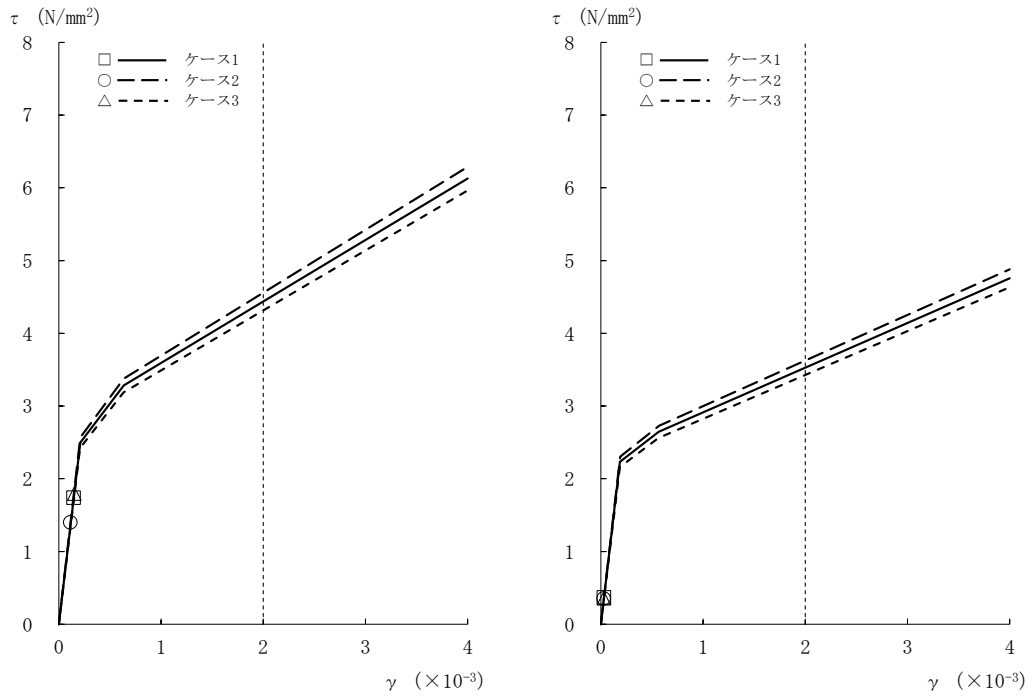
[外壁部]

図2-17 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

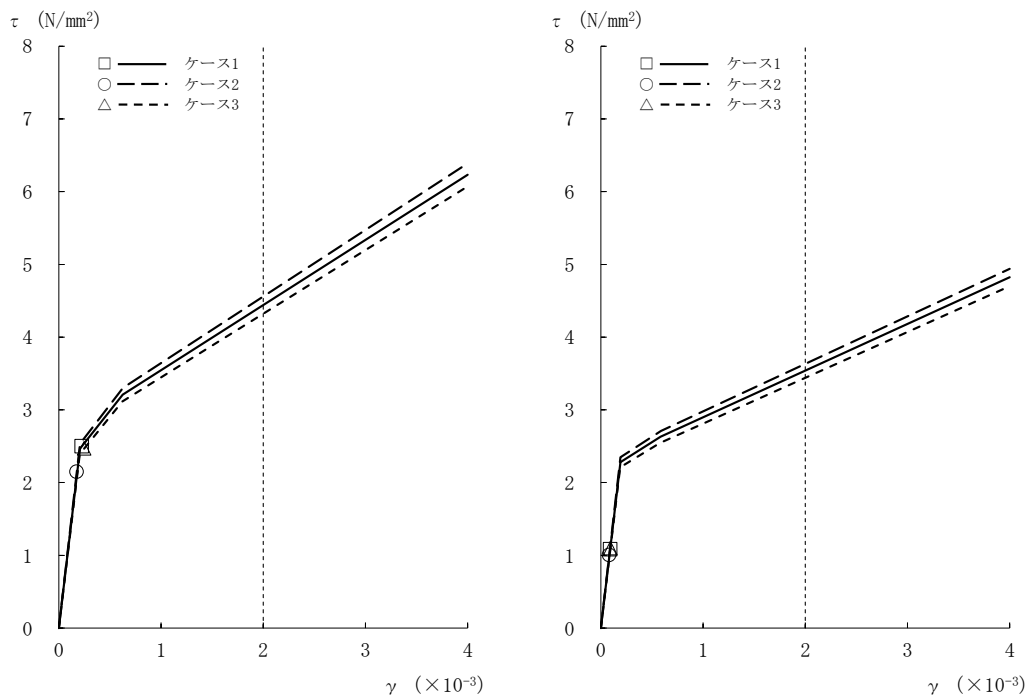
図2-17 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, 4F) (2/8)



[外壁部]

[RCCV部]

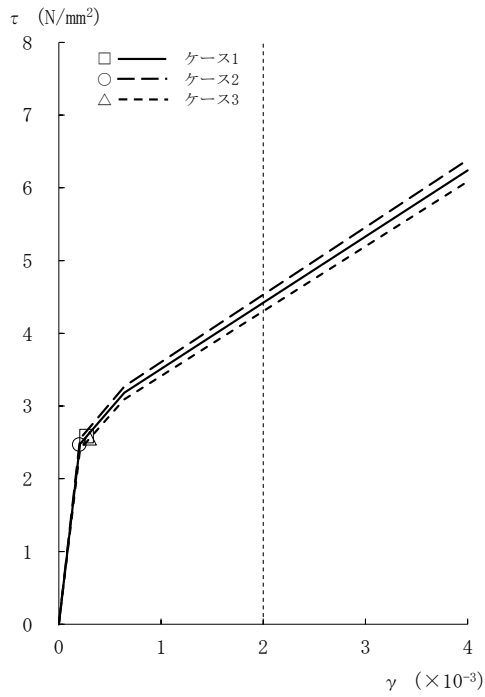
図2-17 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, 3F) (3/8)



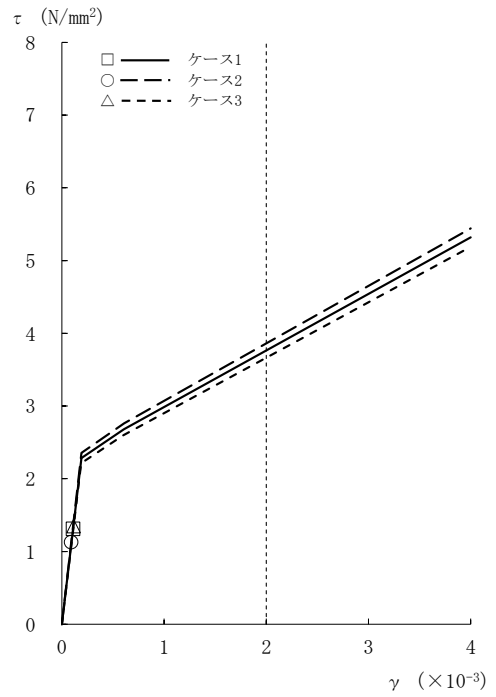
[外壁部]

[RCCV部]

図2-17 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, 2F) (4/8)

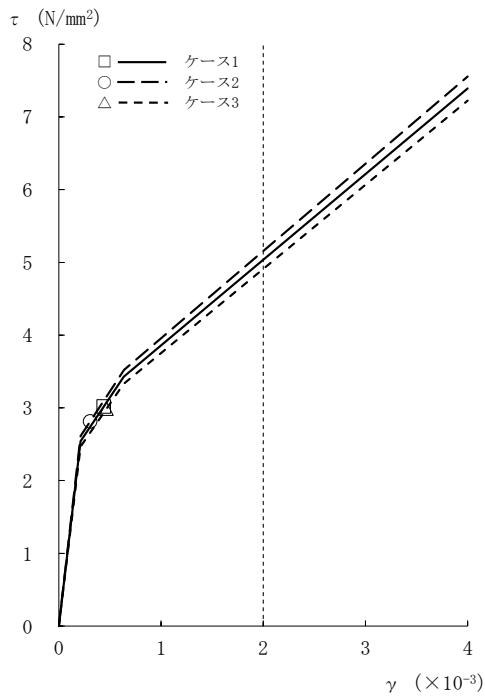


[外壁部]

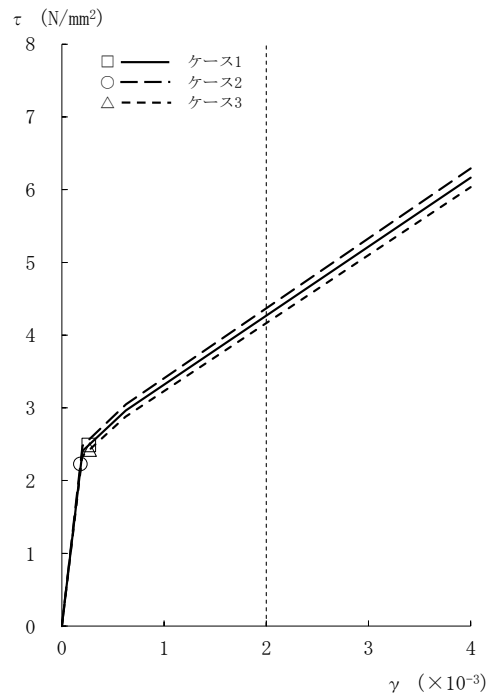


[RCCV部]

図2-17 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, 1F) (5/8)

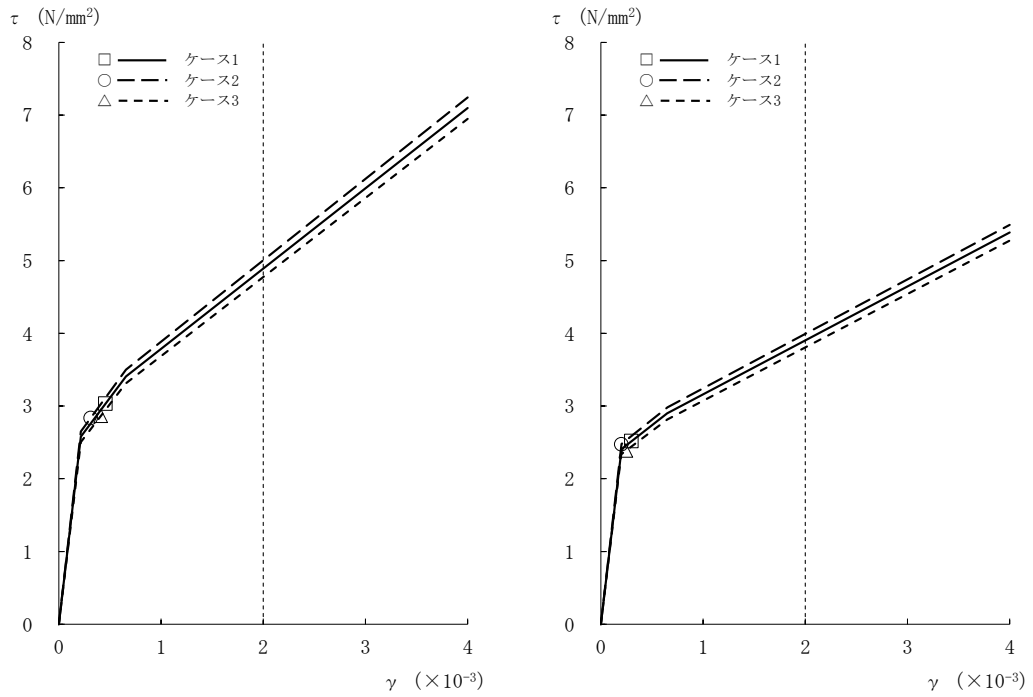


[外壁部]



[RCCV部]

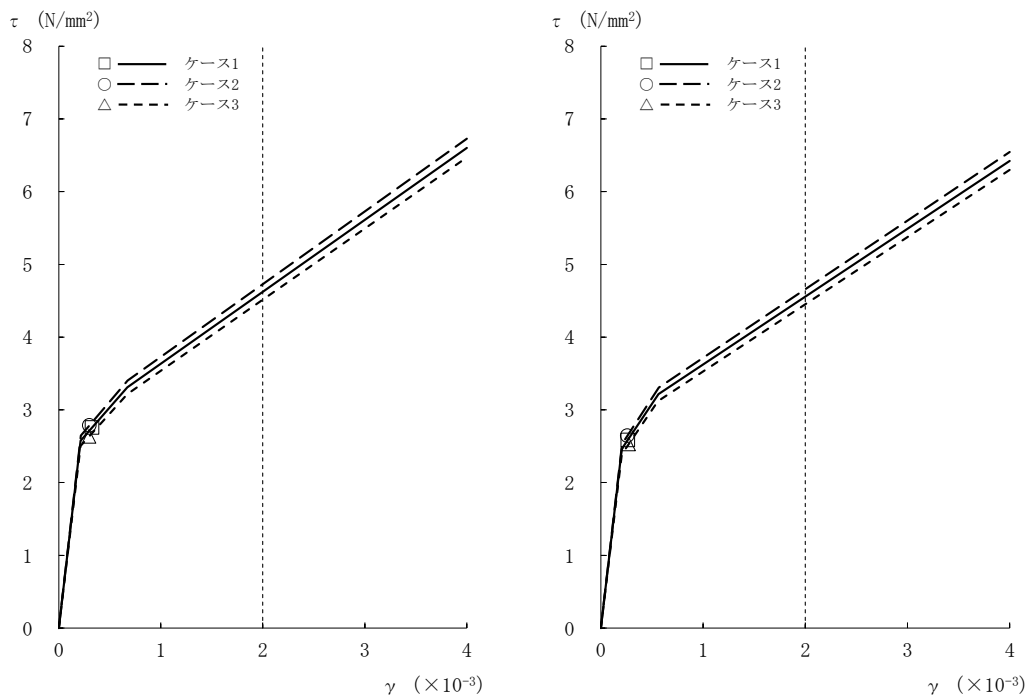
図2-17 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, B1F) (6/8)



[外壁部]

[RCCV部]

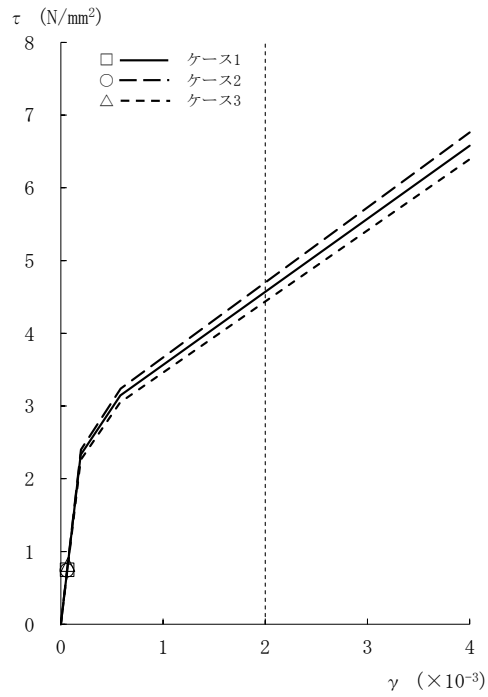
図2-17 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, EW方向, B2F) (7/8)



[外壁部]

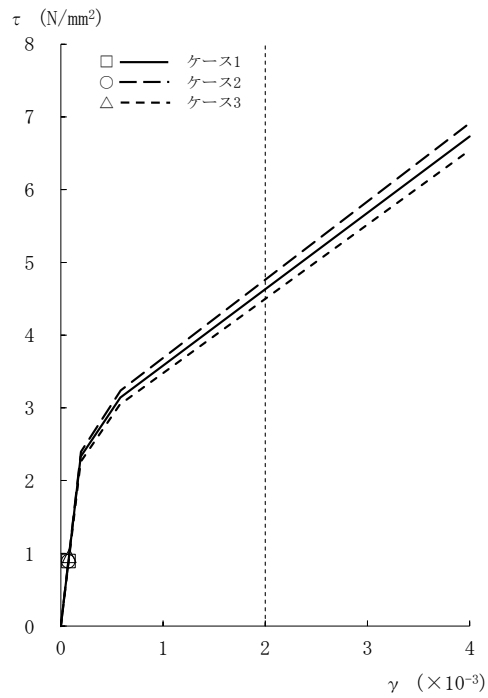
[RCCV部]

図2-17 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, EW方向, B3F) (8/8)



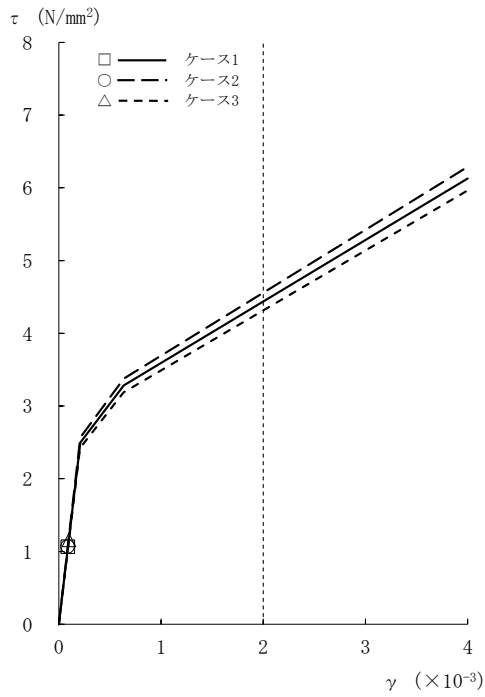
[外壁部]

図2-18 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, CRF) (1/8)

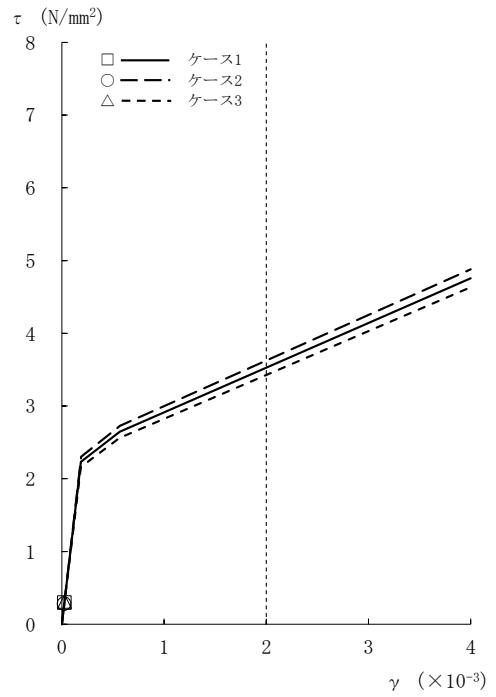


[外壁部]

図2-18 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, 4F) (2/8)

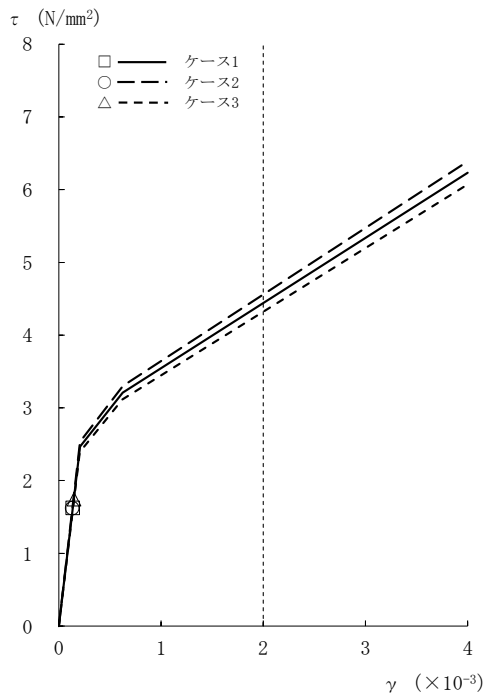


[外壁部]

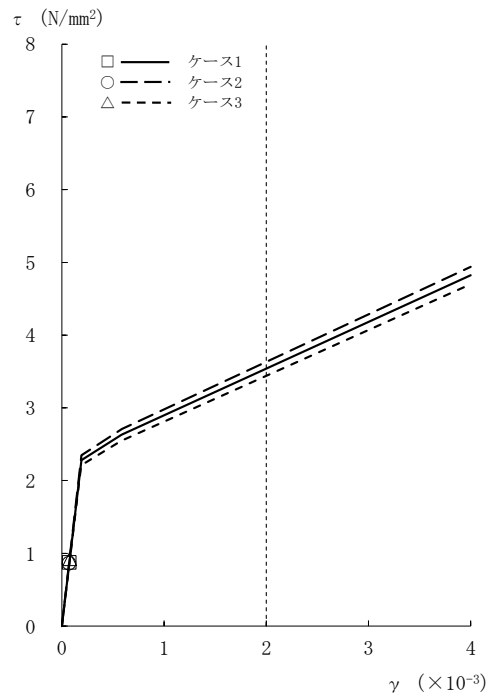


[RCCV部]

図2-18 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, 3F) (3/8)

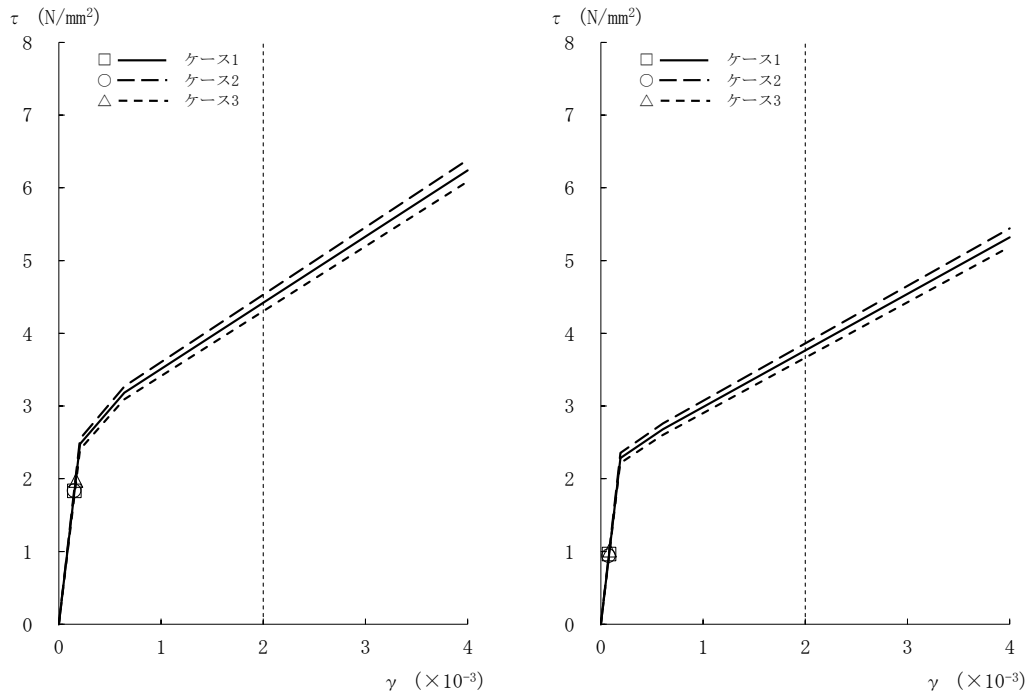


[外壁部]



[RCCV部]

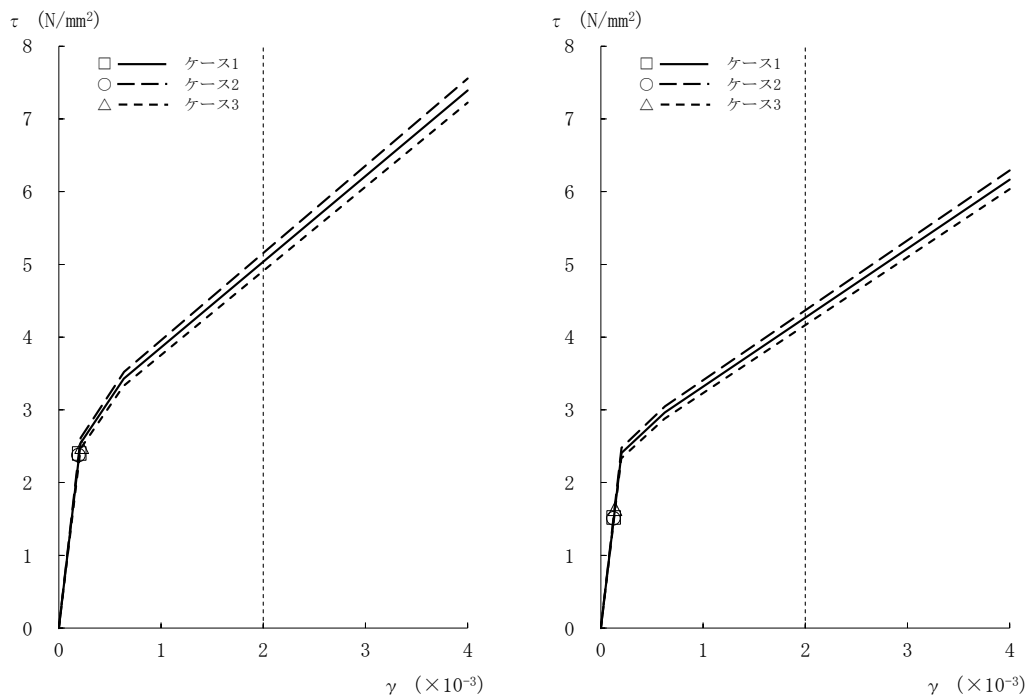
図2-18 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, 2F) (4/8)



[外壁部]

[RCCV部]

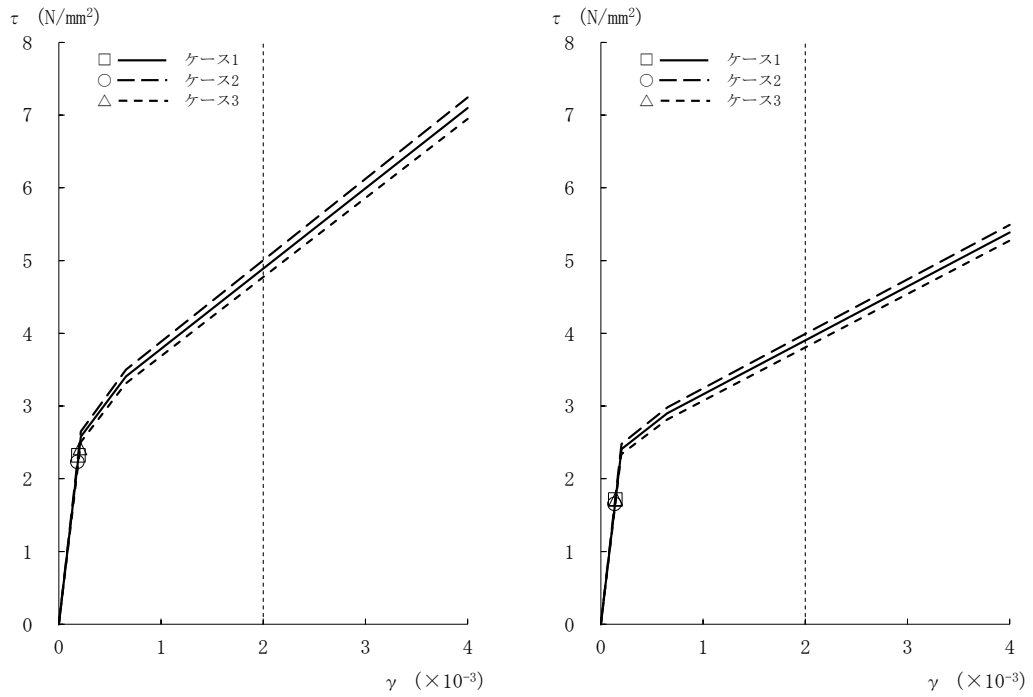
図2-18 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, 1F) (5/8)



[外壁部]

[RCCV部]

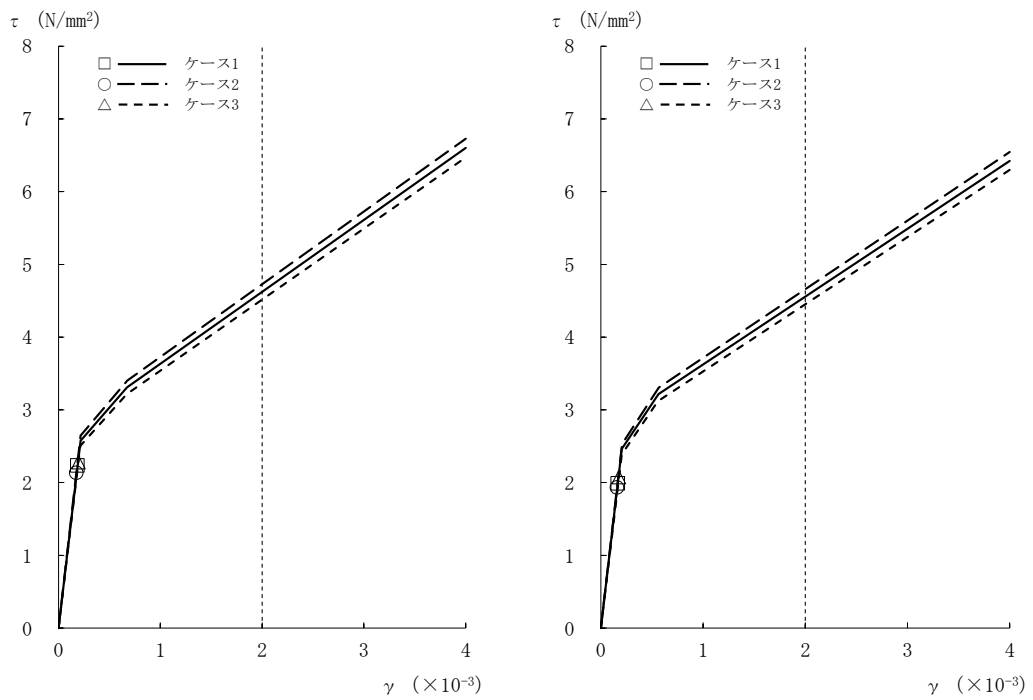
図2-18 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, B1F) (6/8)



[外壁部]

[RCCV部]

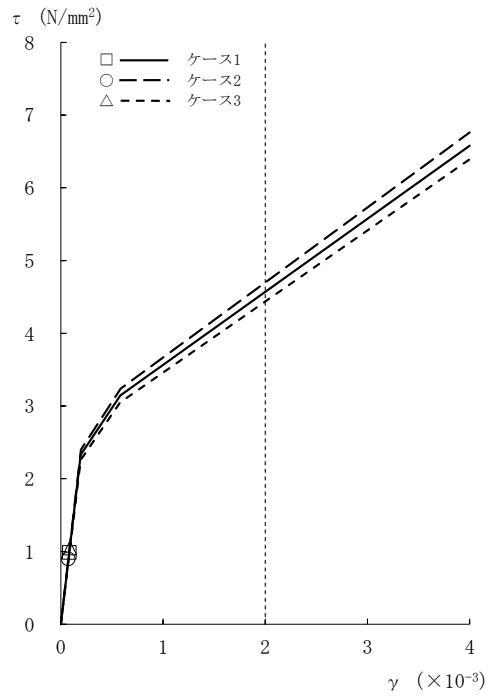
図2-18 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-3, EW方向, B2F) (7/8)



[外壁部]

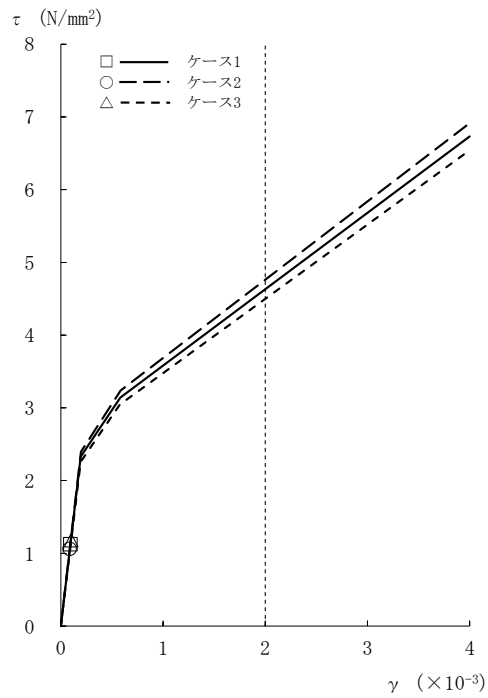
[RCCV部]

図2-18 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-3, EW方向, B3F) (8/8)



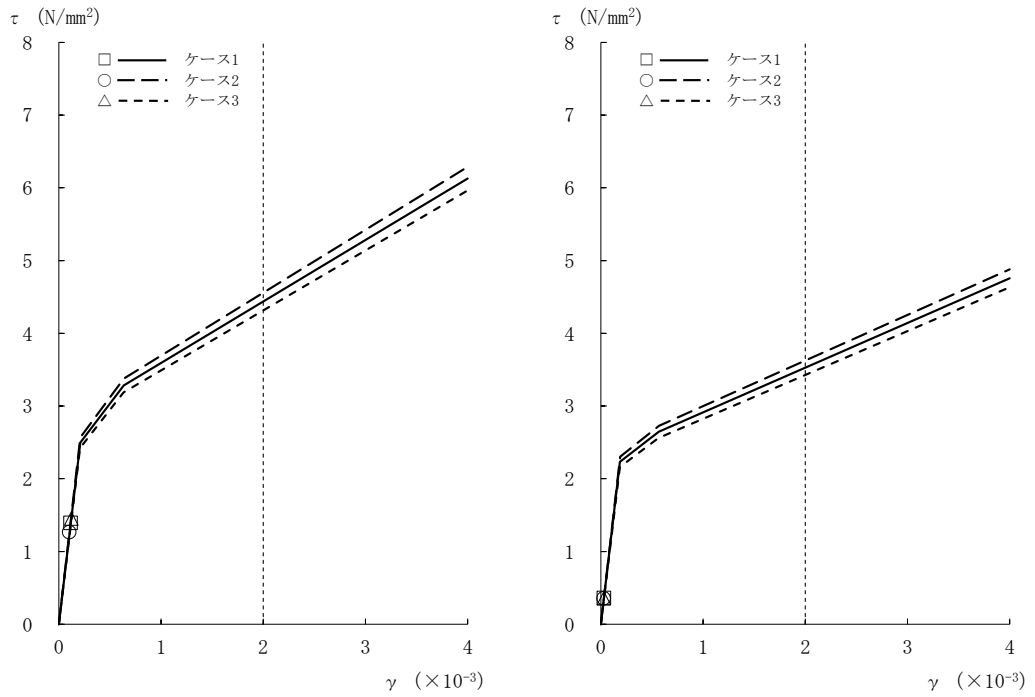
[外壁部]

図2-19 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

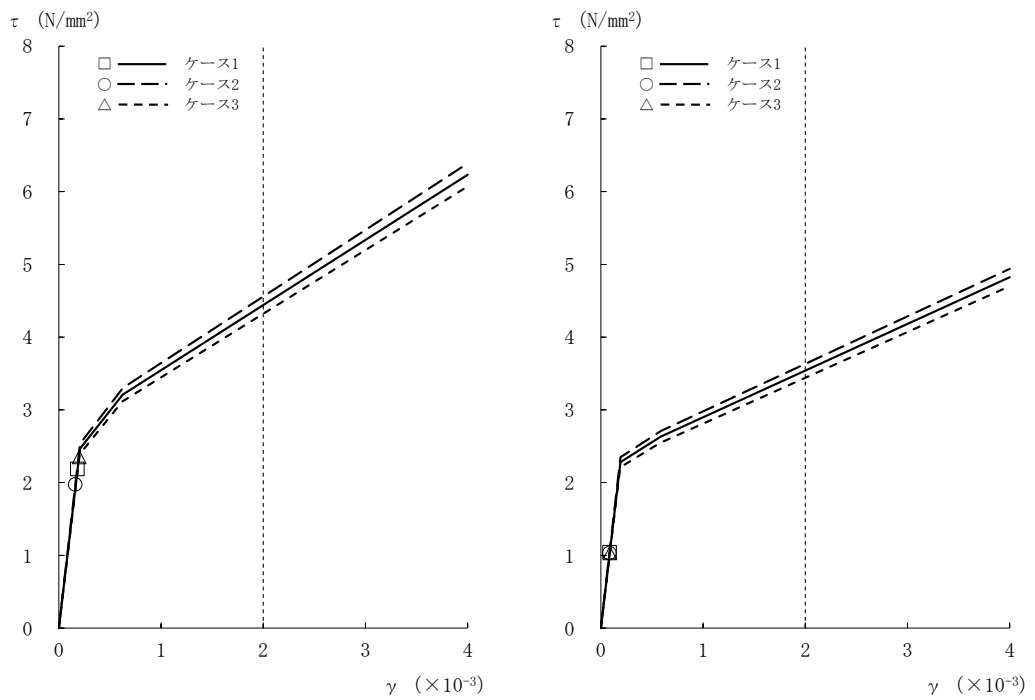
図2-19 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, 4F) (2/8)



[外壁部]

[RCCV部]

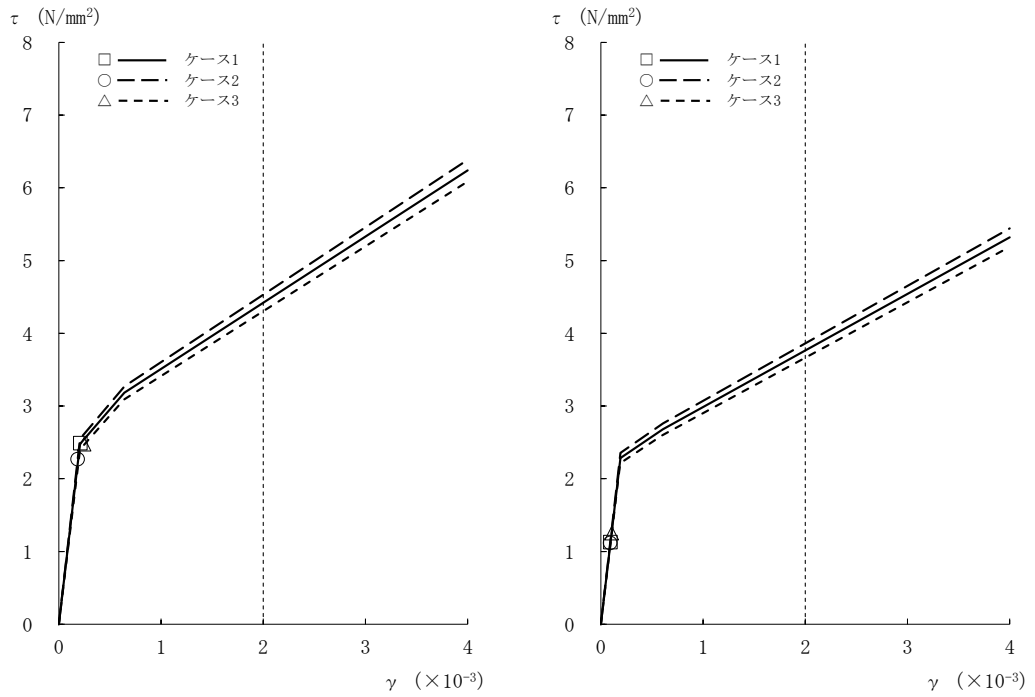
図2-19 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, 3F) (3/8)



[外壁部]

[RCCV部]

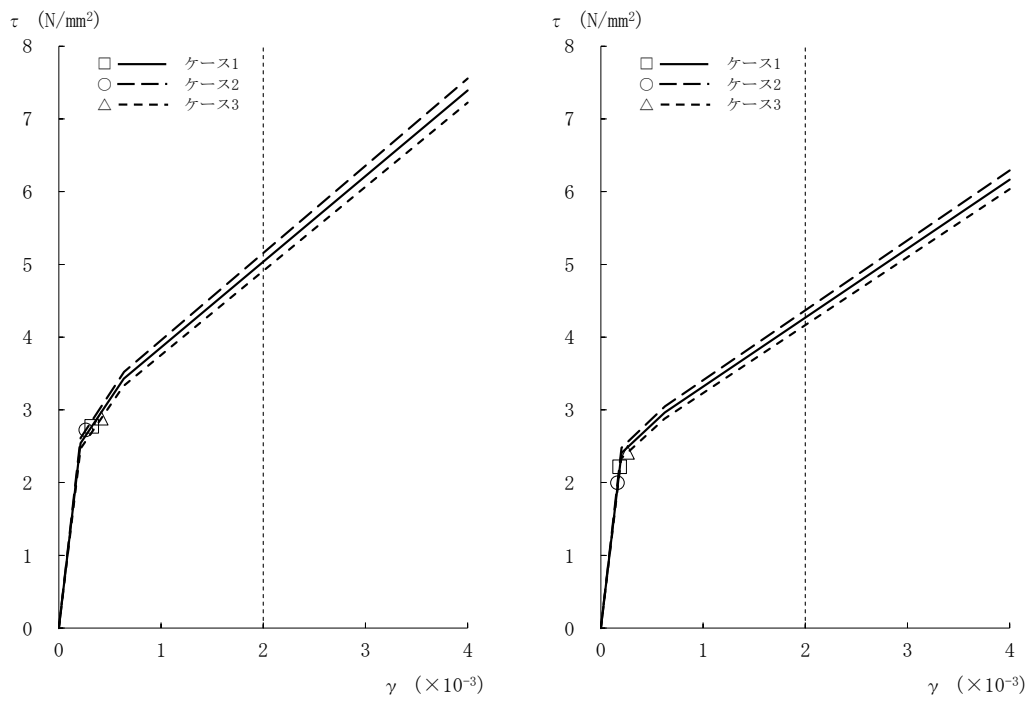
図2-19 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, 2F) (4/8)



[外壁部]

[RCCV部]

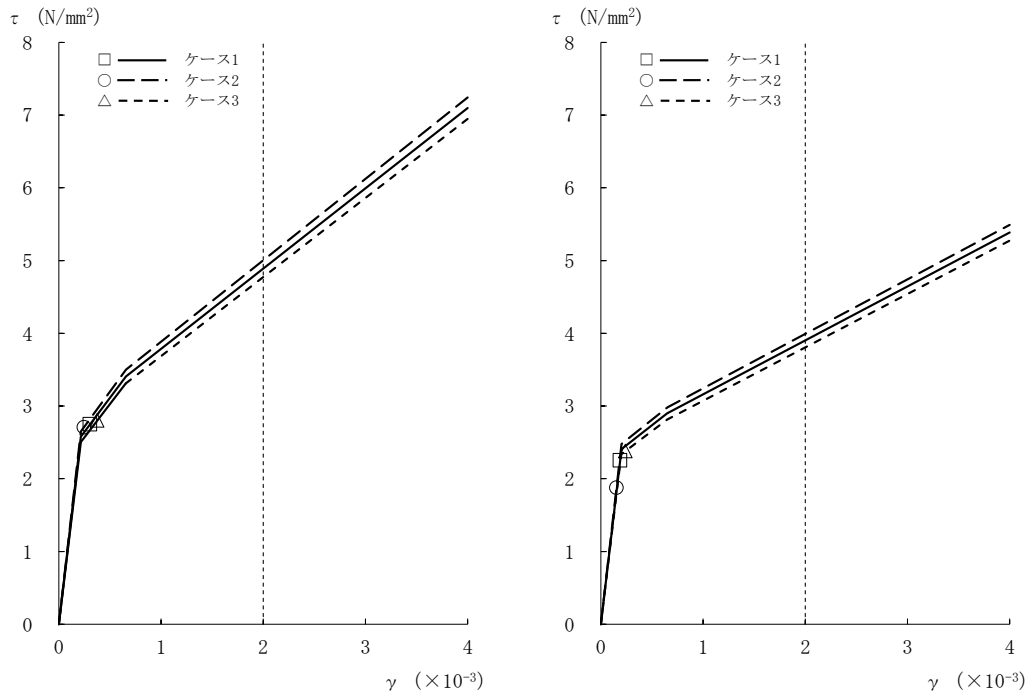
図2-19 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, 1F) (5/8)



[外壁部]

[RCCV部]

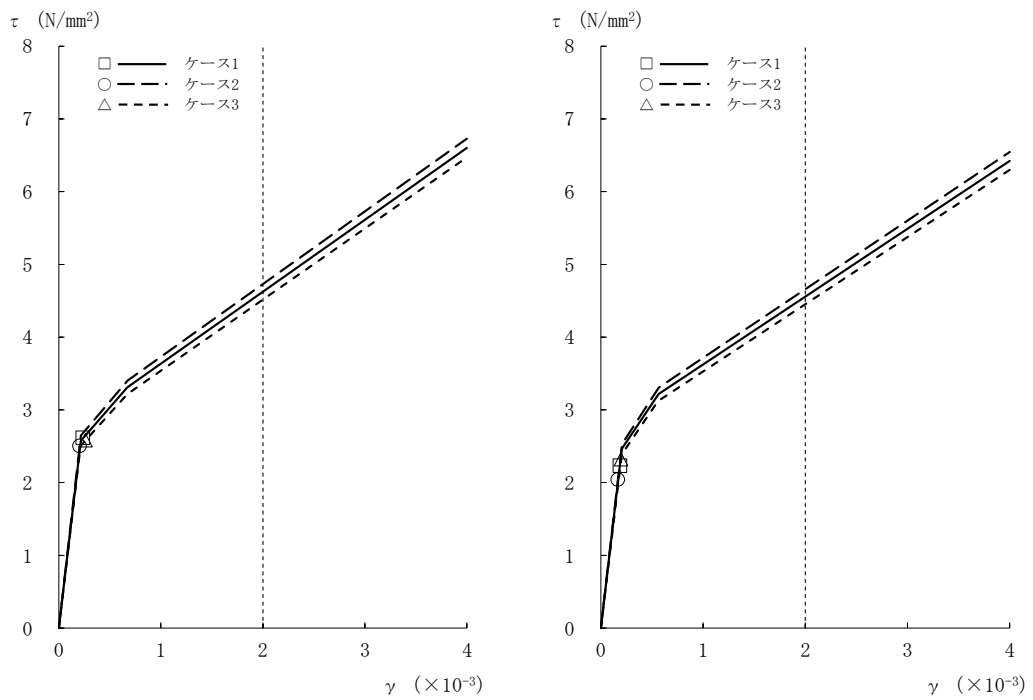
図2-19 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, B1F) (6/8)



[外壁部]

[RCCV部]

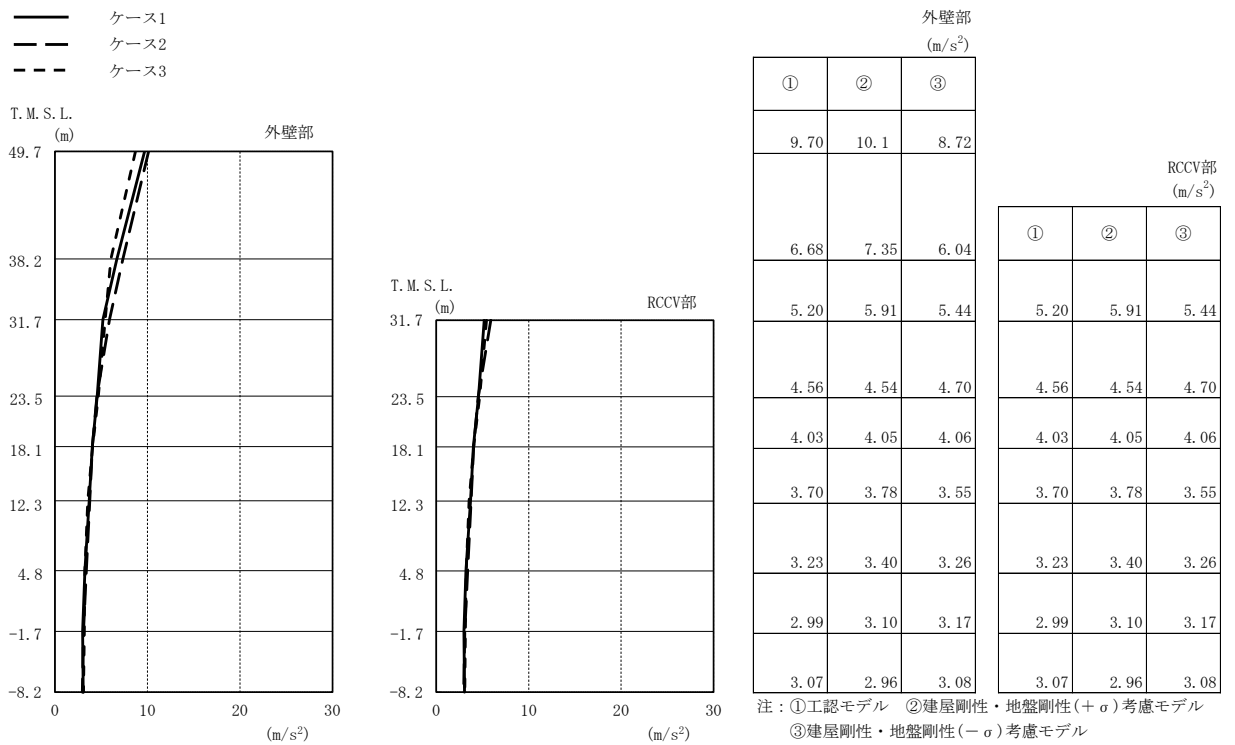
図2-19 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-8, EW方向, B2F) (7/8)



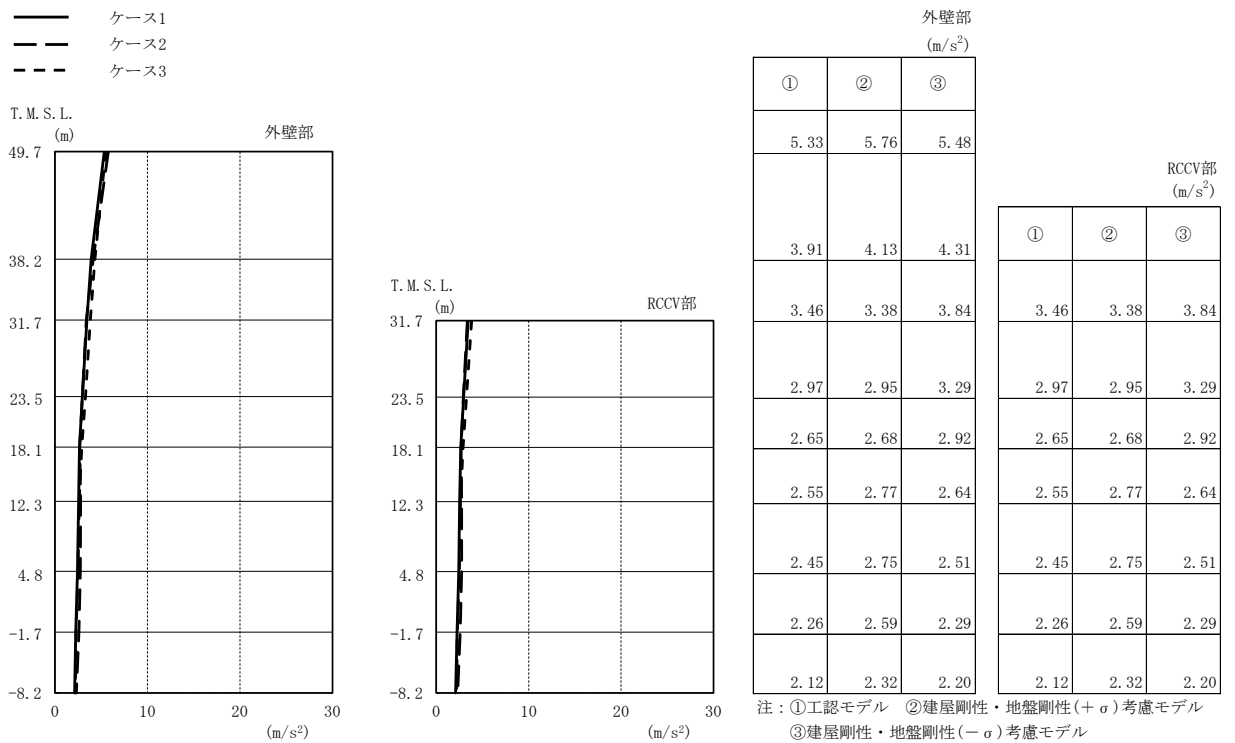
[外壁部]

[RCCV部]

図2-19 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-8, EW方向, B3F) (8/8)

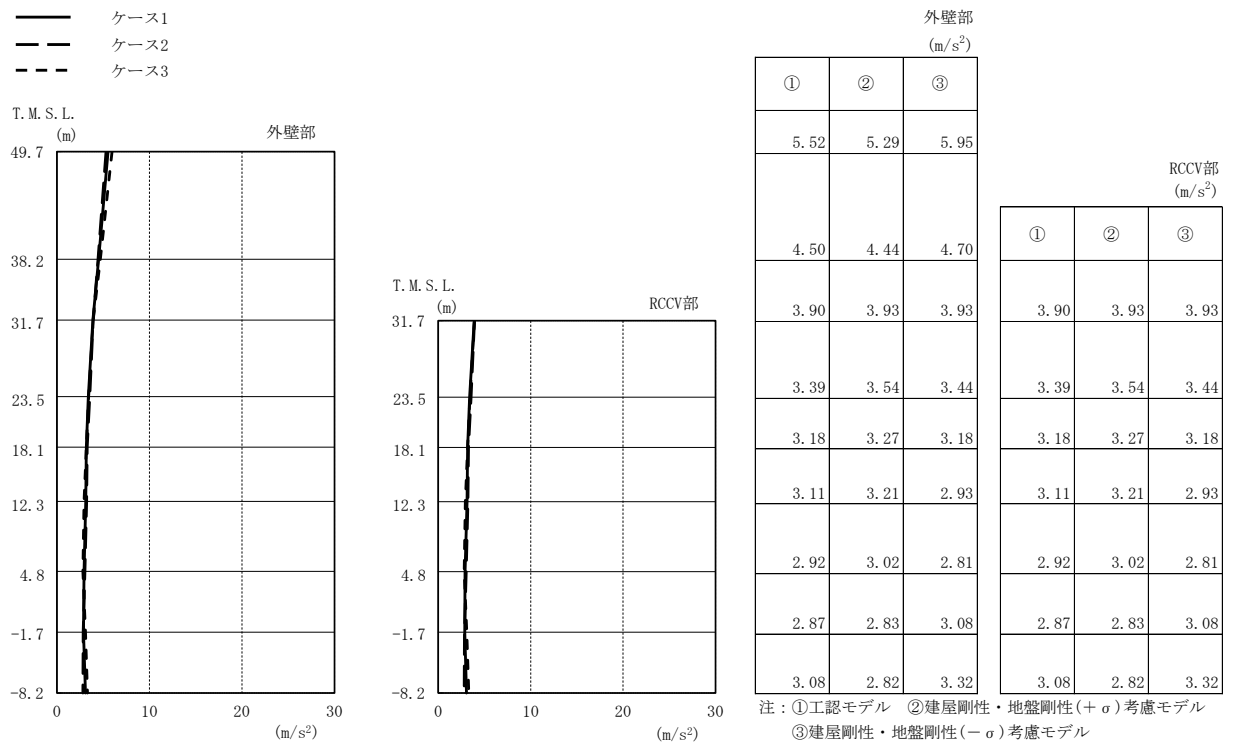


(a) Sd-1

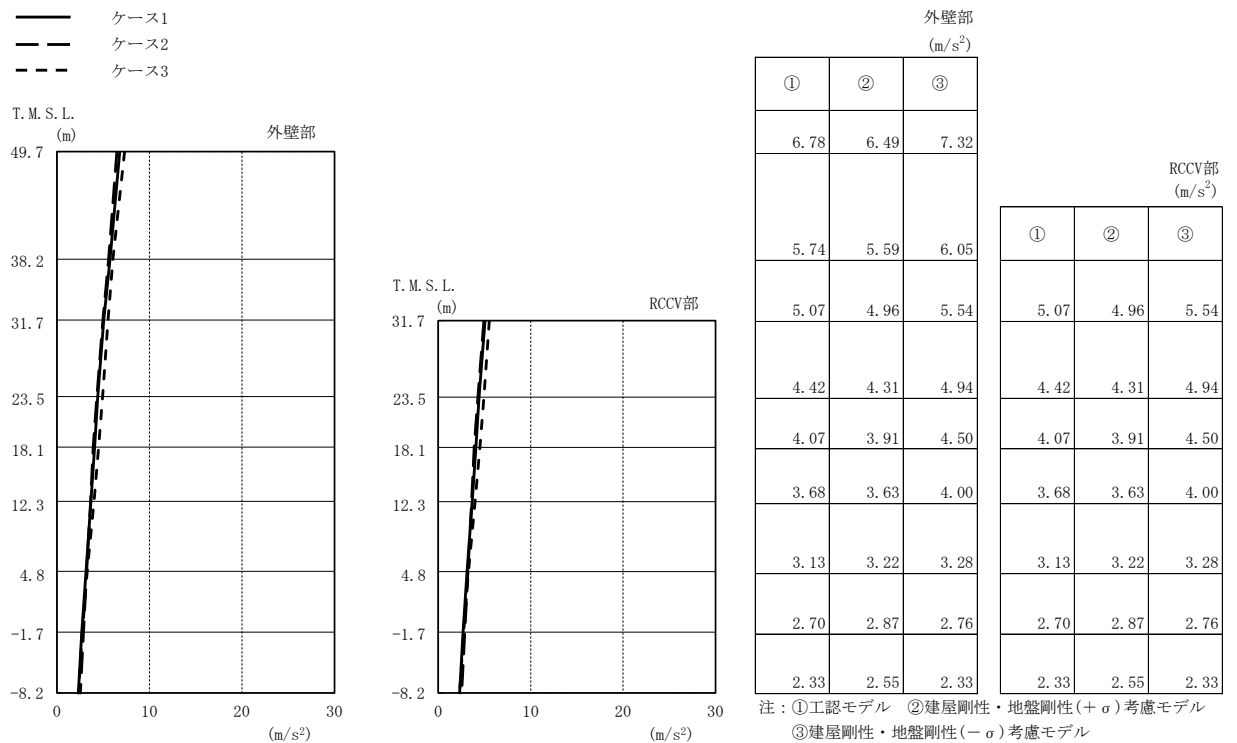


(b) Sd-2

図2-20 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d，NS方向）（1/2）

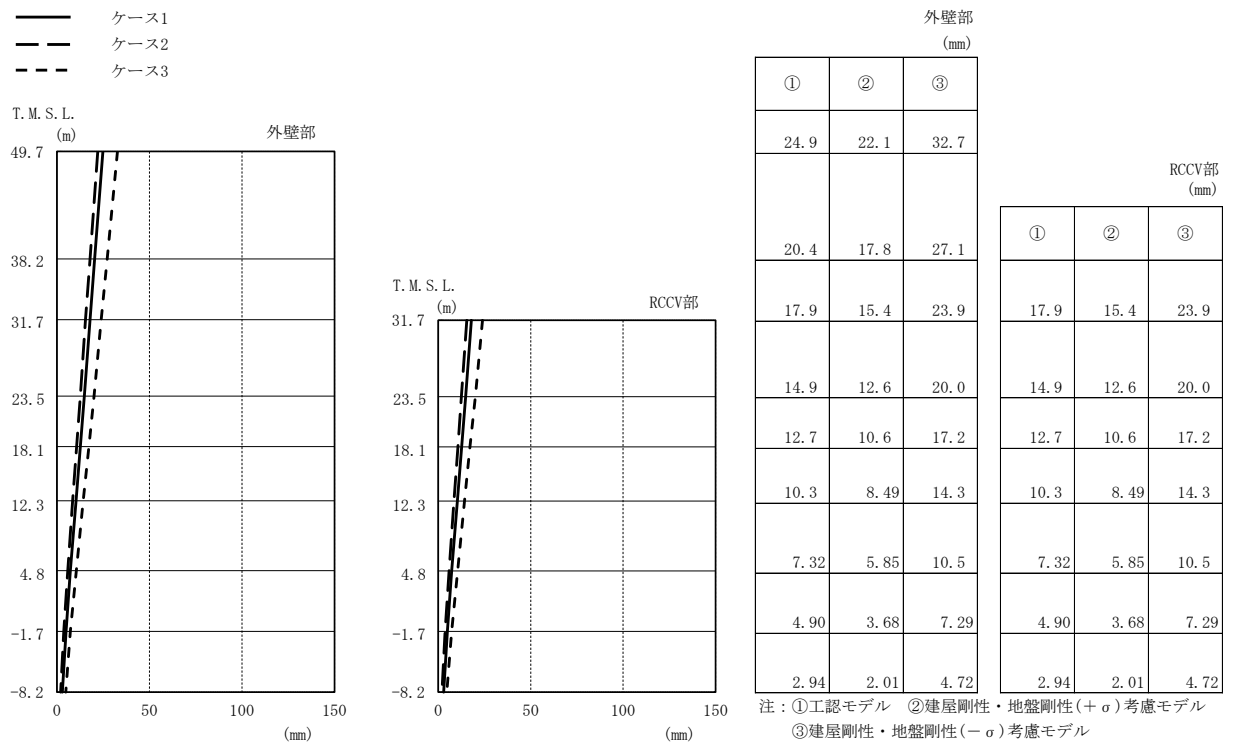


(c) Sd-3

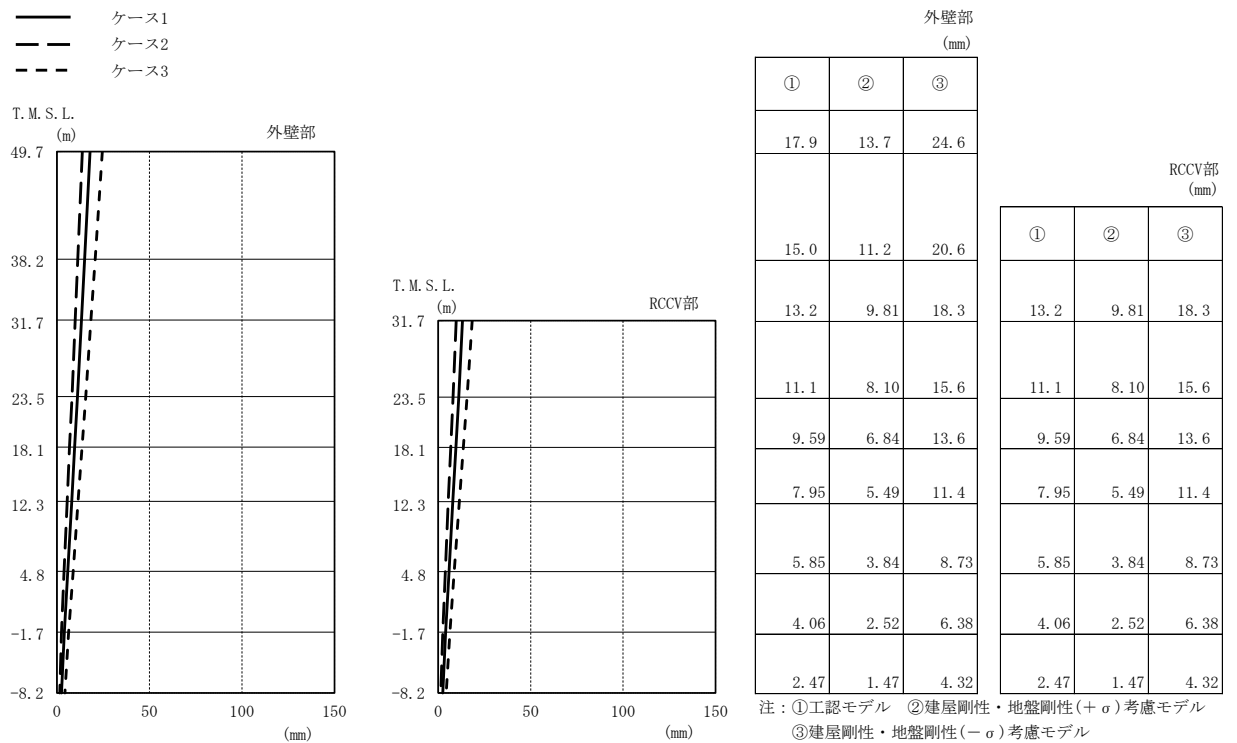


(d) Sd-8

図2-20 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d, NS方向）(2/2)

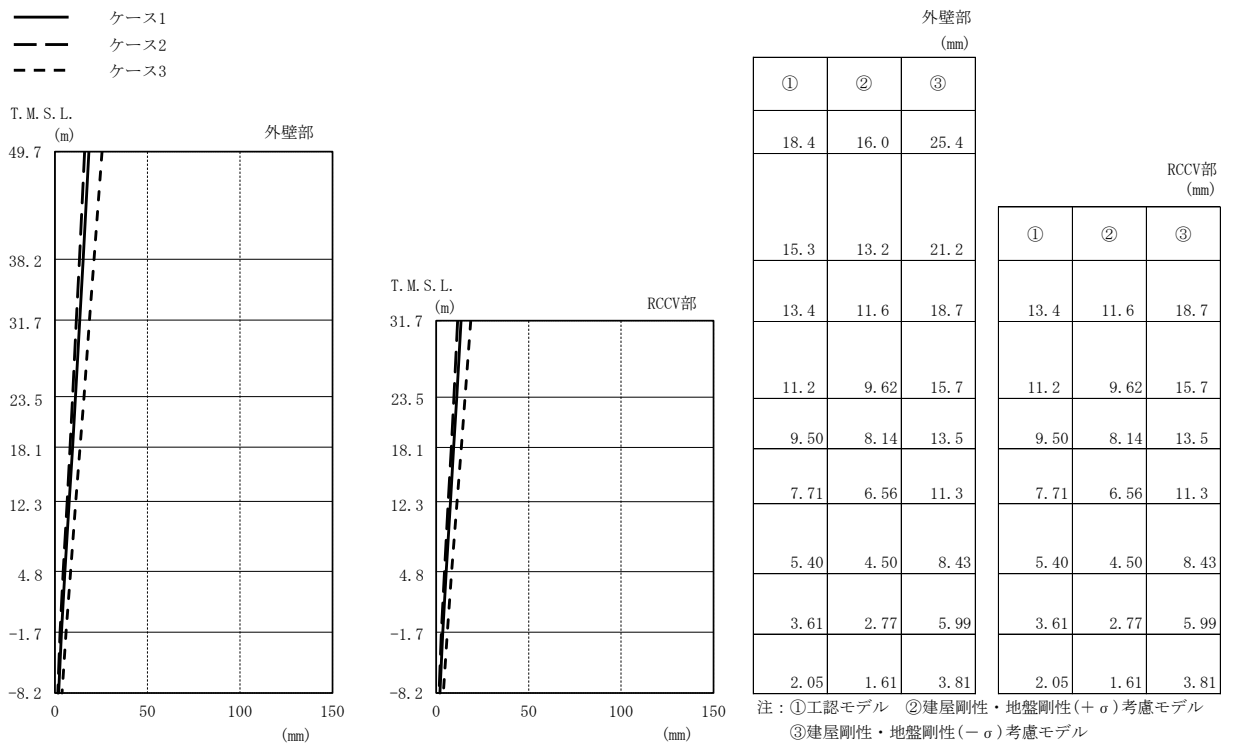


(a) Sd-1

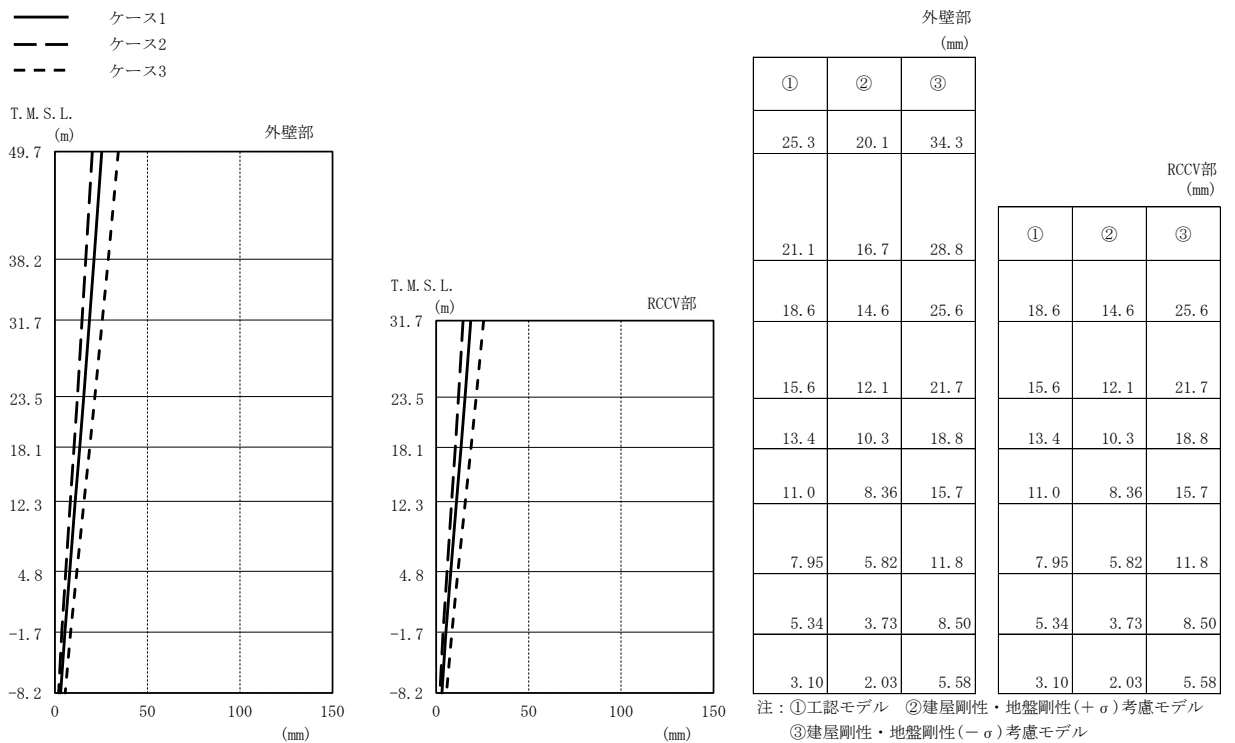


(b) Sd-2

図2-21 最大応答変位（弾性設計用地震動 S d，NS方向）（1/2）

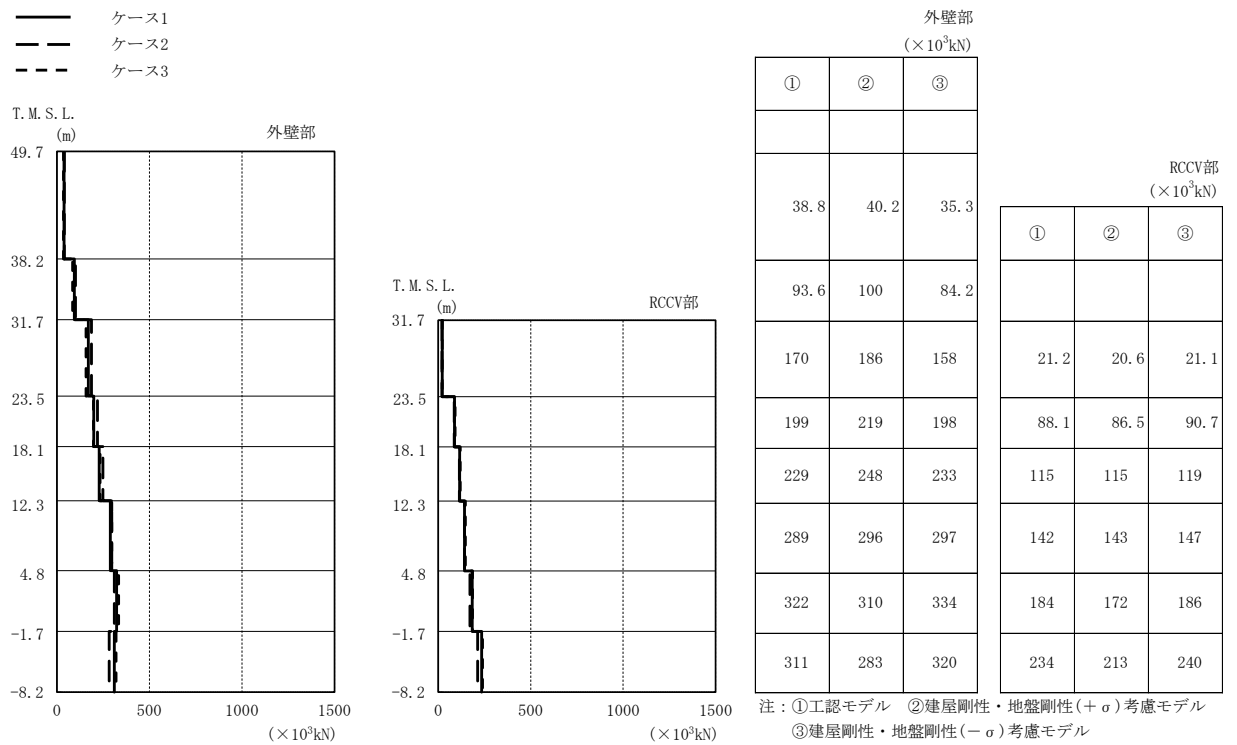


(c) Sd-3

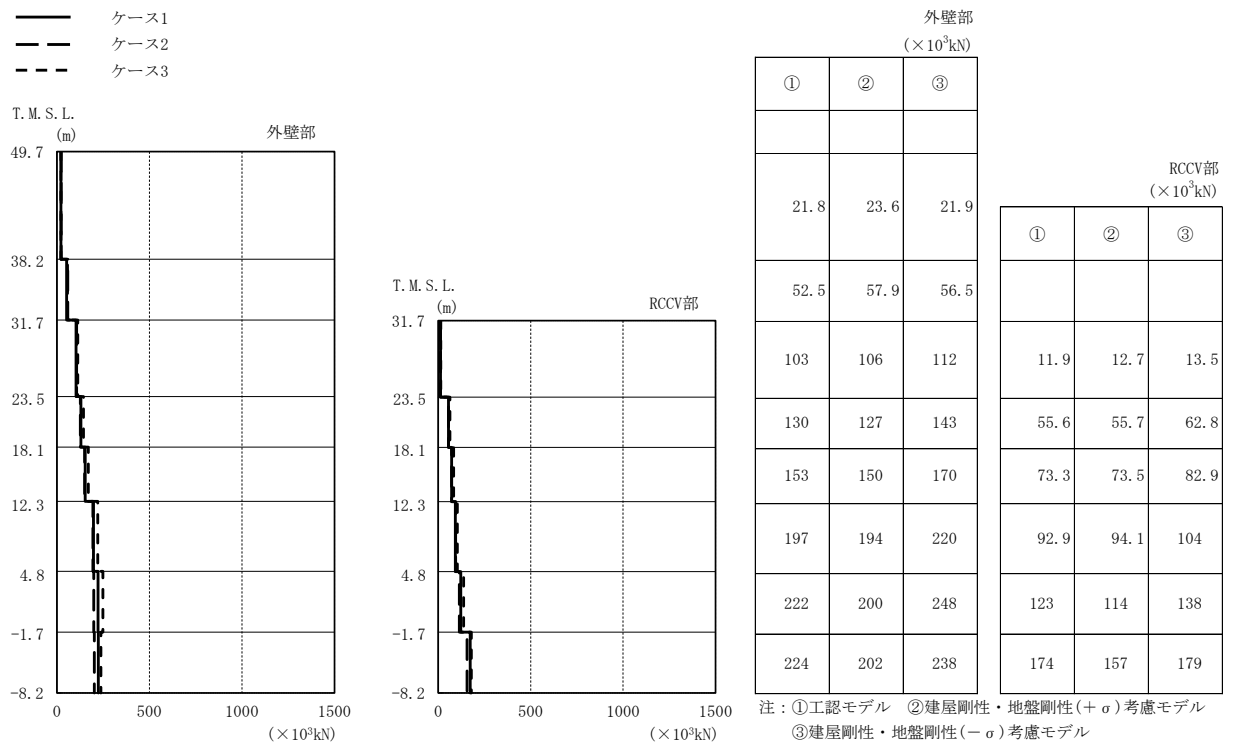


(d) Sd-8

図2-21 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d, NS方向) (2/2)

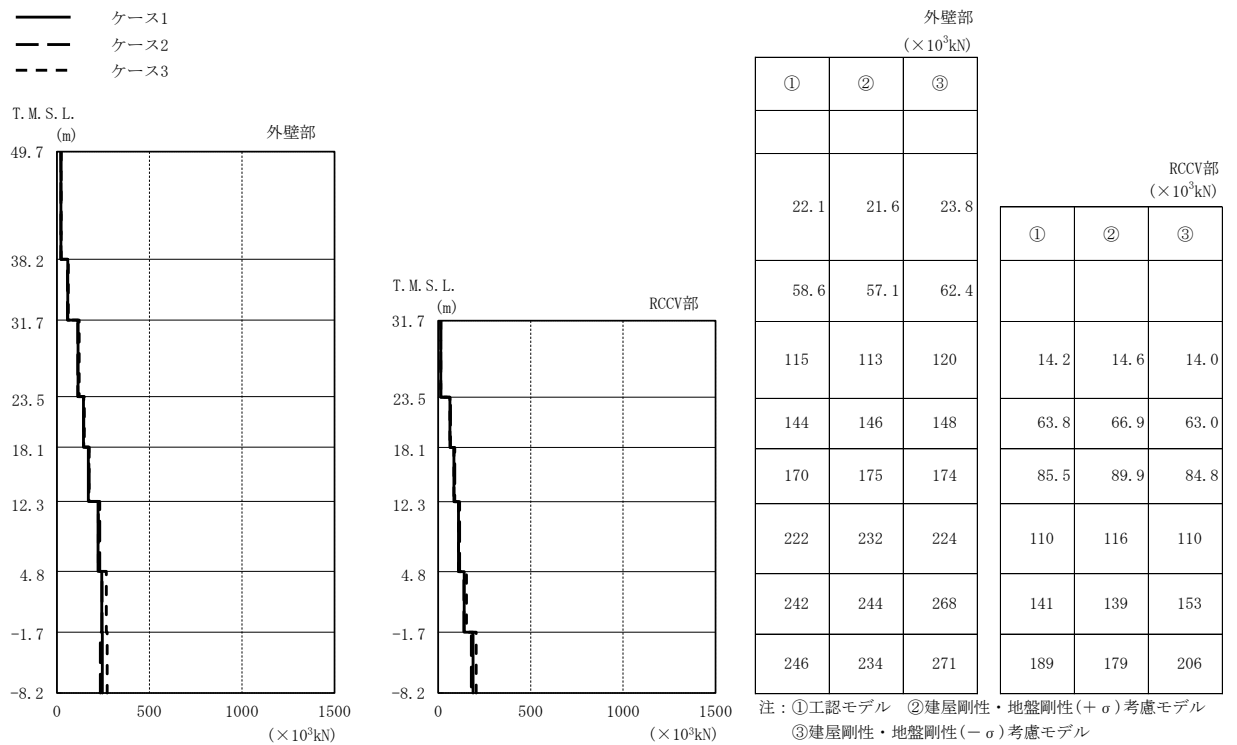


(a) Sd-1

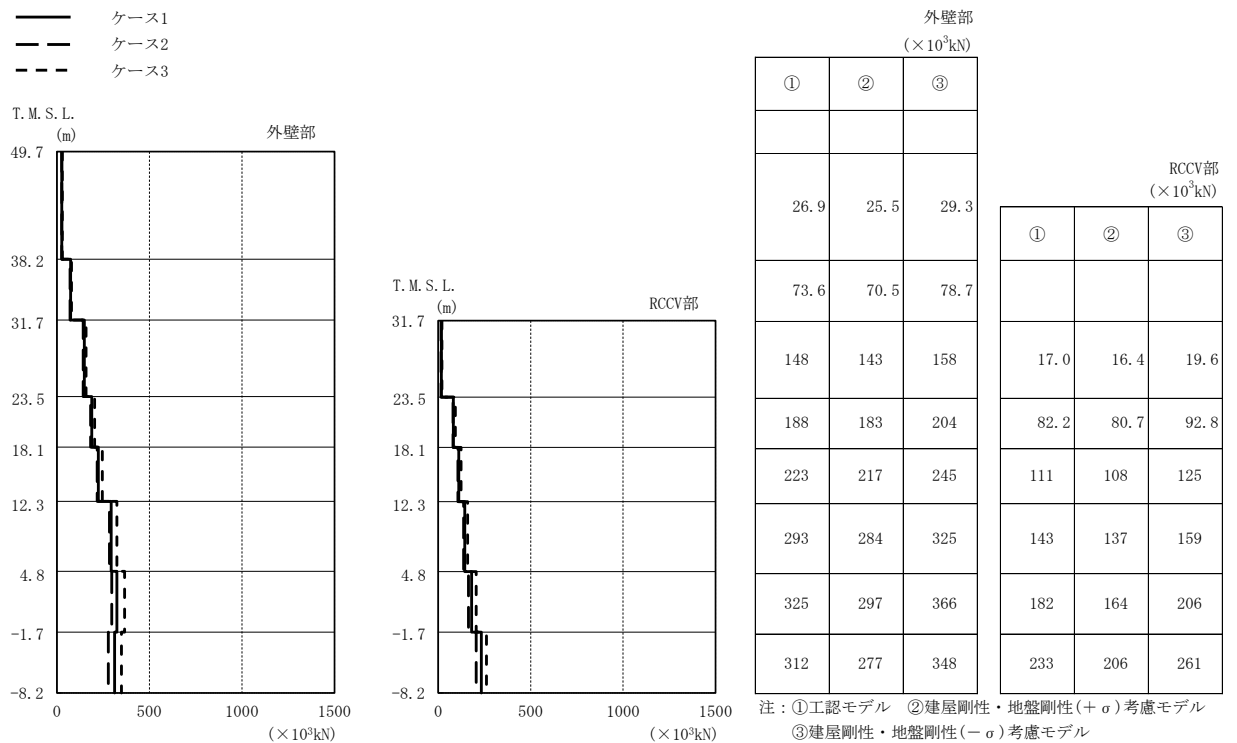


(b) Sd-2

図2-22 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d, NS方向) (1/2)

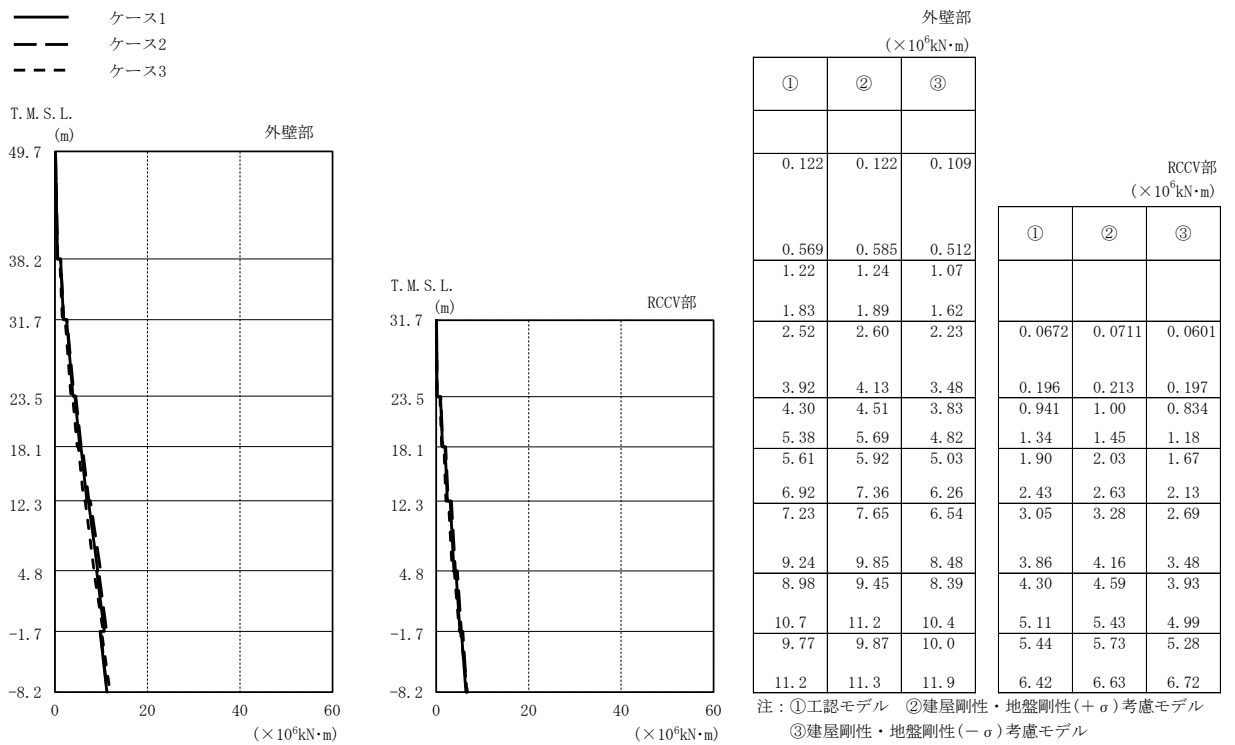


(c) Sd-3

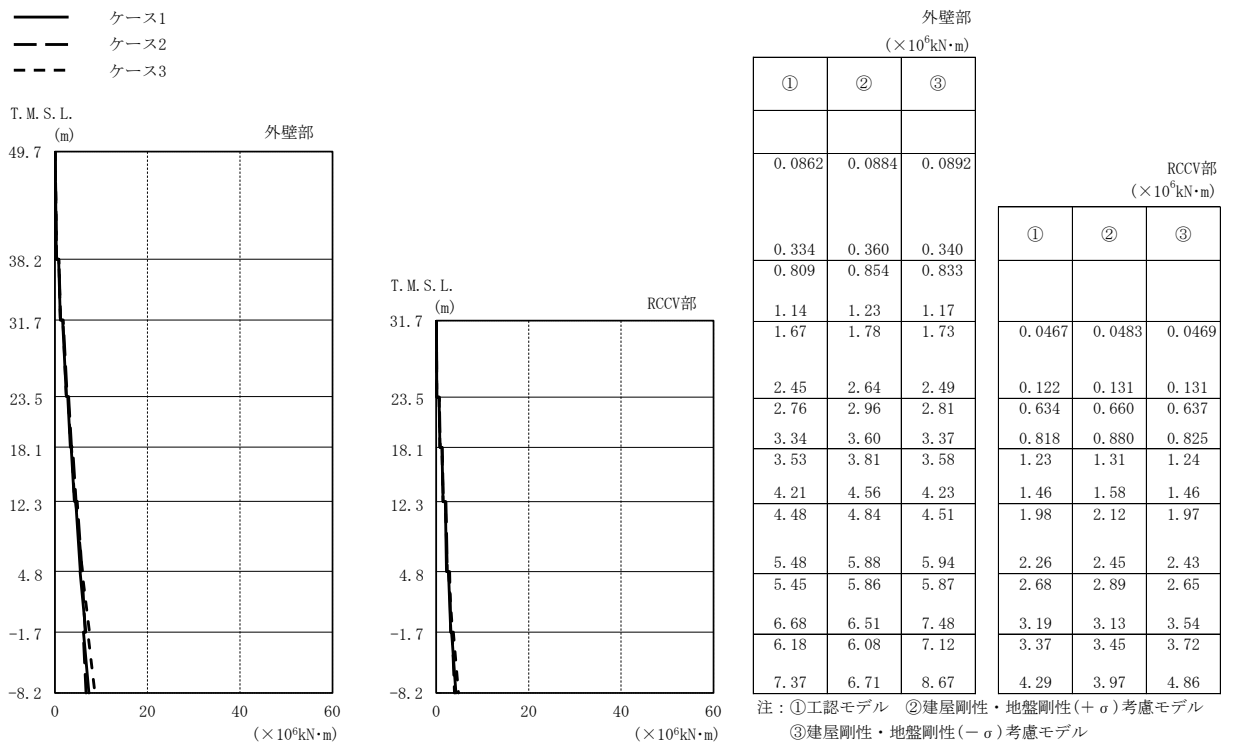


(d) Sd-8

図2-22 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d, NS方向) (2/2)

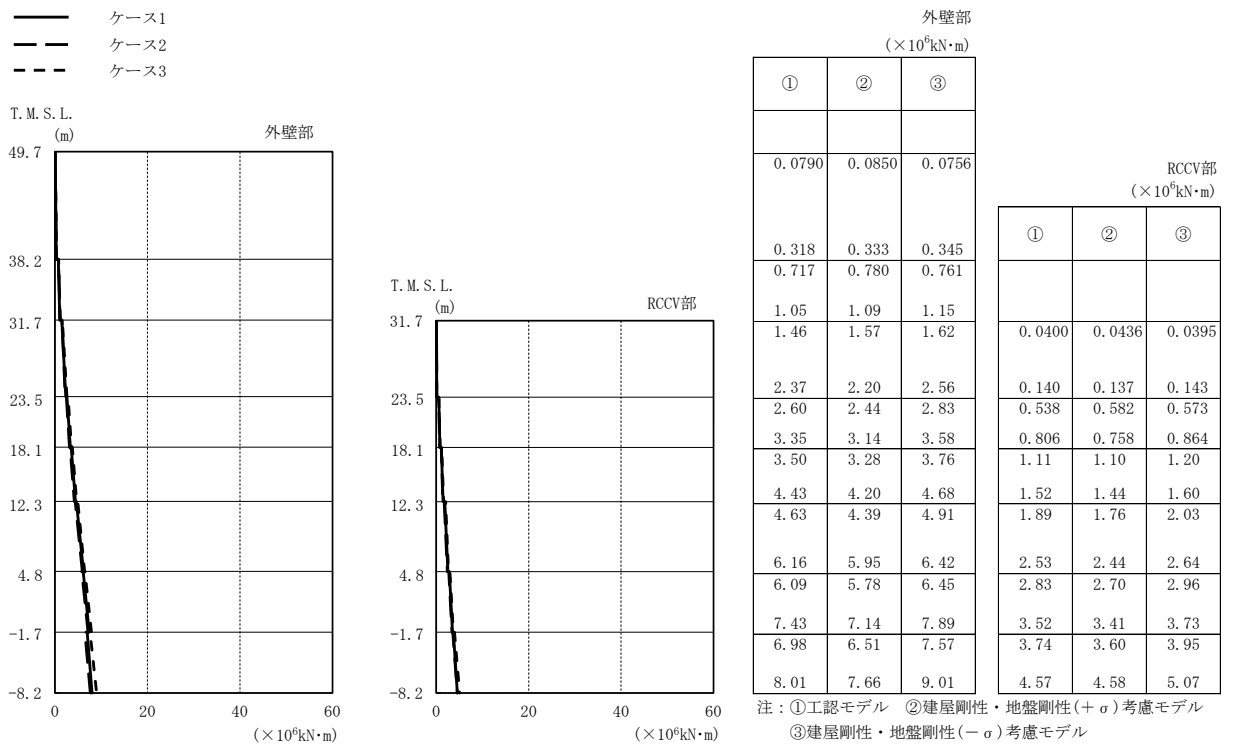


(a) Sd-1

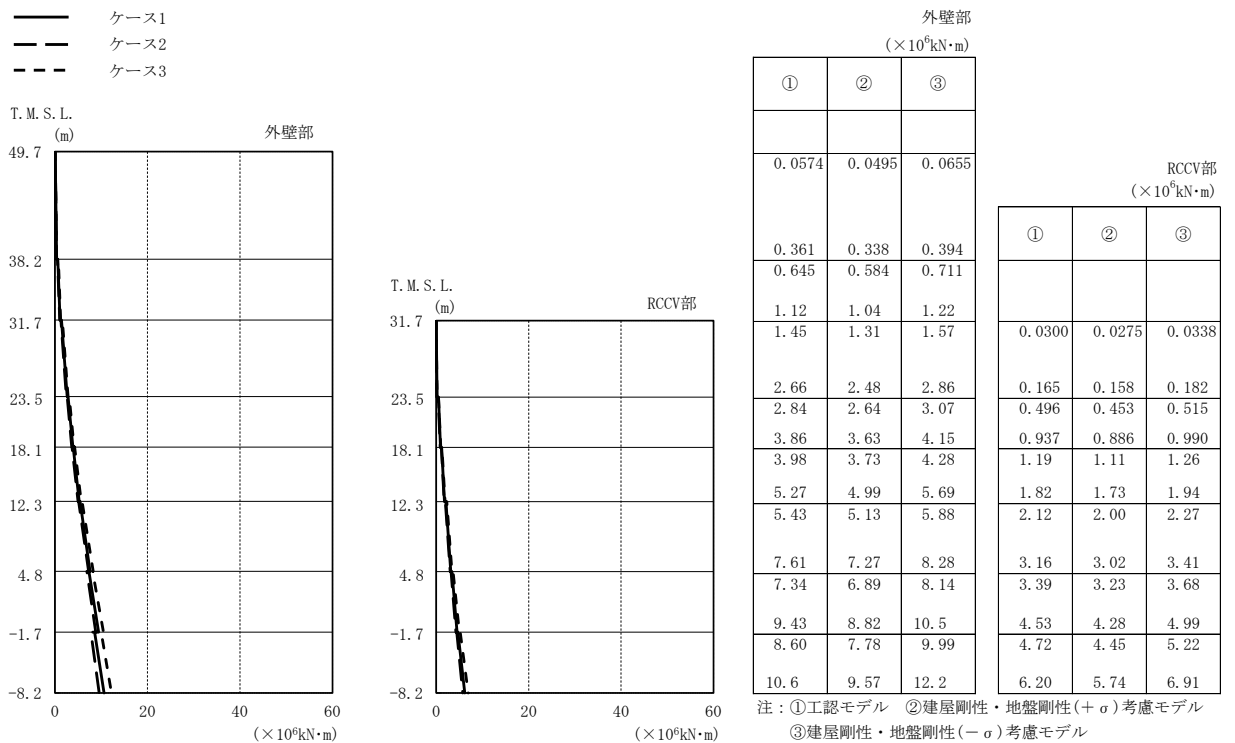


(b) Sd-2

図2-23 最大応答曲げモーメント（弾性設計用地震動 S d, NS方向）(1/2)

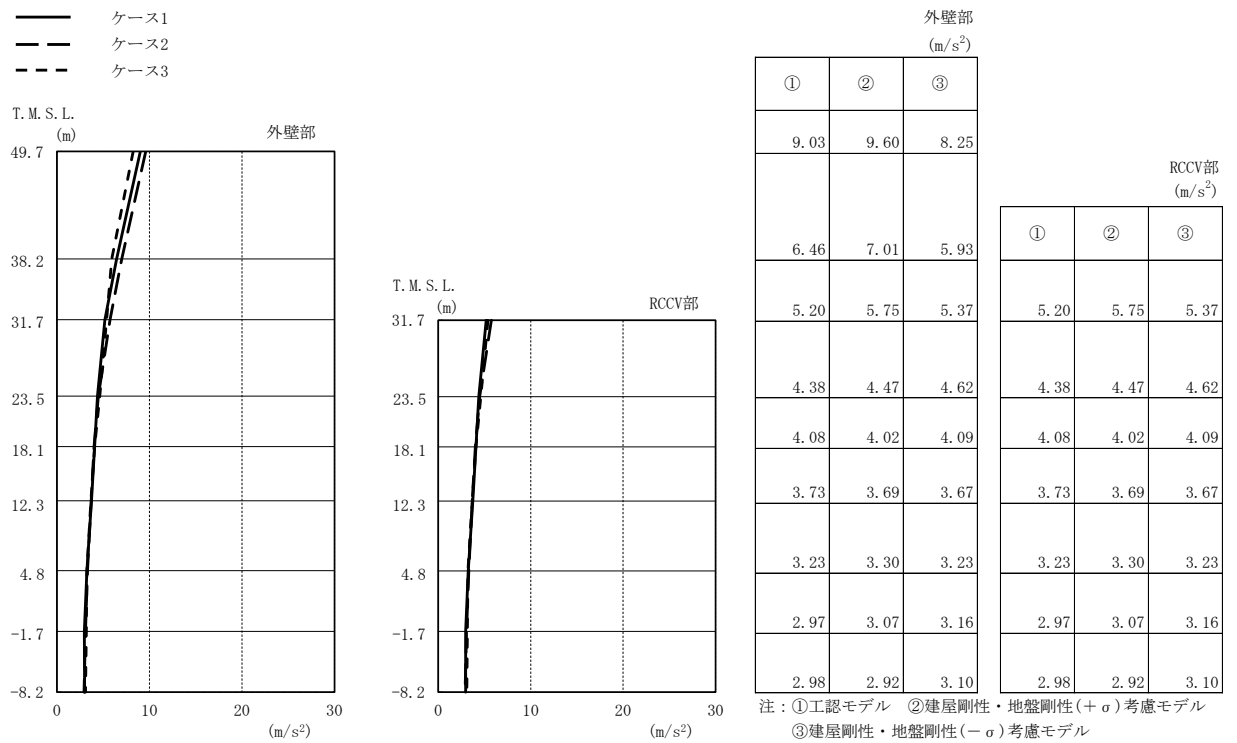


(c) Sd-3

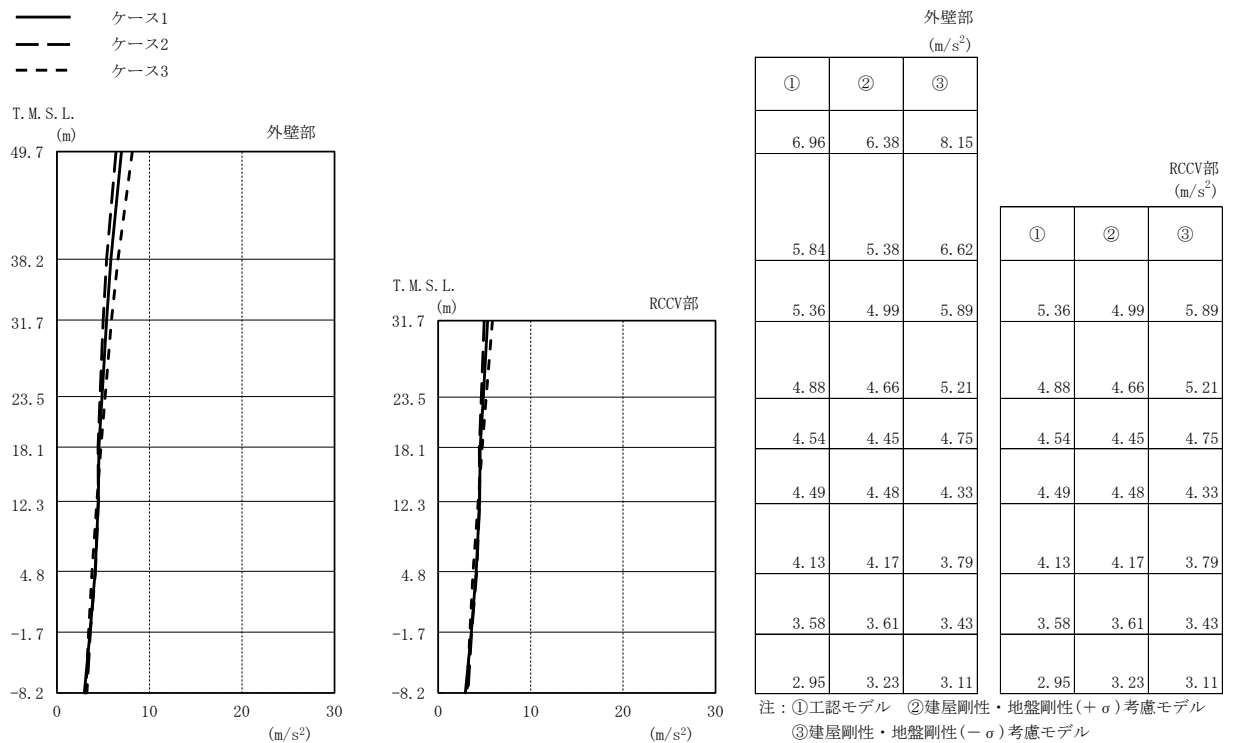


(d) Sd-8

図2-23 最大応答曲げモーメント（弾性設計用地震動 S d , NS方向）（2/2）

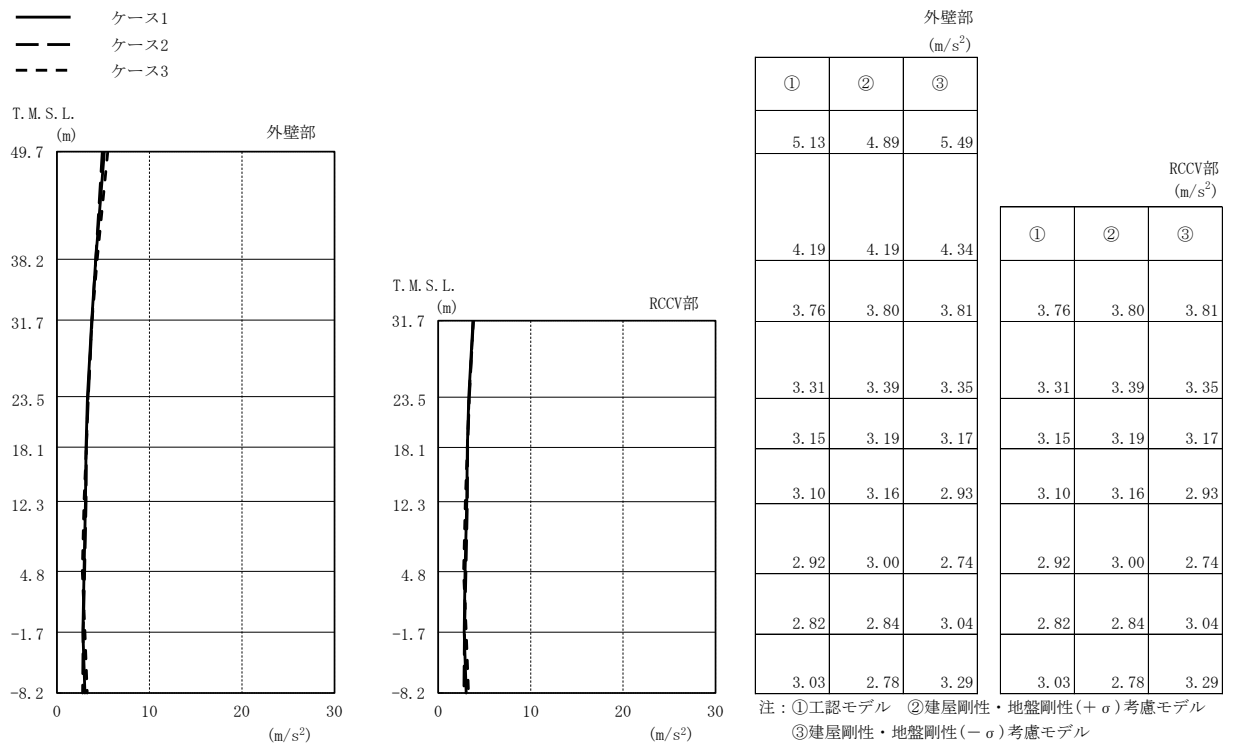


(a) Sd-1

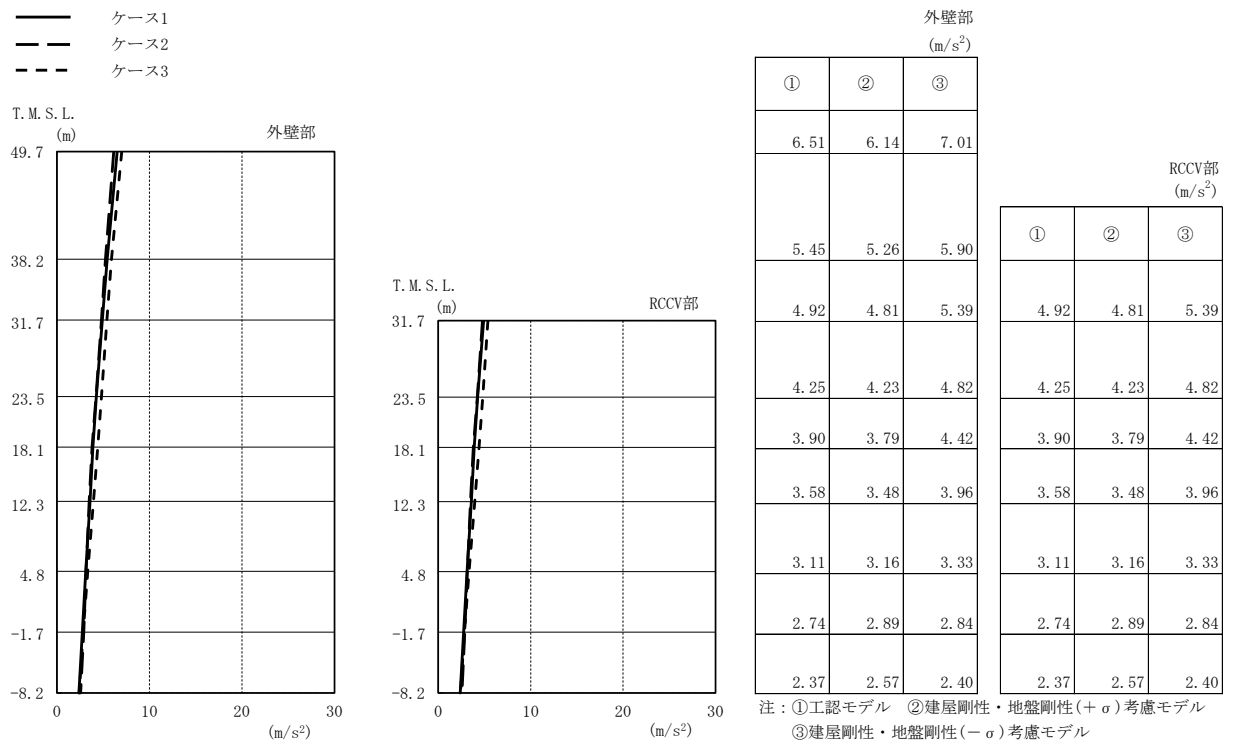


(b) Sd-2

図2-24 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d，EW方向）（1/2）

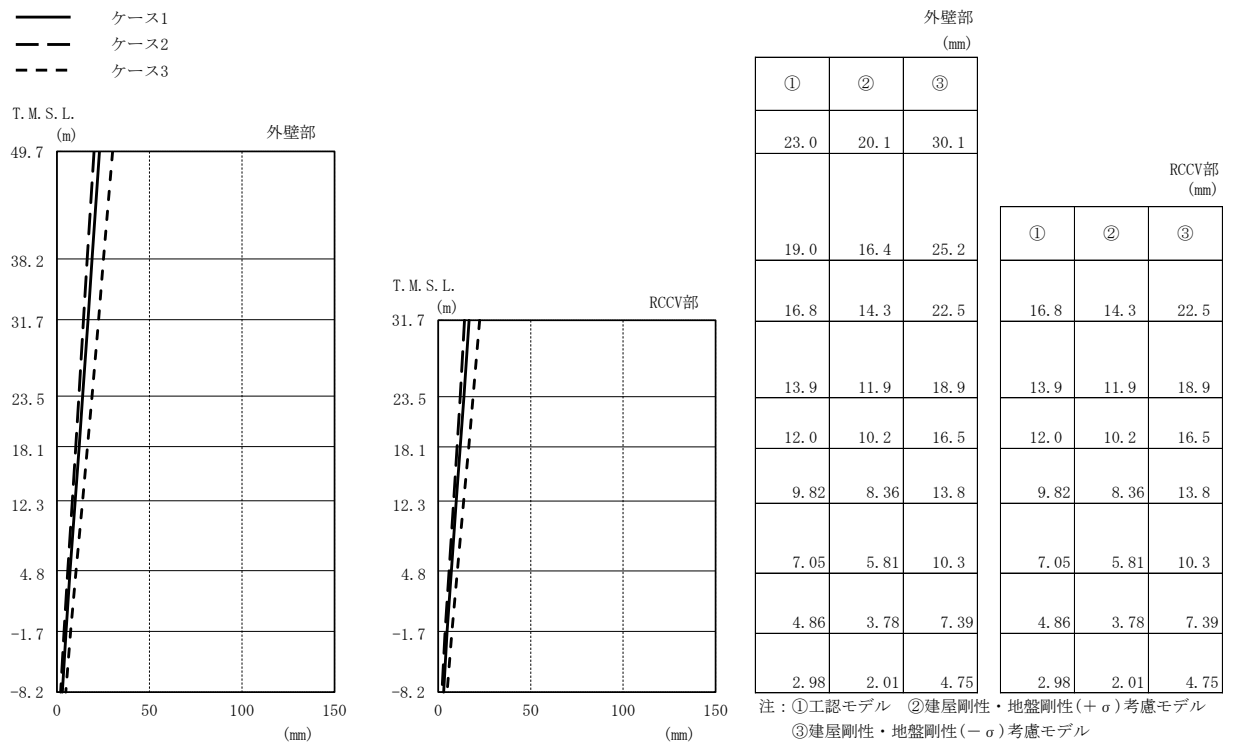


(c) Sd-3

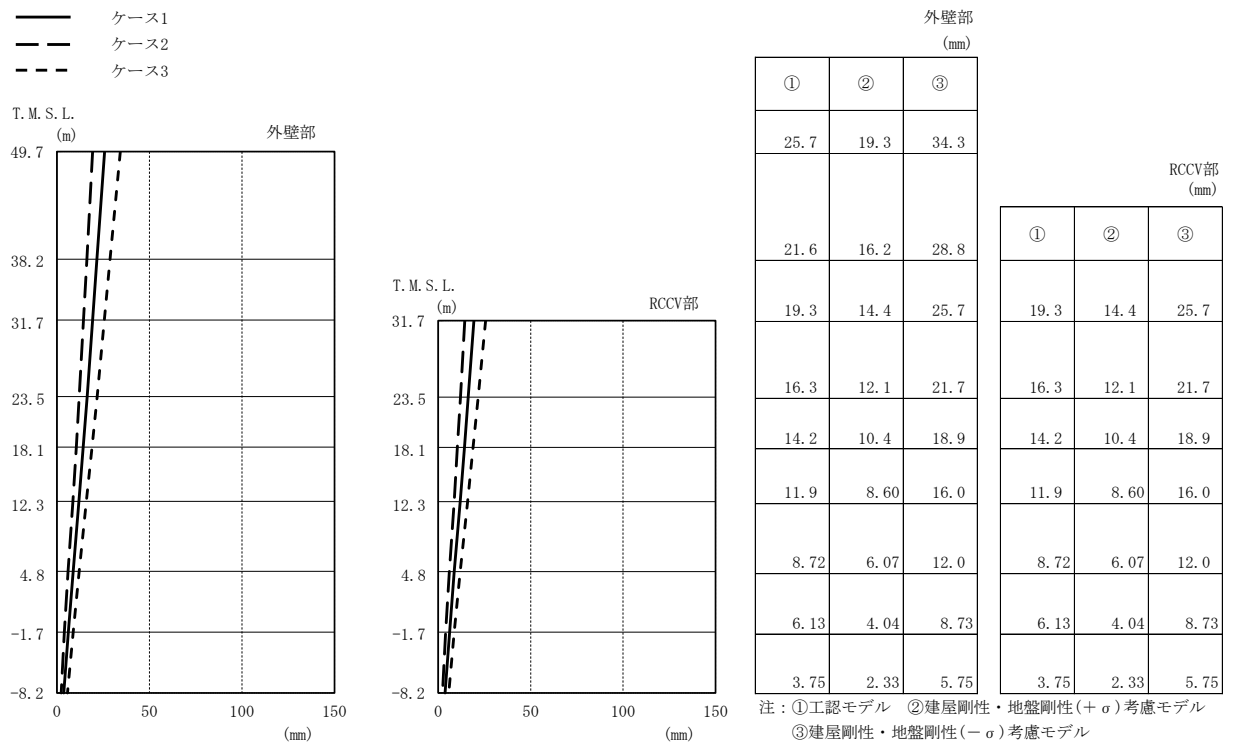


(d) Sd-8

図2-24 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d，EW方向）（2/2）

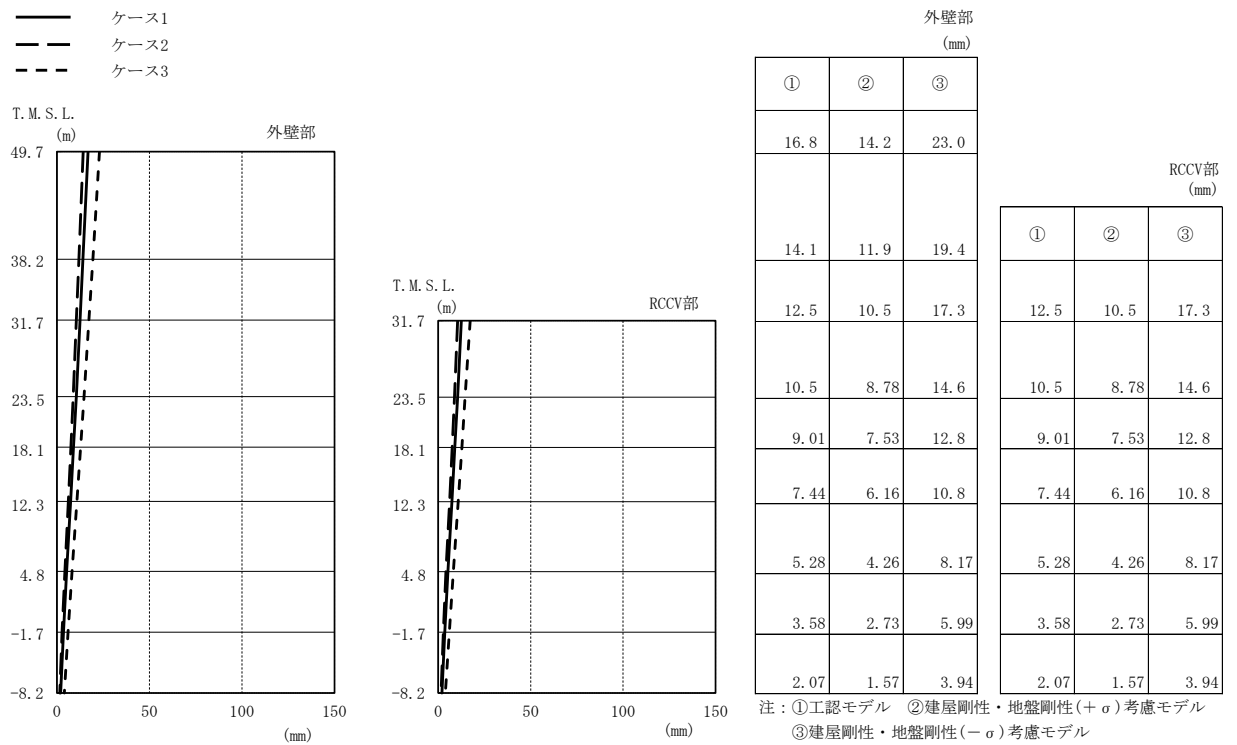


(a) Sd-1

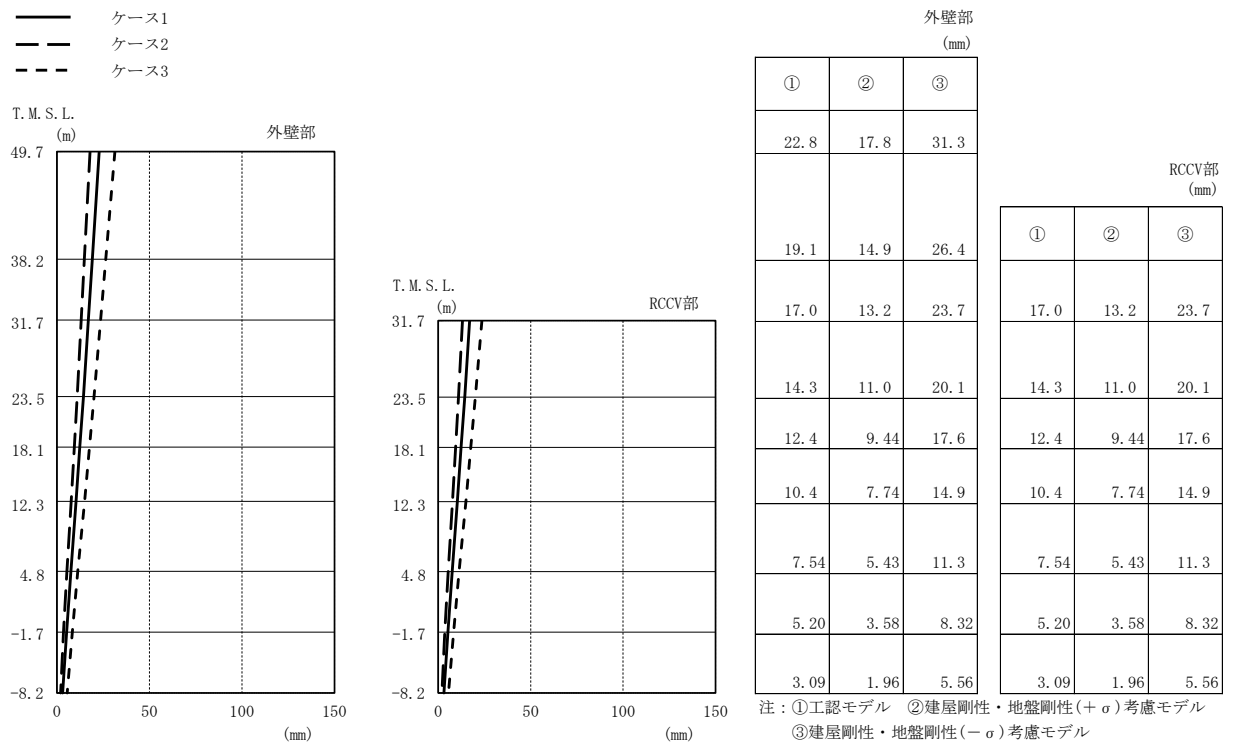


(b) Sd-2

図2-25 最大応答変位（弾性設計用地震動 S d，EW方向）（1/2）

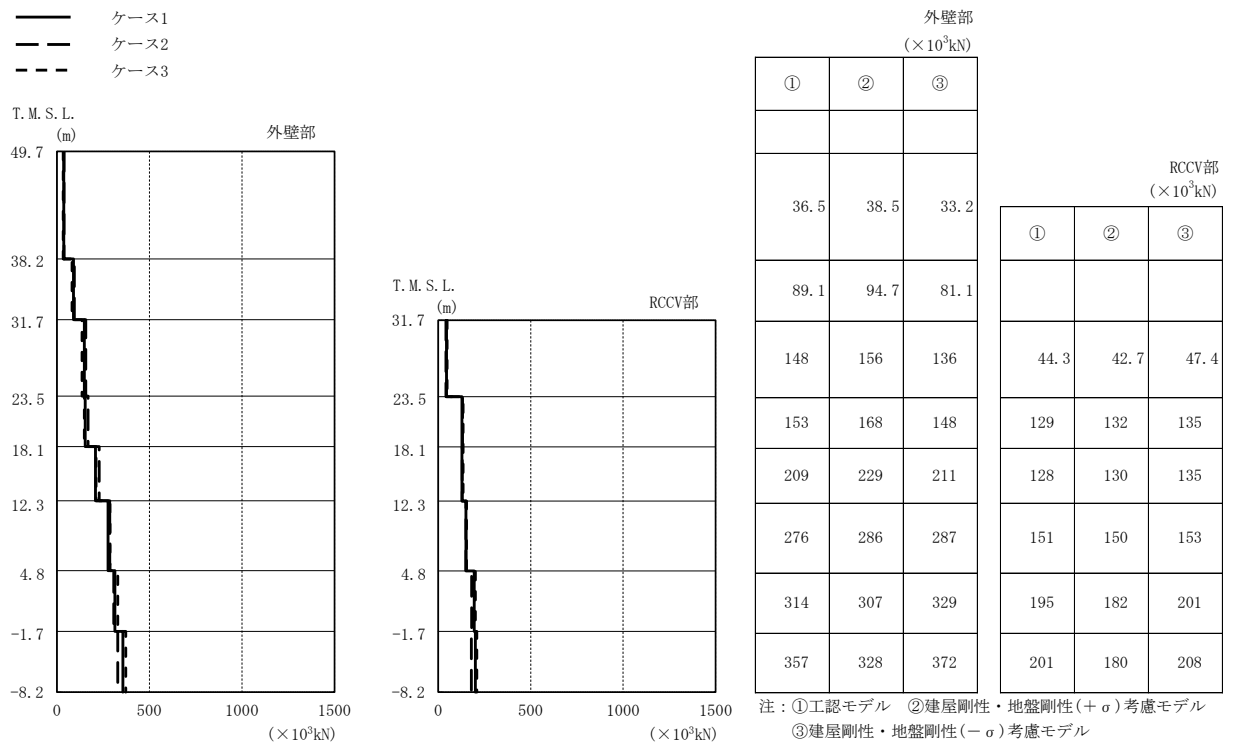


(c) Sd-3

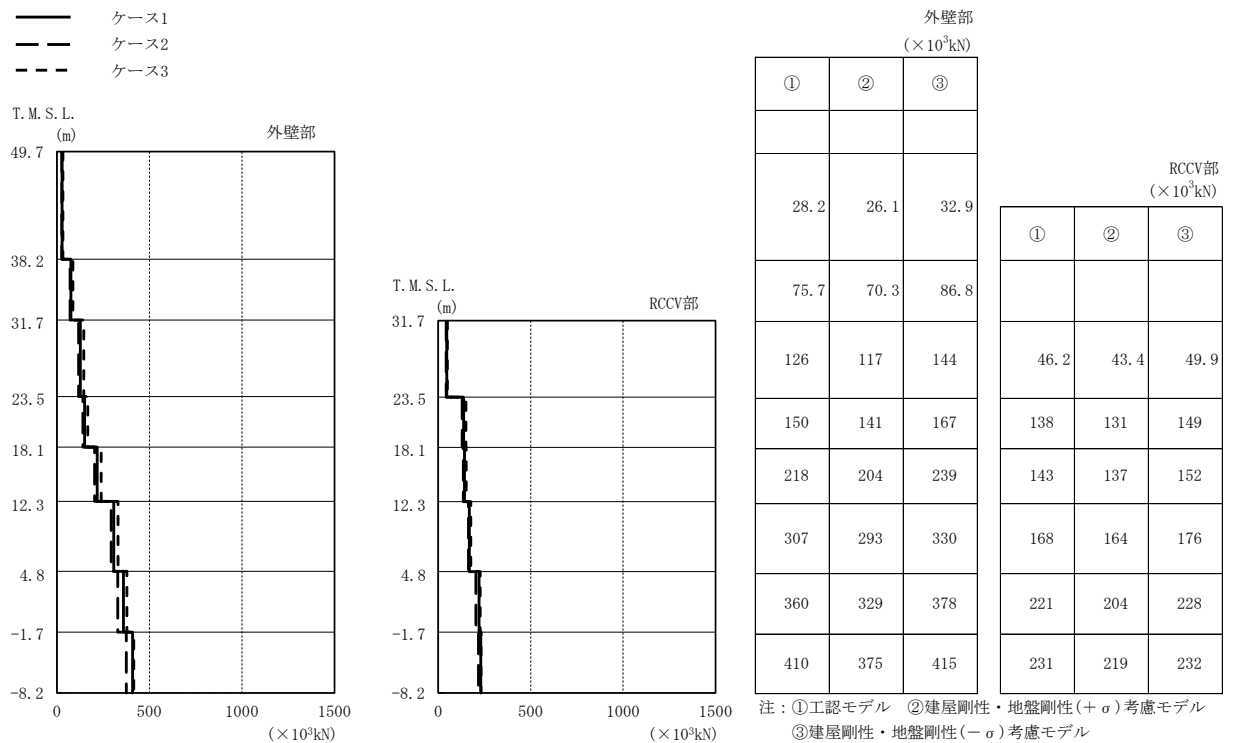


(d) Sd-8

図2-25 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d, EW方向) (2/2)

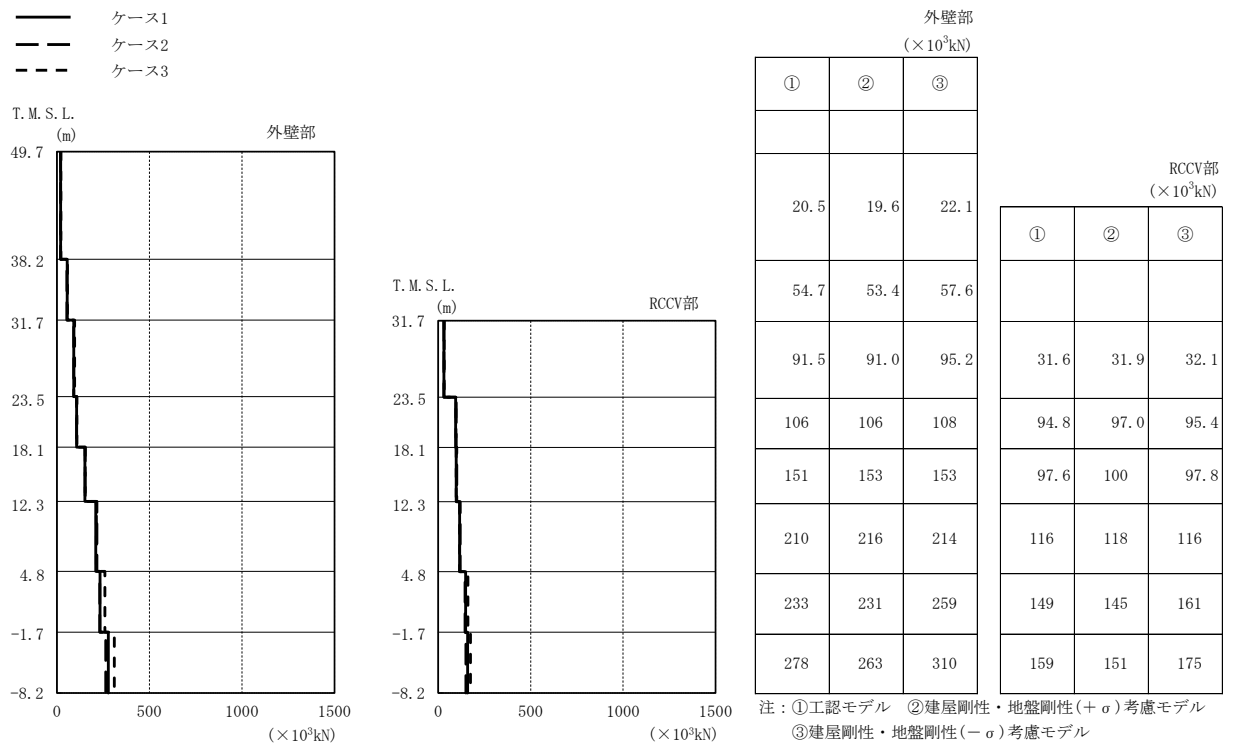


(a) Sd-1

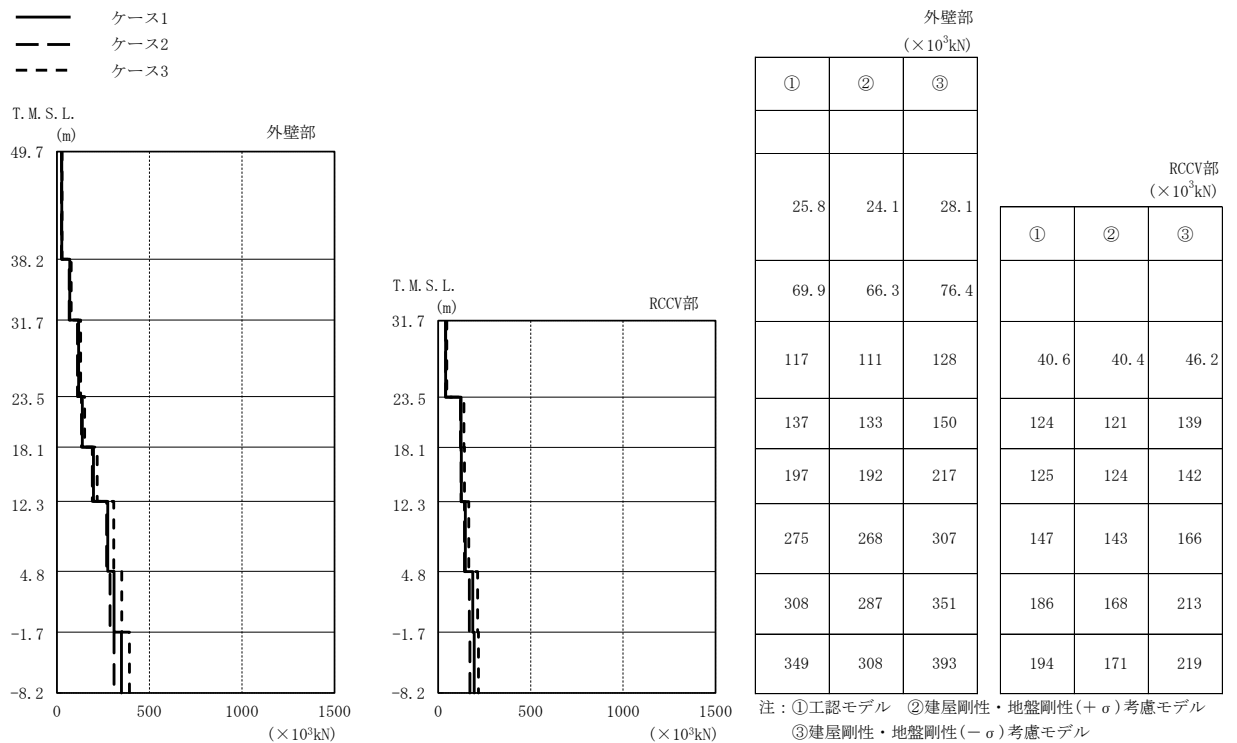


(b) Sd-2

図2-26 最大応答せん断力（弾性設計用地震動 S d，EW方向）（1/2）

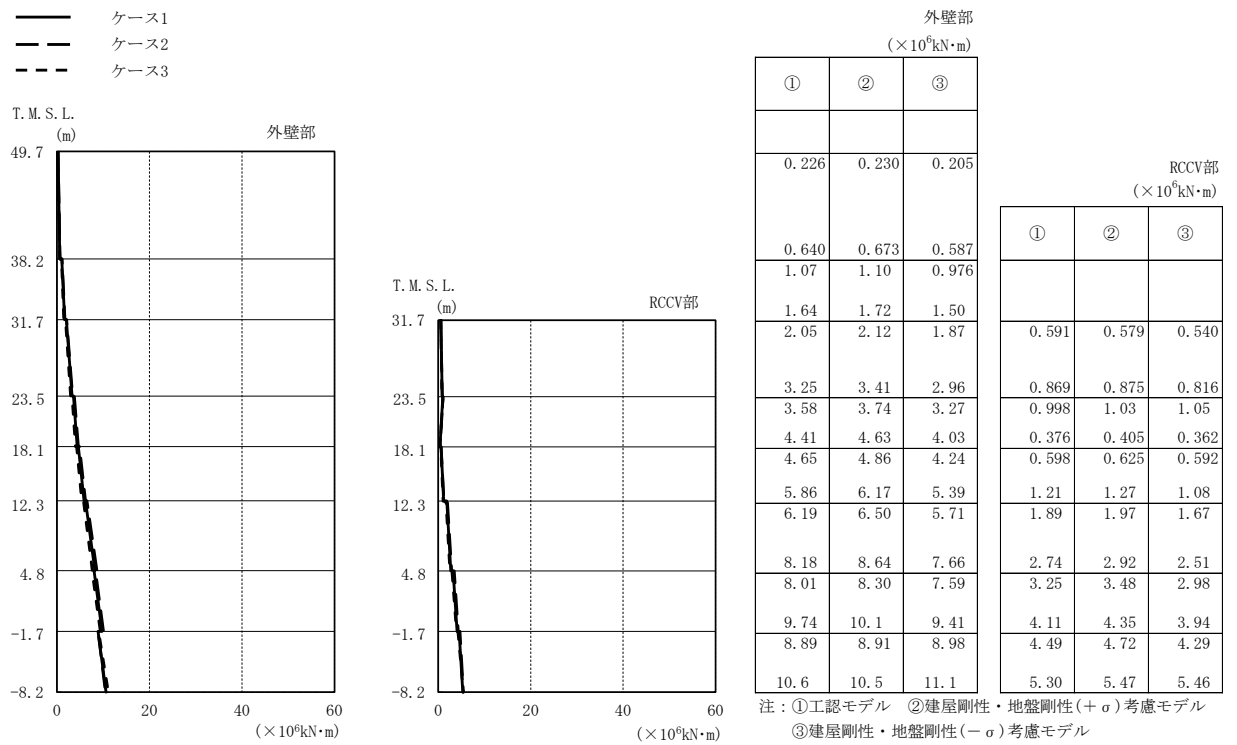


(c) Sd-3

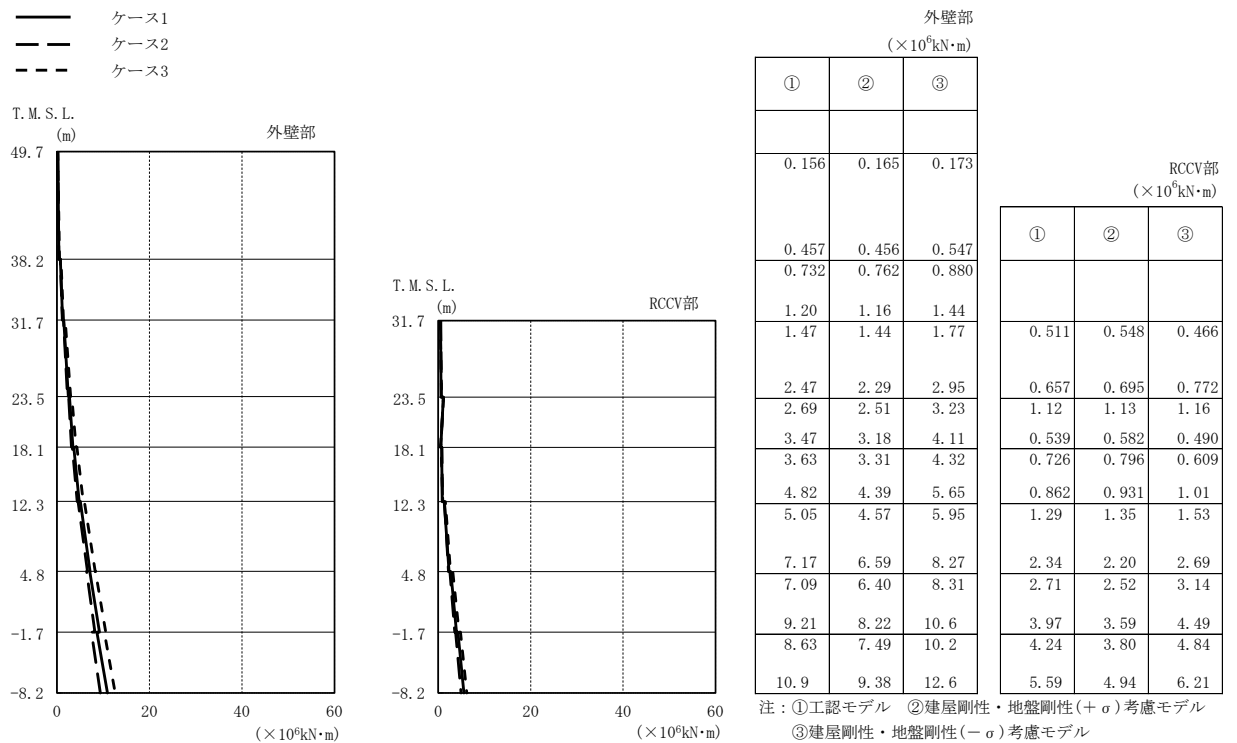


(d) Sd-8

図2-26 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d, EW方向) (2/2)

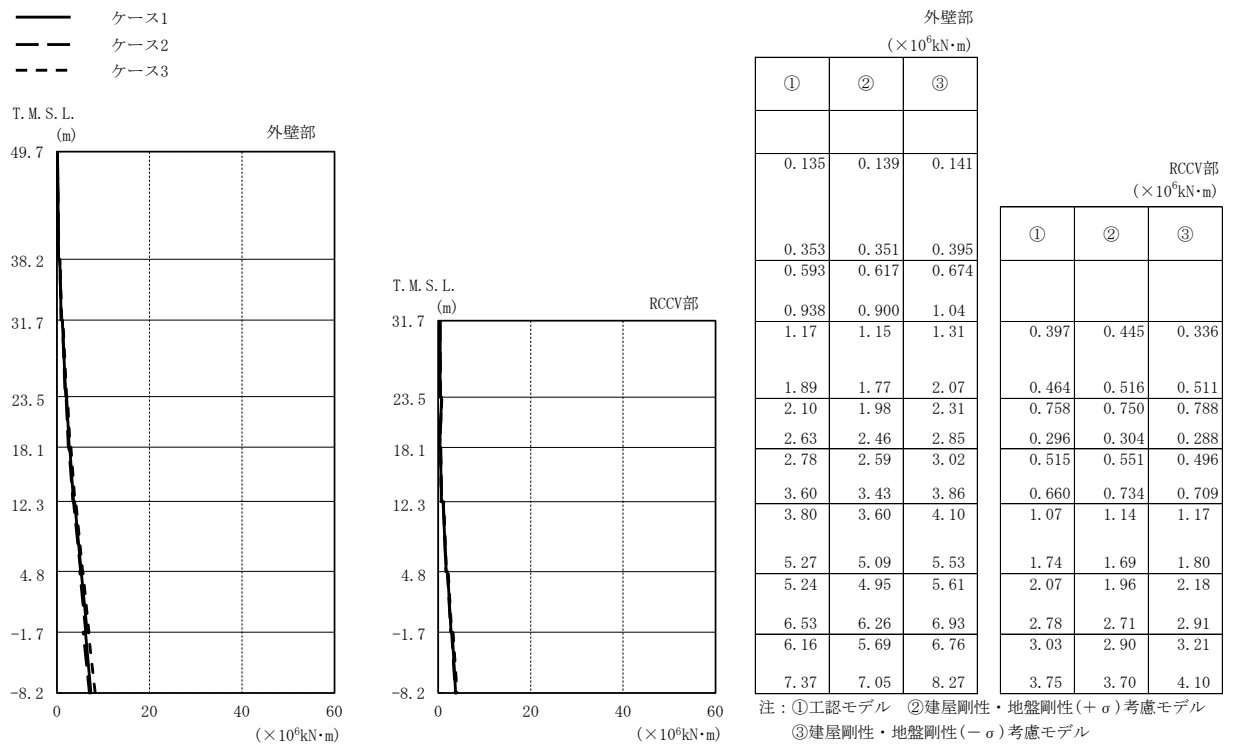


(a) Sd-1

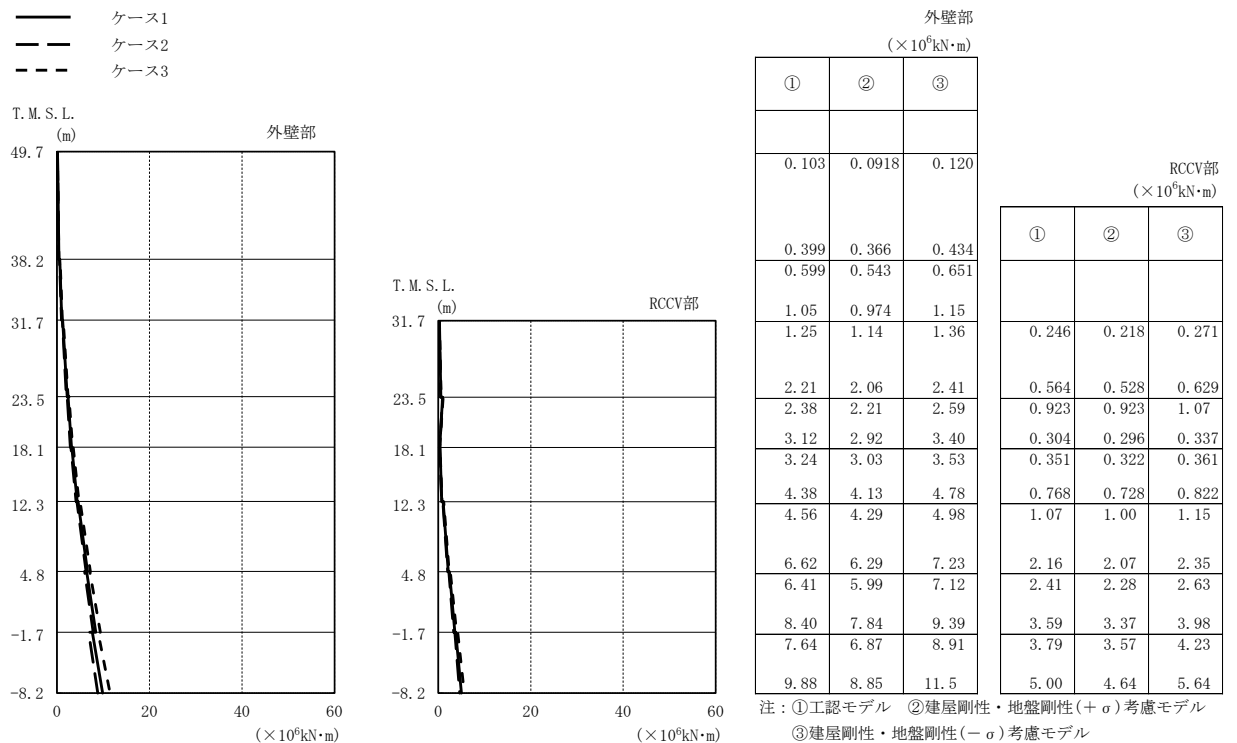


(b) Sd-2

図2-27 最大応答曲げモーメント（弾性設計用地震動 S d, EW方向）(1/2)

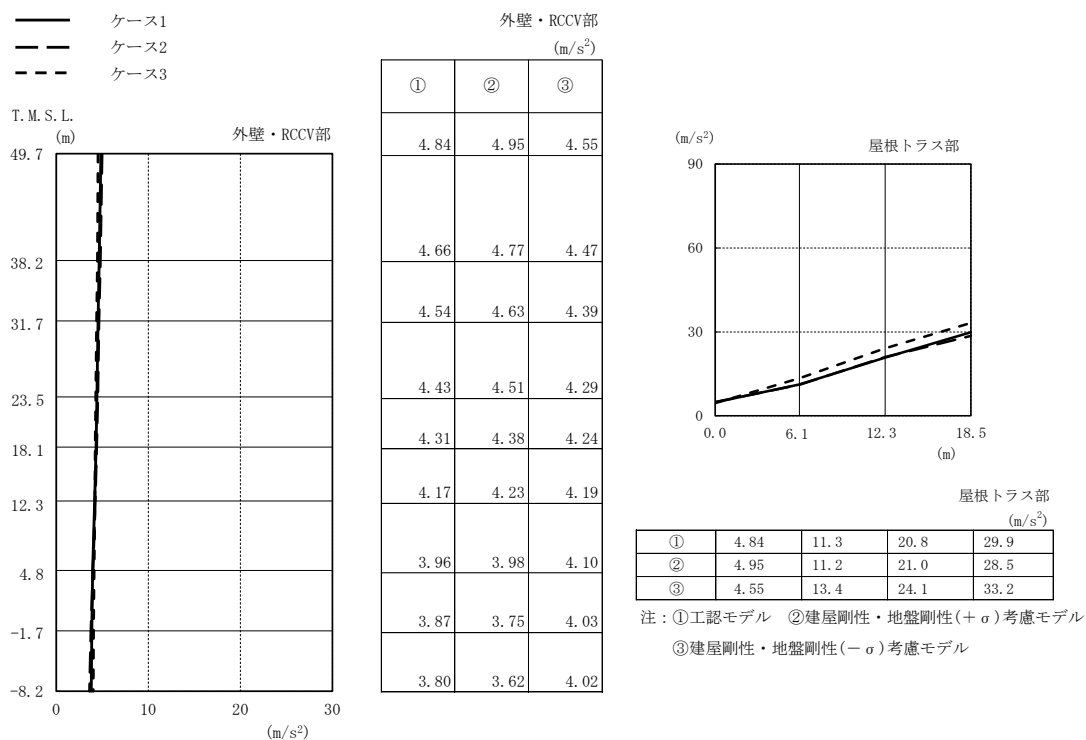


(c) Sd-3

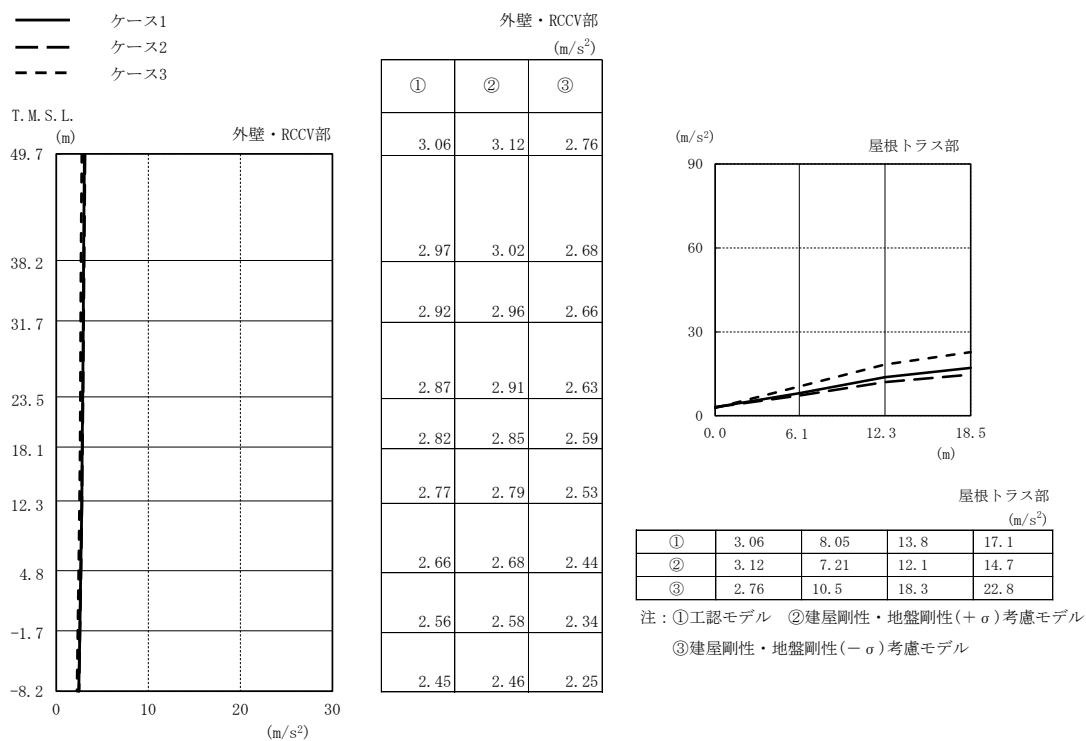


(d) Sd-8

図2-27 最大応答曲げモーメント（弾性設計用地震動 S d，EW方向）（2/2）

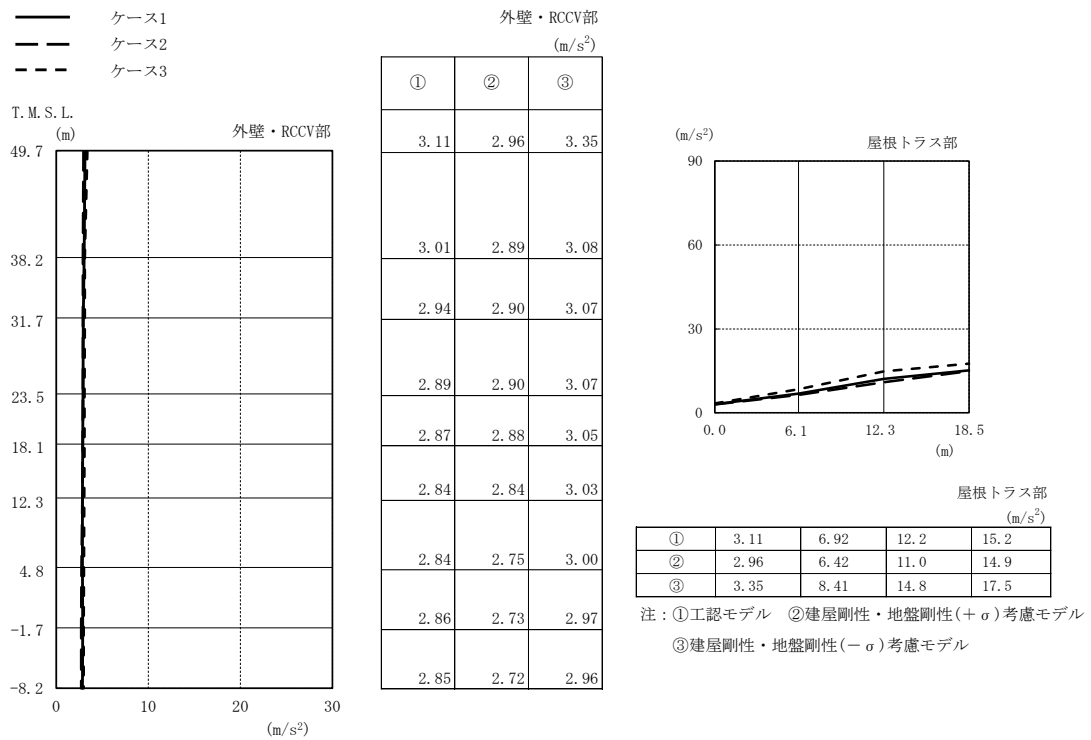


(a) Sd-1

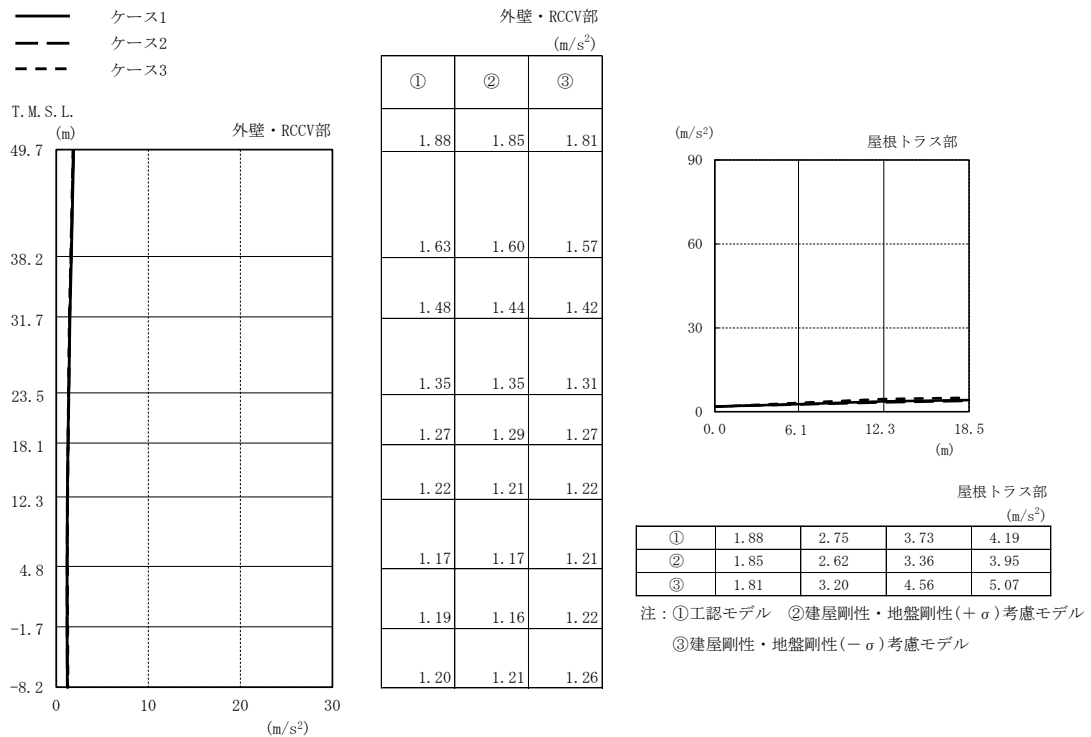


(b) Sd-2

図2-28 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）(1/2)

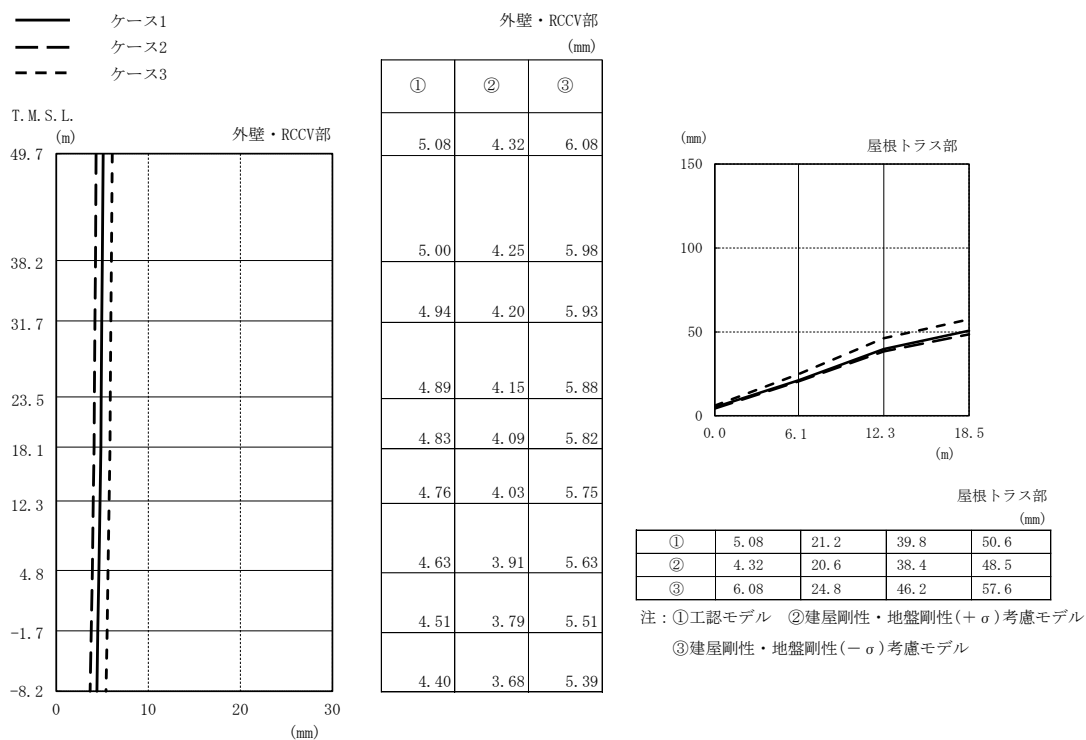


(c) Sd-3

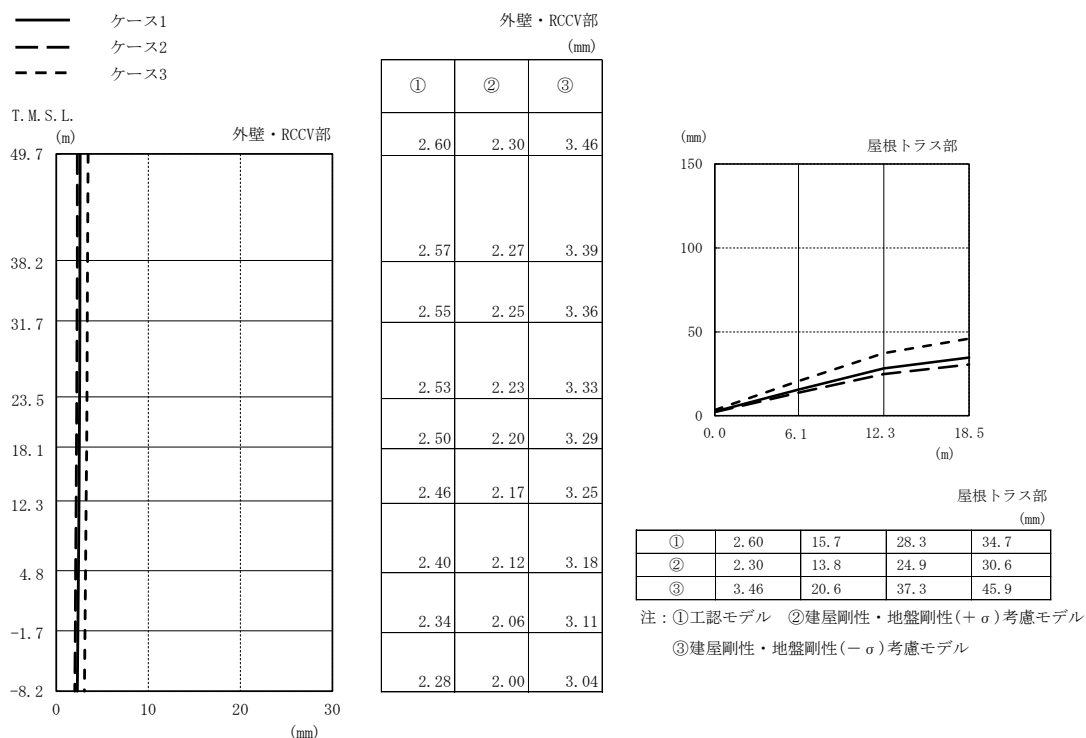


(d) Sd-8

図2-28 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）（2/2）

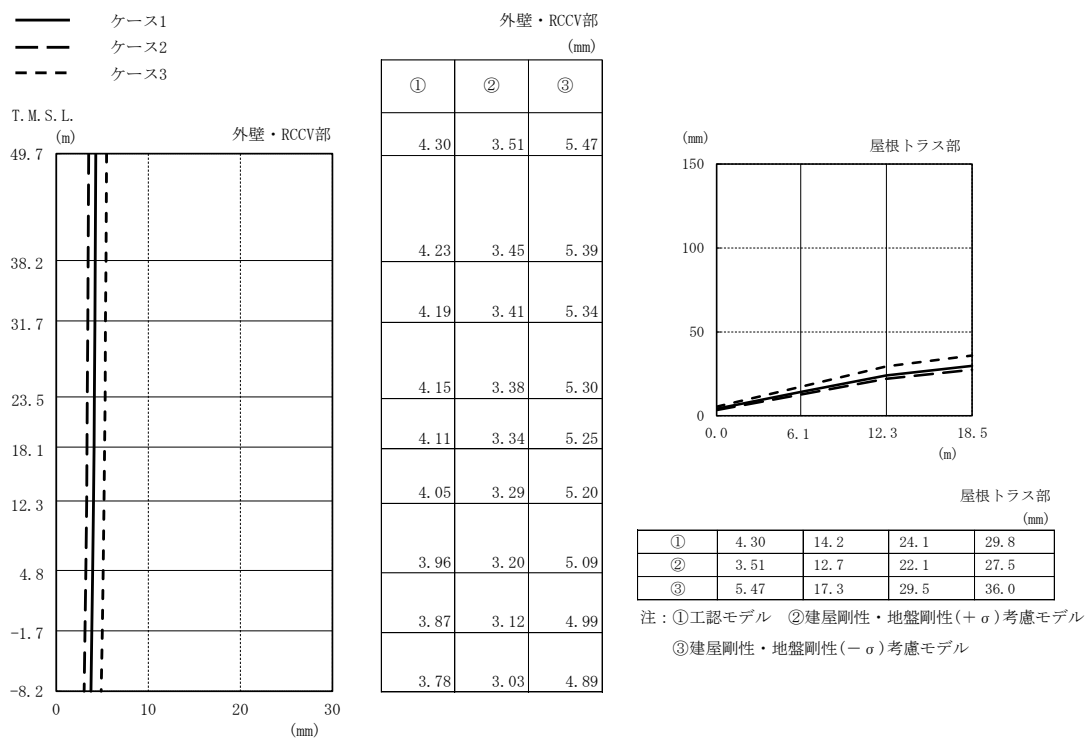


(a) Sd-1

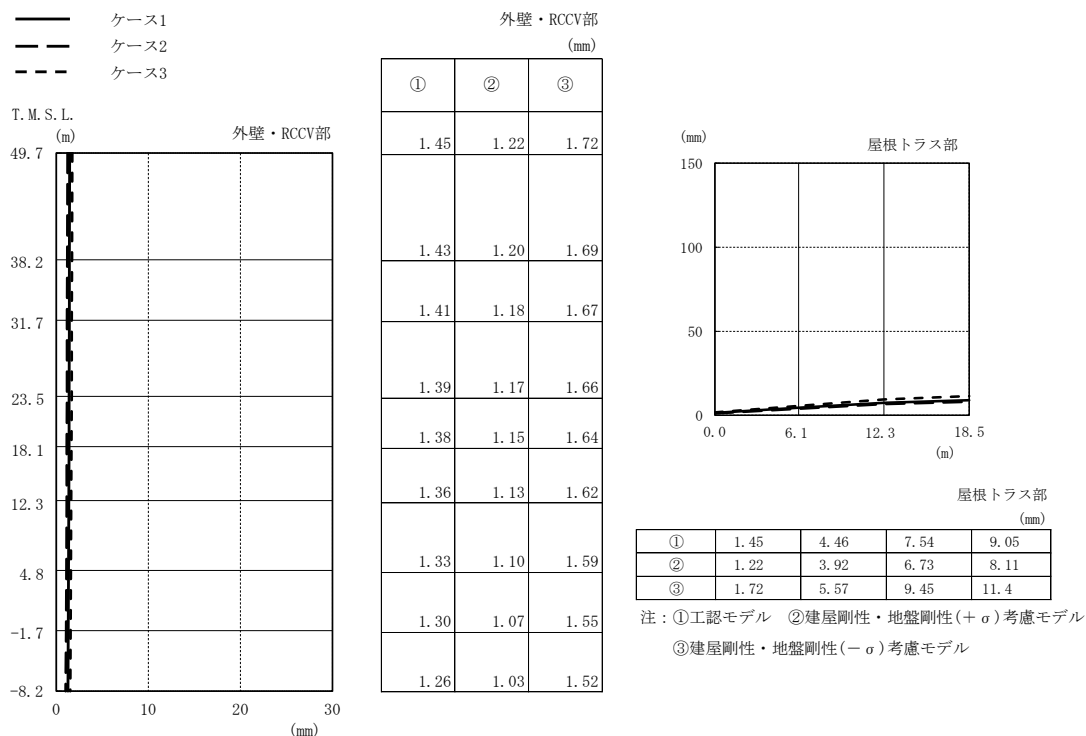


(b) Sd-2

図2-29 最大応答変位（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）(1/2)

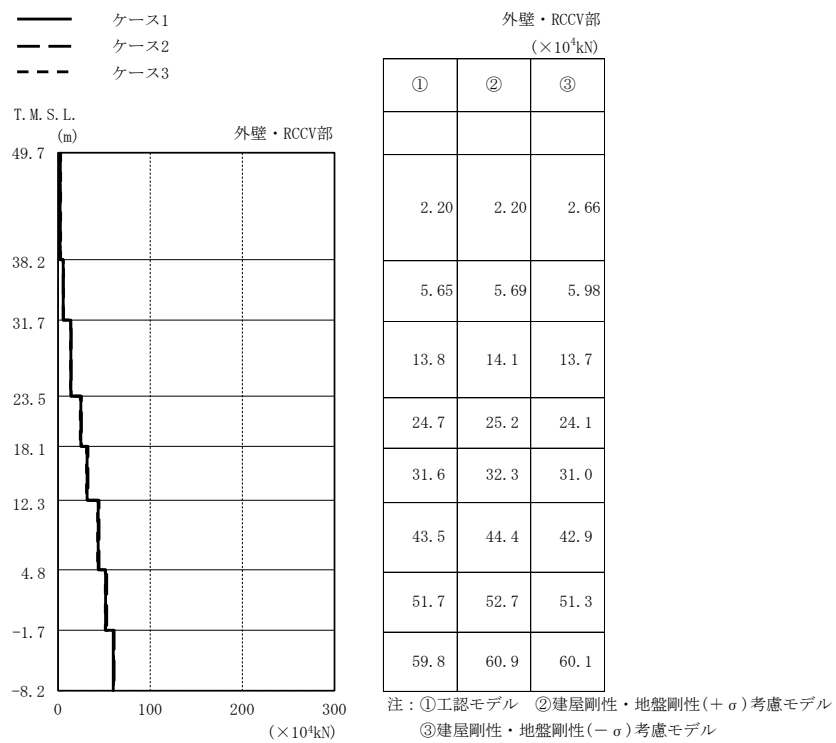


(c) Sd-3

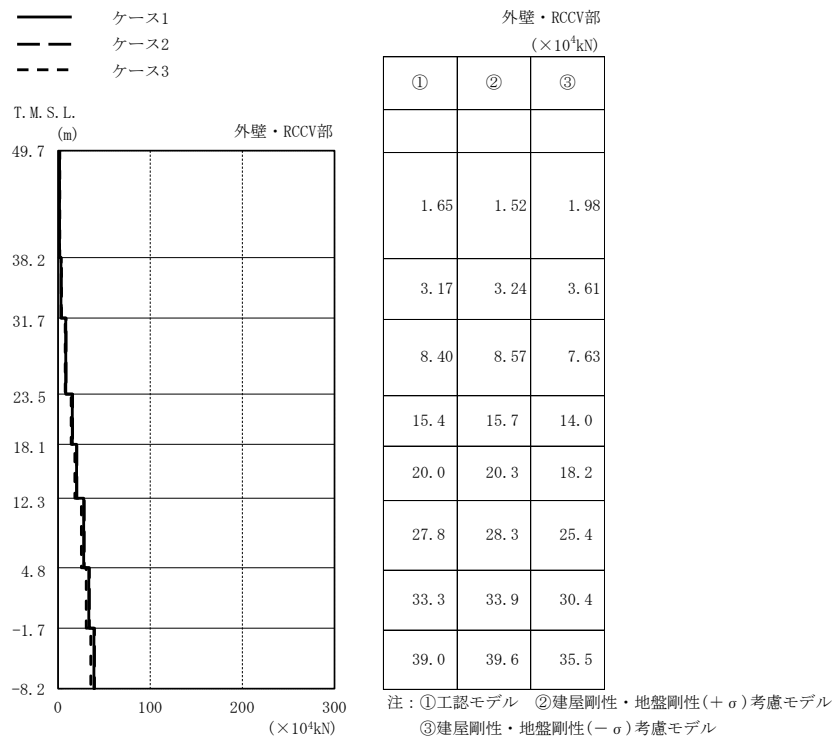


(d) Sd-8

図2-29 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向) (2/2)

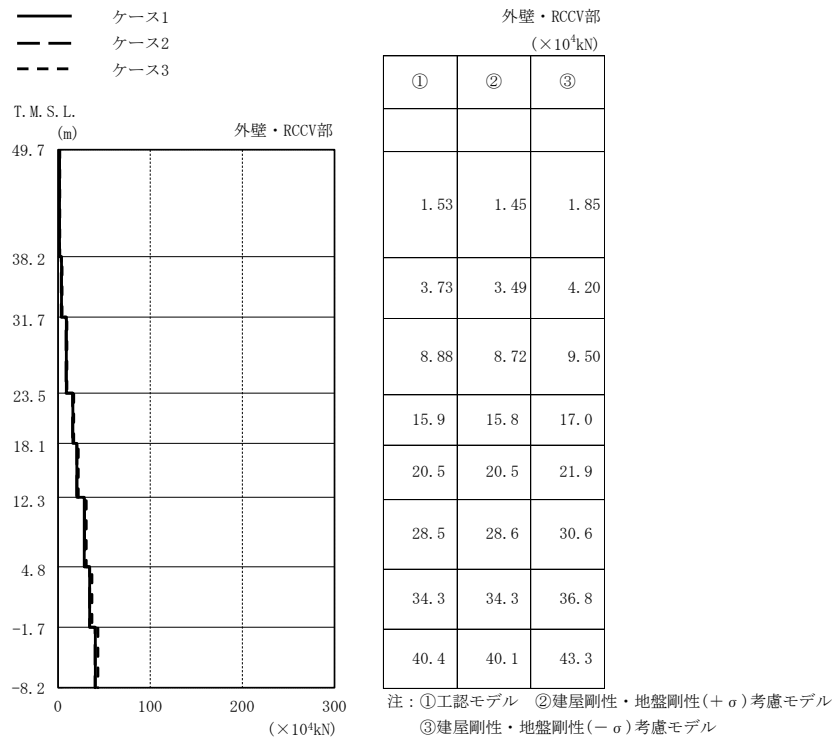


(a) Sd-1

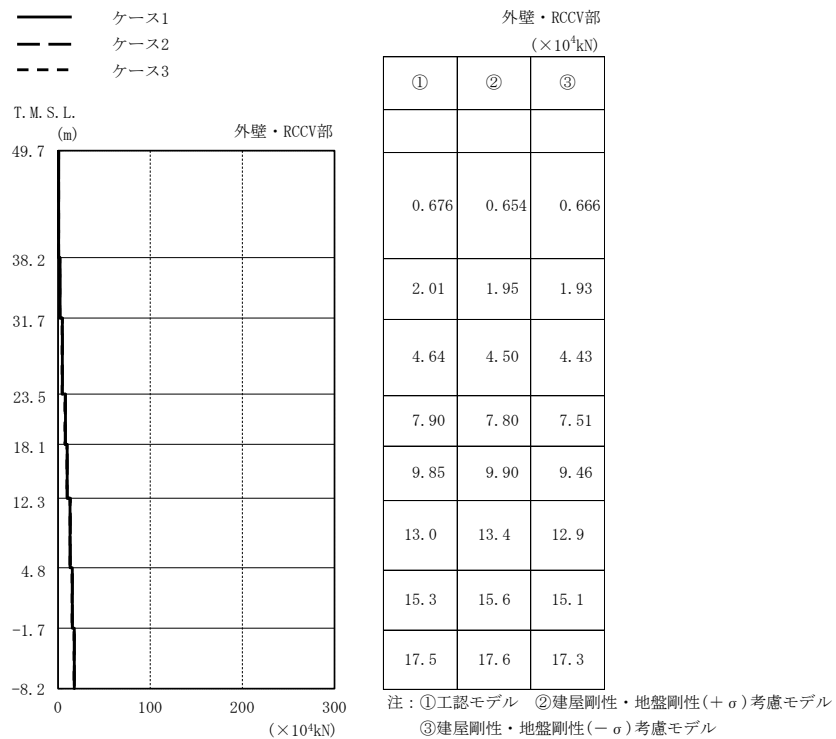


(b) Sd-2

図2-30 最大応答軸力（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）(1/2)

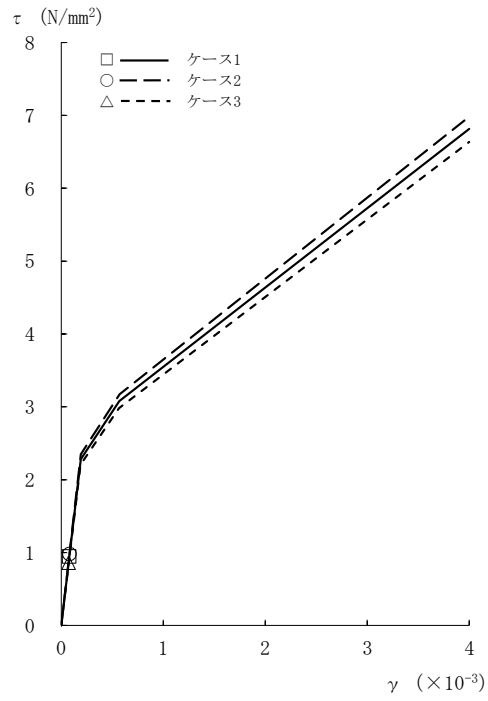


(c) Sd-3



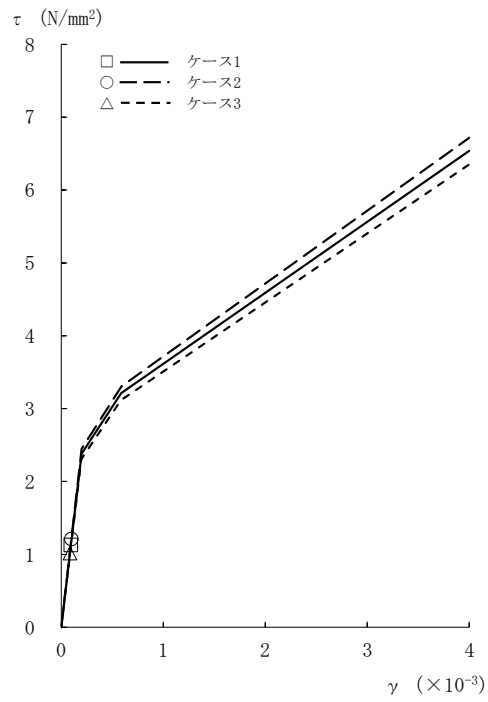
(d) Sd-8

図2-30 最大応答軸力（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）(2/2)



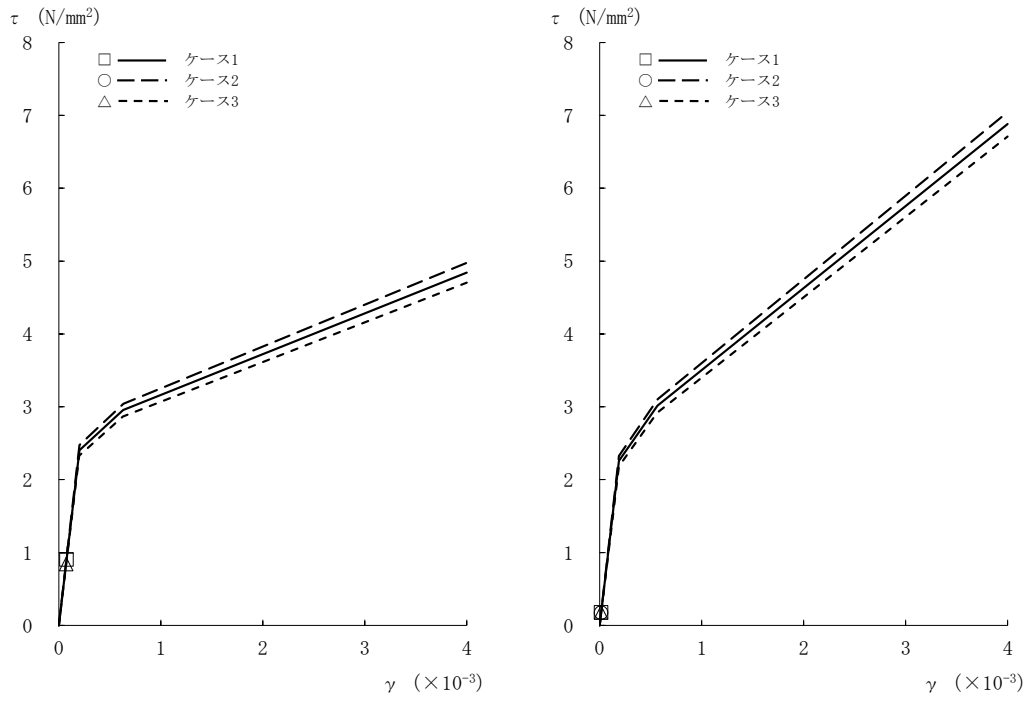
[外壁部]

図2-31 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

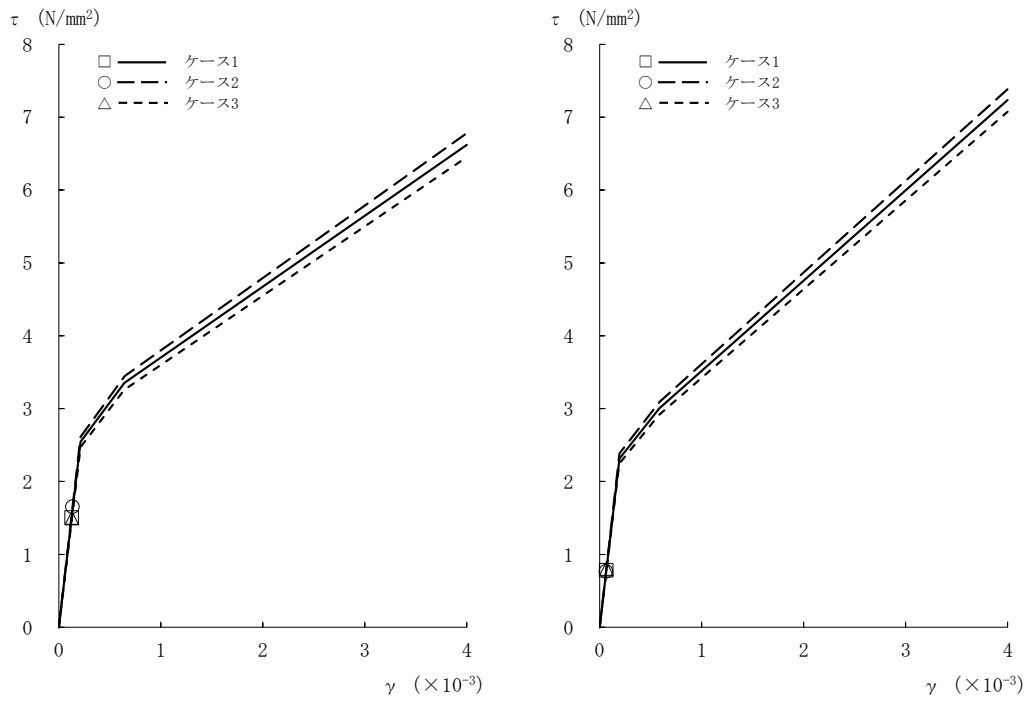
図2-31 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, 4F) (2/8)



[外壁部]

[RCCV部]

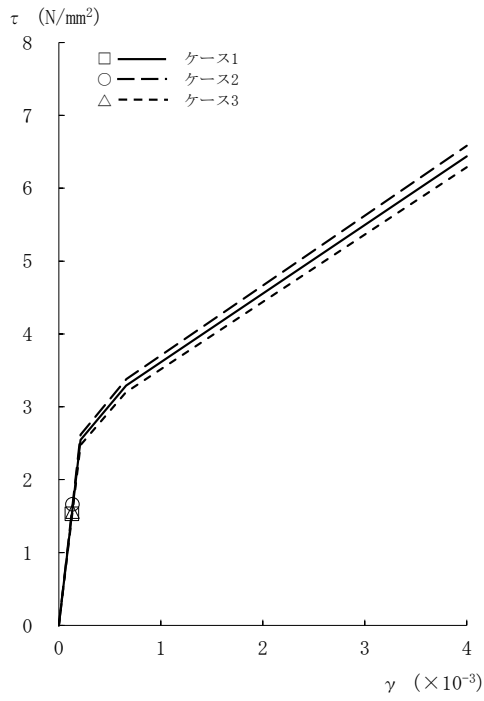
図2-31 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, 3F) (3/8)



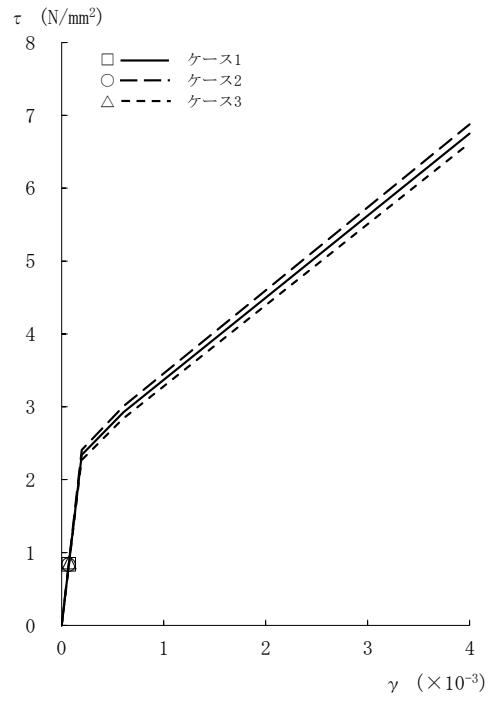
[外壁部]

[RCCV部]

図2-31 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, 2F) (4/8)

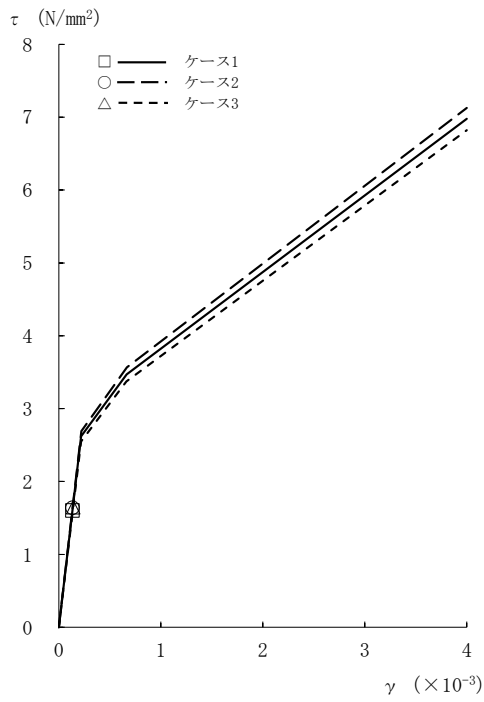


[外壁部]

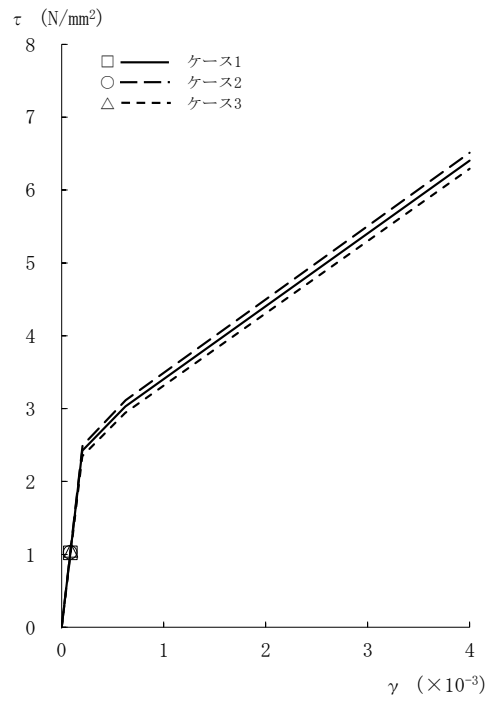


[RCCV部]

図2-31 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, 1F) (5/8)

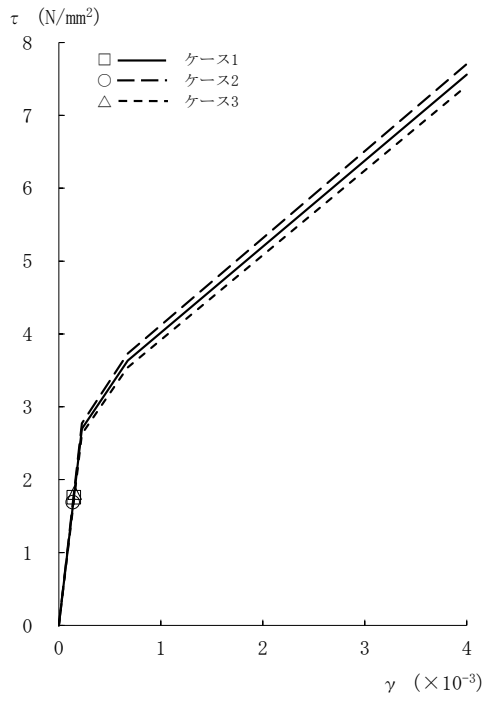


[外壁部]

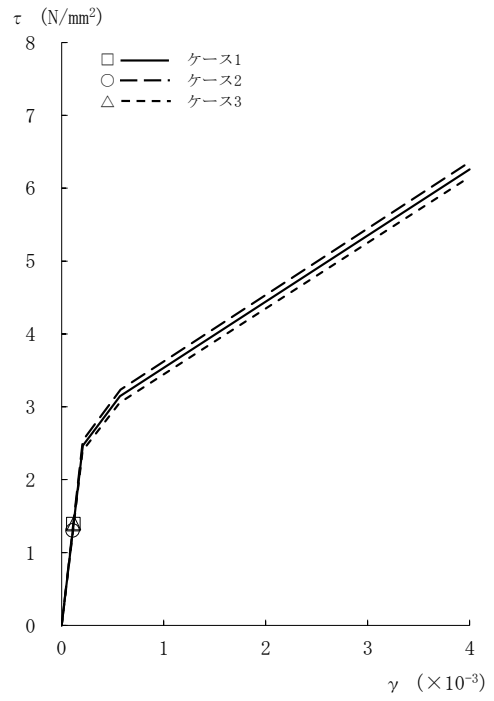


[RCCV部]

図2-31 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, B1F) (6/8)

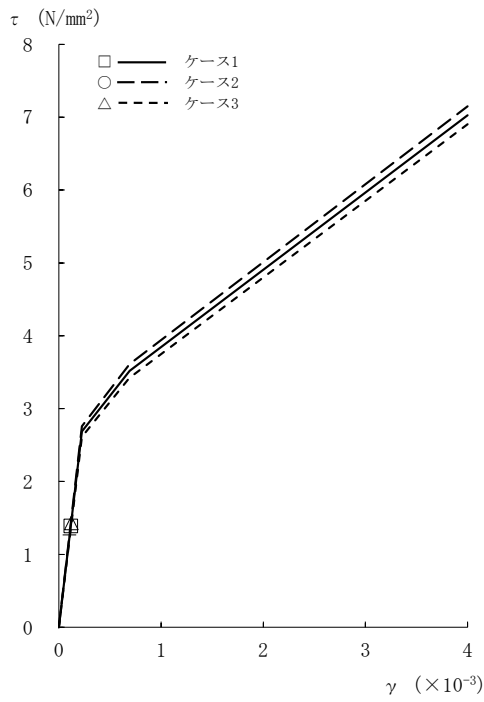


[外壁部]

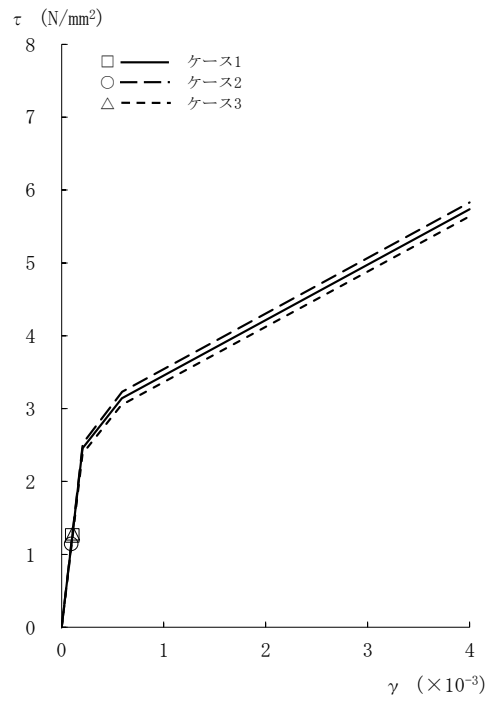


[RCCV部]

図2-31 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, B2F) (7/8)

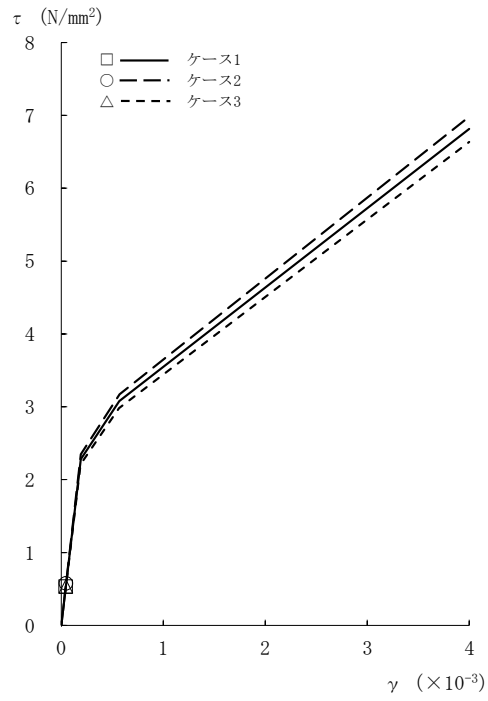


[外壁部]



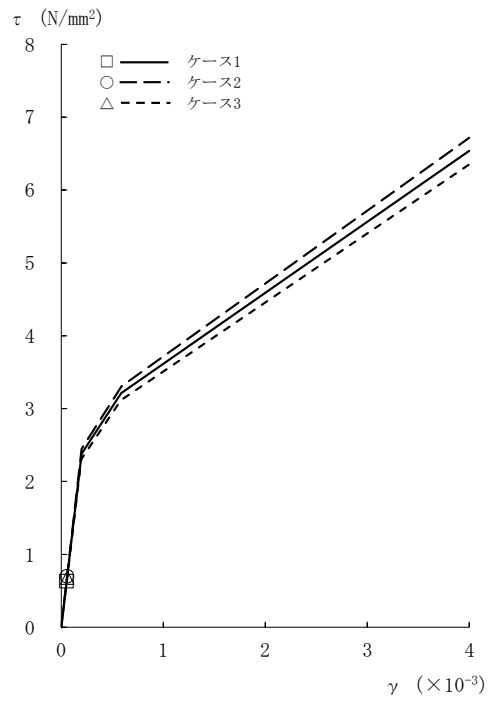
[RCCV部]

図2-31 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, B3F) (8/8)



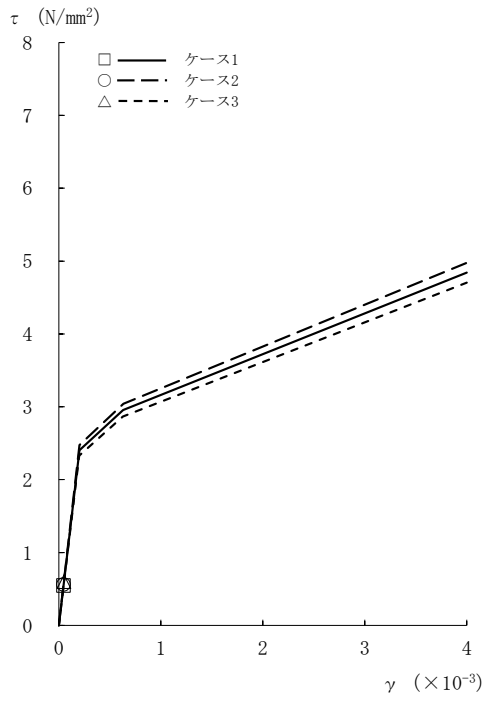
[外壁部]

図2-32 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, CRF) (1/8)

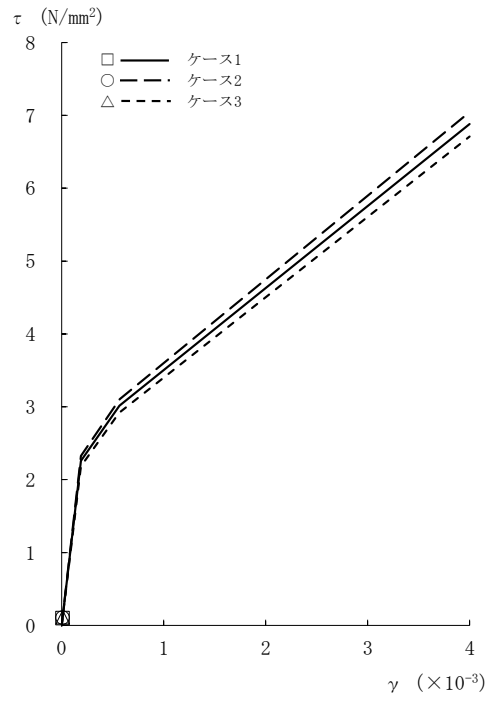


[外壁部]

図2-32 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, 4F) (2/8)

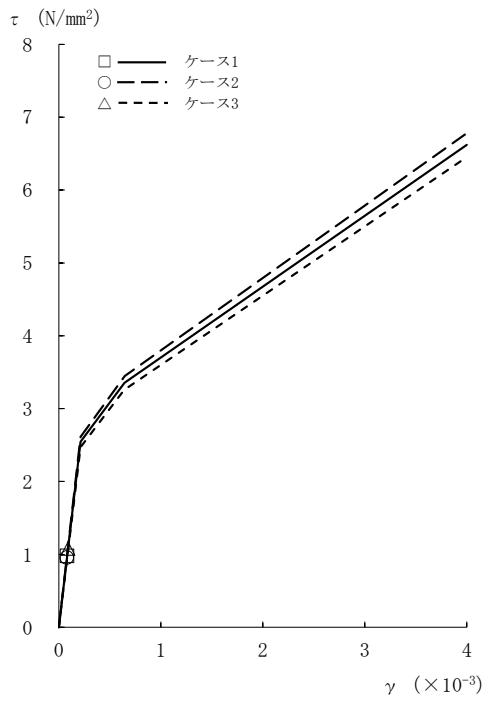


[外壁部]

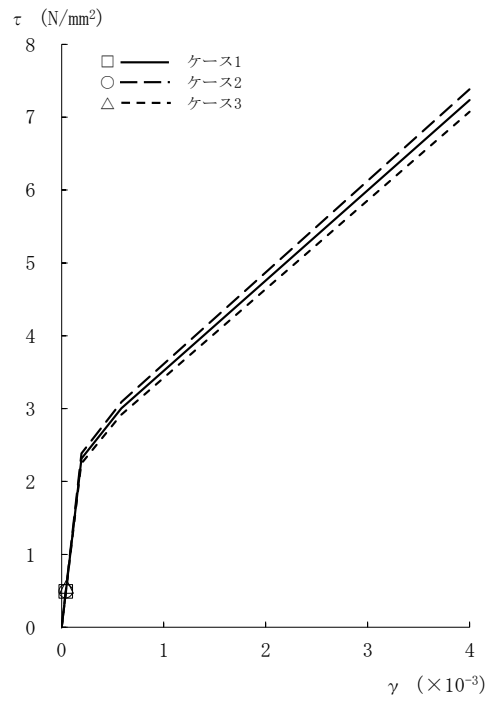


[RCCV部]

図2-32 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, 3F) (3/8)

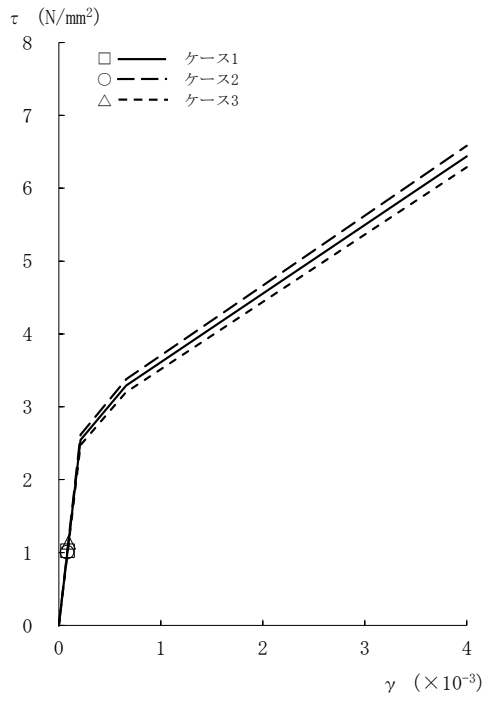


[外壁部]

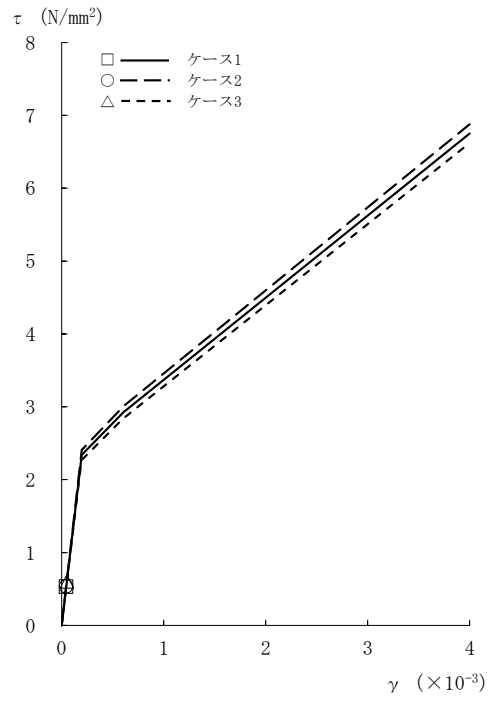


[RCCV部]

図2-32 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, 2F) (4/8)

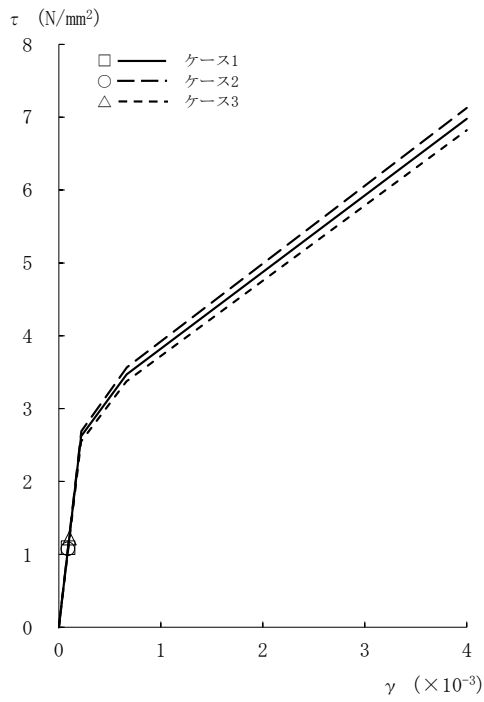


[外壁部]

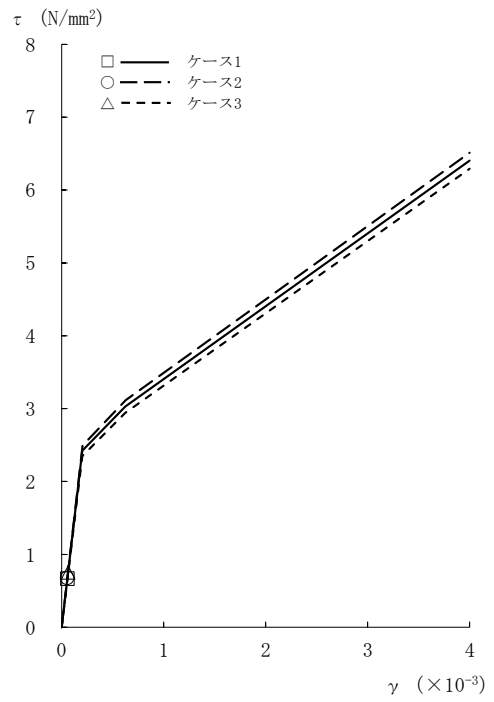


[RCCV部]

図2-32 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, 1F) (5/8)

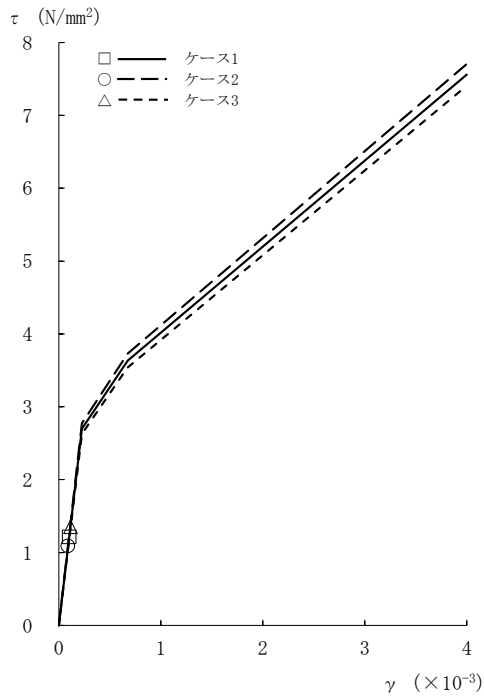


[外壁部]

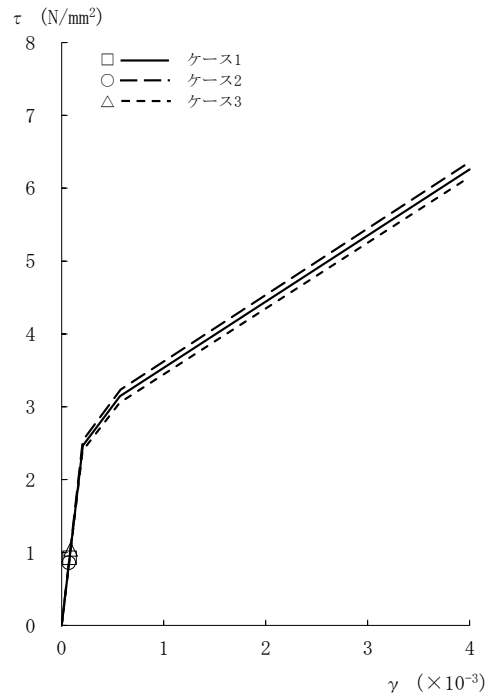


[RCCV部]

図2-32 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, B1F) (6/8)

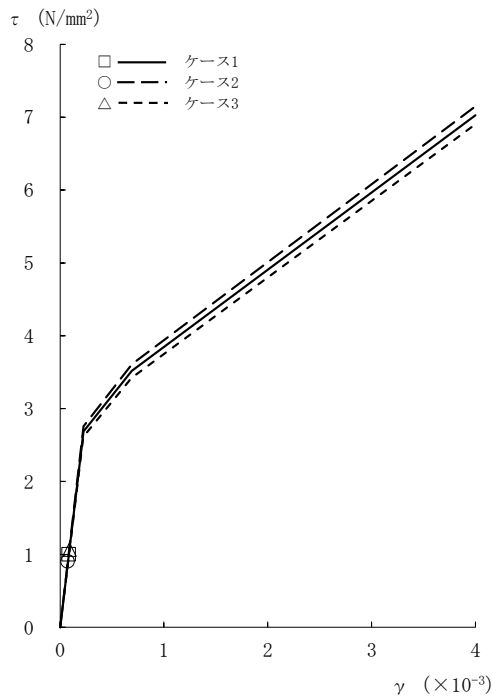


[外壁部]

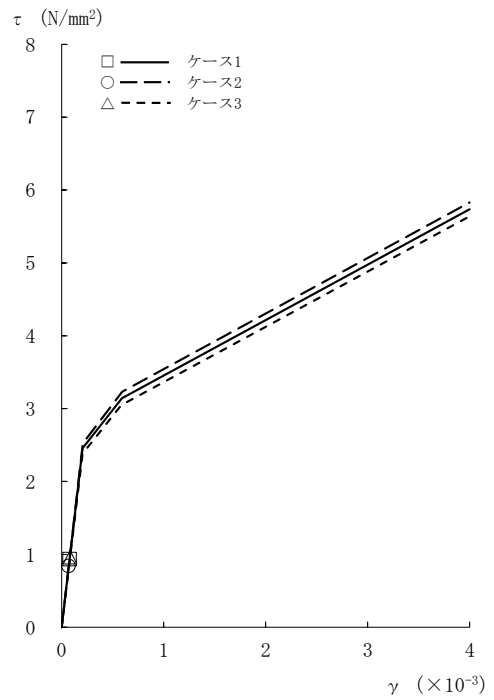


[RCCV部]

図2-32 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, B2F) (7/8)

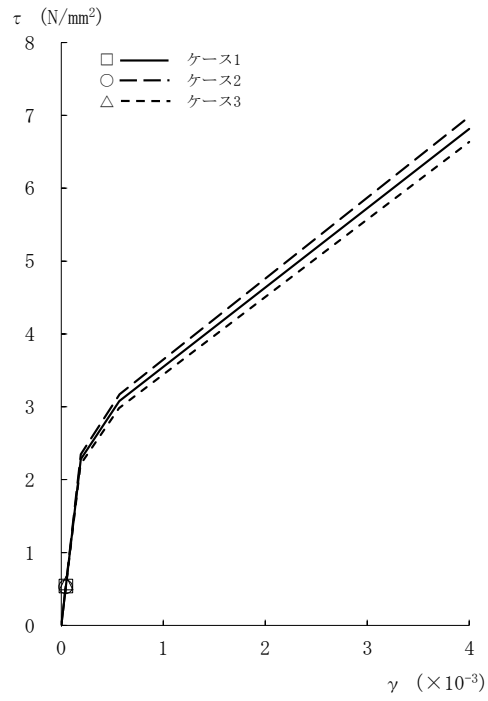


[外壁部]



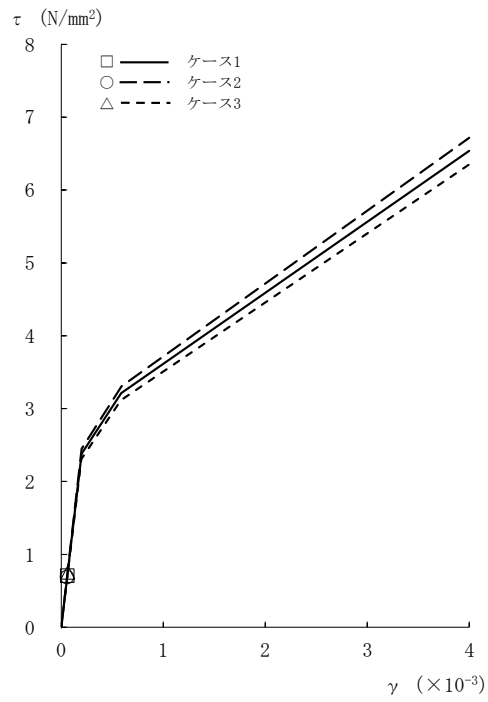
[RCCV部]

図2-32 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, B3F) (8/8)



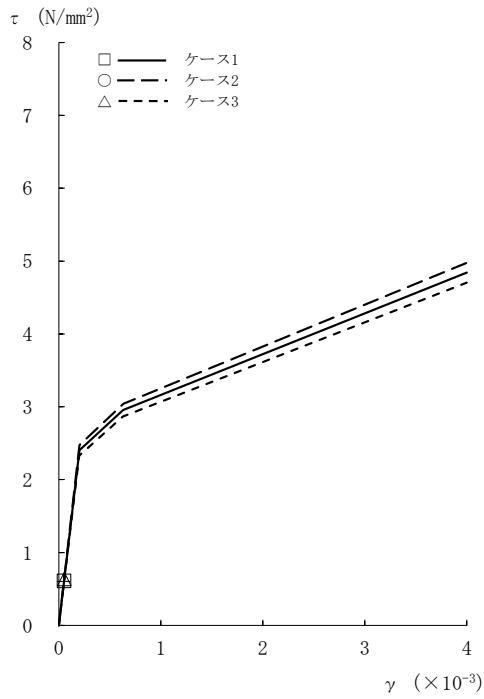
[外壁部]

図2-33 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, CRF) (1/8)

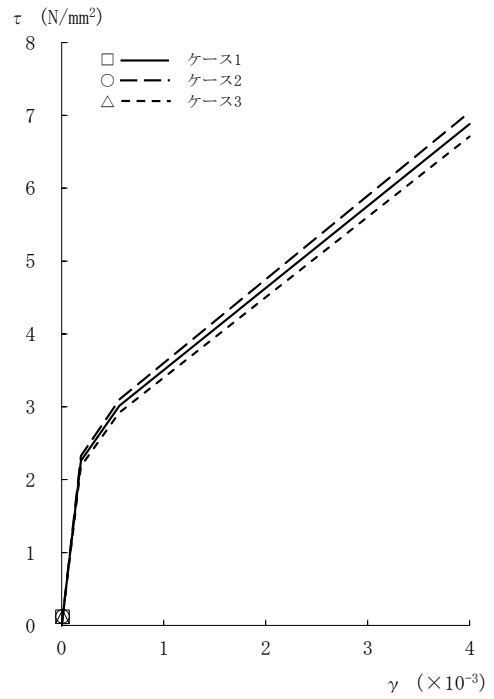


[外壁部]

図2-33 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, 4F) (2/8)

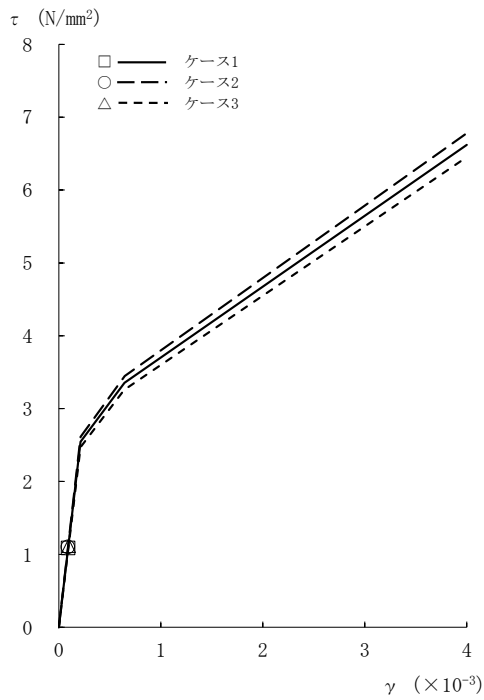


[外壁部]

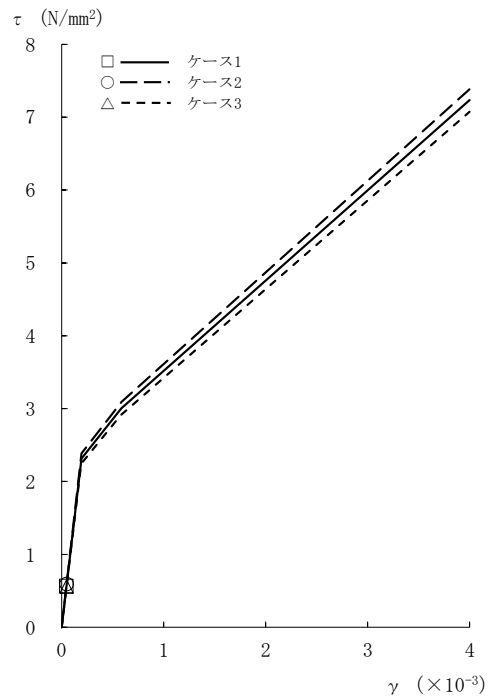


[RCCV部]

図2-33 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, 3F) (3/8)

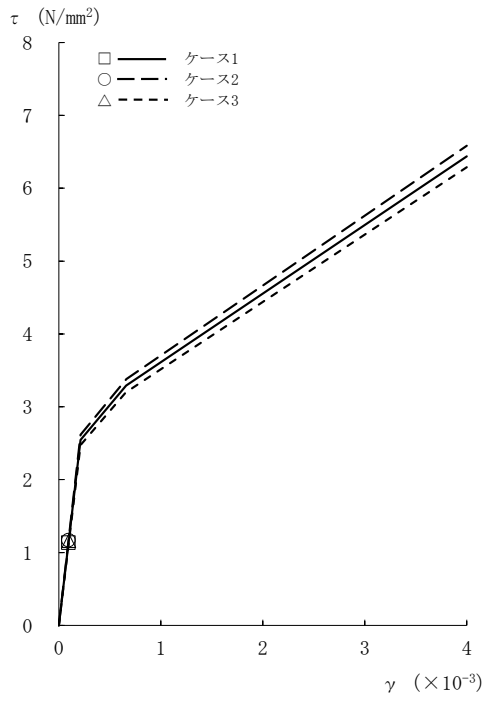


[外壁部]

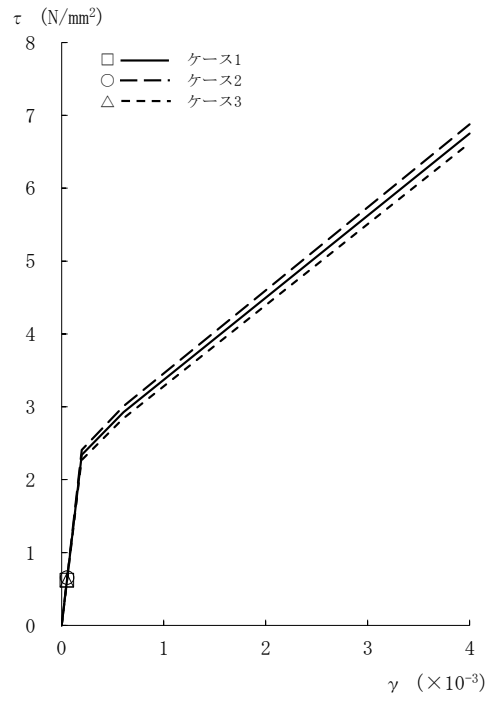


[RCCV部]

図2-33 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, 2F) (4/8)

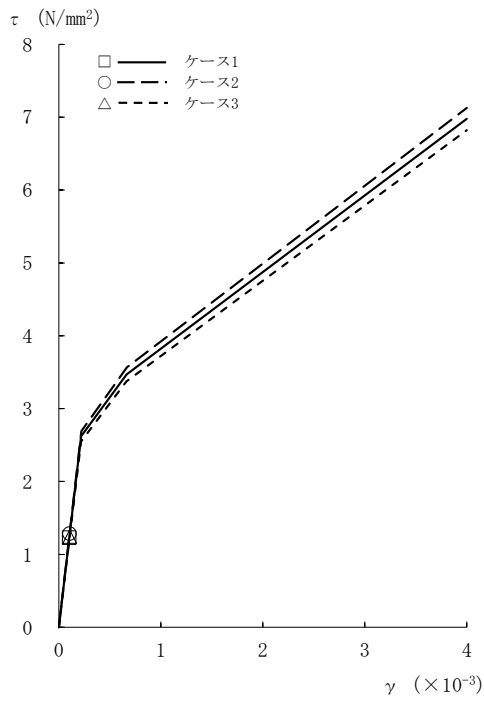


[外壁部]

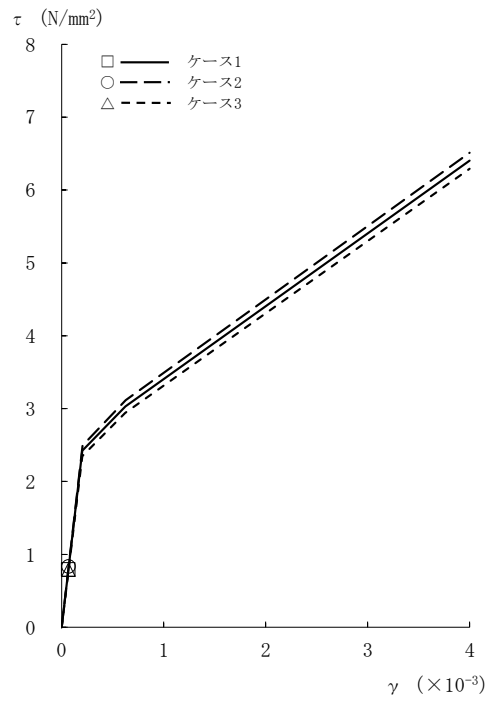


[RCCV部]

図2-33 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, 1F) (5/8)

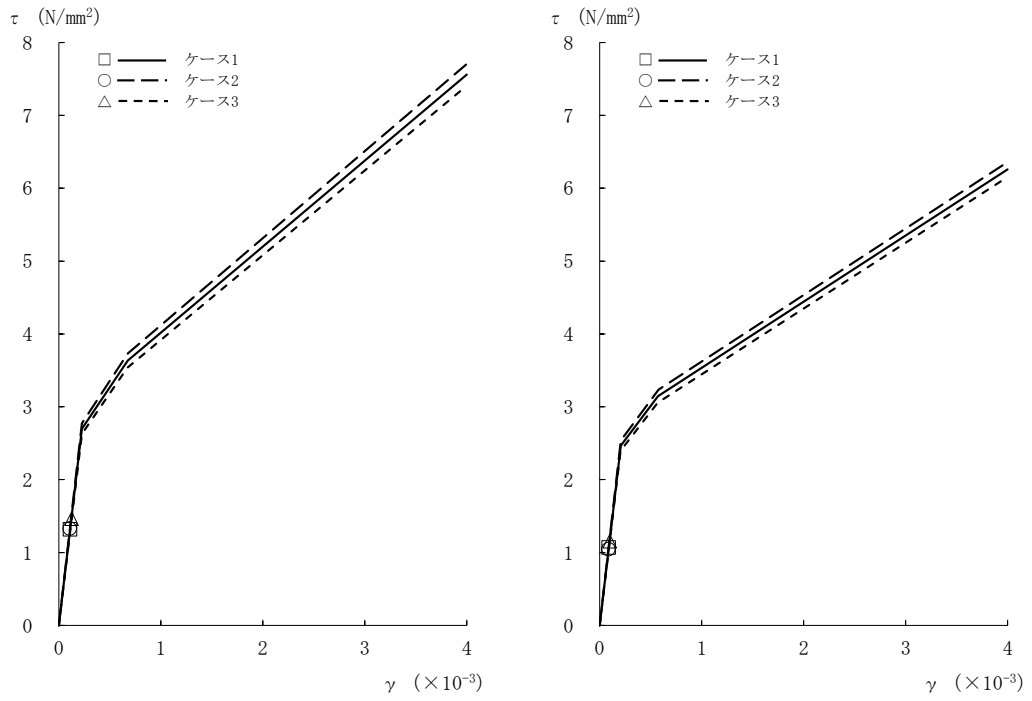


[外壁部]



[RCCV部]

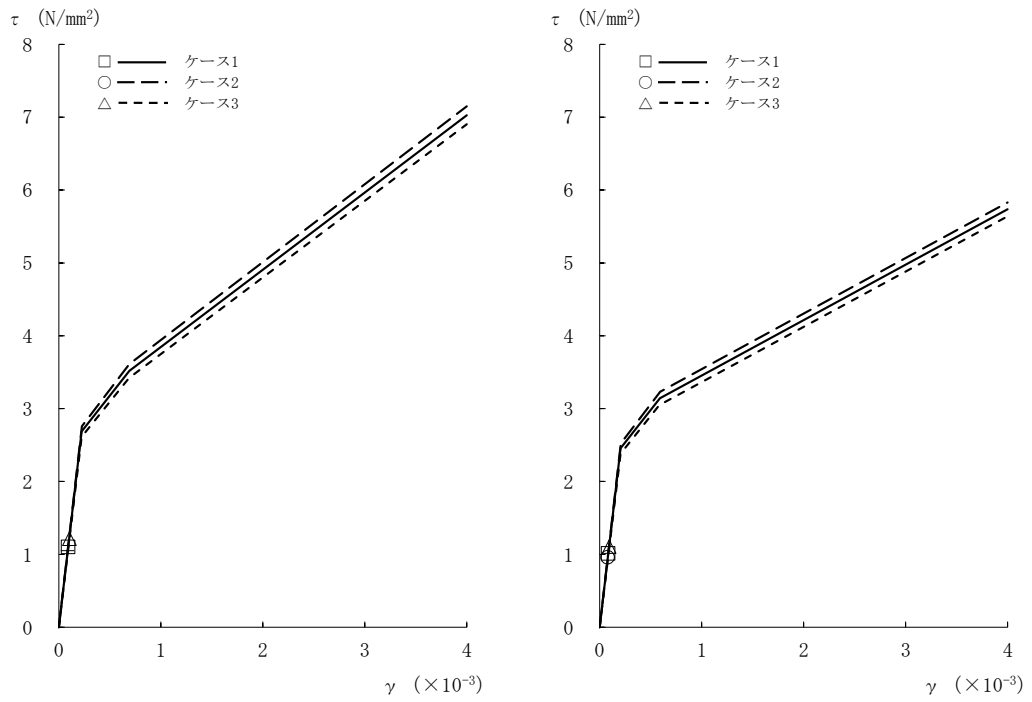
図2-33 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, B1F) (6/8)



[外壁部]

[RCCV部]

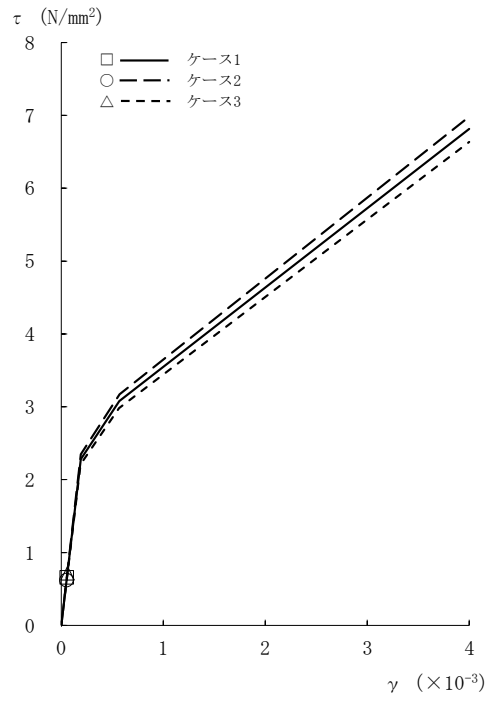
図2-33 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, B2F) (7/8)



[外壁部]

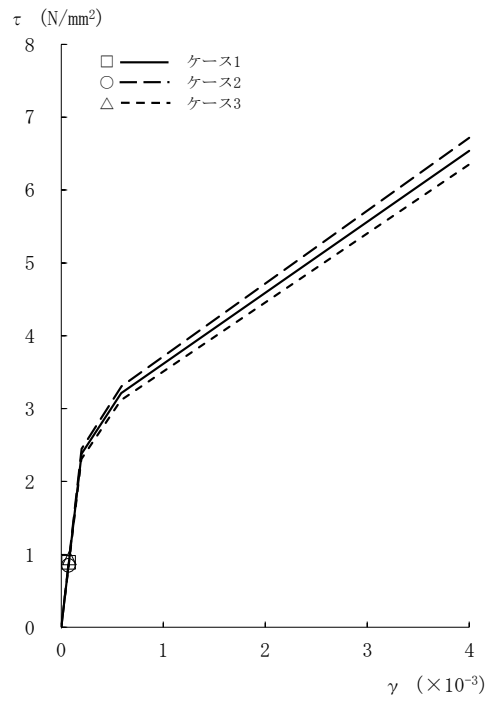
[RCCV部]

図2-33 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, B3F) (8/8)



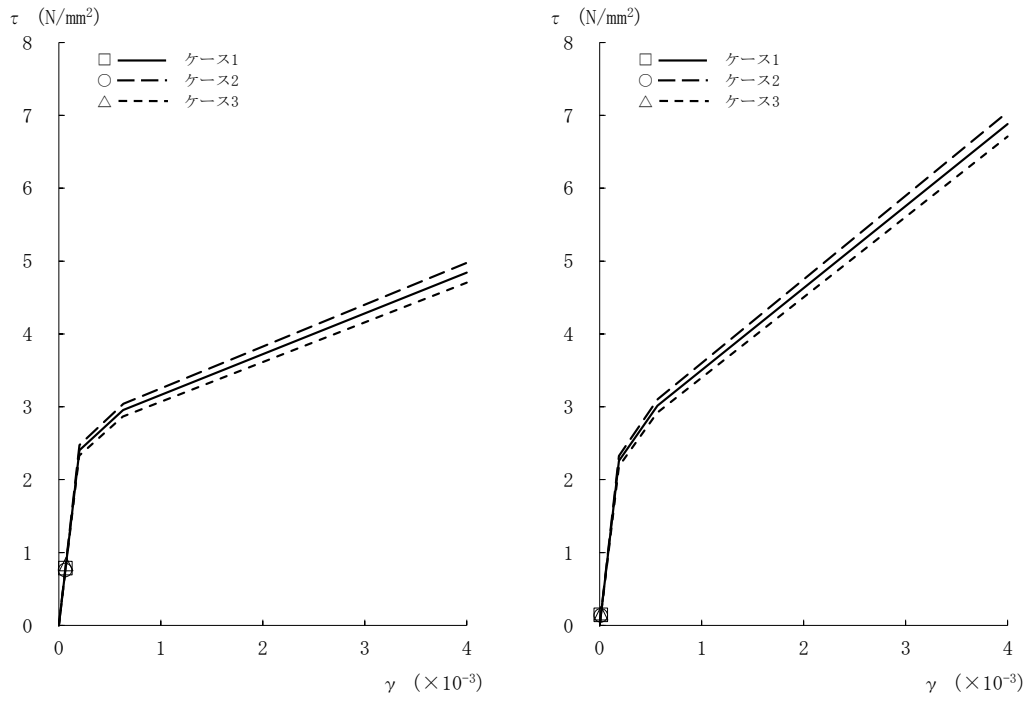
[外壁部]

図2-34 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

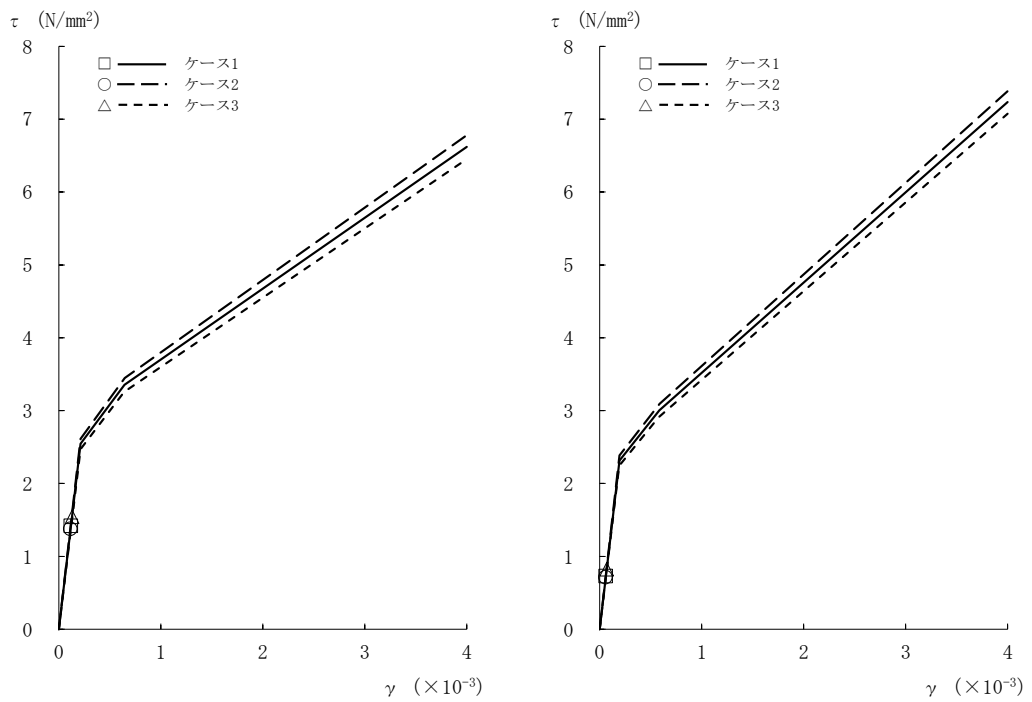
図2-34 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, 4F) (2/8)



[外壁部]

[RCCV部]

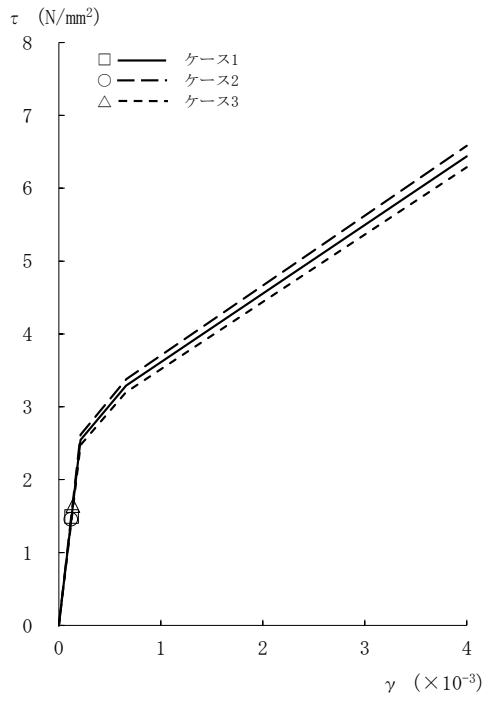
図2-34 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, 3F) (3/8)



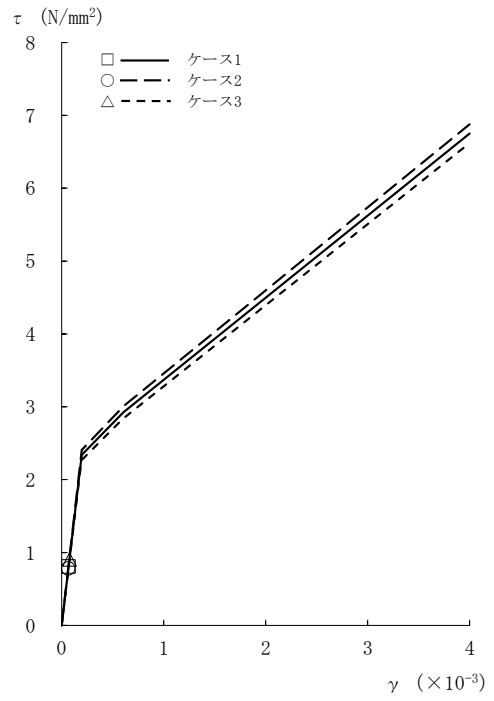
[外壁部]

[RCCV部]

図2-34 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, 2F) (4/8)

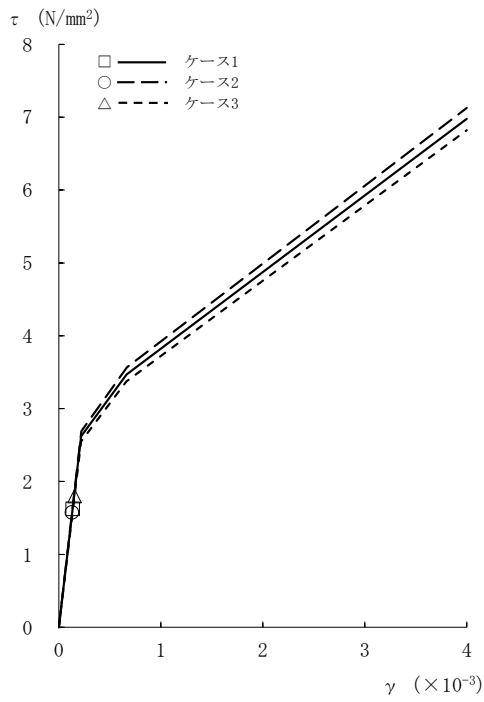


[外壁部]

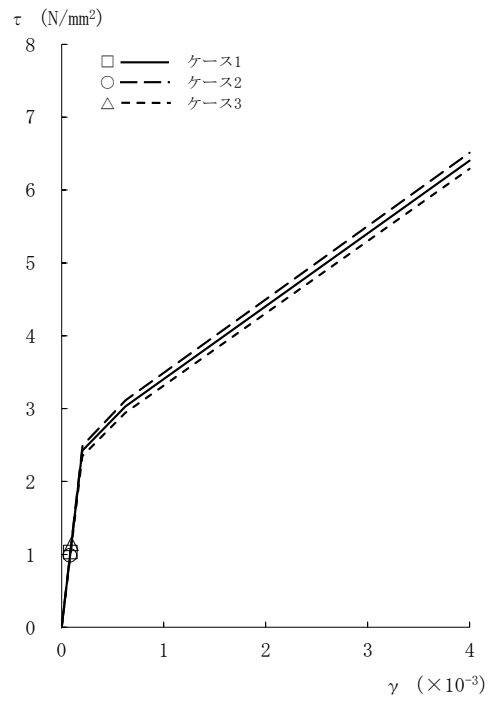


[RCCV部]

図2-34 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, 1F) (5/8)

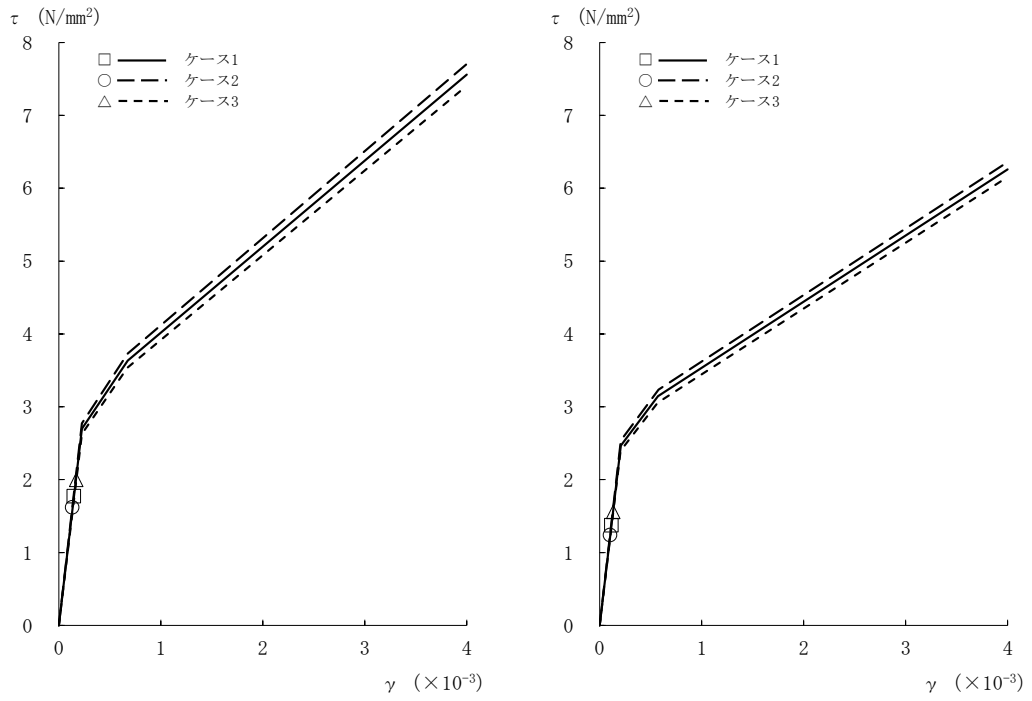


[外壁部]



[RCCV部]

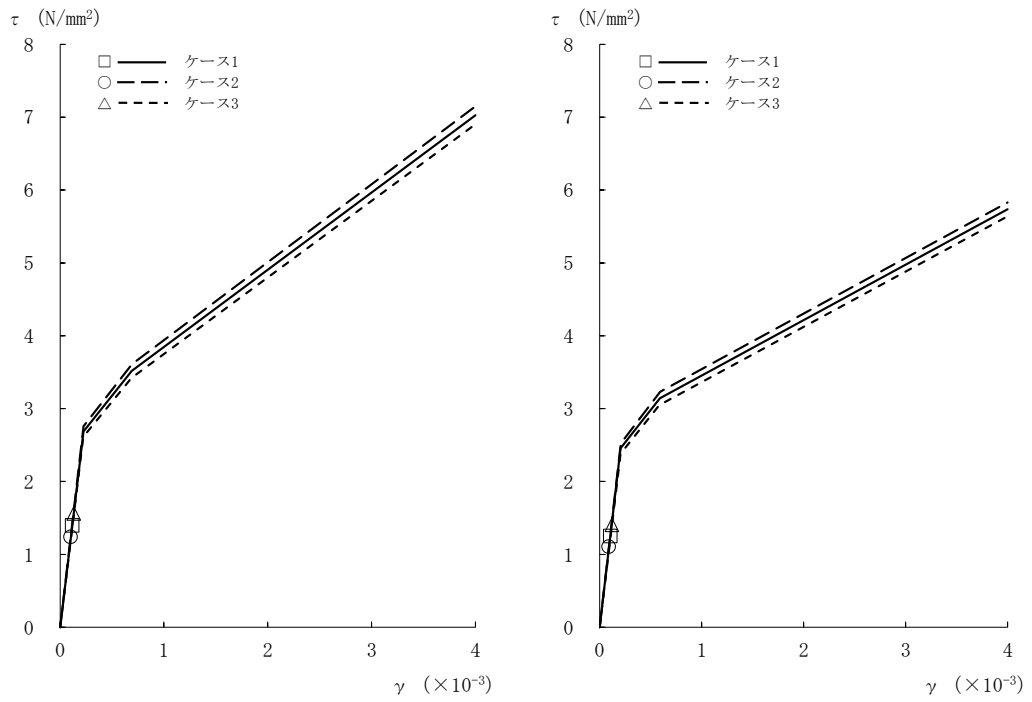
図2-34 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, B1F) (6/8)



[外壁部]

[RCCV部]

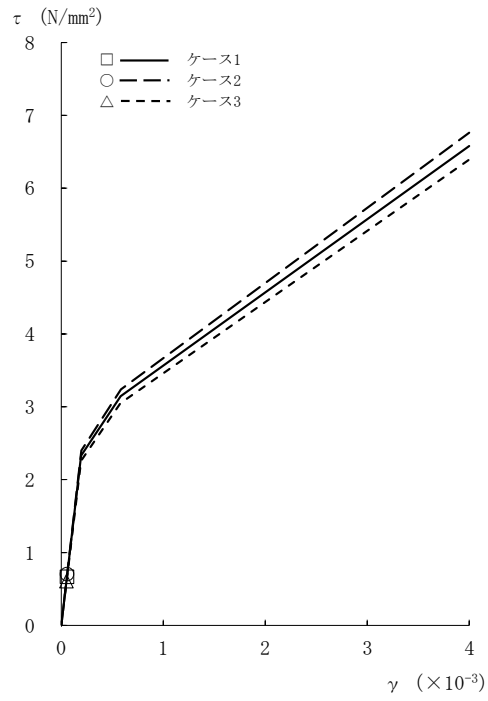
図2-34 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, B2F) (7/8)



[外壁部]

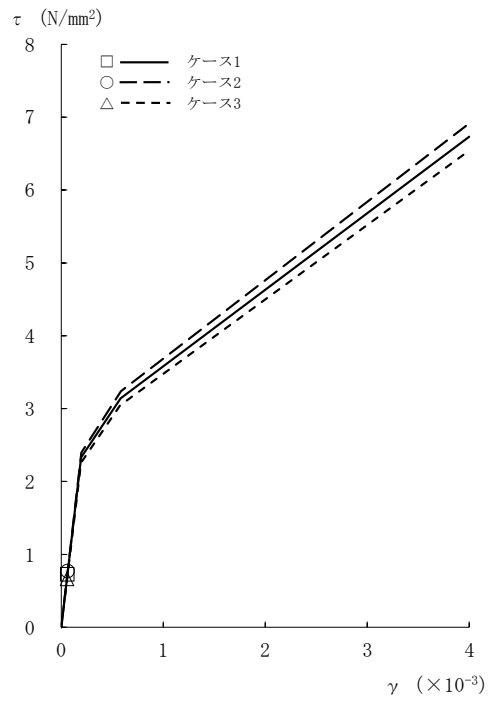
[RCCV部]

図2-34 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, B3F) (8/8)



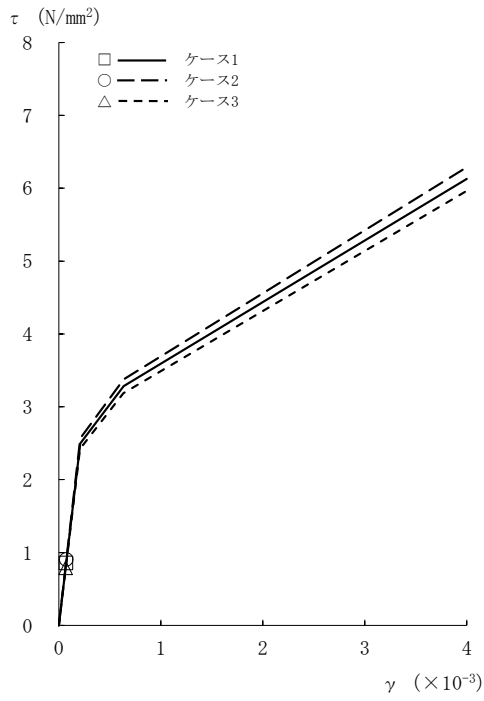
[外壁部]

図2-35 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, CRF) (1/8)

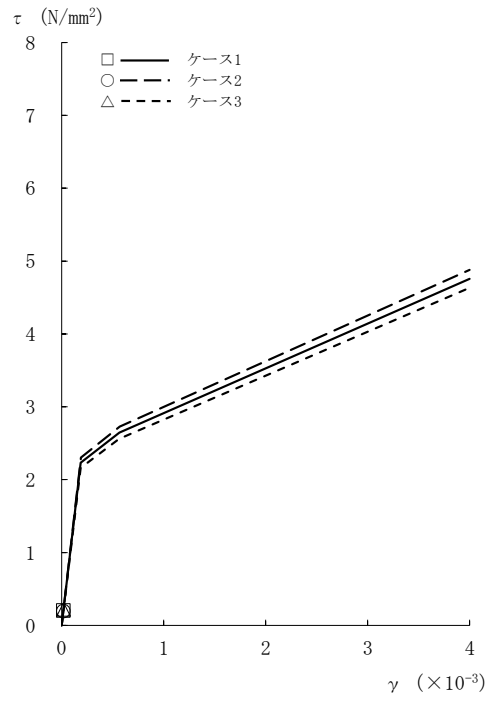


[外壁部]

図2-35 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, 4F) (2/8)

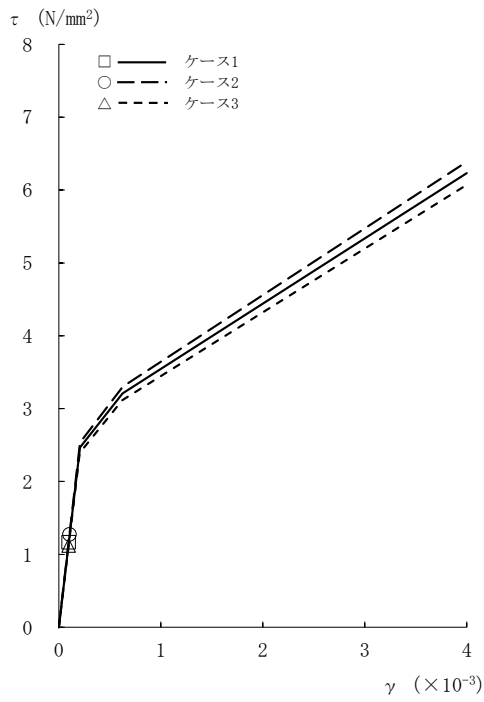


[外壁部]

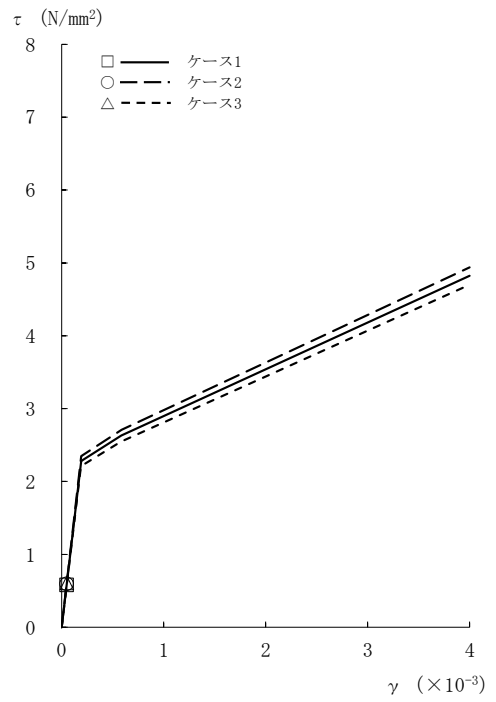


[RCCV部]

図2-35 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, 3F) (3/8)

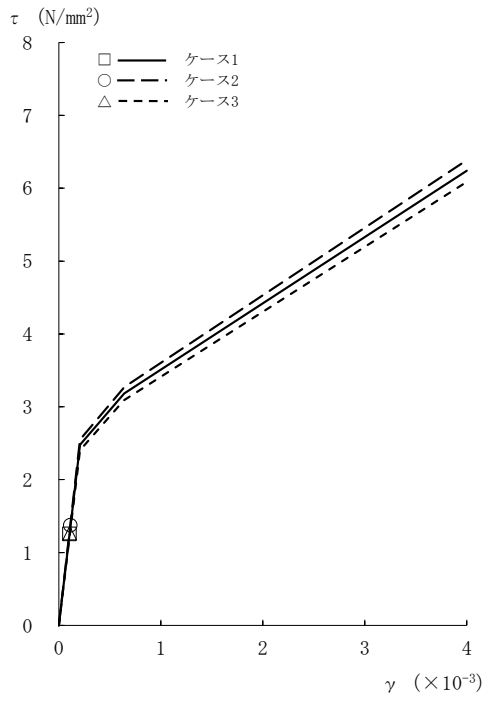


[外壁部]

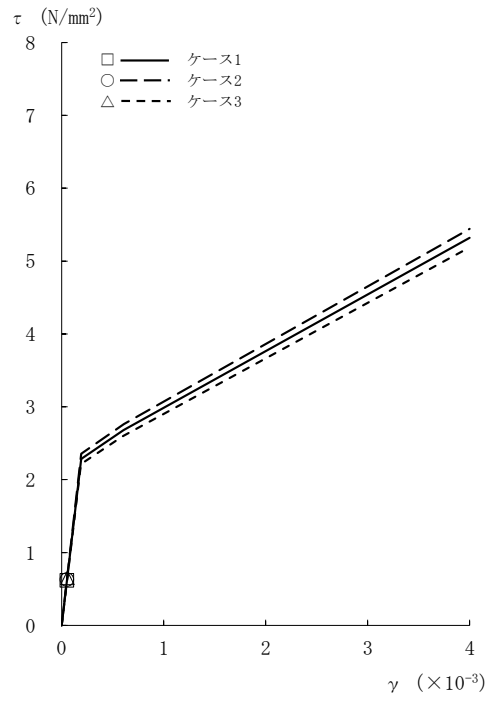


[RCCV部]

図2-35 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, 2F) (4/8)

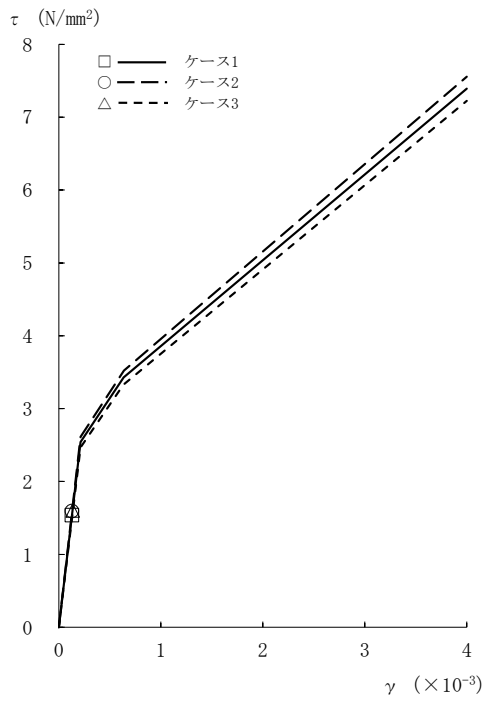


[外壁部]

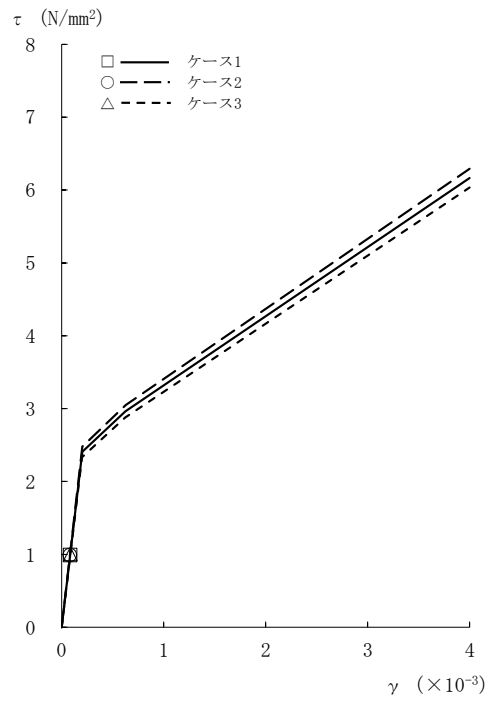


[RCCV部]

図2-35 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, 1F) (5/8)

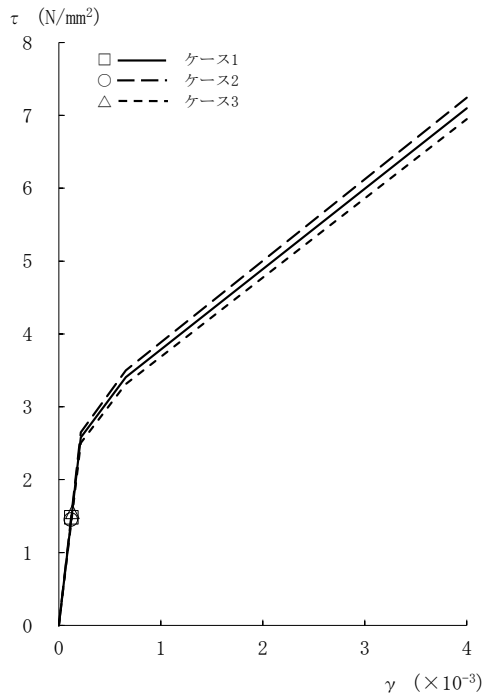


[外壁部]

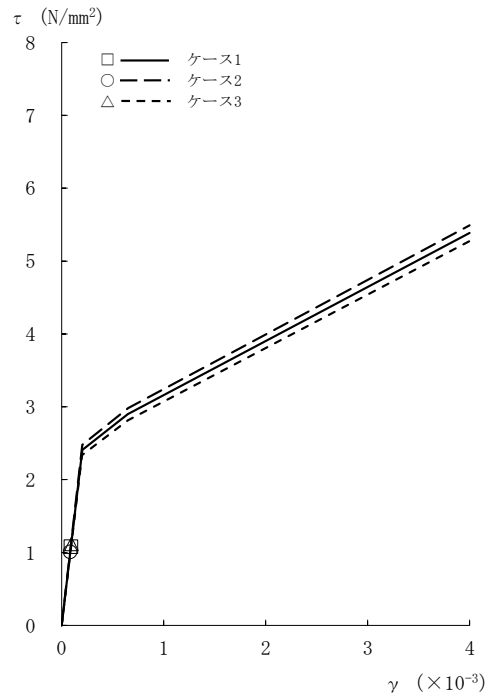


[RCCV部]

図2-35 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, B1F) (6/8)

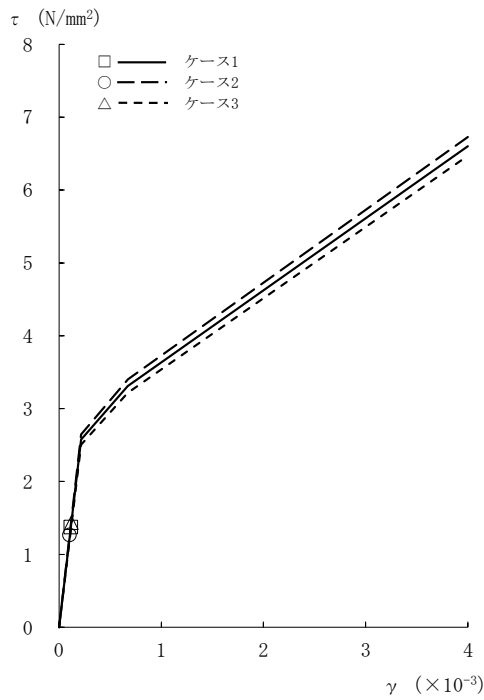


[外壁部]

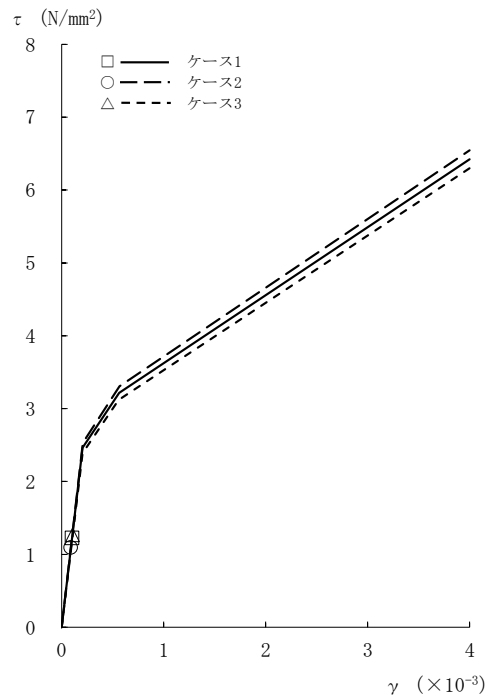


[RCCV部]

図2-35 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, B2F) (7/8)

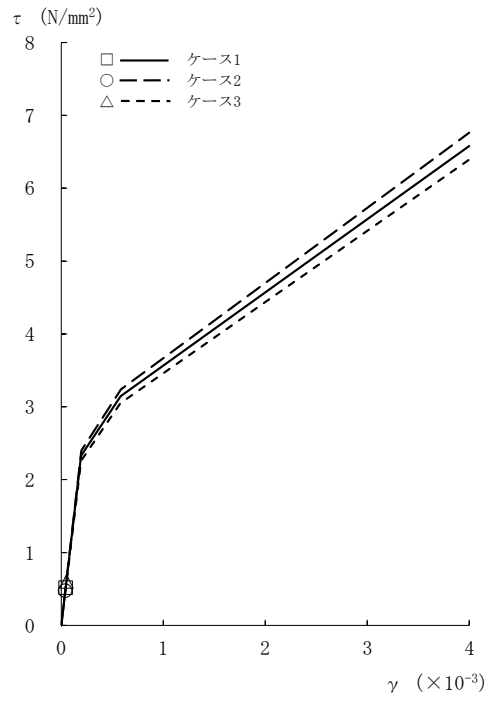


[外壁部]



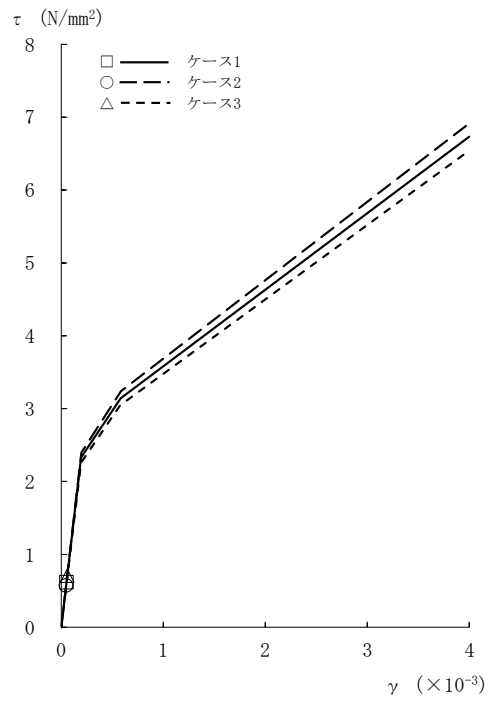
[RCCV部]

図2-35 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, B3F) (8/8)



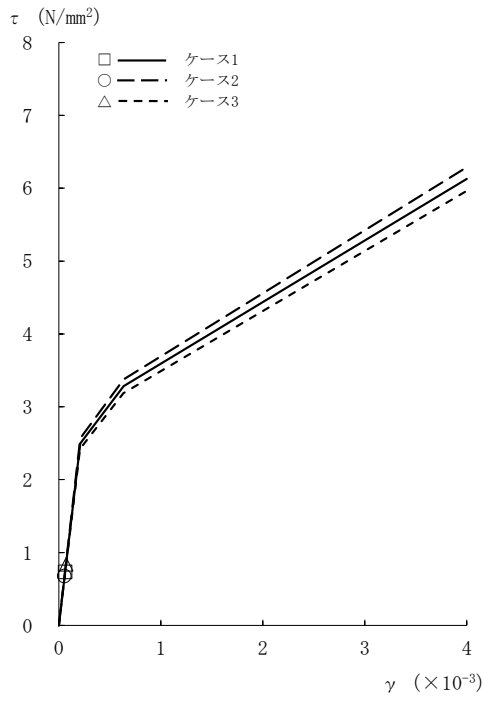
[外壁部]

図2-36 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, CRF) (1/8)

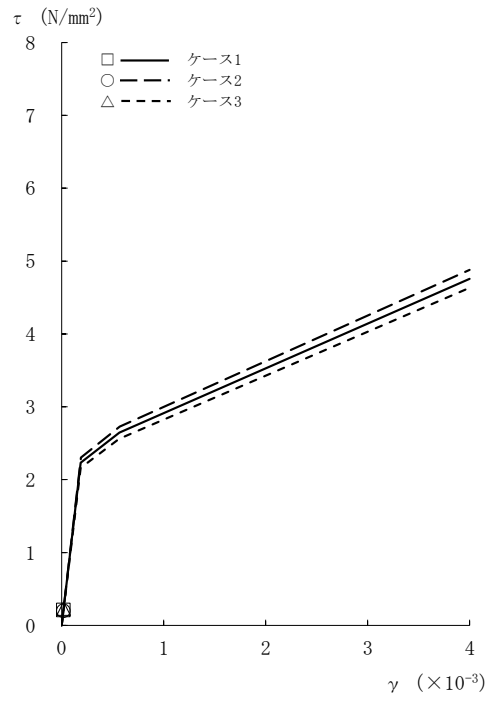


[外壁部]

図2-36 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, 4F) (2/8)

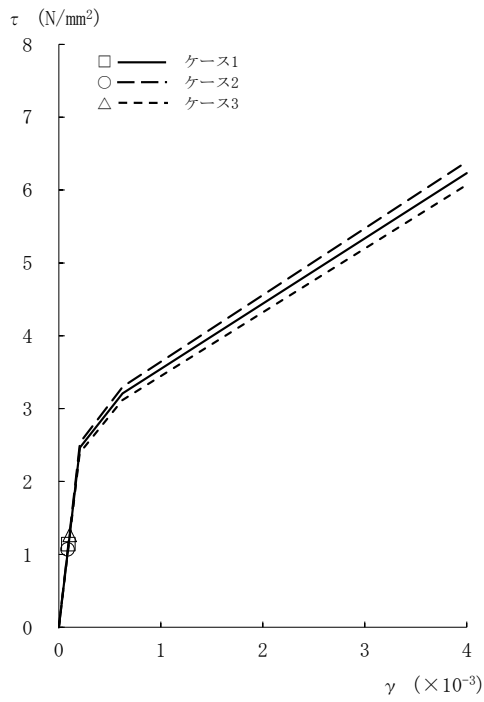


[外壁部]

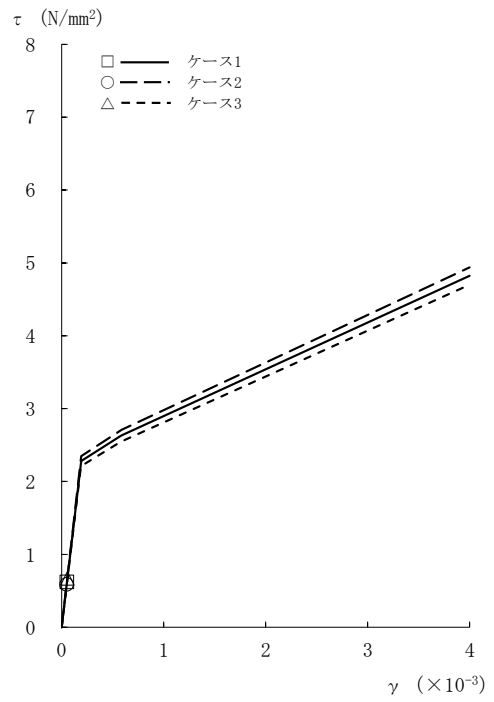


[RCCV部]

図2-36 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, 3F) (3/8)

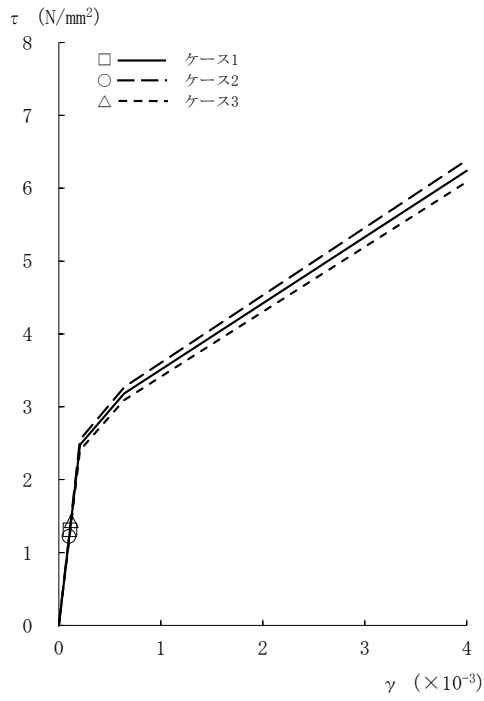


[外壁部]

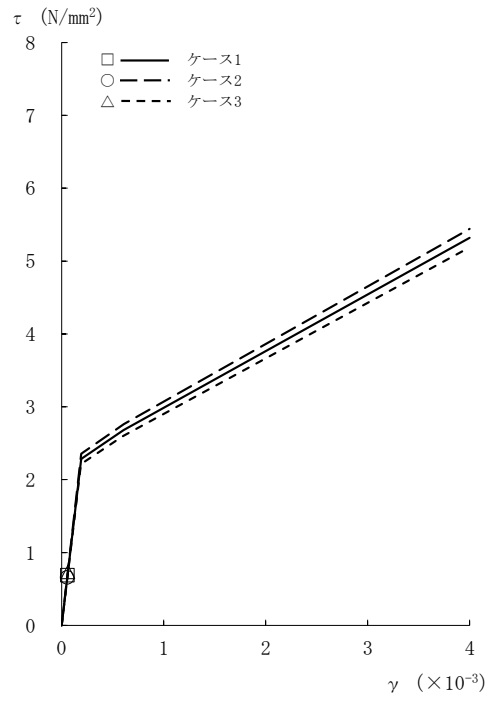


[RCCV部]

図2-36 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, 2F) (4/8)

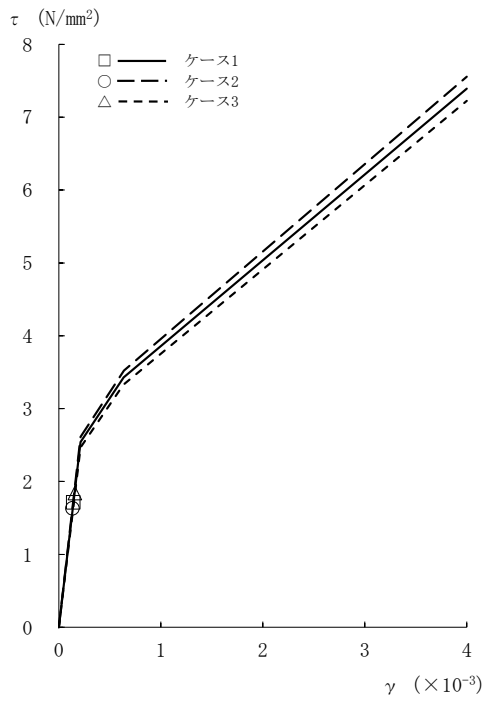


[外壁部]

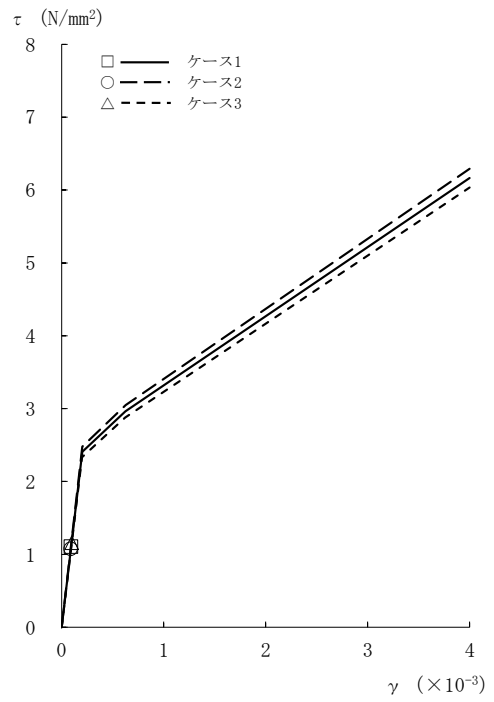


[RCCV部]

図2-36 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, 1F) (5/8)

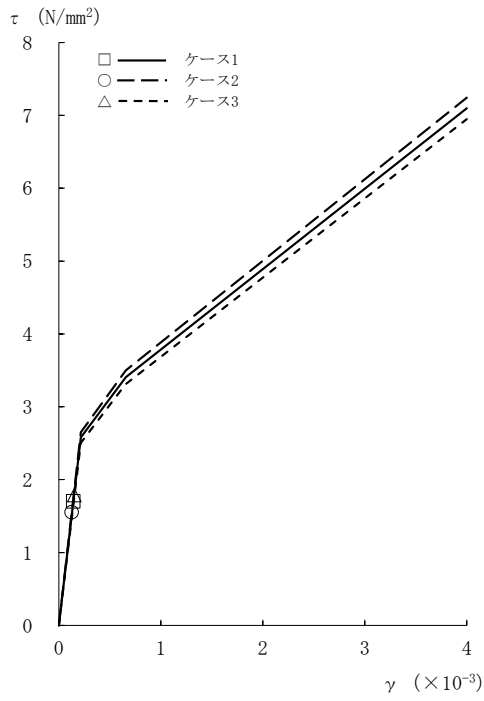


[外壁部]

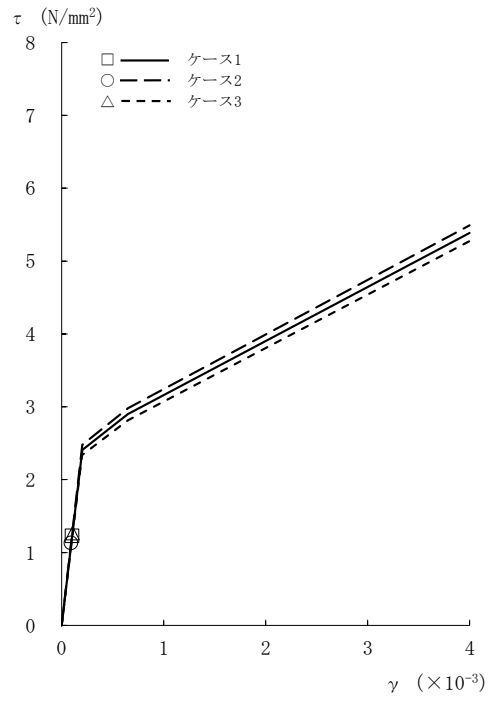


[RCCV部]

図2-36 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, B1F) (6/8)

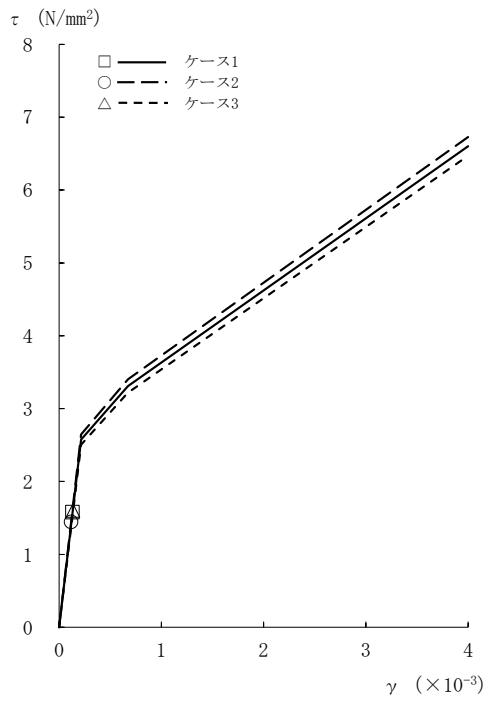


[外壁部]

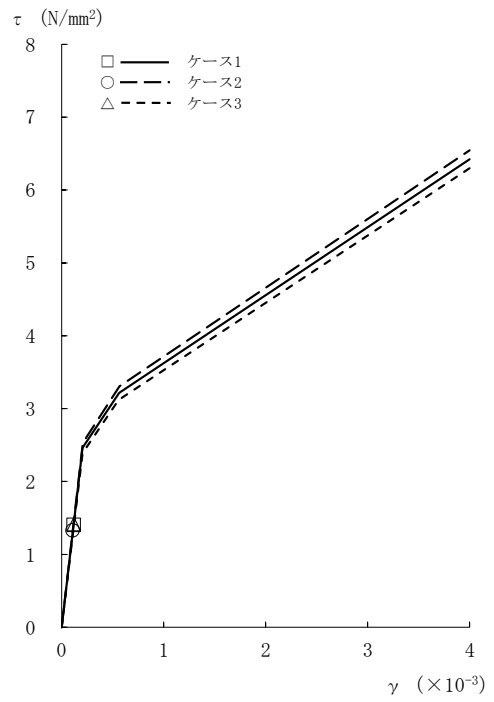


[RCCV部]

図2-36 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, B2F) (7/8)

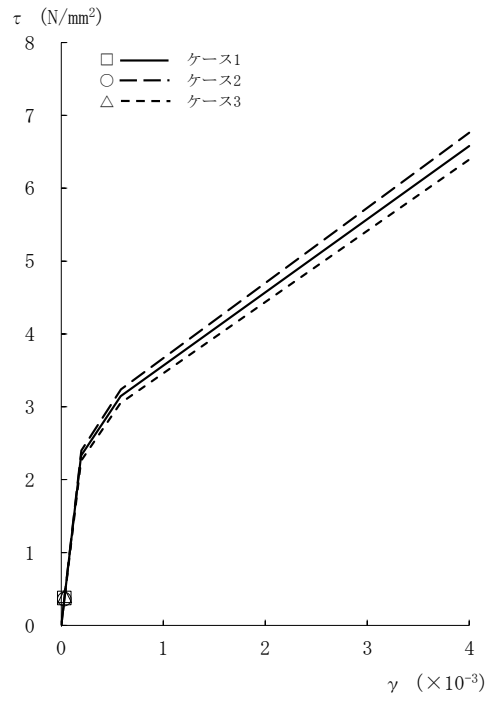


[外壁部]



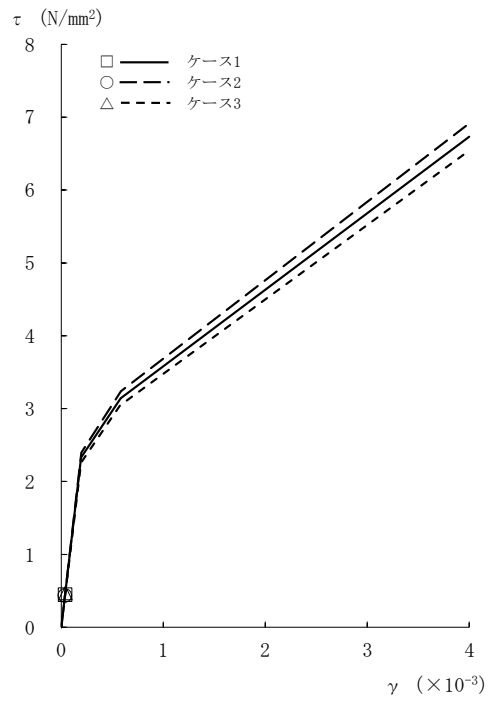
[RCCV部]

図2-36 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, B3F) (8/8)



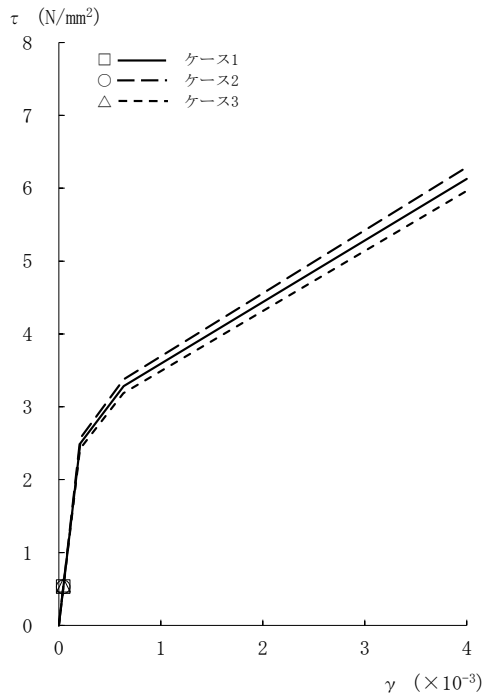
[外壁部]

図2-37 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, CRF) (1/8)

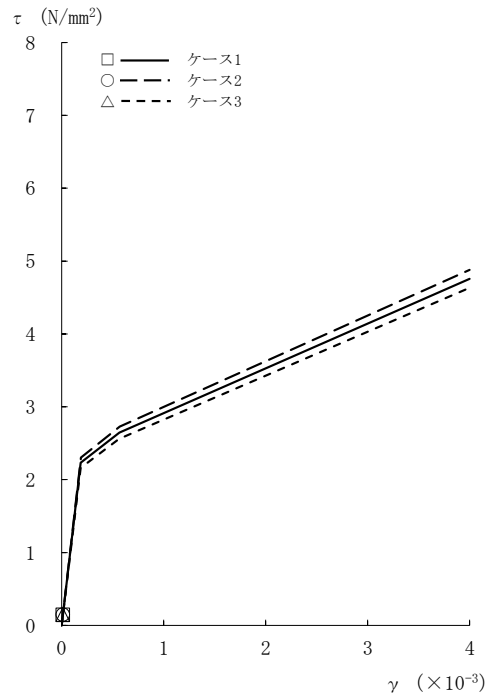


[外壁部]

図2-37 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, 4F) (2/8)

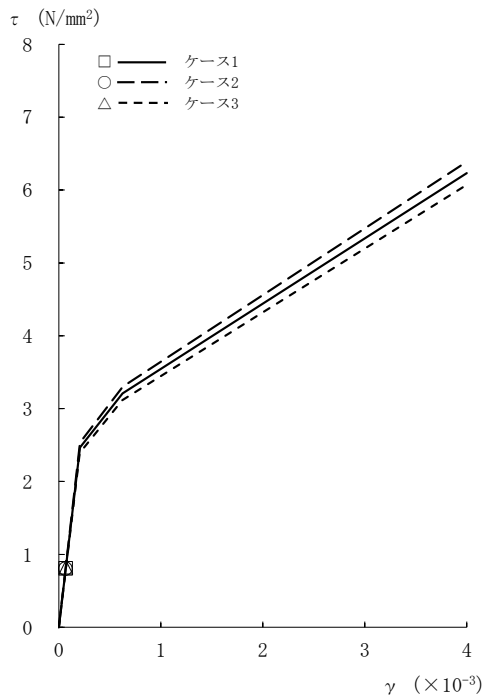


[外壁部]

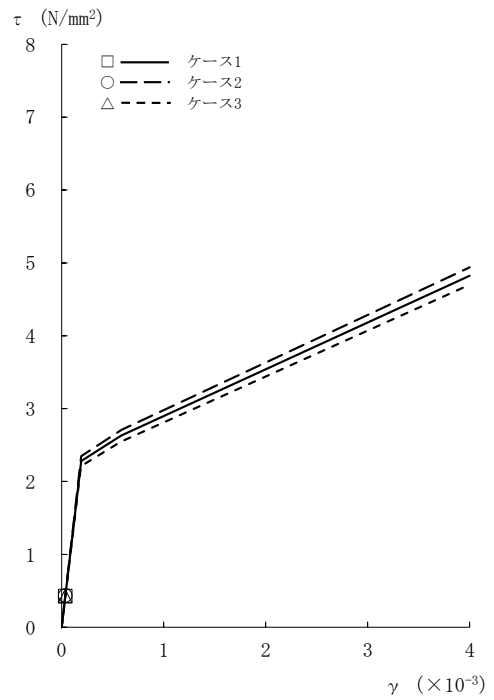


[RCCV部]

図2-37 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, 3F) (3/8)

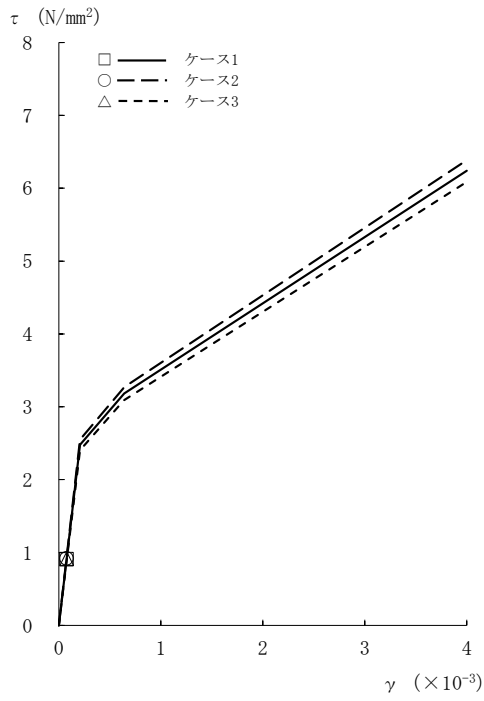


[外壁部]

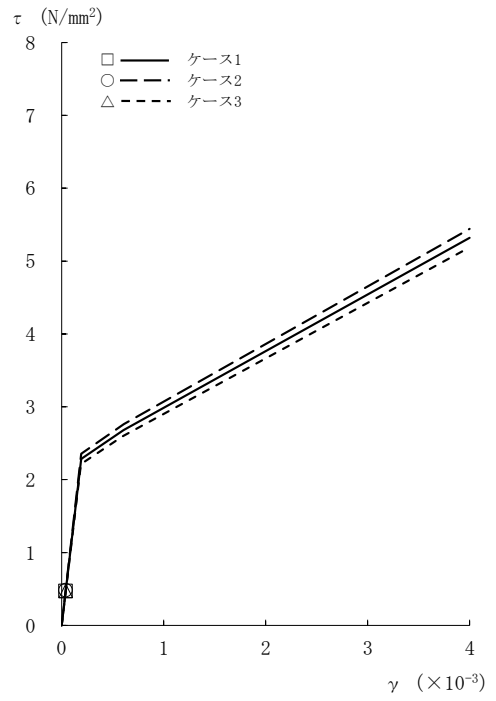


[RCCV部]

図2-37 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, 2F) (4/8)

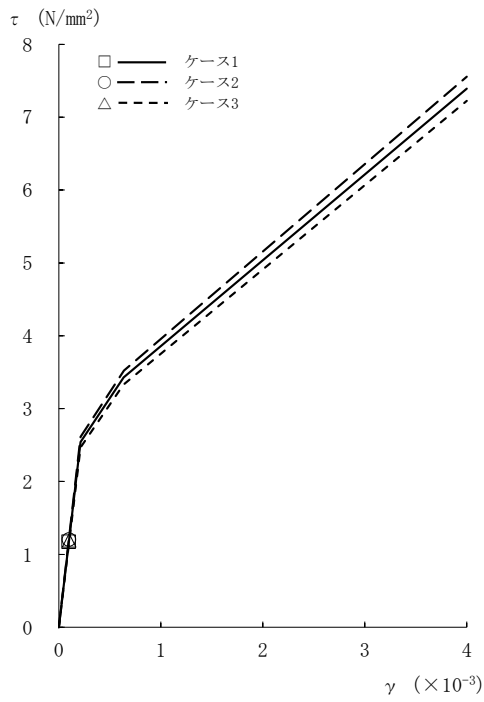


[外壁部]

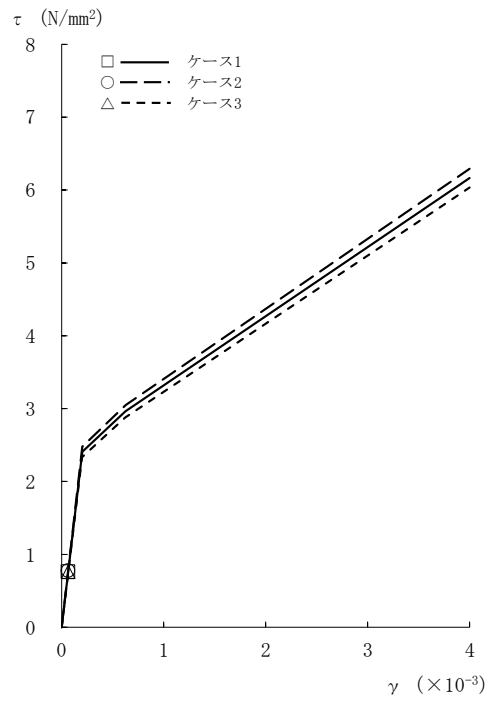


[RCCV部]

図2-37 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, 1F) (5/8)

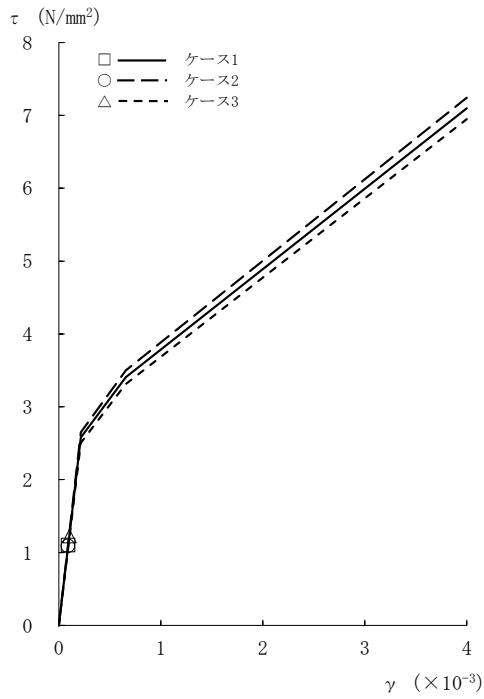


[外壁部]

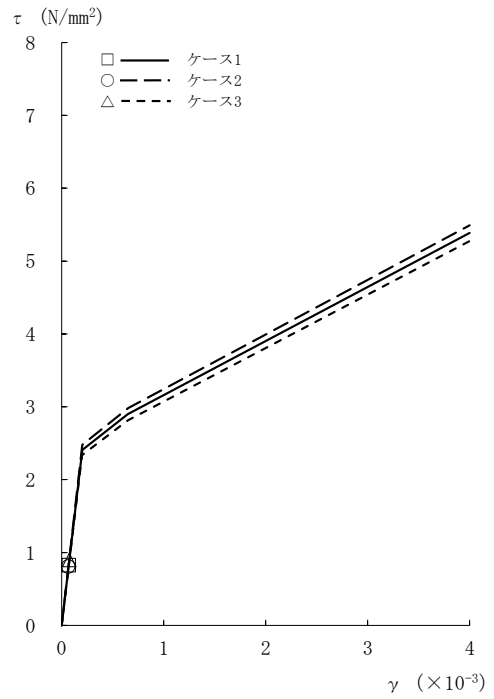


[RCCV部]

図2-37 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, B1F) (6/8)

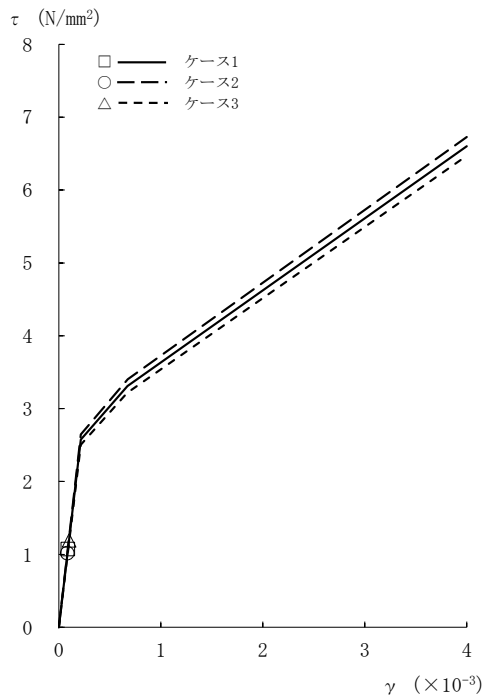


[外壁部]

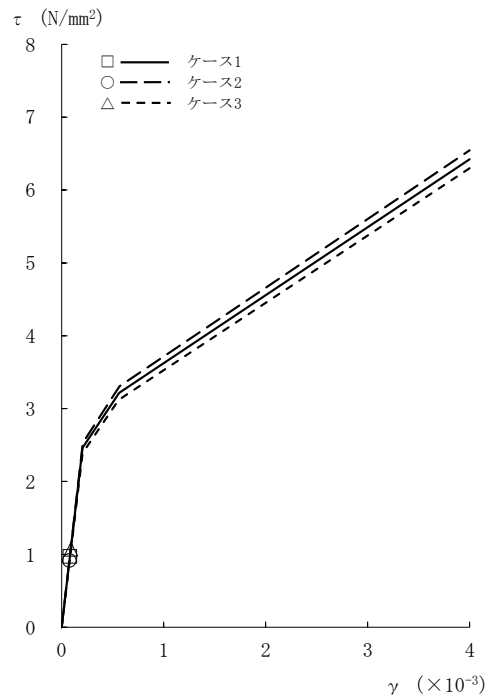


[RCCV部]

図2-37 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, B2F) (7/8)

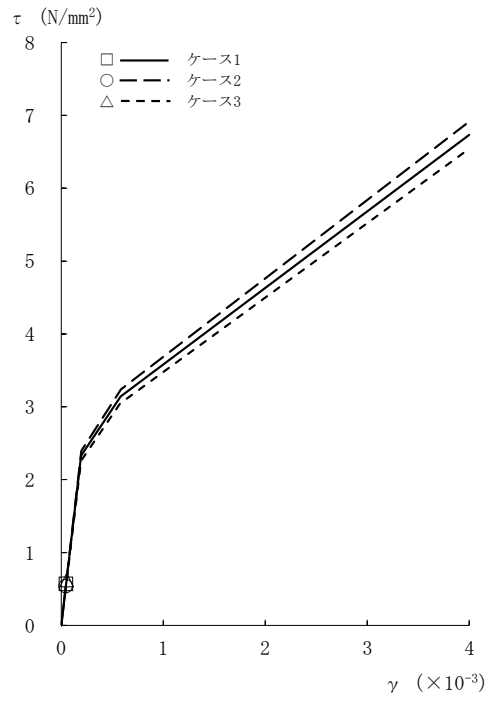


[外壁部]



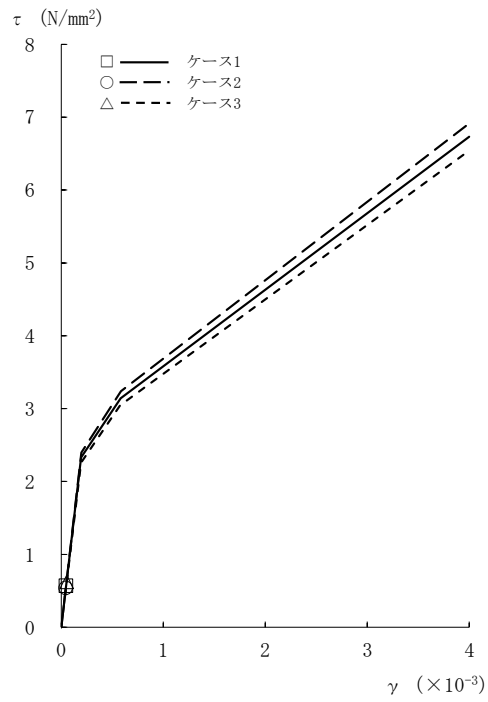
[RCCV部]

図2-37 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, B3F) (8/8)



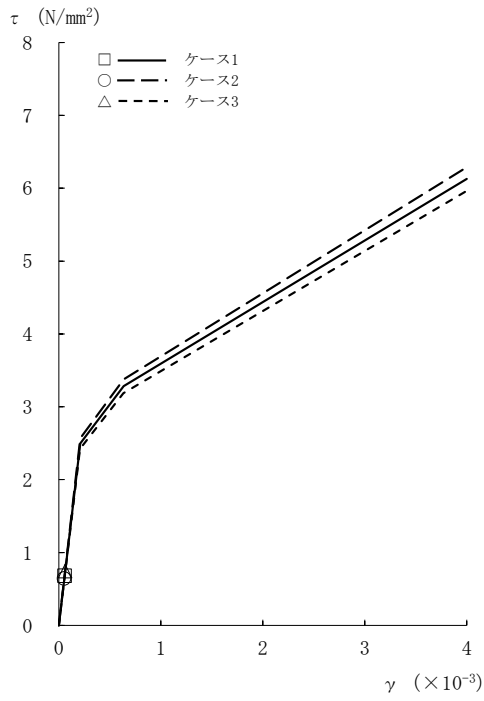
[外壁部]

図2-38 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, CRF) (1/8)

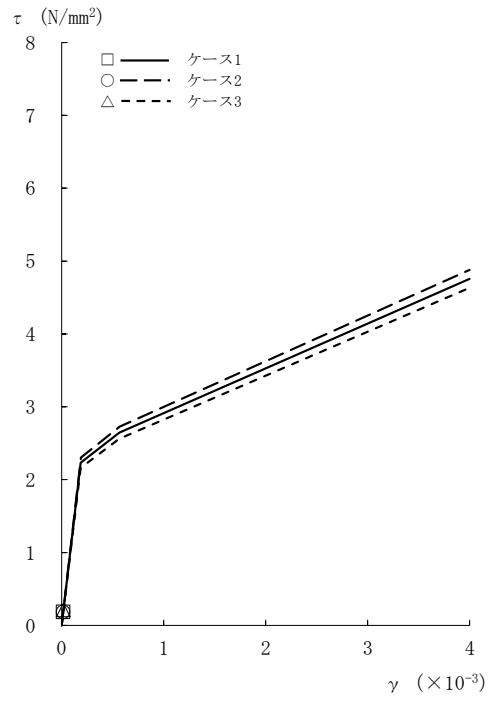


[外壁部]

図2-38 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, 4F) (2/8)

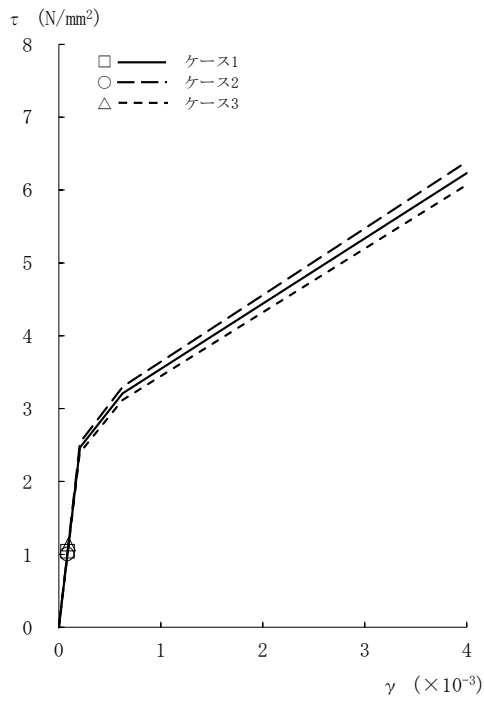


[外壁部]

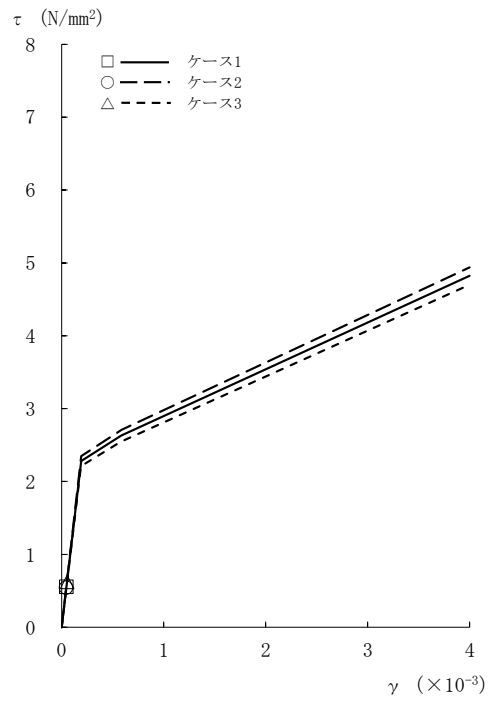


[RCCV部]

図2-38 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, 3F) (3/8)

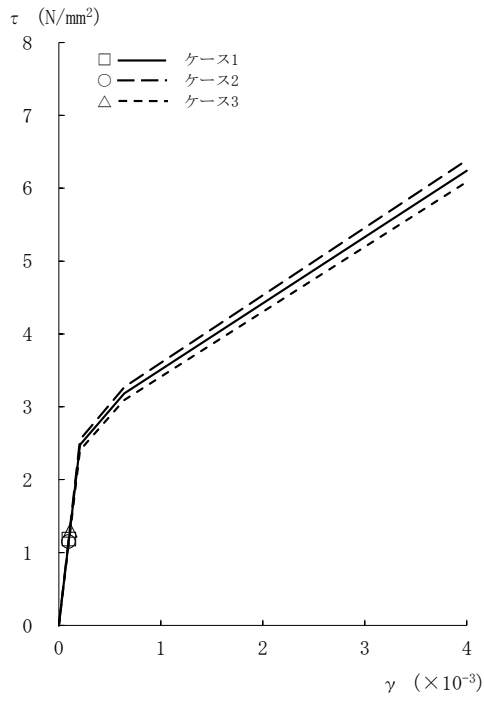


[外壁部]

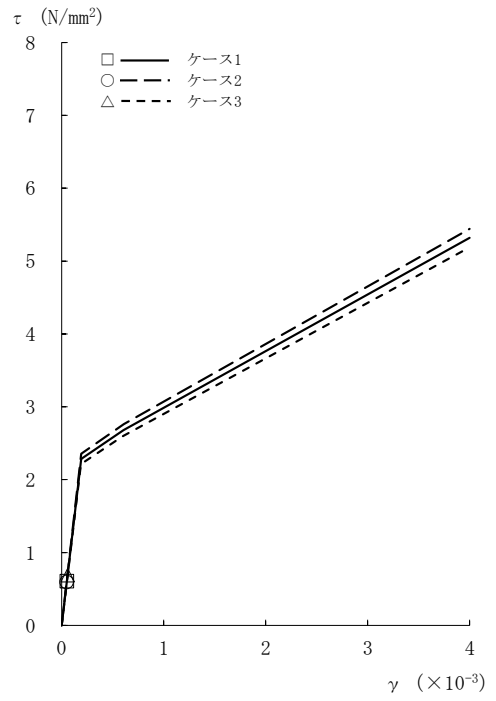


[RCCV部]

図2-38 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, 2F) (4/8)

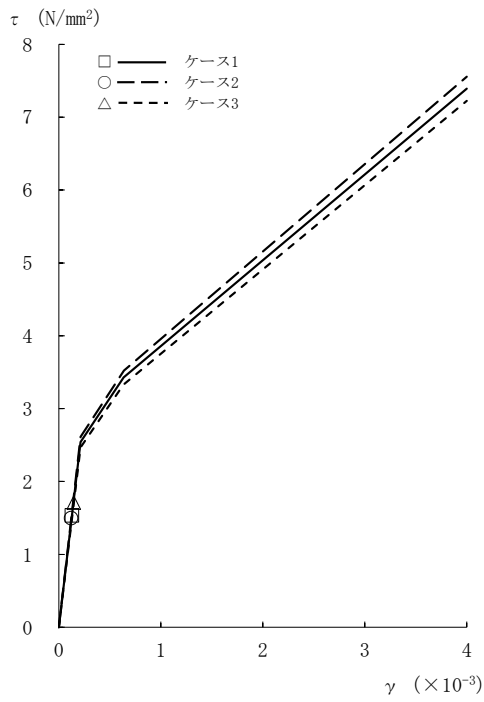


[外壁部]

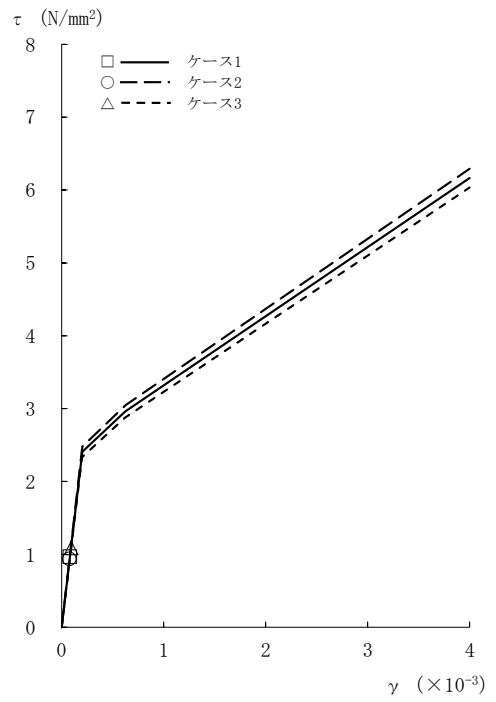


[RCCV部]

図2-38 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, 1F) (5/8)

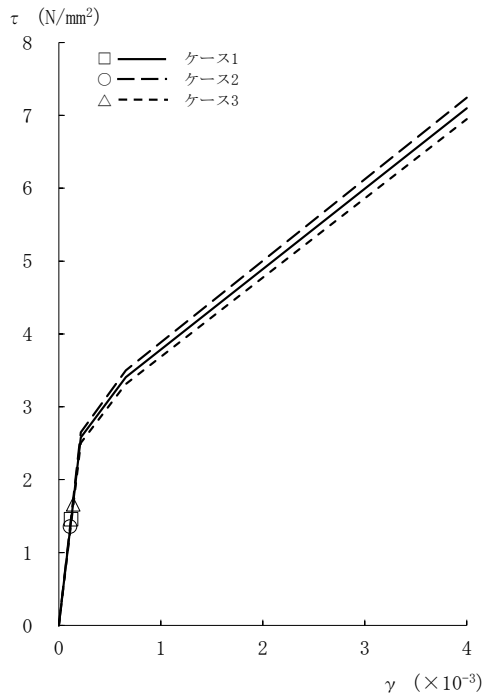


[外壁部]

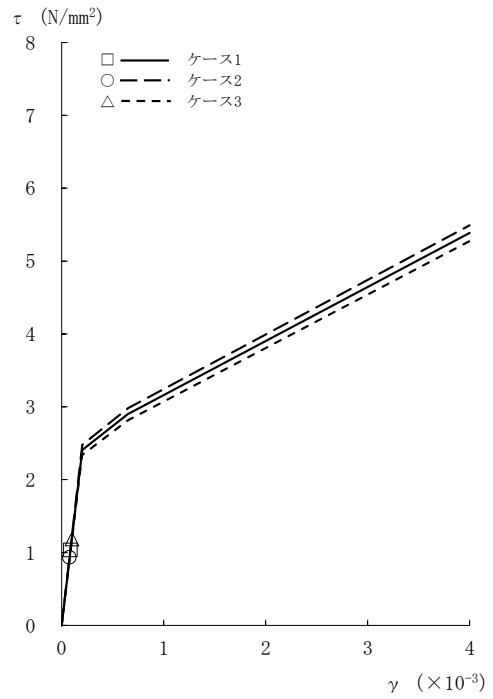


[RCCV部]

図2-38 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, B1F) (6/8)

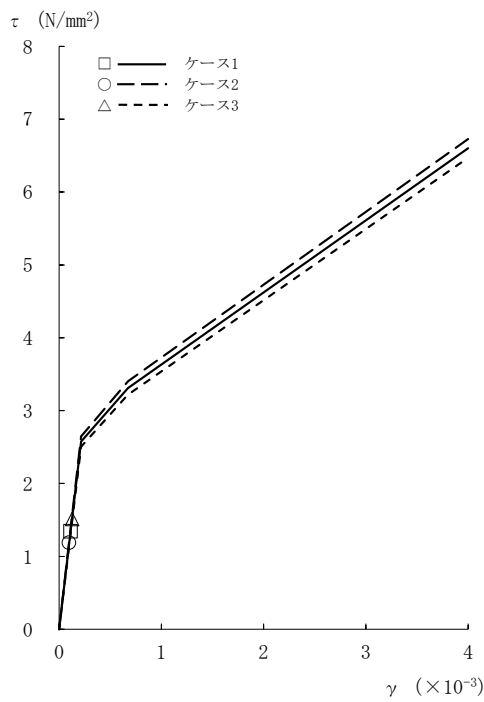


[外壁部]

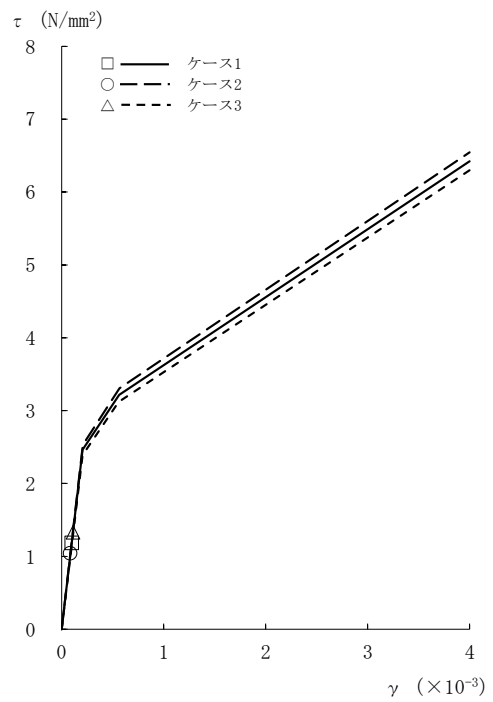


[RCCV部]

図2-38 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, B2F) (7/8)



[外壁部]



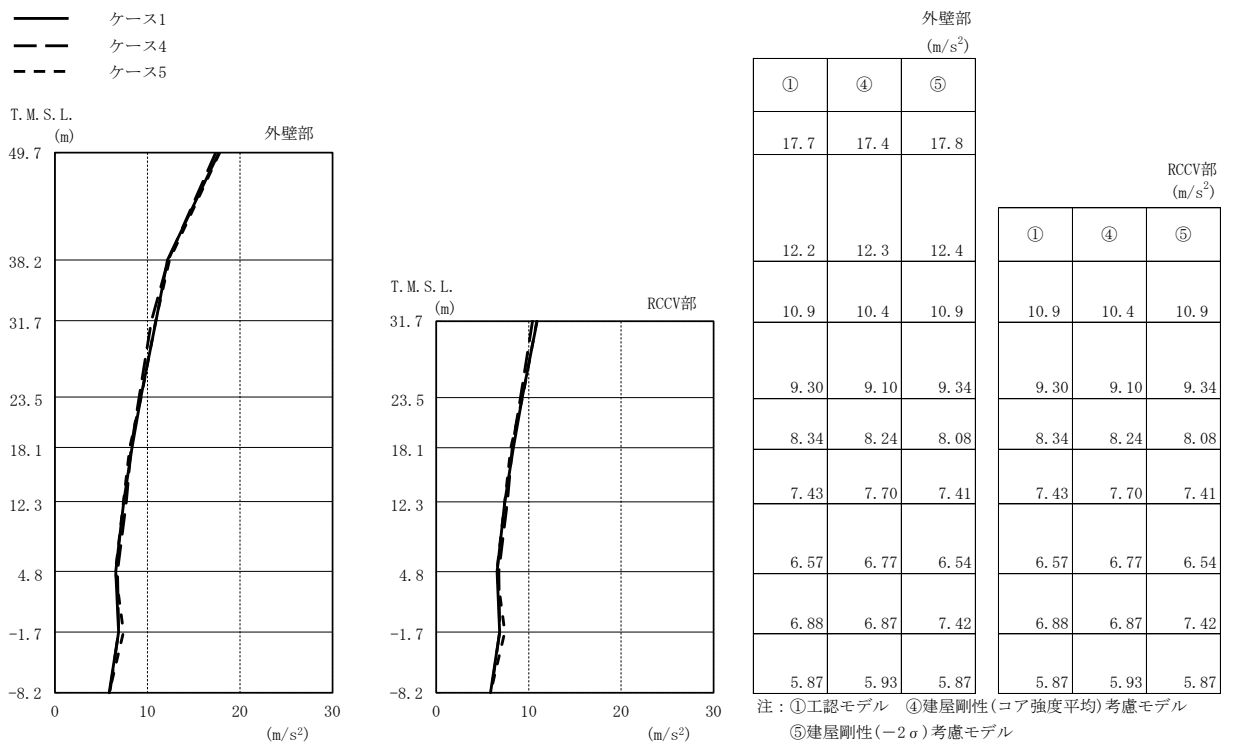
[RCCV部]

図2-38 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, B3F) (8/8)

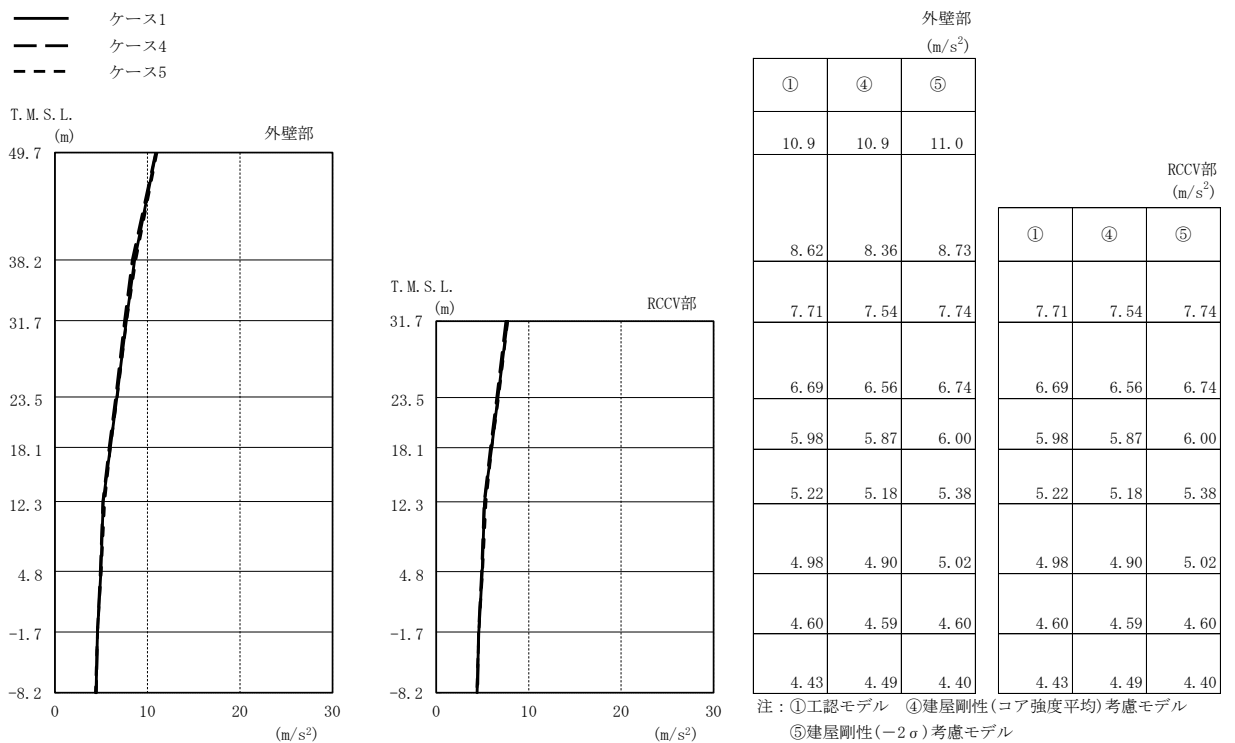
2.2 建屋剛性の不確かさ

建屋剛性の不確かさを考慮した基準地震動 S_s に対する地震応答解析結果を図2-39～図2-57に、弾性設計用地震動 S_d に対する地震応答解析結果を図2-58図～図2-76に示す。

以後、基本ケースをケース1、コンクリート実強度をコア強度平均 (55.7N/mm^2) とする場合をケース4、コンクリート実強度を実強度 -2σ (37.2N/mm^2) をケース5として示す。

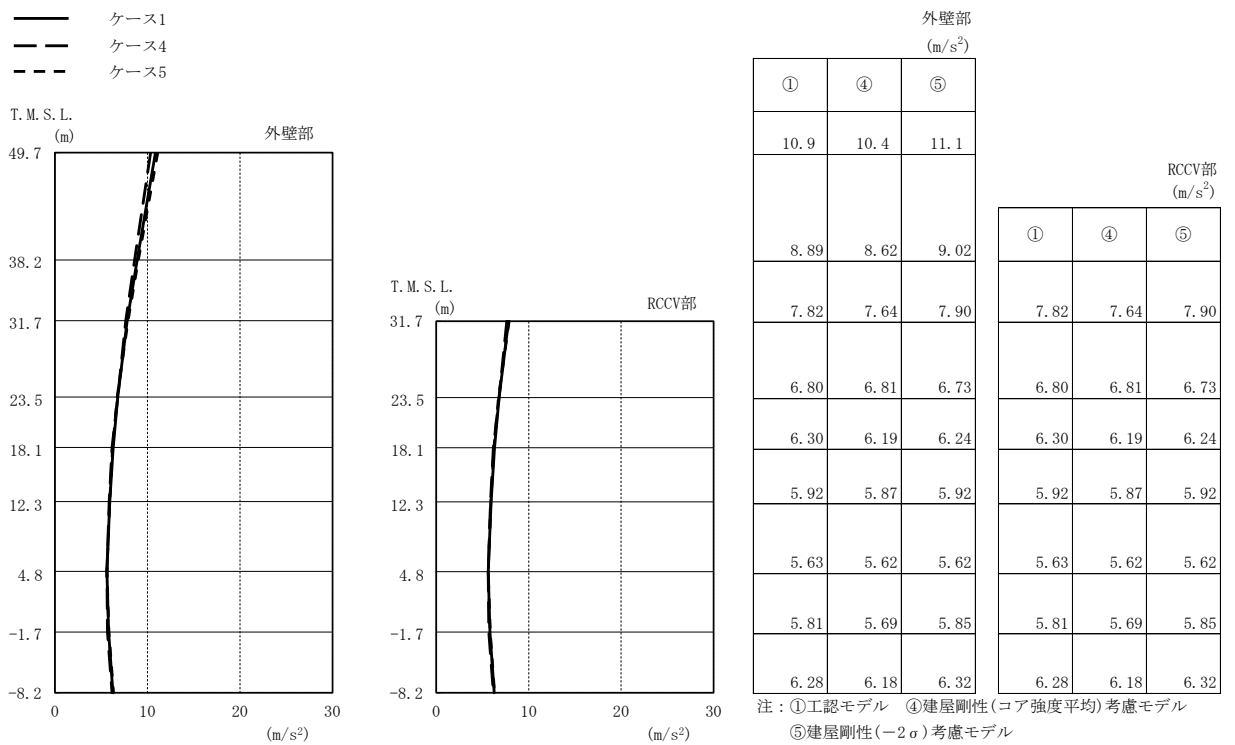


(a) Ss-1

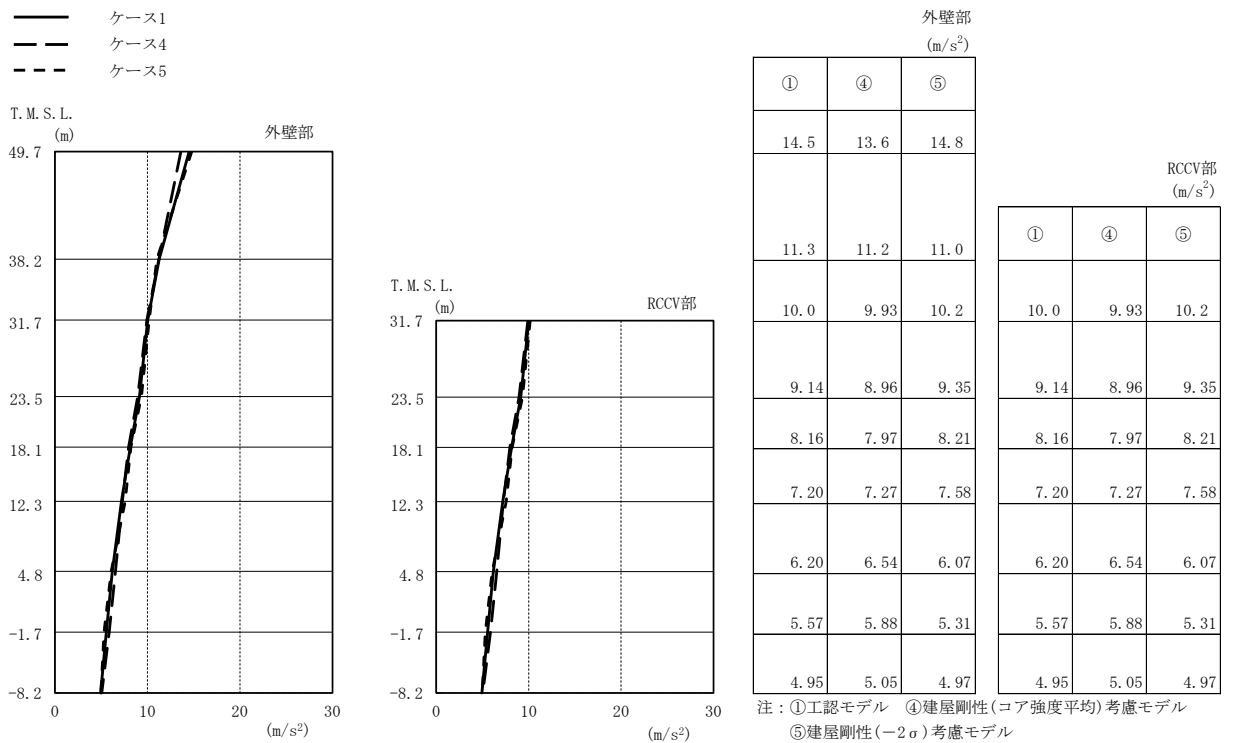


(b) Ss-2

図2-39 最大応答加速度 (基準地震動 S_s, NS方向) (1/2)

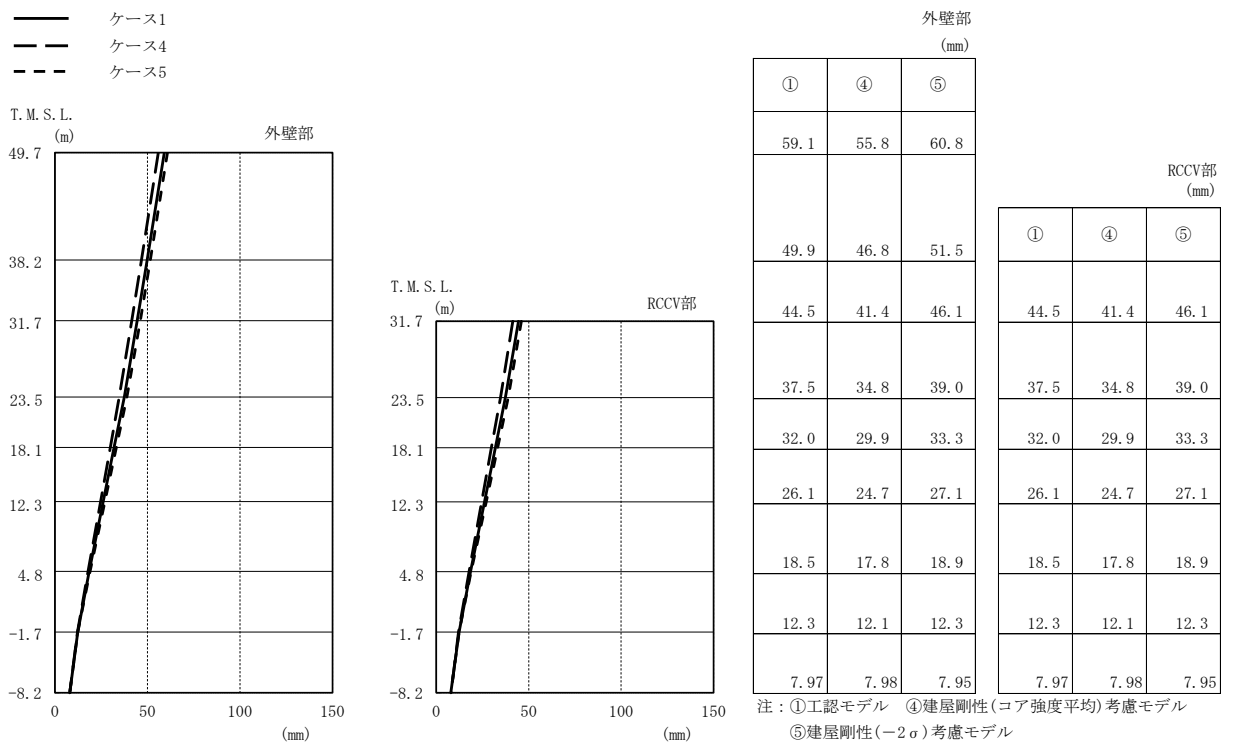


(c) Ss-3

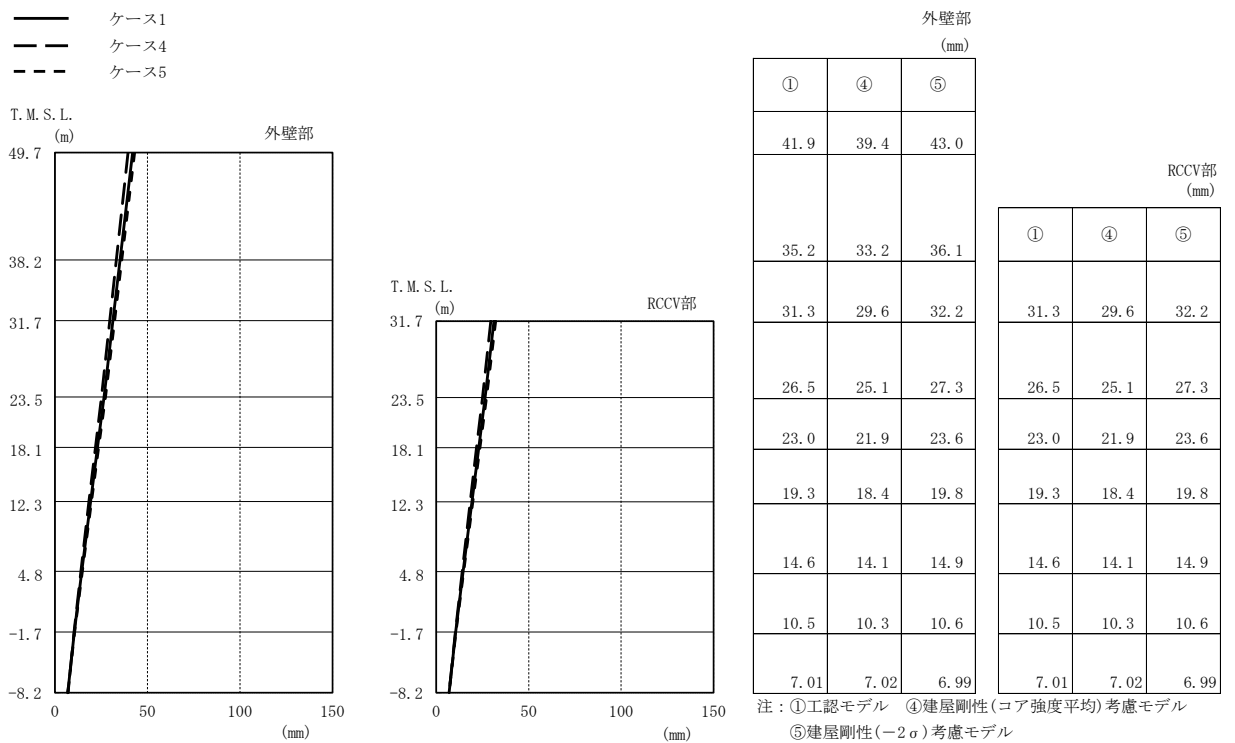


(d) Ss-8

図2-39 最大応答加速度（基準地震動 S s，NS方向）（2/2）

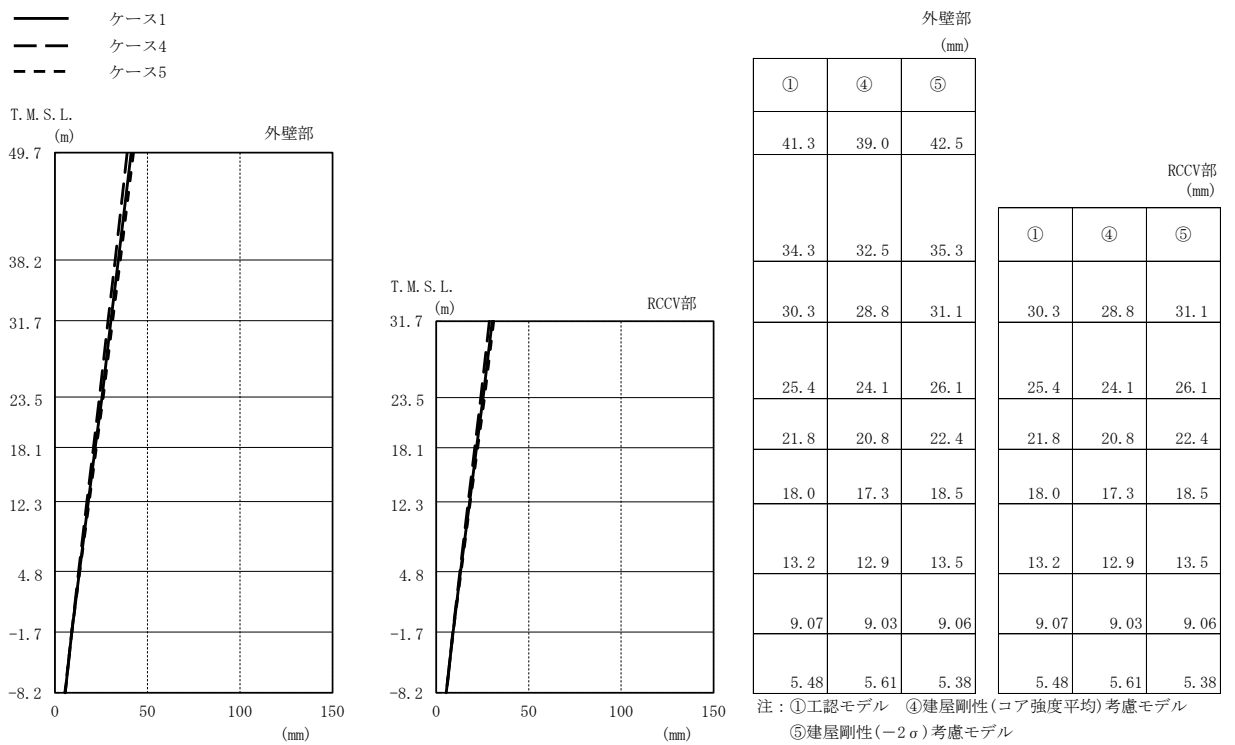


(a) Ss-1

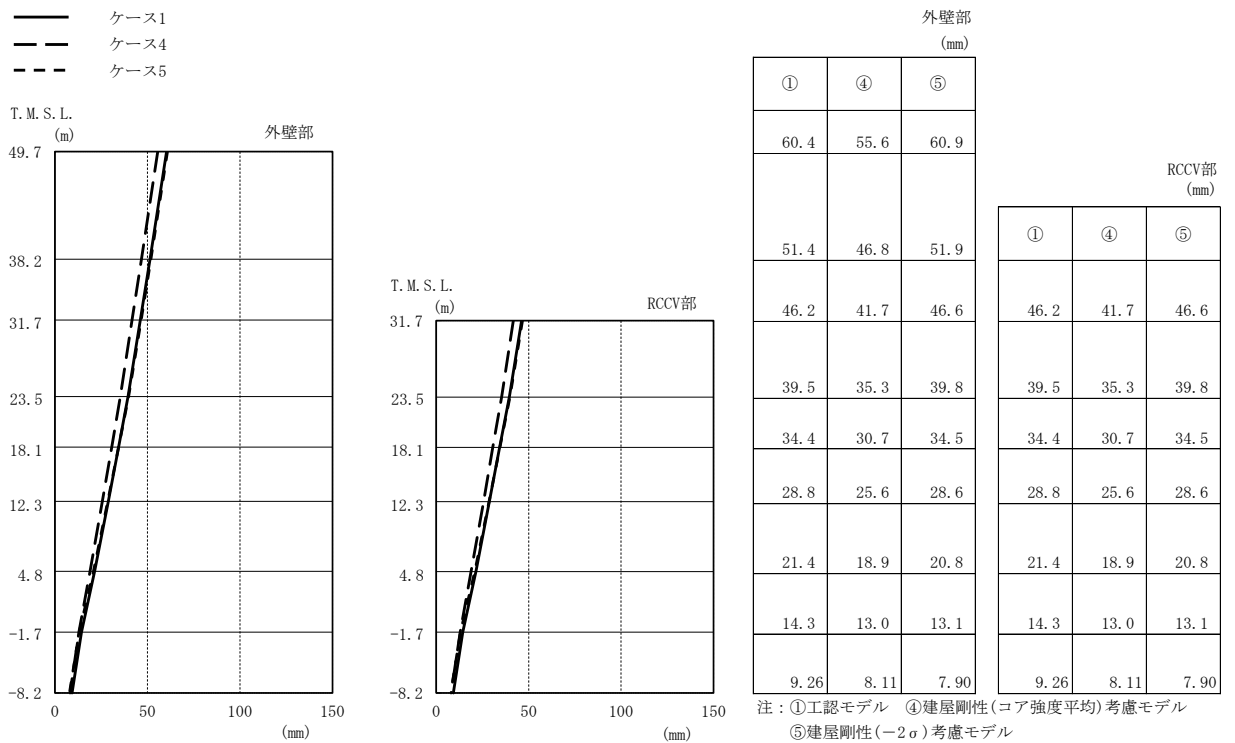


(b) Ss-2

図2-40 最大応答変位 (基準地震動 S_s, NS方向) (1/2)

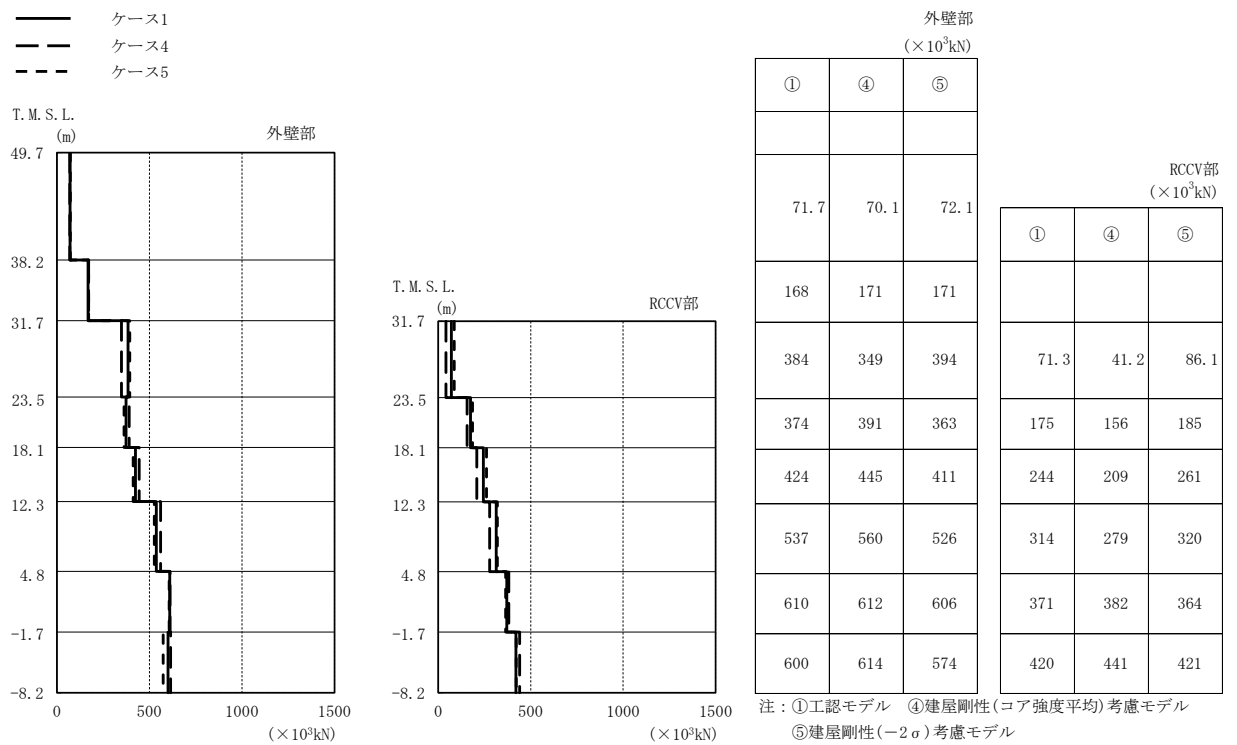


(c) Ss-3

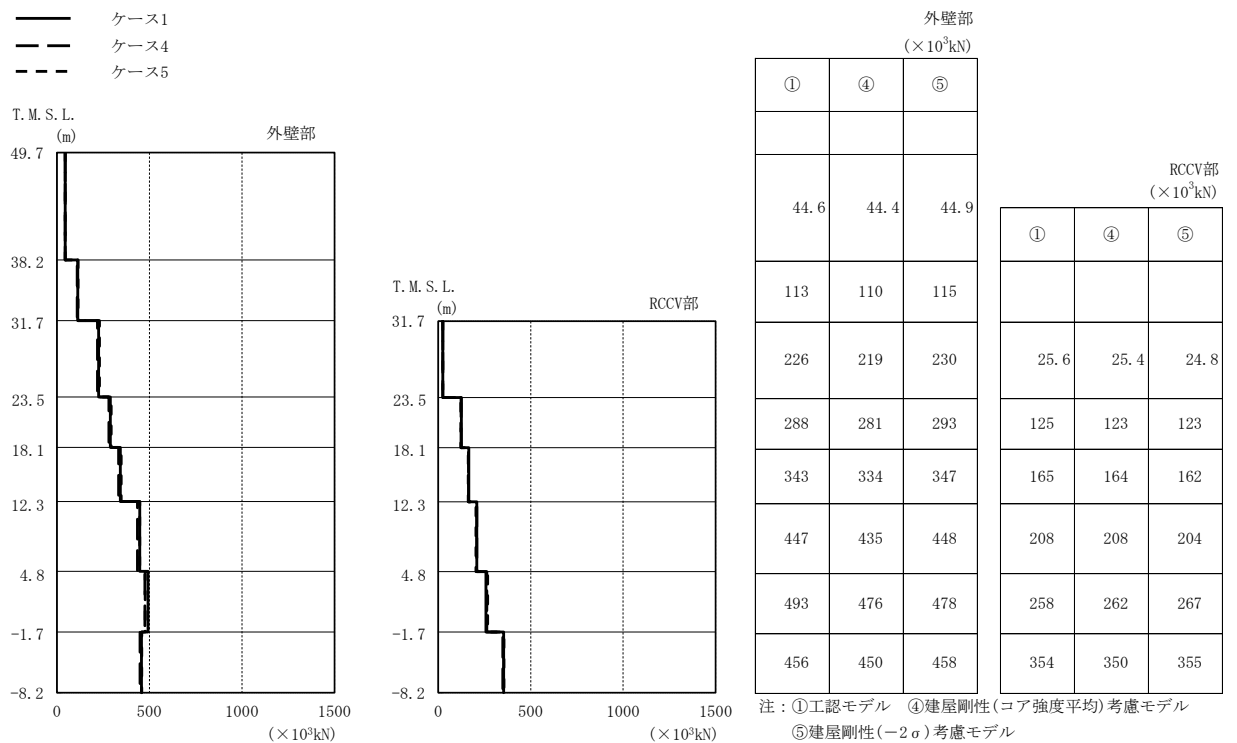


(d) Ss-8

図2-40 最大応答変位 (基準地震動 S_s, NS方向) (2/2)

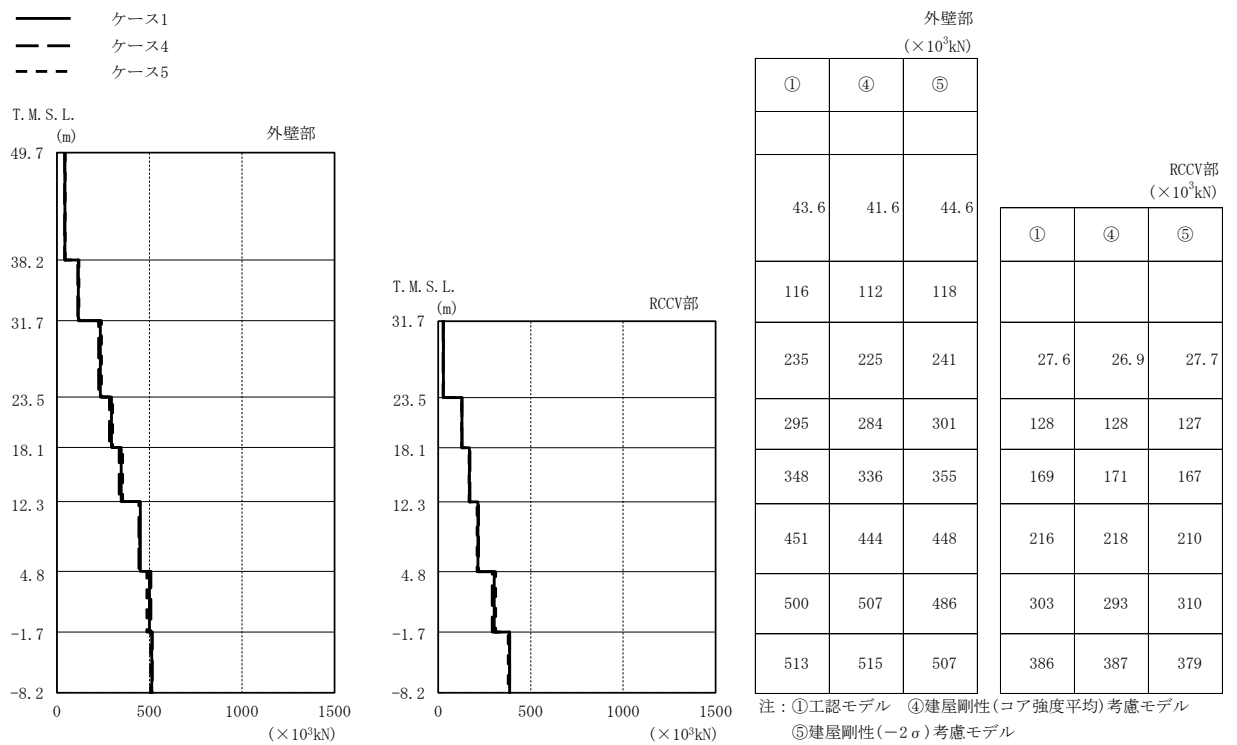


(a) Ss-1

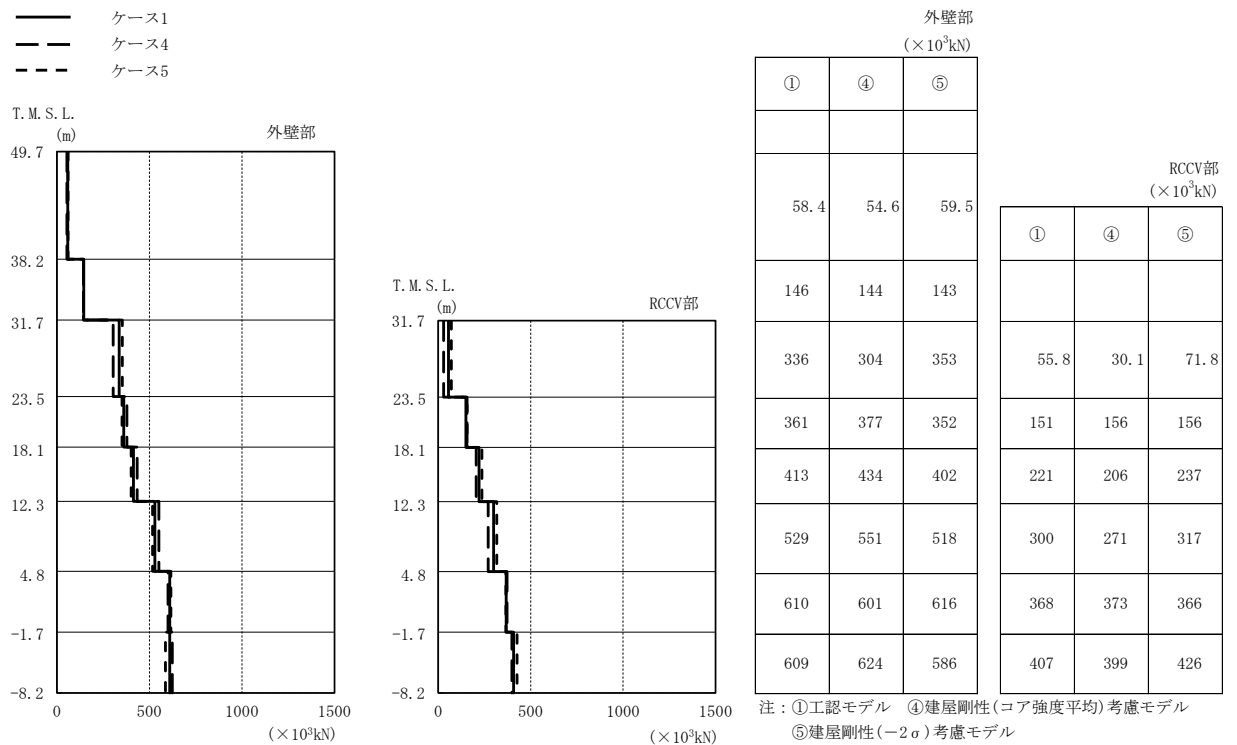


(b) Ss-2

図2-41 最大応答せん断力 (基準地震動 S_s, NS方向) (1/2)

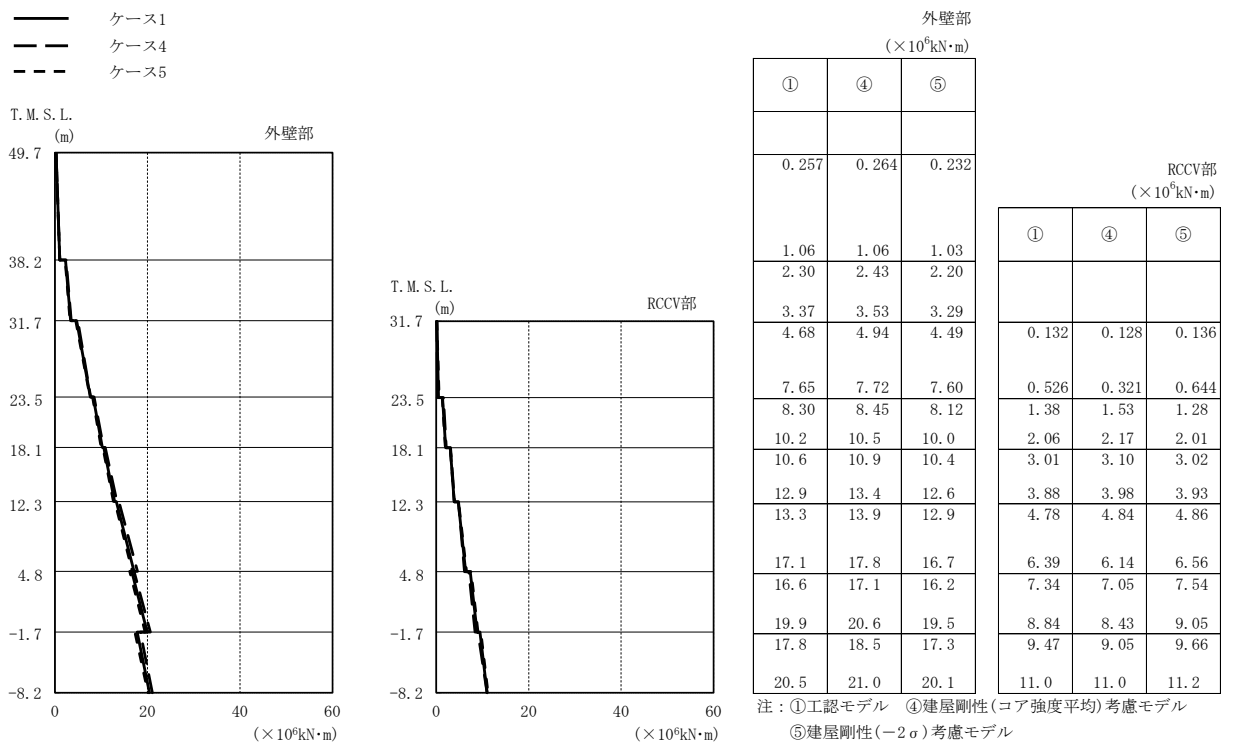


(c) Ss-3

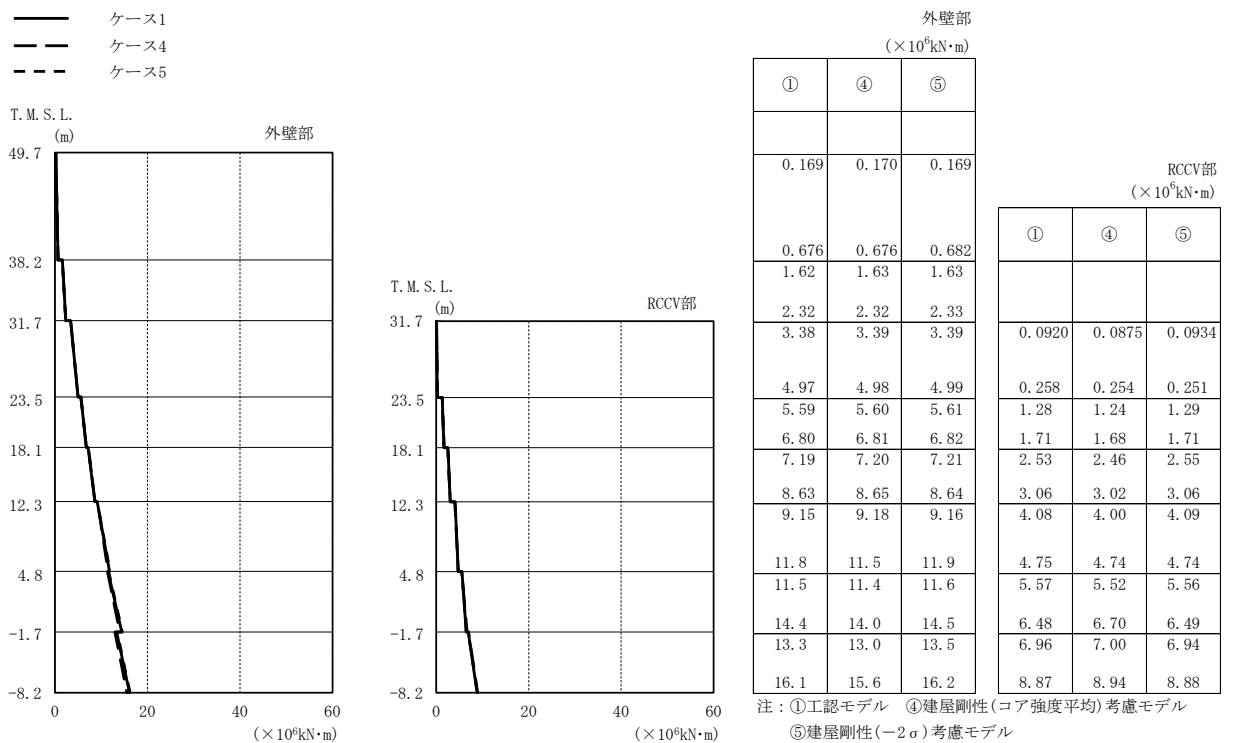


(d) Ss-8

図2-41 最大応答せん断力 (基準地震動 S s , NS方向) (2/2)

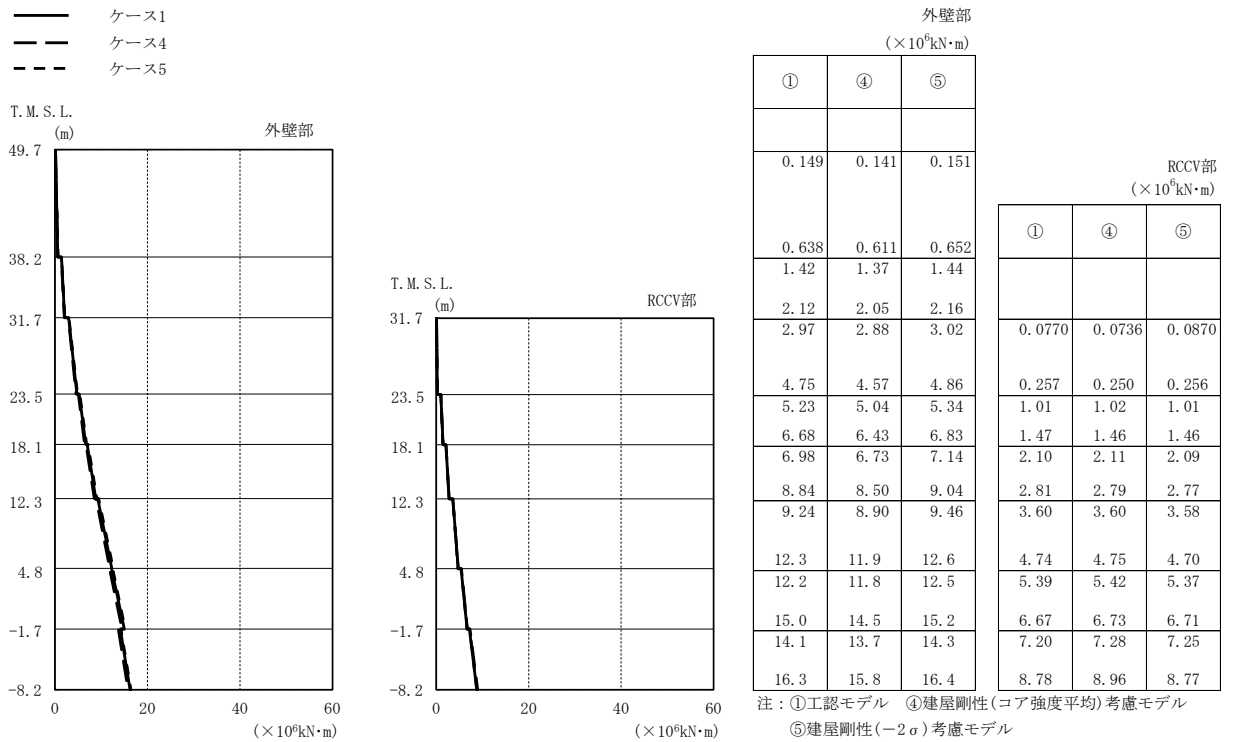


(a) Ss-1

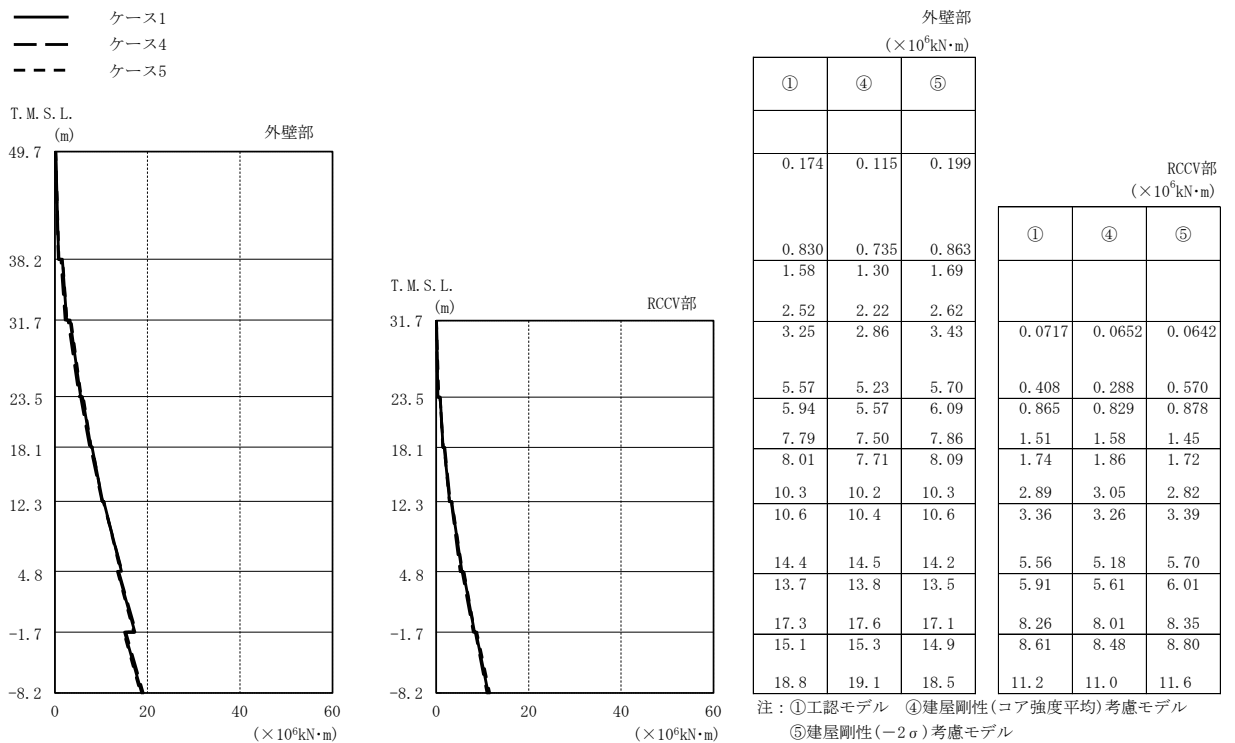


(b) Ss-2

図2-42 最大応答曲げモーメント(基準地震動 S_s, NS方向)(1/2)

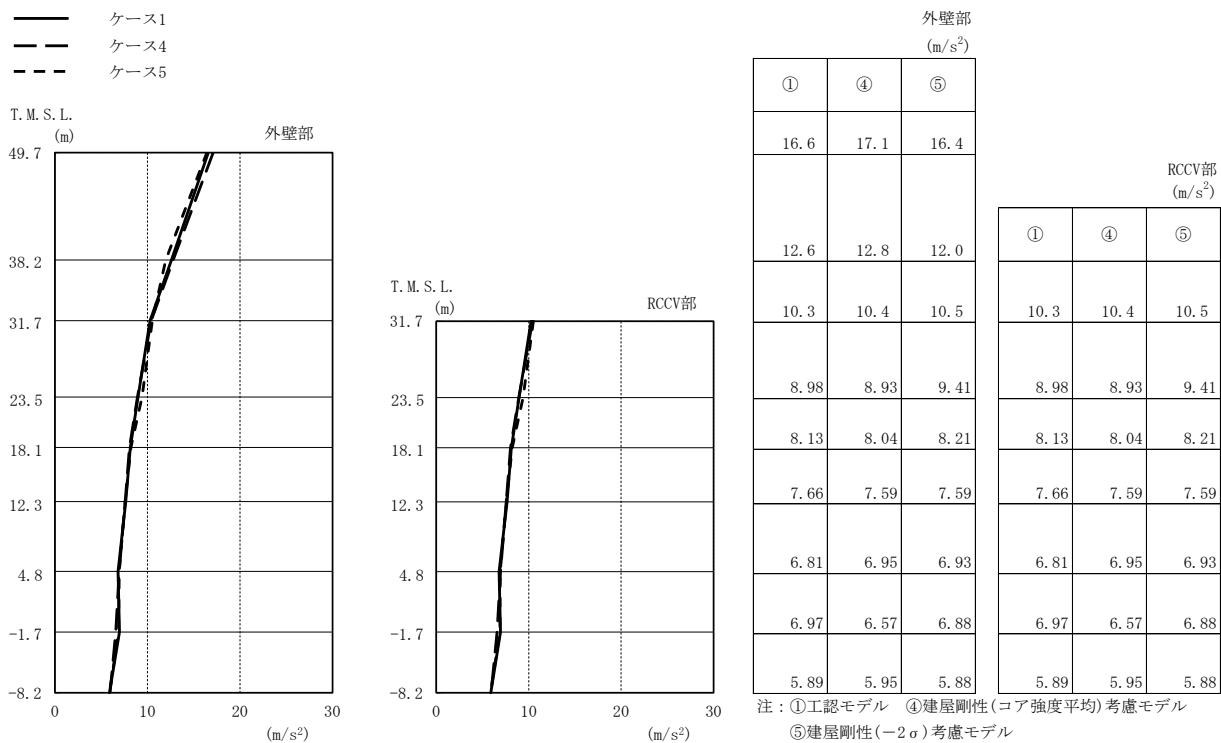


(c) Ss-3

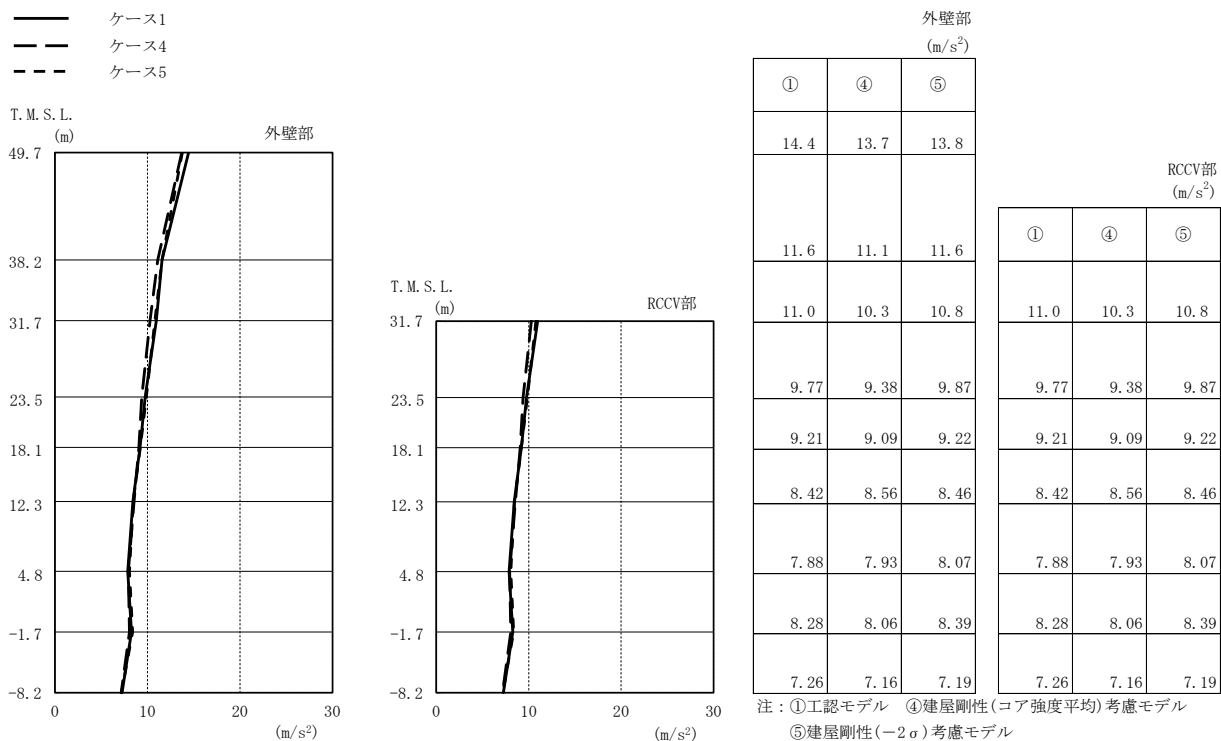


(d) Ss-8

図2-42 最大応答曲げモーメント(基準地震動 S s, NS方向)(2/2)

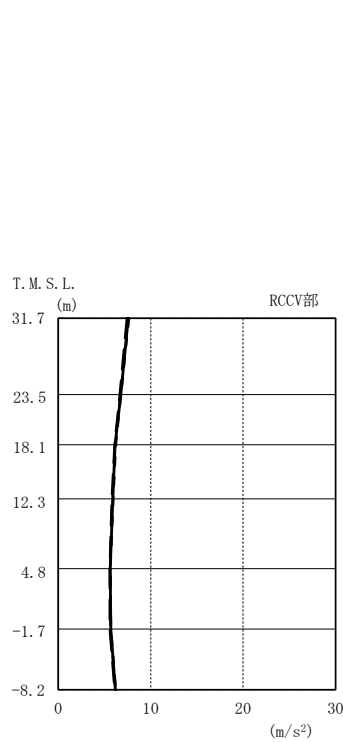
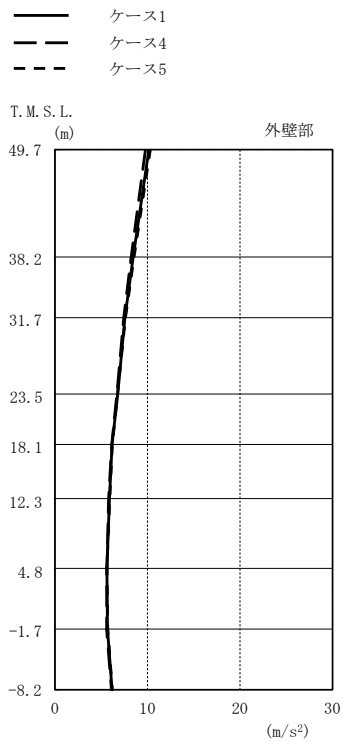


(a) Ss-1



(b) Ss-2

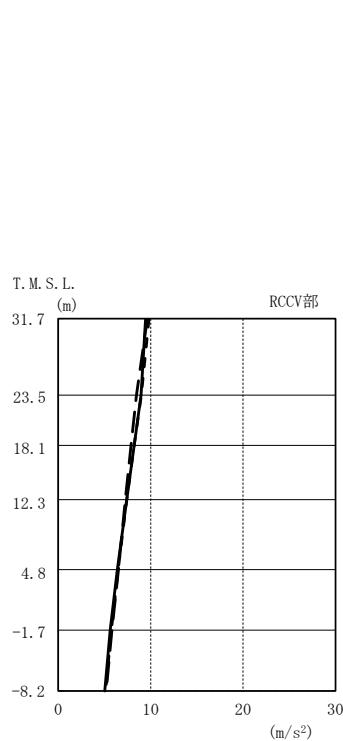
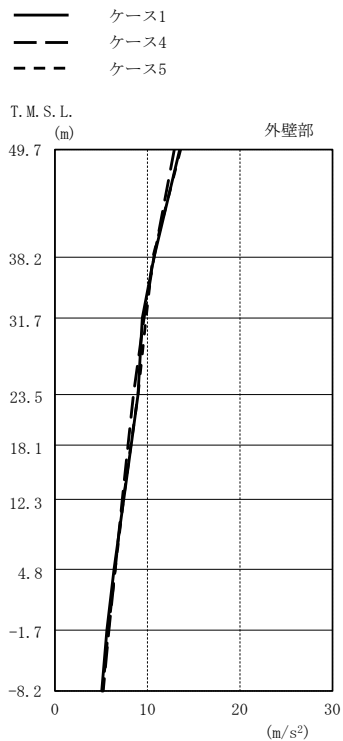
図2-43 最大応答加速度 (基準地震動 S s , EW方向) (1/2)



外壁部 (m/s ²)			RCCV部 (m/s ²)		
①	④	⑤	①	④	⑤
10.2	9.80	10.3			
8.44	8.23	8.54			
7.56	7.44	7.63	7.56	7.44	7.63
6.78	6.69	6.77	6.78	6.69	6.77
6.17	6.13	6.21	6.17	6.13	6.21
5.90	5.80	5.93	5.90	5.80	5.93
5.63	5.61	5.62	5.63	5.61	5.62
5.68	5.60	5.70	5.68	5.60	5.70
6.18	6.11	6.21	6.18	6.11	6.21

注：①工認モデル ④建屋剛性(コア強度平均)考慮モデル
⑤建屋剛性(-2σ)考慮モデル

(c) Ss-3

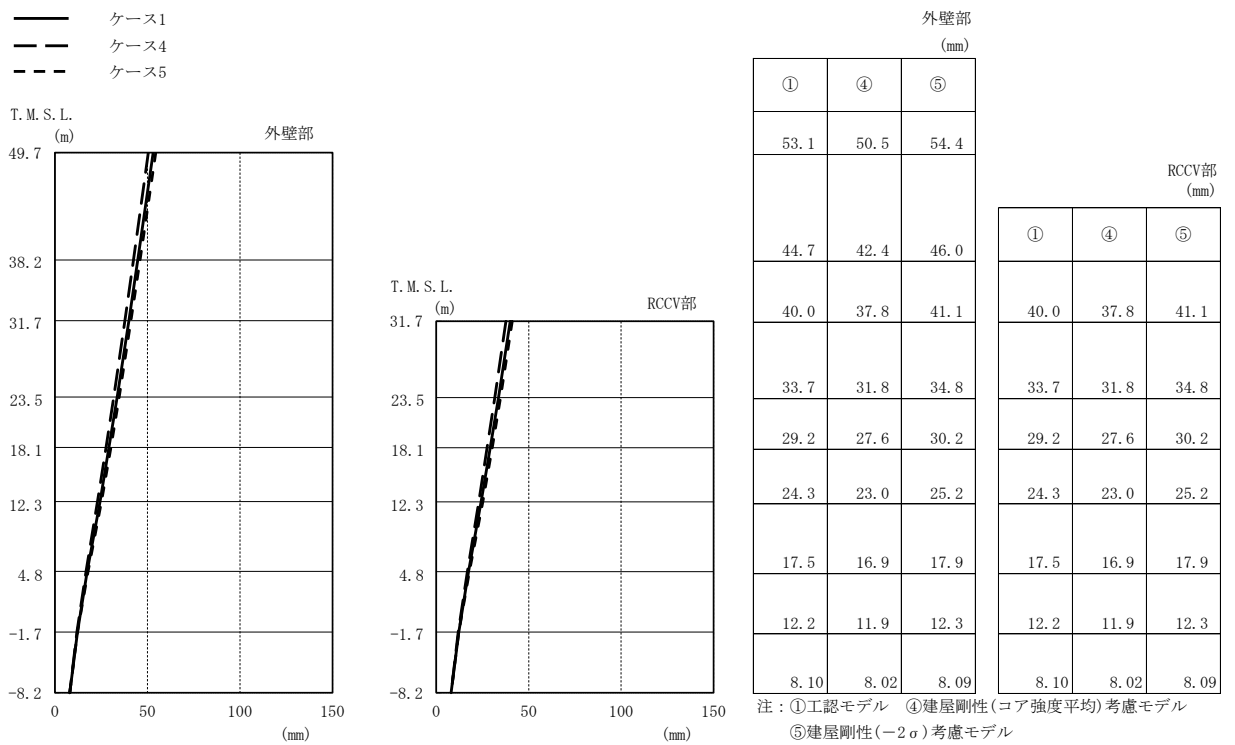


外壁部 (m/s ²)			RCCV部 (m/s ²)		
①	④	⑤	①	④	⑤
13.5	12.9	13.6			
10.7	10.7	10.6			
9.46	9.64	9.84	9.46	9.64	9.84
8.98	8.48	8.99	8.98	8.48	8.99
8.24	7.90	8.21	8.24	7.90	8.21
7.43	7.28	7.41	7.43	7.28	7.41
6.39	6.53	6.50	6.39	6.53	6.50
5.63	5.82	5.76	5.63	5.82	5.76
5.05	5.21	5.15	5.05	5.21	5.15

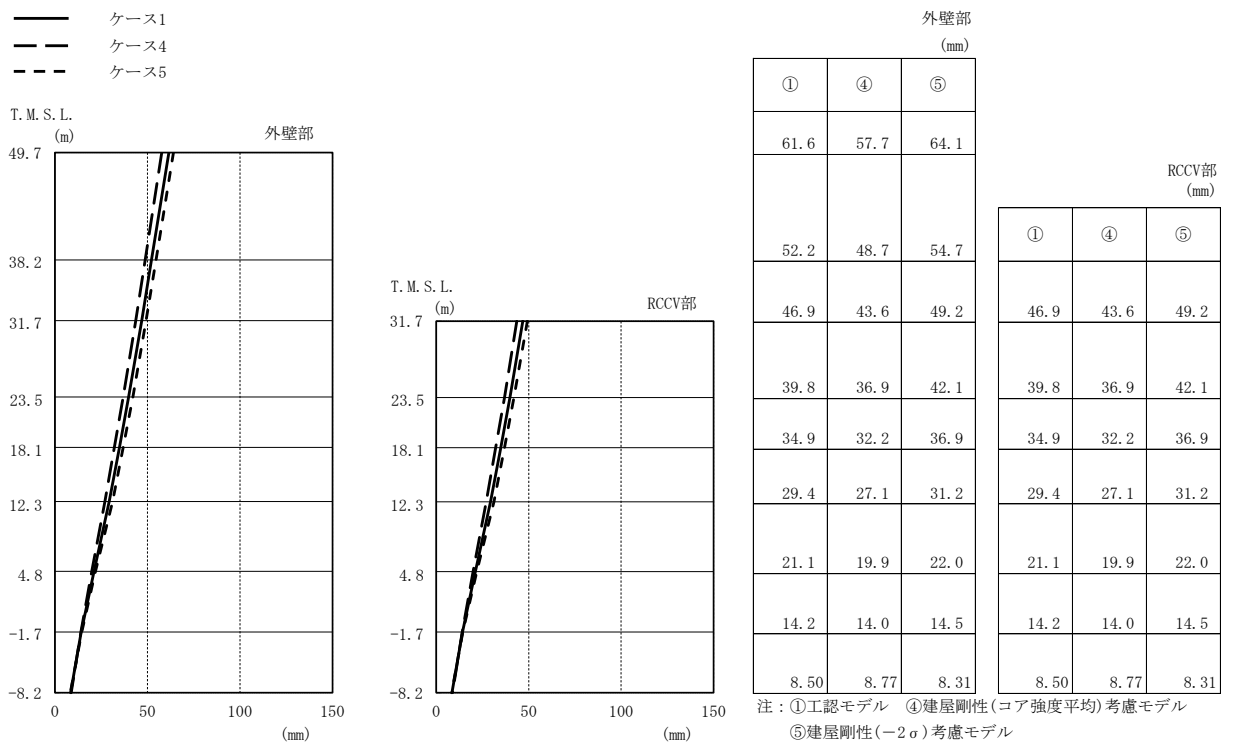
注：①工認モデル ④建屋剛性(コア強度平均)考慮モデル
⑤建屋剛性(-2σ)考慮モデル

(d) Ss-8

図2-43 最大応答加速度 (基準地震動 S s , EW方向) (2/2)

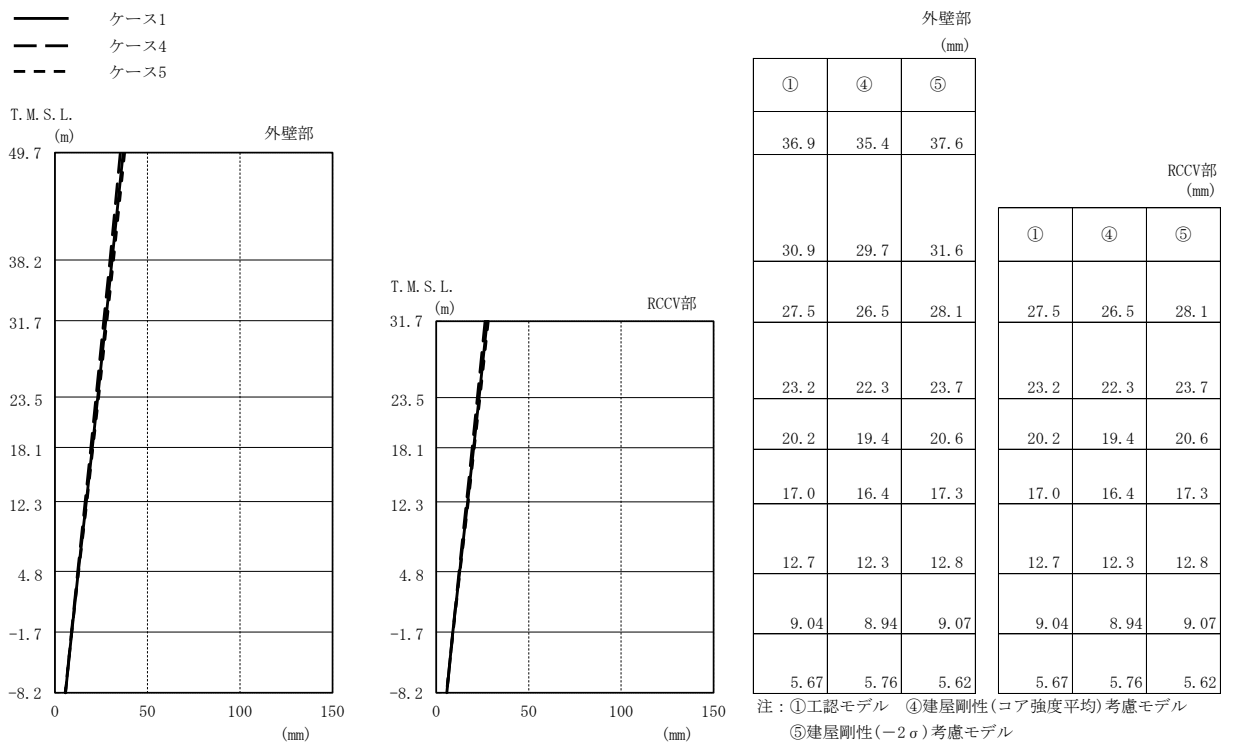


(a) Ss-1

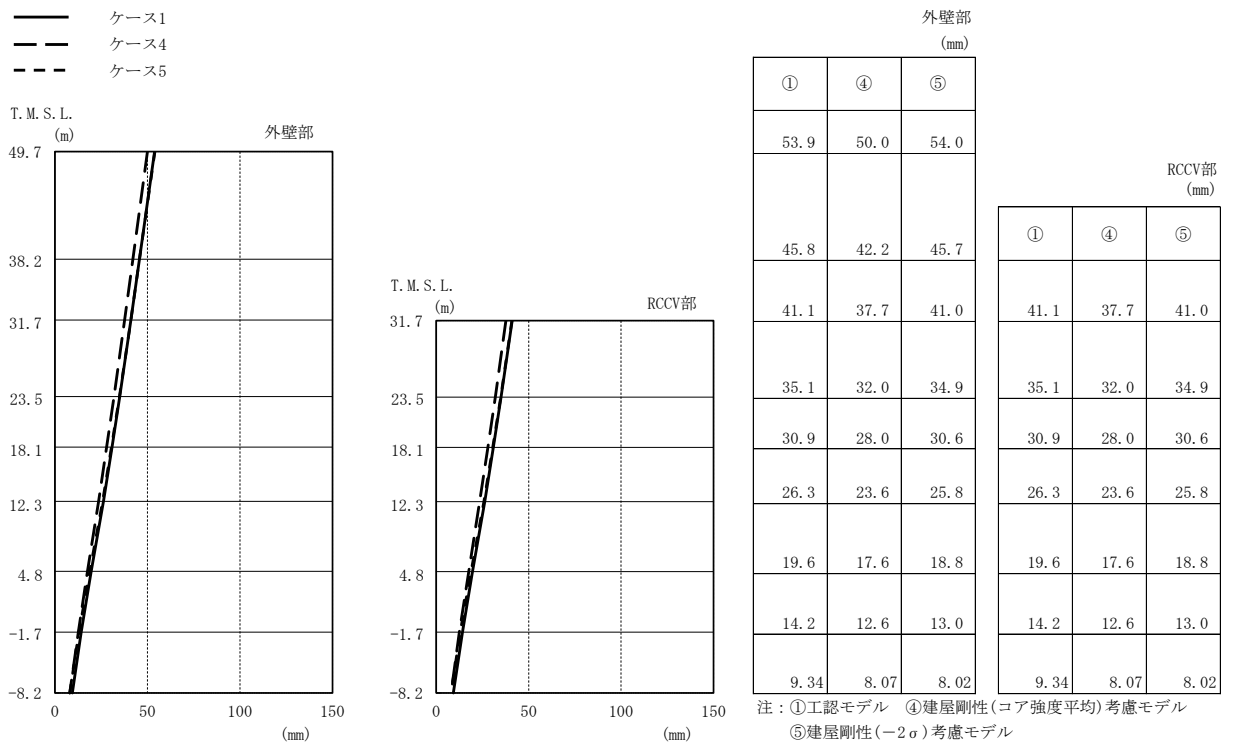


(b) Ss-2

図2-44 最大応答変位 (基準地震動 S_s, EW方向) (1/2)

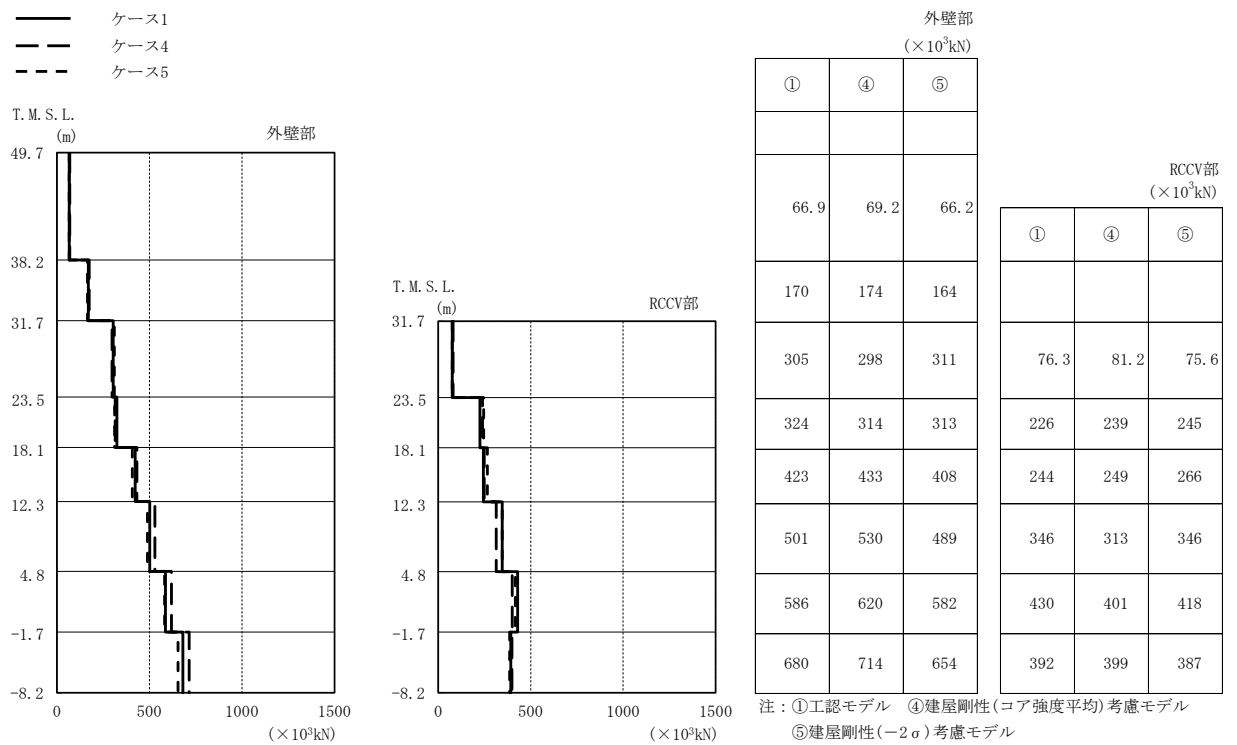


(c) Ss-3

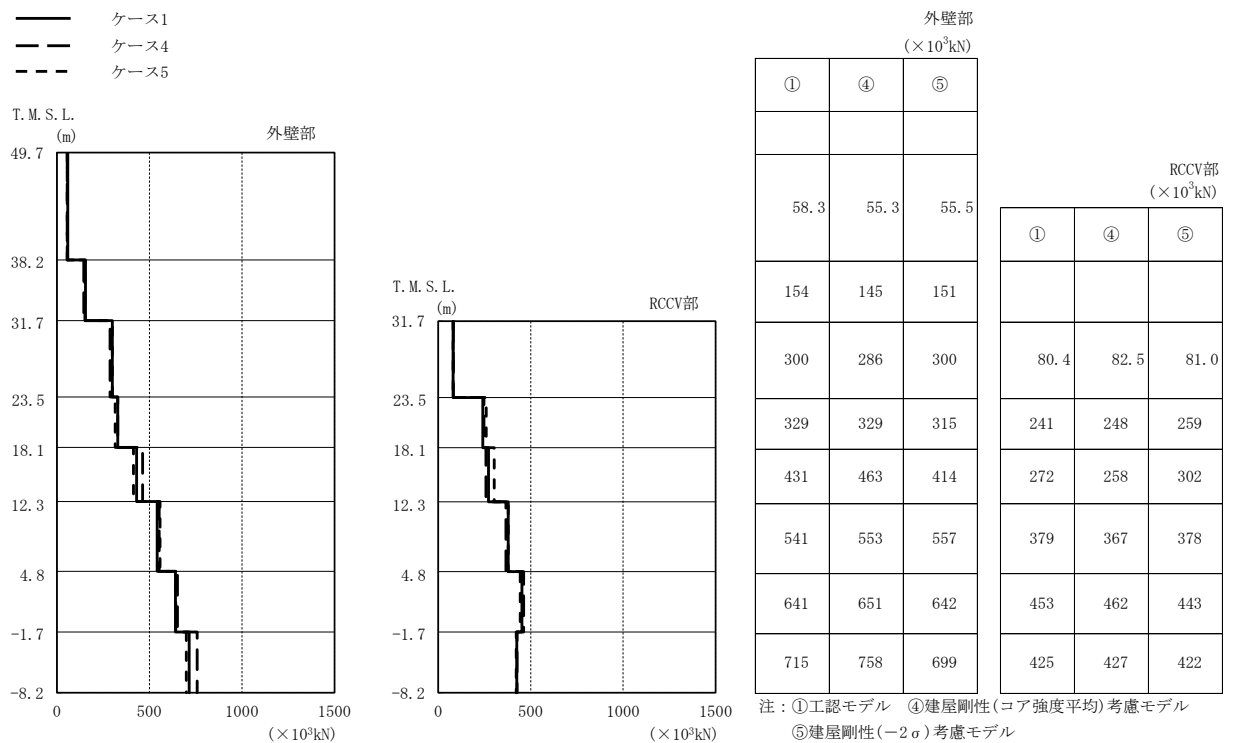


(d) Ss-8

図2-44 最大応答変位 (基準地震動 S_s, EW方向) (2/2)

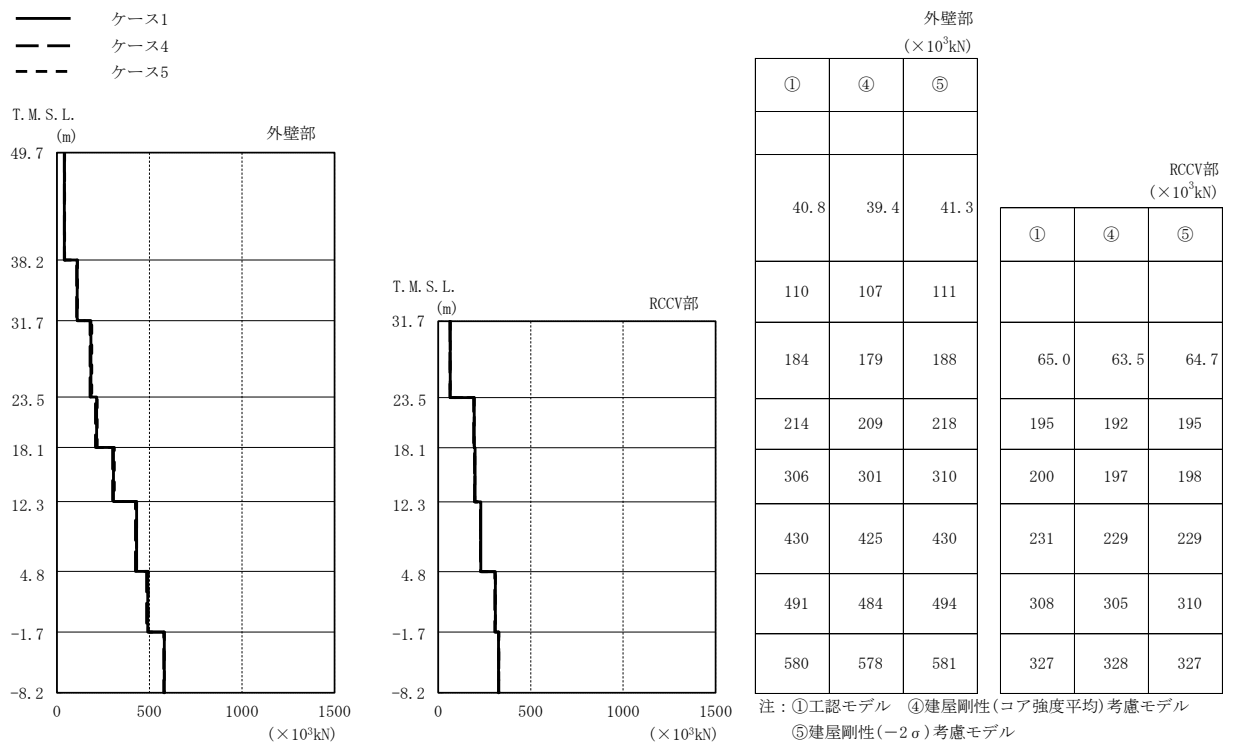


(a) Ss-1

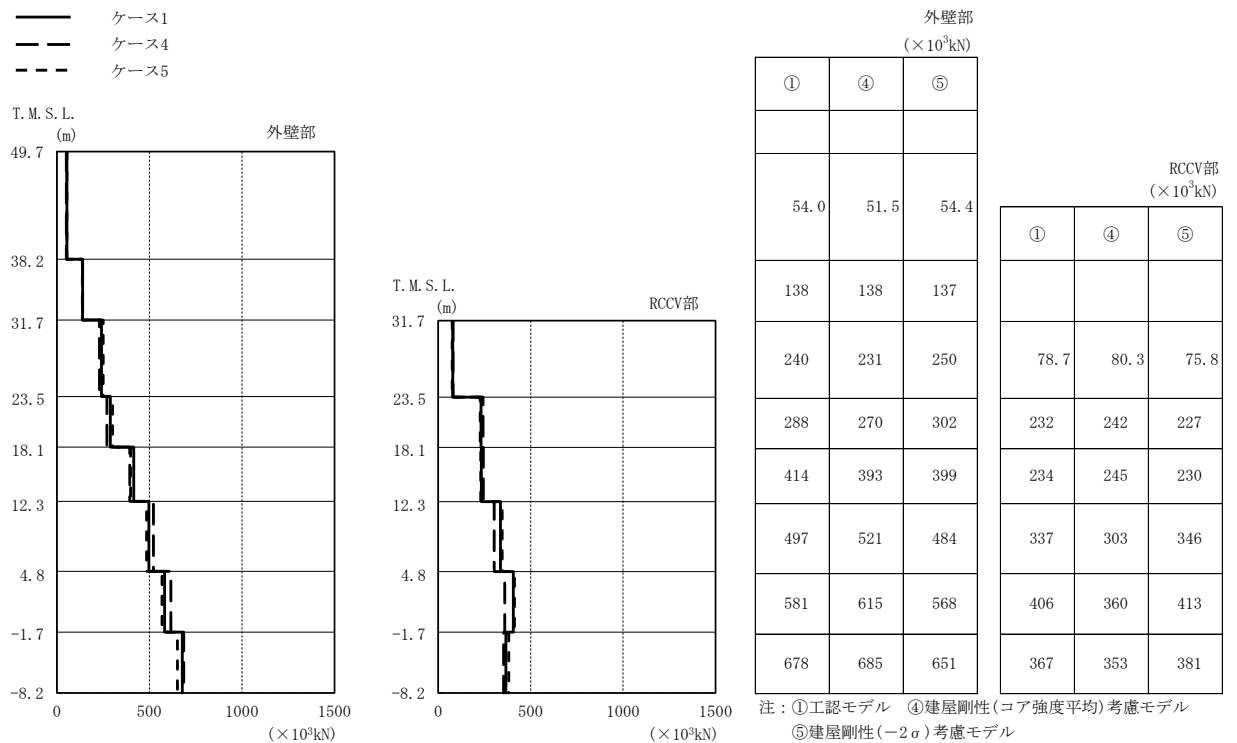


(b) Ss-2

図2-45 最大応答せん断力(基準地震動 S_s, EW方向)(1/2)

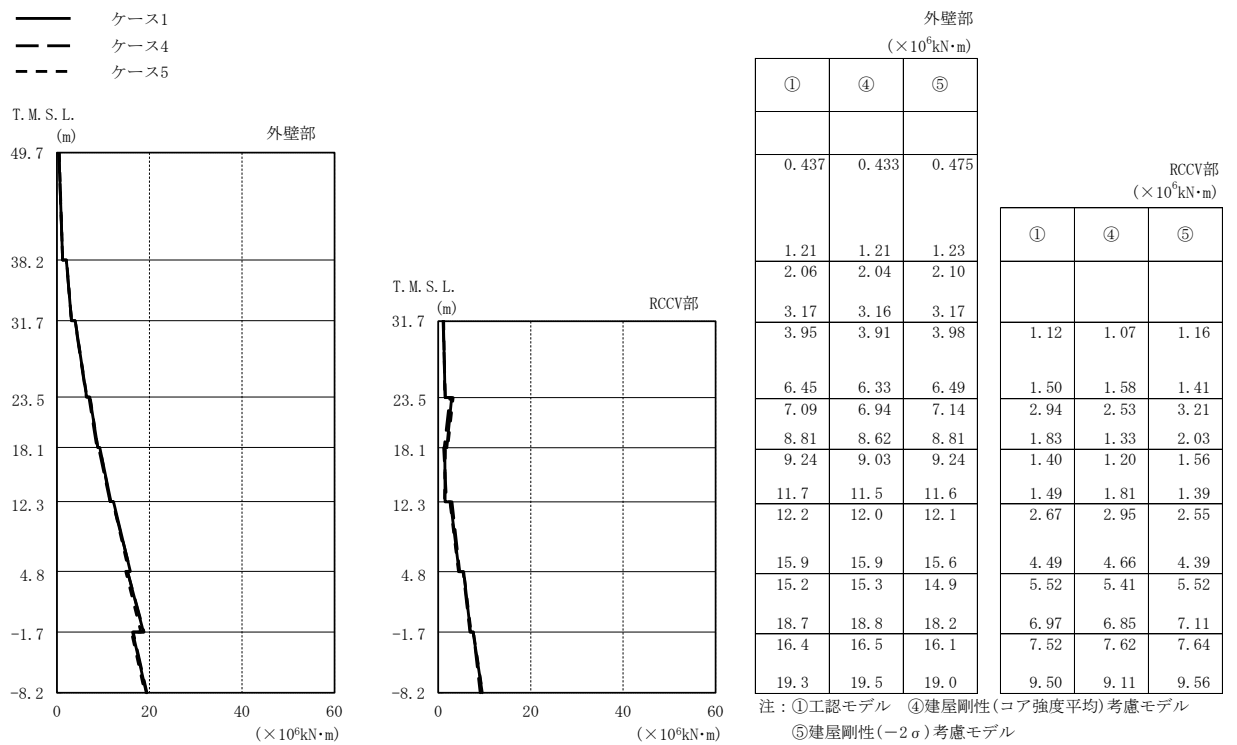


(c) Ss-3

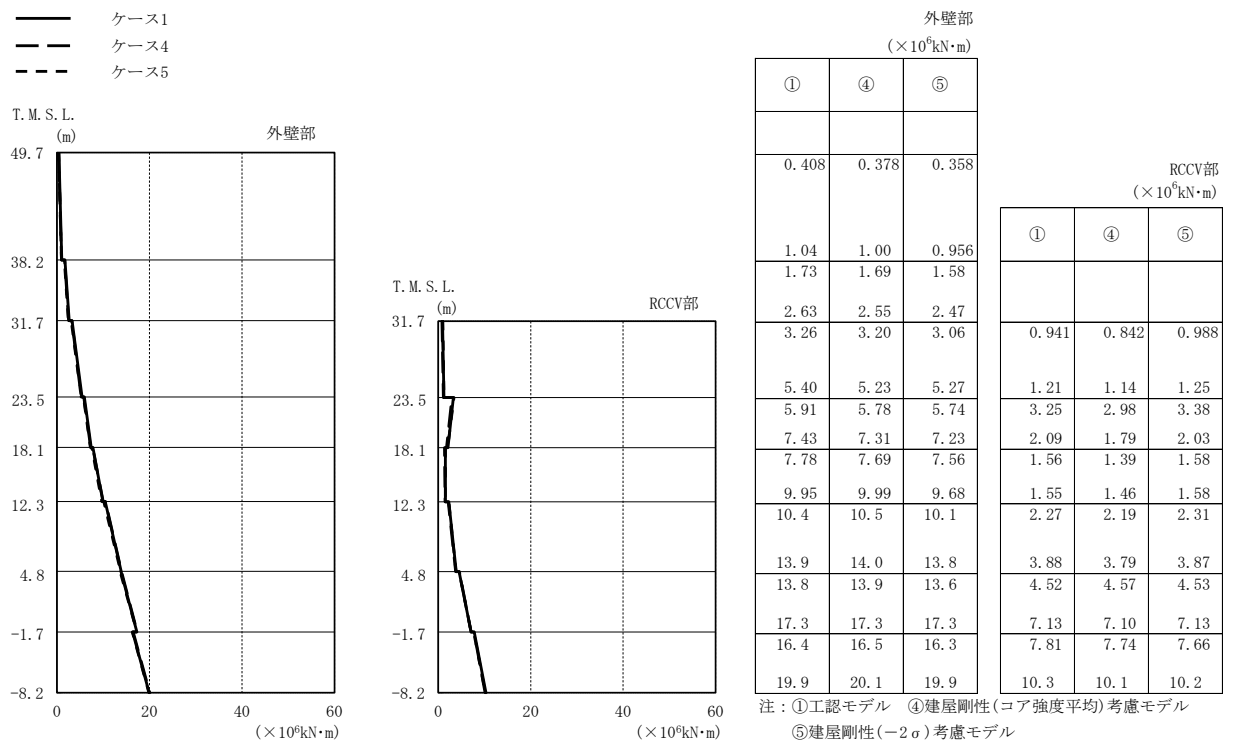


(d) Ss-8

図2-45 最大応答せん断力 (基準地震動 S s , EW方向) (2/2)

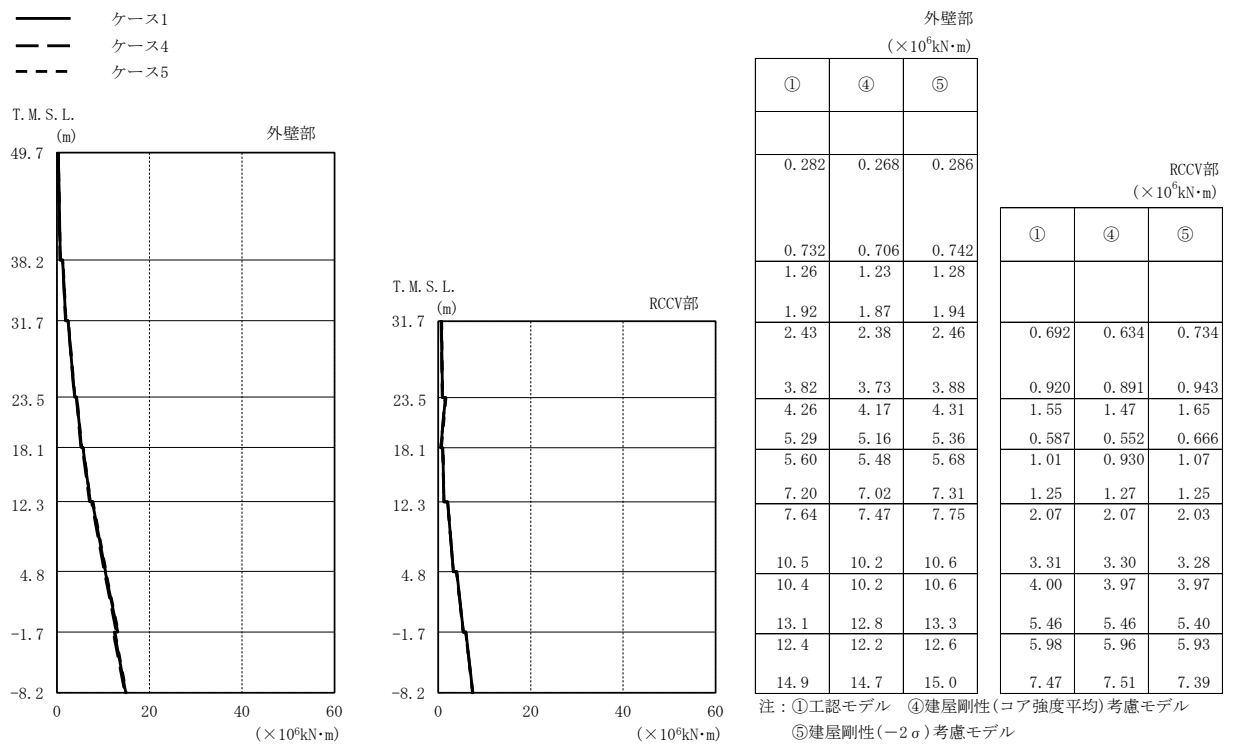


(a) Ss-1

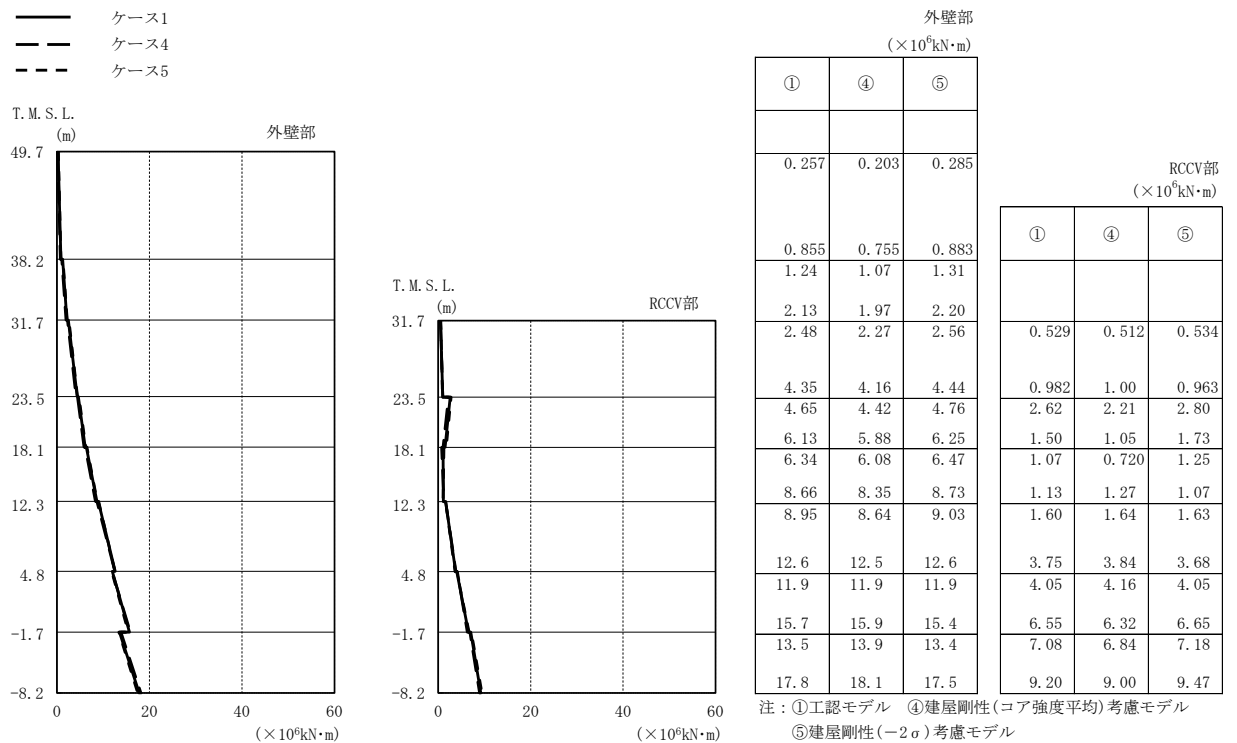


(b) Ss-2

図2-46 最大応答曲げモーメント(基準地震動 S_s, EW方向)(1/2)

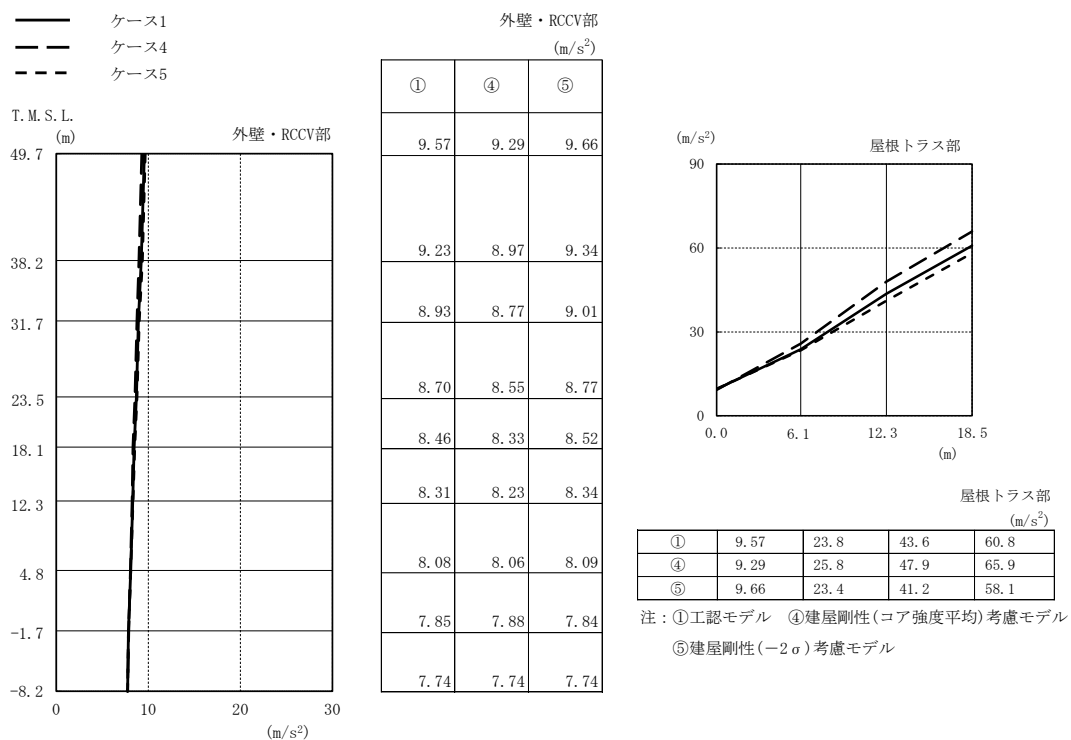


(c) Ss-3

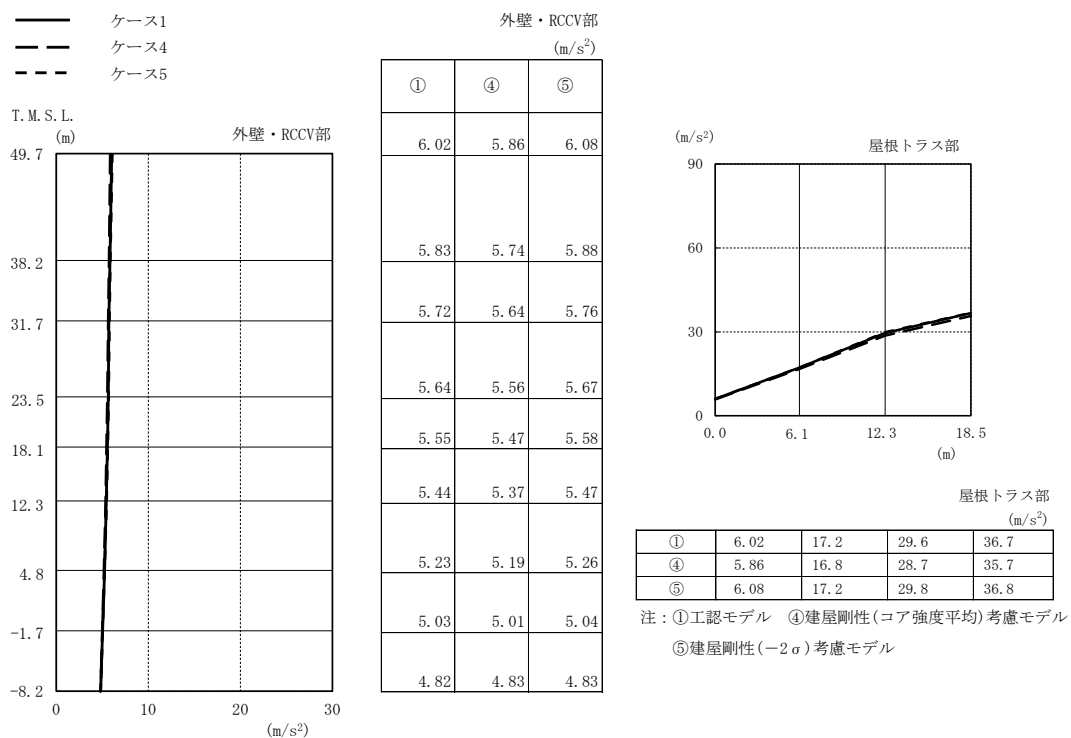


(d) Ss-8

図2-46 最大応答曲げモーメント(基準地震動 S s, EW方向)(2/2)

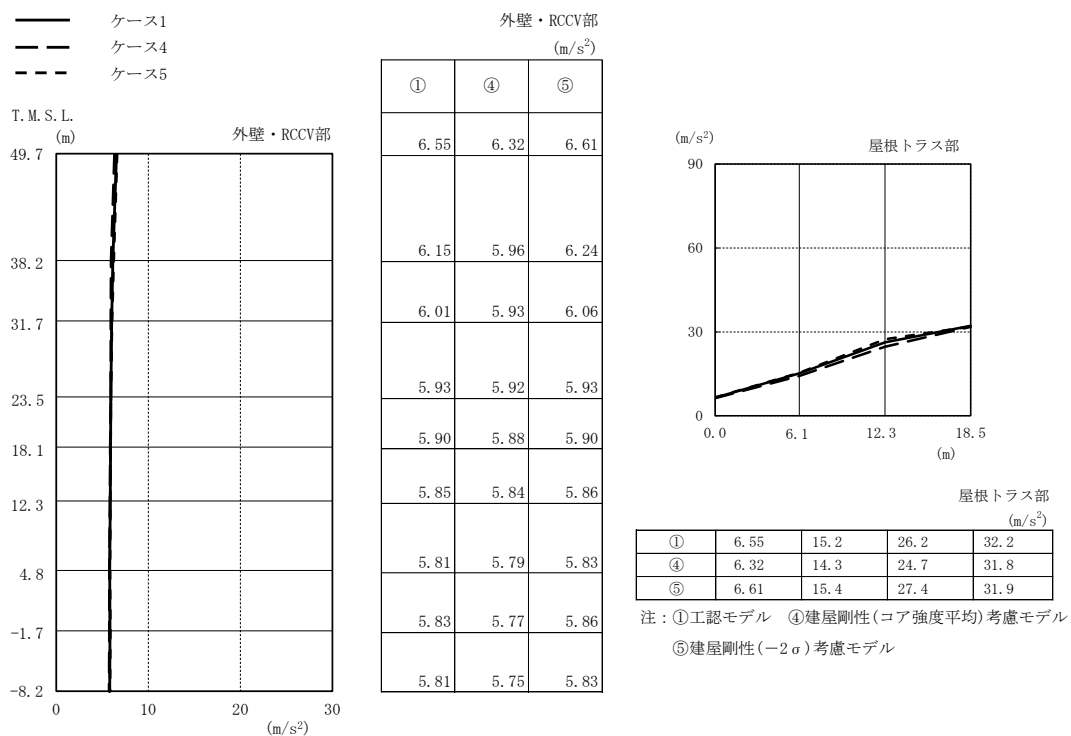


(a) Ss-1

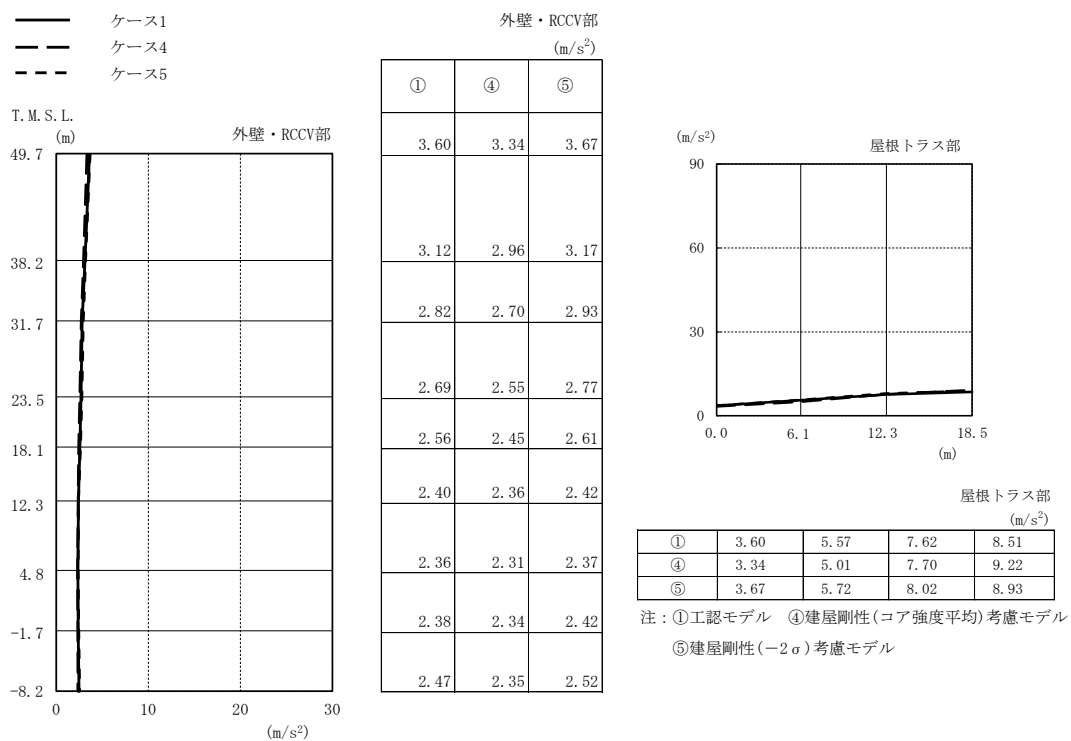


(b) Ss-2

図2-47 最大応答加速度(基準地震動 S_s, 鉛直方向)(1/2)

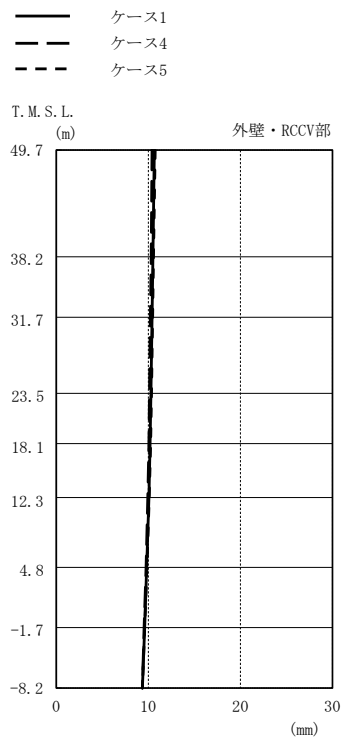


(c) Ss-3



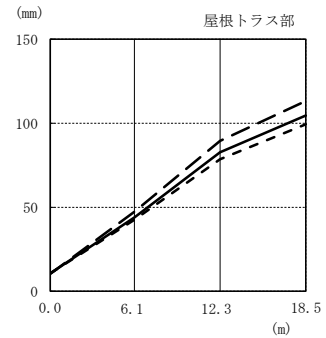
(d) Ss-8

図2-47 最大応答加速度(基準地震動 S_s, 鉛直方向)(2/2)



外壁・RCCV部 (mm)

①	④	⑤
10.7	10.4	10.7
10.5	10.3	10.6
10.4	10.2	10.5
10.3	10.1	10.3
10.2	10.1	10.2
10.1	9.94	10.1
9.82	9.74	9.85
9.60	9.55	9.61
9.36	9.35	9.36

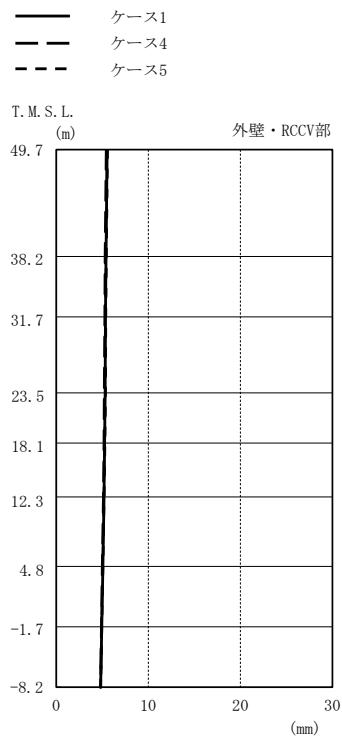


屋根トラス部 (mm)

①	④	⑤
10.7	44.0	82.7
10.4	47.3	89.5
10.7	42.5	78.5

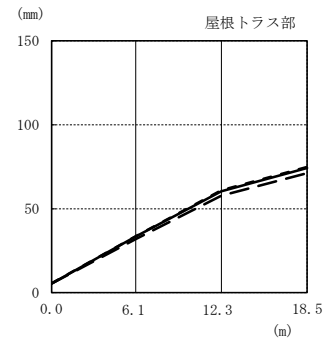
注：①工認モデル ④建屋剛性(コア強度平均)考慮モデル
⑤建屋剛性(-2σ)考慮モデル

(a) Ss-1



外壁・RCCV部 (mm)

①	④	⑤
5.52	5.42	5.57
5.41	5.32	5.45
5.35	5.27	5.38
5.30	5.22	5.33
5.24	5.17	5.27
5.17	5.11	5.20
5.05	5.01	5.07
4.93	4.90	4.94
4.82	4.80	4.82



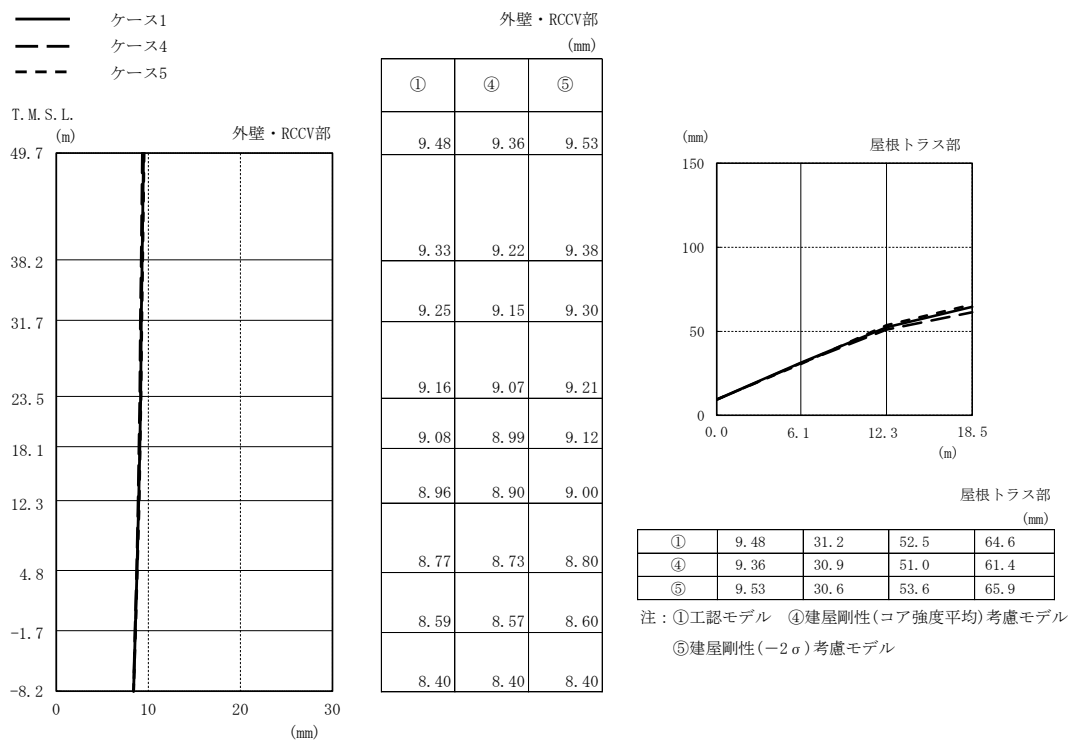
屋根トラス部 (mm)

①	④	⑤
5.52	33.5	60.5
5.42	31.9	57.7
5.57	33.6	61.0

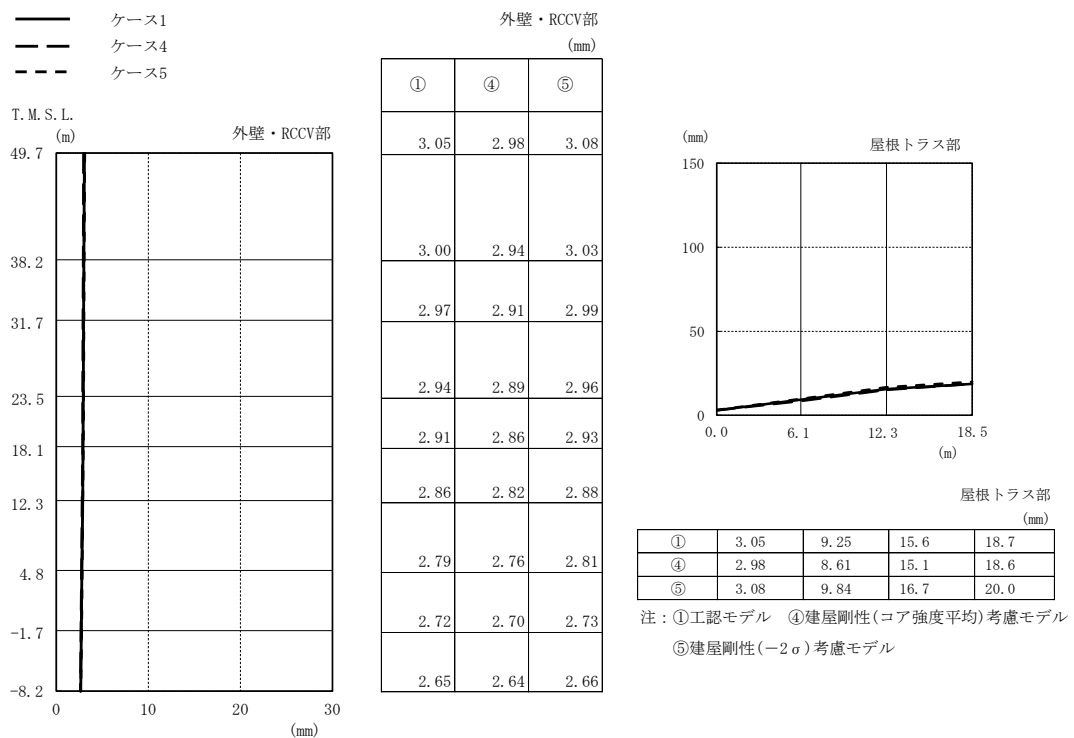
注：①工認モデル ④建屋剛性(コア強度平均)考慮モデル
⑤建屋剛性(-2σ)考慮モデル

(b) Ss-2

図2-48 最大応答変位 (基準地震動 S_s, 鉛直方向) (1/2)

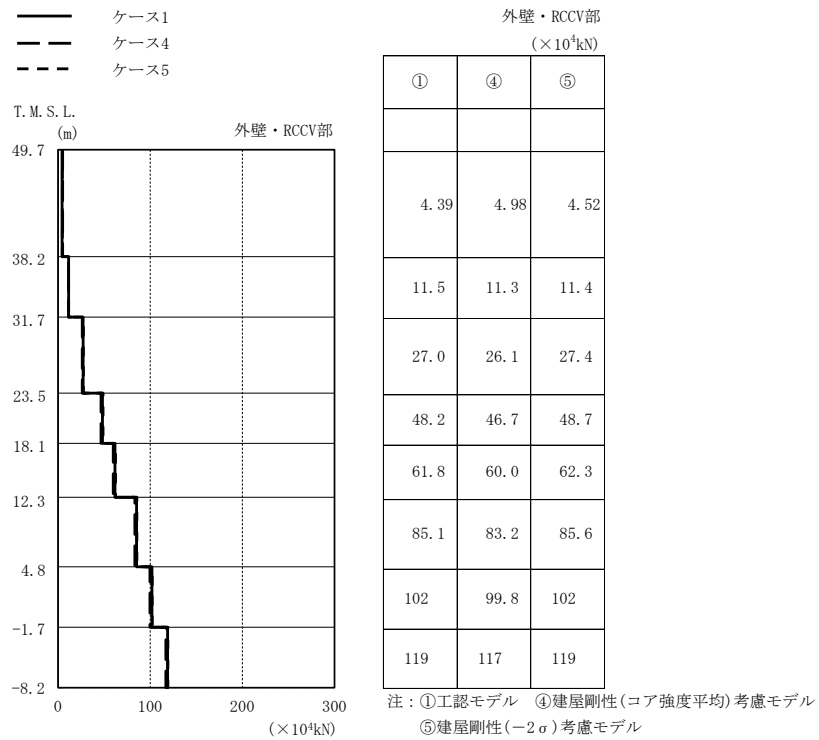


(c) Ss-3

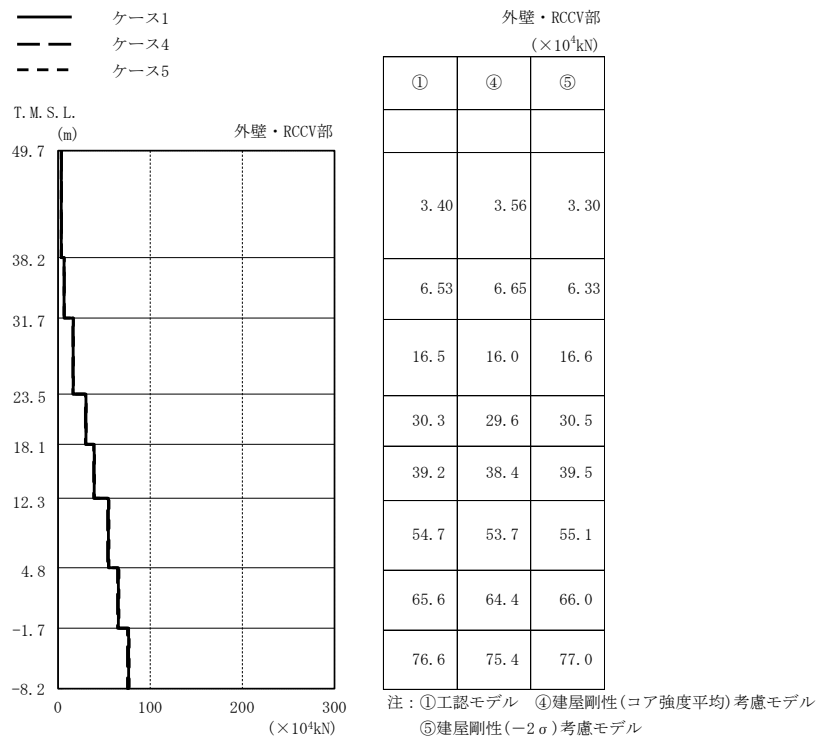


(d) Ss-8

図2-48 最大応答変位 (基準地震動 S_s, 鉛直方向) (2/2)

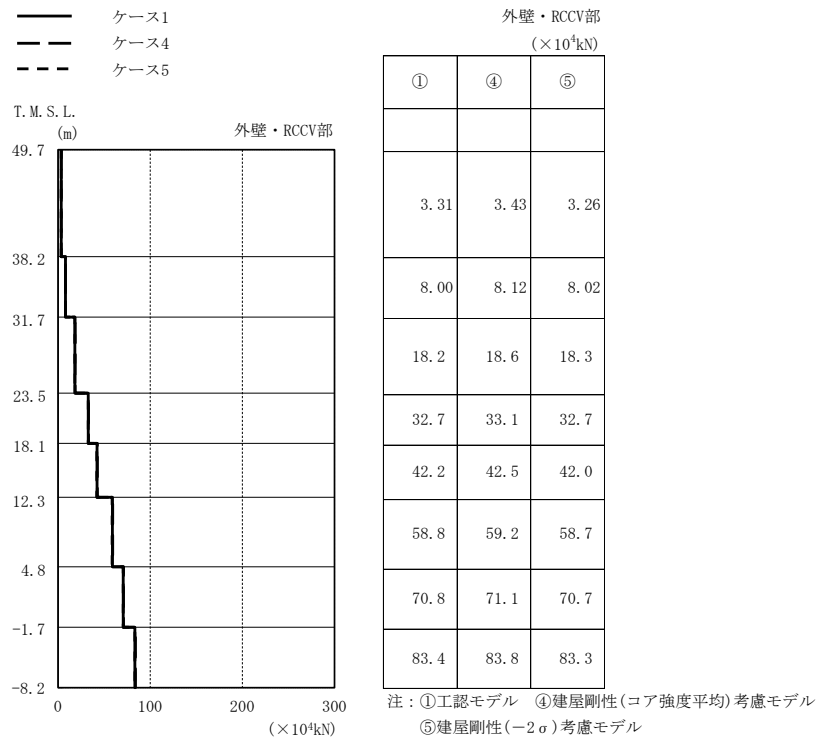


(a) Ss-1

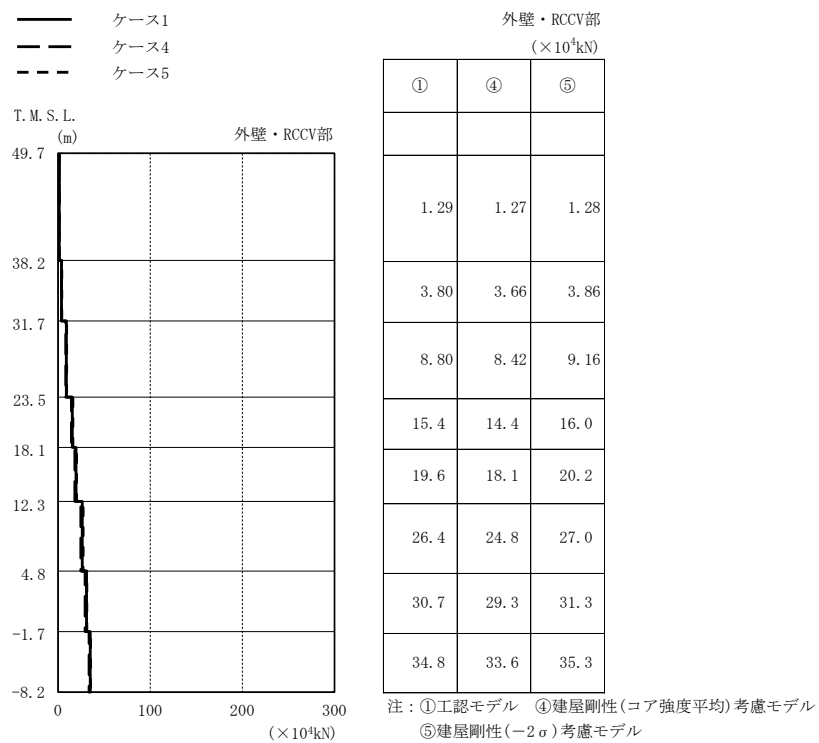


(b) Ss-2

図2-49 最大応答軸力 (基準地震動 S_s, 鉛直方向) (1/2)

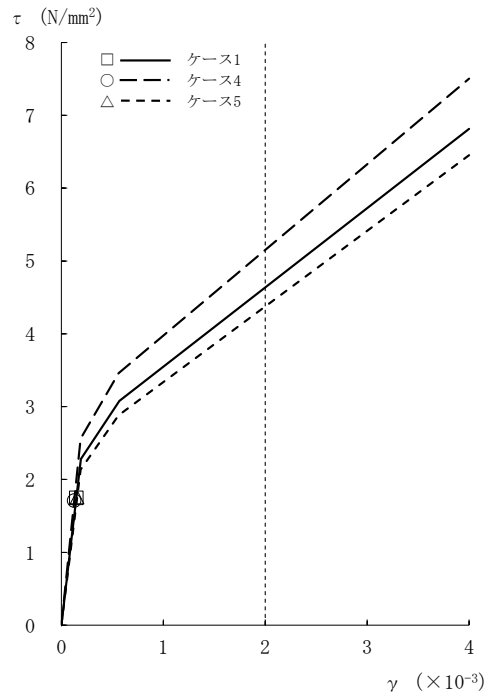


(c) Ss-3



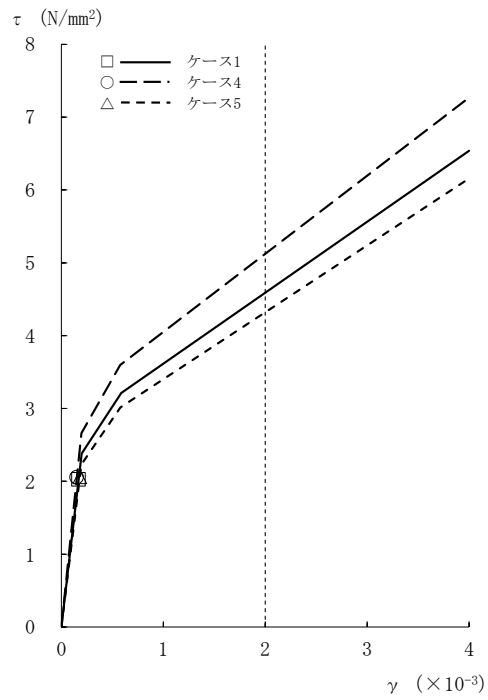
(d) Ss-8

図2-49 最大応答軸力 (基準地震動 S_s, 鉛直方向) (2/2)



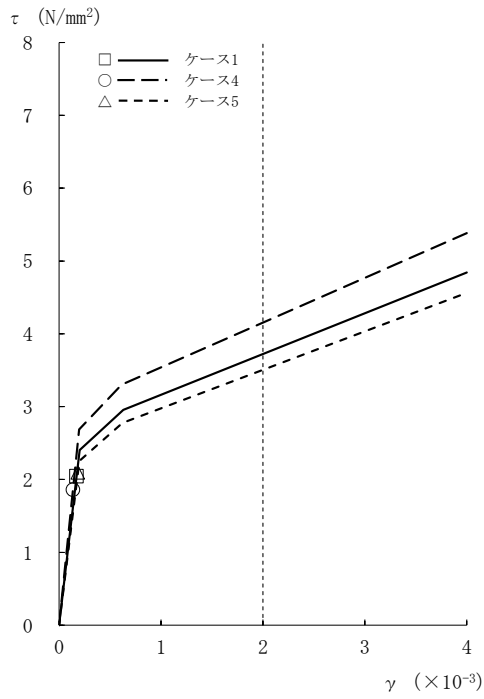
[外壁部]

図2-50 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, CRF) (1/8)

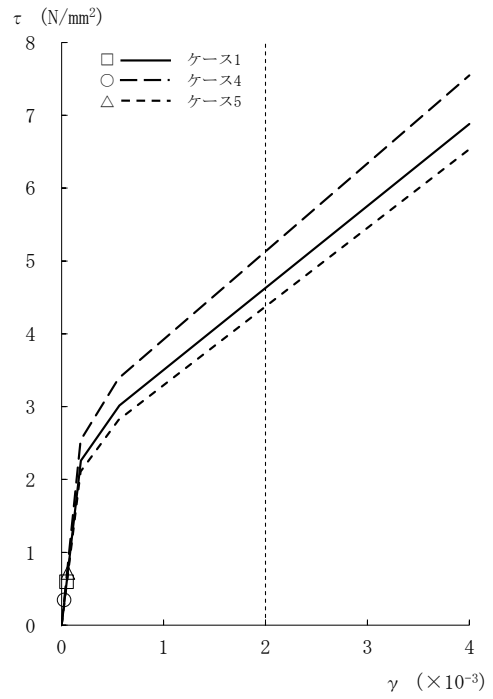


[外壁部]

図2-50 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, 4F) (2/8)

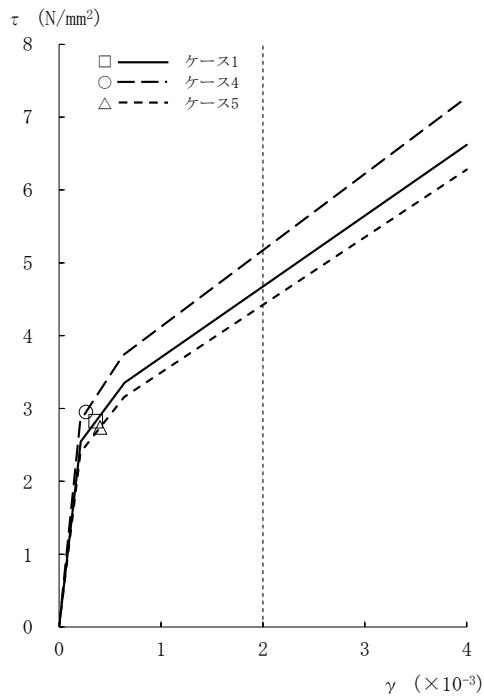


[外壁部]

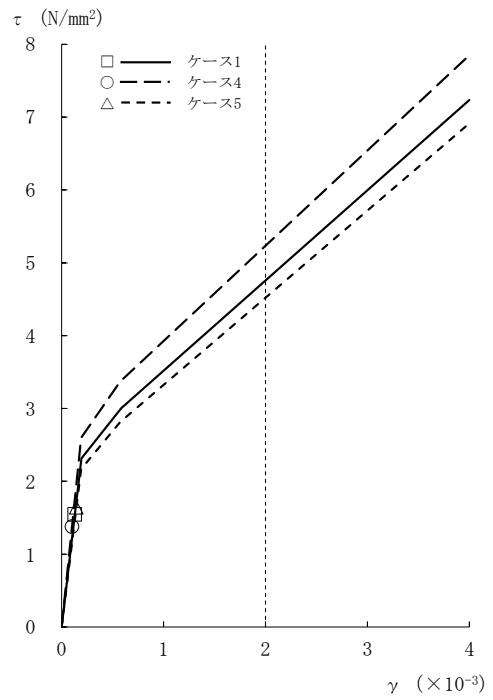


[RCCV部]

図2-50 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, 3F) (3/8)

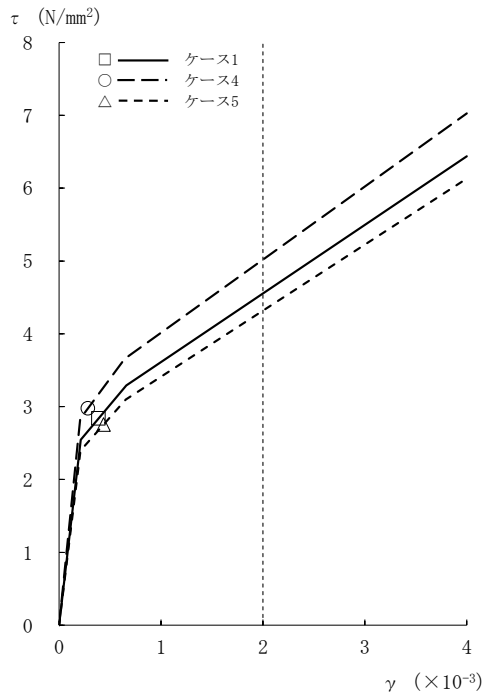


[外壁部]

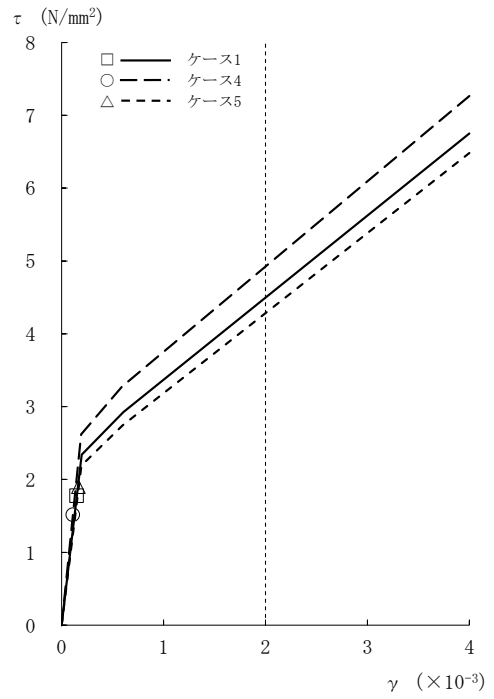


[RCCV部]

図2-50 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, 2F) (4/8)

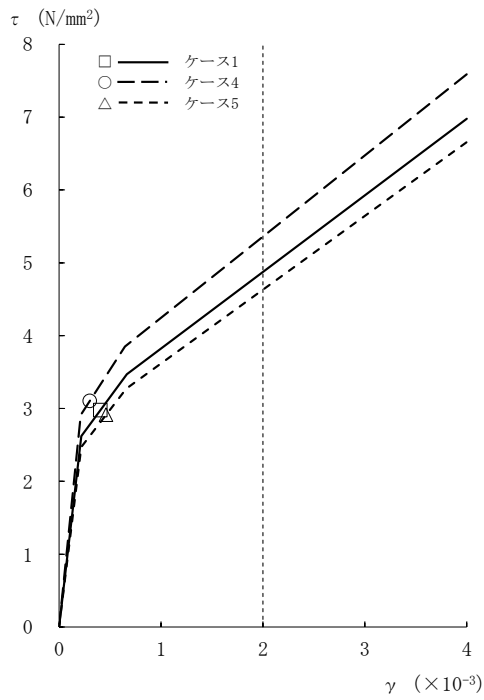


[外壁部]

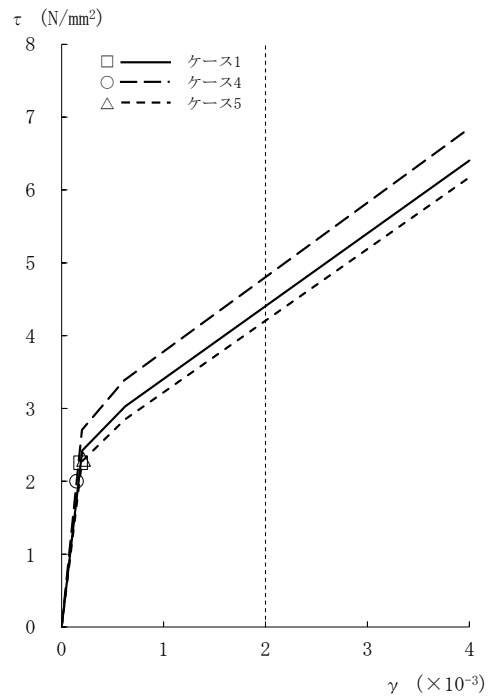


[RCCV部]

図2-50 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, 1F) (5/8)

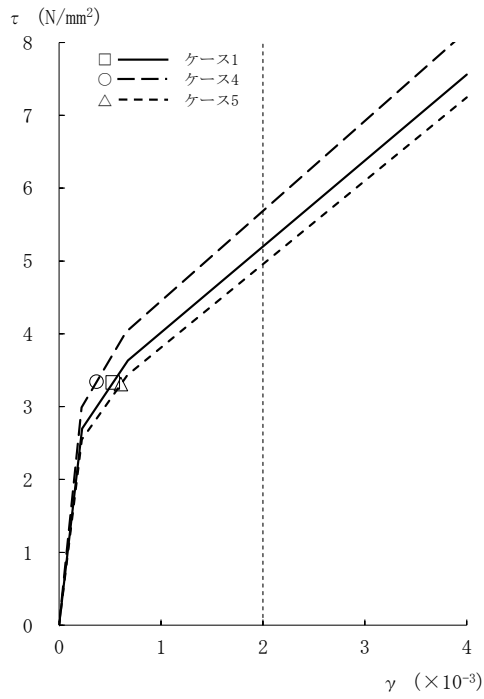


[外壁部]

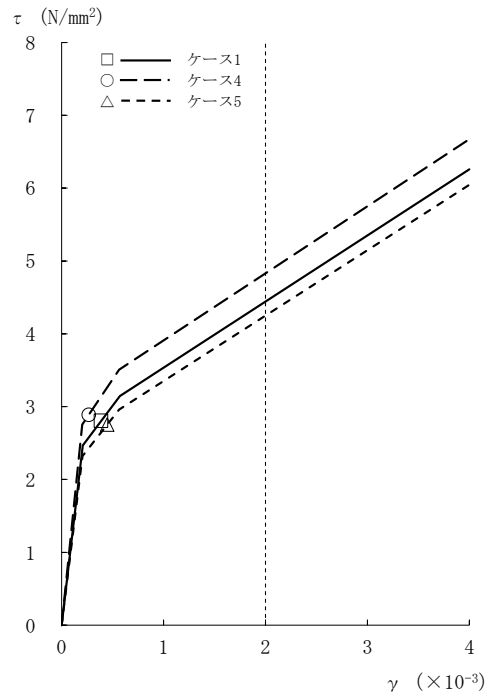


[RCCV部]

図2-50 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, B1F) (6/8)

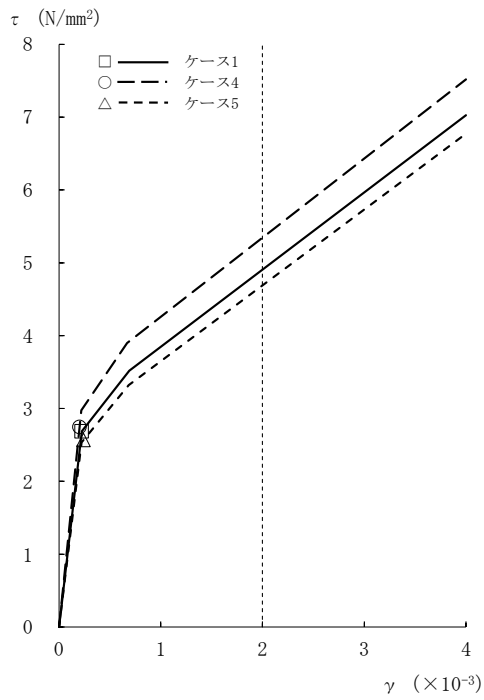


[外壁部]

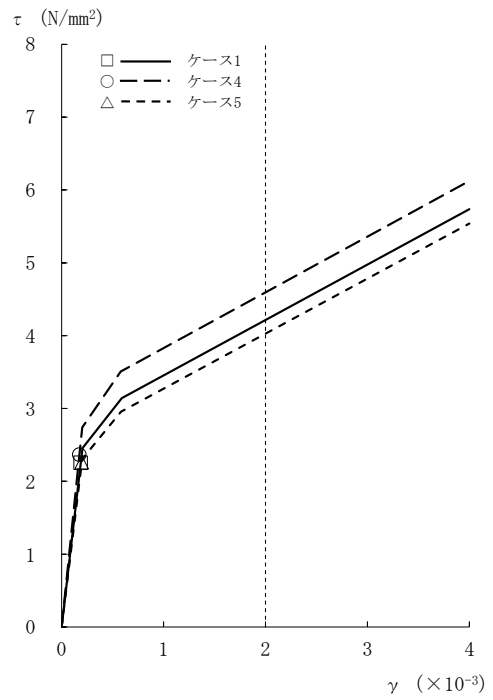


[RCCV部]

図2-50 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-1, NS方向, B2F) (7/8)

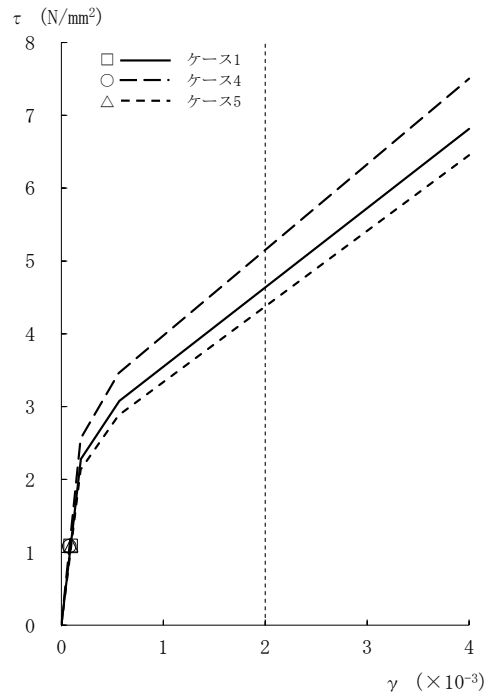


[外壁部]



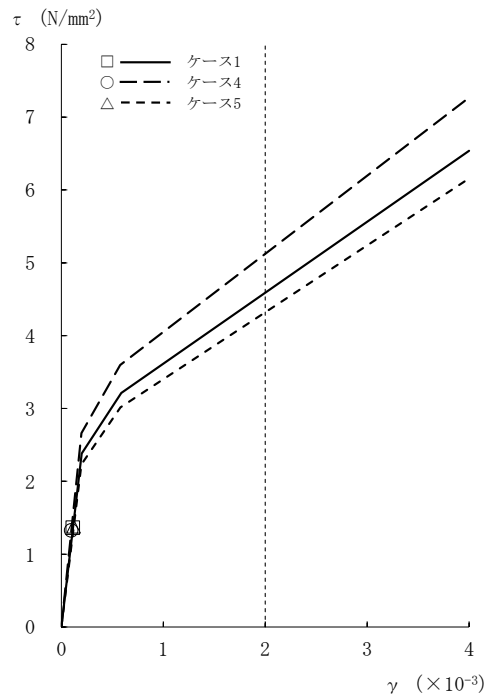
[RCCV部]

図2-50 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-1, NS方向, B3F) (8/8)



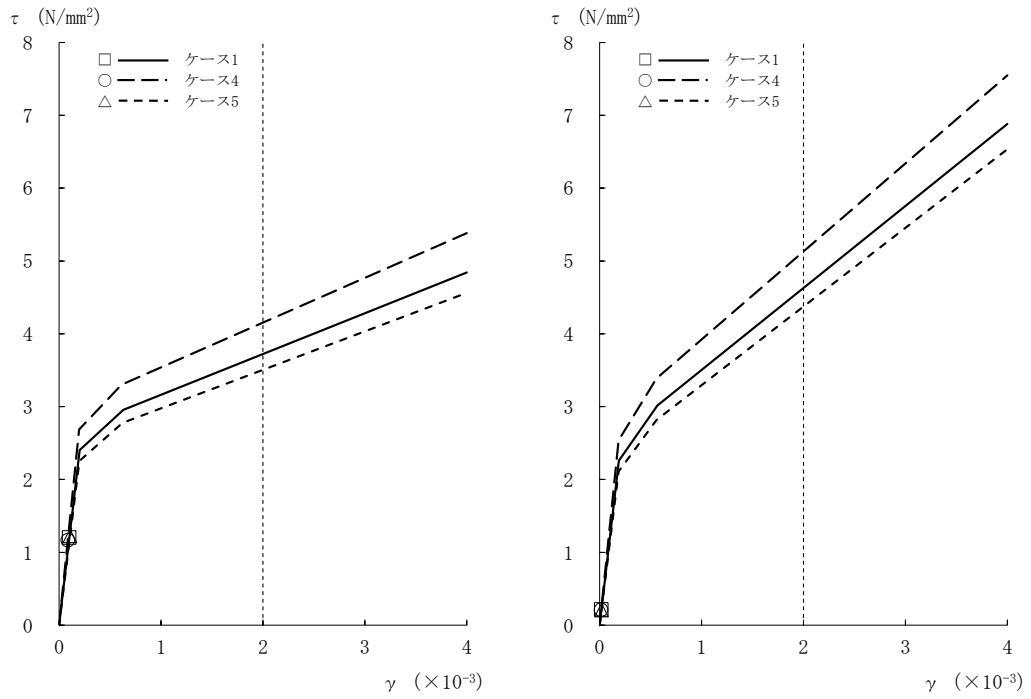
[外壁部]

図2-51 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, NS方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

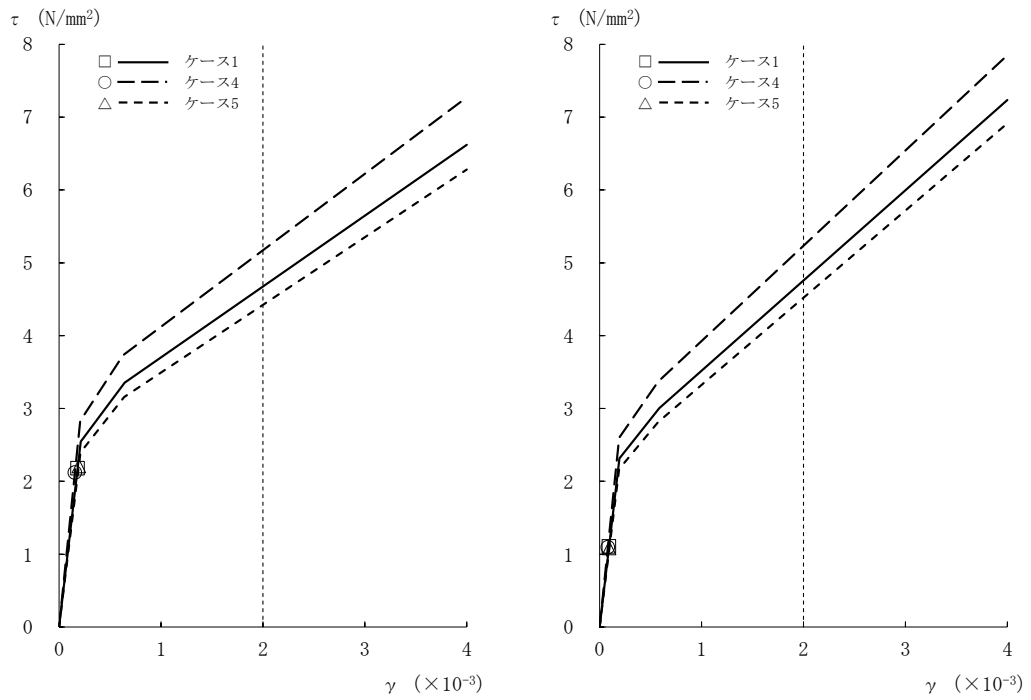
図2-51 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, NS方向, 4F) (2/8)



[外壁部]

[RCCV部]

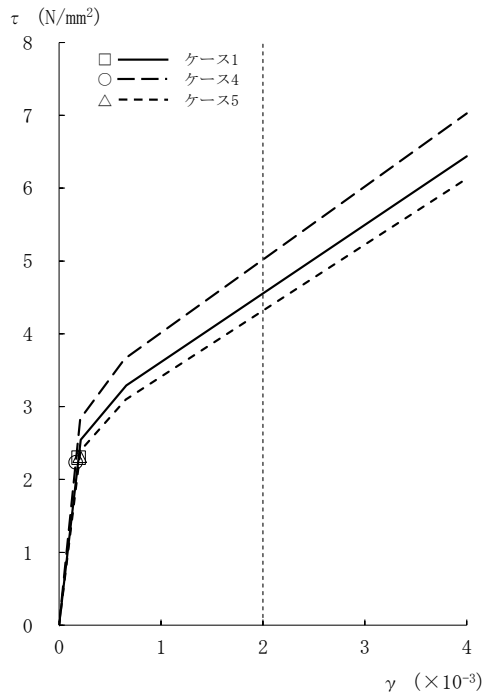
図2-51 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, 3F) (3/8)



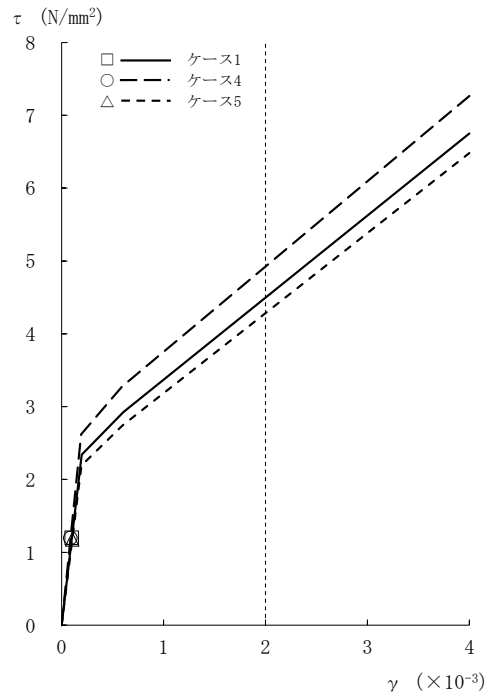
[外壁部]

[RCCV部]

図2-51 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, 2F) (4/8)

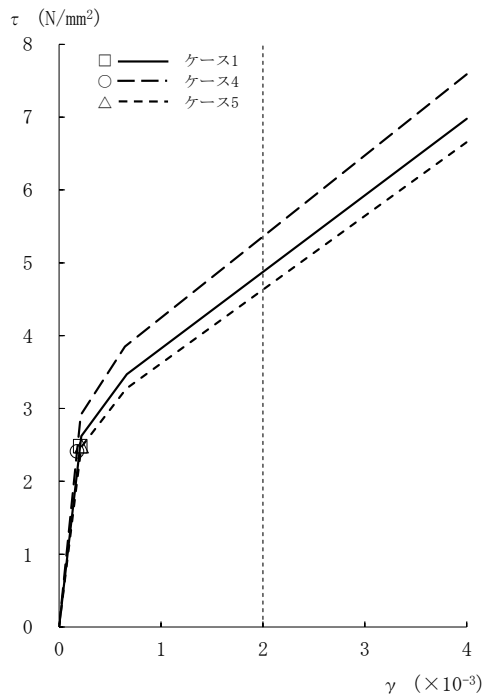


[外壁部]

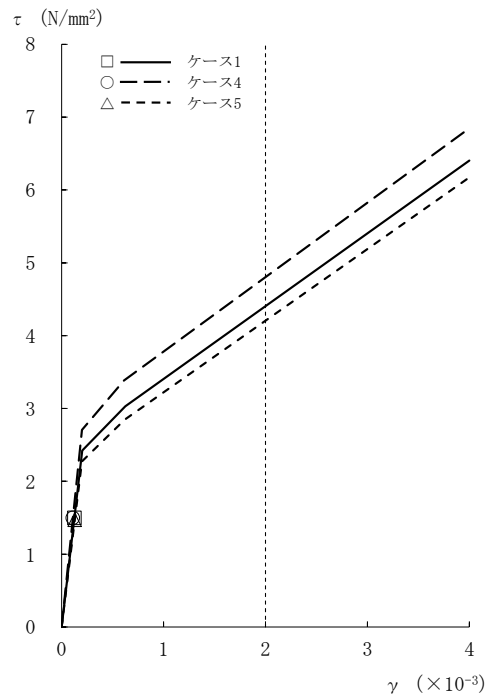


[RCCV部]

図2-51 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, 1F) (5/8)

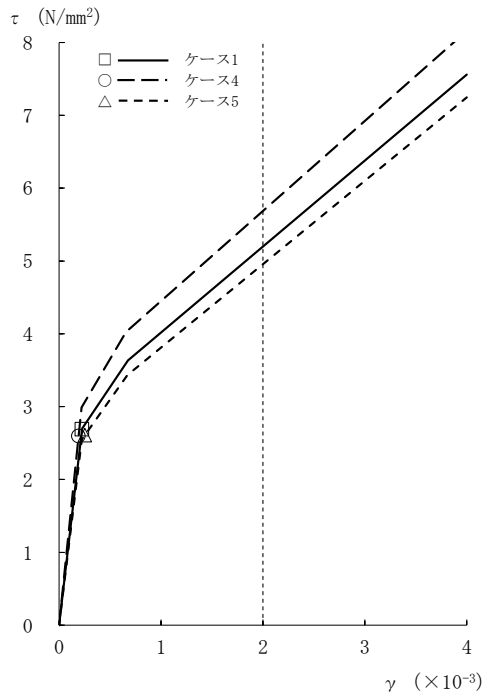


[外壁部]

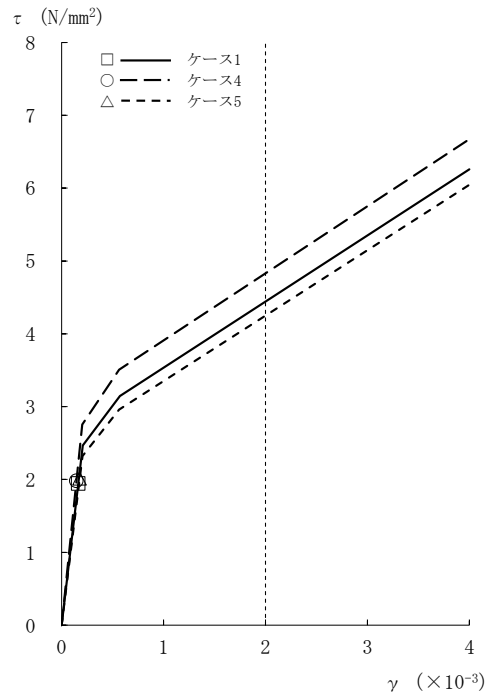


[RCCV部]

図2-51 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, B1F) (6/8)

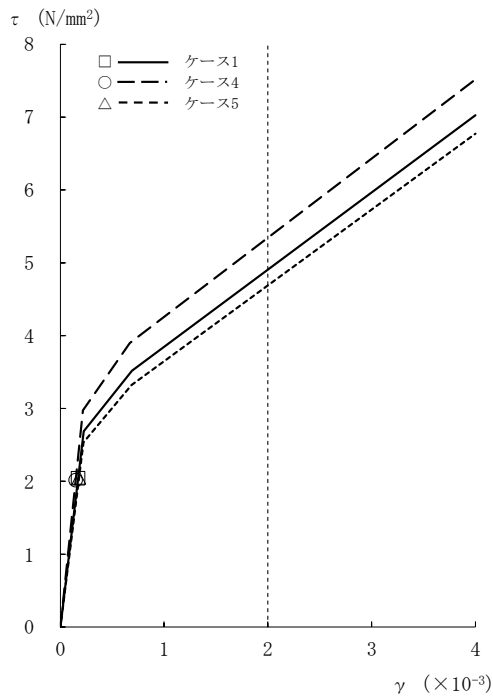


[外壁部]

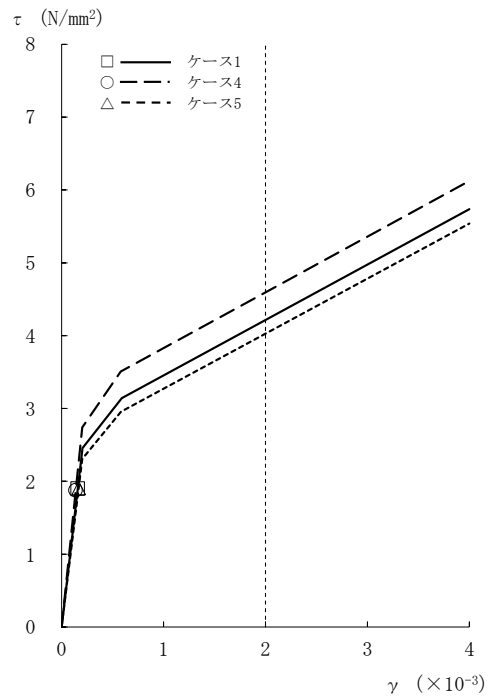


[RCCV部]

図2-51 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, NS方向, B2F) (7/8)

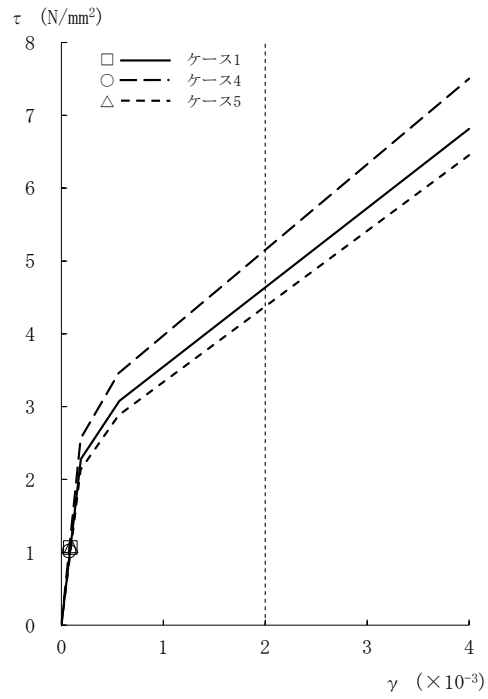


[外壁部]



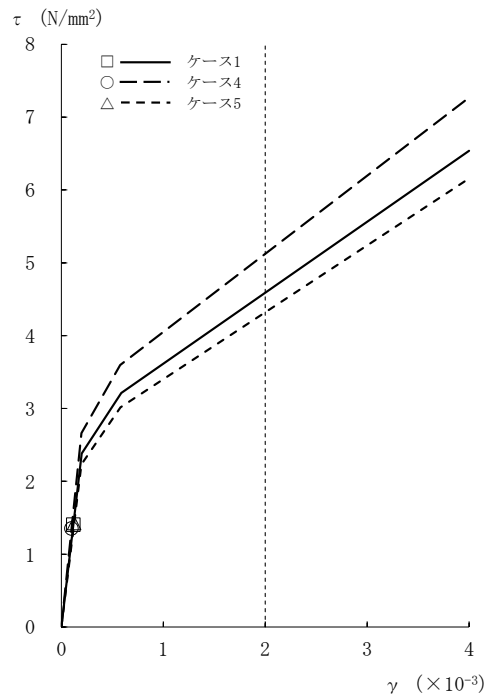
[RCCV部]

図2-51 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, NS方向, B3F) (8/8)



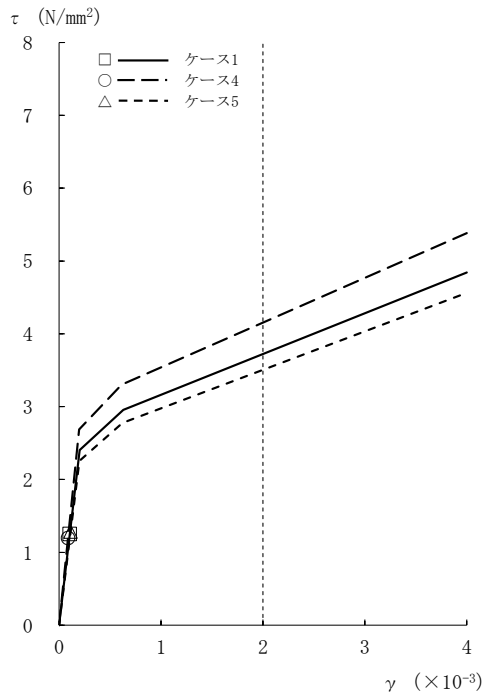
[外壁部]

図2-52 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-3, NS方向, CRF) (1/8)

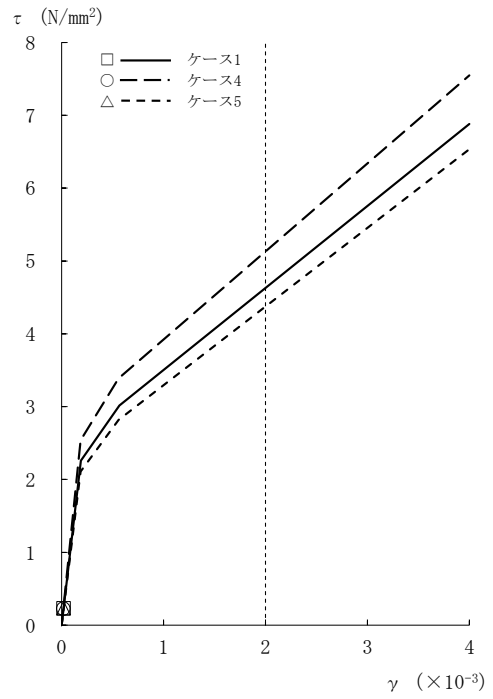


[外壁部]

図2-52 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-3, NS方向, 4F) (2/8)

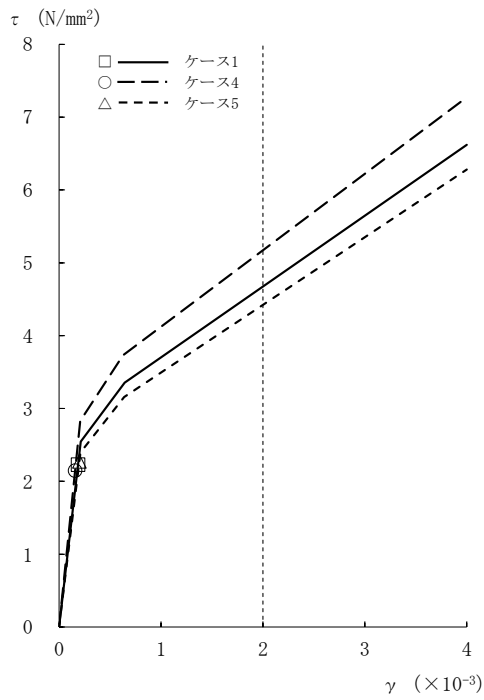


[外壁部]

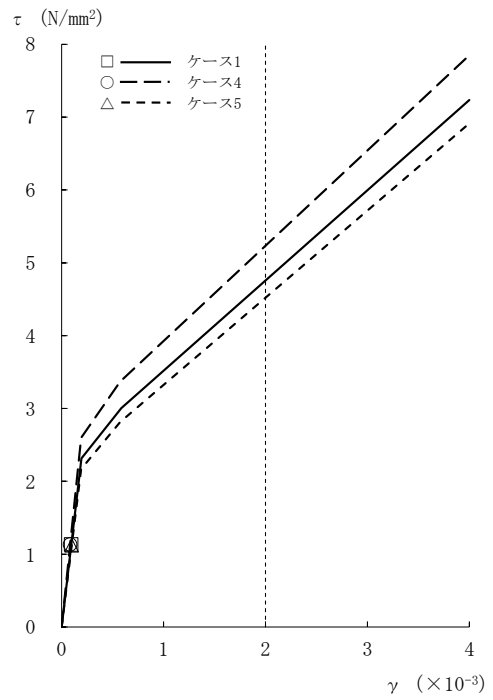


[RCCV部]

図2-52 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, 3F) (3/8)

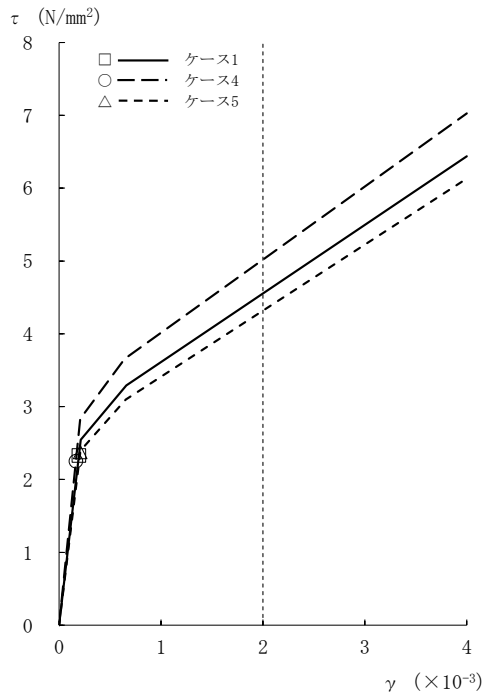


[外壁部]

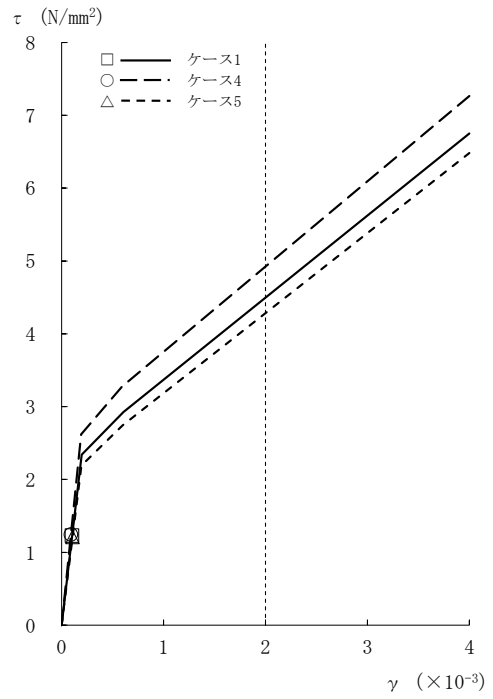


[RCCV部]

図2-52 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, 2F) (4/8)

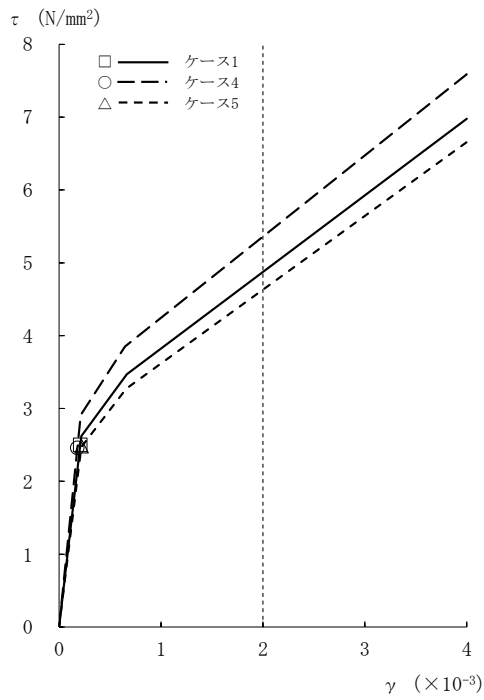


[外壁部]

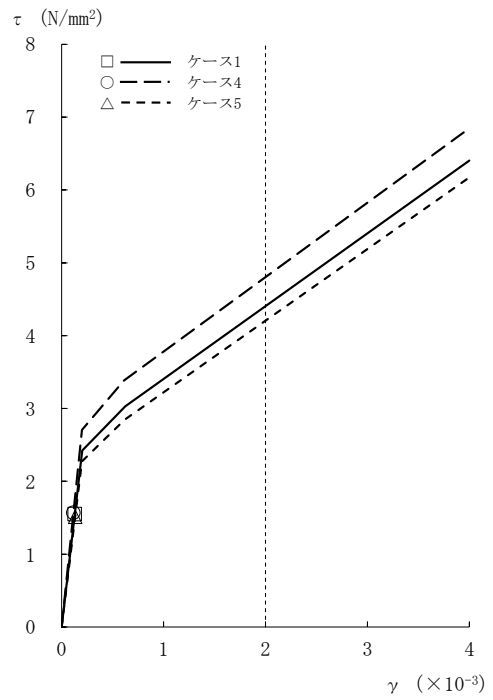


[RCCV部]

図2-52 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, 1F) (5/8)

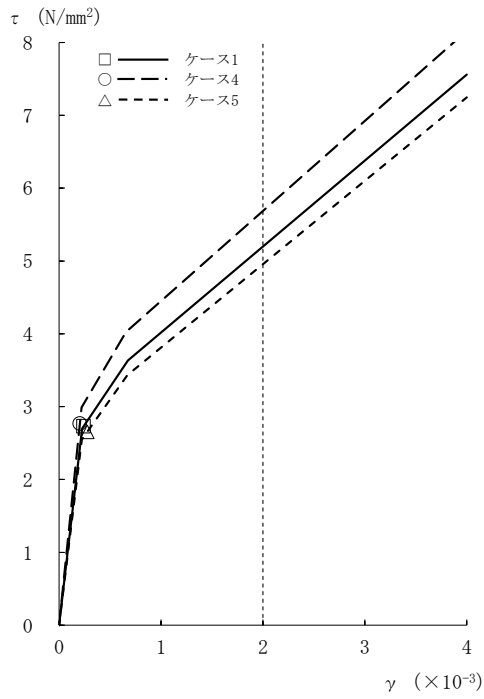


[外壁部]

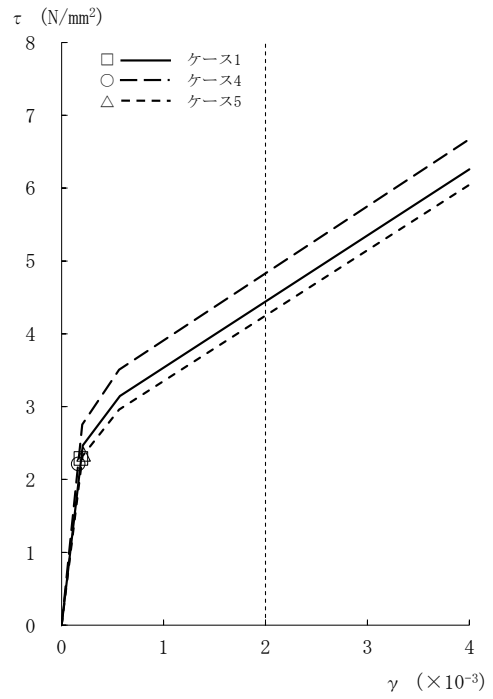


[RCCV部]

図2-52 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, B1F) (6/8)

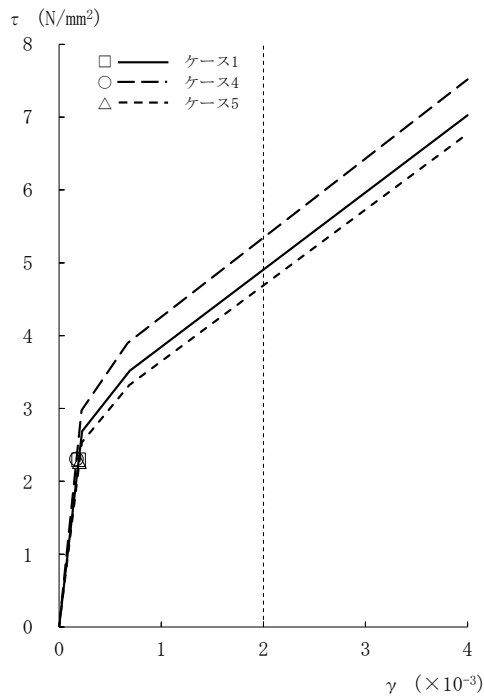


[外壁部]

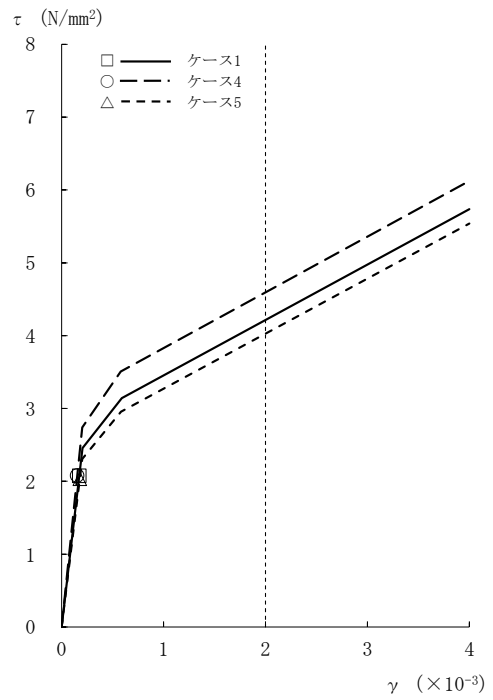


[RCCV部]

図2-52 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-3, NS方向, B2F) (7/8)

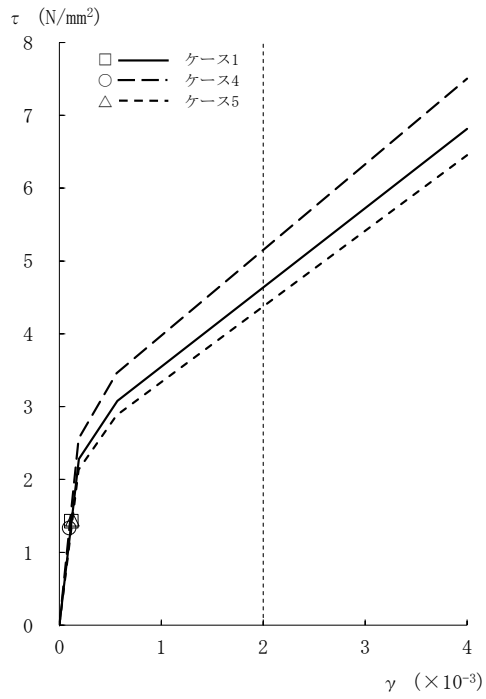


[外壁部]



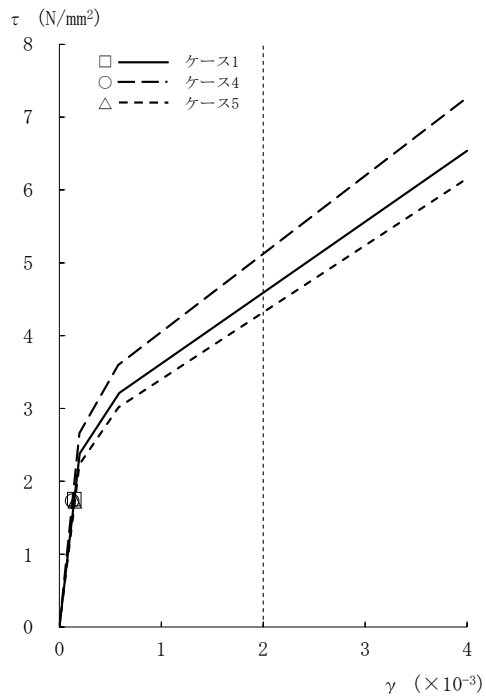
[RCCV部]

図2-52 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-3, NS方向, B3F) (8/8)



[外壁部]

図2-53 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-8, NS方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

図2-53 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-8, NS方向, 4F) (2/8)

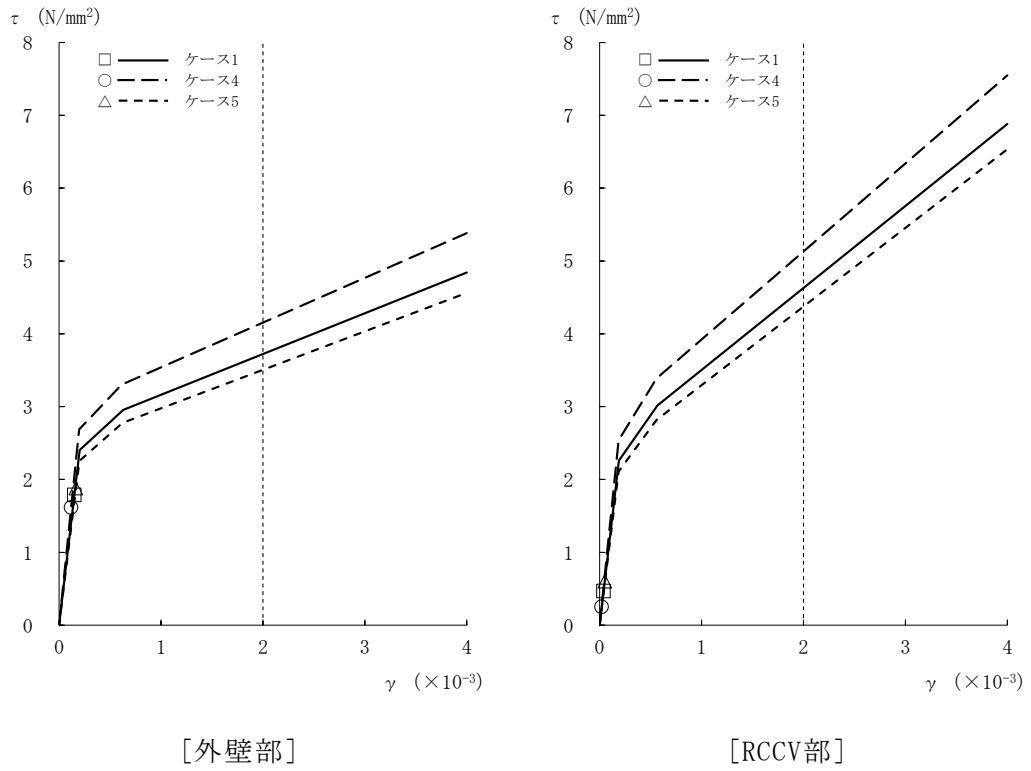


図2-53 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, 3F) (3/8)

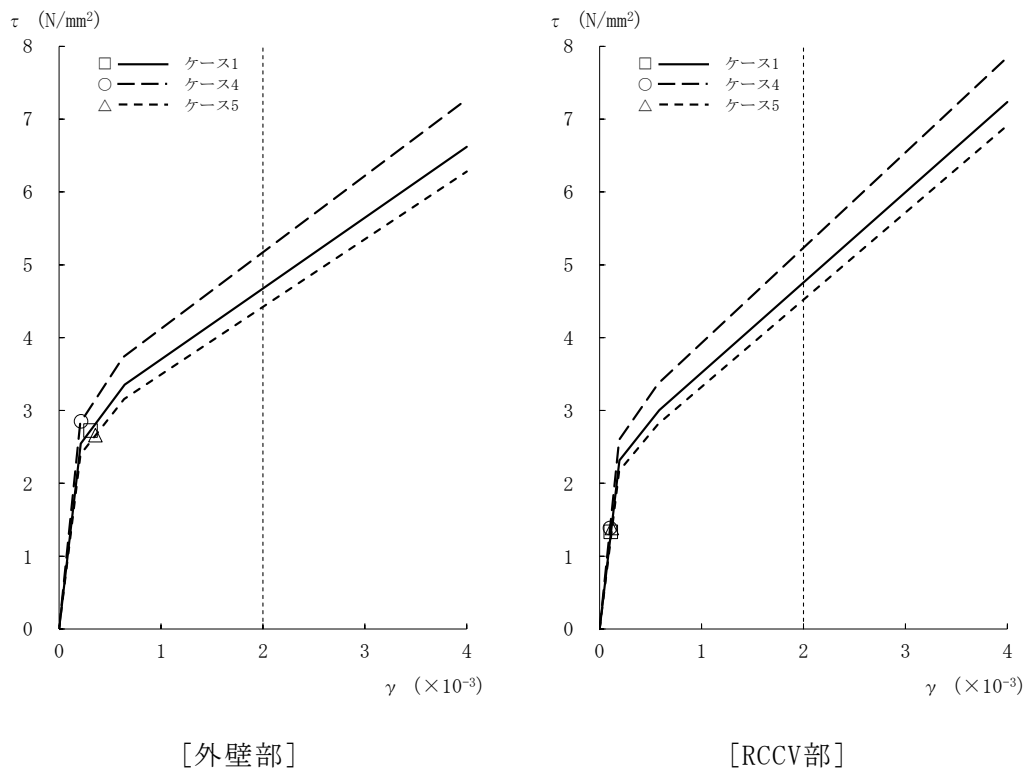
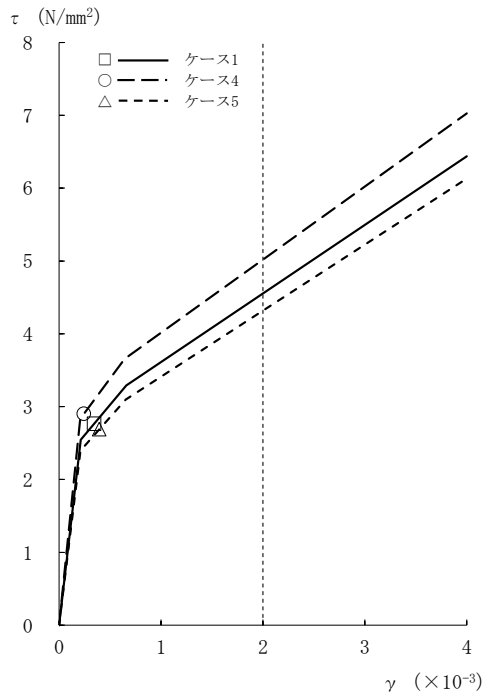
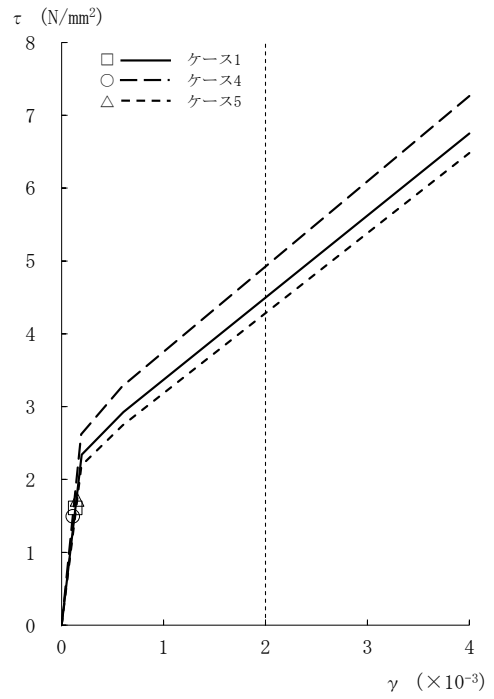


図2-53 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, 2F) (4/8)

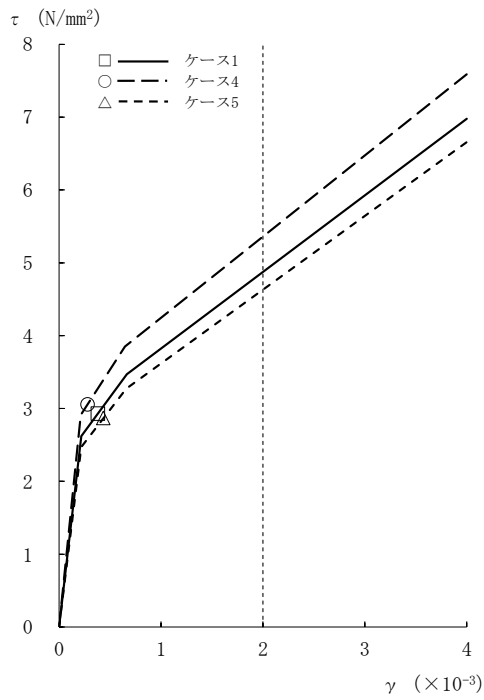


[外壁部]

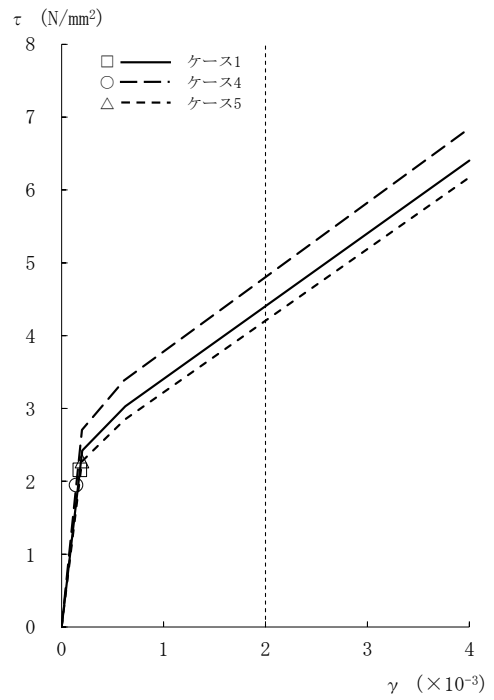


[RCCV部]

図2-53 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, 1F) (5/8)

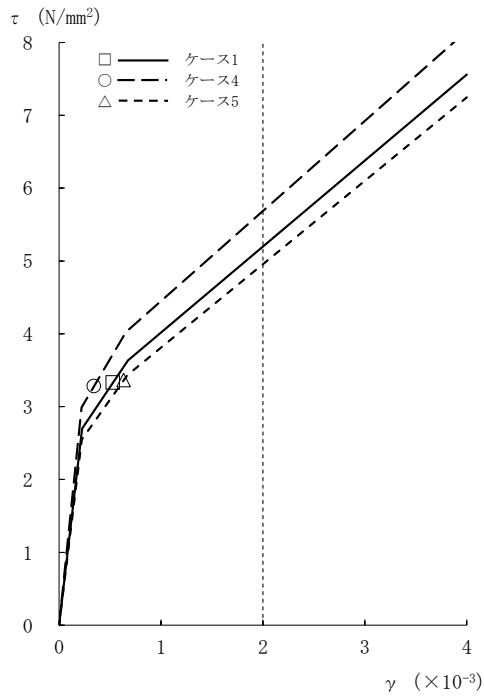


[外壁部]

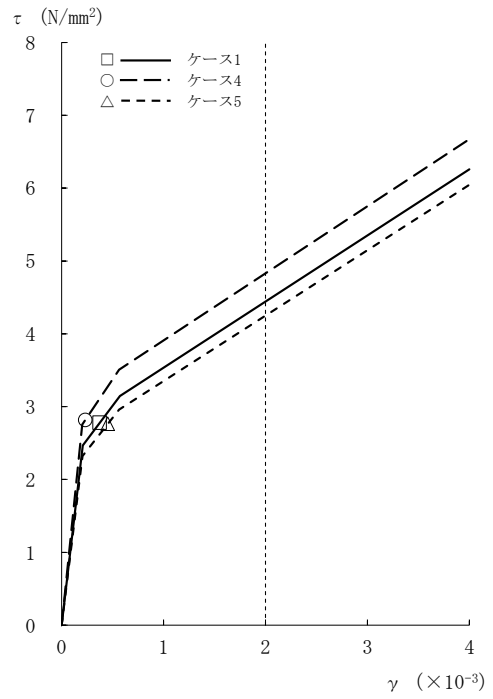


[RCCV部]

図2-53 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, B1F) (6/8)

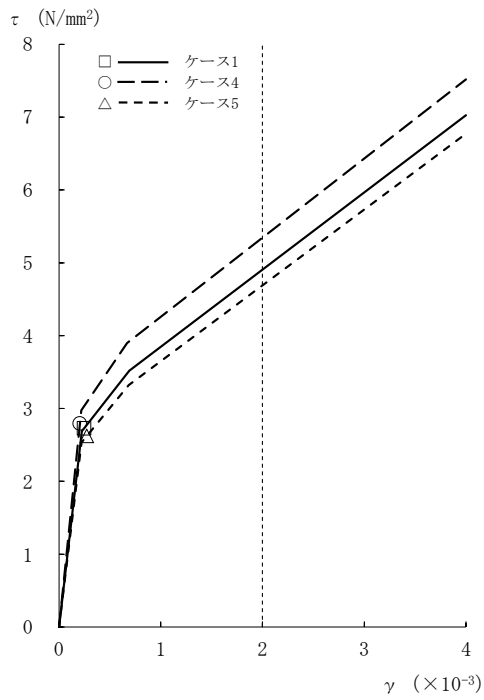


[外壁部]

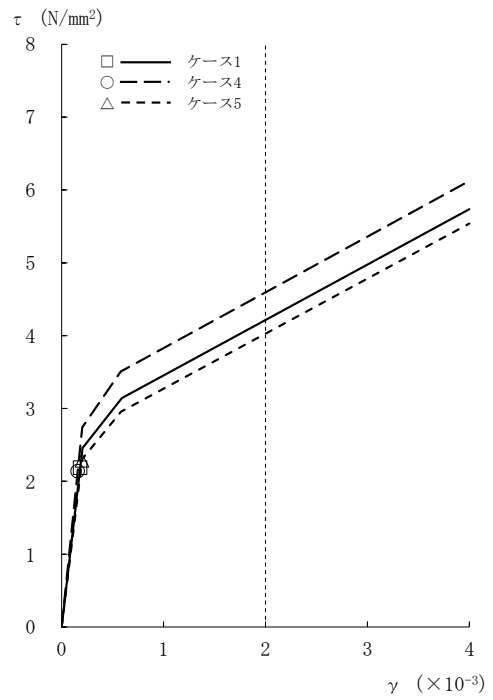


[RCCV部]

図2-53 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-8, NS方向, B2F) (7/8)

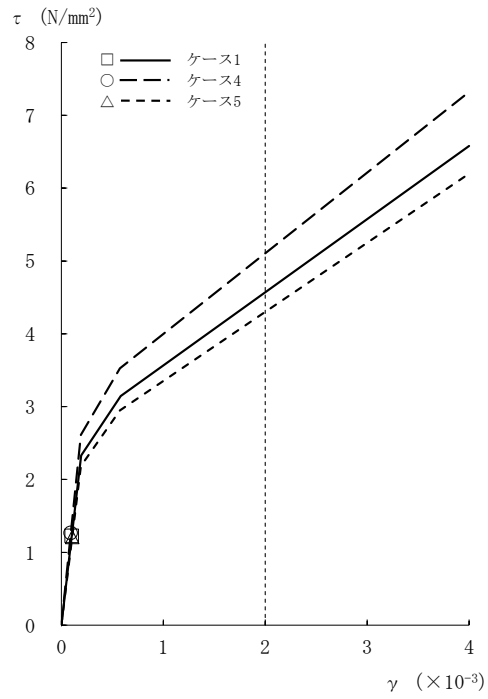


[外壁部]



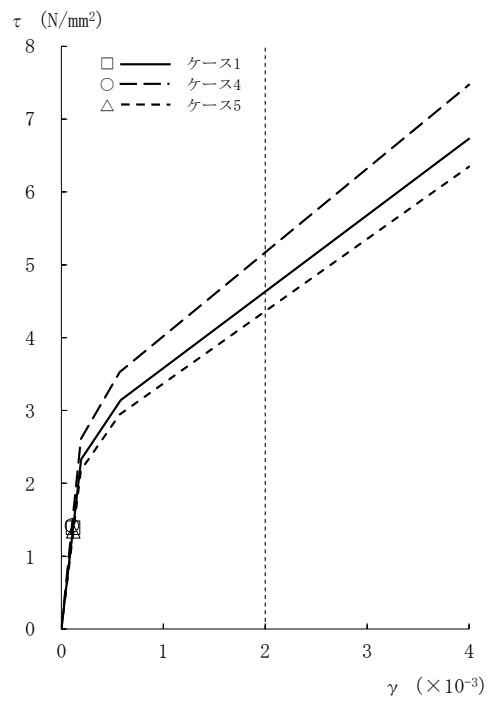
[RCCV部]

図2-53 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-8, NS方向, B3F) (8/8)



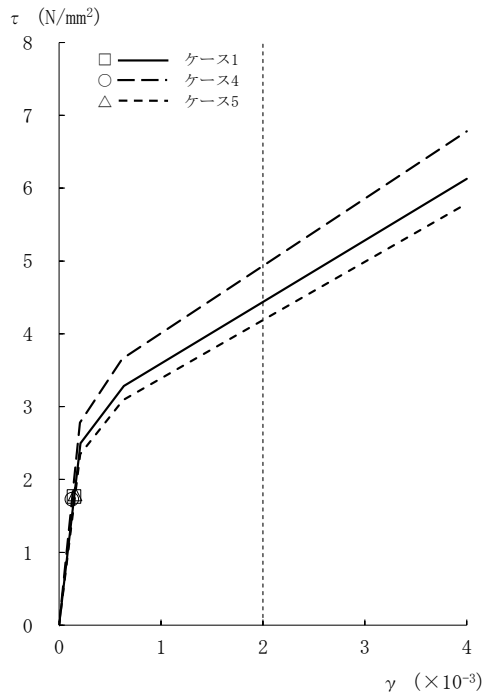
[外壁部]

図2-54 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, CRF) (1/8)

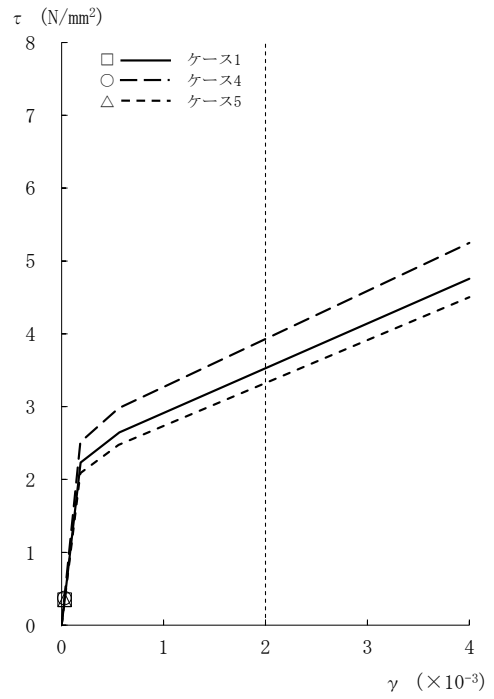


[外壁部]

図2-54 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, 4F) (2/8)

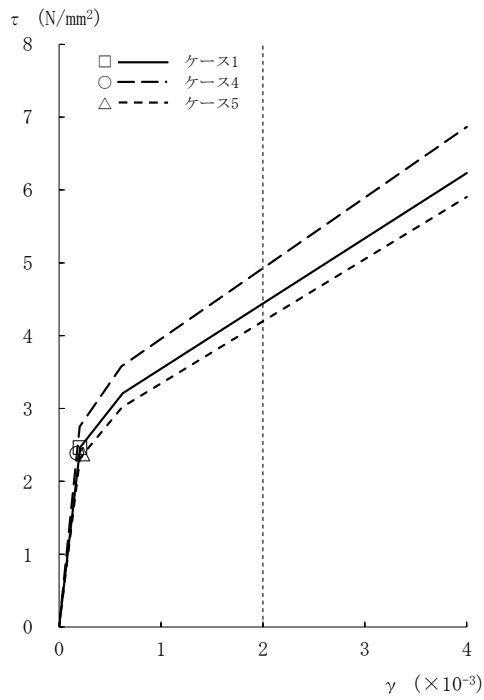


[外壁部]

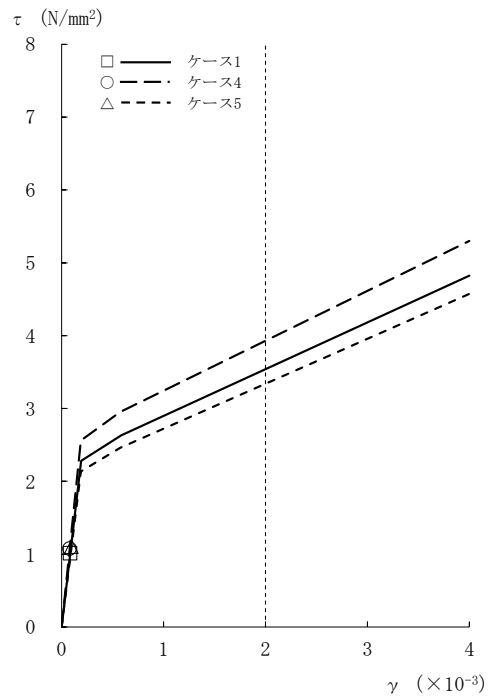


[RCCV部]

図2-54 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, 3F) (3/8)

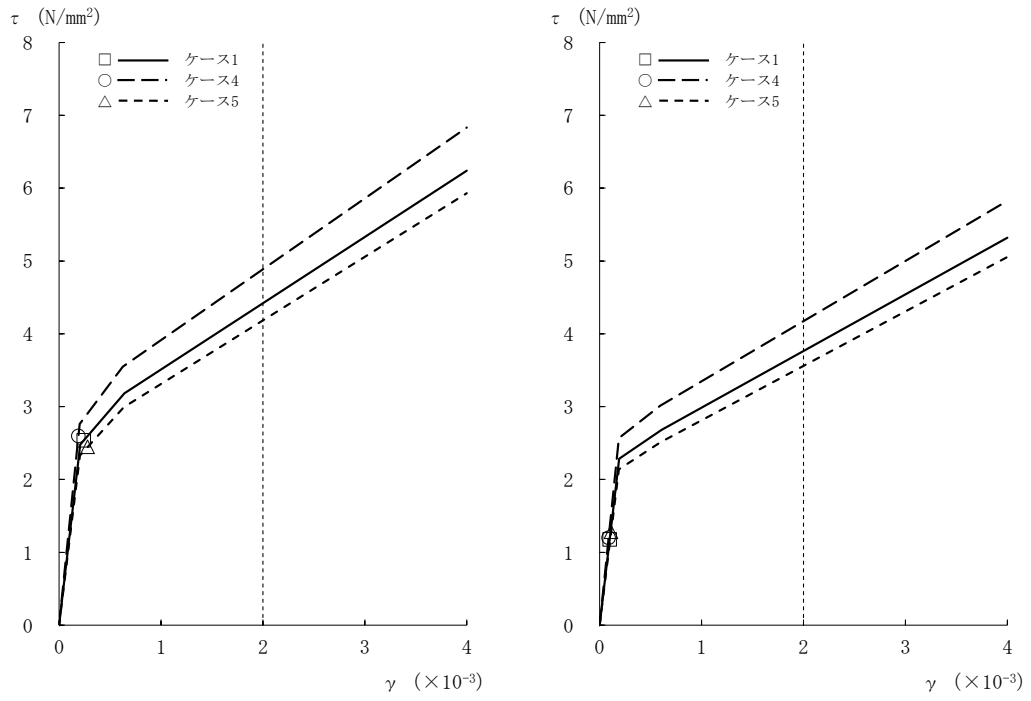


[外壁部]



[RCCV部]

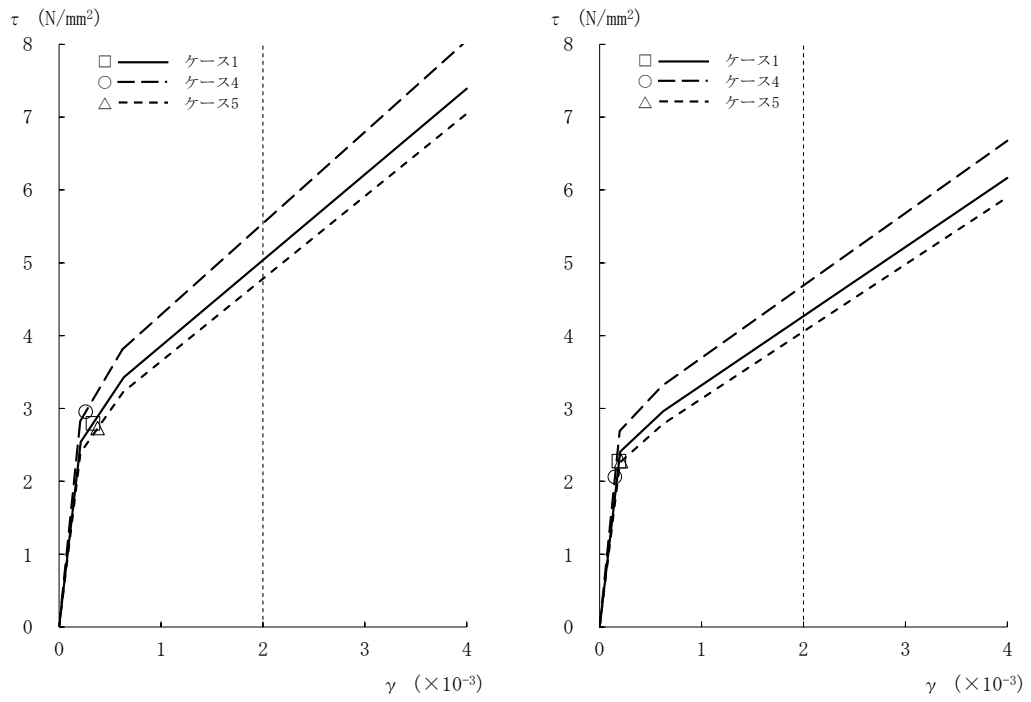
図2-54 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, 2F) (4/8)



[外壁部]

[RCCV部]

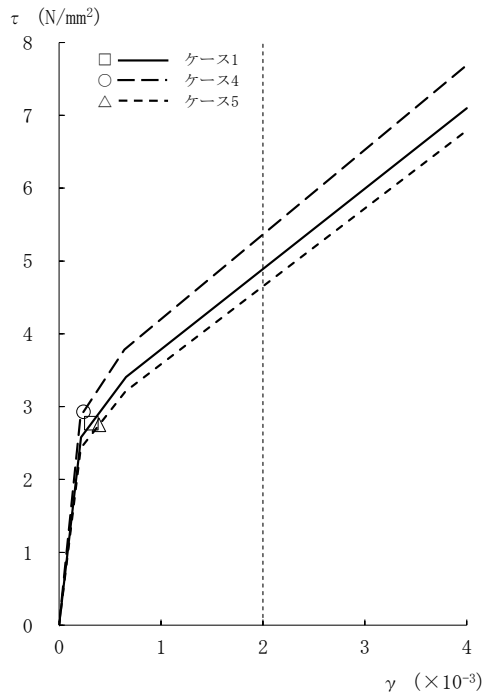
図2-54 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, 1F) (5/8)



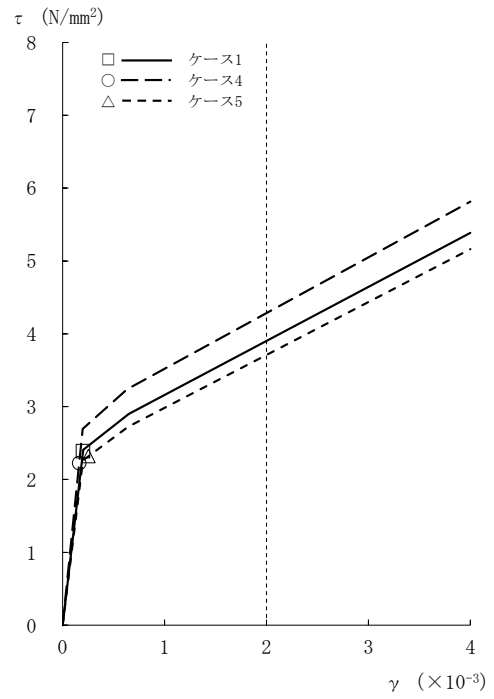
[外壁部]

[RCCV部]

図2-54 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, B1F) (6/8)

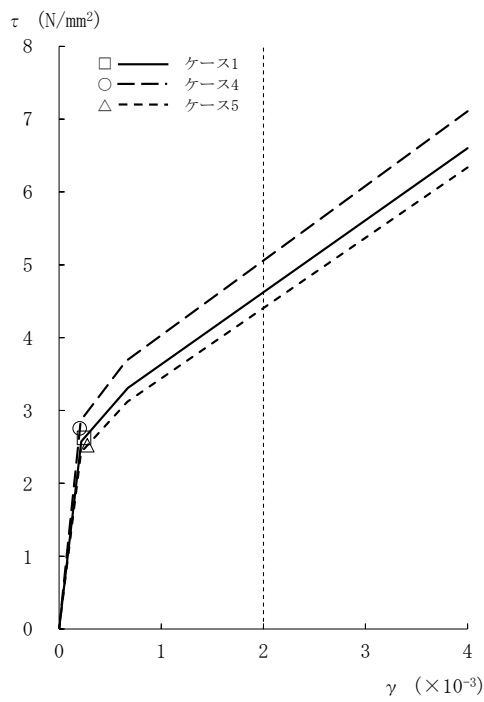


[外壁部]

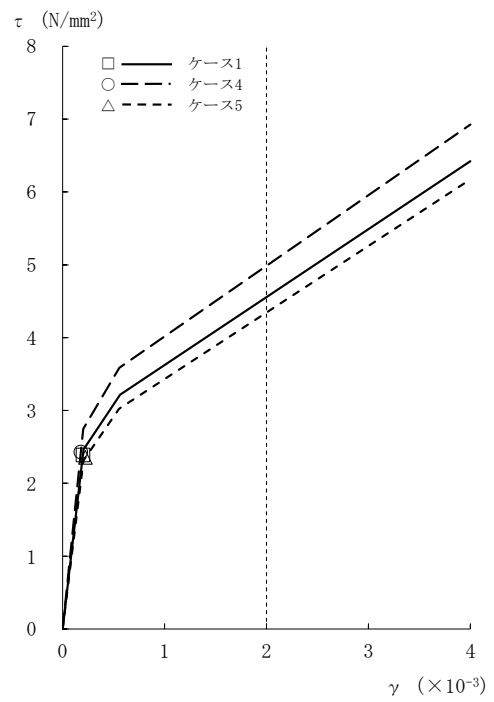


[RCCV部]

図2-54 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-1, EW方向, B2F) (7/8)

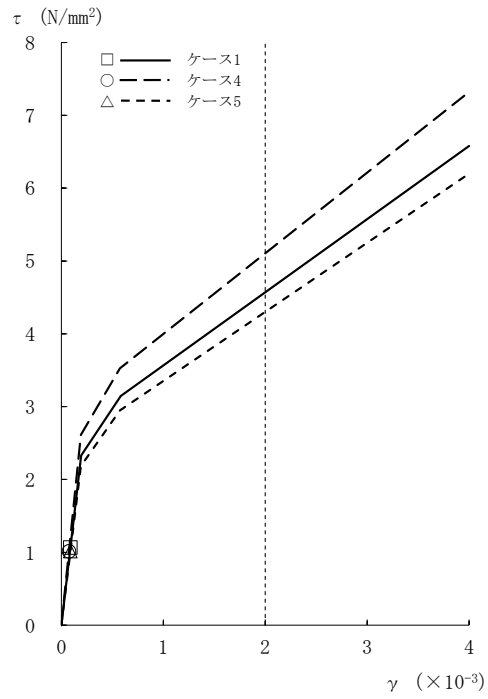


[外壁部]



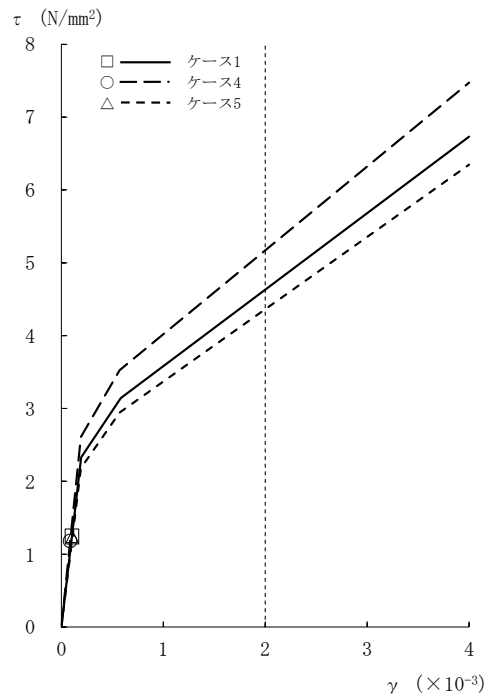
[RCCV部]

図2-54 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-1, EW方向, B3F) (8/8)



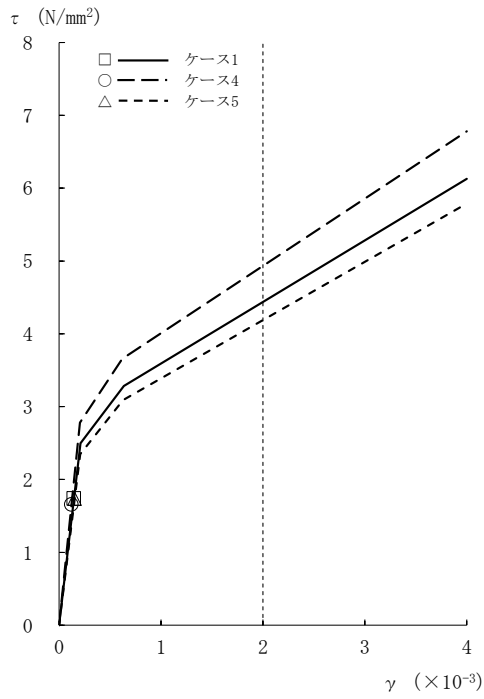
[外壁部]

図2-55 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, EW方向, CRF) (1/8)

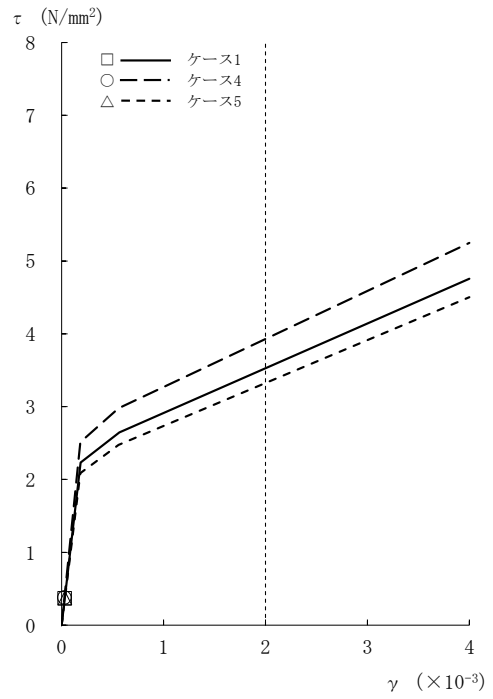


[外壁部]

図2-55 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, EW方向, 4F) (2/8)

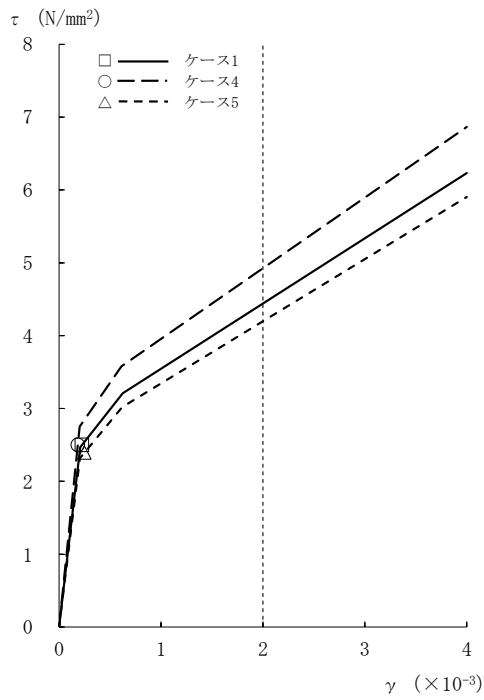


[外壁部]

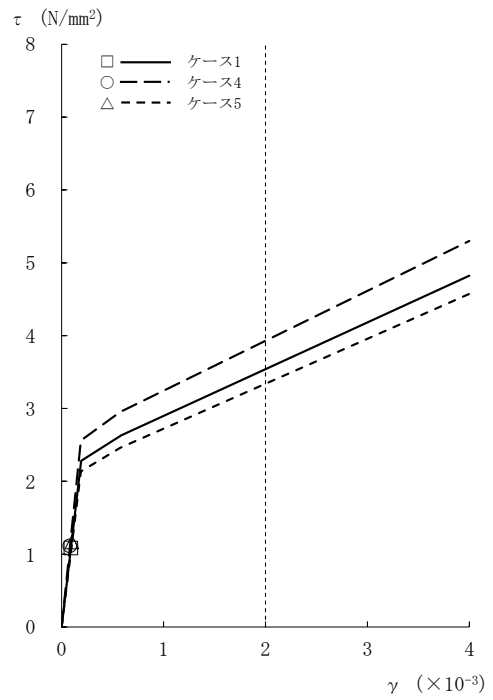


[RCCV部]

図2-55 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, 3F) (3/8)

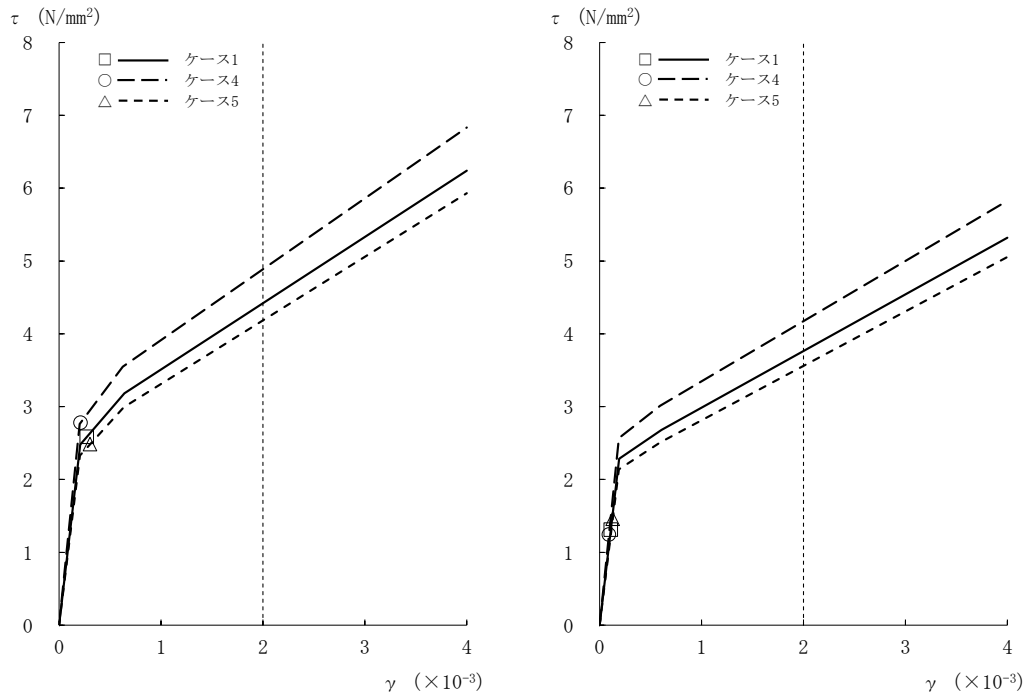


[外壁部]



[RCCV部]

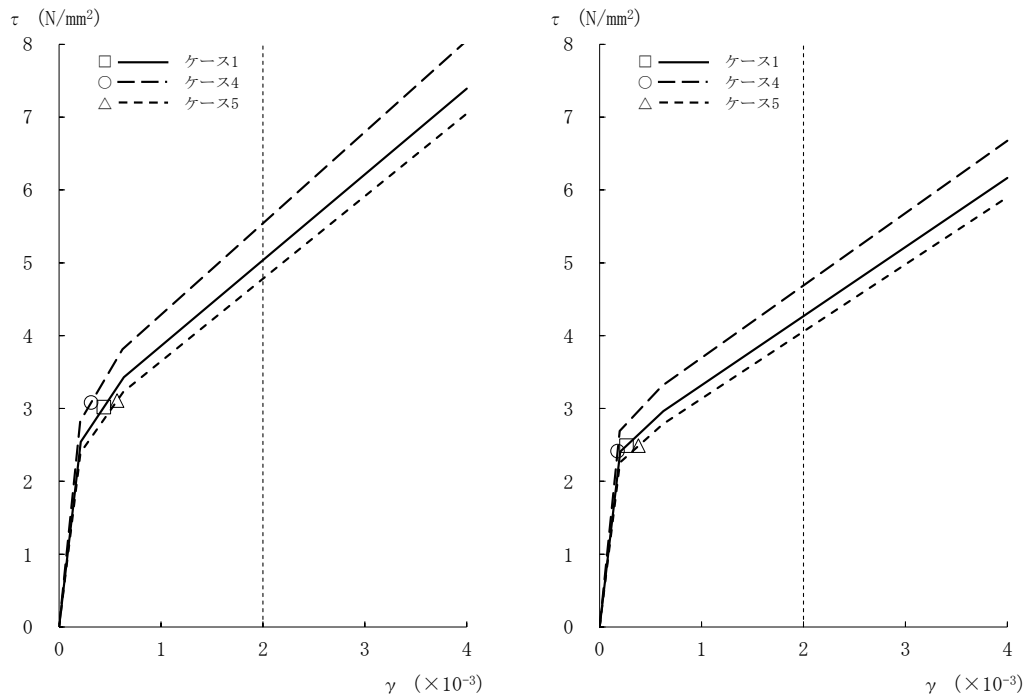
図2-55 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, 2F) (4/8)



[外壁部]

[RCCV部]

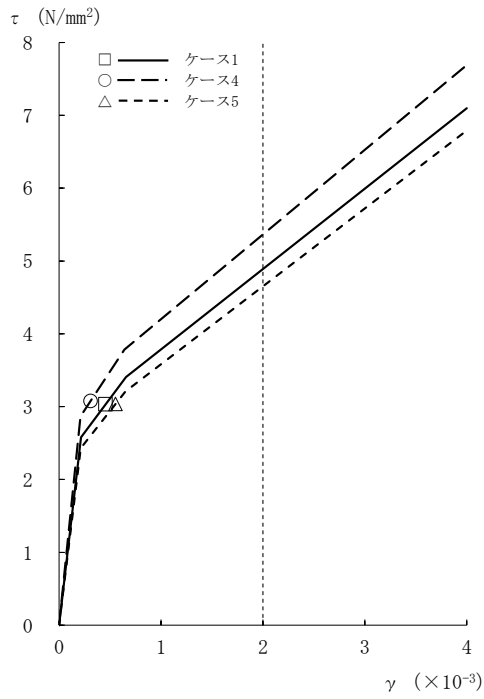
図2-55 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, 1F) (5/8)



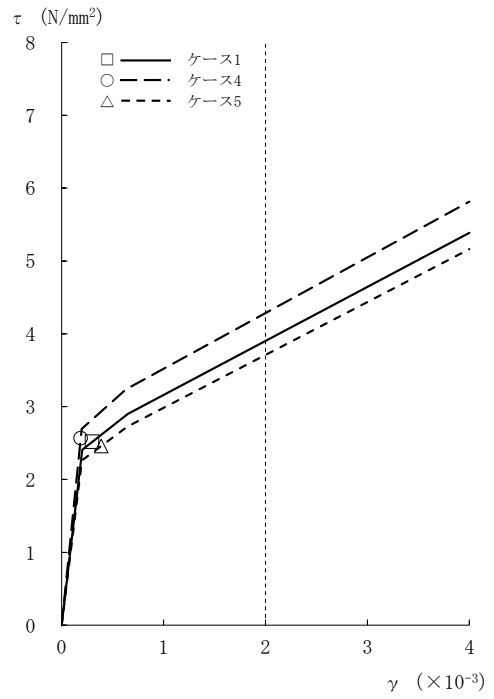
[外壁部]

[RCCV部]

図2-55 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, B1F) (6/8)

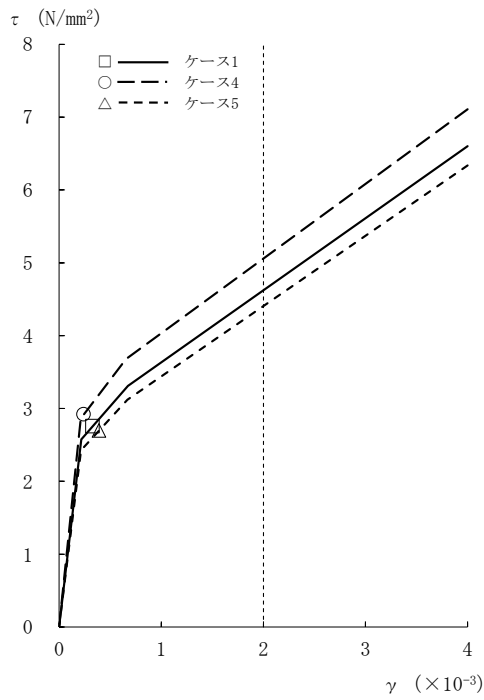


[外壁部]

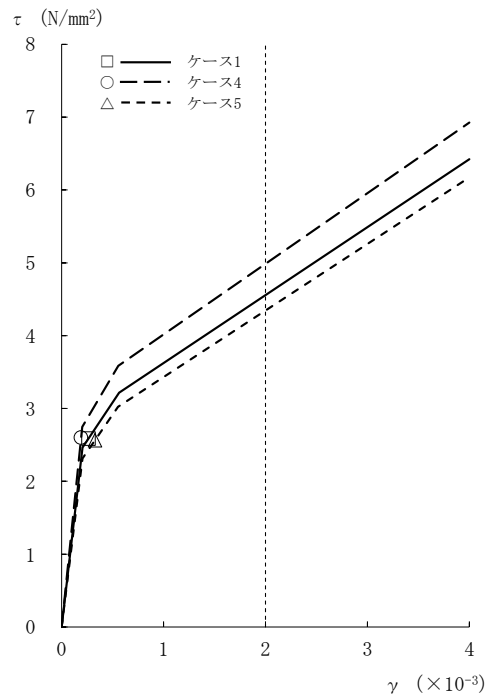


[RCCV部]

図2-55 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-2, EW方向, B2F) (7/8)

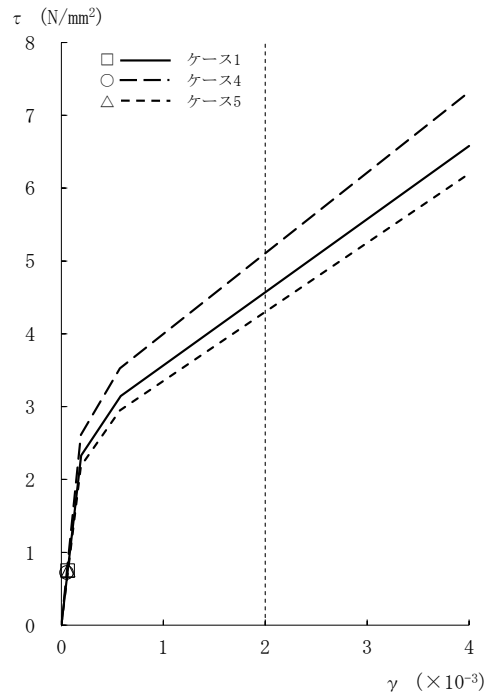


[外壁部]



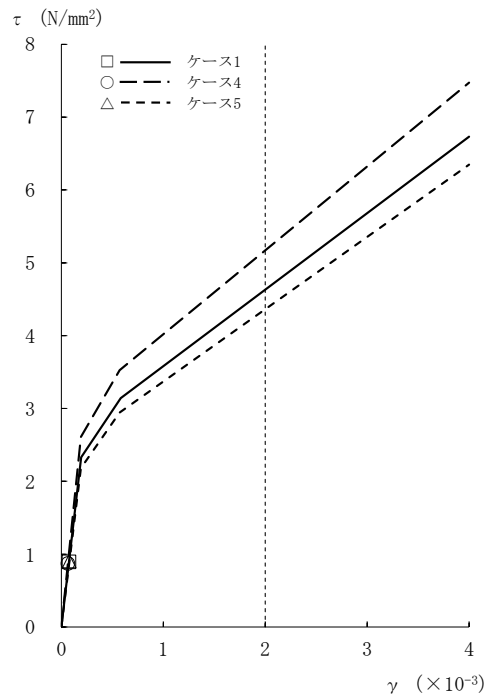
[RCCV部]

図2-55 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-2, EW方向, B3F) (8/8)



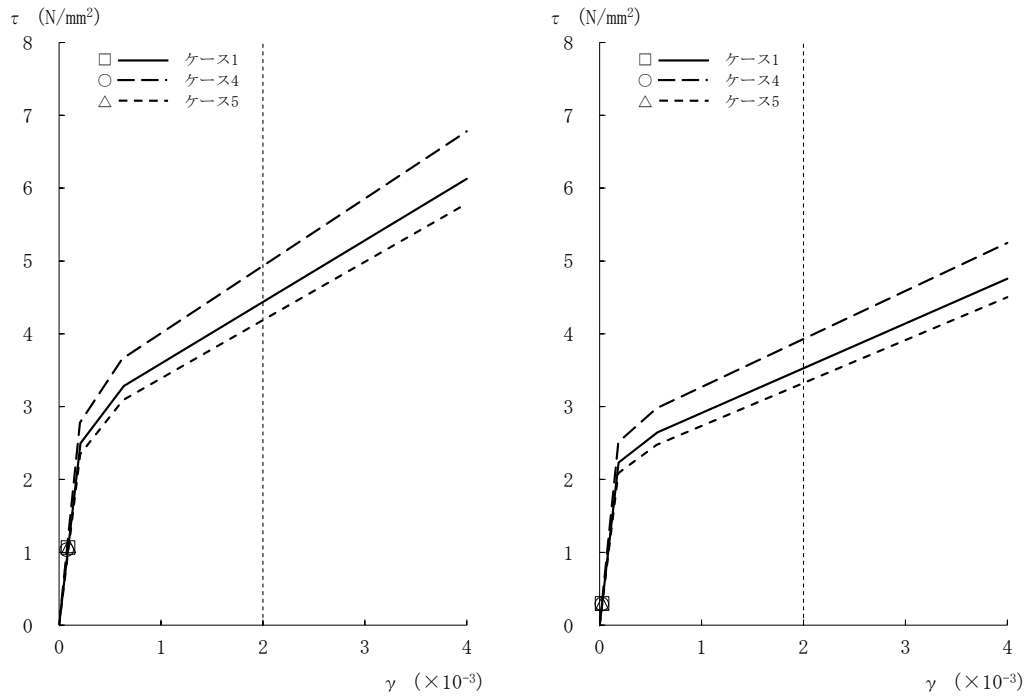
[外壁部]

図2-56 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

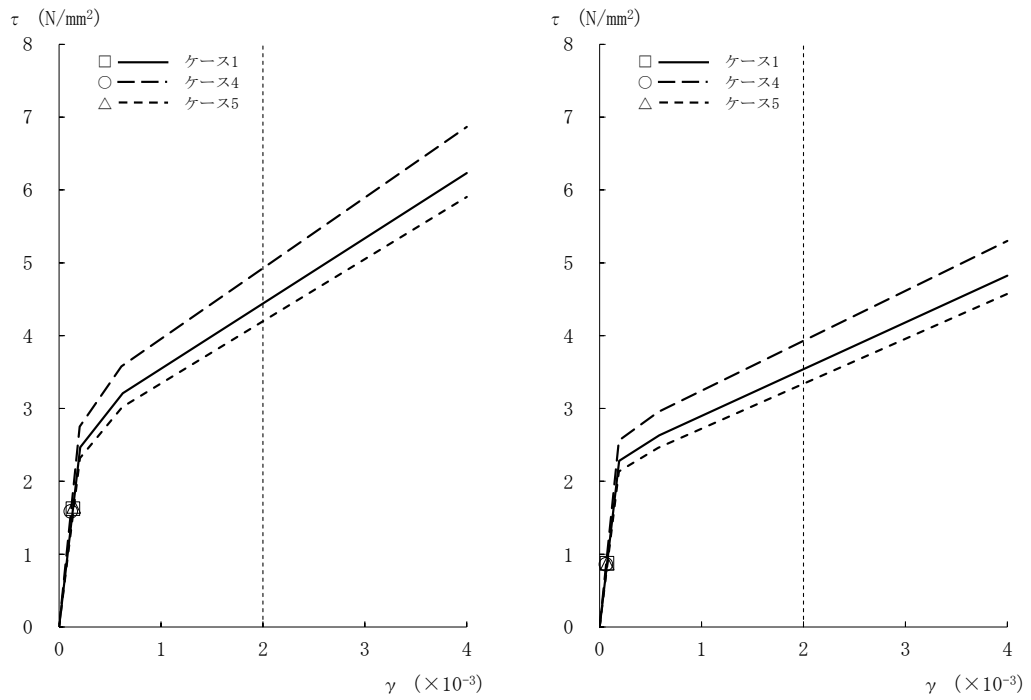
図2-56 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, 4F) (2/8)



[外壁部]

[RCCV部]

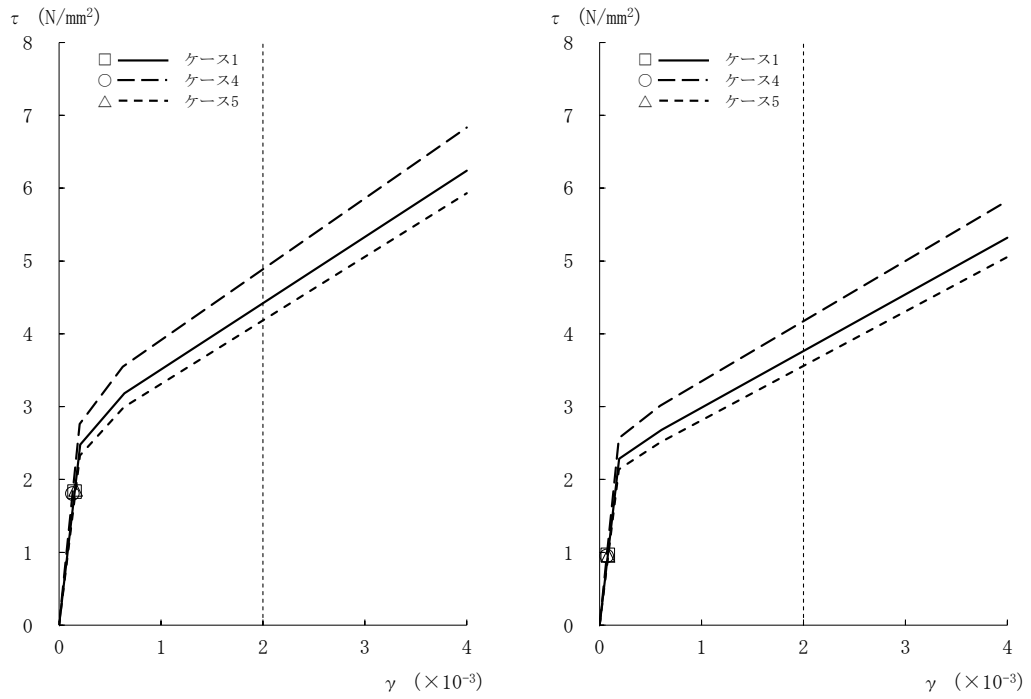
図2-56 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, 3F) (3/8)



[外壁部]

[RCCV部]

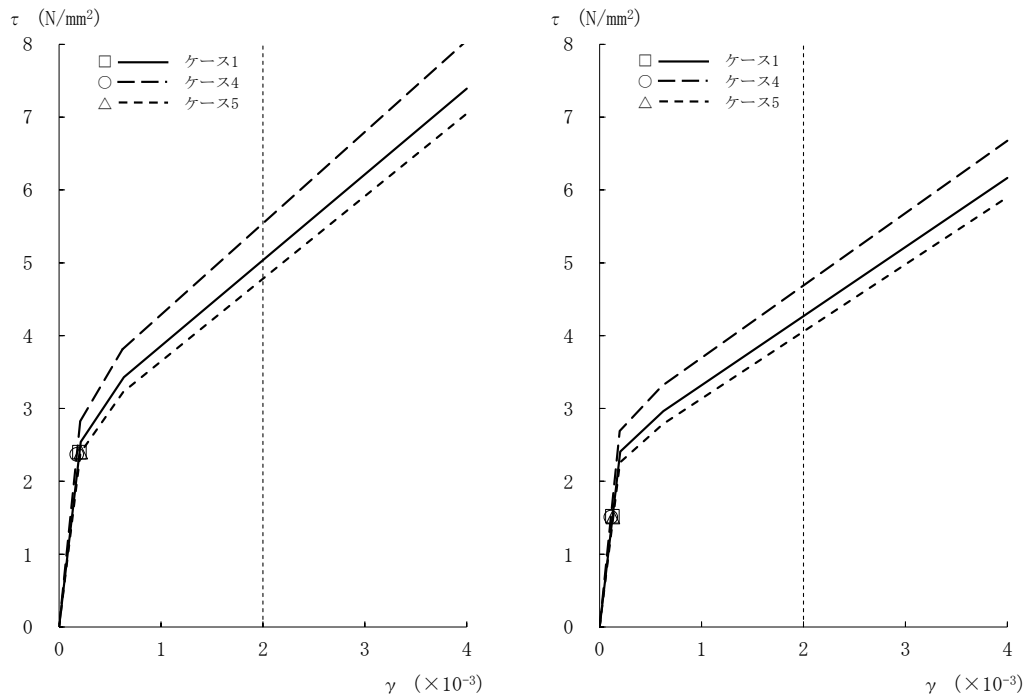
図2-56 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, 2F) (4/8)



[外壁部]

[RCCV部]

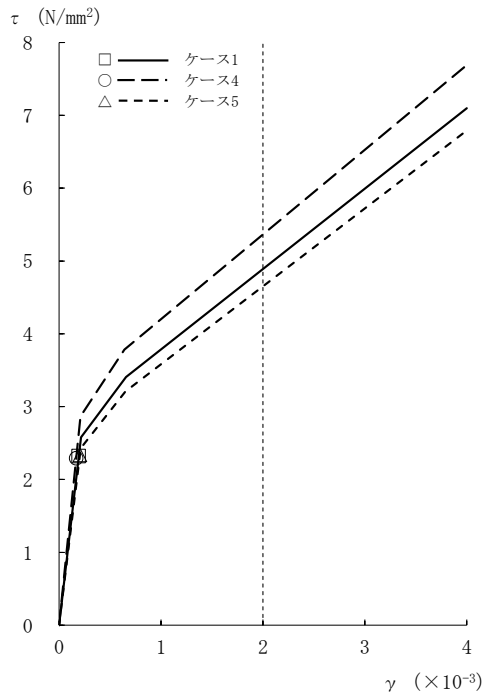
図2-56 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, 1F) (5/8)



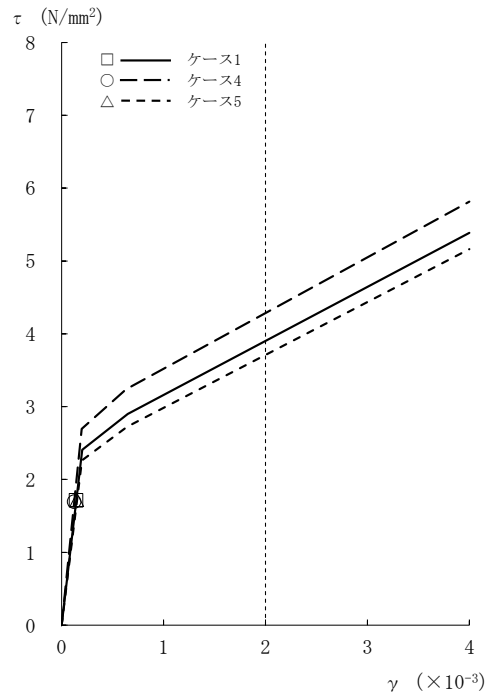
[外壁部]

[RCCV部]

図2-56 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, B1F) (6/8)

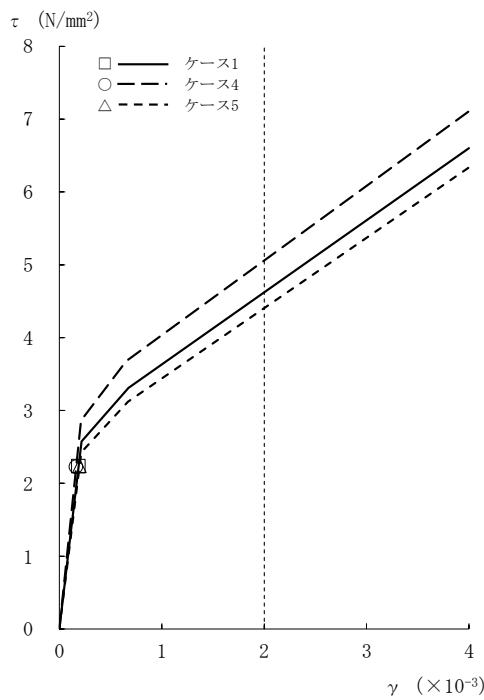


[外壁部]

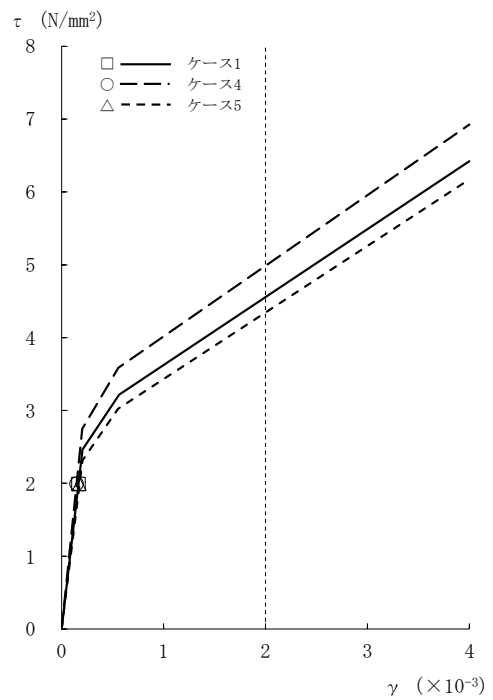


[RCCV部]

図2-56 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-3, EW方向, B2F) (7/8)

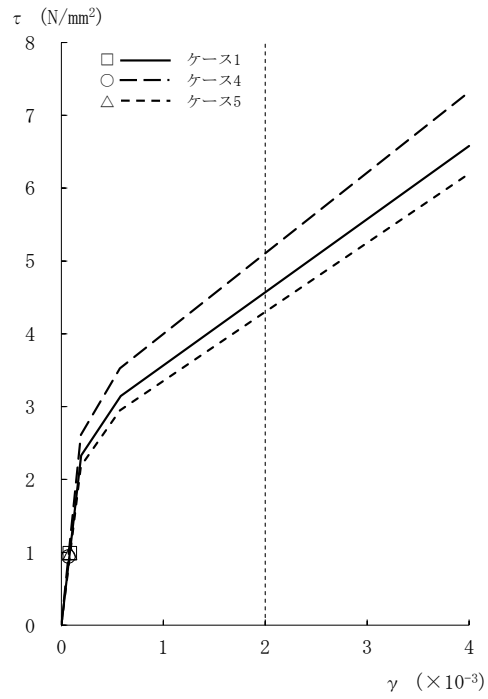


[外壁部]



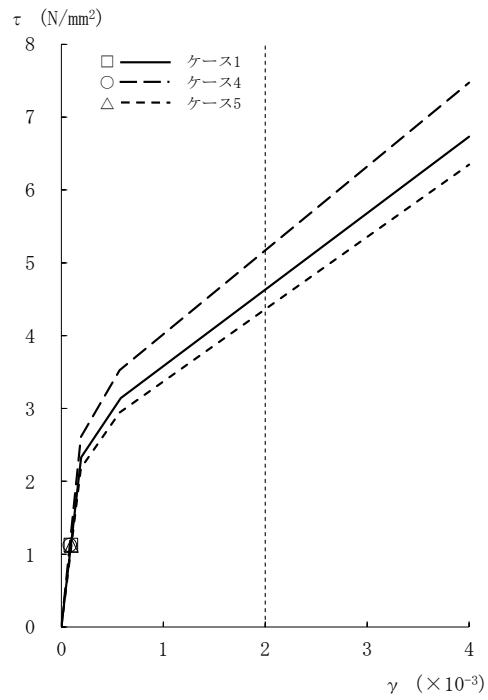
[RCCV部]

図2-56 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-3, EW方向, B3F) (8/8)



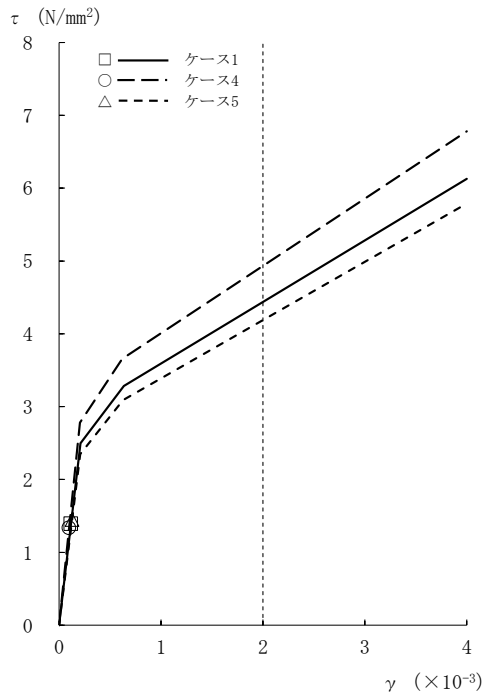
[外壁部]

図2-57 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, CRF) (1/8)

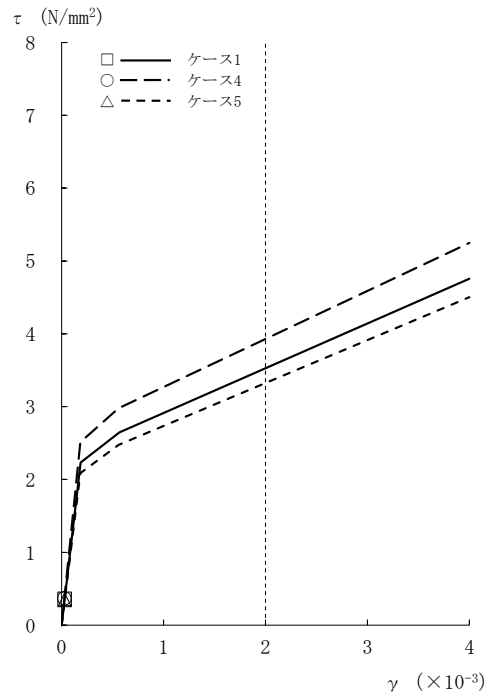


[外壁部]

図2-57 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, 4F) (2/8)

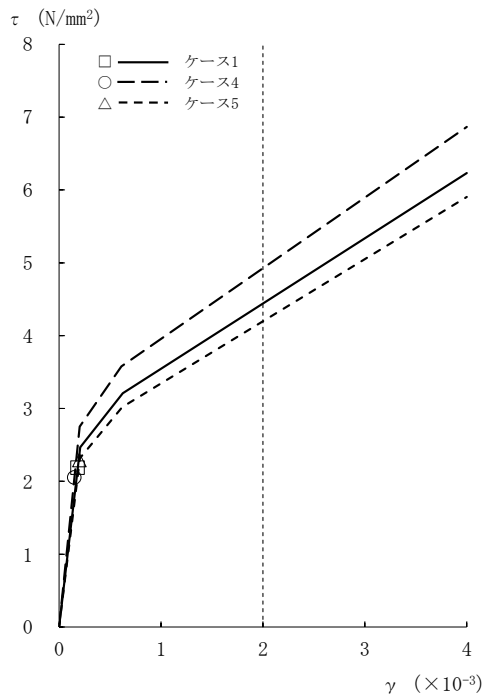


[外壁部]

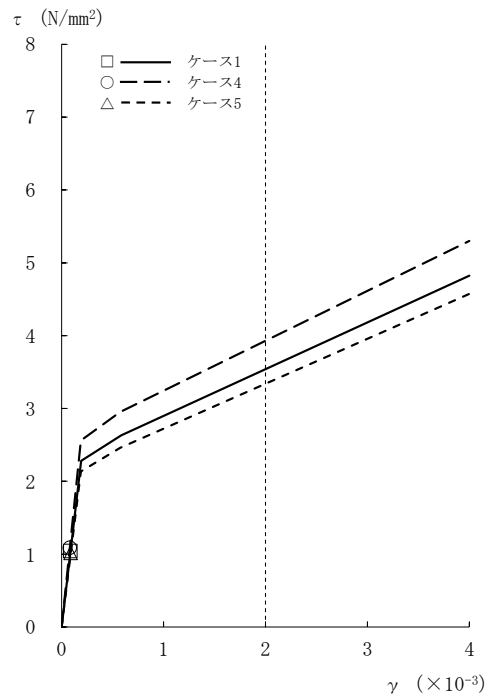


[RCCV部]

図2-57 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, 3F) (3/8)

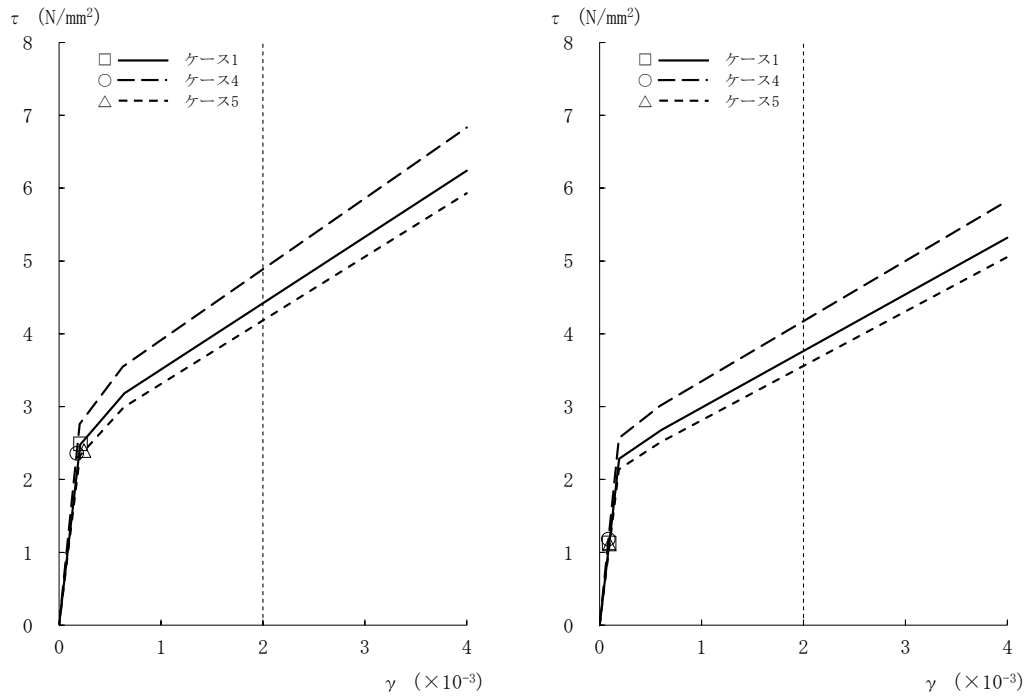


[外壁部]



[RCCV部]

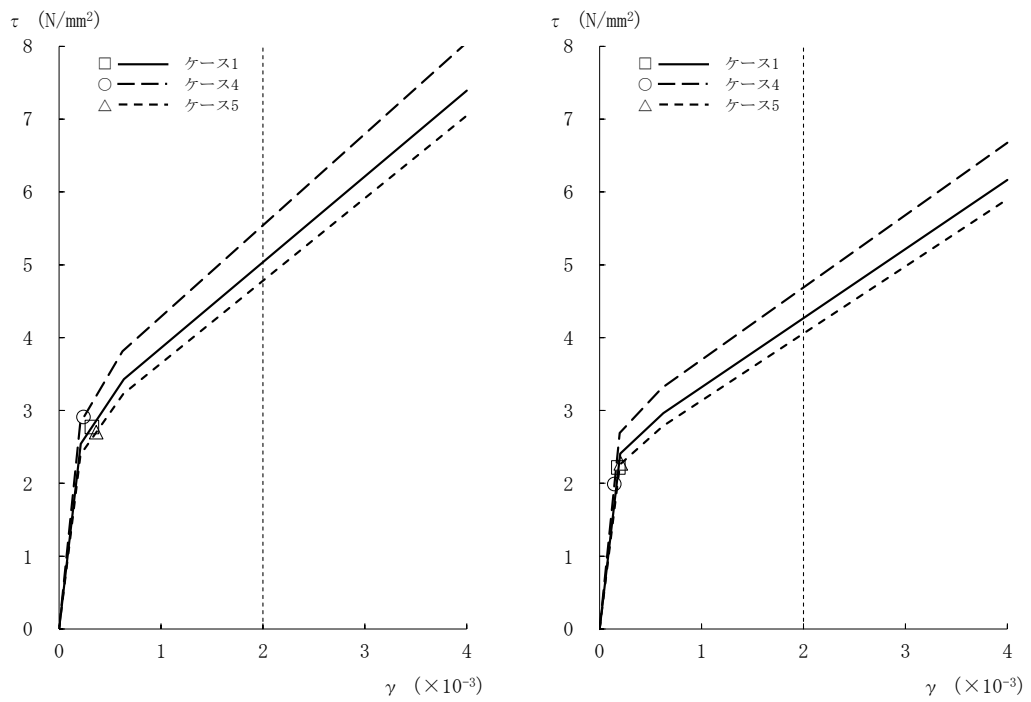
図2-57 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, 2F) (4/8)



[外壁部]

[RCCV部]

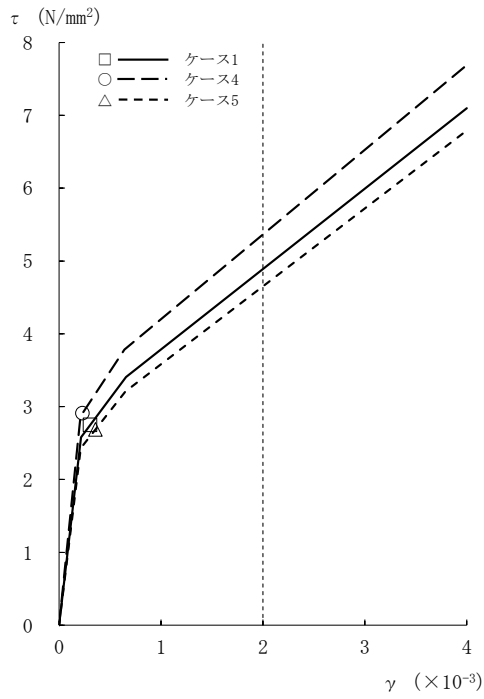
図2-57 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, 1F) (5/8)



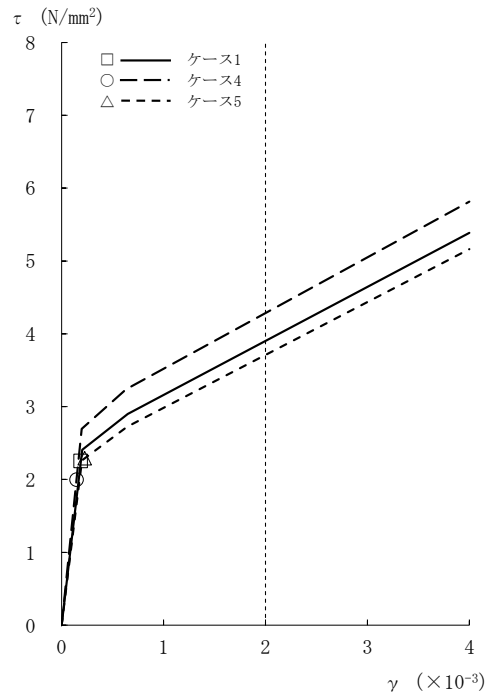
[外壁部]

[RCCV部]

図2-57 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, B1F) (6/8)

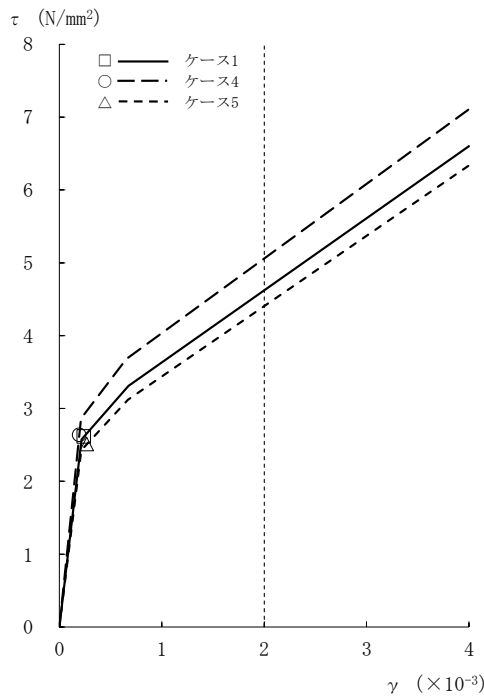


[外壁部]

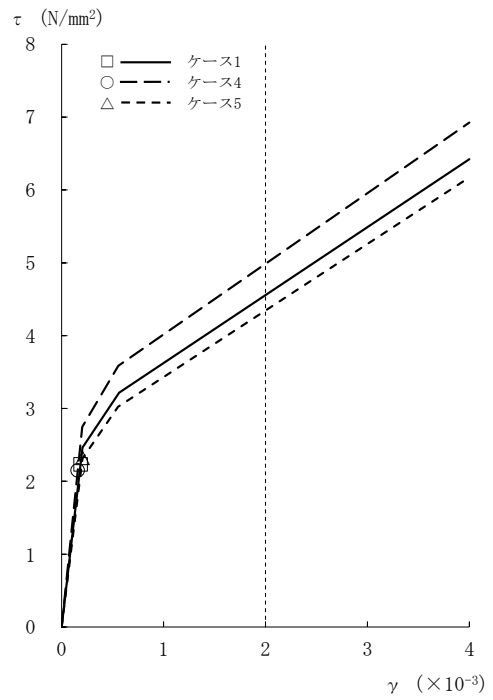


[RCCV部]

図2-57 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-8, EW方向, B2F) (7/8)

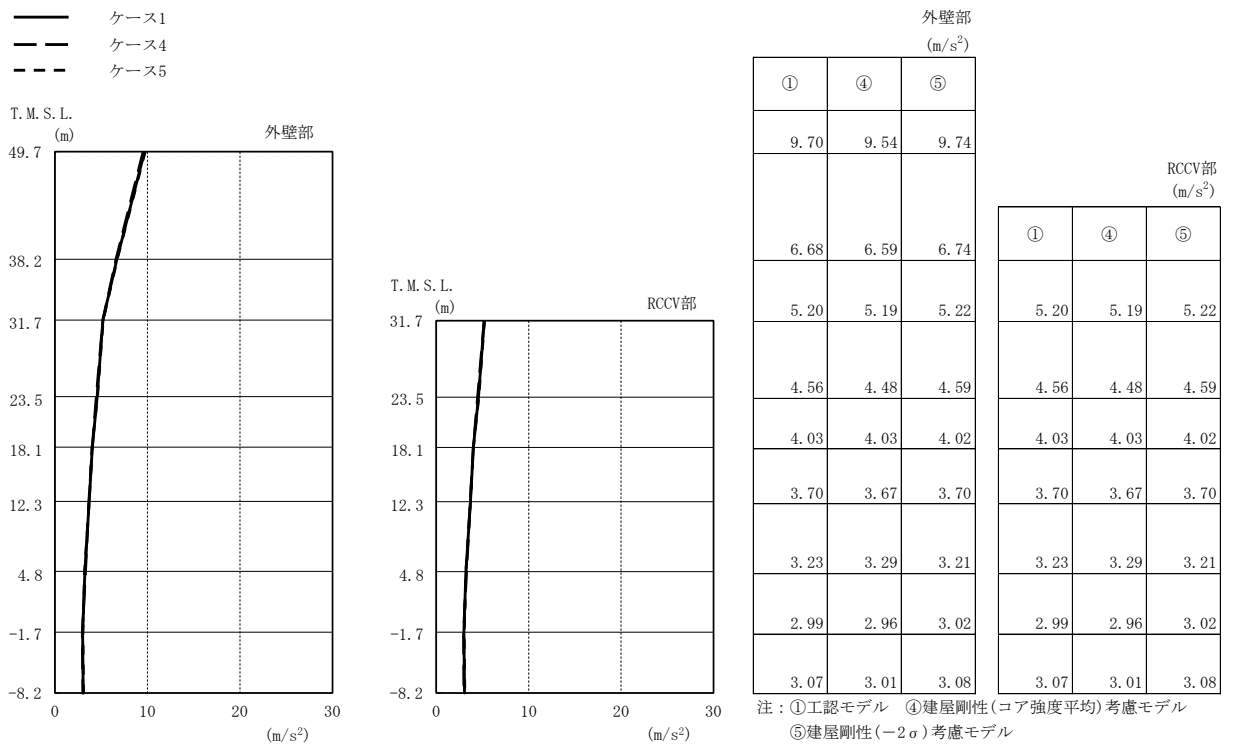


[外壁部]

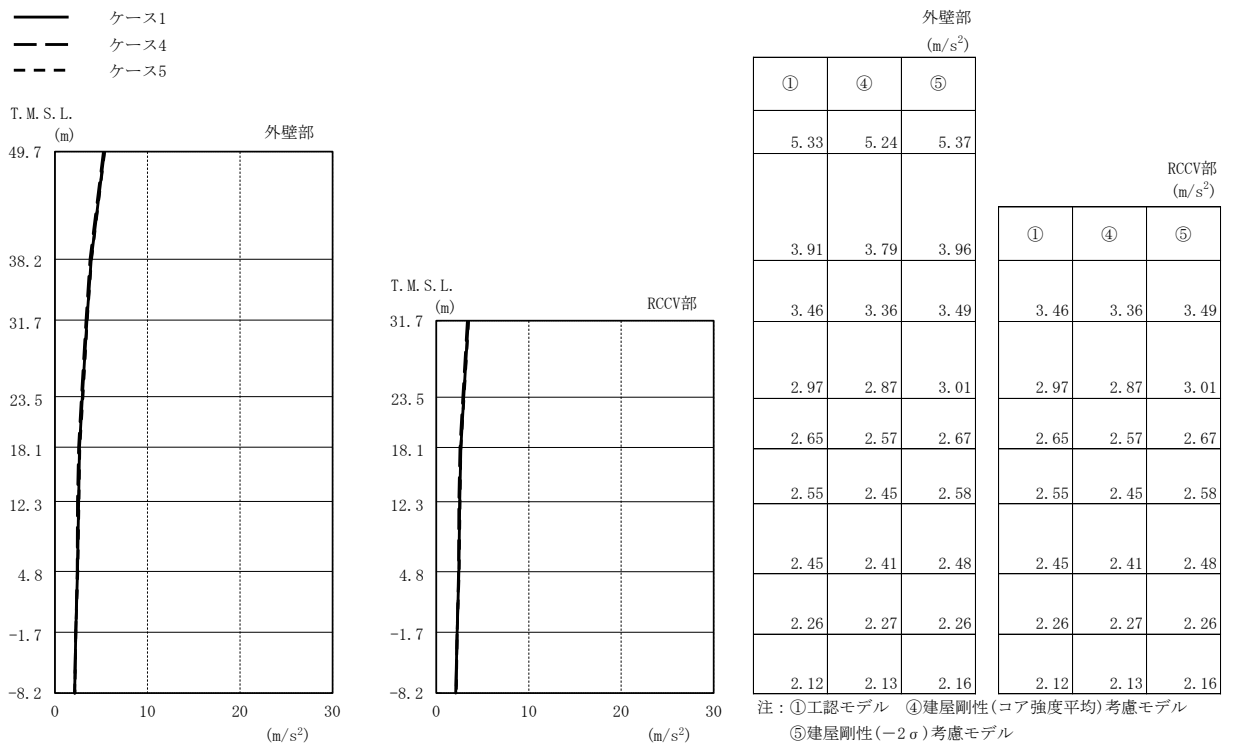


[RCCV部]

図2-57 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-8, EW方向, B3F) (8/8)

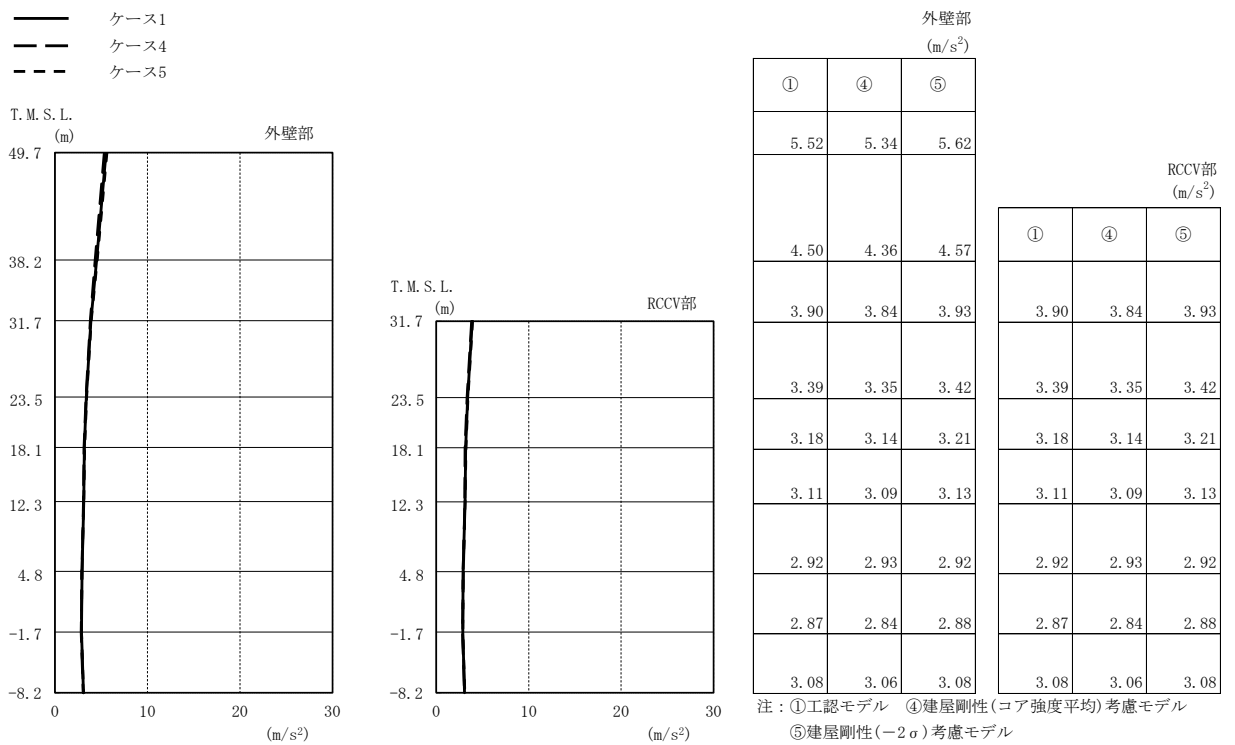


(a) Sd-1

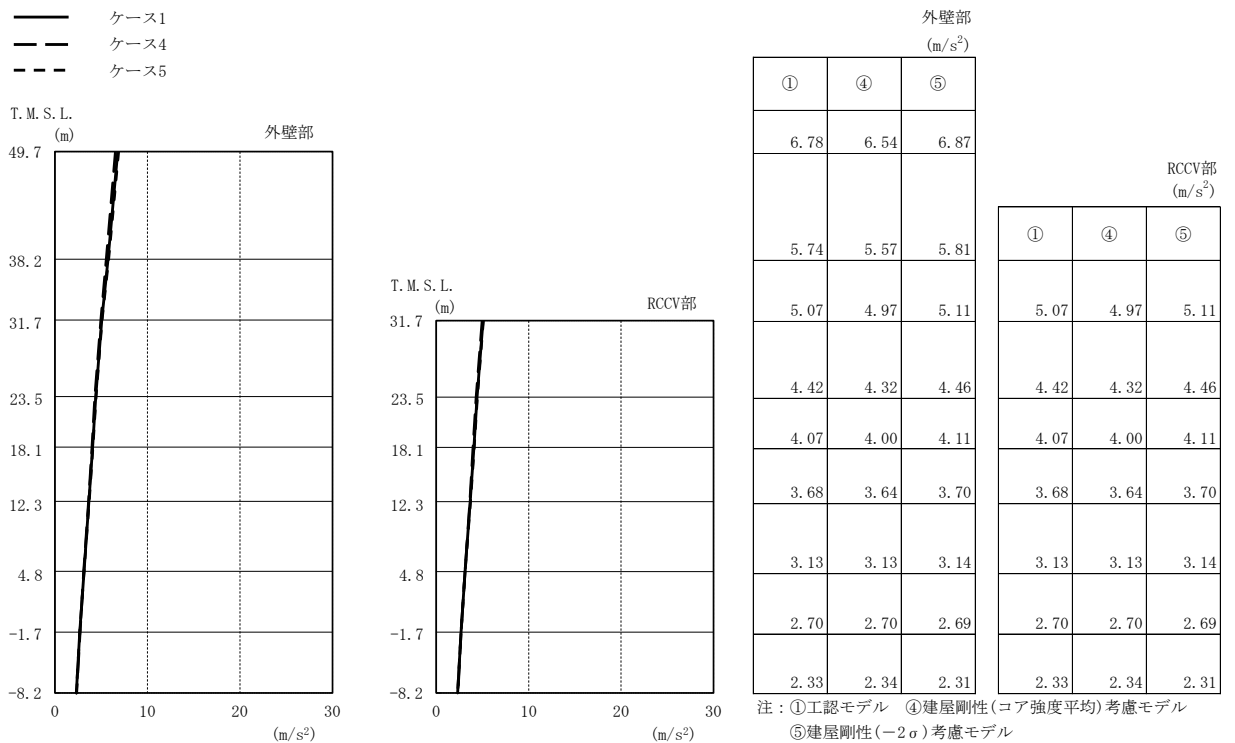


(b) Sd-2

図2-58 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d, NS方向) (1/2)

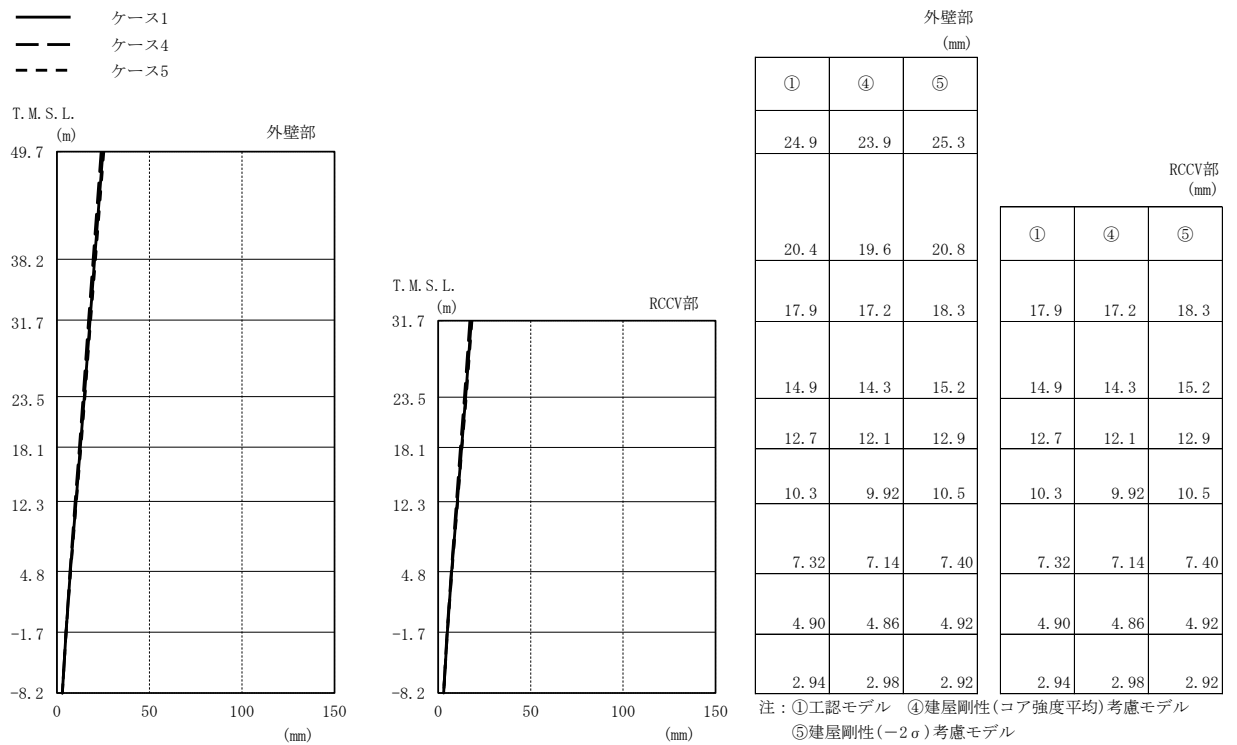


(c) Sd-3

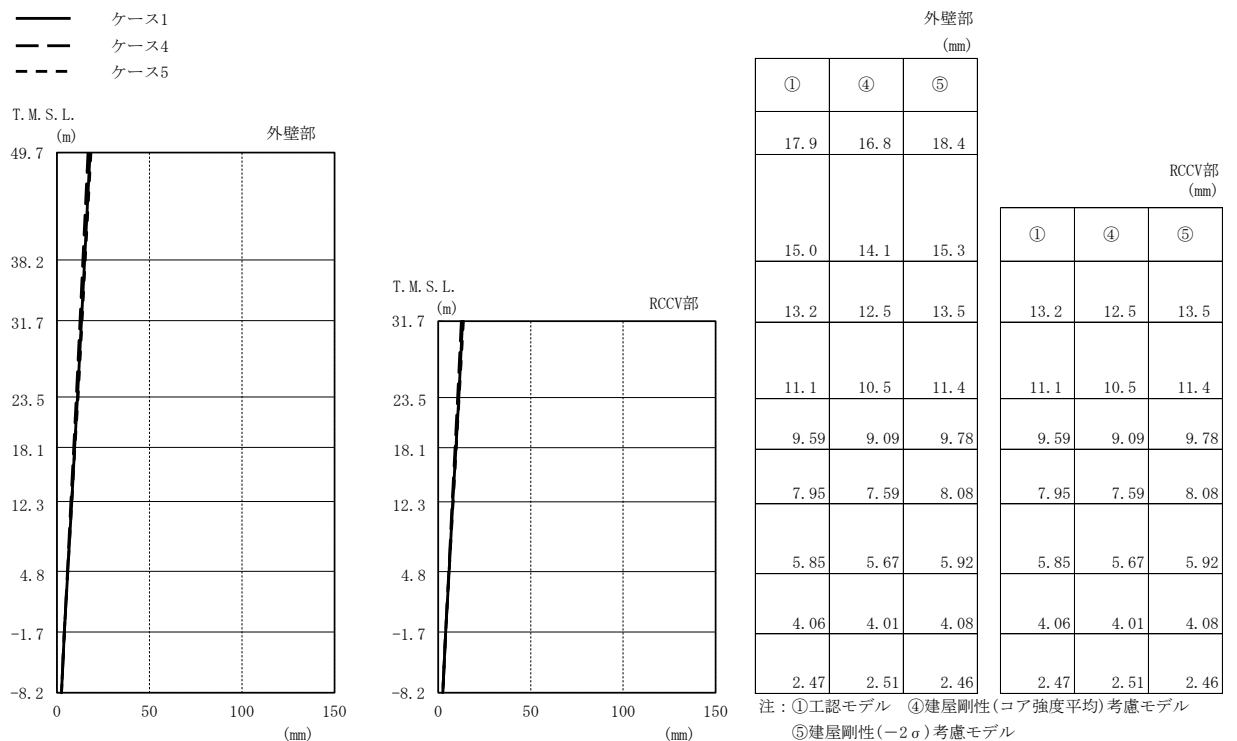


(d) Sd-8

図2-58 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d，NS方向）（2/2）

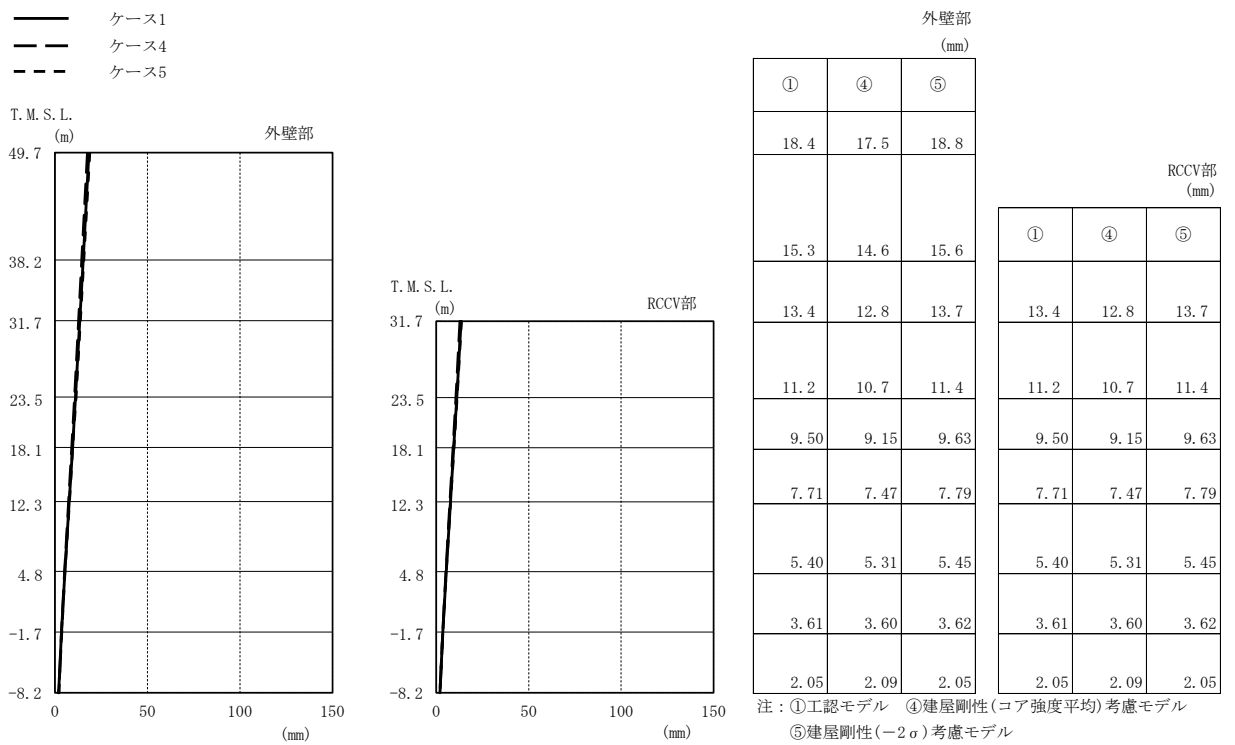


(a) Sd-1

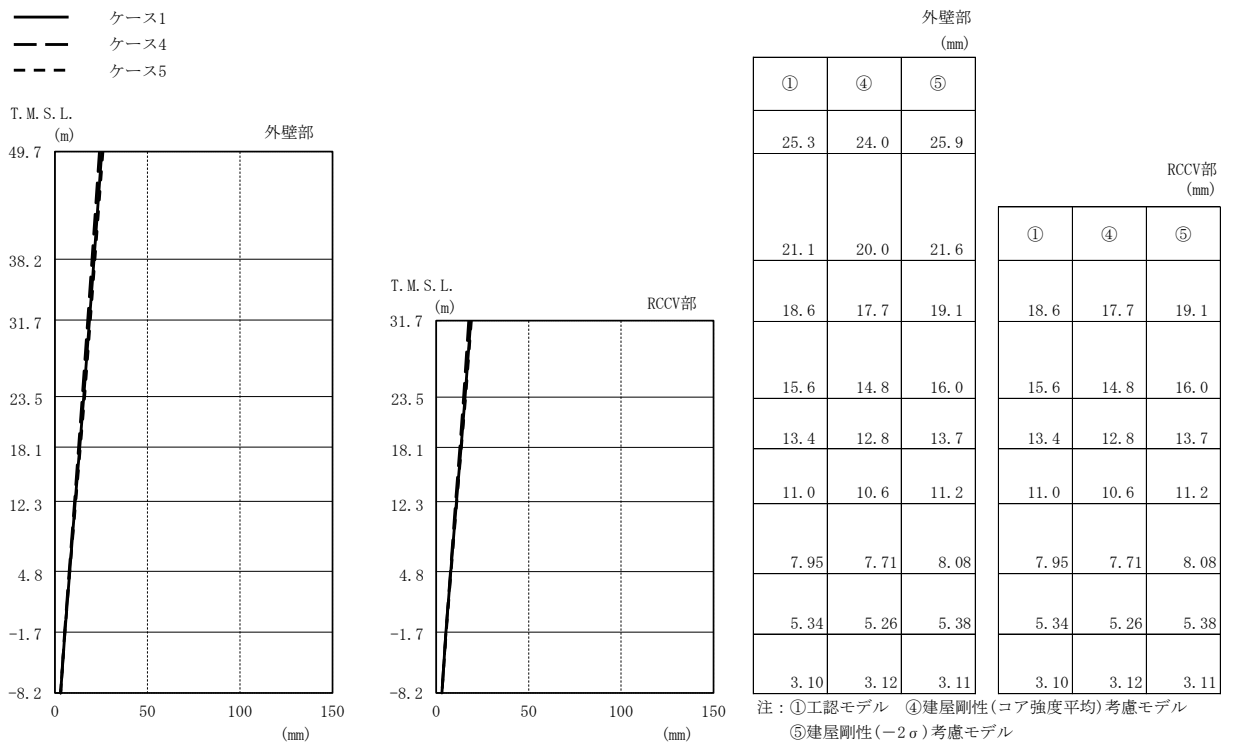


(b) Sd-2

図2-59 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d, NS方向) (1/2)

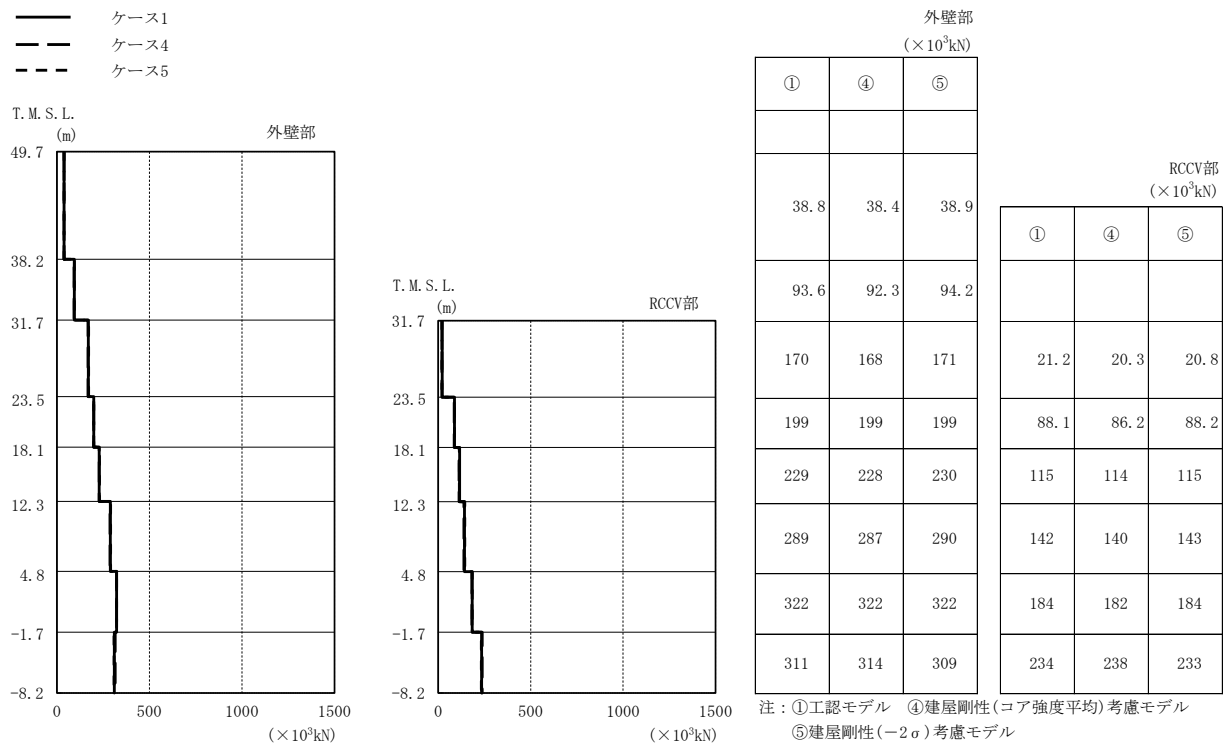


(c) Sd-3

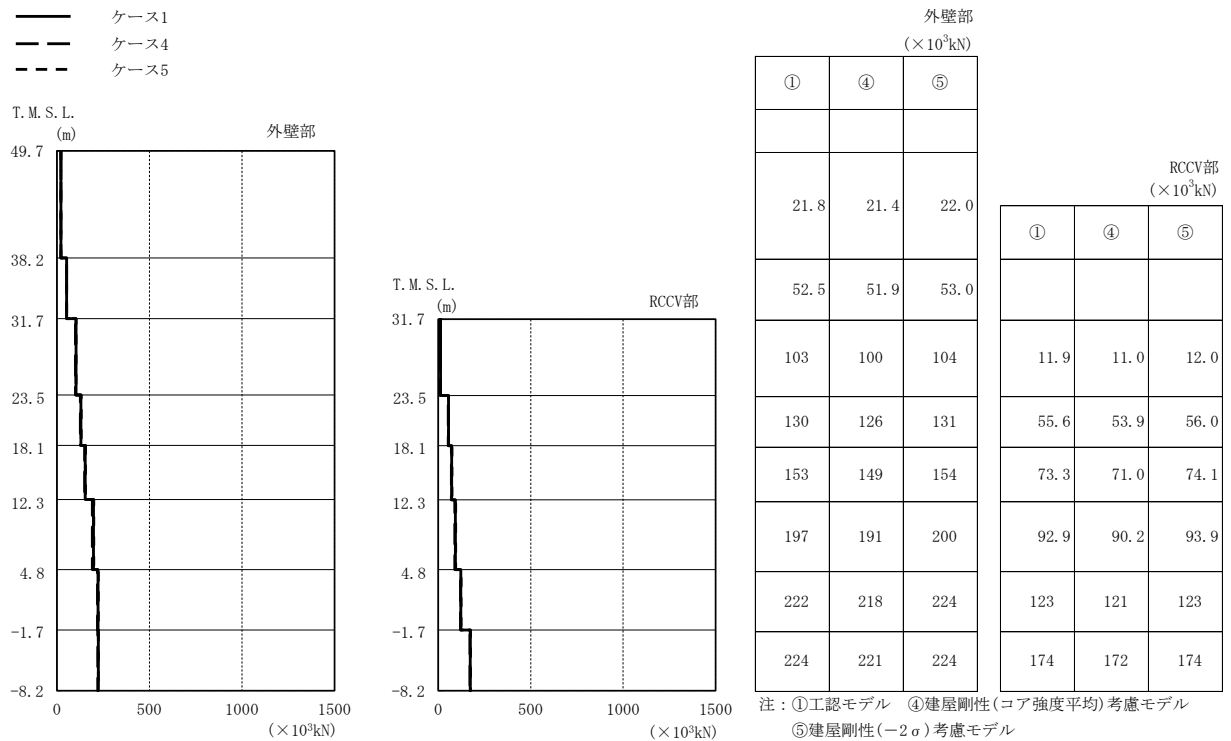


(d) Sd-8

図2-59 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d, NS方向) (2/2)

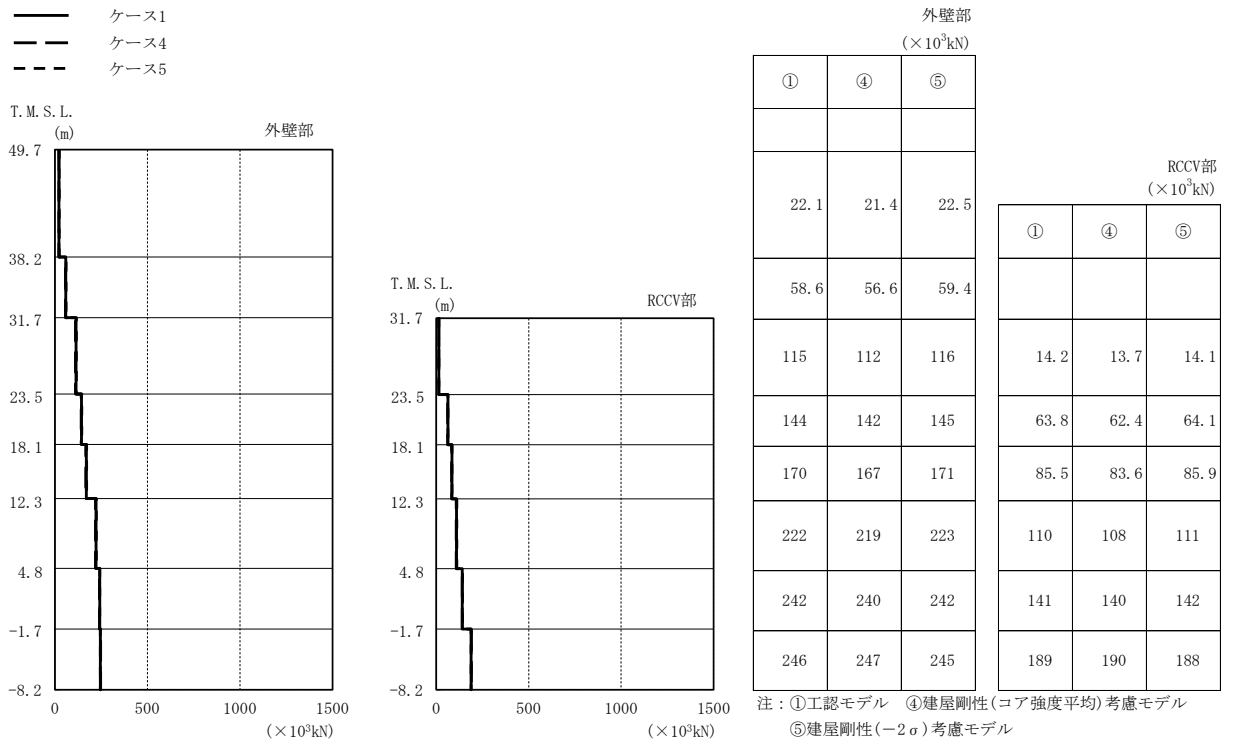


(a) Sd-1

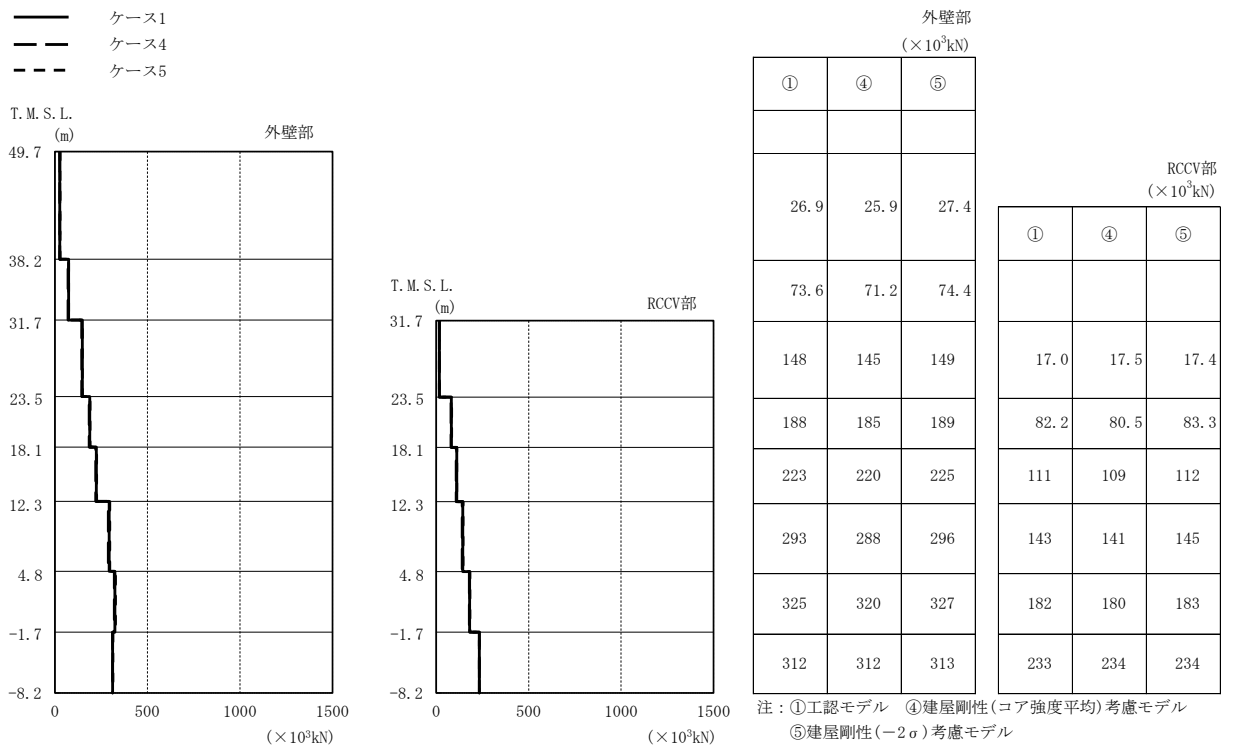


(b) Sd-2

図2-60 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d, NS方向) (1/2)

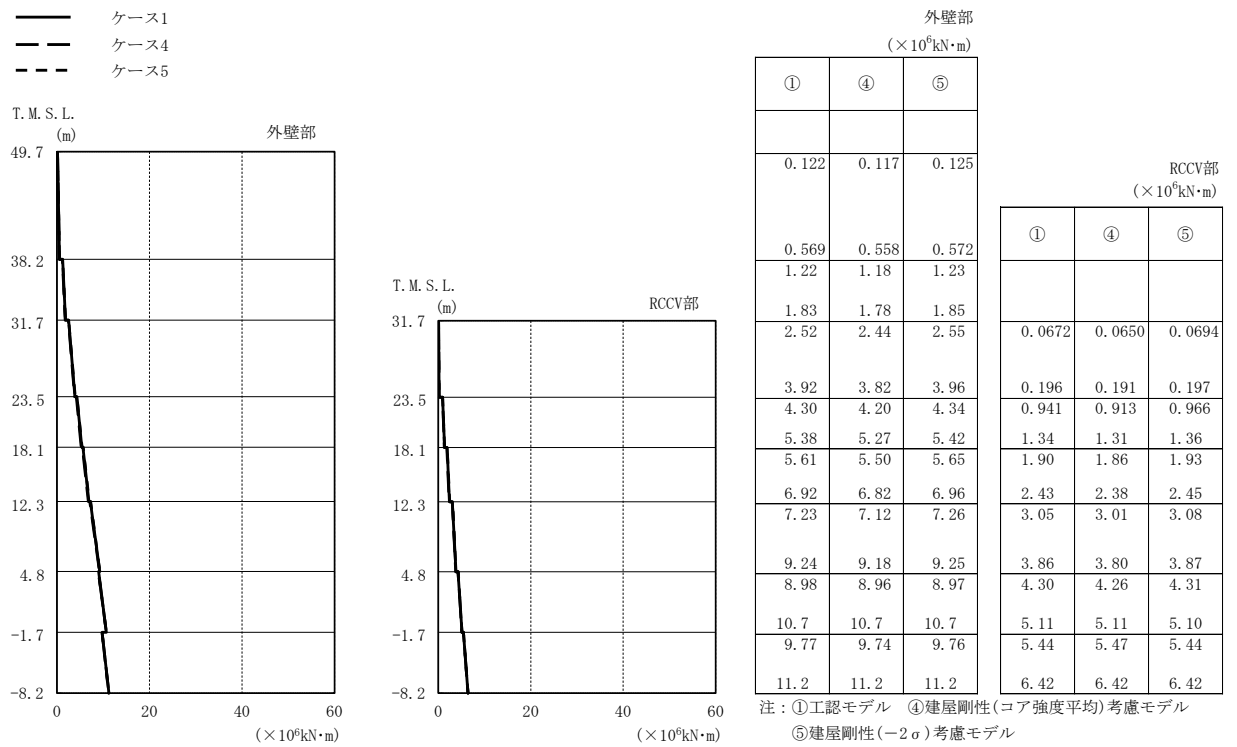


(c) Sd-3

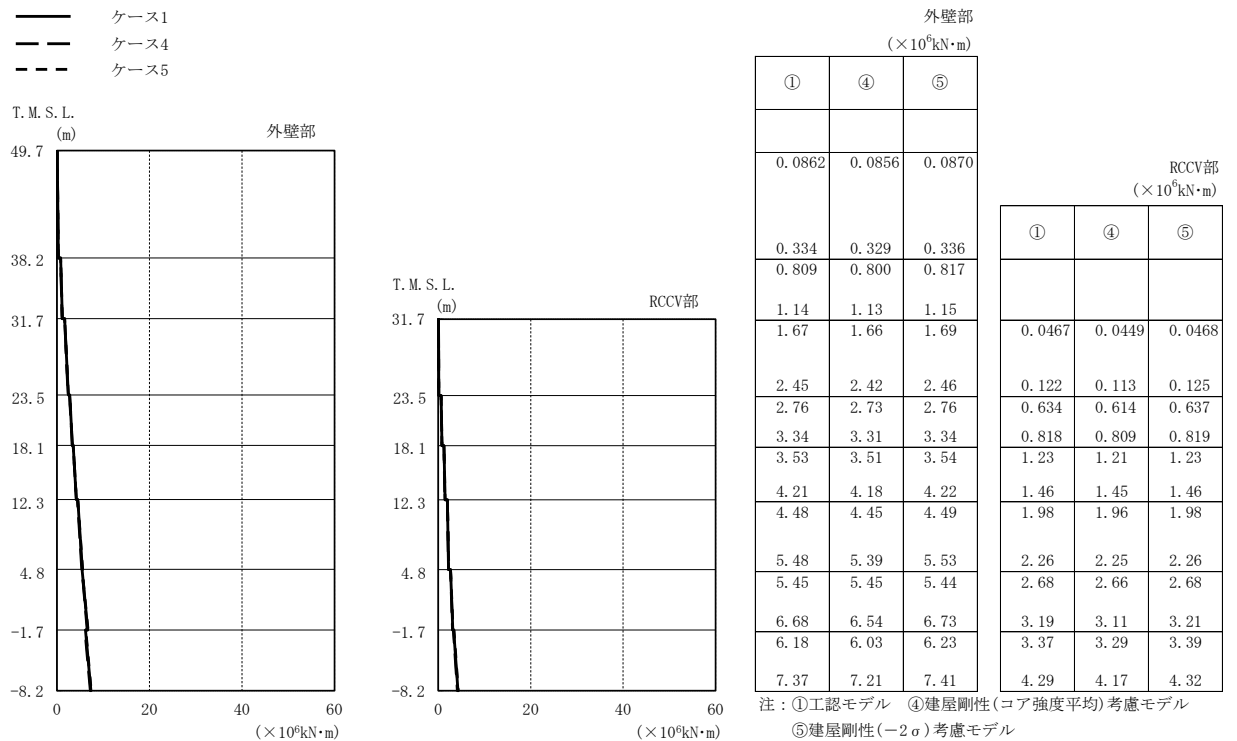


(d) Sd-8

図2-60 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d, NS方向) (2/2)

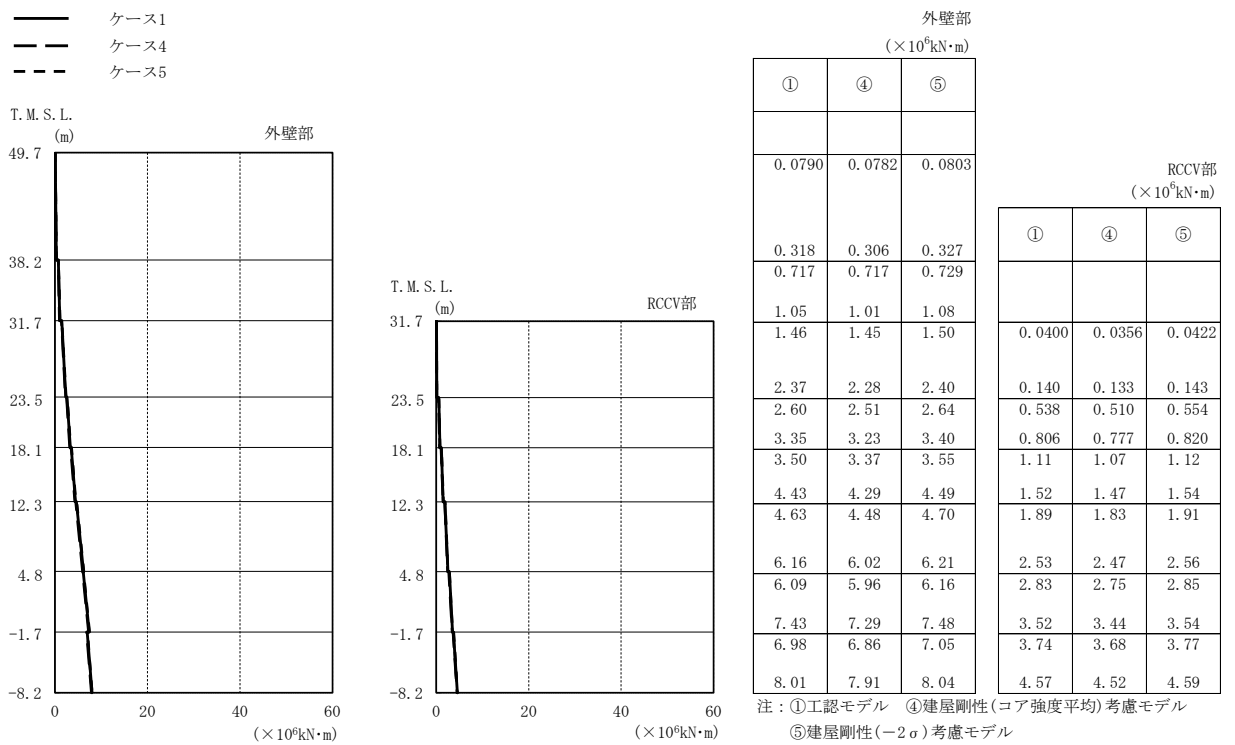


(a) Sd-1

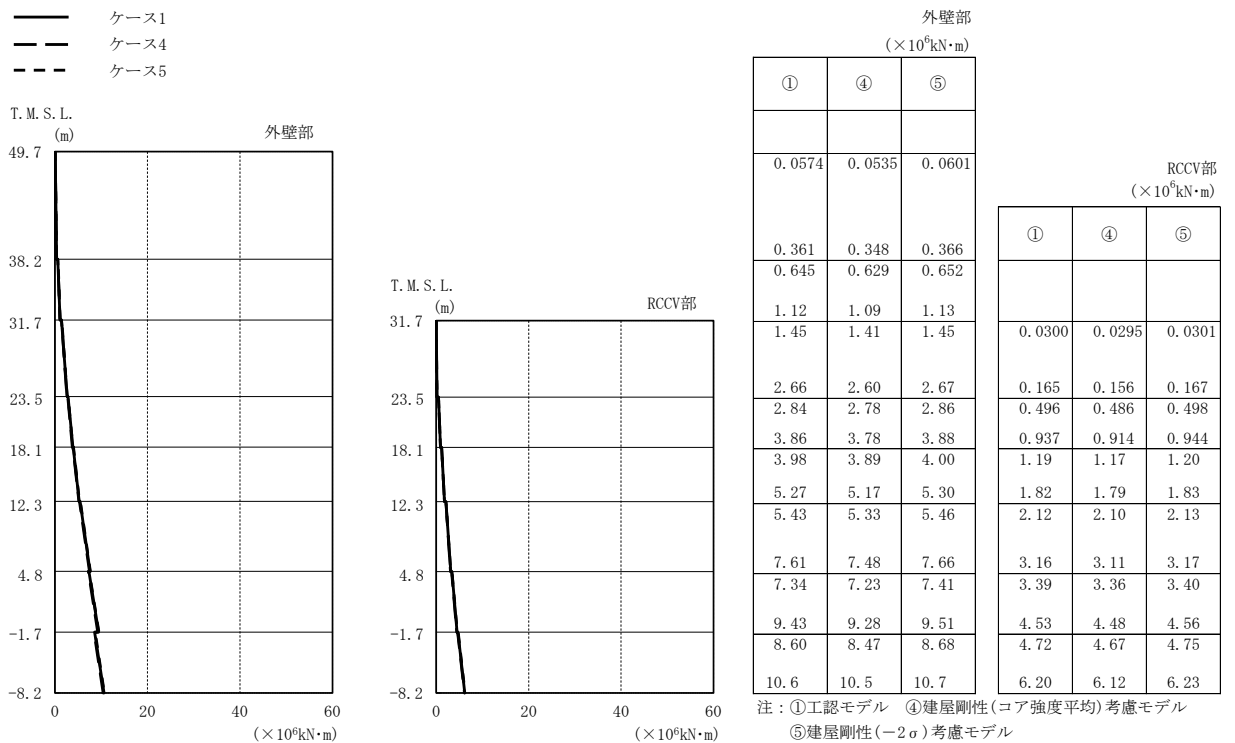


(b) Sd-2

図2-61 最大応答曲げモーメント(弾性設計用地震動Sd, NS方向)(1/2)

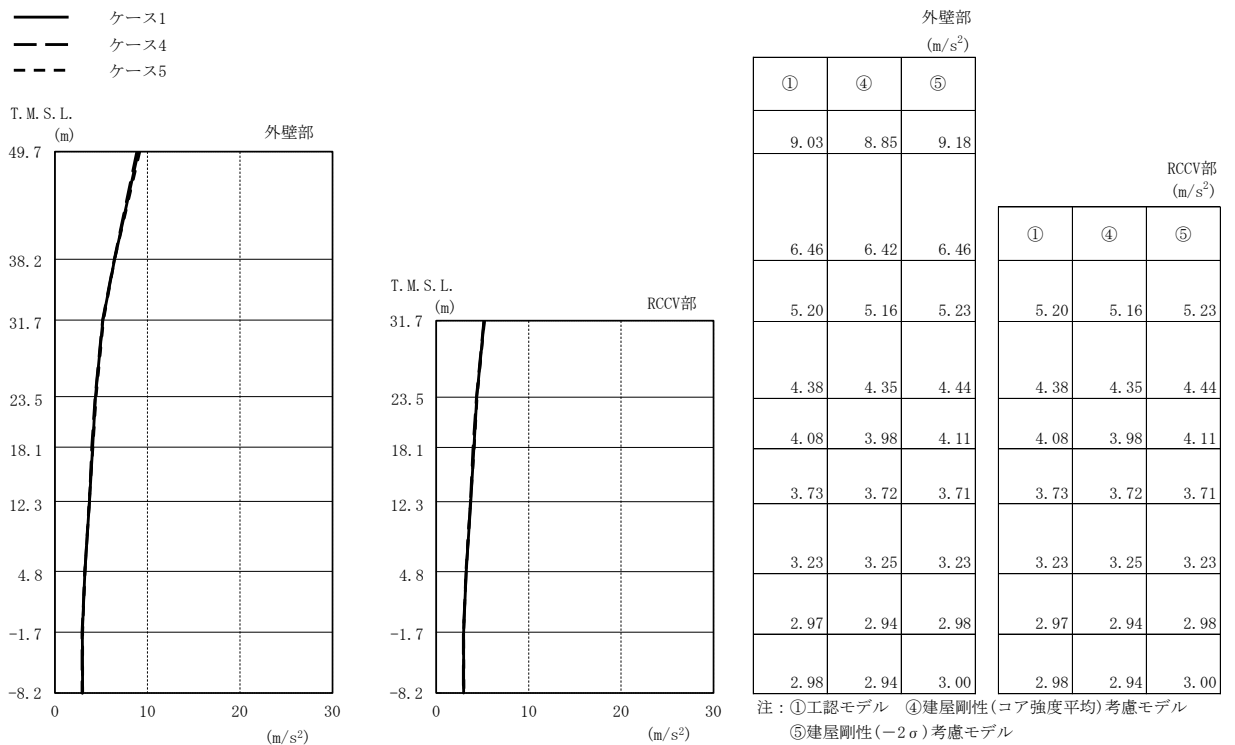


(c) Sd-3

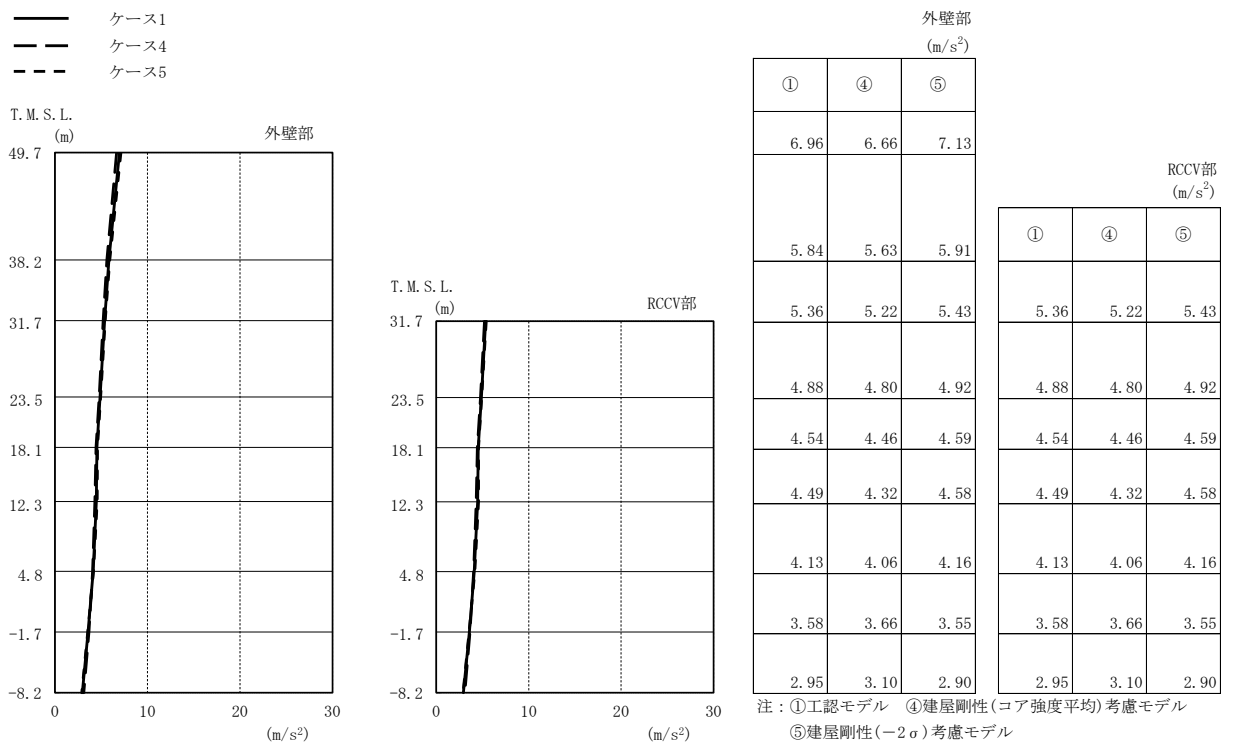


(d) Sd-8

図2-61 最大応答曲げモーメント (弾性設計用地震動 S d, NS方向) (2/2)

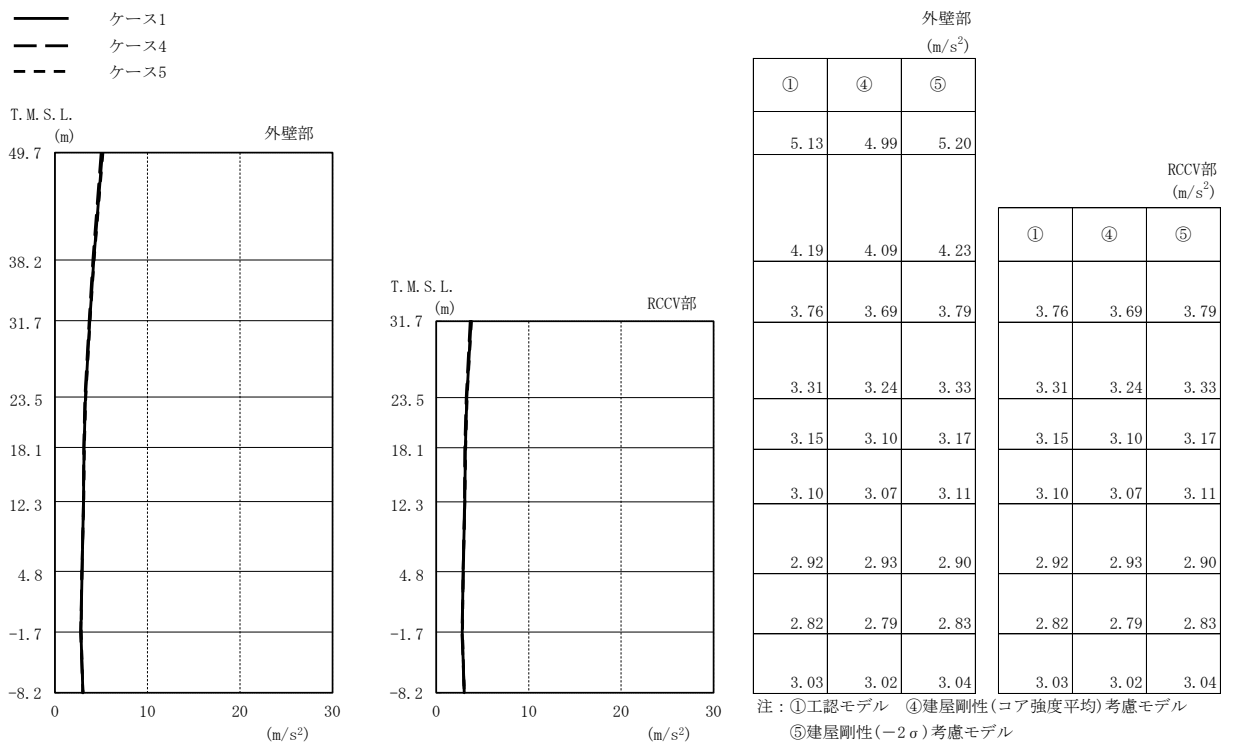


(a) Sd-1

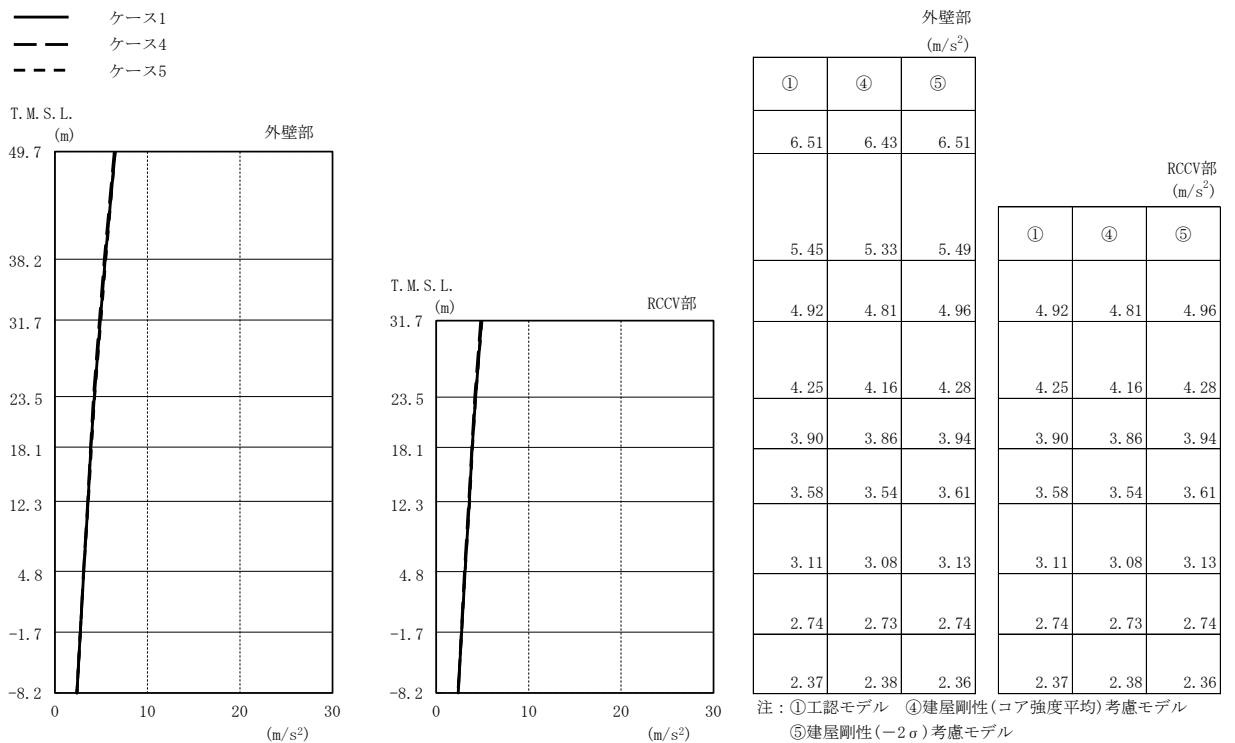


(b) Sd-2

図2-62 最大応答加速度 (弾性設計用地震動 S d, EW方向) (1/2)

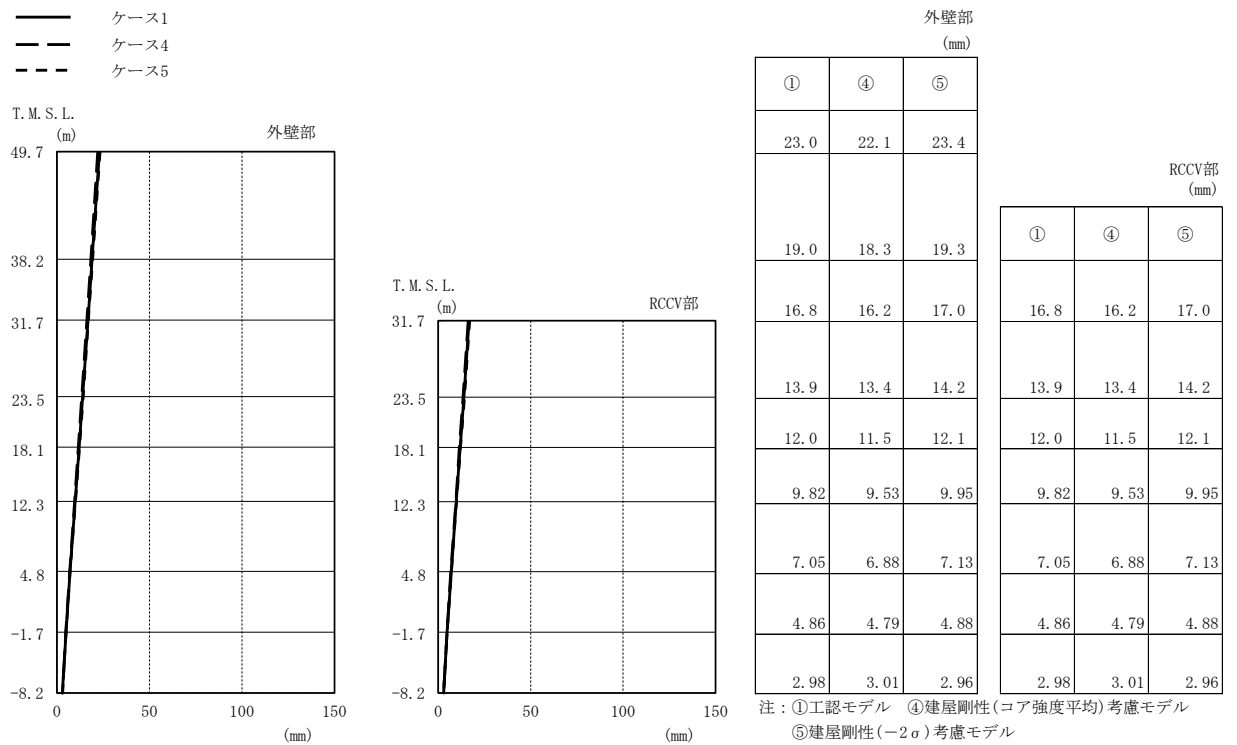


(c) Sd-3

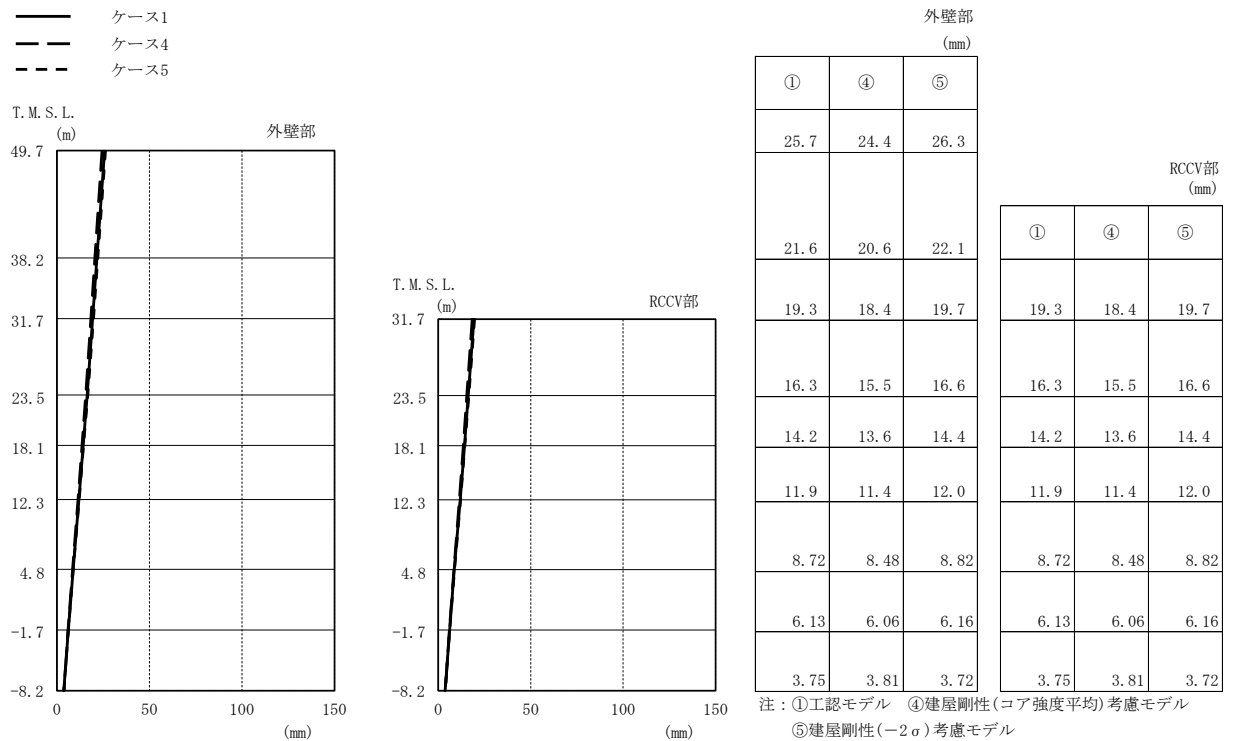


(d) Sd-8

図2-62 最大応答加速度(弾性設計用地震動 S d, EW方向) (2/2)

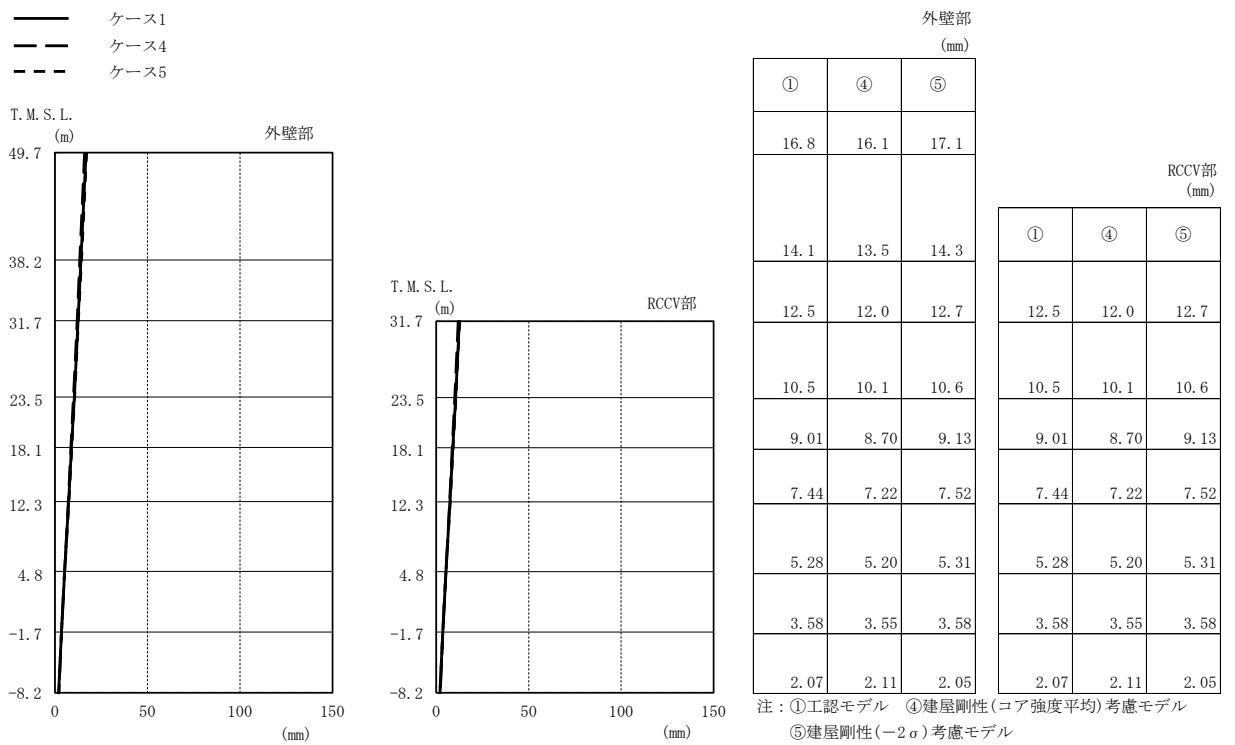


(a) Sd-1

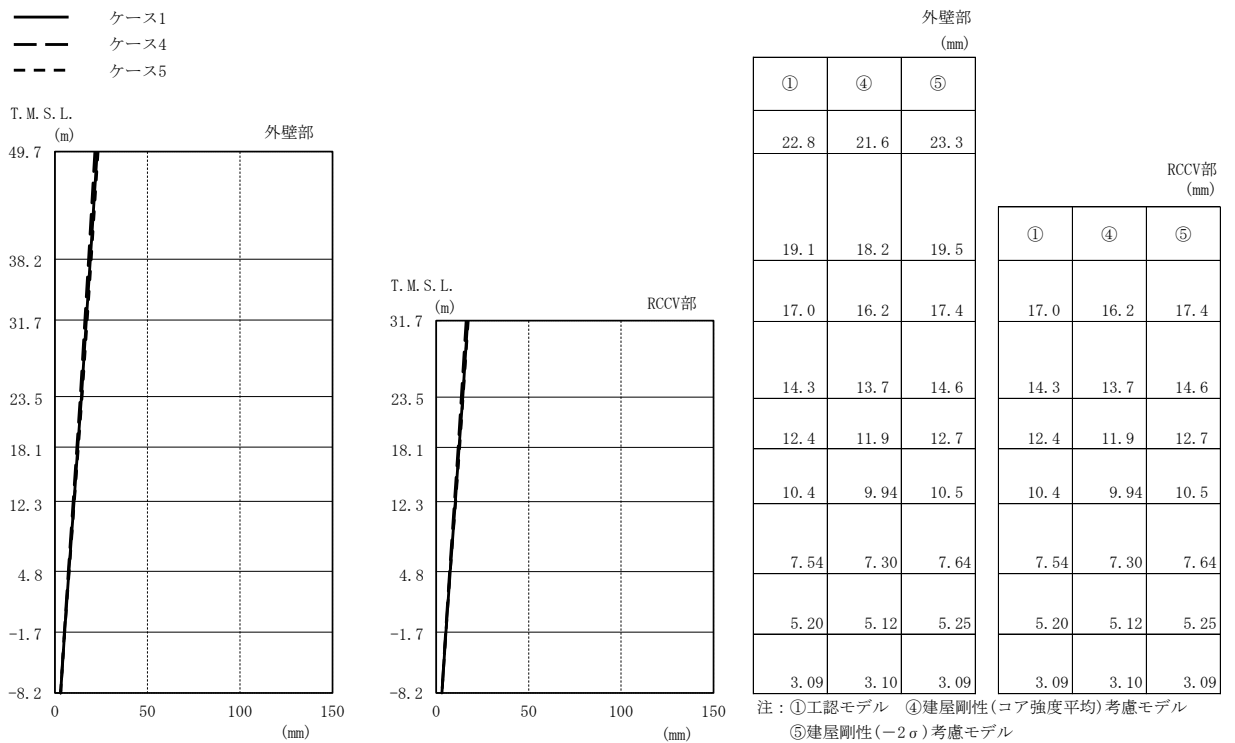


(b) Sd-2

図2-63 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d, EW方向) (1/2)

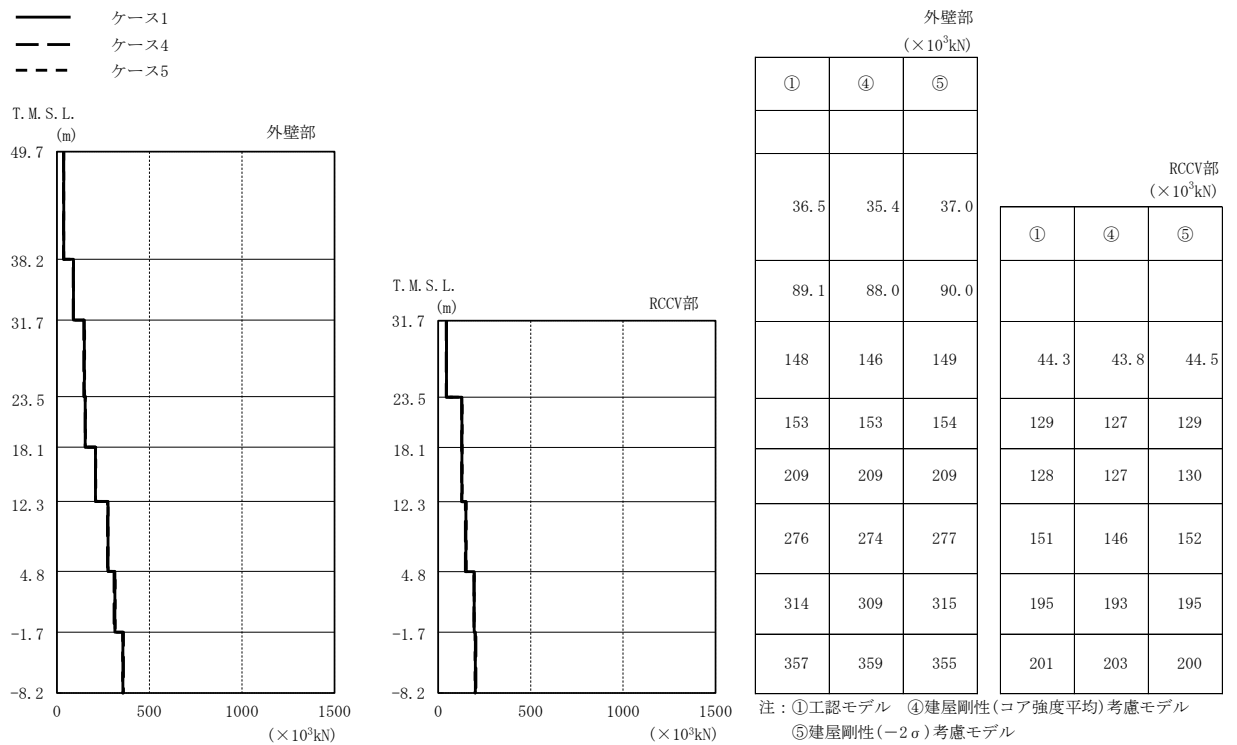


(c) Sd-3

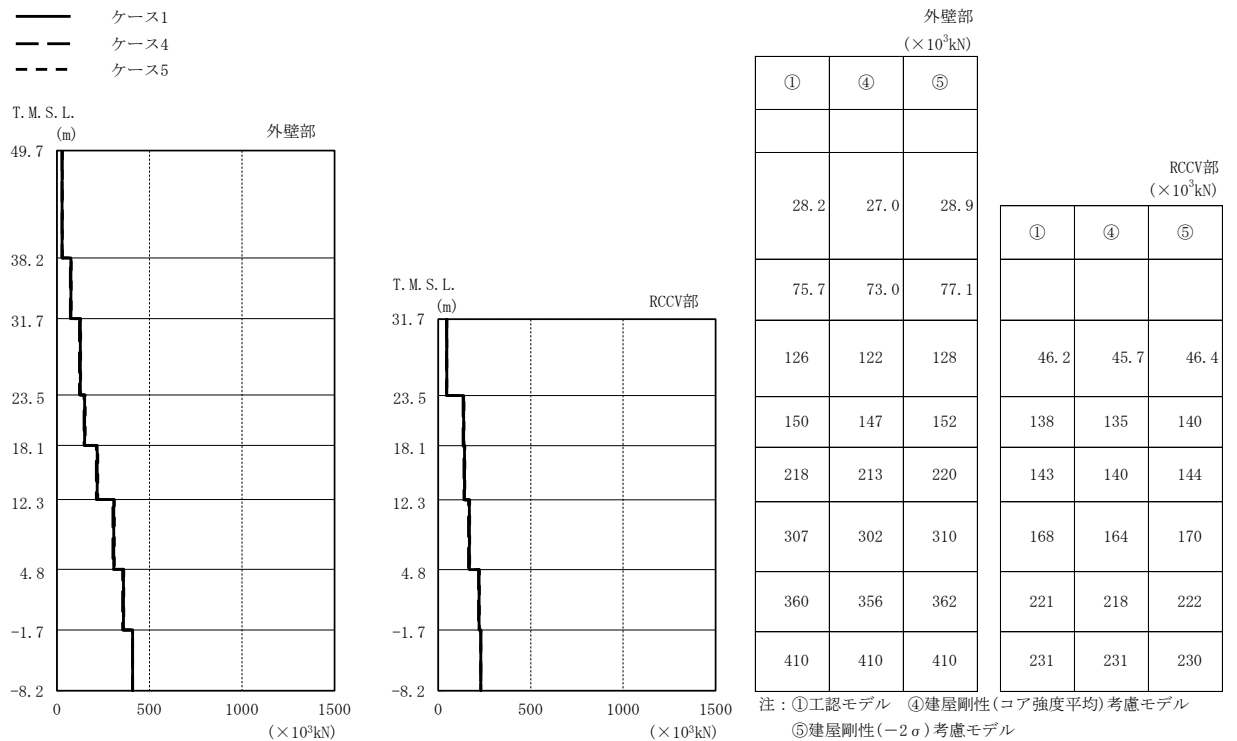


(d) Sd-8

図2-63 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d, EW方向) (2/2)

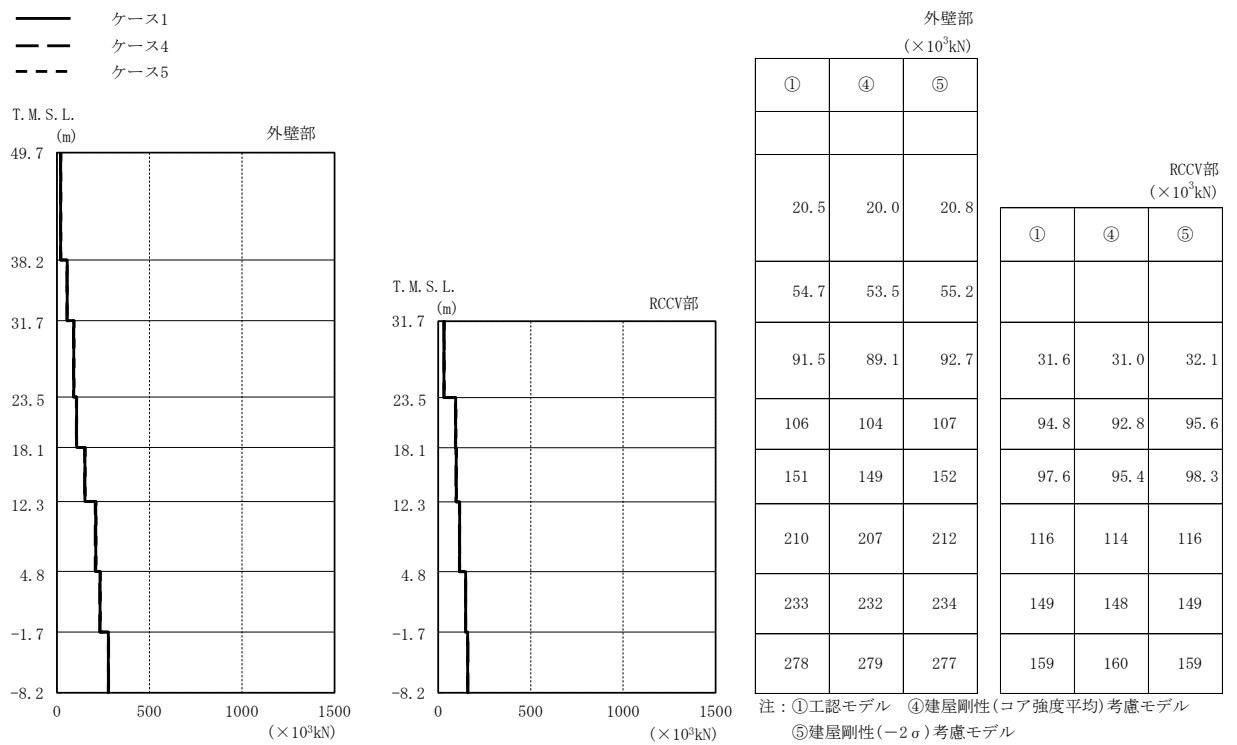


(a) Sd-1

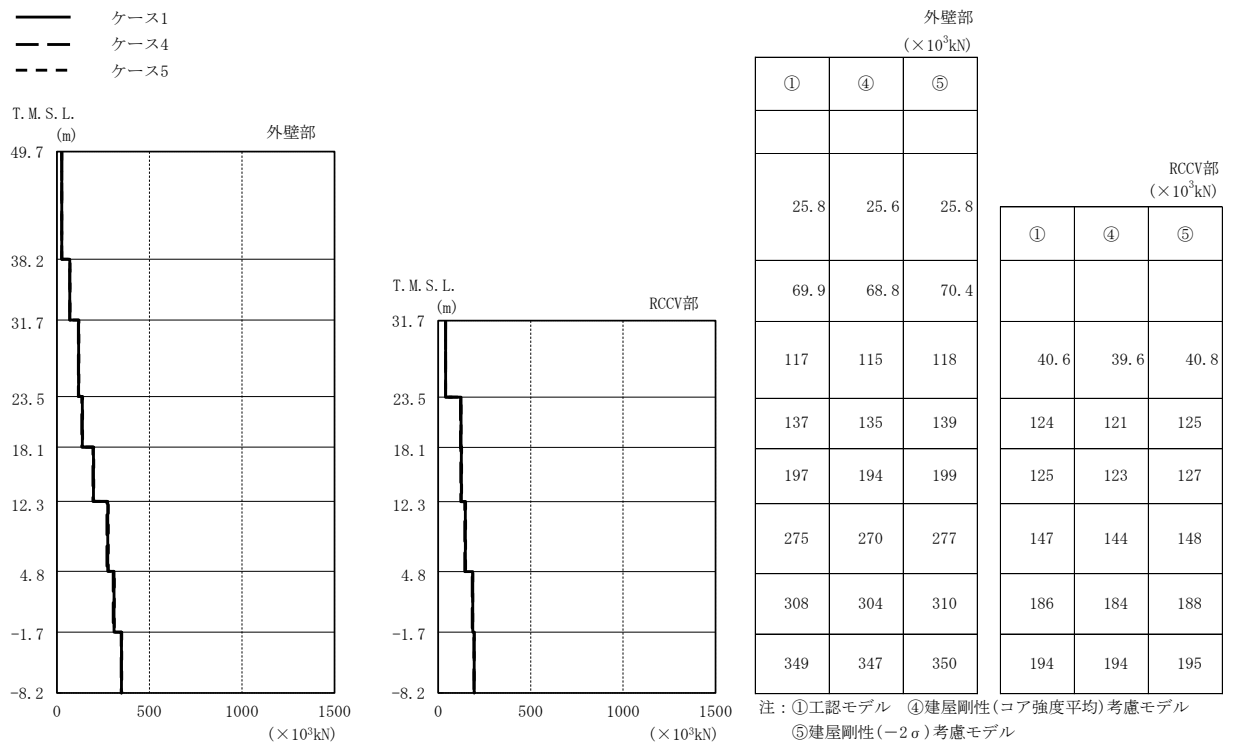


(b) Sd-2

図2-64 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d, EW方向) (1/2)

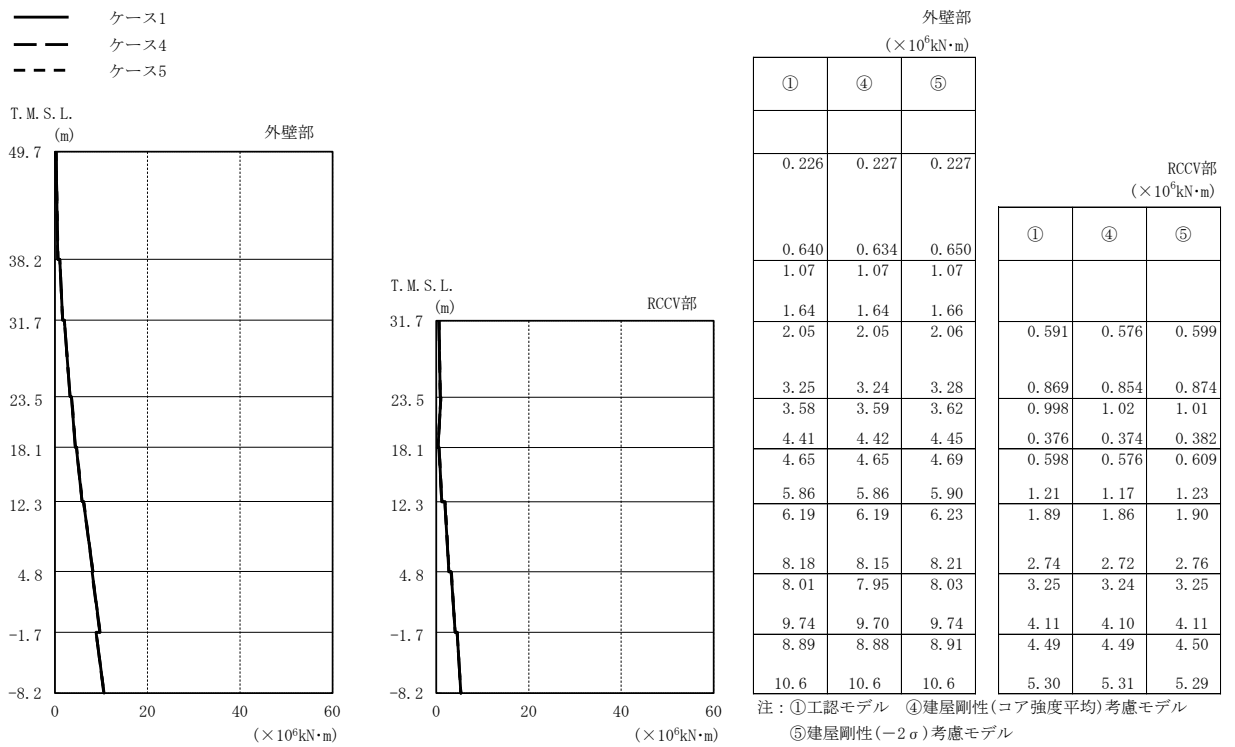


(c) Sd-3

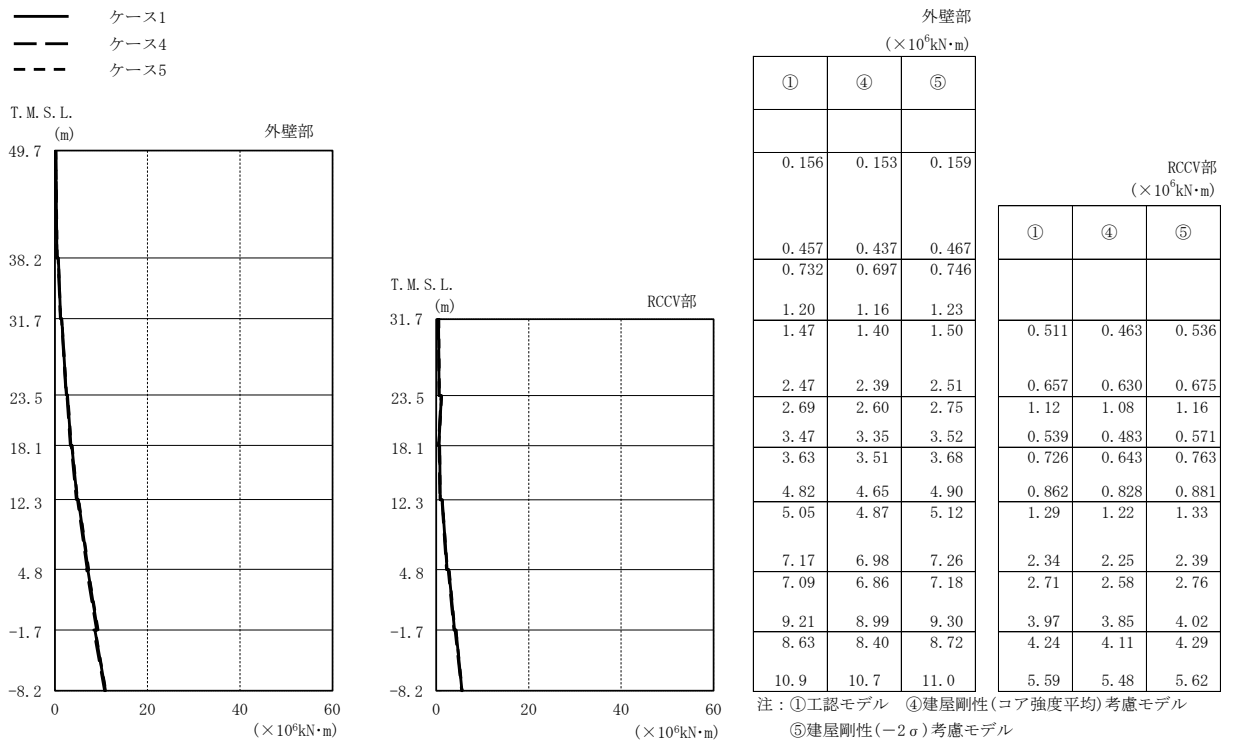


(d) Sd-8

図2-64 最大応答せん断力 (弾性設計用地震動 S d, EW方向) (2/2)

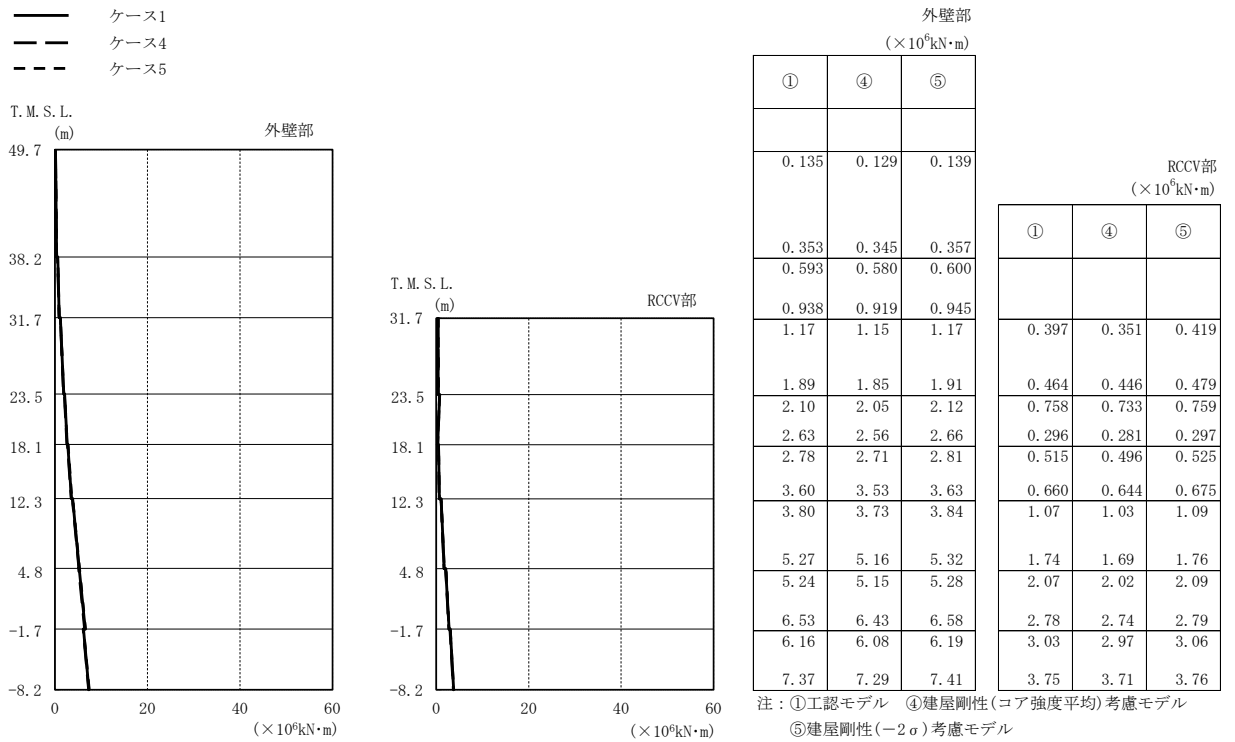


(a) Sd-1

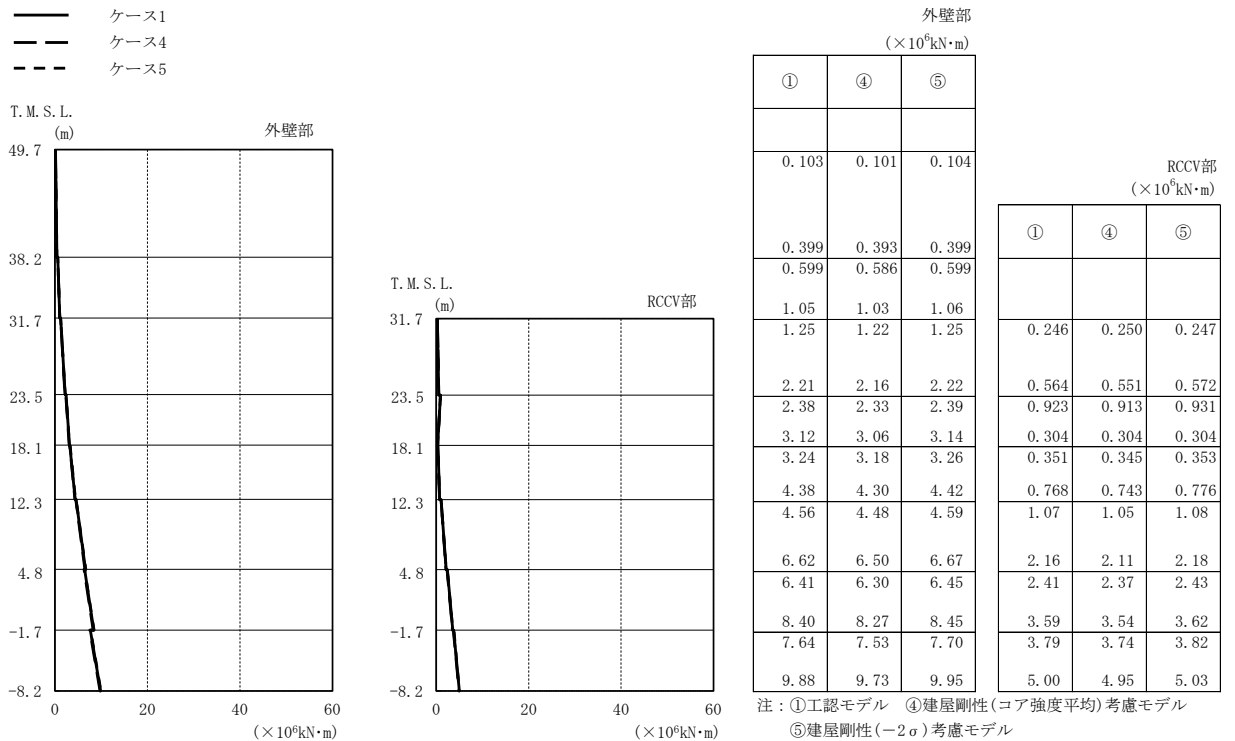


(b) Sd-2

図2-65 最大応答曲げモーメント(弾性設計用地震動Sd, EW方向)(1/2)

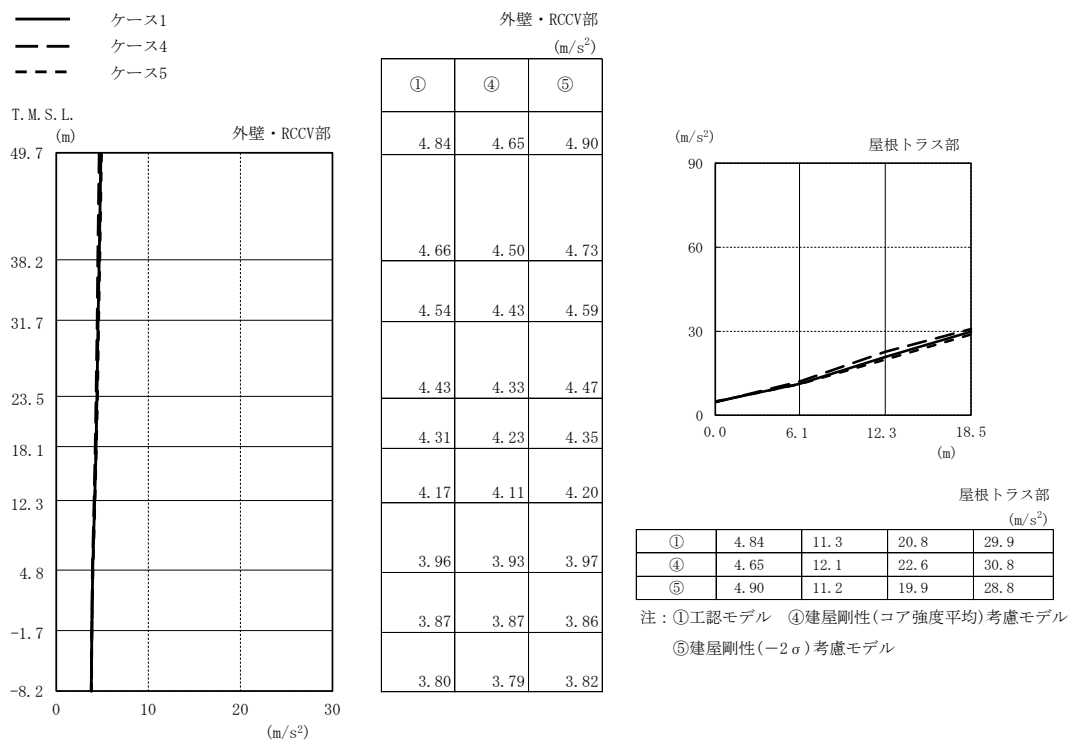


(c) Sd-3

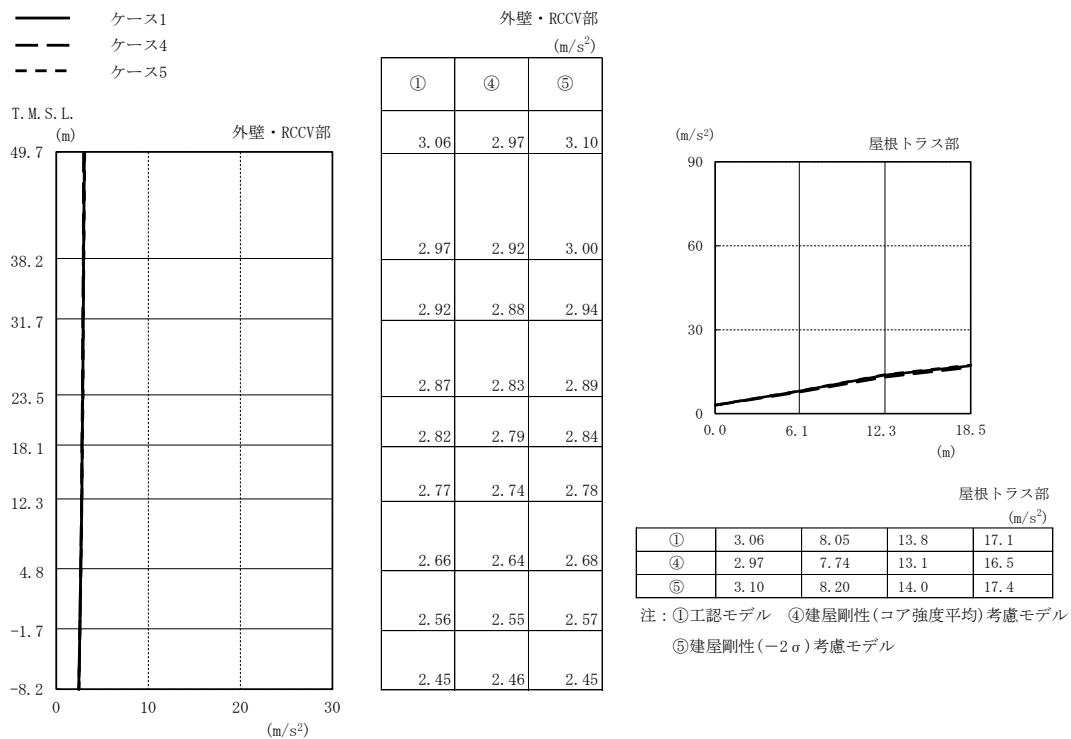


(d) Sd-8

図2-65 最大応答曲げモーメント(弾性設計用地震動Sd, EW方向)(2/2)

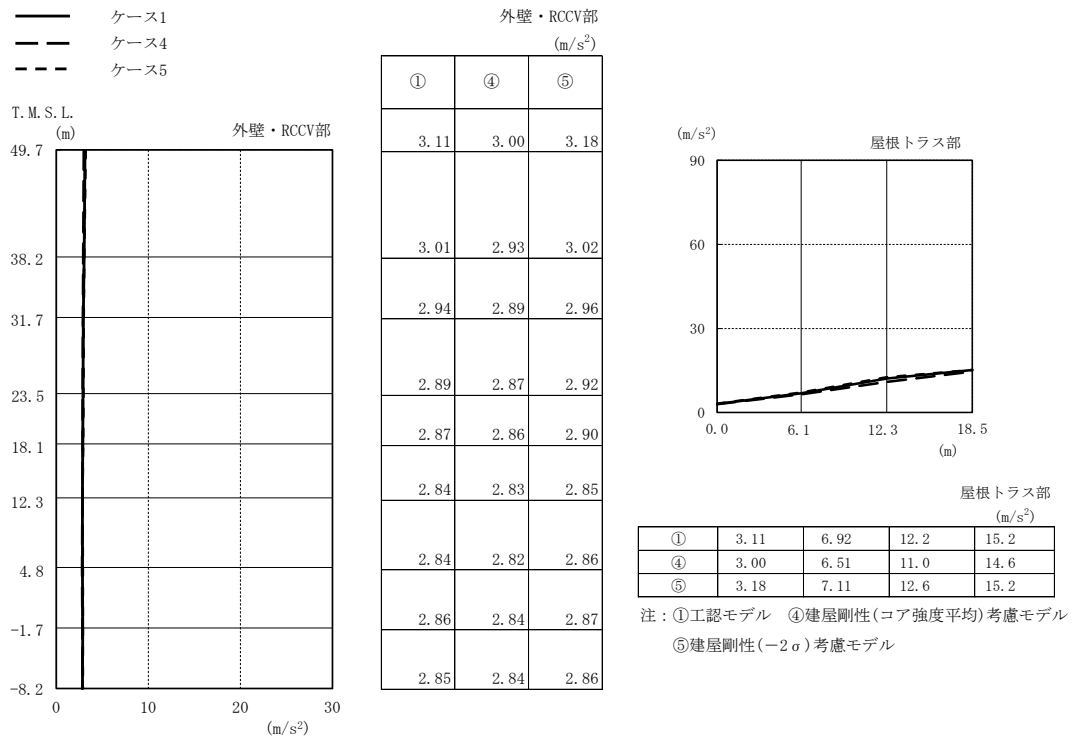


(a) Sd-1

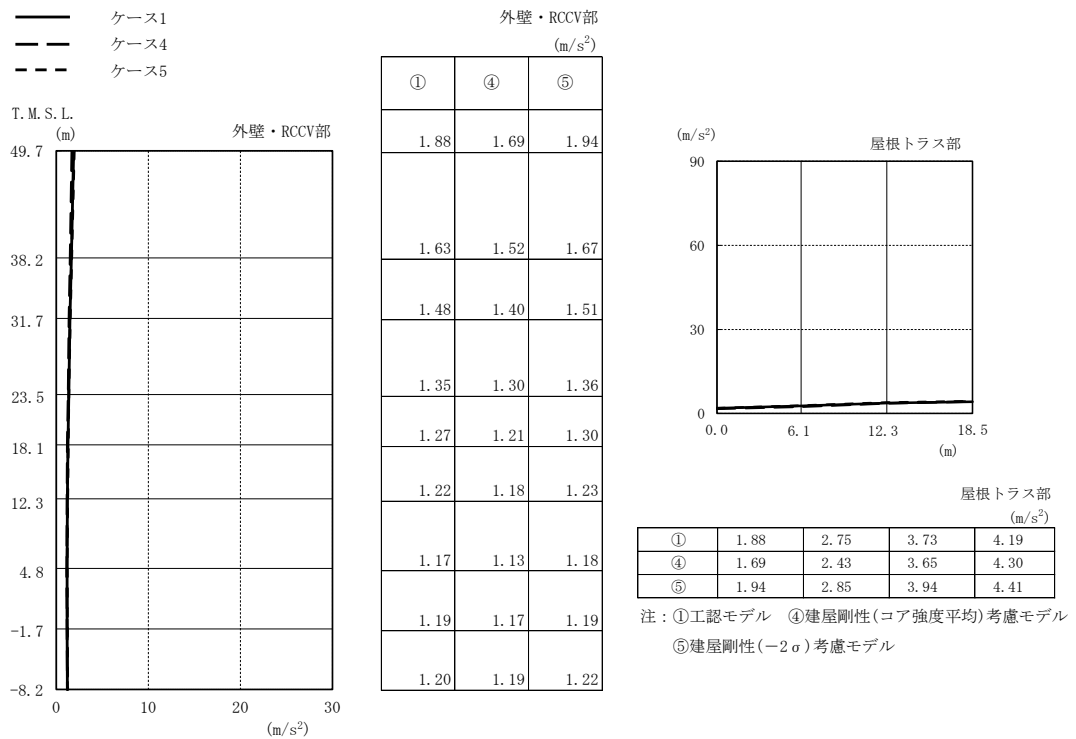


(b) Sd-2

図2-66 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）(1/2)

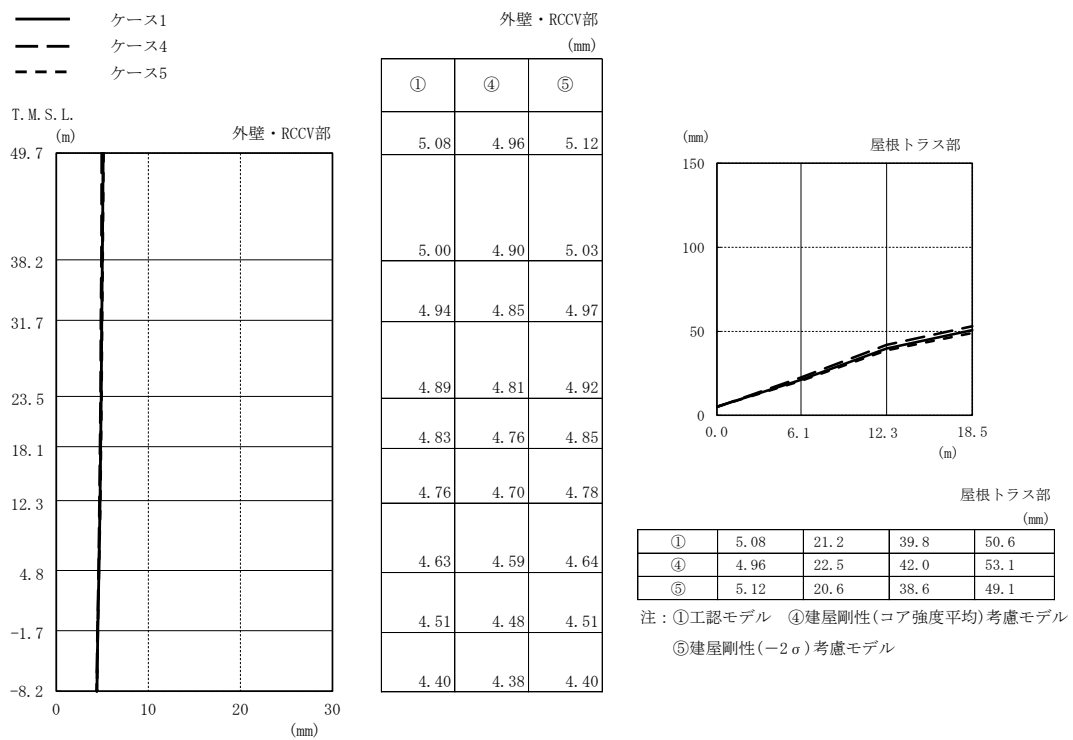


(c) Sd-3

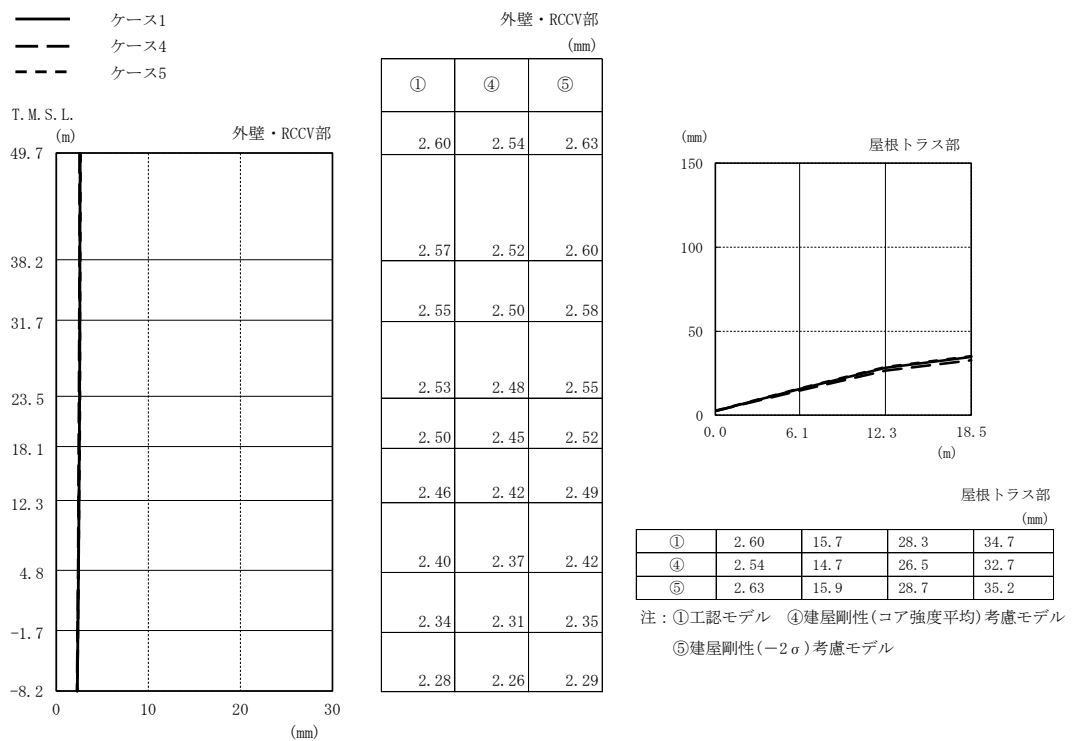


(d) Sd-8

図2-66 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）（2/2）

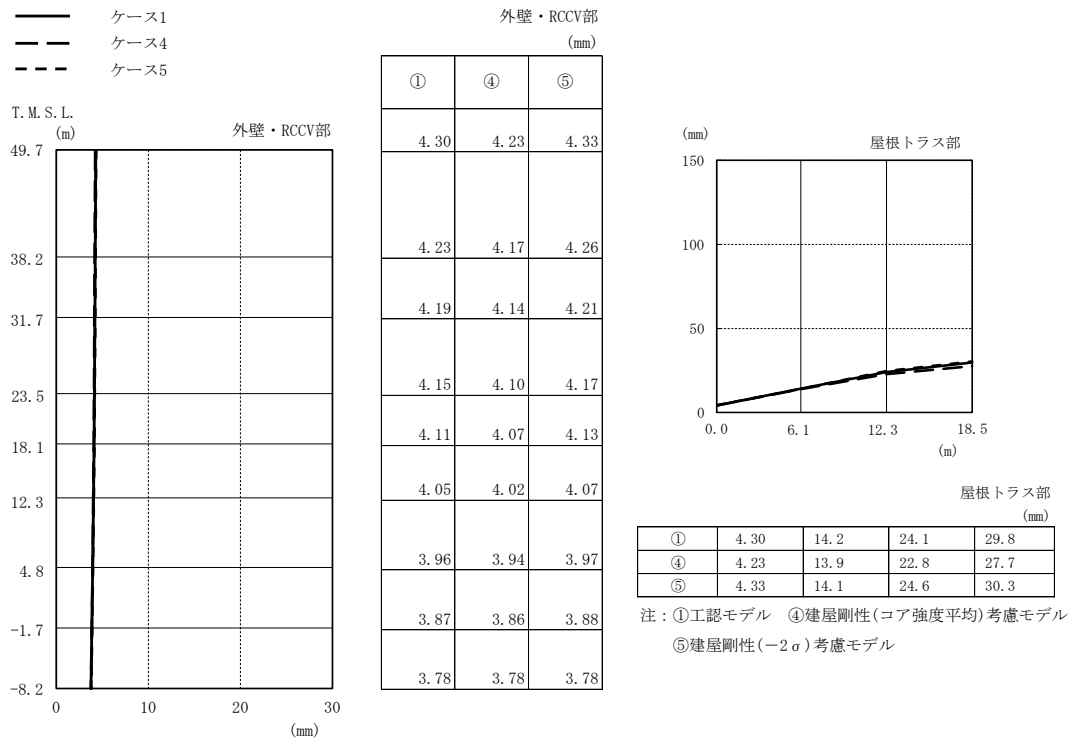


(a) Sd-1

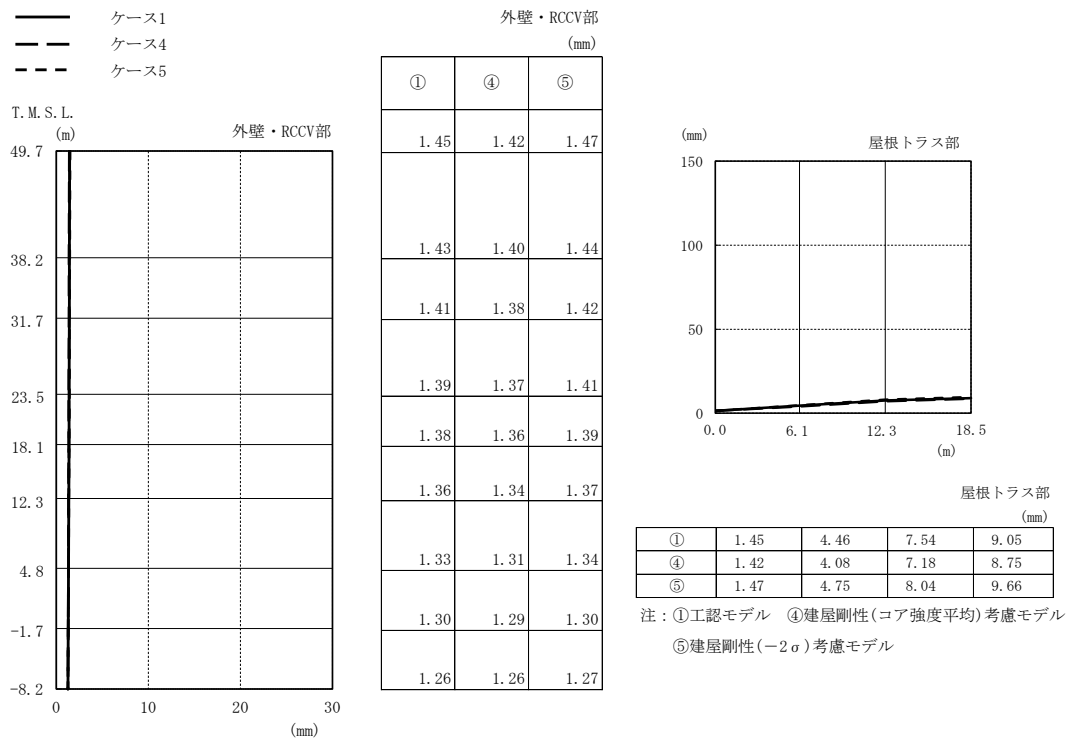


(b) Sd-2

図2-67 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向) (1/2)

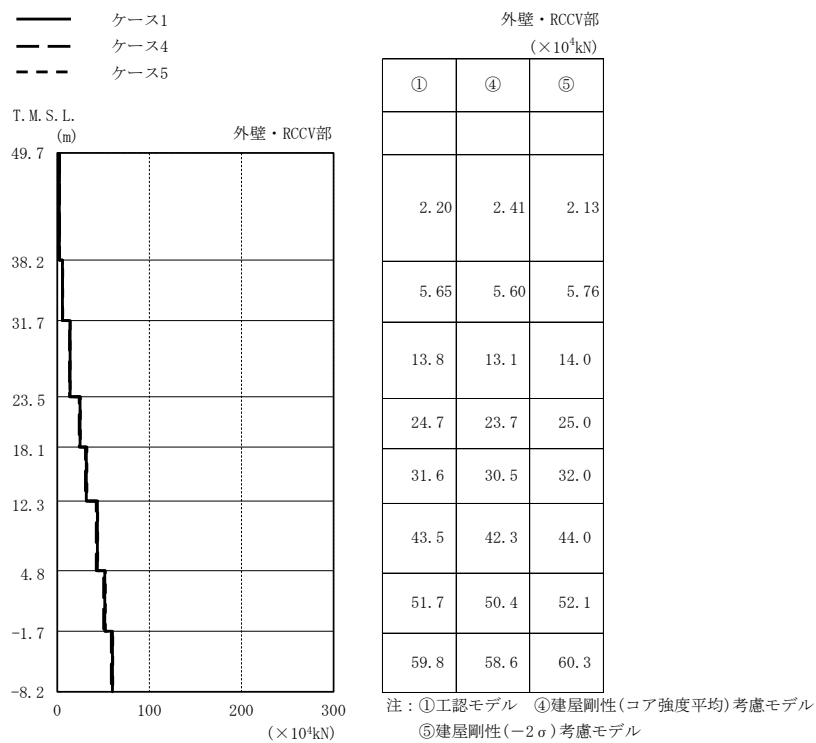


(c) Sd-3

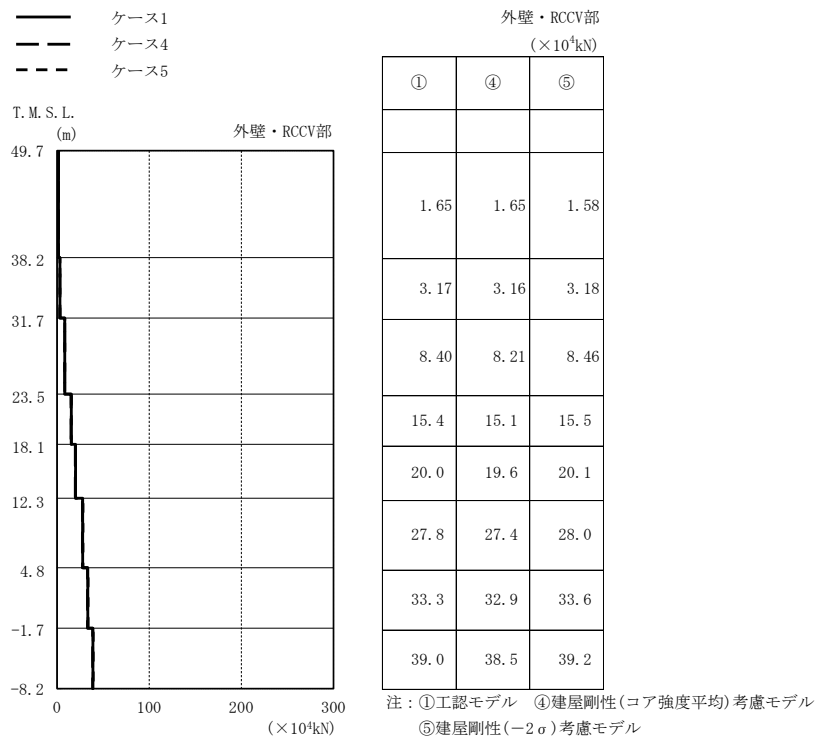


(d) Sd-8

図2-67 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S d, 鉛直方向) (2/2)

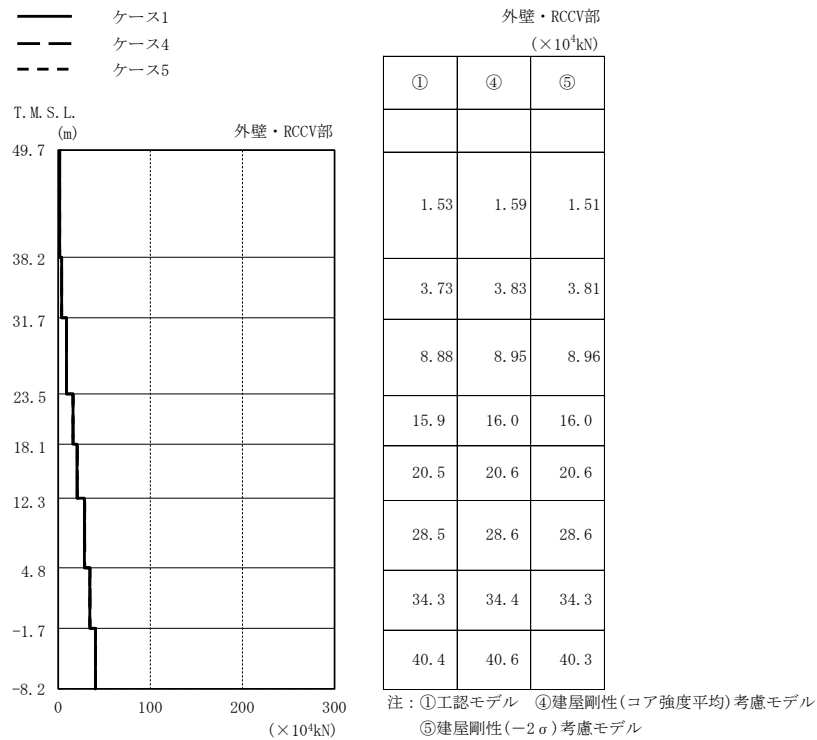


(a) Sd-1

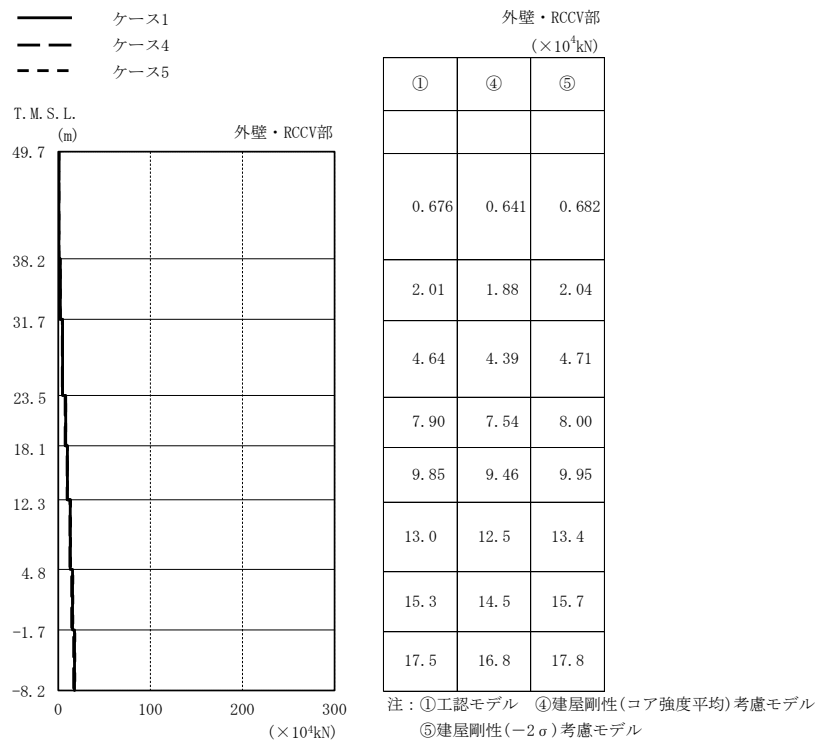


(b) Sd-2

図2-68 最大応答軸力（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）(1/2)

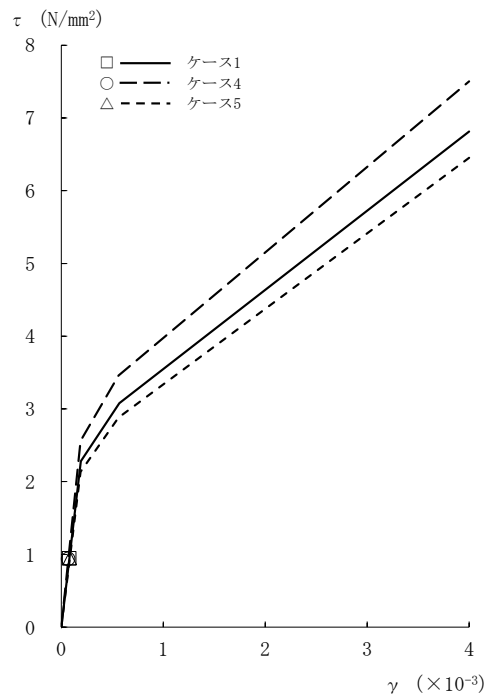


(c) Sd-3



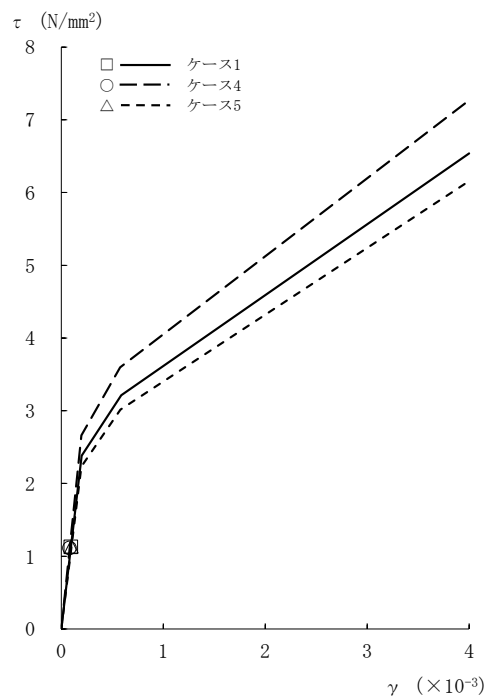
(d) Sd-8

図2-68 最大応答軸力（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）（2/2）



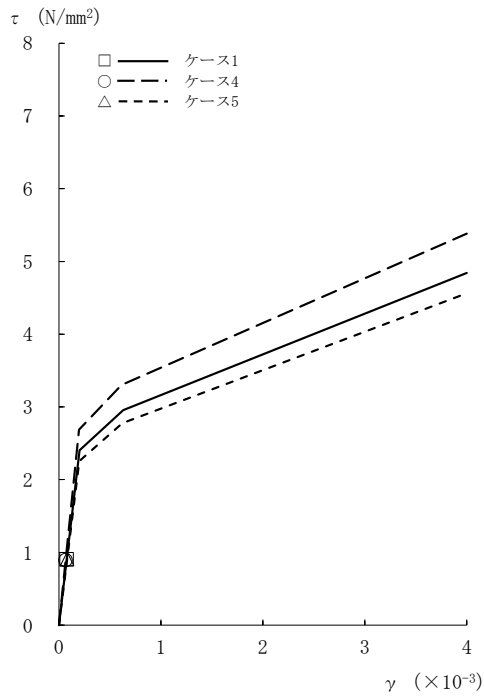
[外壁部]

図2-69 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, CRF) (1/8)

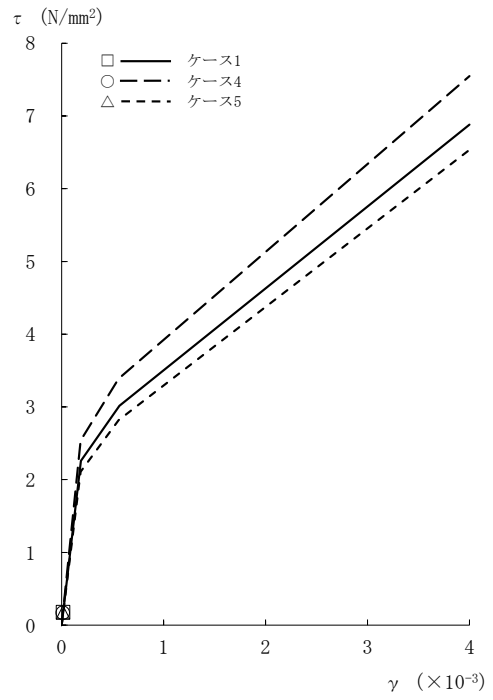


[外壁部]

図2-69 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, 4F) (2/8)

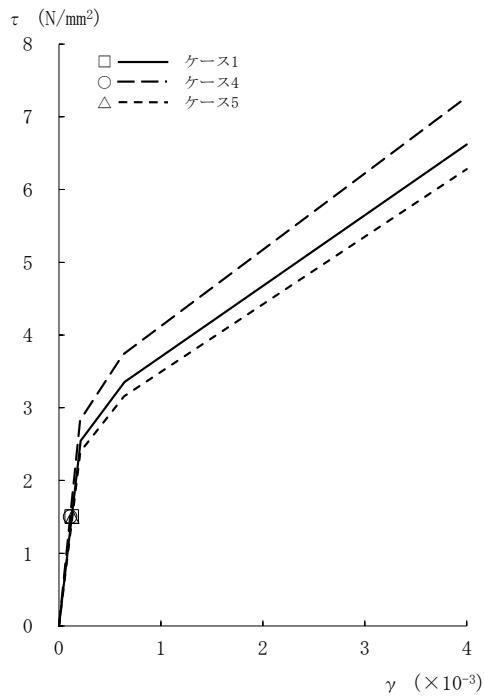


[外壁部]

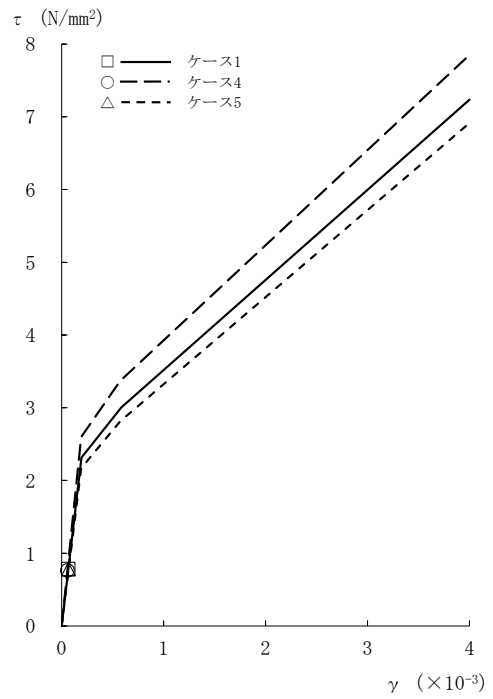


[RCCV部]

図2-69 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, 3F) (3/8)

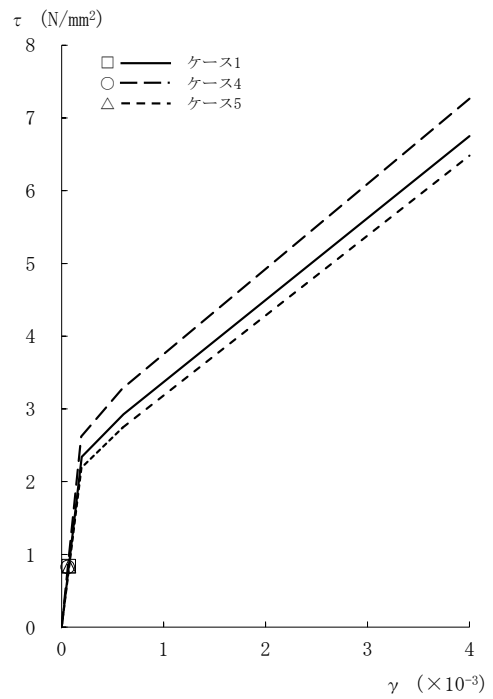
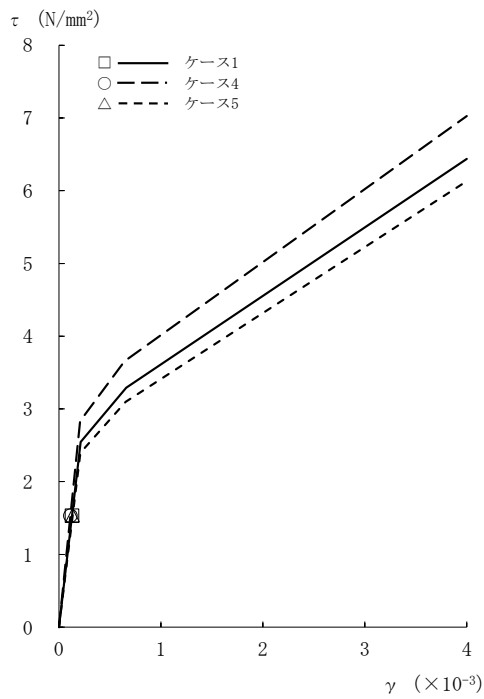


[外壁部]



[RCCV部]

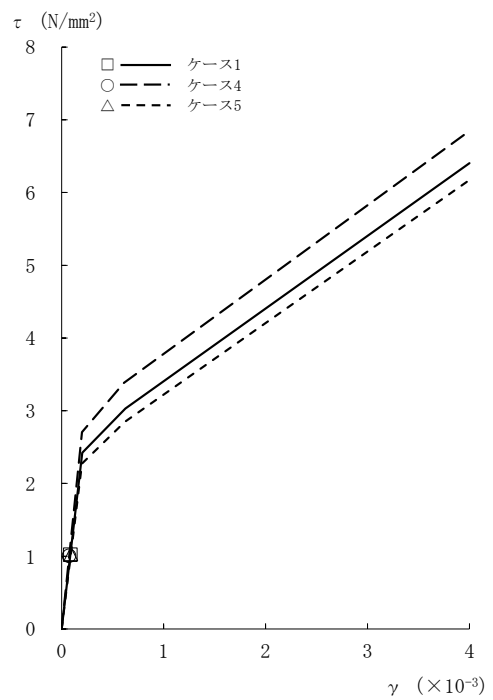
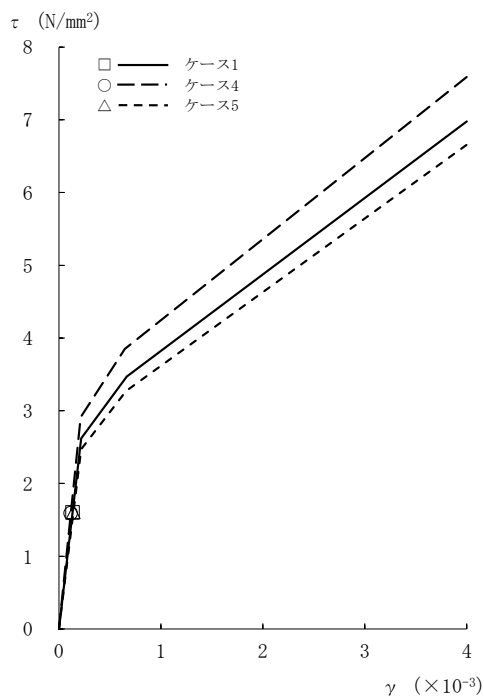
図2-69 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, 2F) (4/8)



[外壁部]

[RCCV部]

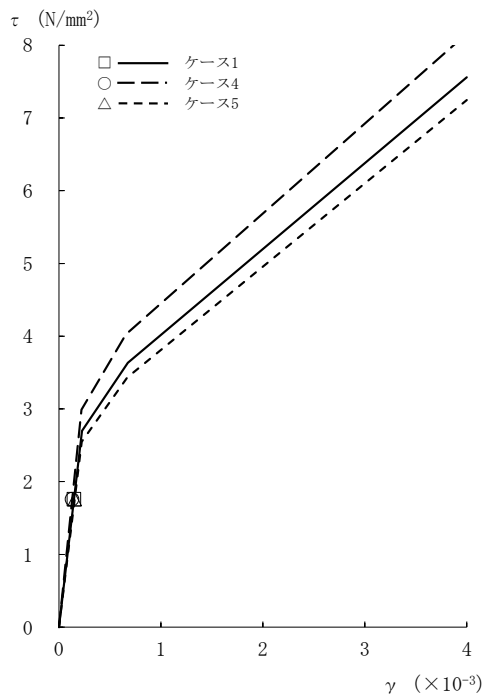
図2-69 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, 1F) (5/8)



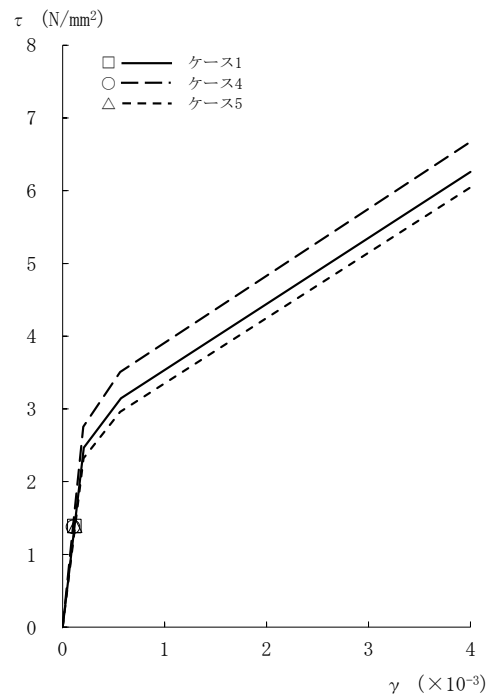
[外壁部]

[RCCV部]

図2-69 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, B1F) (6/8)

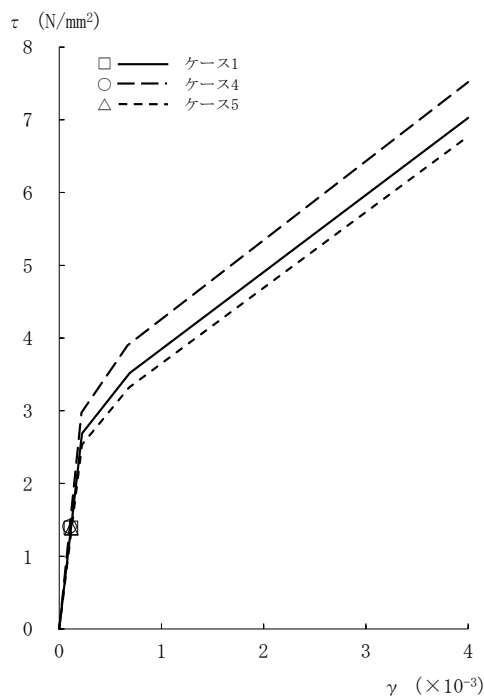


[外壁部]

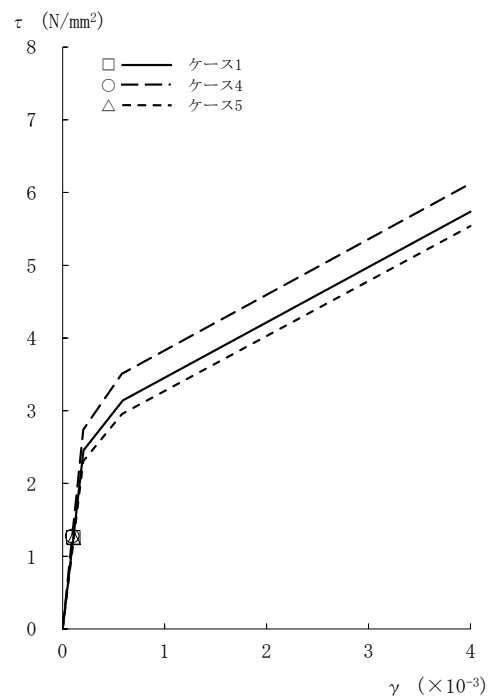


[RCCV部]

図2-69 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, B2F) (7/8)

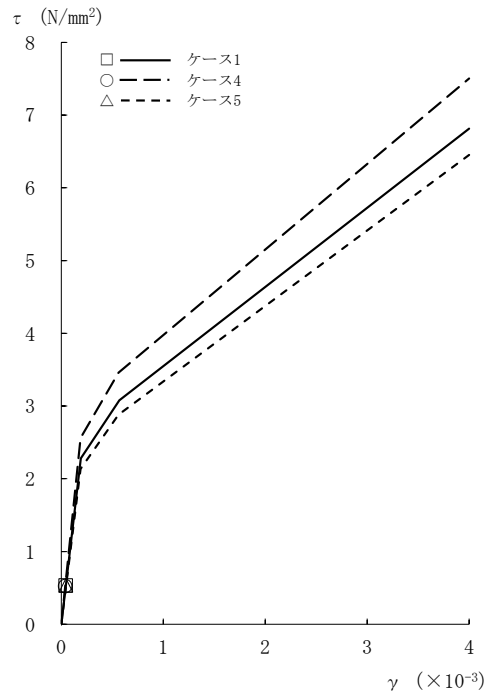


[外壁部]



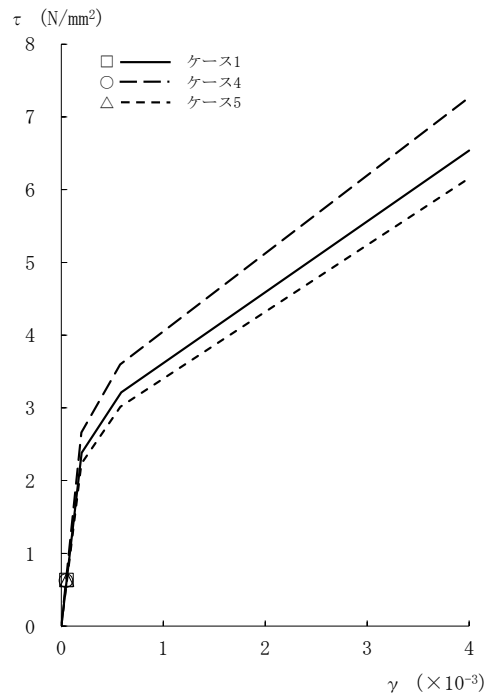
[RCCV部]

図2-69 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, B3F) (8/8)



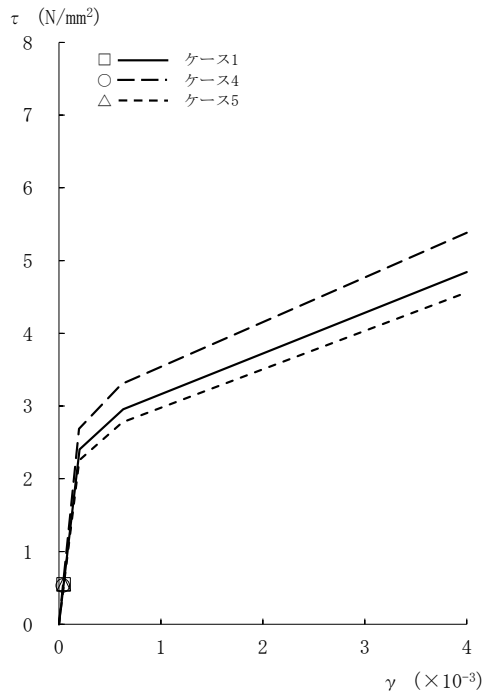
[外壁部]

図2-70 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, CRF) (1/8)

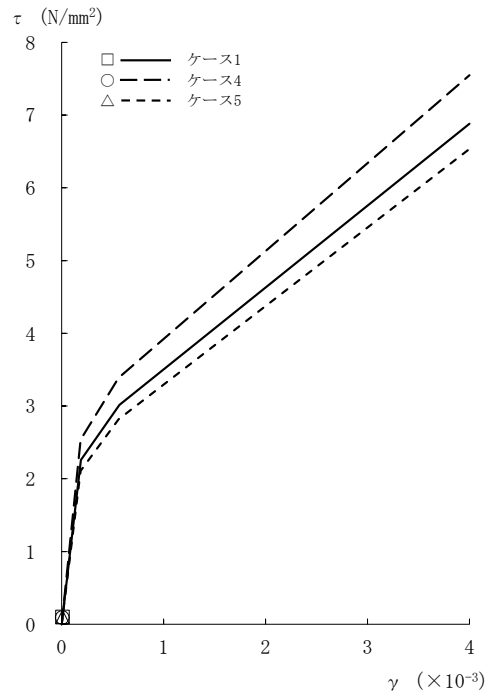


[外壁部]

図2-70 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, 4F) (2/8)

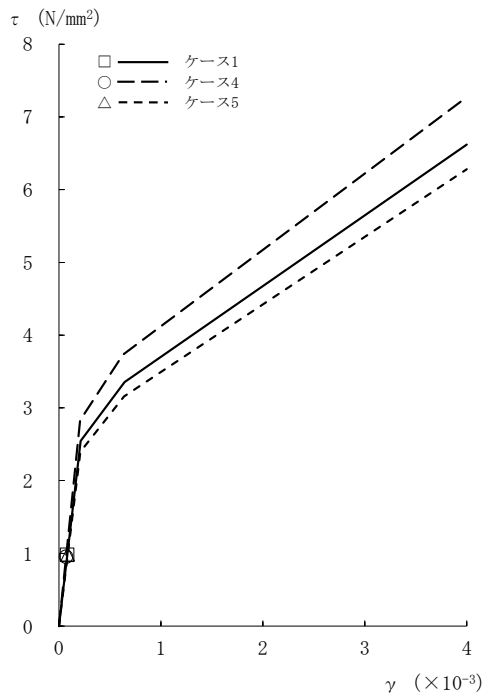


[外壁部]

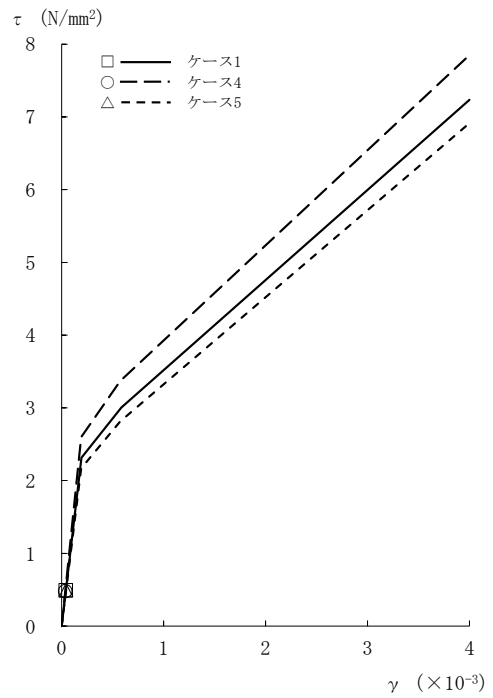


[RCCV部]

図2-70 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, 3F) (3/8)

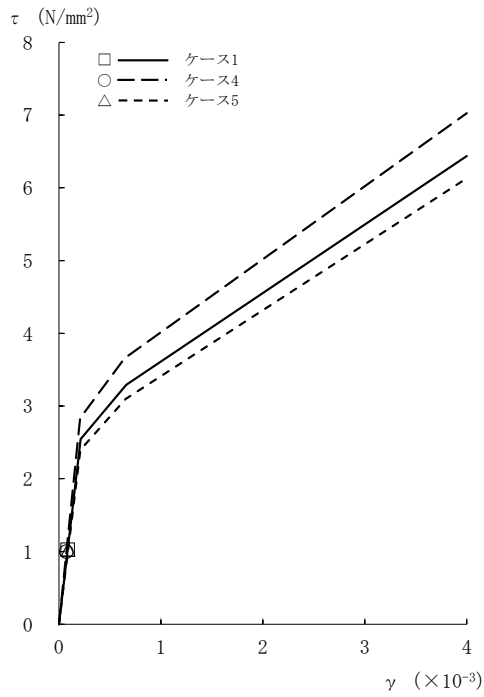


[外壁部]

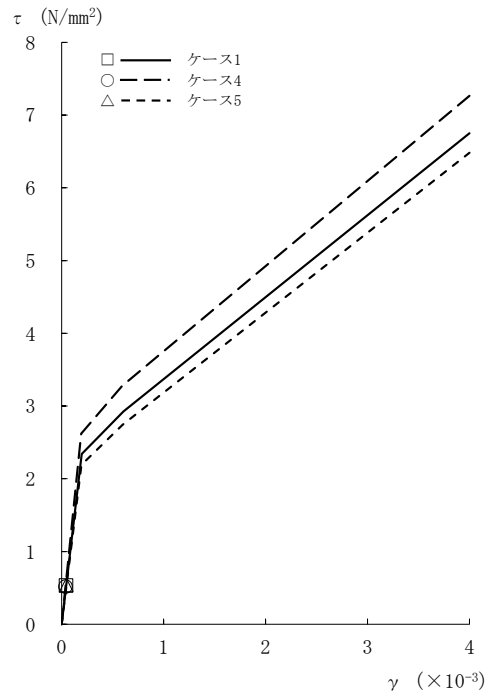


[RCCV部]

図2-70 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, 2F) (4/8)

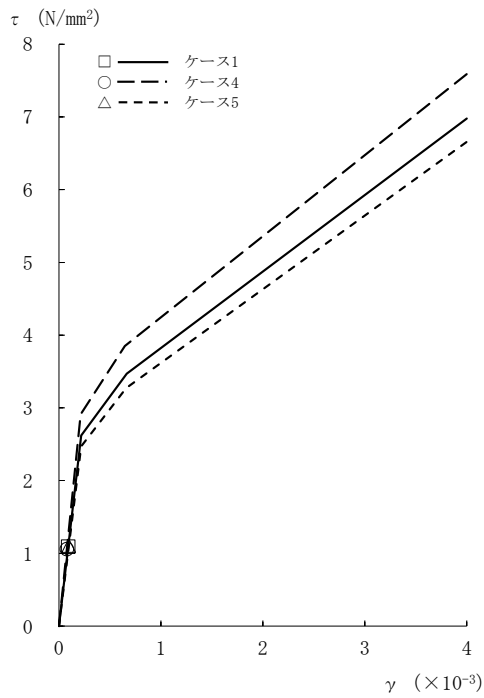


[外壁部]

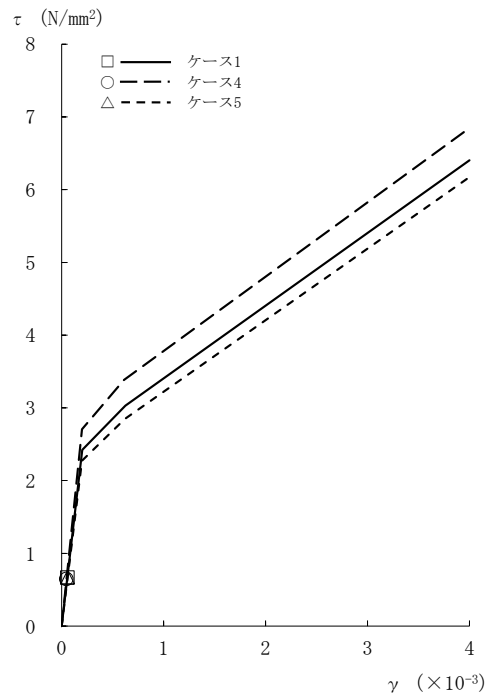


[RCCV部]

図2-70 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, 1F) (5/8)

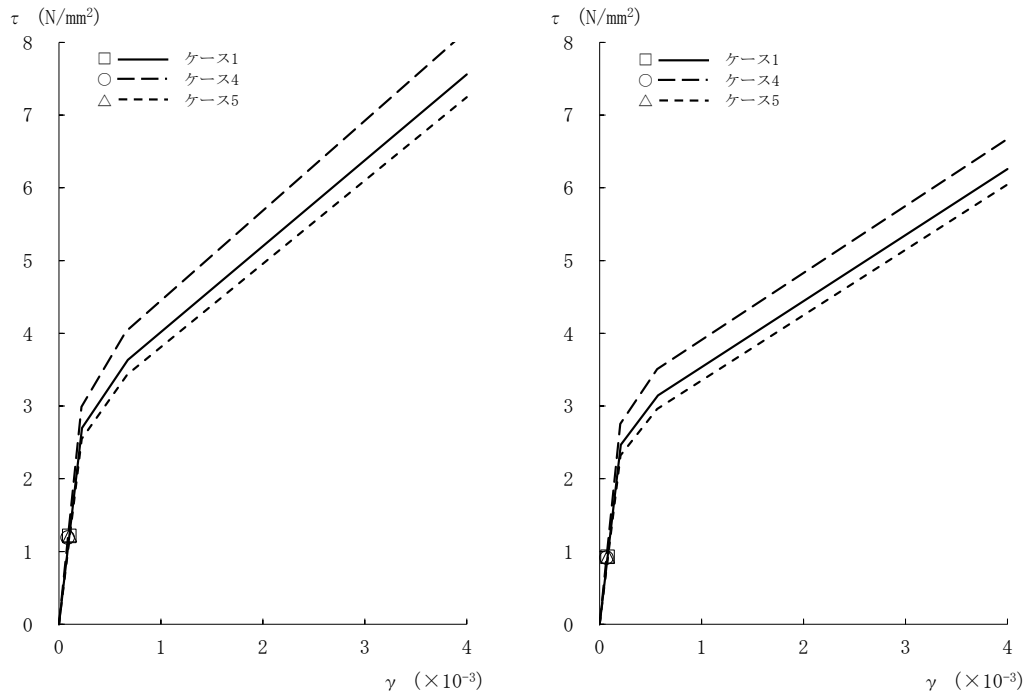


[外壁部]



[RCCV部]

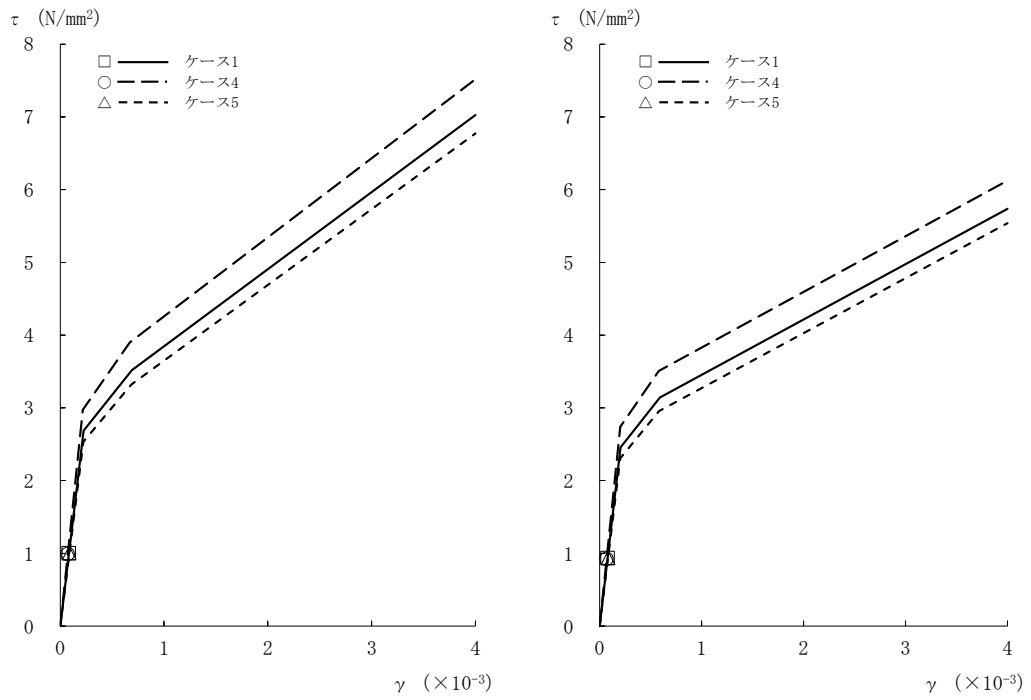
図2-70 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, B1F) (6/8)



[外壁部]

[RCCV部]

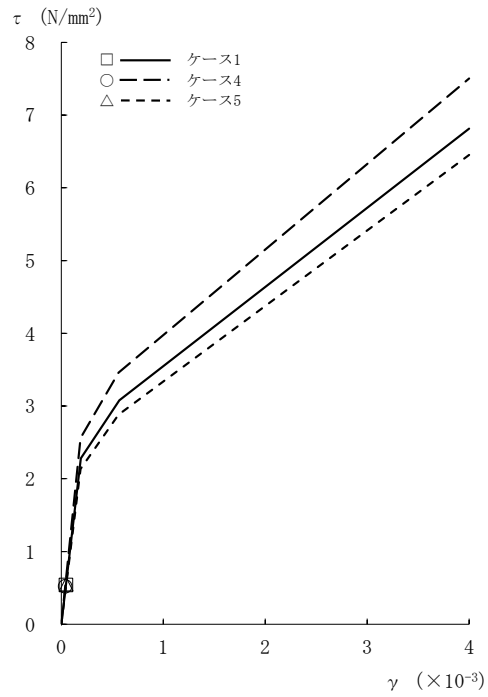
図2-70 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, B2F) (7/8)



[外壁部]

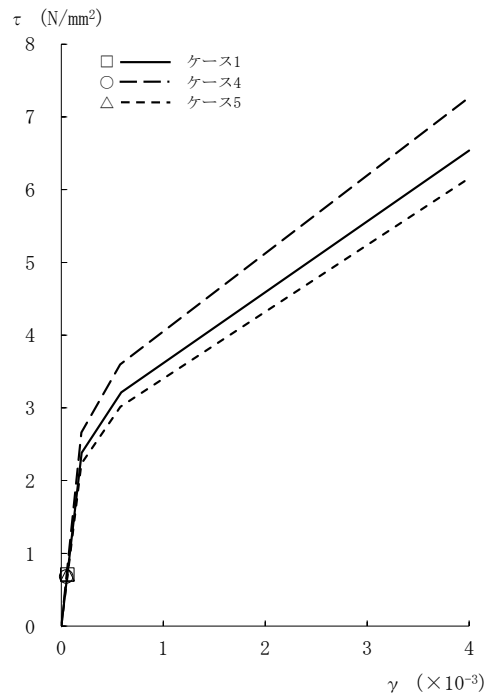
[RCCV部]

図2-70 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, B3F) (8/8)



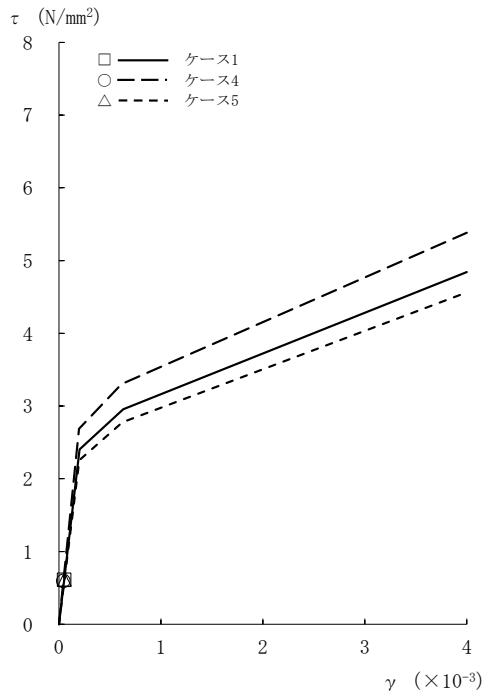
[外壁部]

図2-71 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, CRF) (1/8)

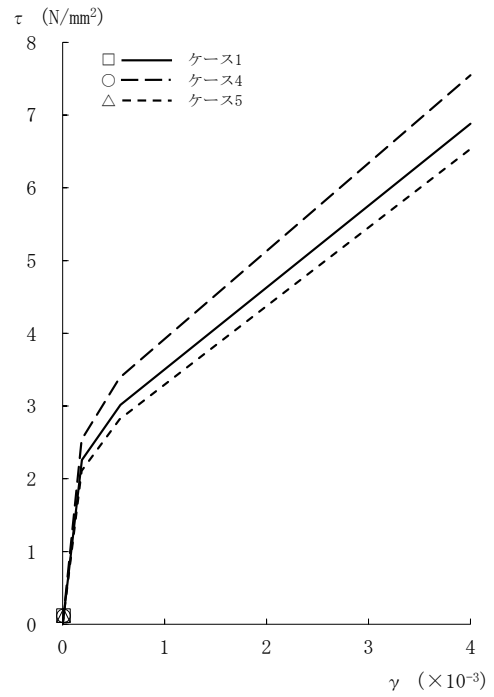


[外壁部]

図2-71 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, 4F) (2/8)

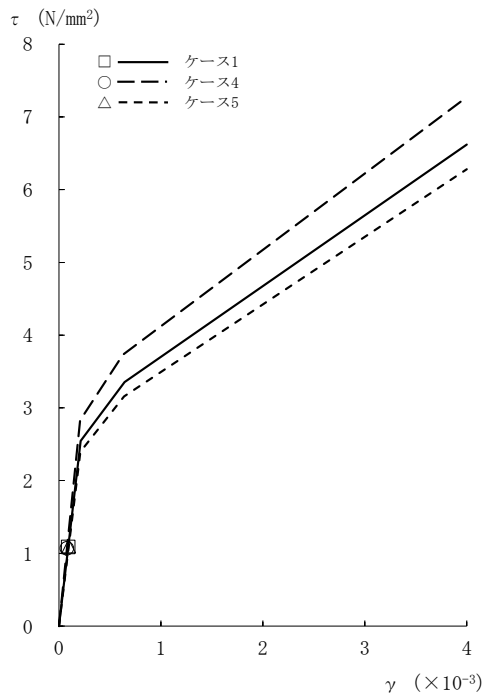


[外壁部]

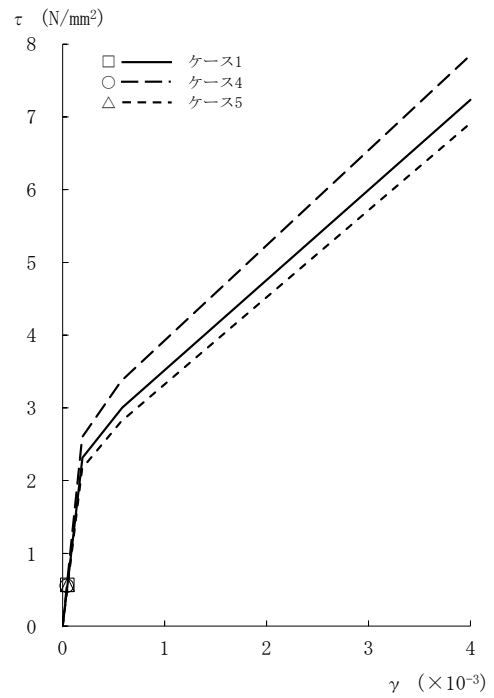


[RCCV部]

図2-71 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, 3F) (3/8)

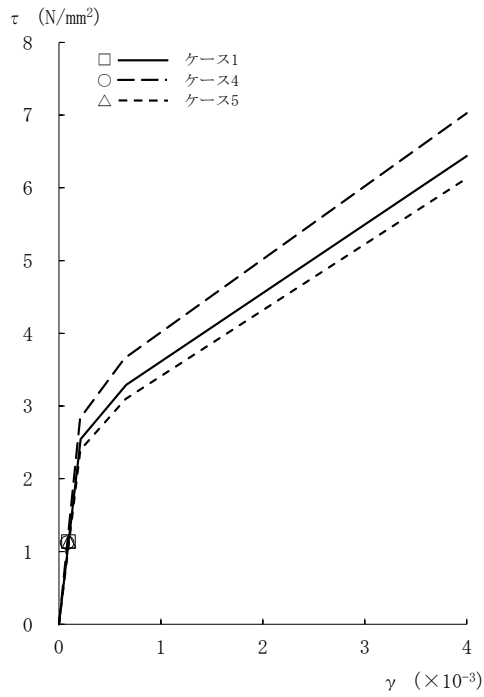


[外壁部]

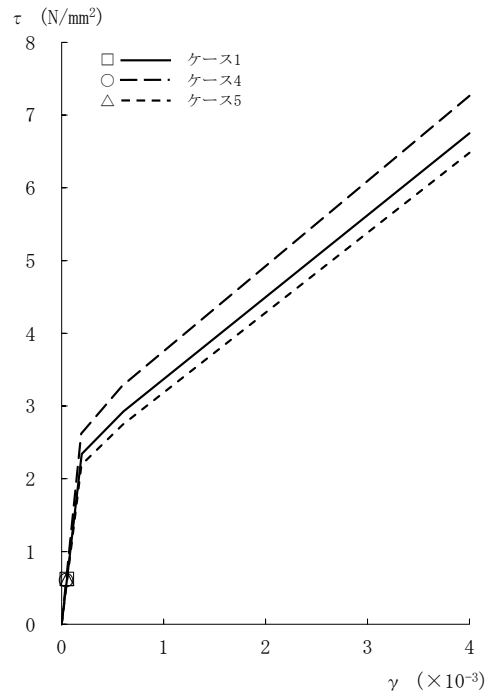


[RCCV部]

図2-71 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, 2F) (4/8)

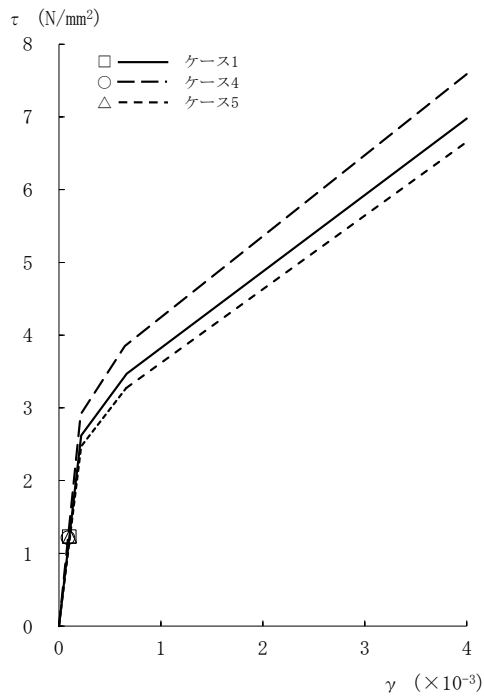


[外壁部]

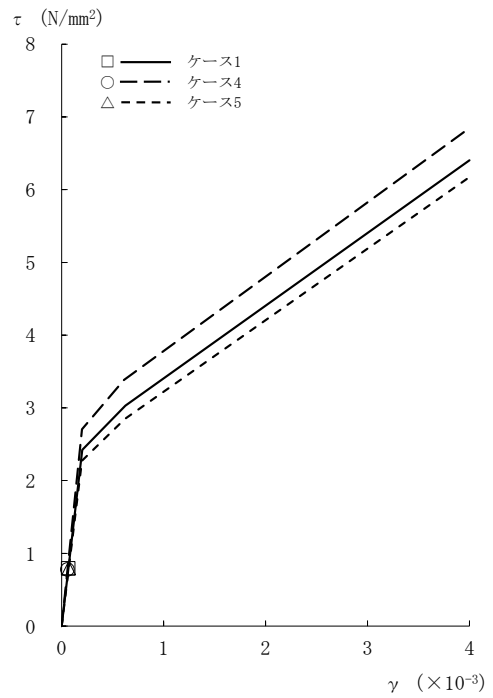


[RCCV部]

図2-71 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, 1F) (5/8)

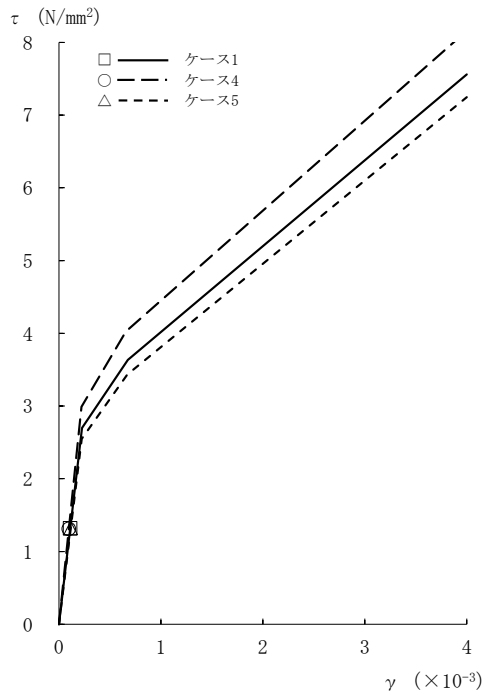


[外壁部]

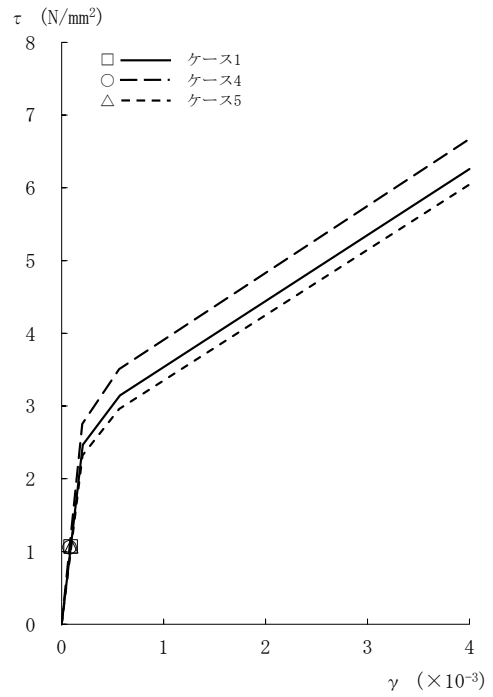


[RCCV部]

図2-71 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, B1F) (6/8)

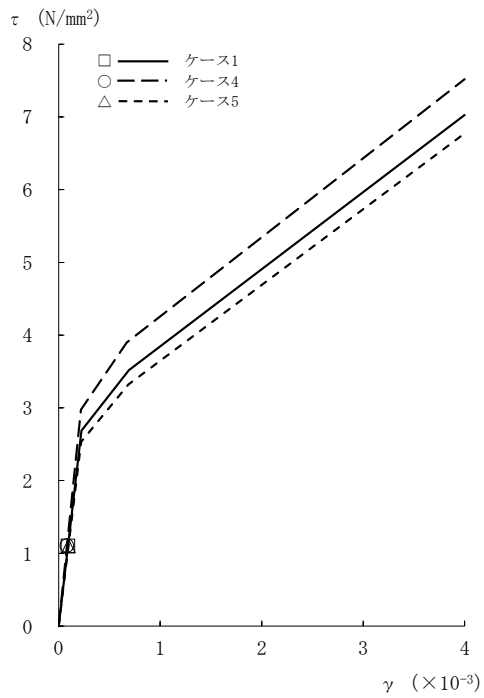


[外壁部]

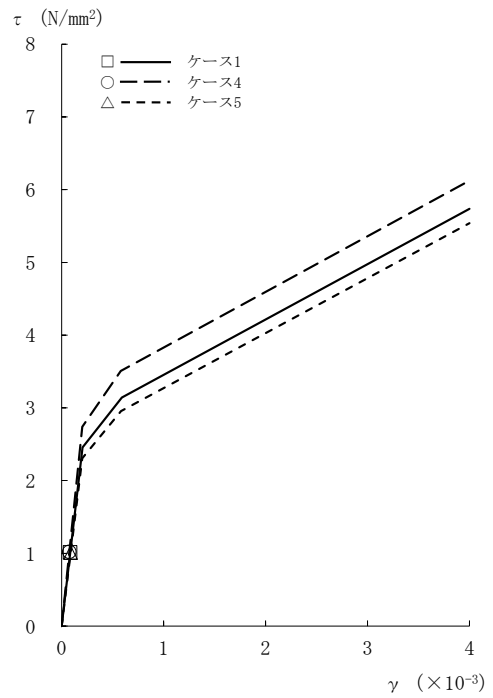


[RCCV部]

図2-71 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, B2F) (7/8)

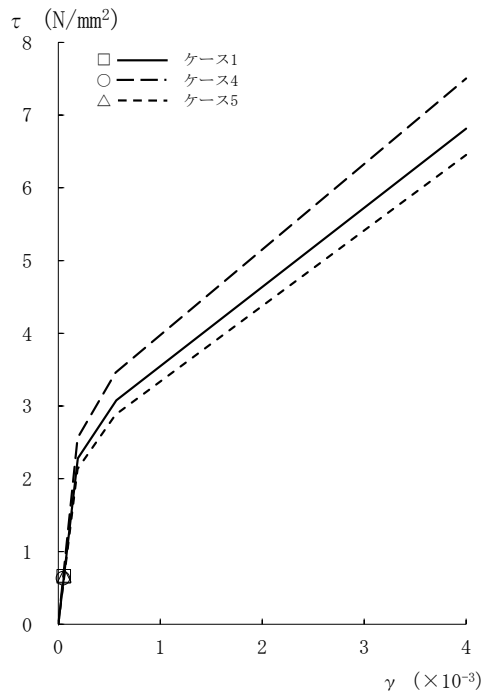


[外壁部]



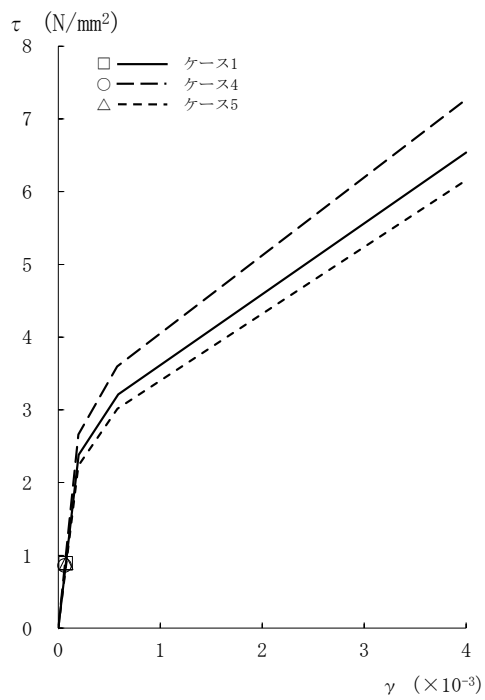
[RCCV部]

図2-71 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, B3F) (8/8)



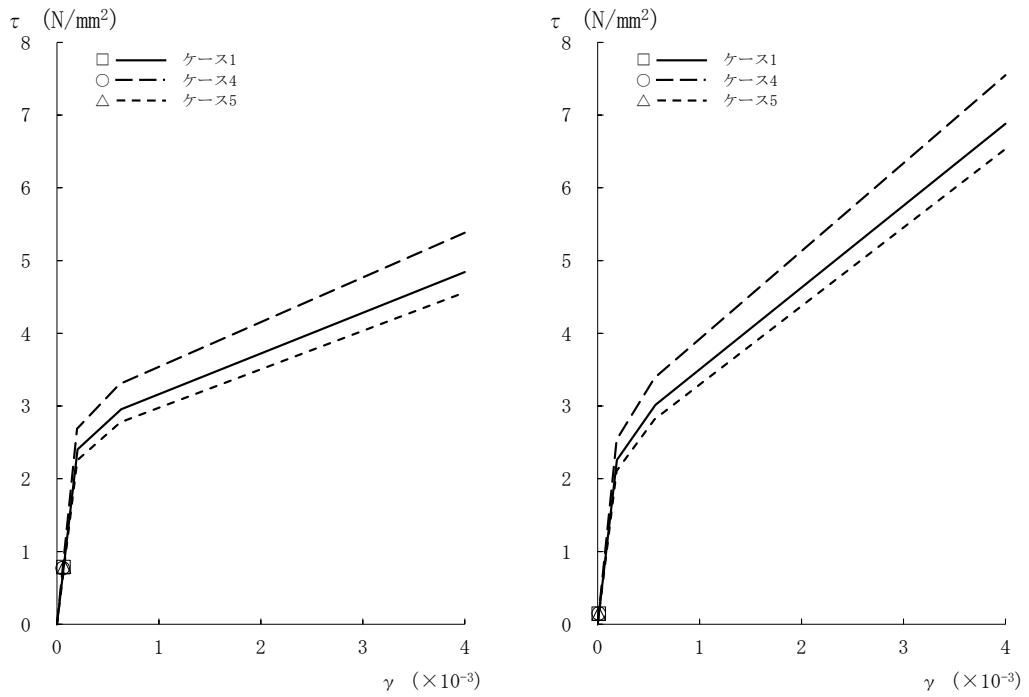
[外壁部]

図2-72 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

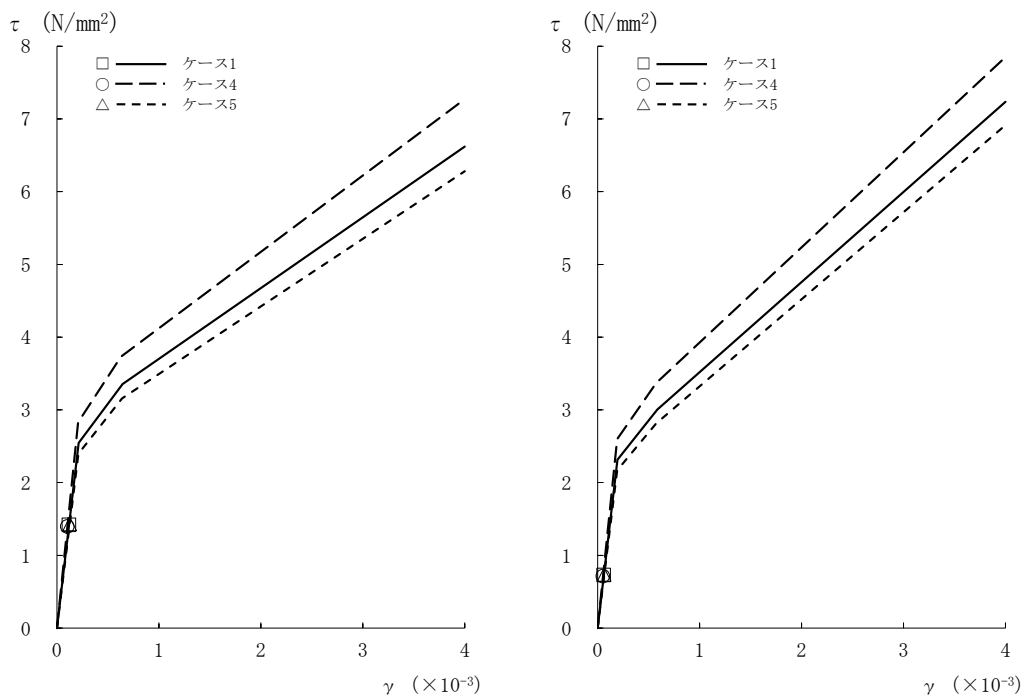
図2-72 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, 4F) (2/8)



[外壁部]

[RCCV部]

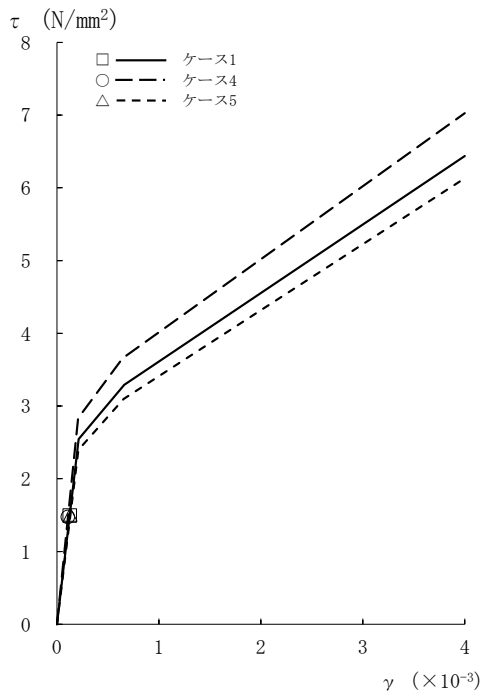
図2-72 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, 3F) (3/8)



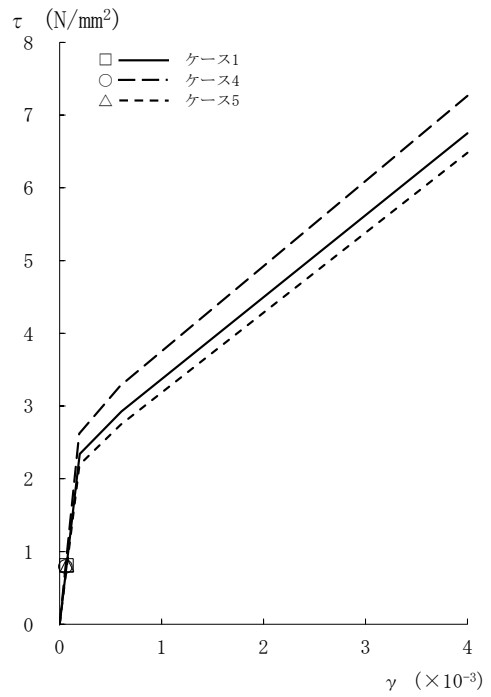
[外壁部]

[RCCV部]

図2-72 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, 2F) (4/8)

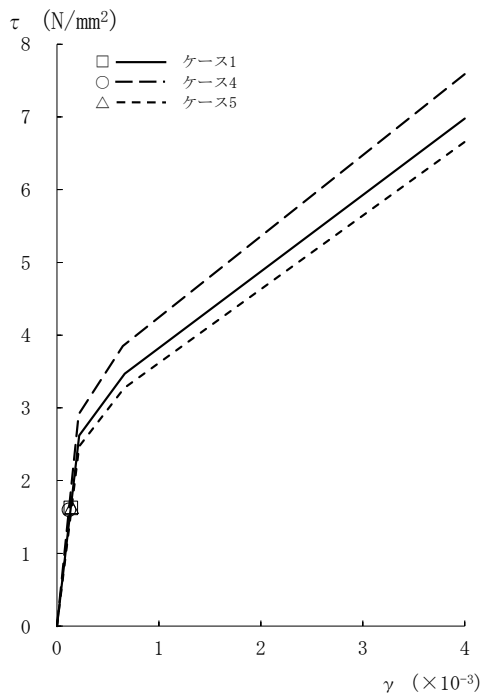


[外壁部]

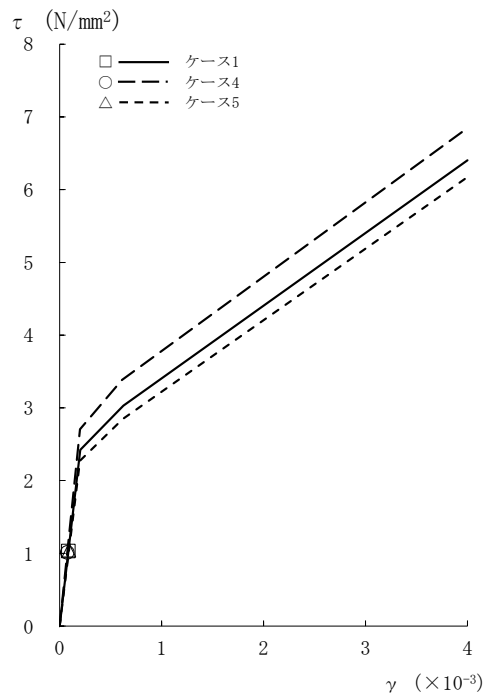


[RCCV部]

図2-72 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, 1F) (5/8)

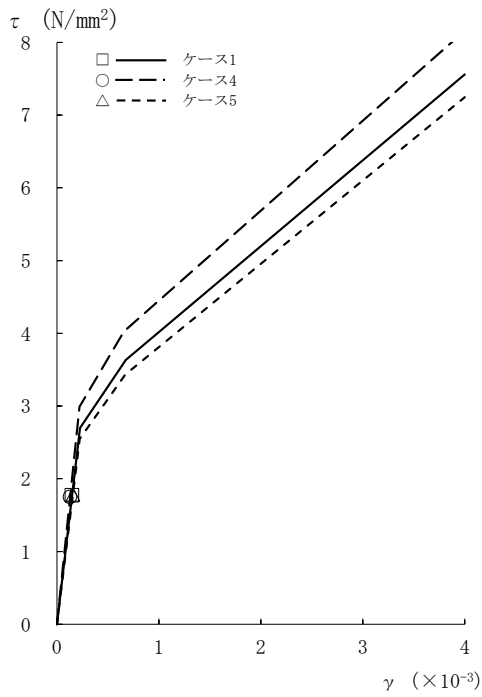


[外壁部]

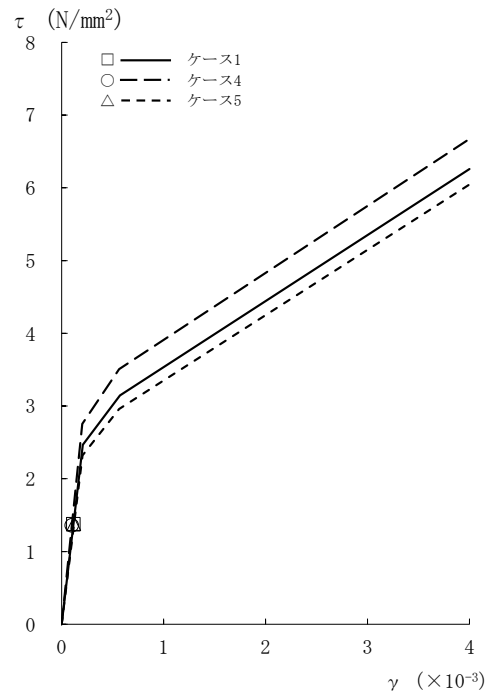


[RCCV部]

図2-72 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, B1F) (6/8)

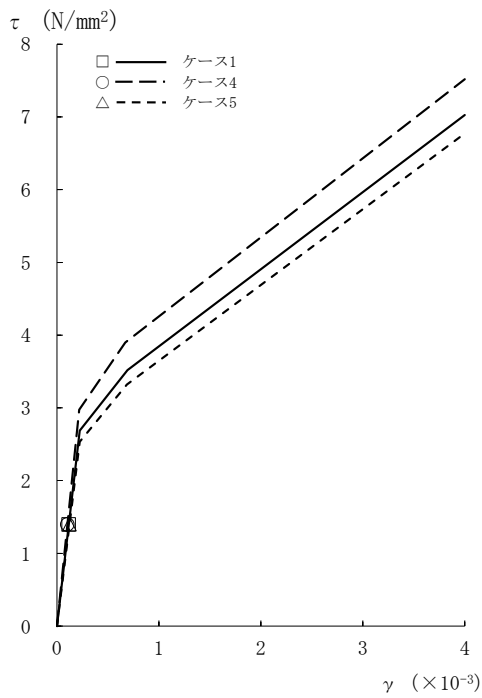


[外壁部]

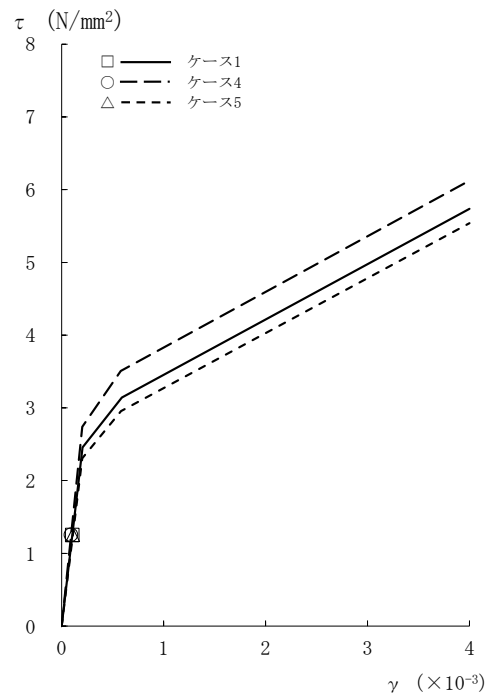


[RCCV部]

図2-72 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, B2F) (7/8)

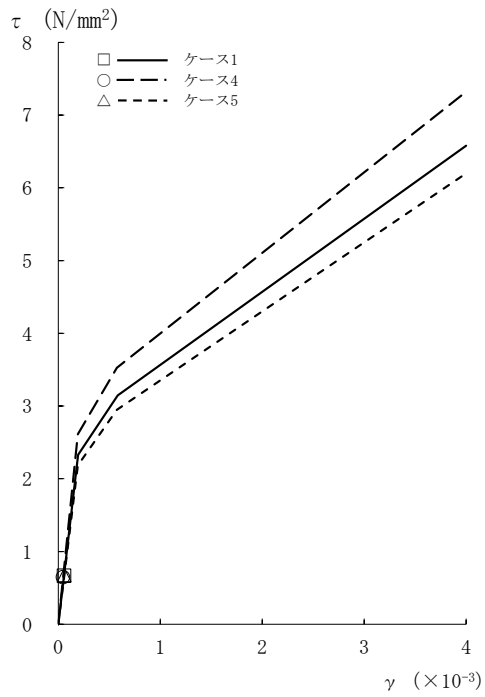


[外壁部]



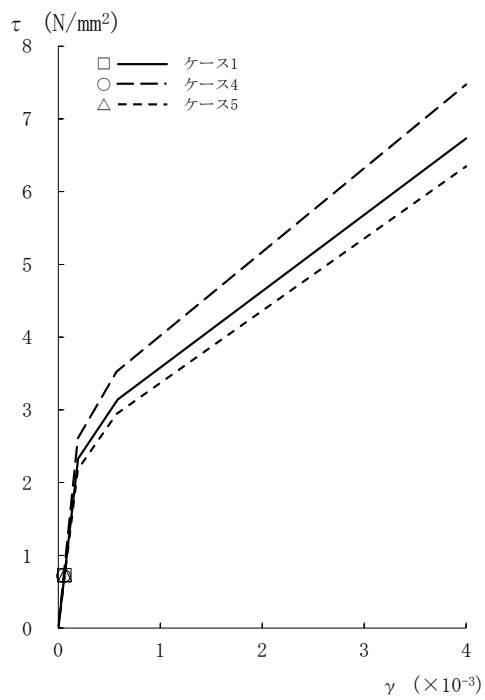
[RCCV部]

図2-72 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, B3F) (8/8)



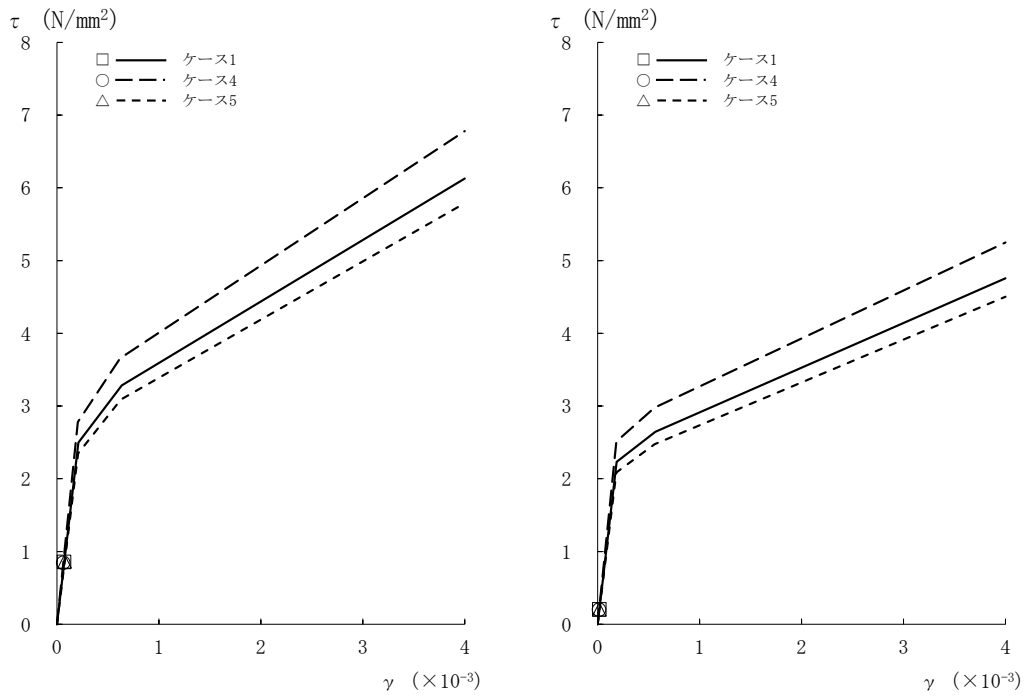
[外壁部]

図2-73 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, CRF) (1/8)



[外壁部]

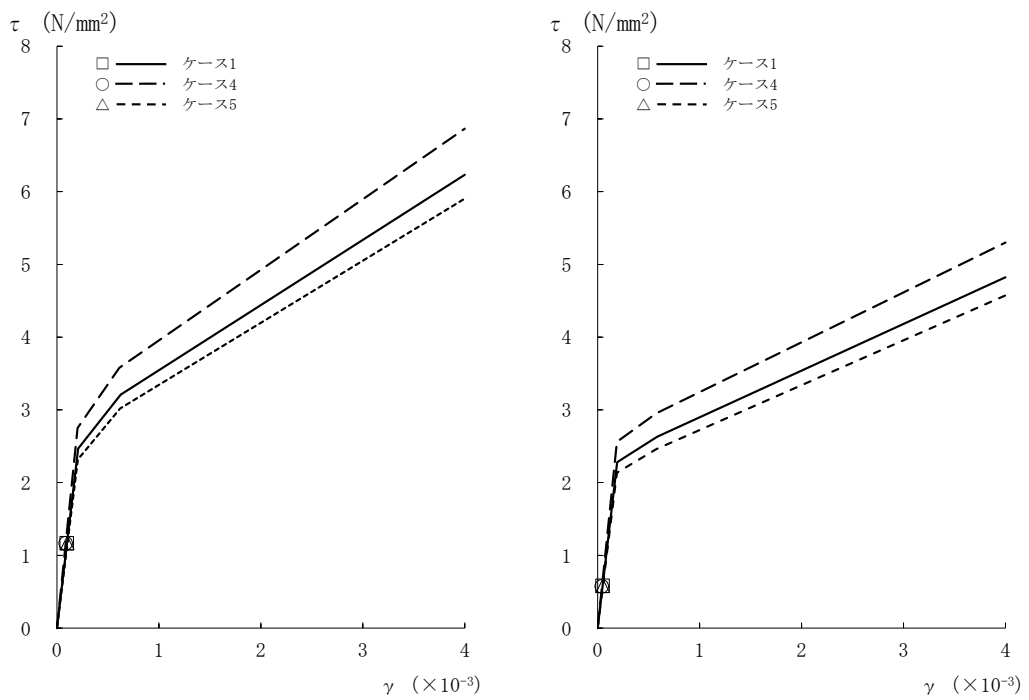
図2-73 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, 4F) (2/8)



[外壁部]

[RCCV部]

図2-73 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, 3F) (3/8)



[外壁部]

[RCCV部]

図2-73 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, 2F) (4/8)

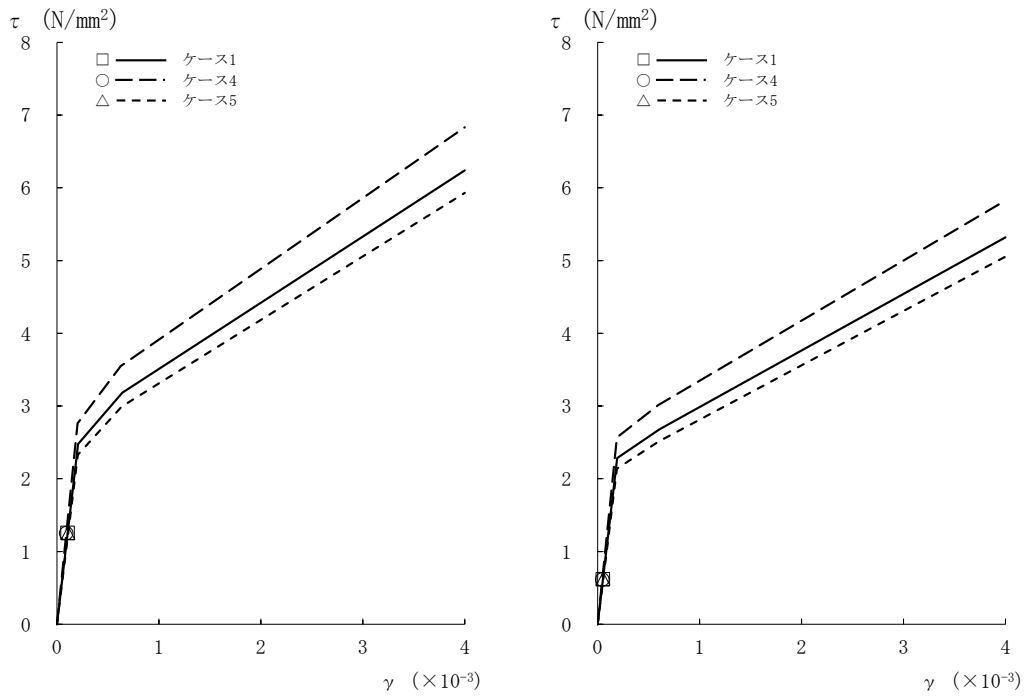


図2-73 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, 1F) (5/8)

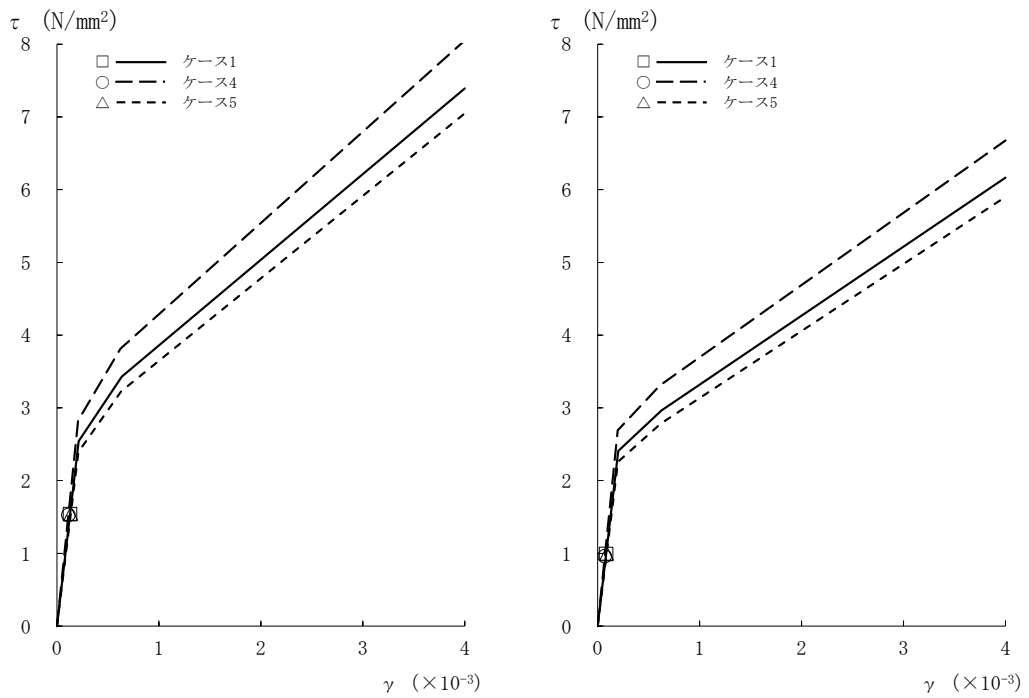
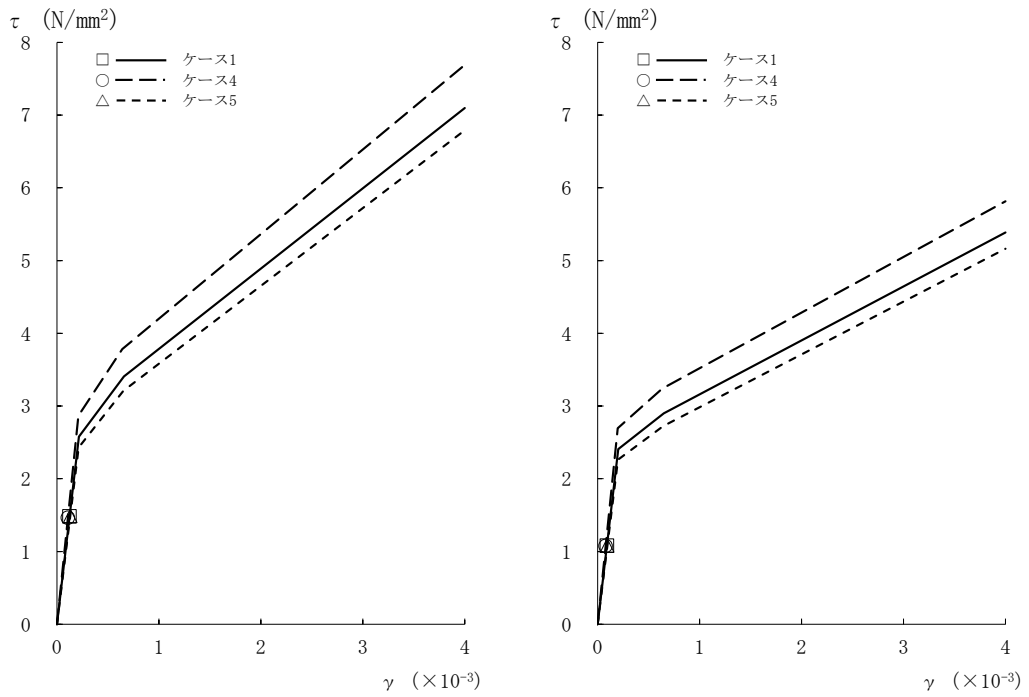


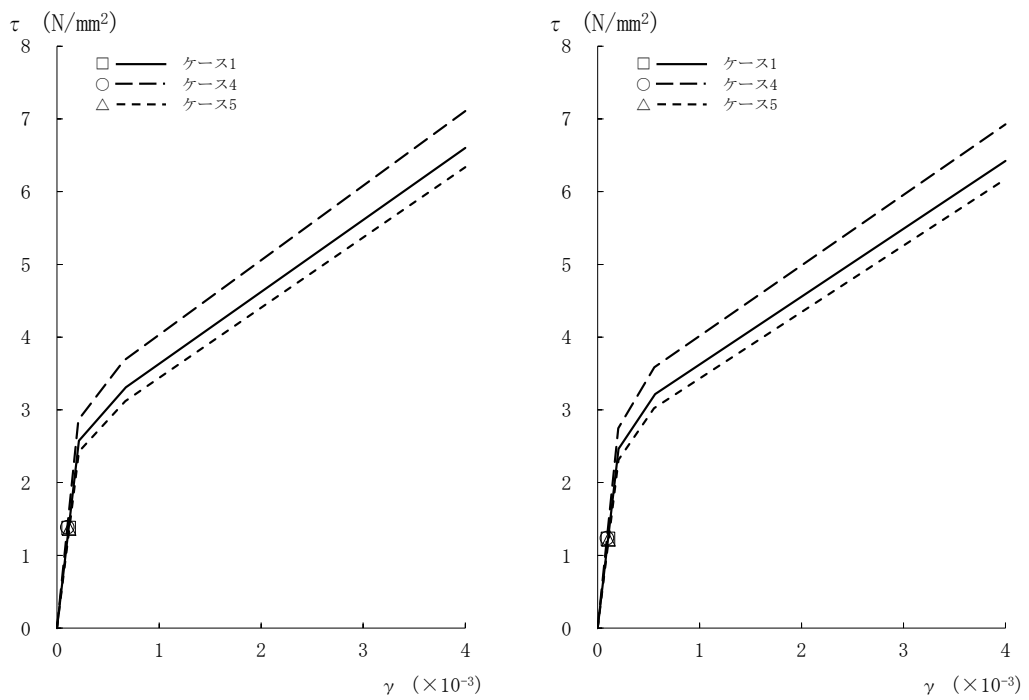
図2-73 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, B1F) (6/8)



[外壁部]

[RCCV部]

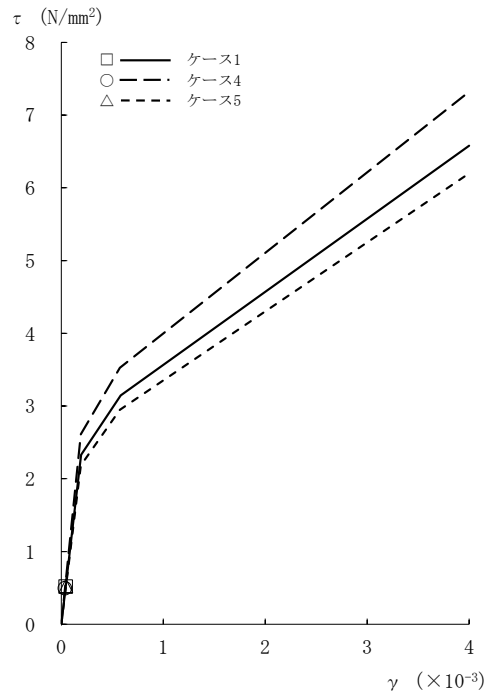
図2-73 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, B2F) (7/8)



[外壁部]

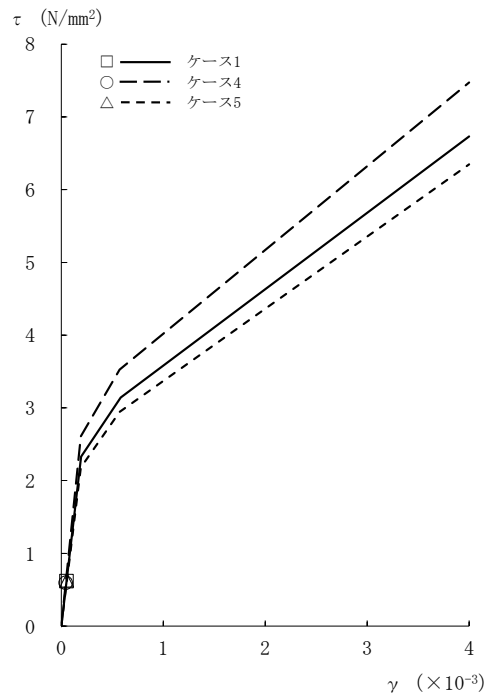
[RCCV部]

図2-73 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, B3F) (8/8)



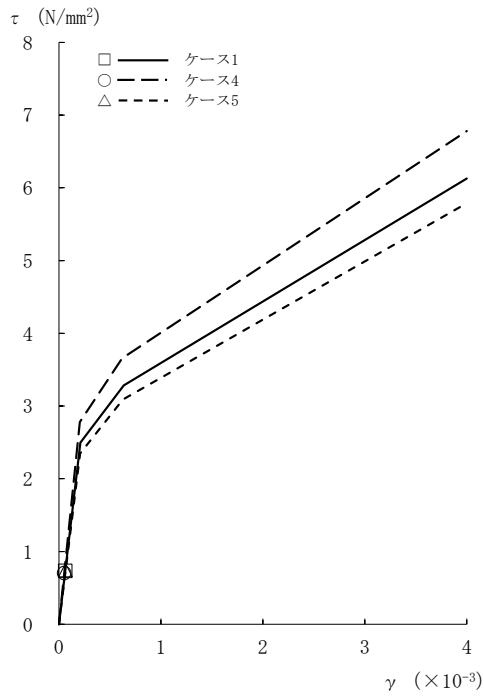
[外壁部]

図2-74 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, CRF) (1/8)

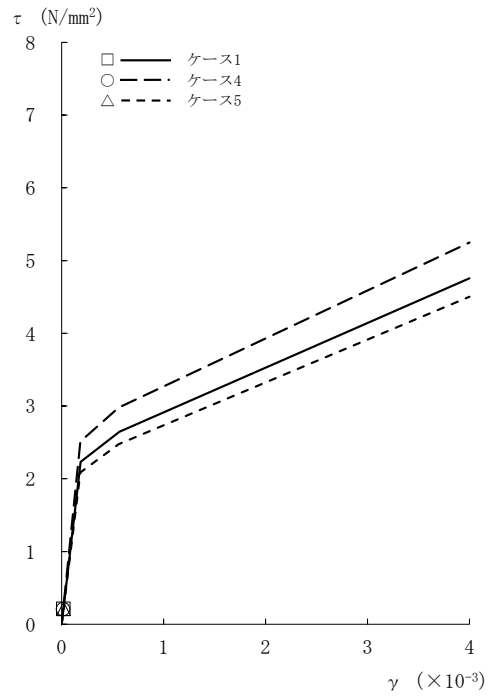


[外壁部]

図2-74 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, 4F) (2/8)

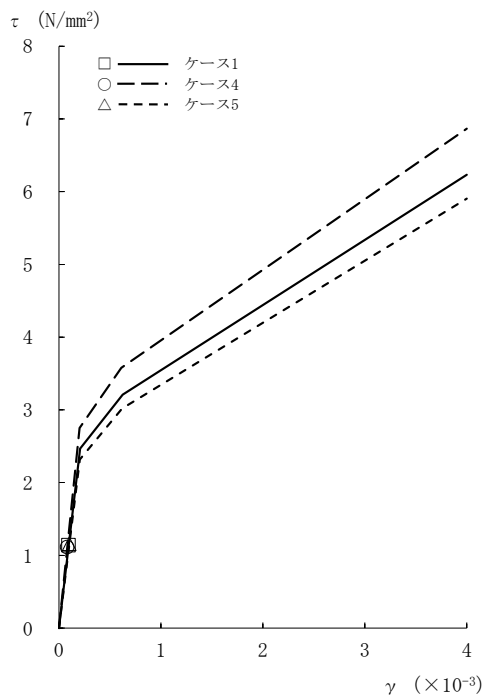


[外壁部]

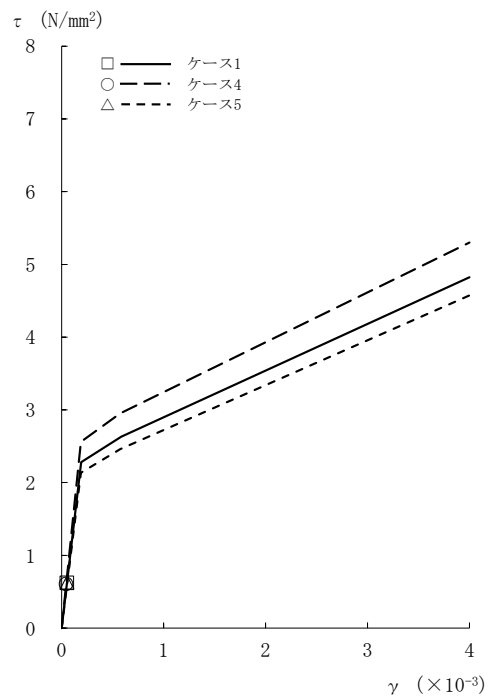


[RCCV部]

図2-74 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, 3F) (3/8)

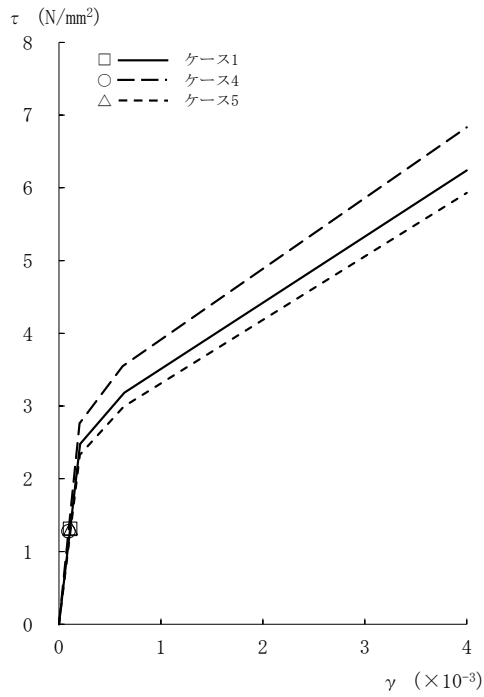


[外壁部]

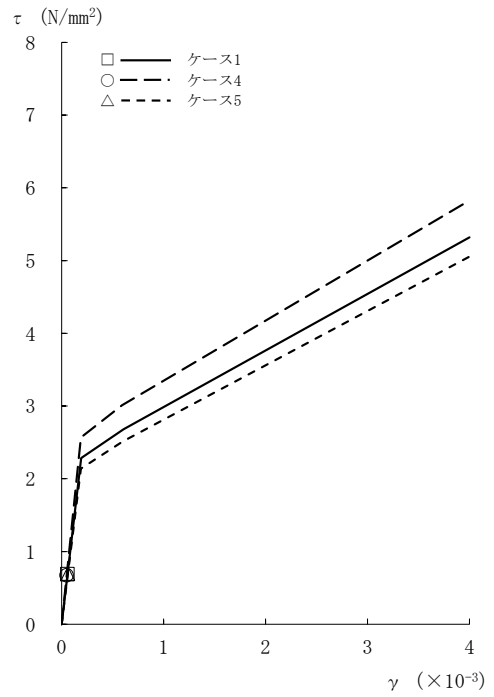


[RCCV部]

図2-74 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, 2F) (4/8)

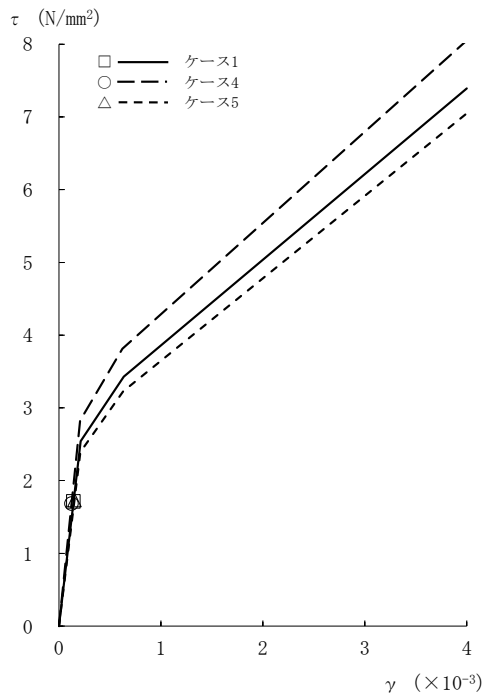


[外壁部]

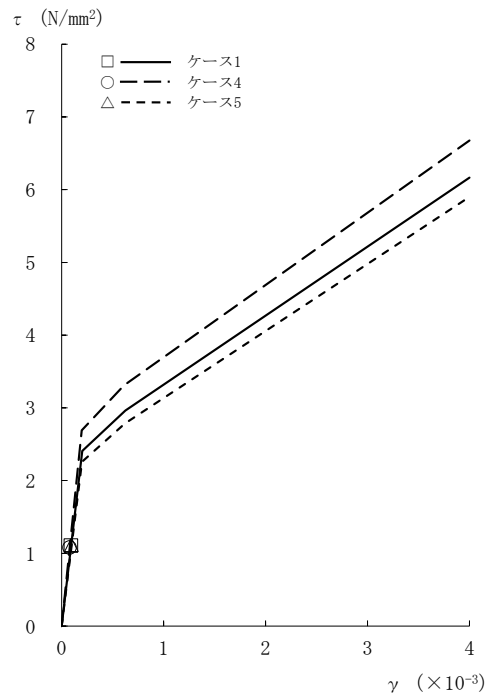


[RCCV部]

図2-74 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, 1F) (5/8)

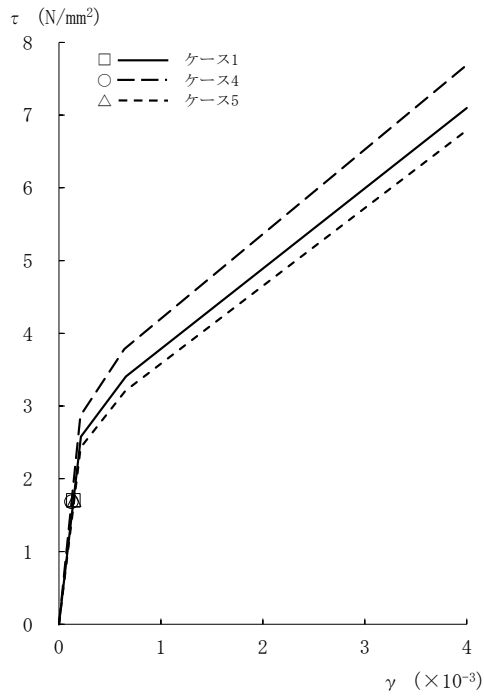


[外壁部]

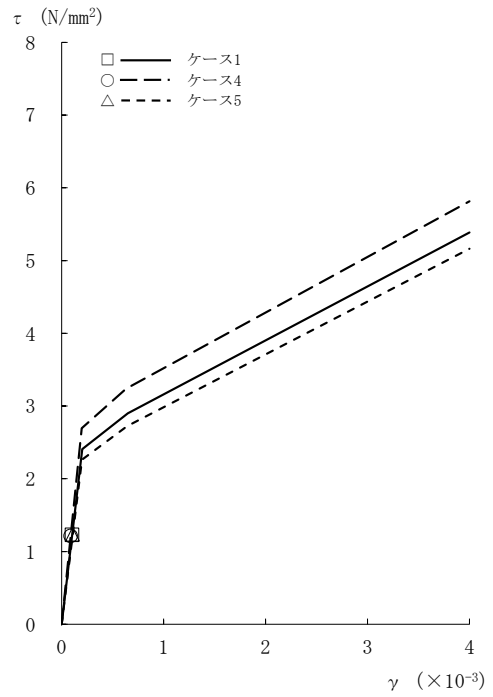


[RCCV部]

図2-74 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, B1F) (6/8)

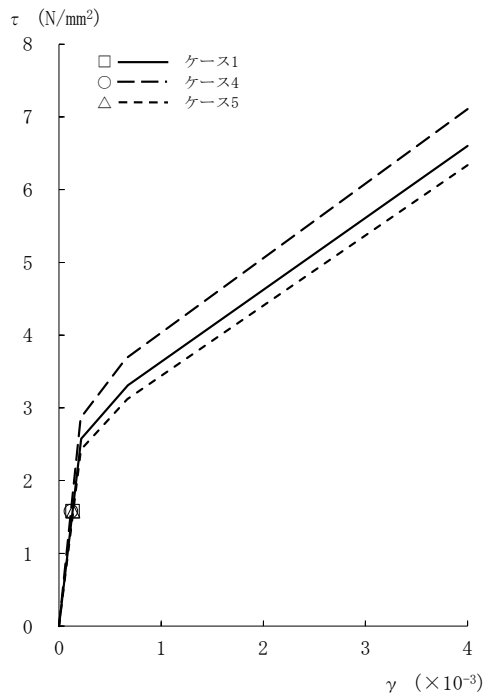


[外壁部]

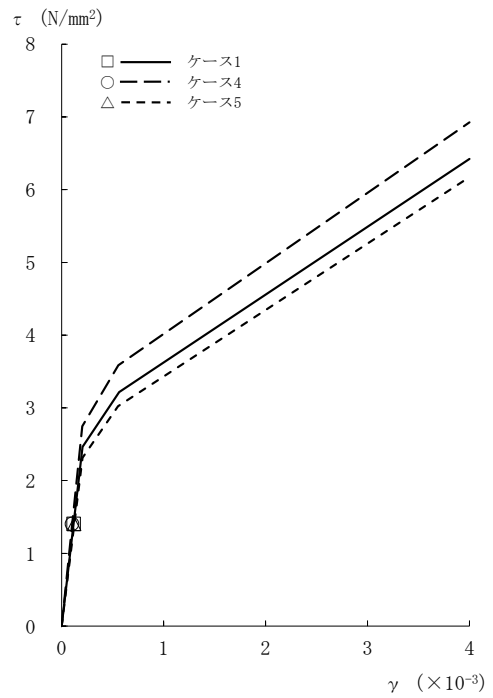


[RCCV部]

図2-74 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, B2F) (7/8)

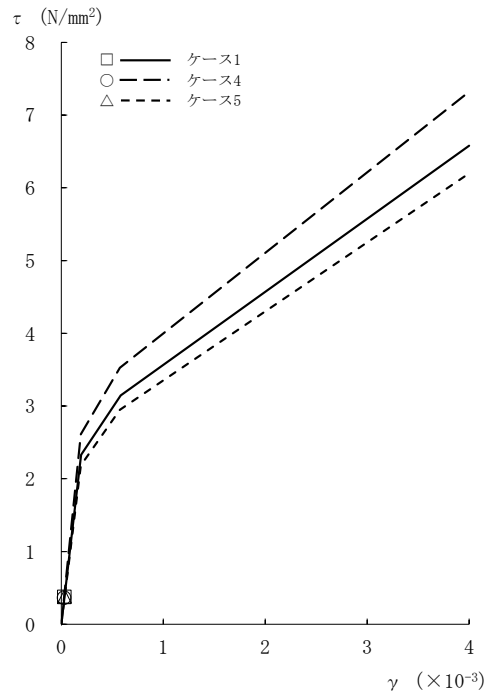


[外壁部]



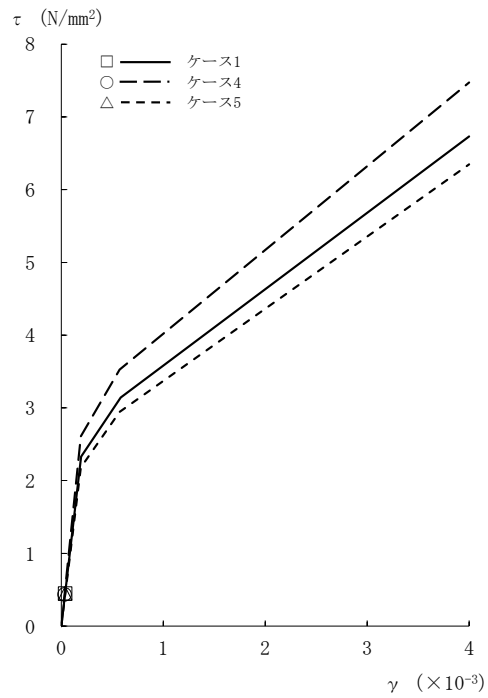
[RCCV部]

図2-74 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, B3F) (8/8)



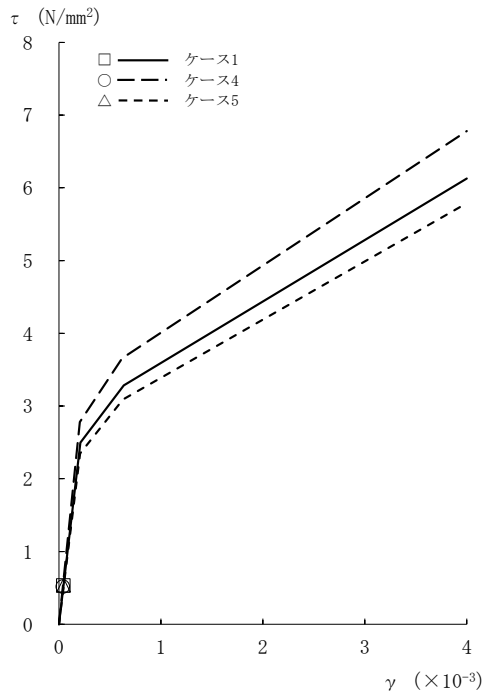
[外壁部]

図2-75 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, CRF) (1/8)

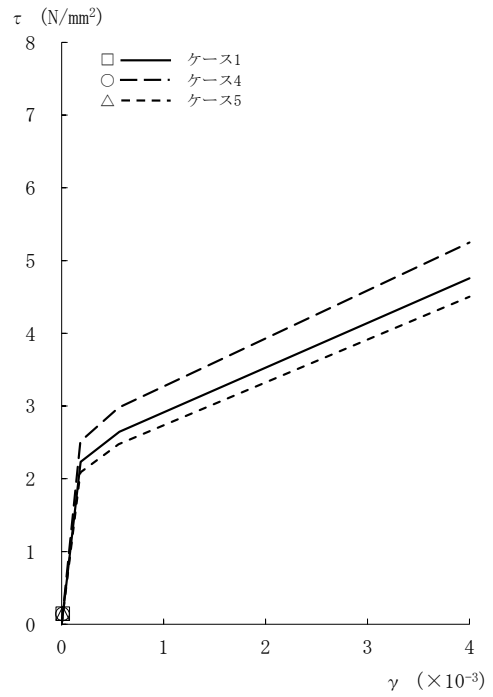


[外壁部]

図2-75 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, 4F) (2/8)

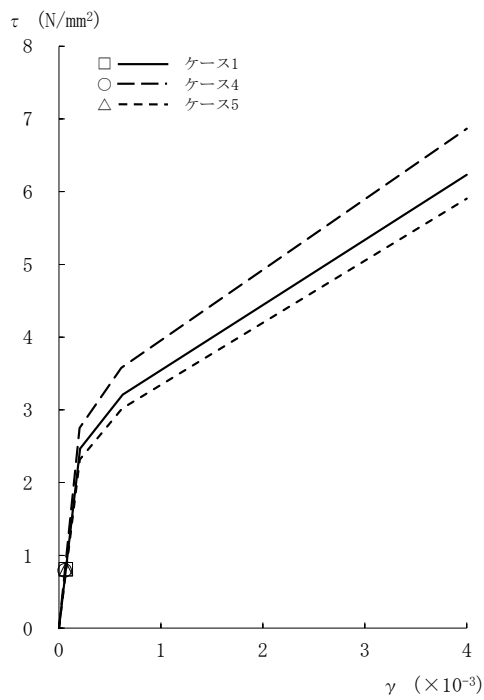


[外壁部]

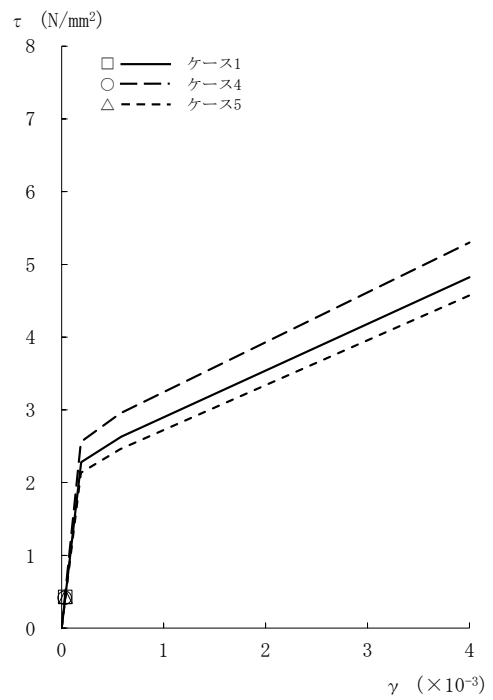


[RCCV部]

図2-75 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, 3F) (3/8)

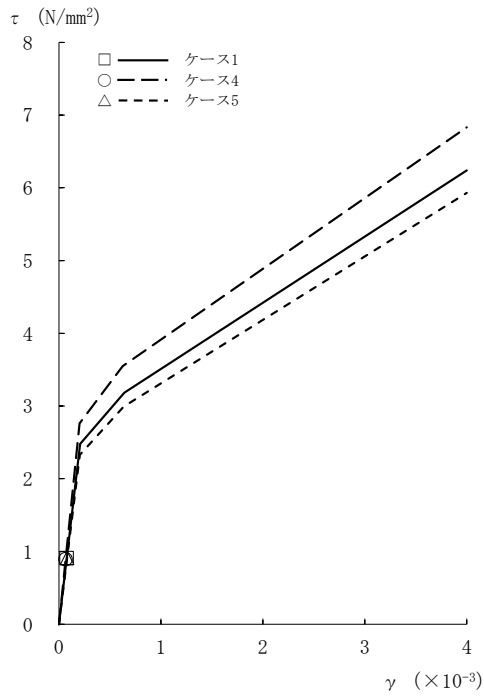


[外壁部]

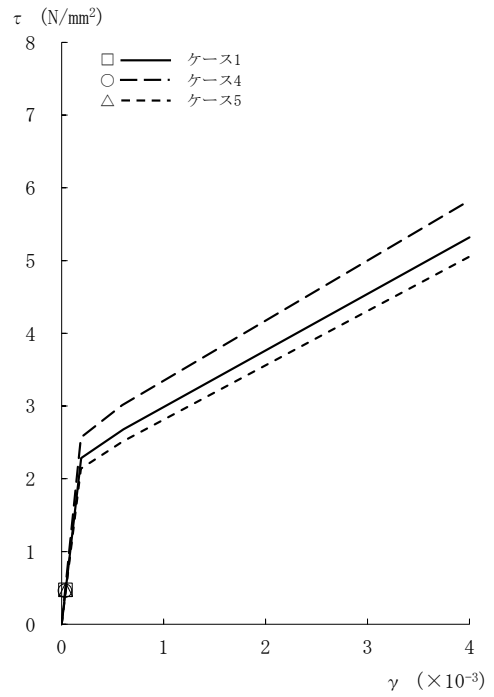


[RCCV部]

図2-75 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, 2F) (4/8)

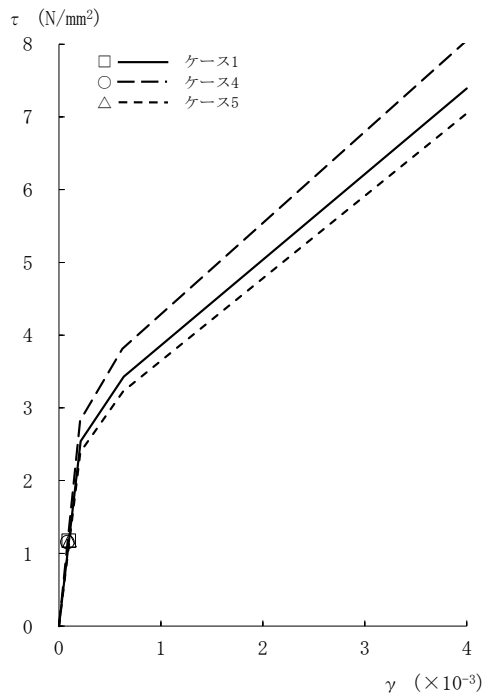


[外壁部]

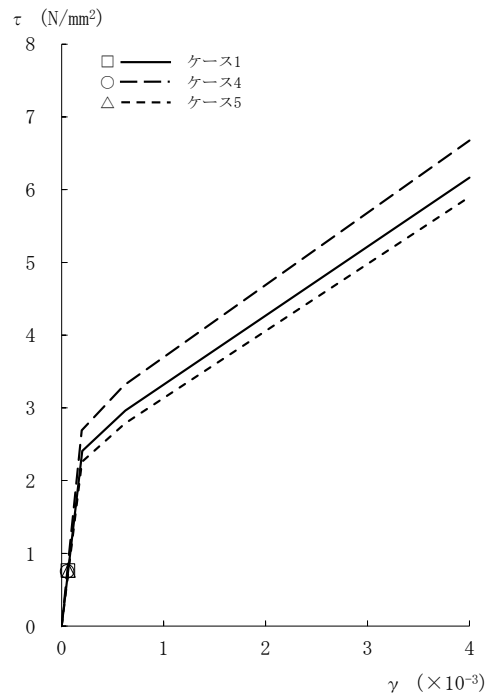


[RCCV部]

図2-75 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, 1F) (5/8)

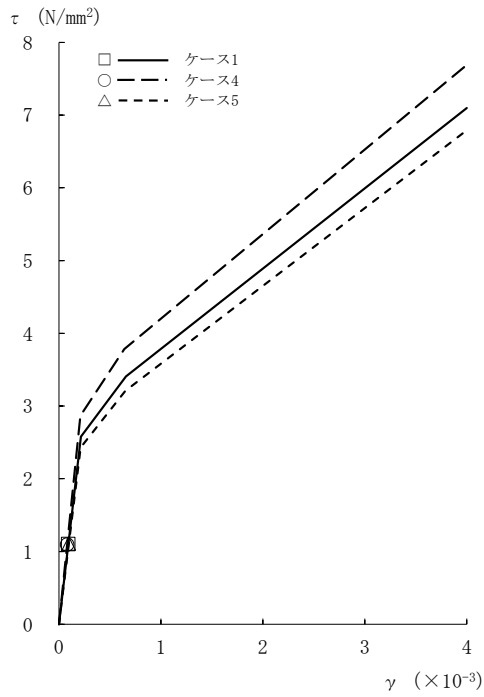


[外壁部]

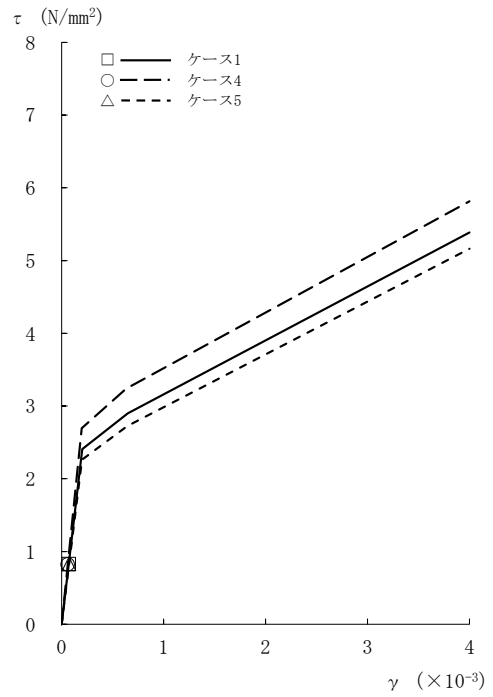


[RCCV部]

図2-75 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, B1F) (6/8)

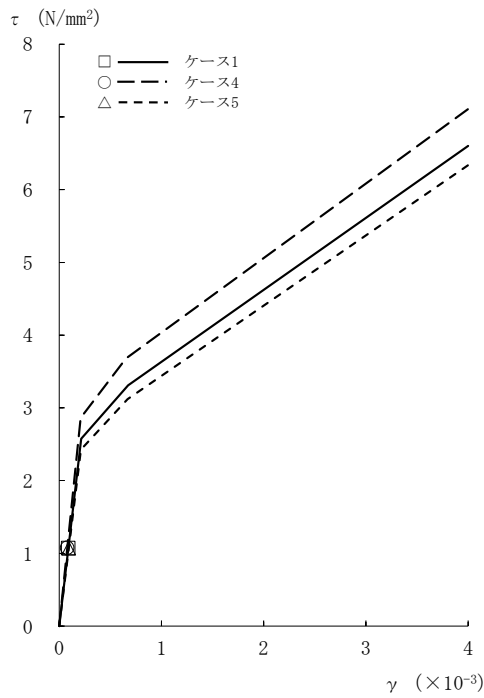


[外壁部]

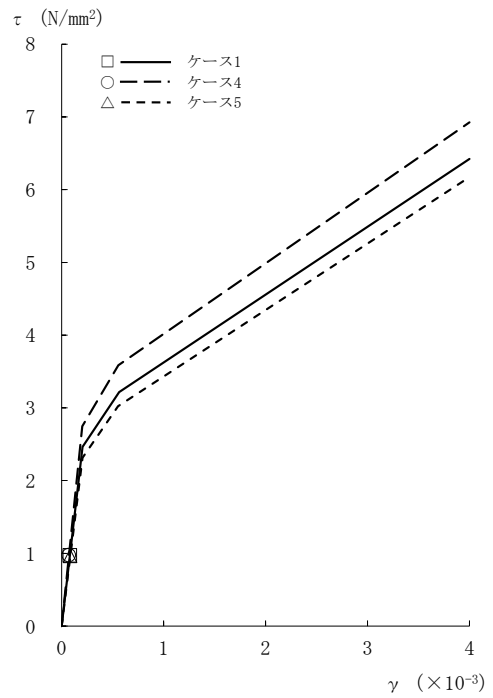


[RCCV部]

図2-75 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, B2F) (7/8)

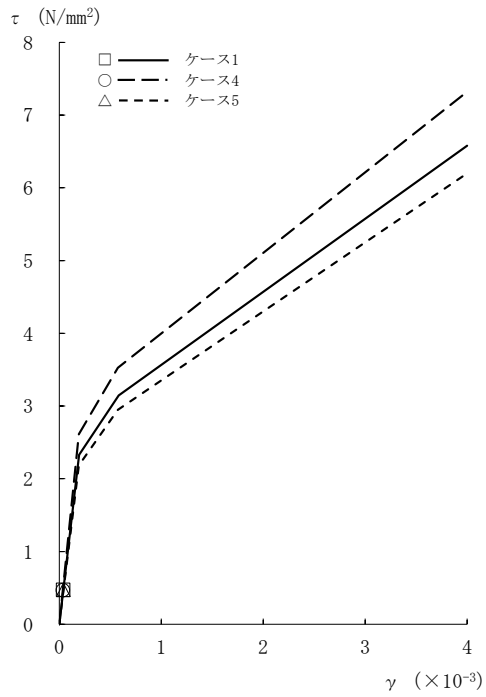


[外壁部]



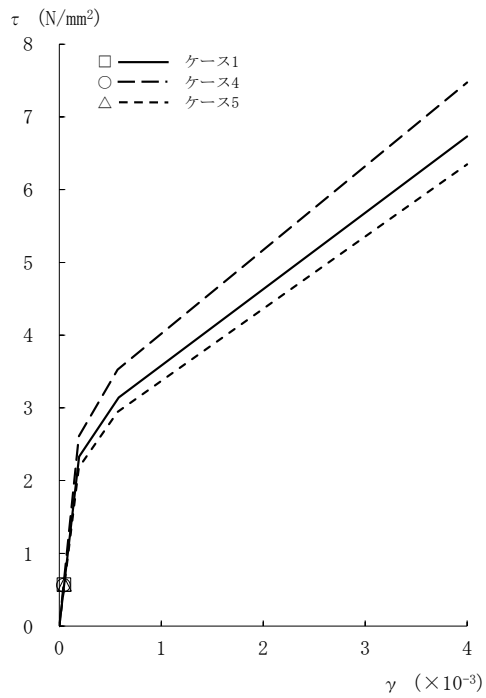
[RCCV部]

図2-75 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, B3F) (8/8)



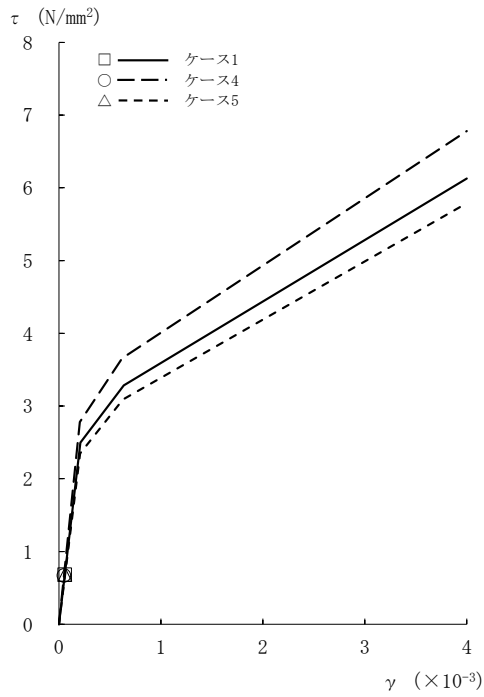
[外壁部]

図2-76 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, CRF) (1/8)

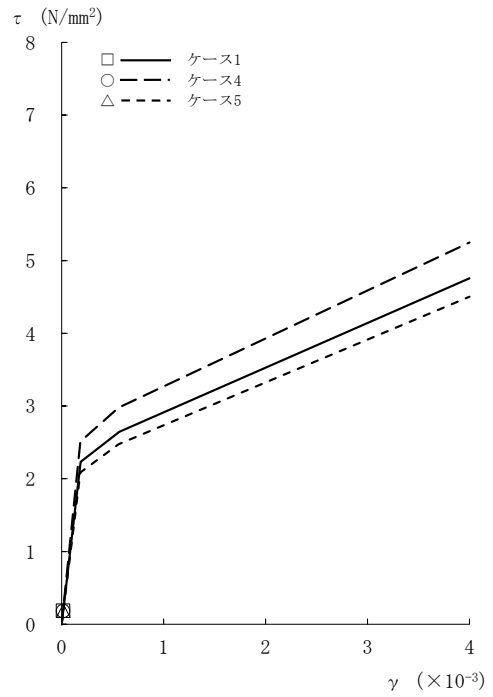


[外壁部]

図2-76 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, 4F) (2/8)

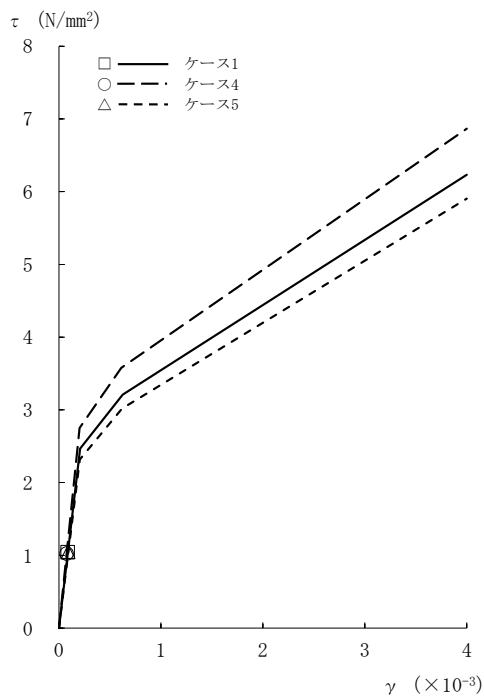


[外壁部]

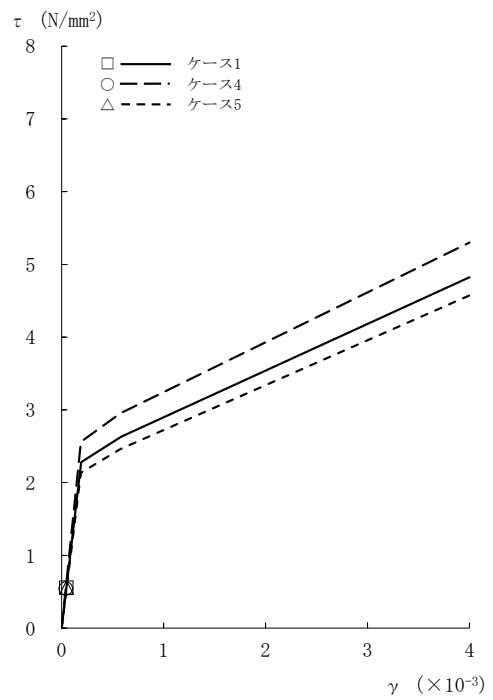


[RCCV部]

図2-76 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, 3F) (3/8)

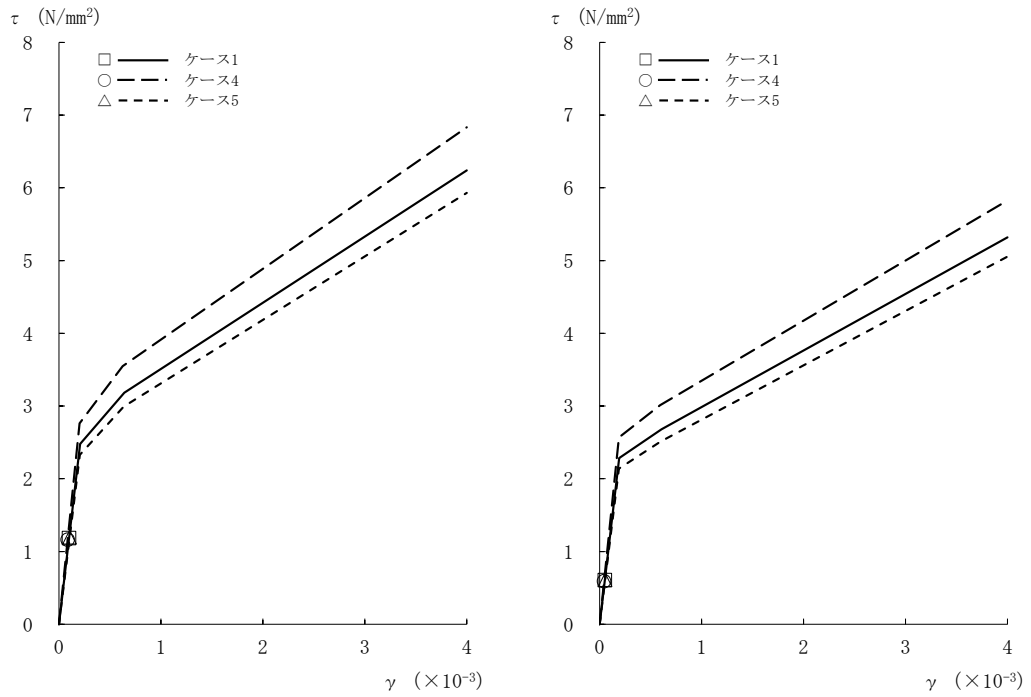


[外壁部]



[RCCV部]

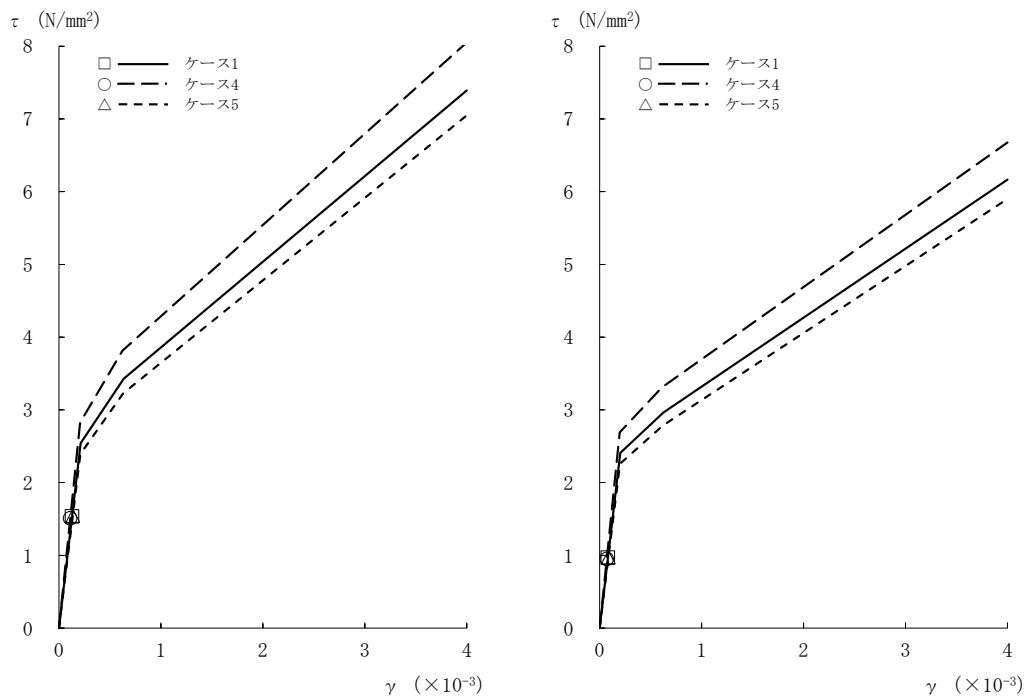
図2-76 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, 2F) (4/8)



[外壁部]

[RCCV部]

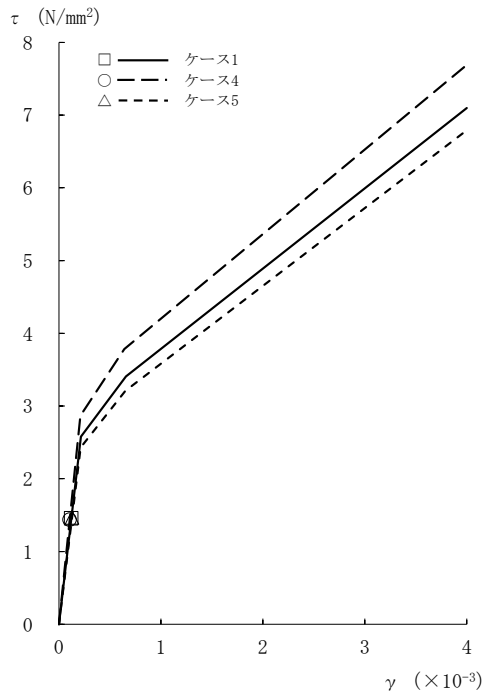
図2-76 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, 1F) (5/8)



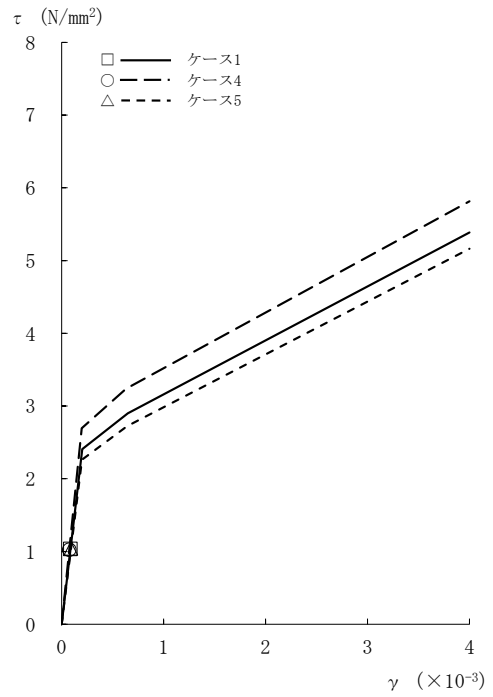
[外壁部]

[RCCV部]

図2-76 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, B1F) (6/8)

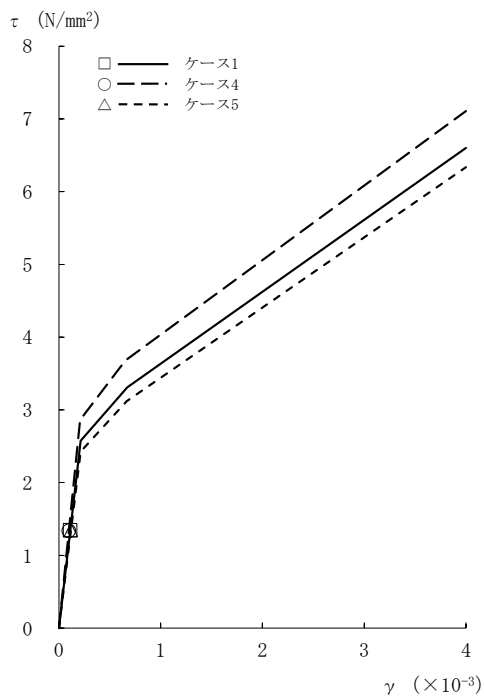


[外壁部]

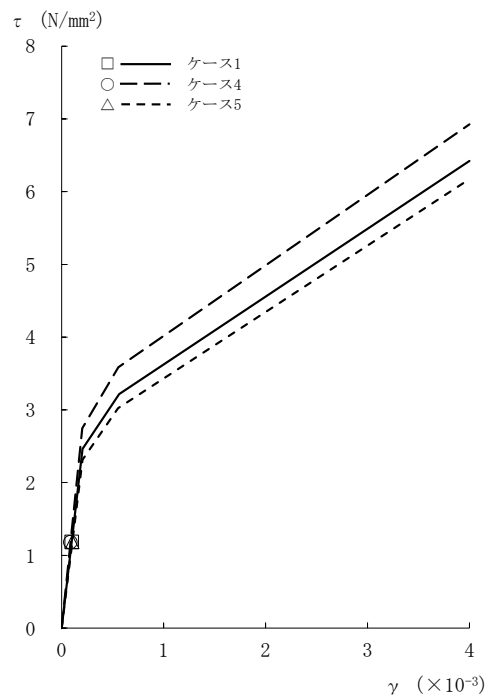


[RCCV部]

図2-76 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, B2F) (7/8)



[外壁部]



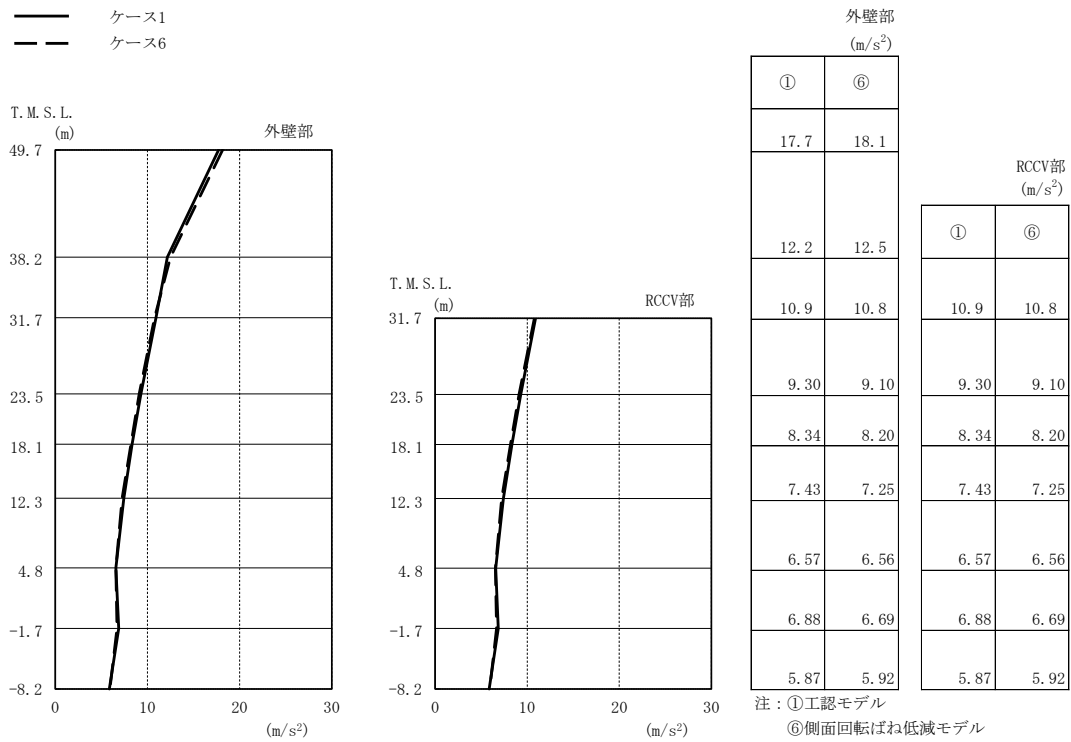
[RCCV部]

図2-76 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, B3F) (8/8)

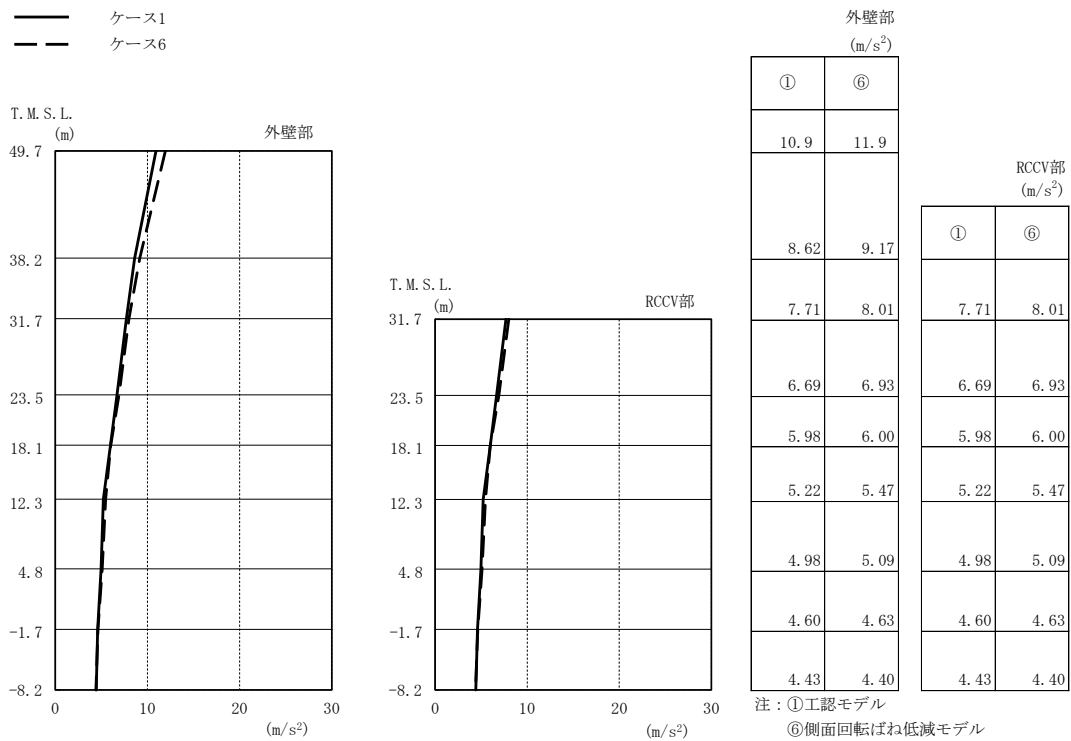
2.3 側面回転ばねの不確かさ

側面回転ばねの不確かさを考慮した基準地震動 S_s に対する地震応答解析結果を図2-77～図2-92に、弾性設計用地震動 S_d に対する地震応答解析結果を図2-93～図2-108に示す。

以後、基本ケースをケース1、側面回転ばねを50%に低減したケースをケース6として示す。

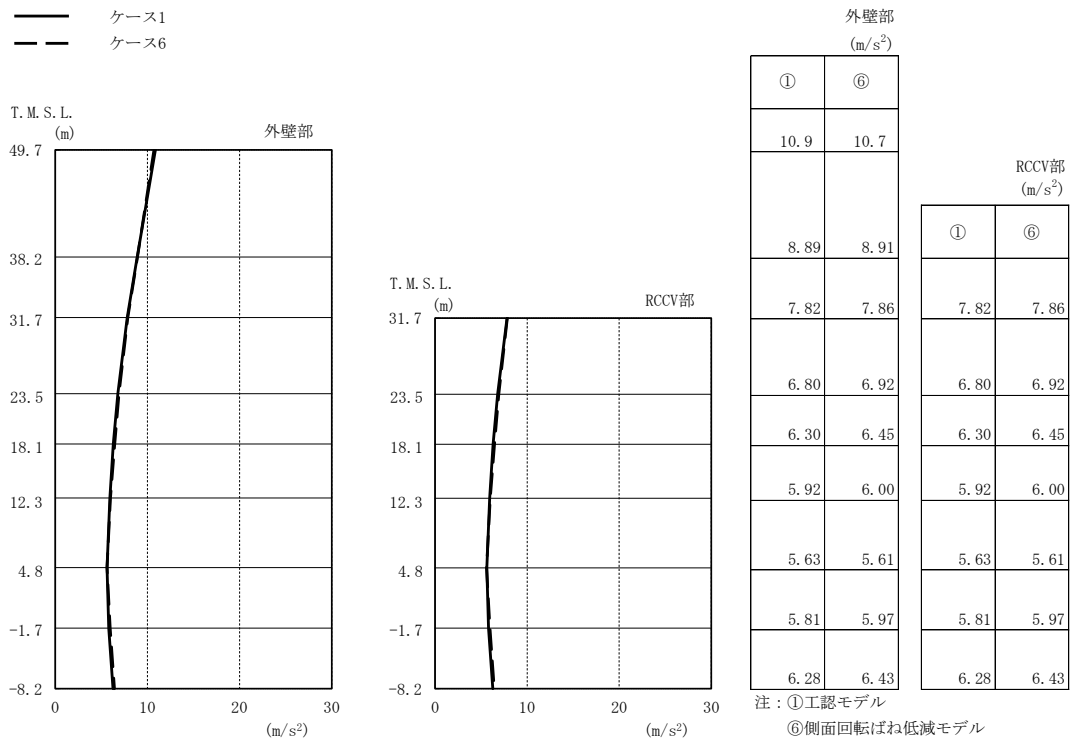


(a) Ss-1

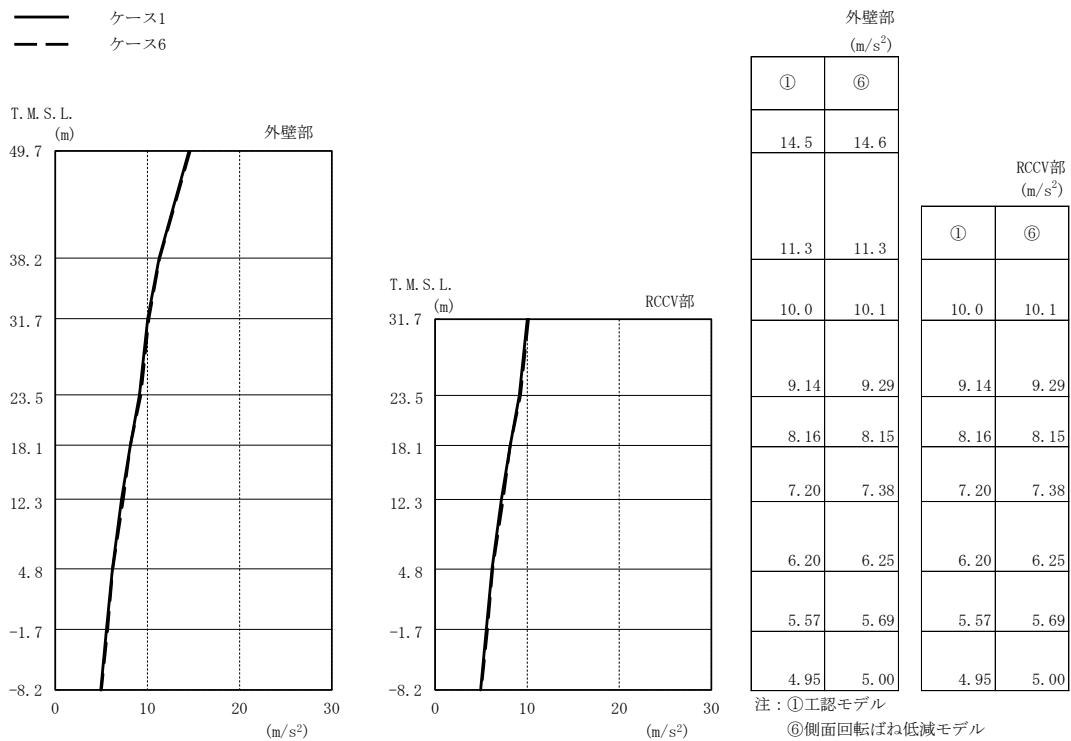


(b) Ss-2

図2-77 最大応答加速度（基準地震動 S s，NS方向）（1/2）

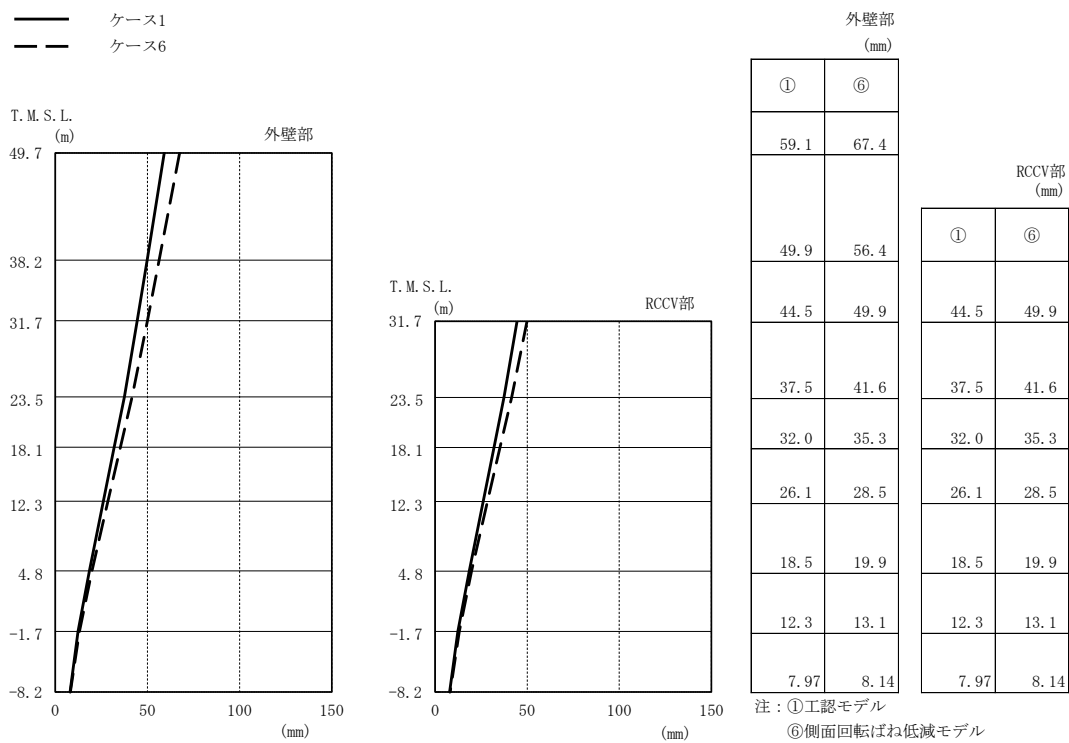


(c) Ss-3

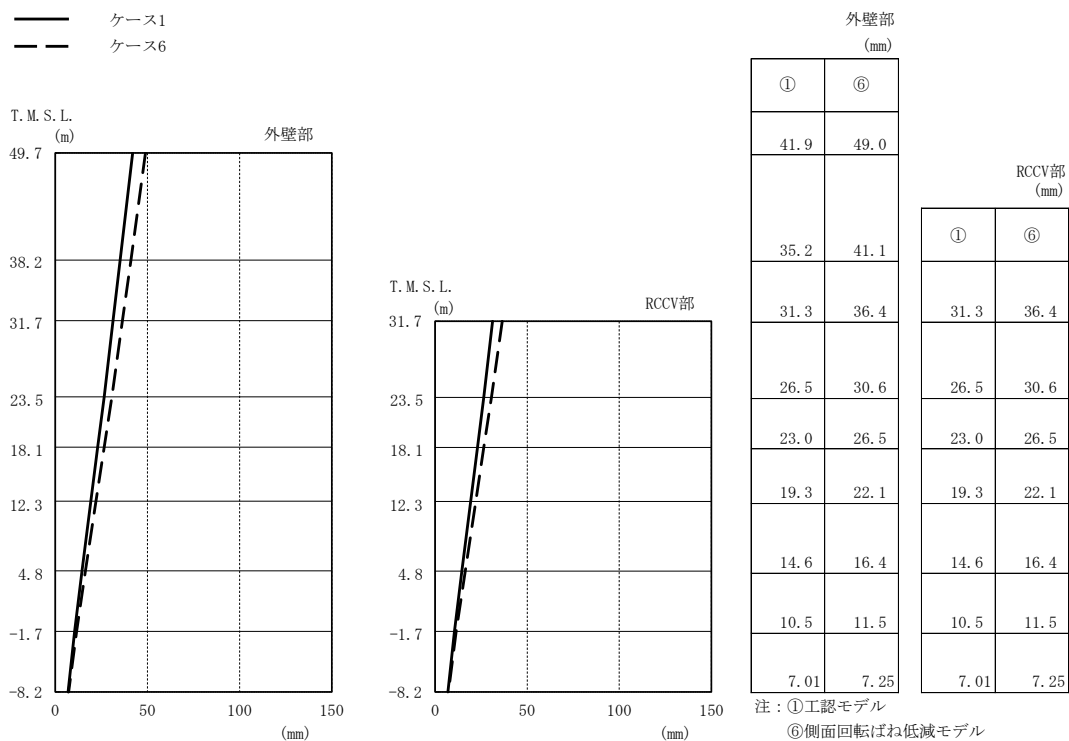


(d) Ss-8

図2-77 最大応答加速度（基準地震動 S s，NS方向）（2/2）

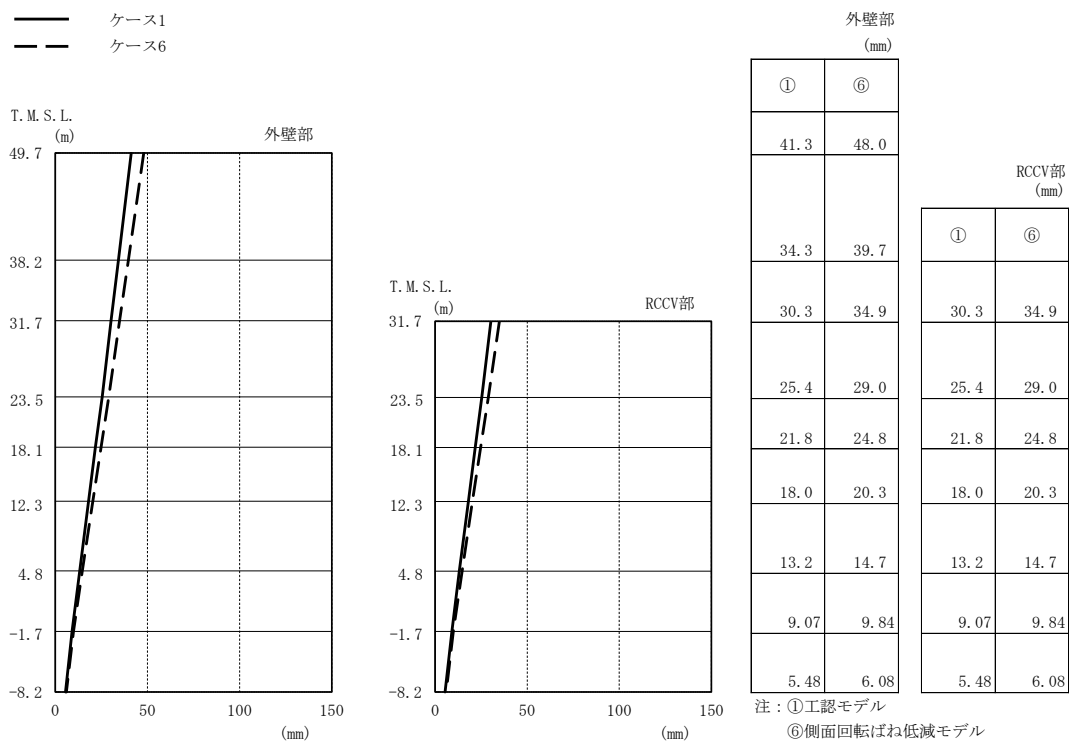


(a) Ss-1

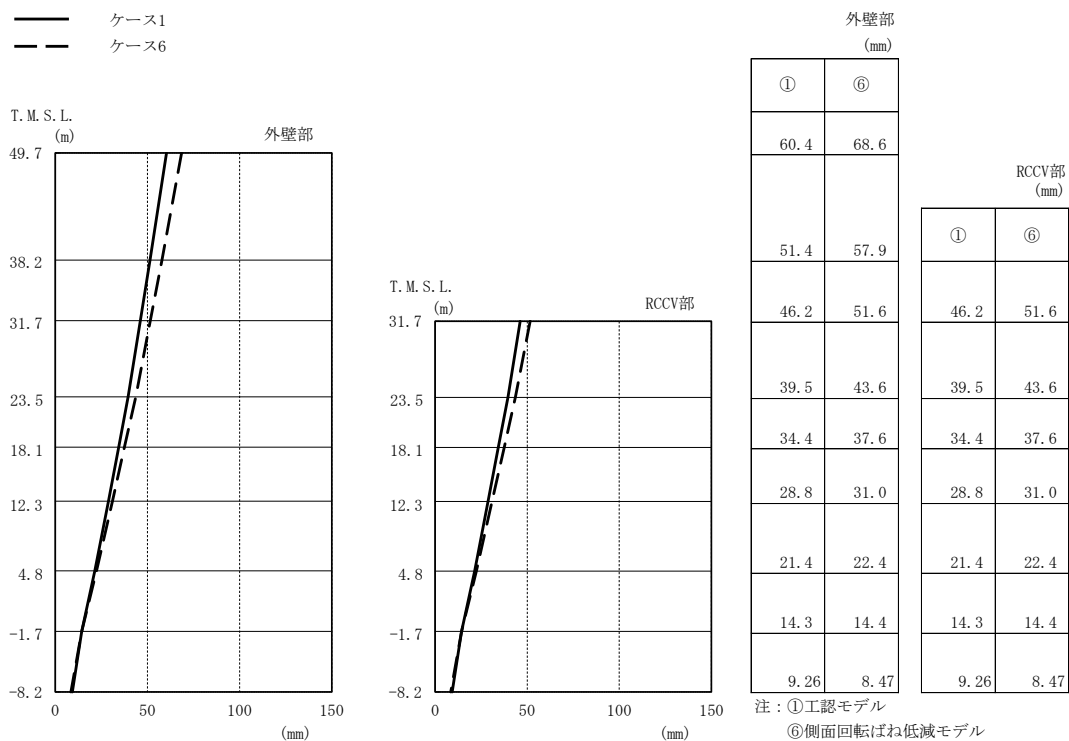


(b) Ss-2

図2-78 最大応答変位 (基準地震動 S_s, NS方向) (1/2)

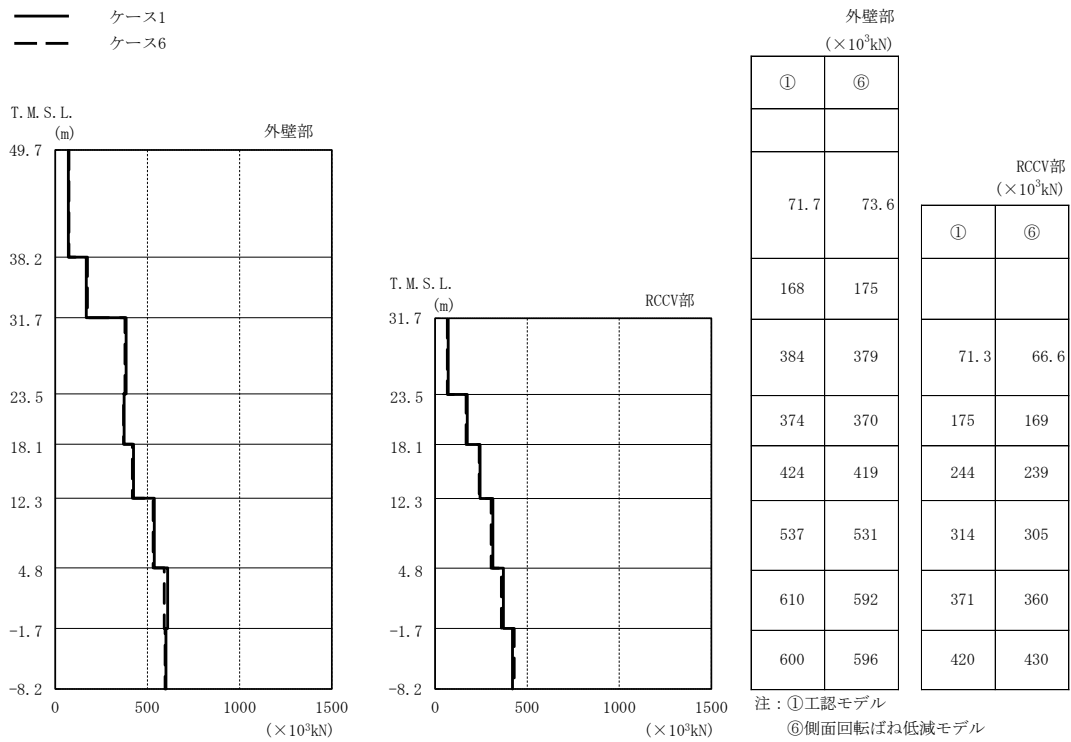


(c) Ss-3

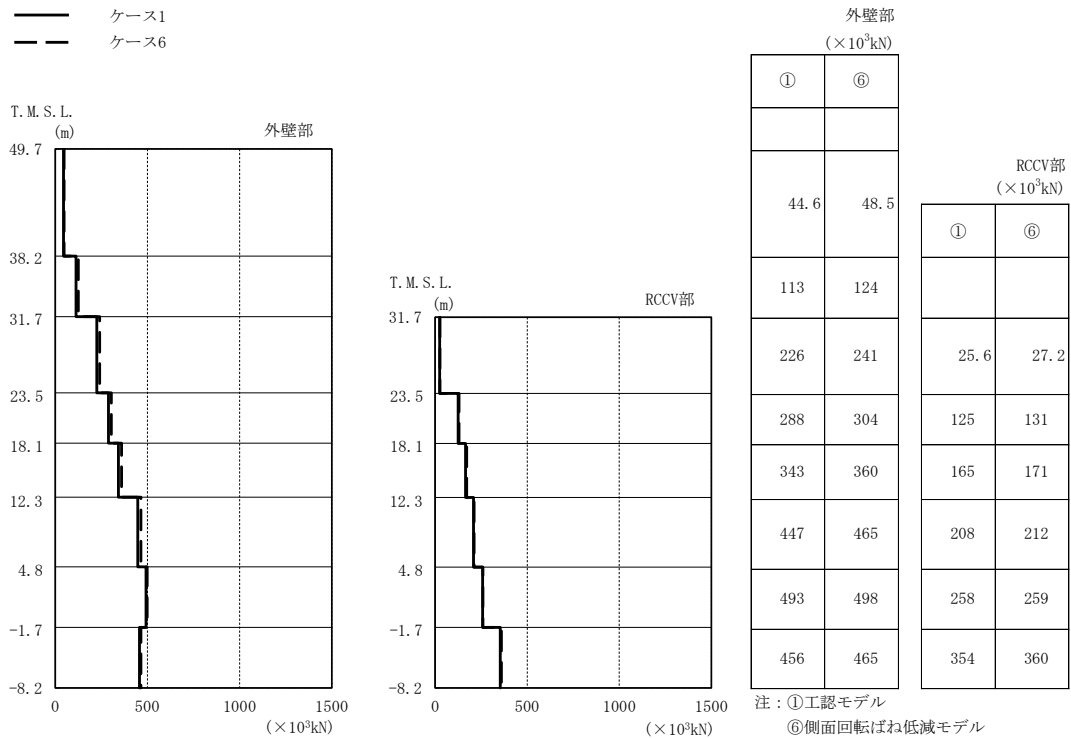


(d) Ss-8

図2-78 最大応答変位 (基準地震動 S_s, NS方向) (2/2)

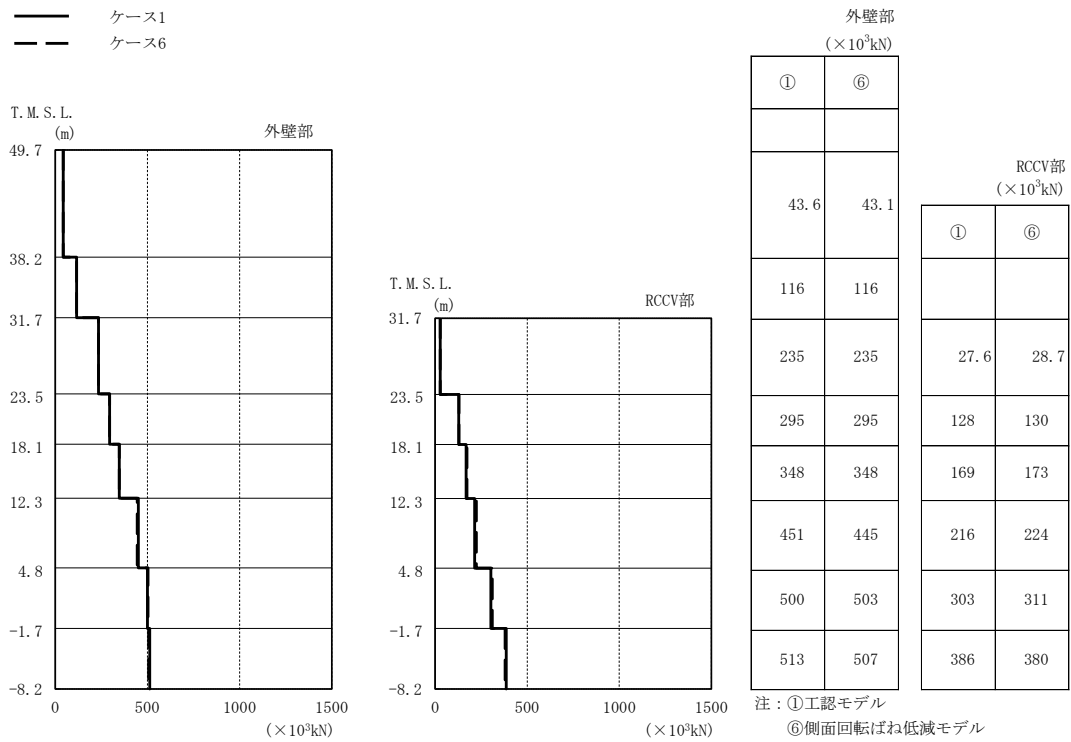


(a) Ss-1

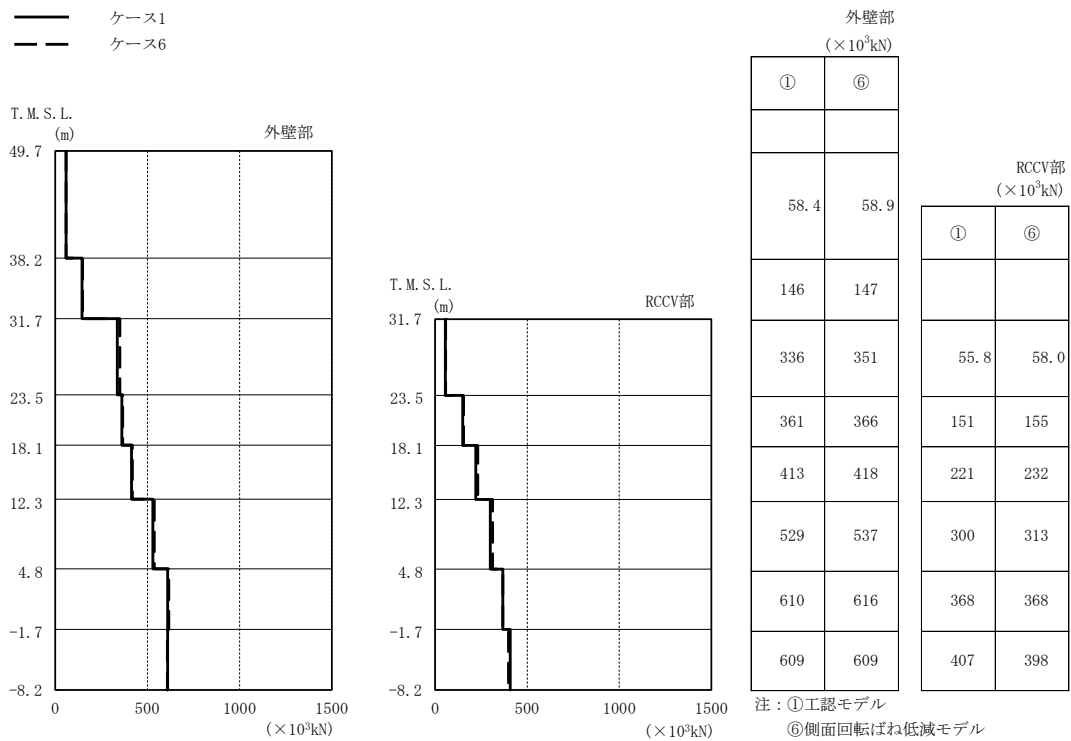


(b) Ss-2

図2-79 最大応答せん断力（基準地震動 S_s，NS方向）（1/2）

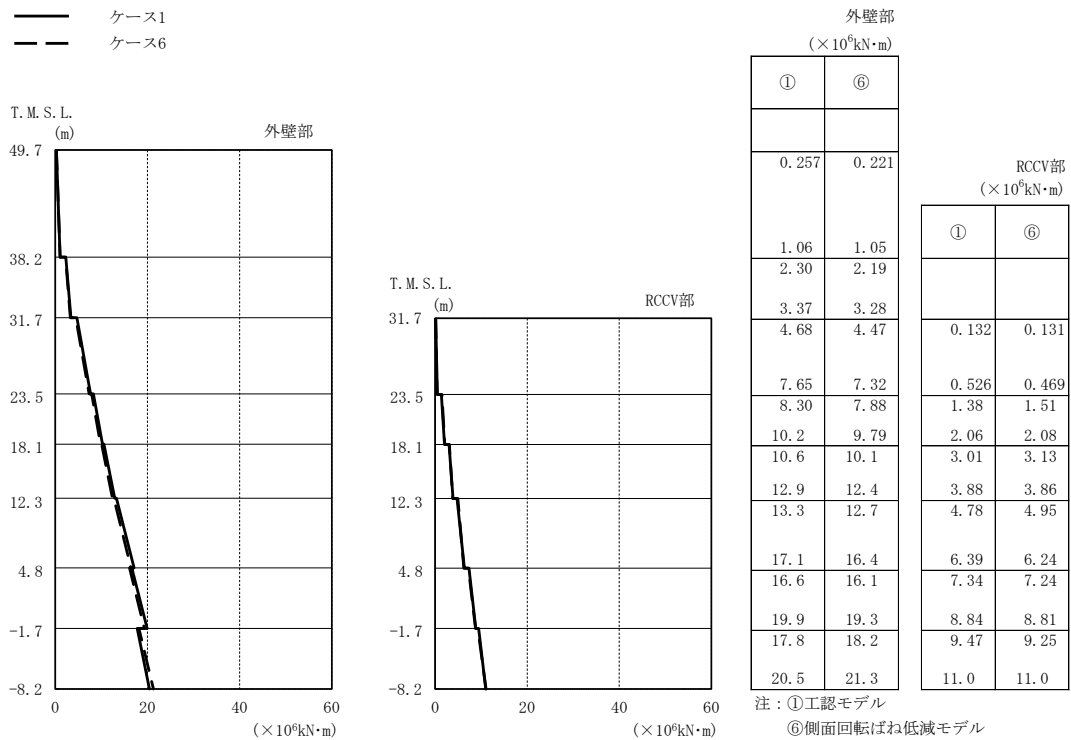


(c) Ss-3

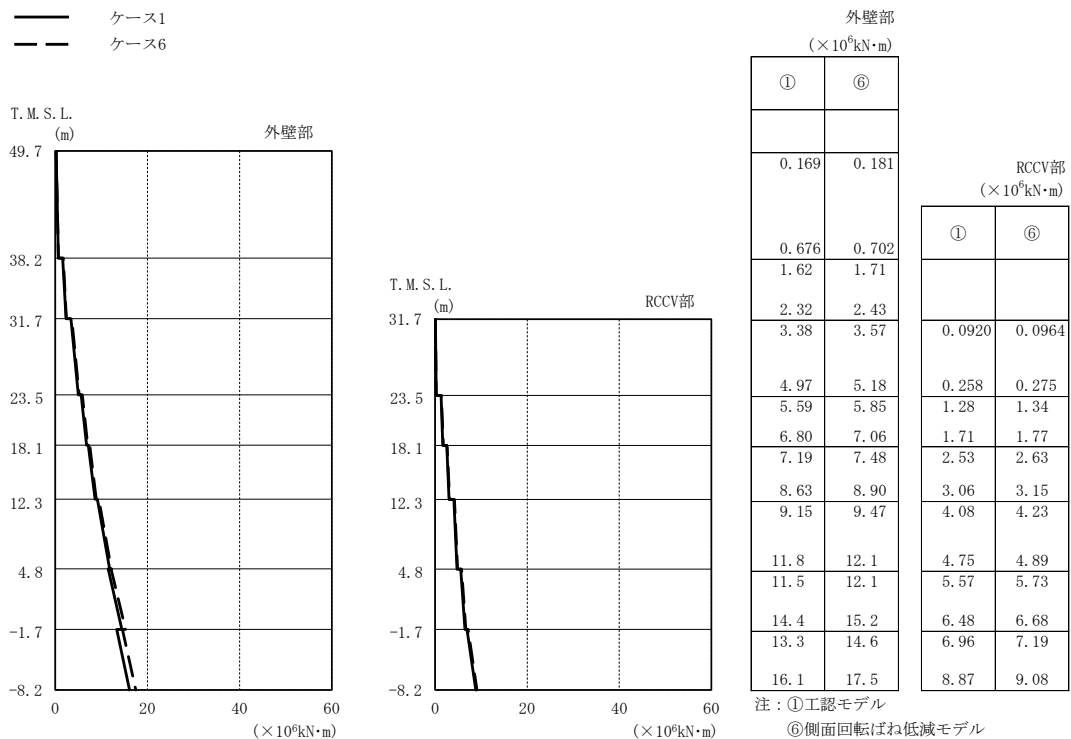


(d) Ss-8

図2-79 最大応答せん断力（基準地震動 S_s，NS方向）（2/2）

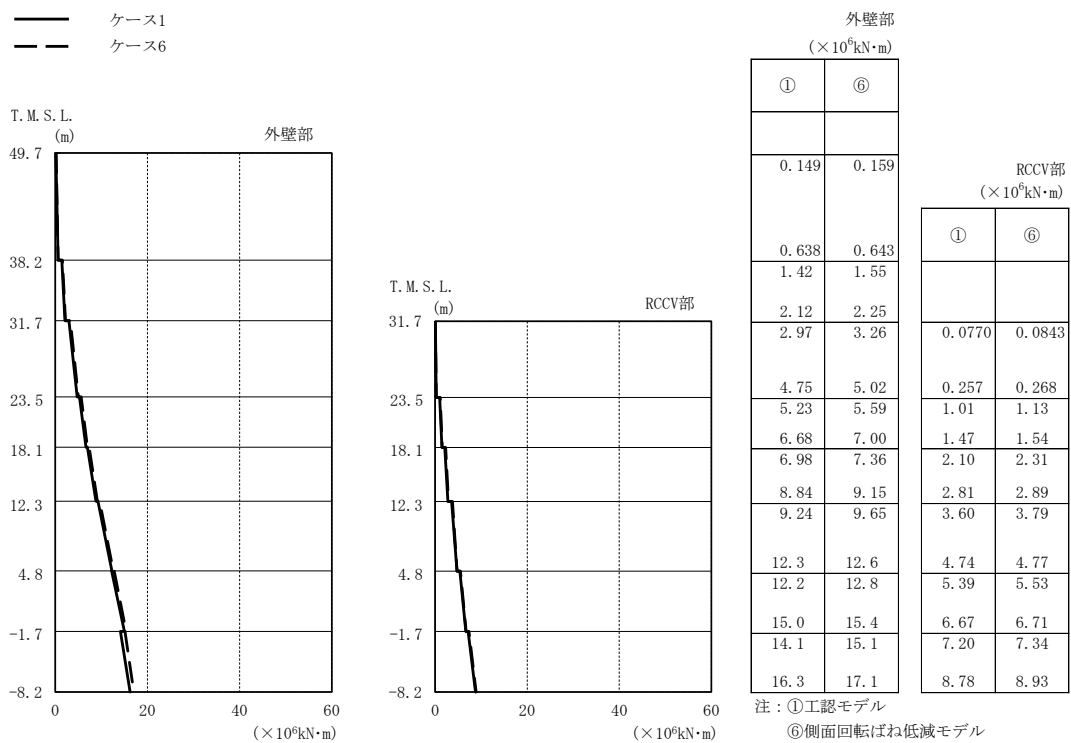


(a) Ss-1

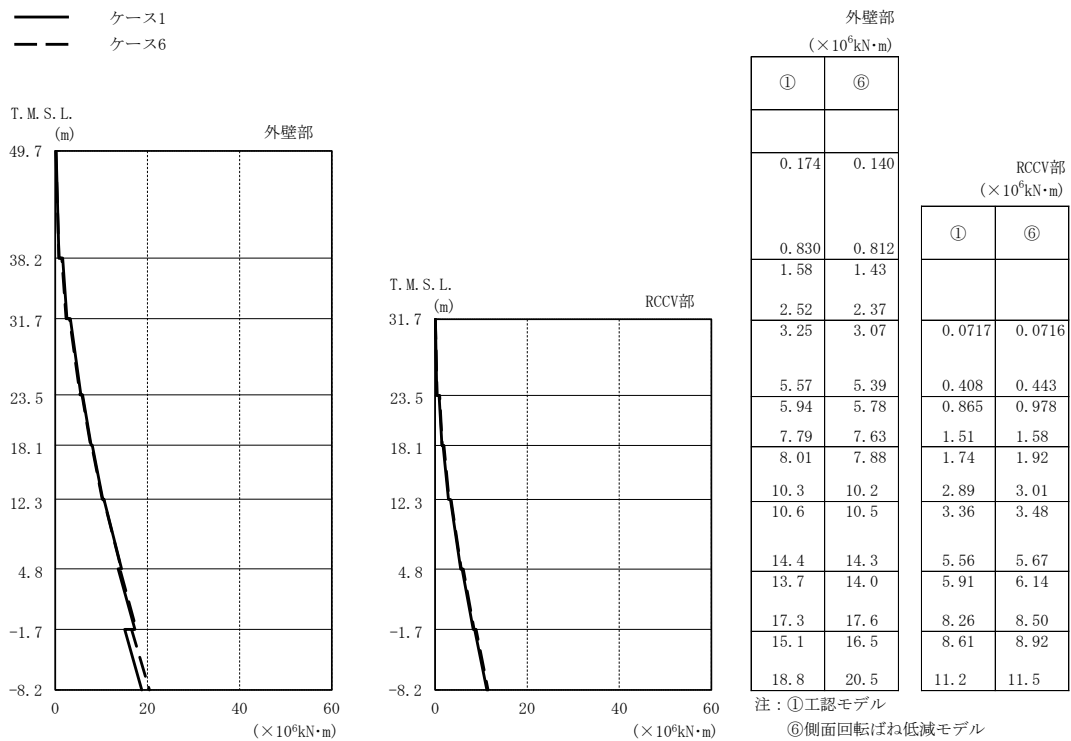


(b) Ss-2

図2-80 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S_s, NS方向) (1/2)

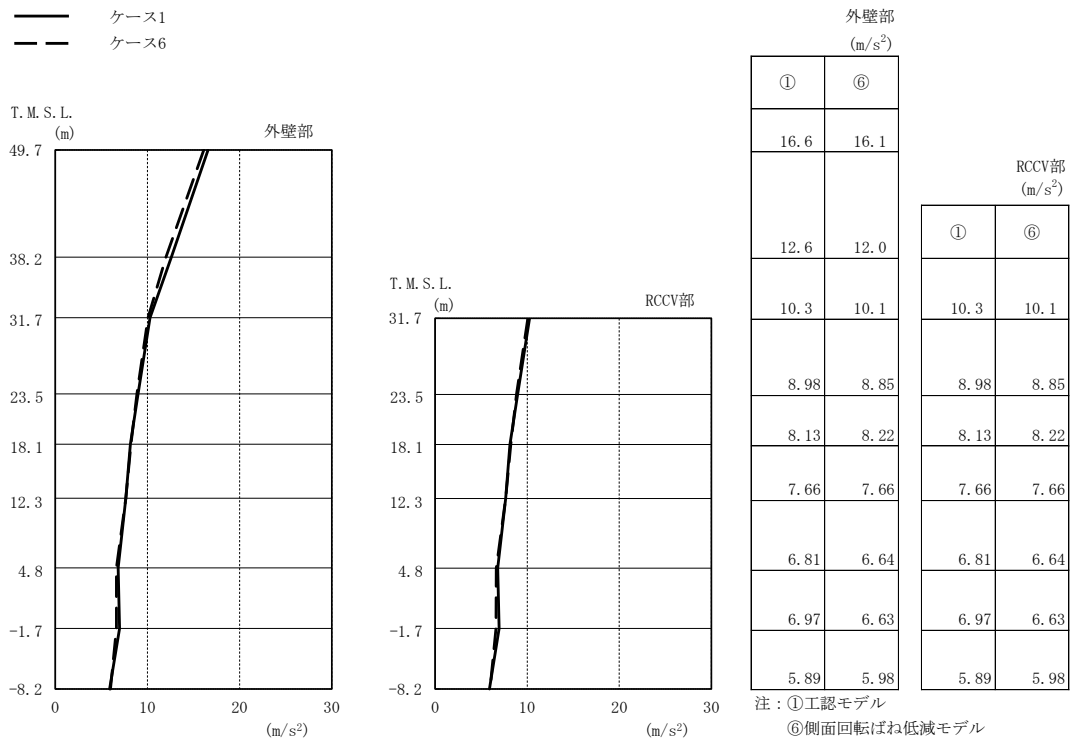


(c) Ss-3

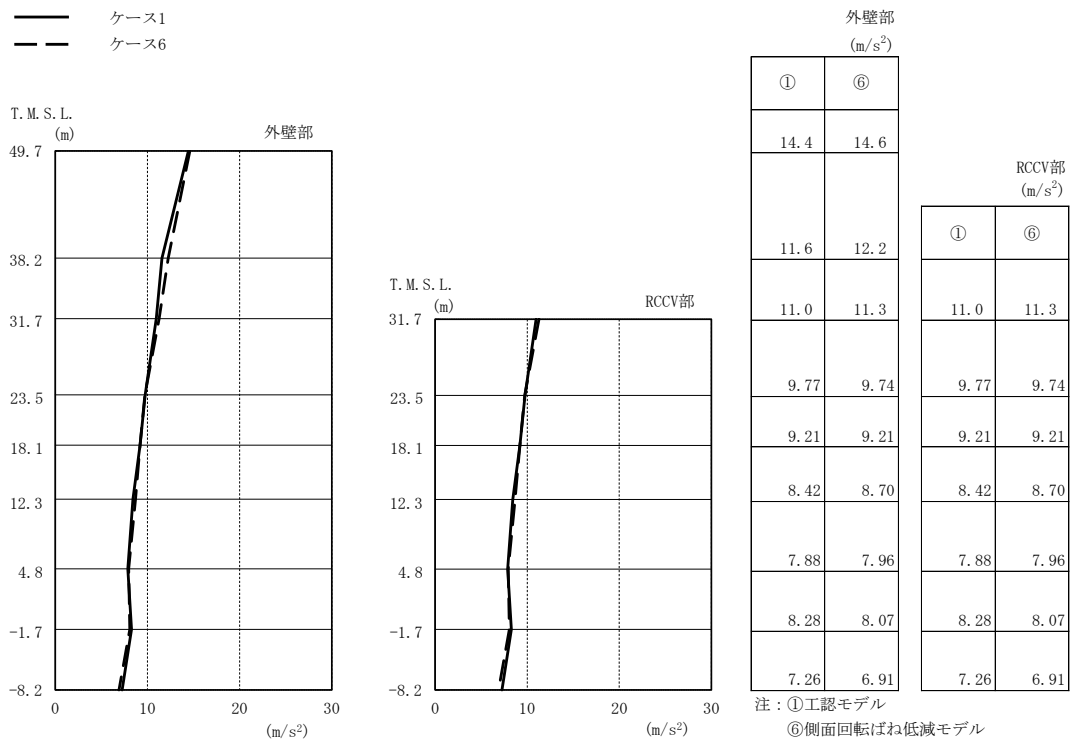


(d) Ss-8

図2-80 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S_s, NS方向) (2/2)

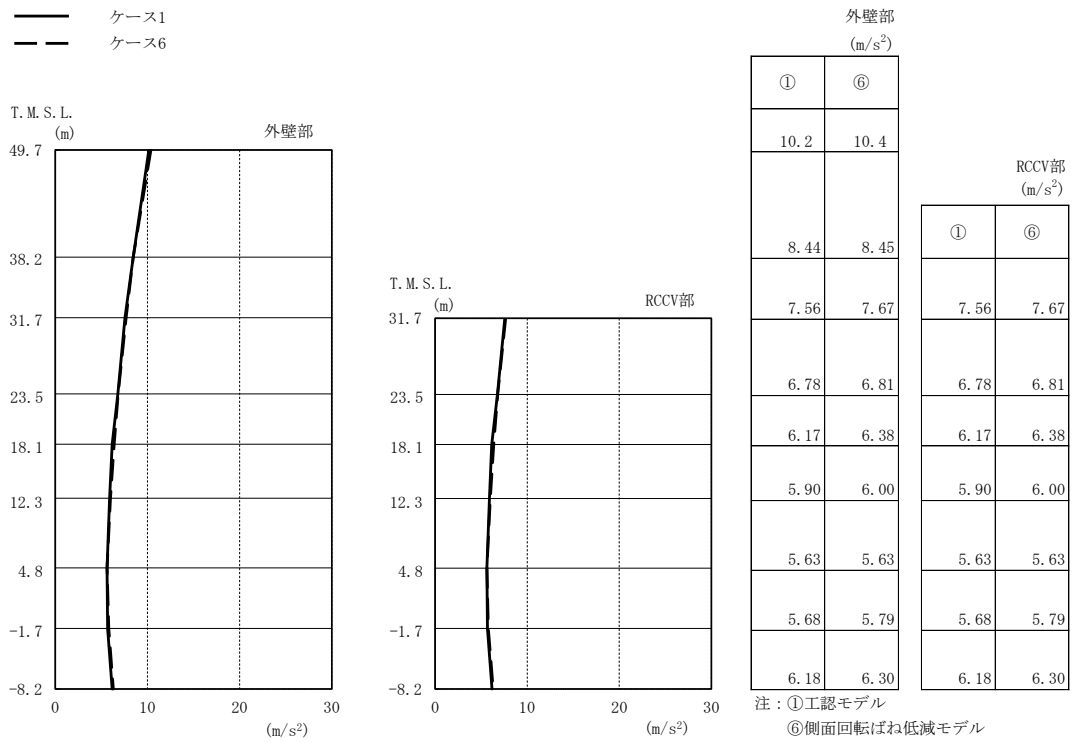


(a) Ss-1

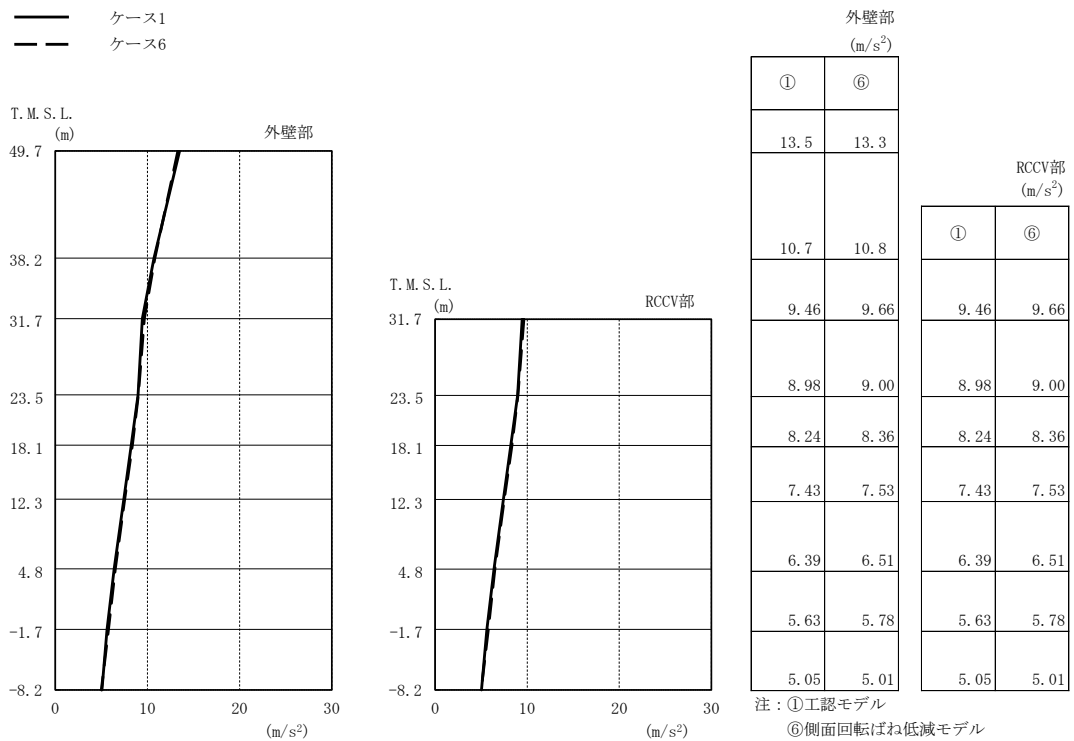


(b) Ss-2

図2-81 最大応答加速度（基準地震動 S_s，EW方向）（1/2）

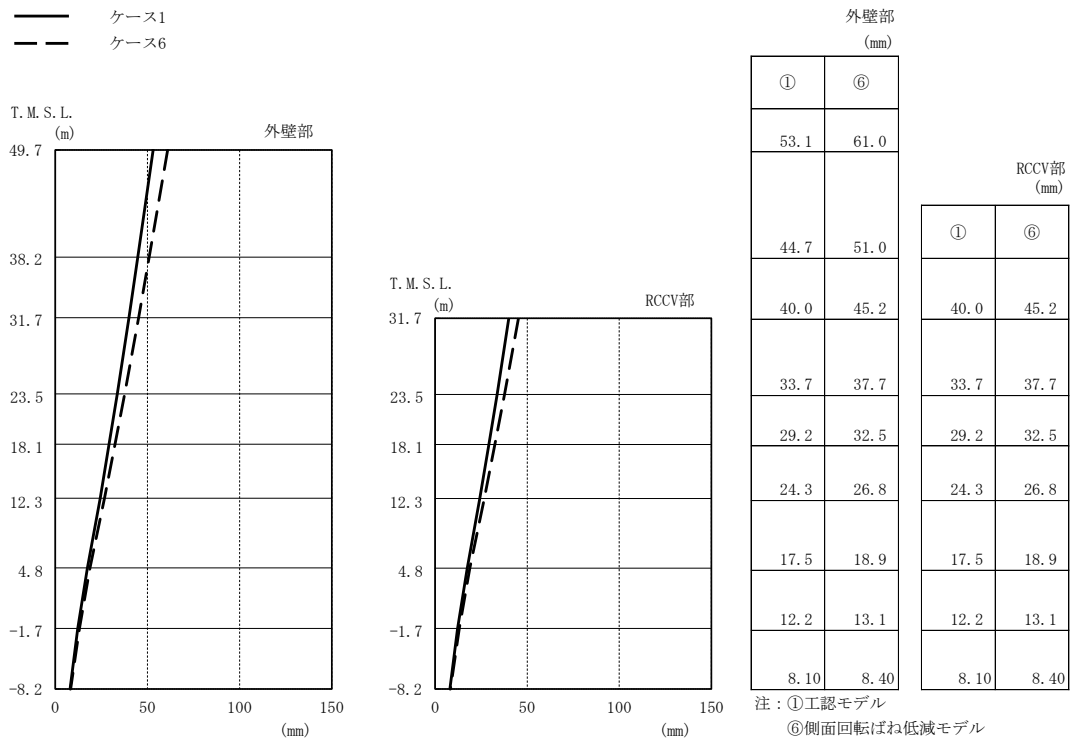


(c) Ss-3

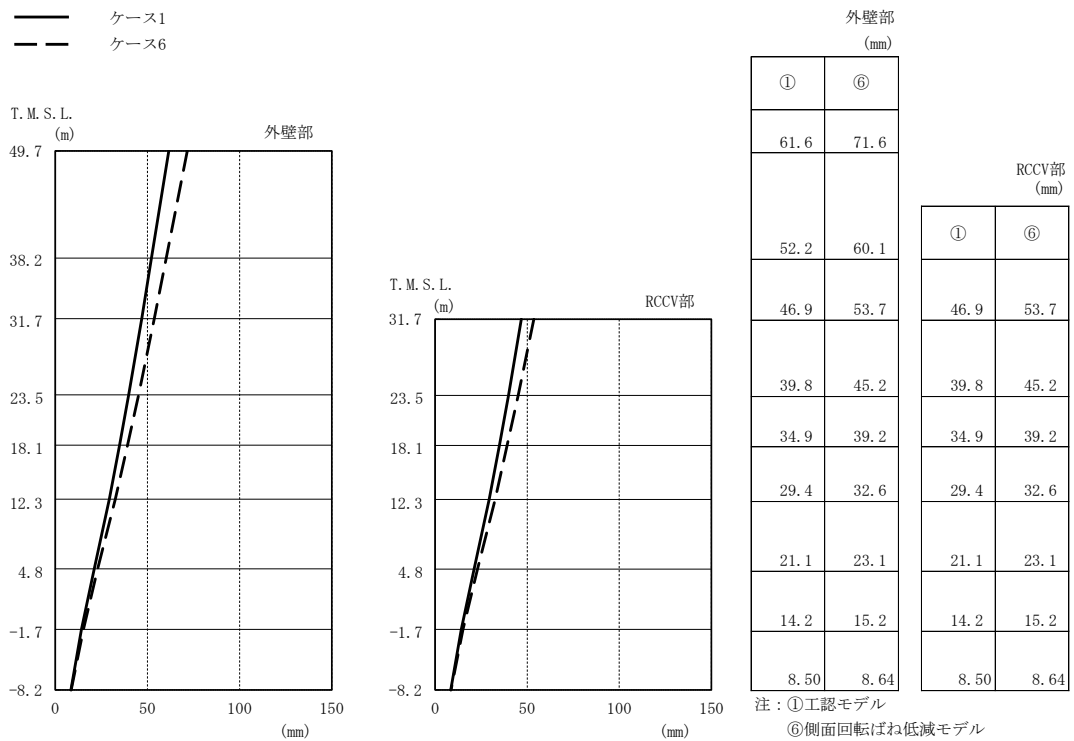


(d) Ss-8

図2-81 最大応答加速度（基準地震動 S s，EW方向）（2/2）

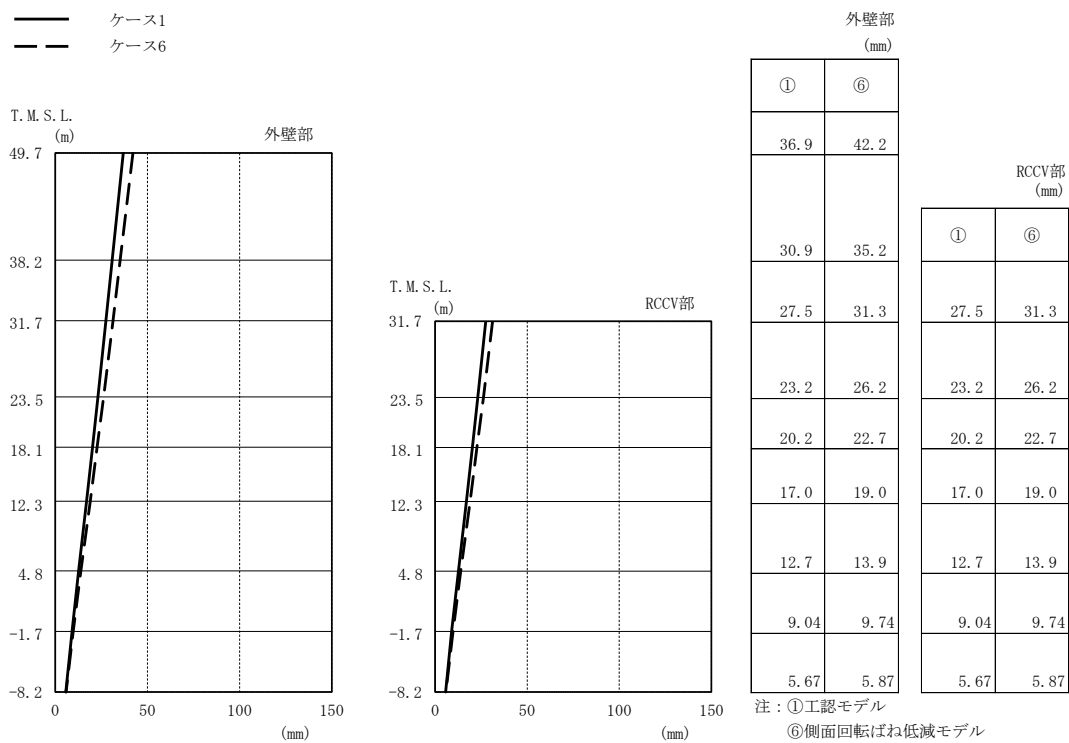


(a) Ss-1

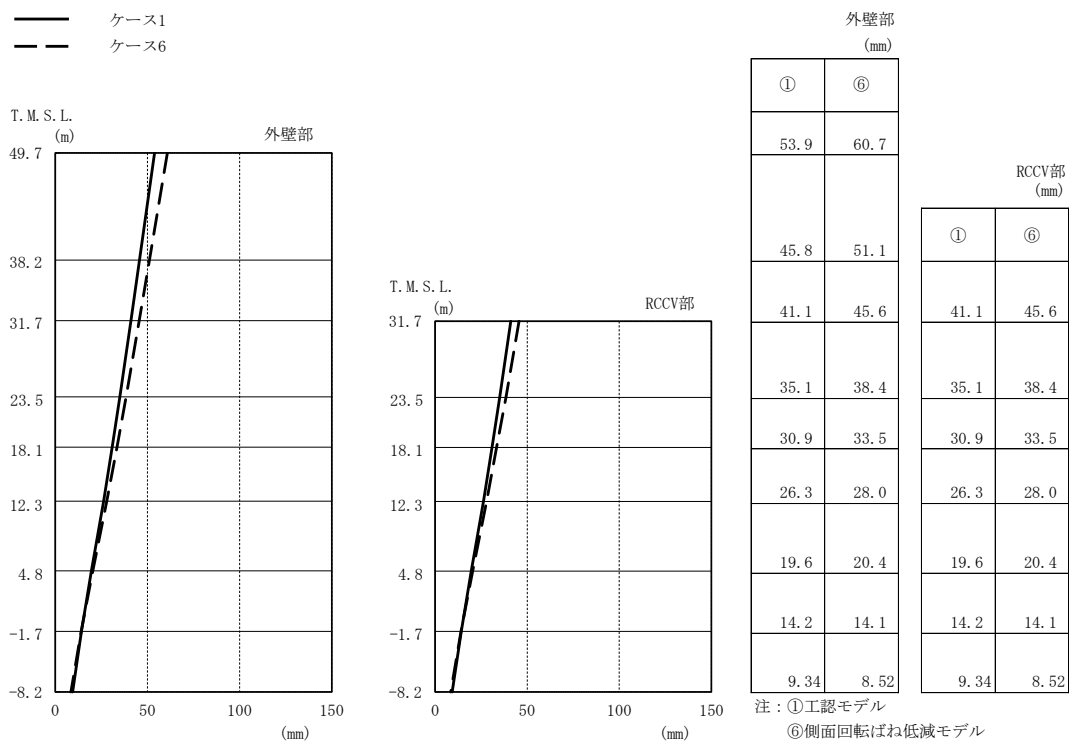


(b) Ss-2

図2-82 最大応答変位 (基準地震動 S_s, EW方向) (1/2)

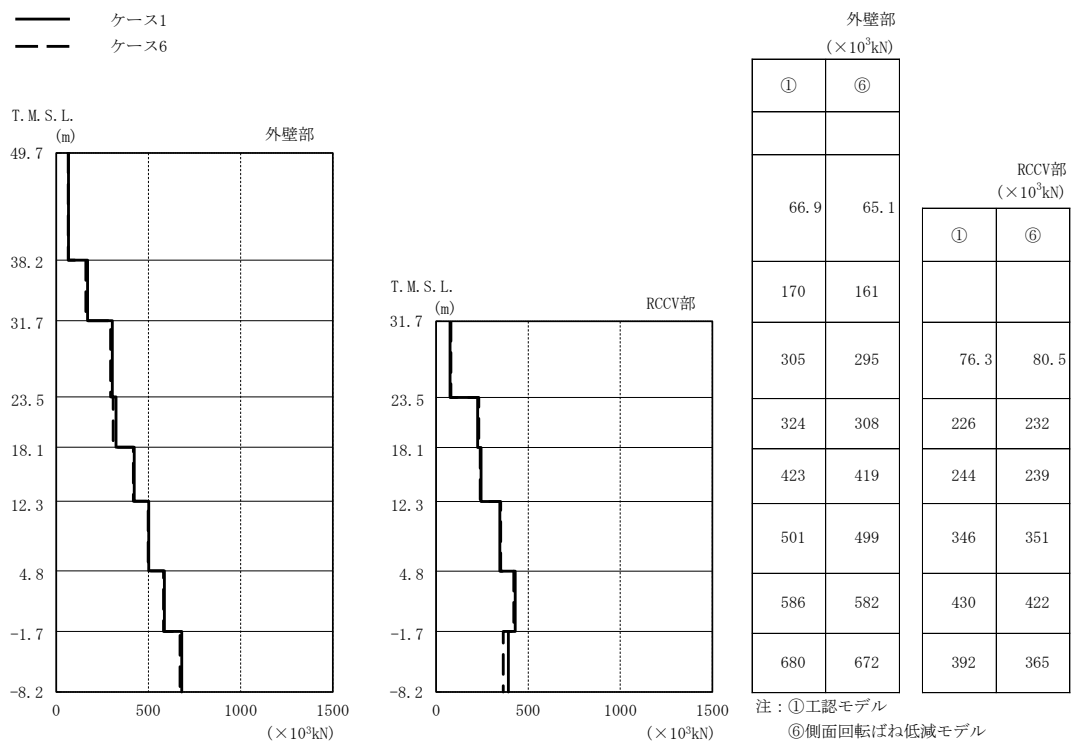


(c) Ss-3

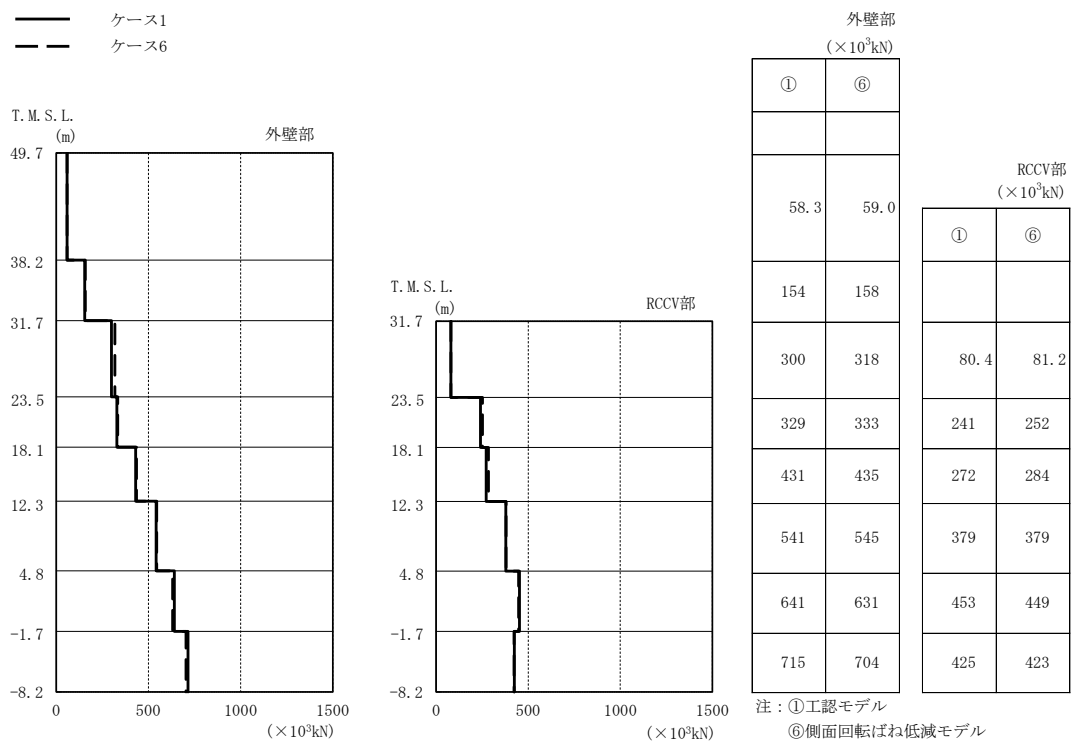


(d) Ss-8

図2-82 最大応答変位 (基準地震動 S_s, EW方向) (2/2)

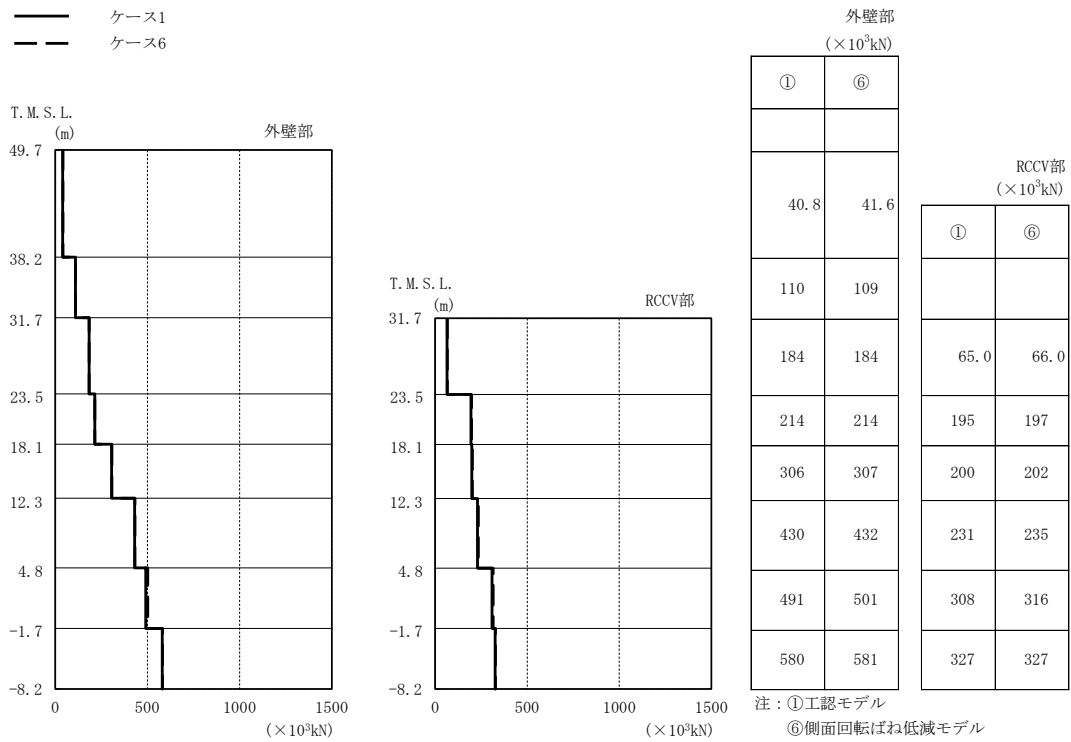


(a) Ss-1

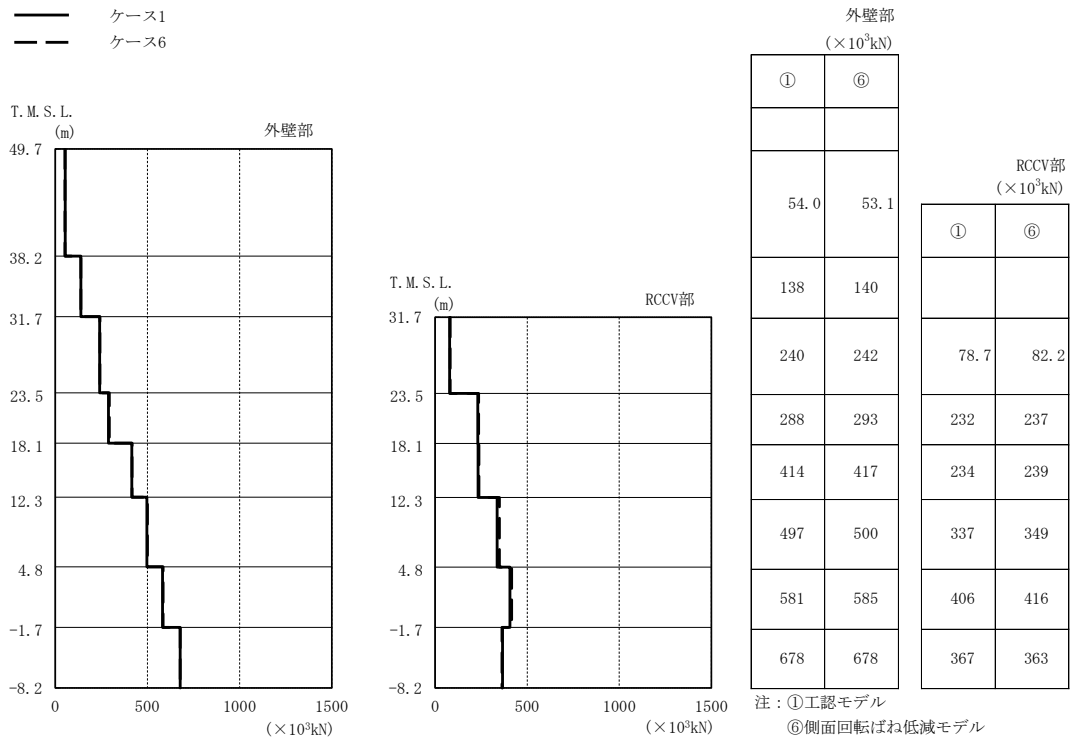


(b) Ss-2

図2-83 最大応答せん断力（基準地震動 S s , EW方向）(1/2)

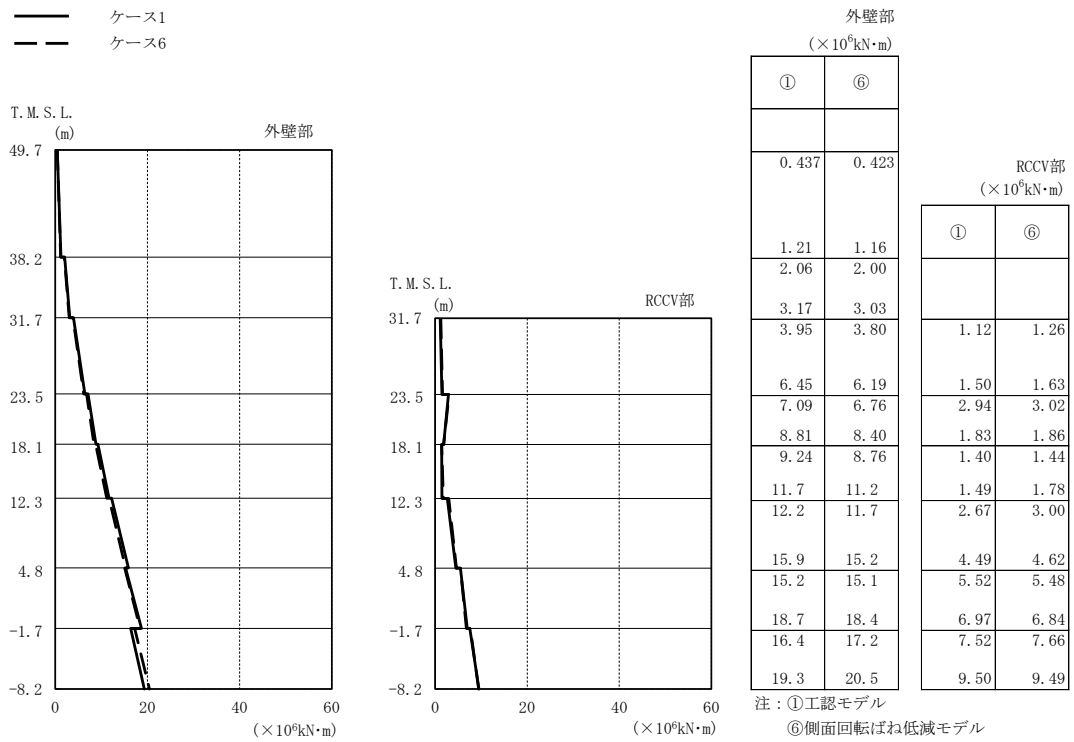


(c) Ss-3

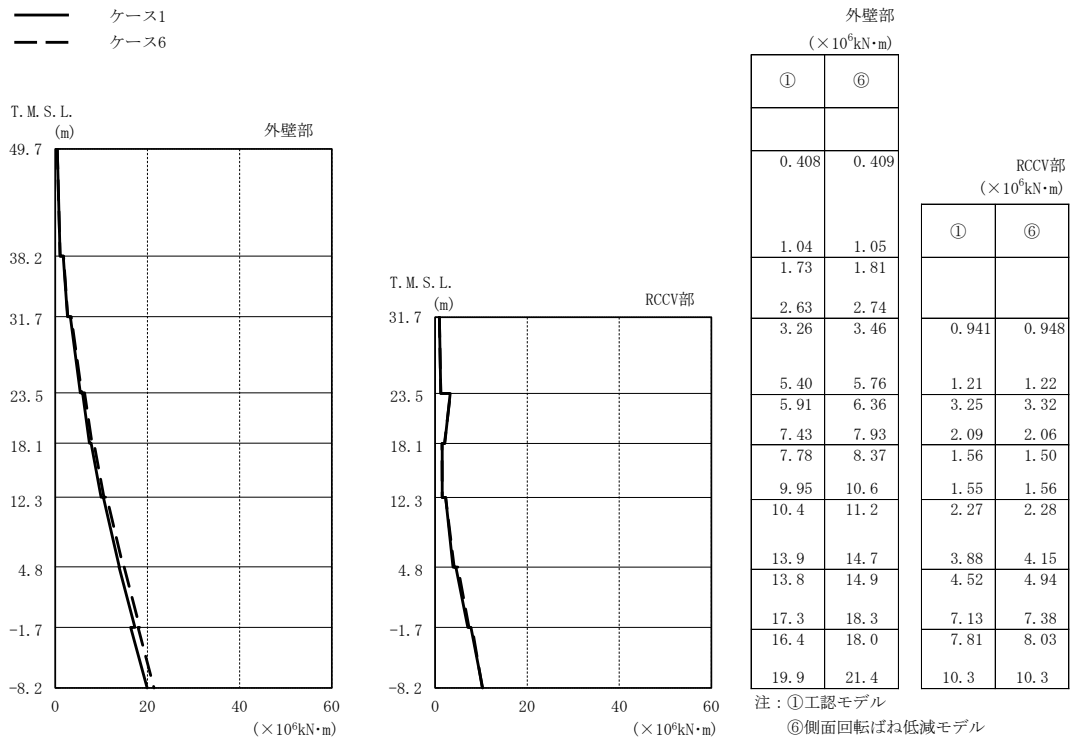


(d) Ss-8

図2-83 最大応答せん断力（基準地震動 S_s，EW方向）（2/2）

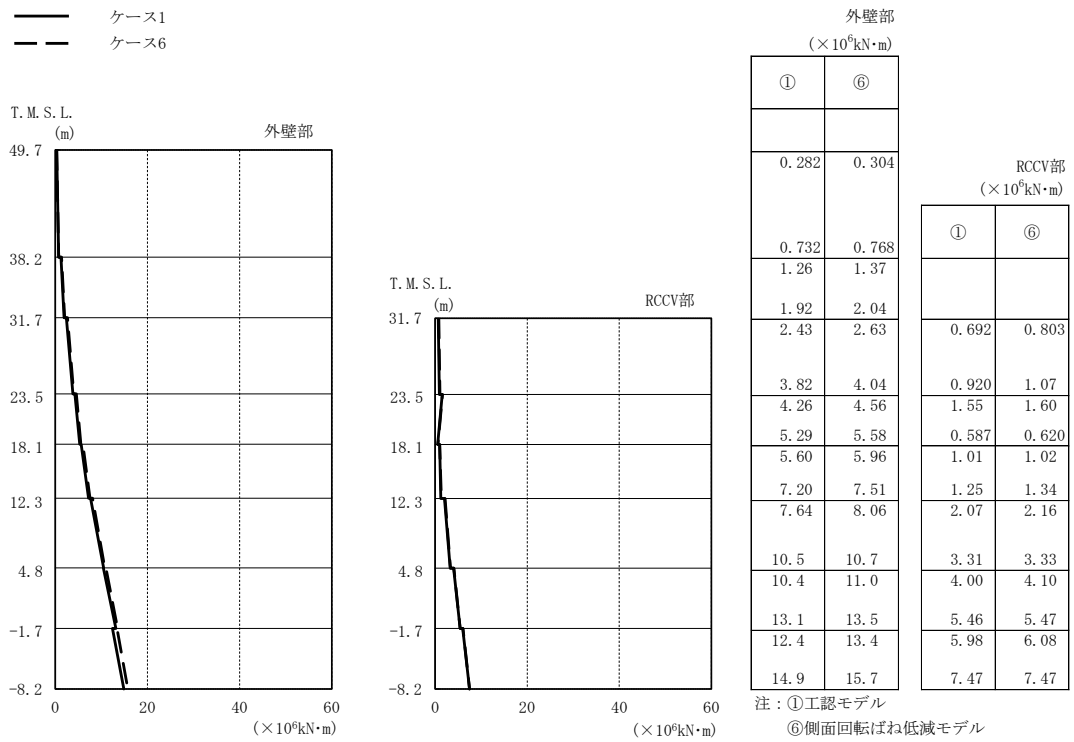


(a) Ss-1

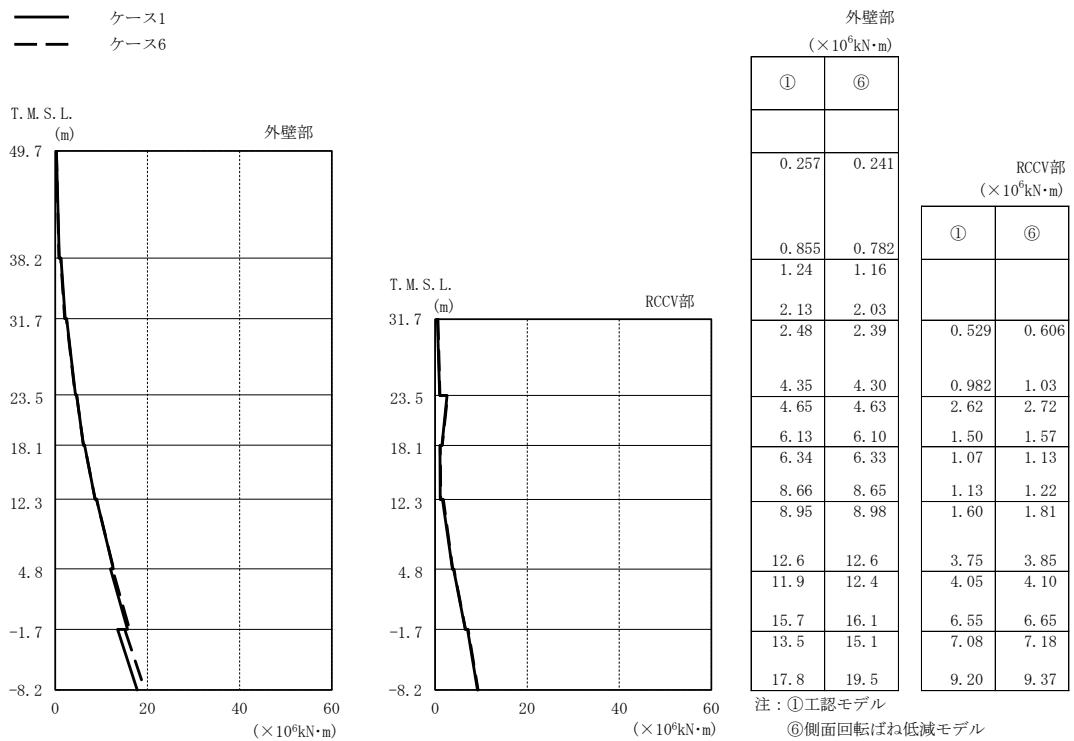


(b) Ss-2

図2-84 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s , EW方向) (1/2)

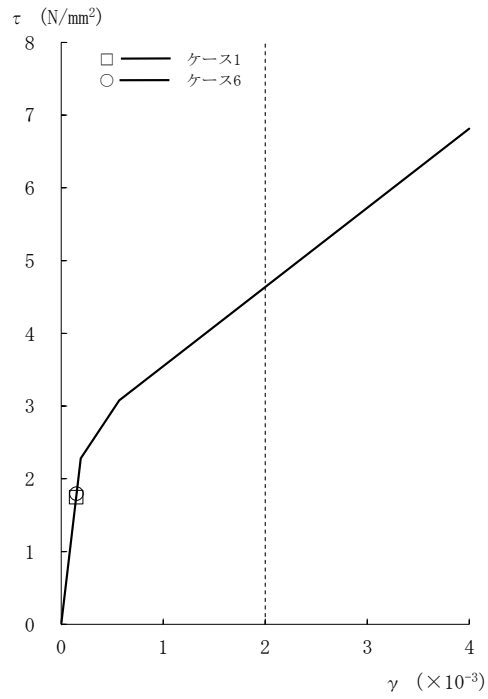


(c) Ss-3



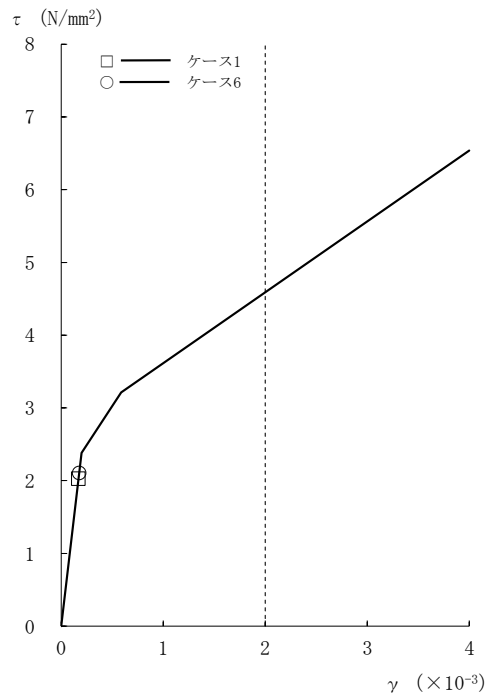
(d) Ss-8

図2-84 最大応答曲げモーメント (基準地震動 S s , EW方向) (2/2)



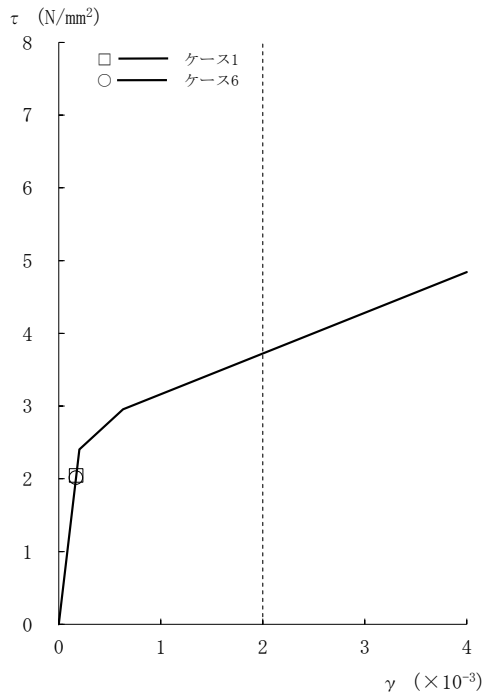
[外壁部]

図2-85 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, CRF) (1/8)

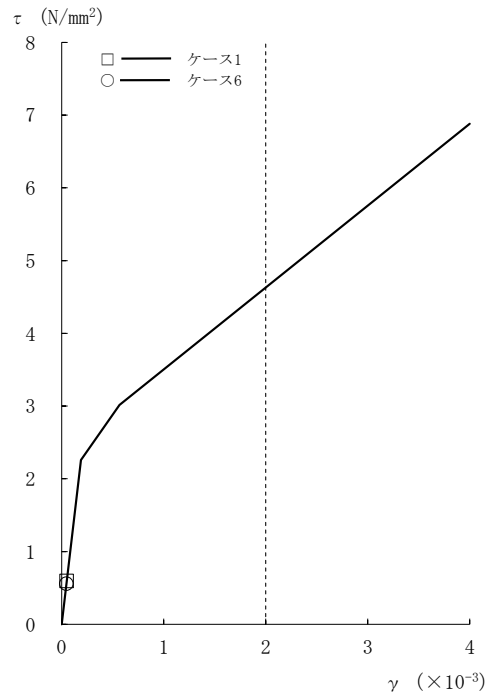


[外壁部]

図2-85 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, 4F) (2/8)

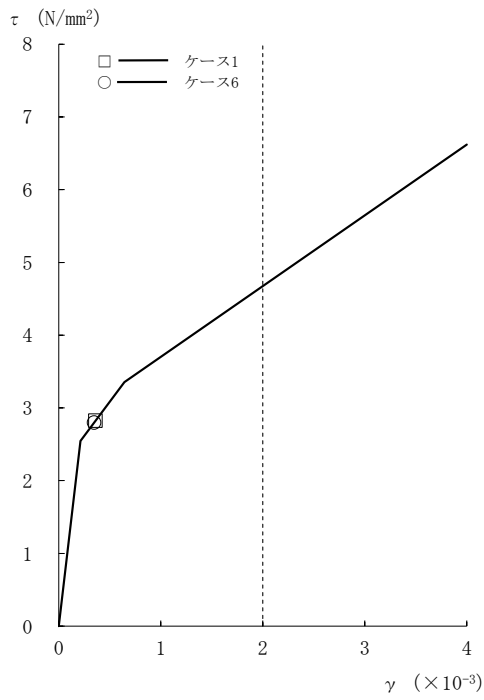


[外壁部]

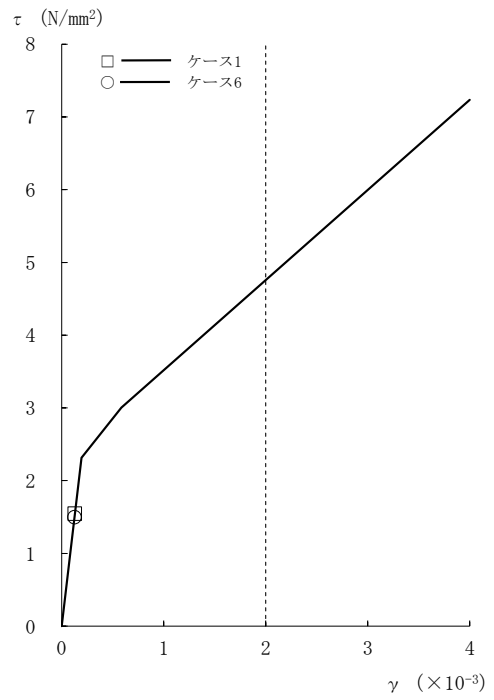


[RCCV部]

図2-85 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, 3F) (3/8)

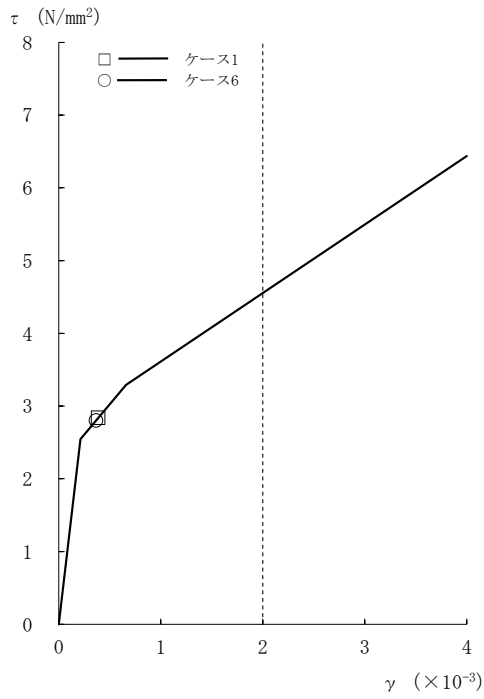


[外壁部]

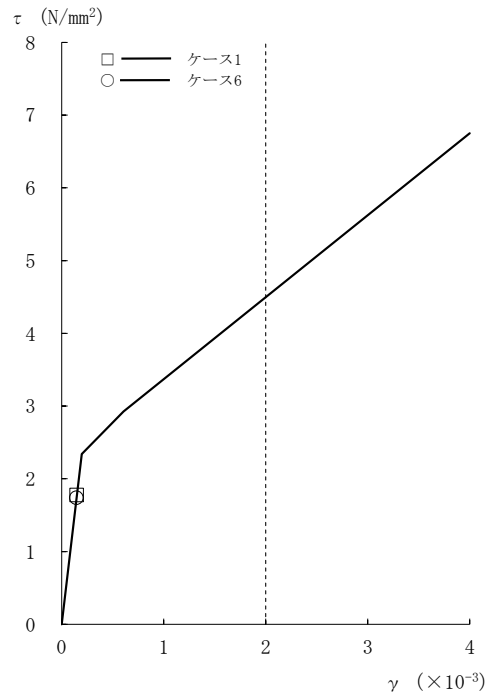


[RCCV部]

図2-85 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, 2F) (4/8)

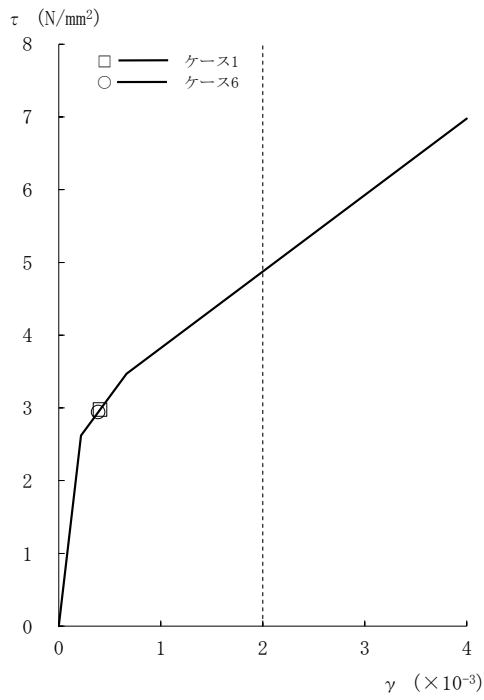


[外壁部]

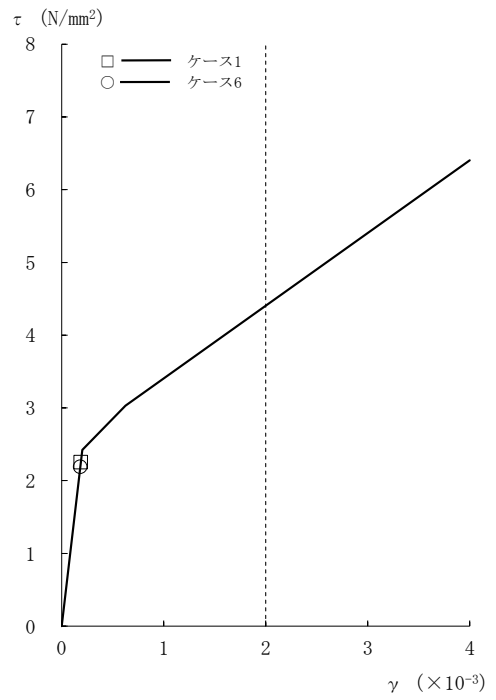


[RCCV部]

図2-85 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, 1F) (5/8)

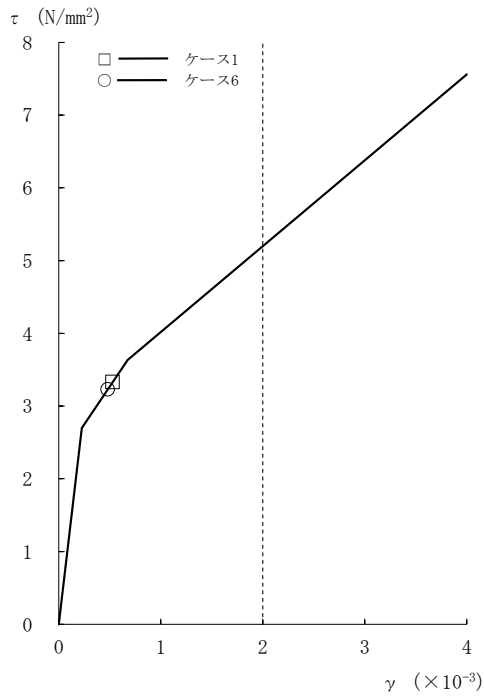


[外壁部]

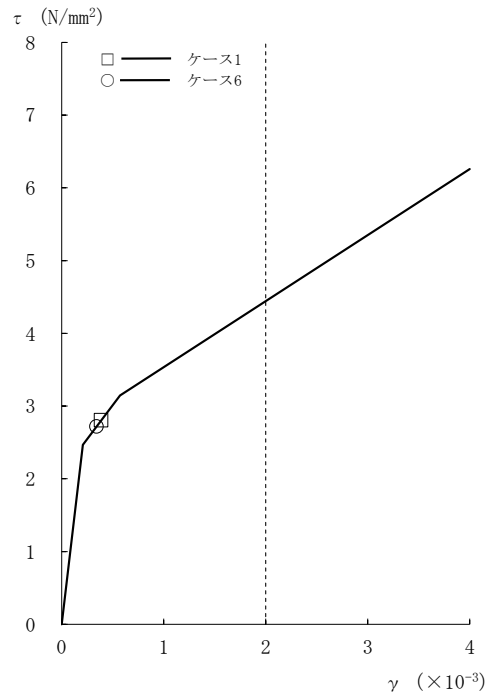


[RCCV部]

図2-85 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, B1F) (6/8)

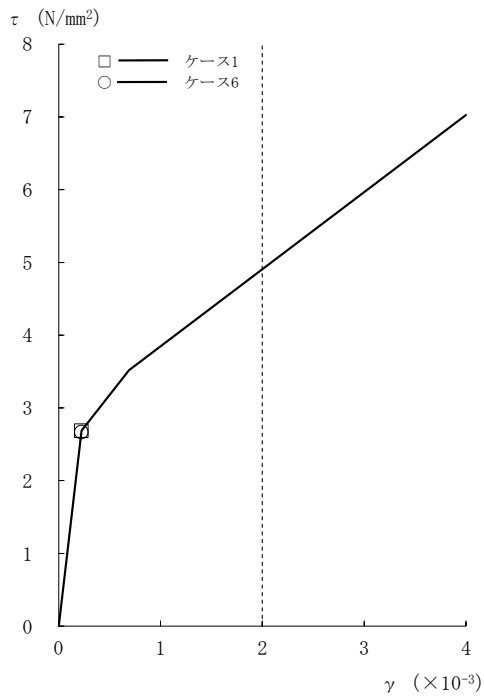


[外壁部]

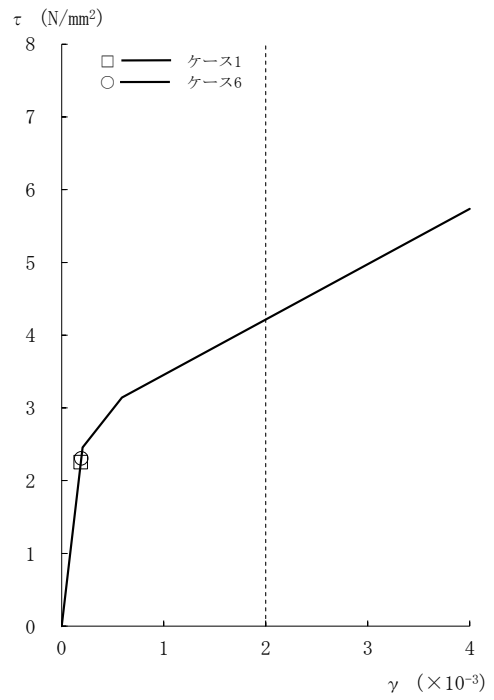


[RCCV部]

図2-85 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, B2F) (7/8)

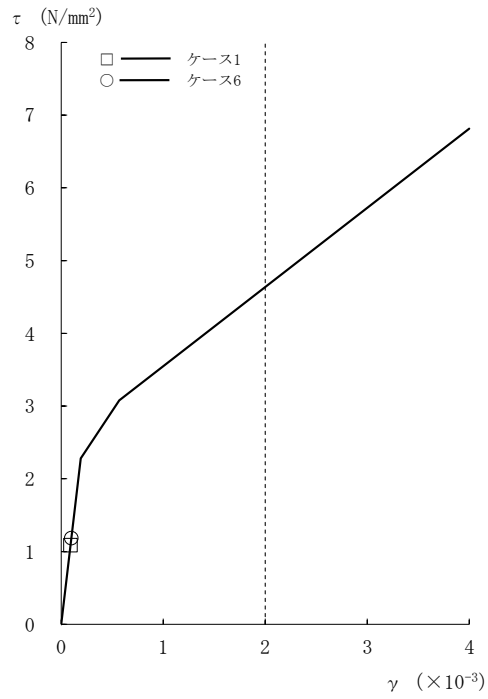


[外壁部]



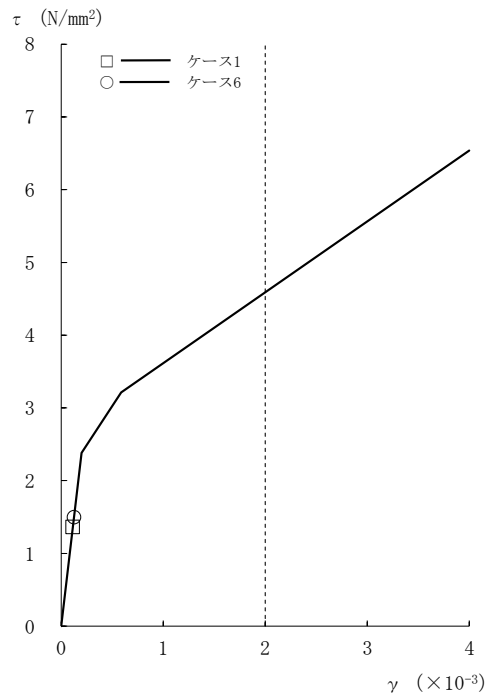
[RCCV部]

図2-85 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, NS方向, B3F) (8/8)



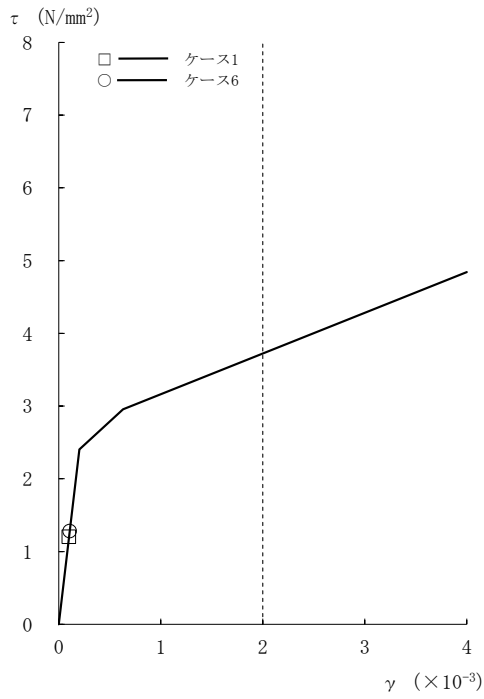
[外壁部]

図2-86 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, CRF) (1/8)

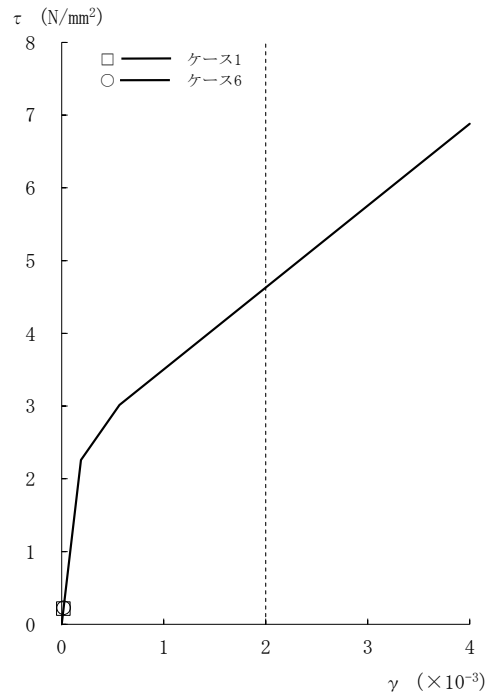


[外壁部]

図2-86 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, 4F) (2/8)

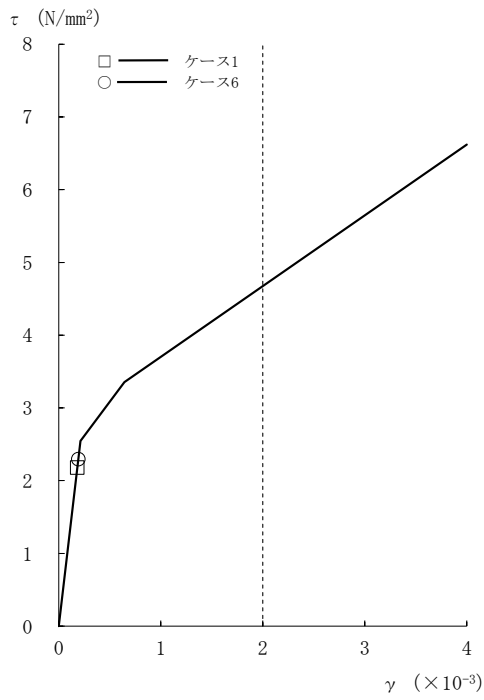


[外壁部]

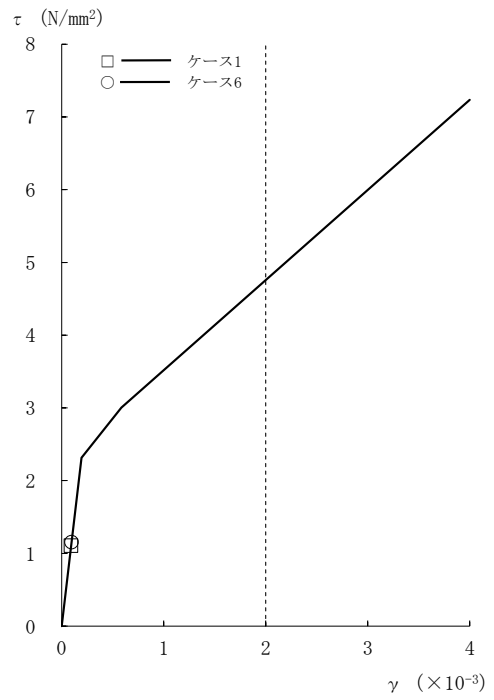


[RCCV部]

図2-86 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, 3F) (3/8)

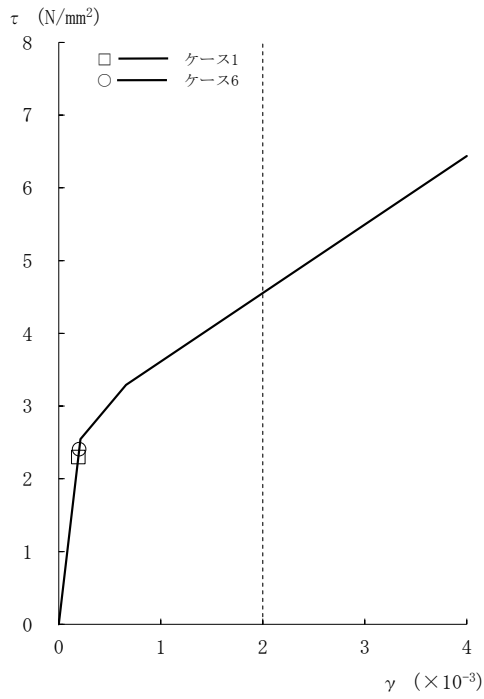


[外壁部]

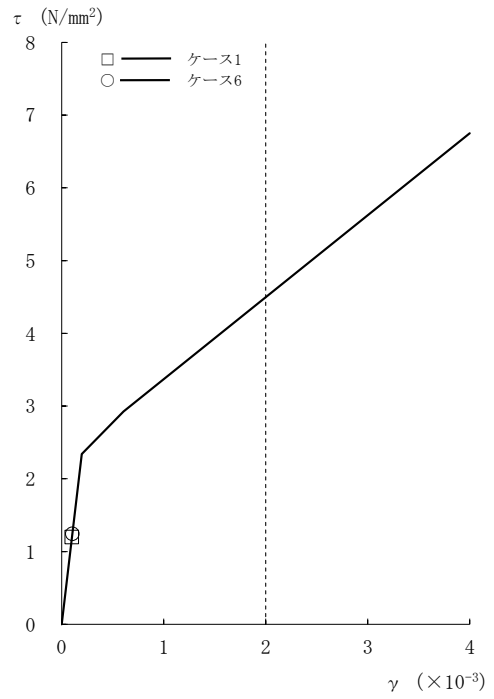


[RCCV部]

図2-86 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, 2F) (4/8)

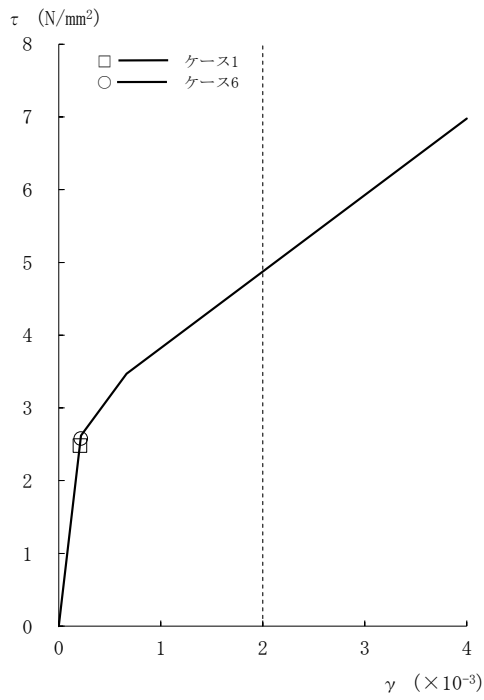


[外壁部]

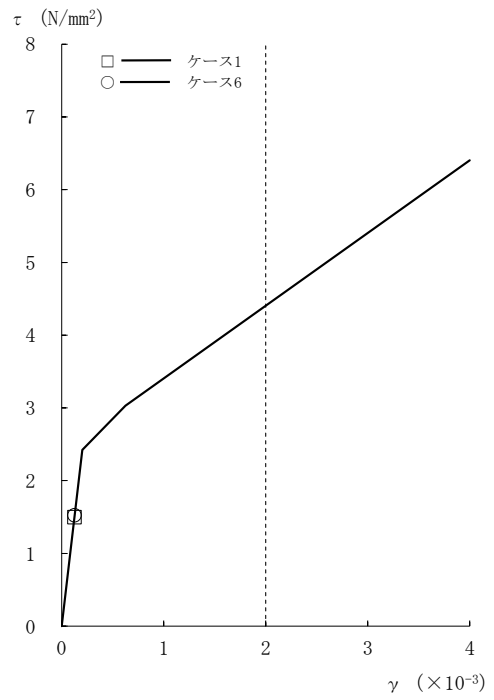


[RCCV部]

図2-86 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, 1F) (5/8)

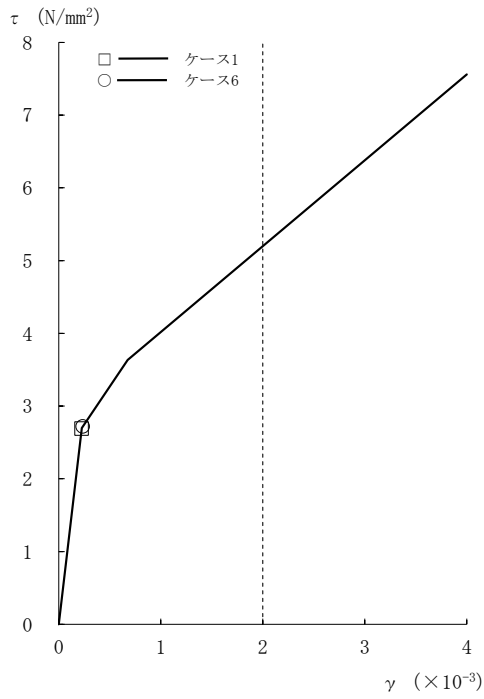


[外壁部]

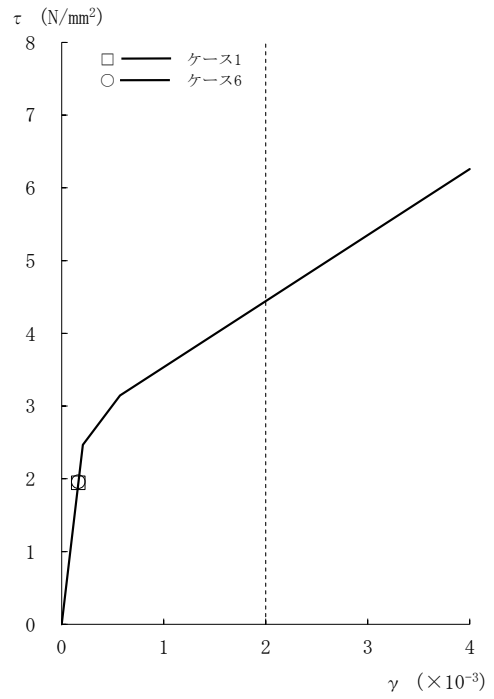


[RCCV部]

図2-86 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, NS方向, B1F) (6/8)

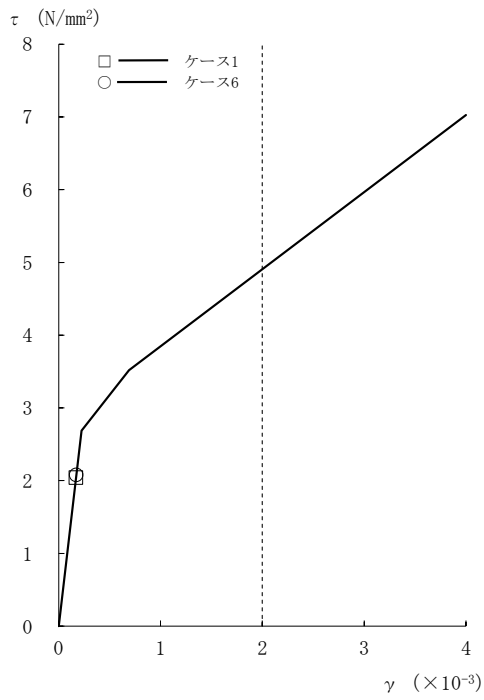


[外壁部]

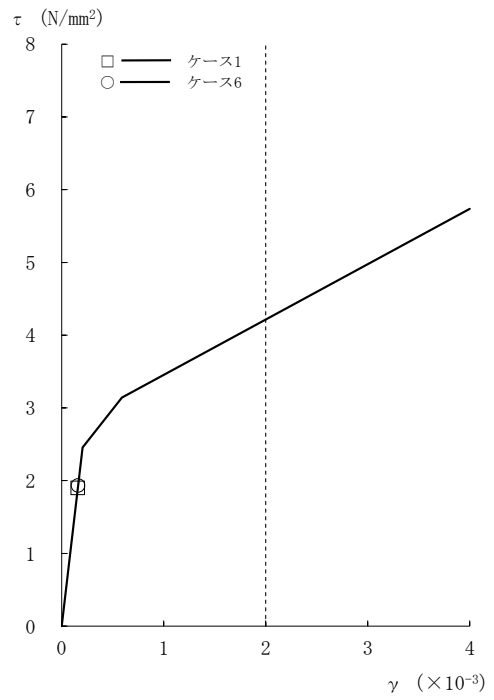


[RCCV部]

図2-86 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, NS方向, B2F) (7/8)

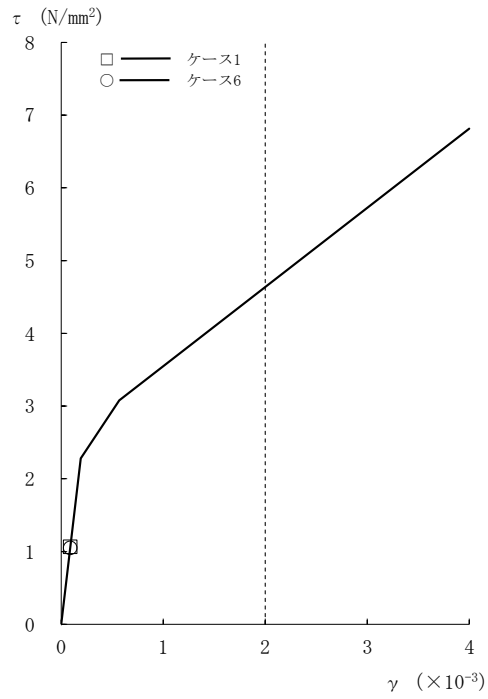


[外壁部]



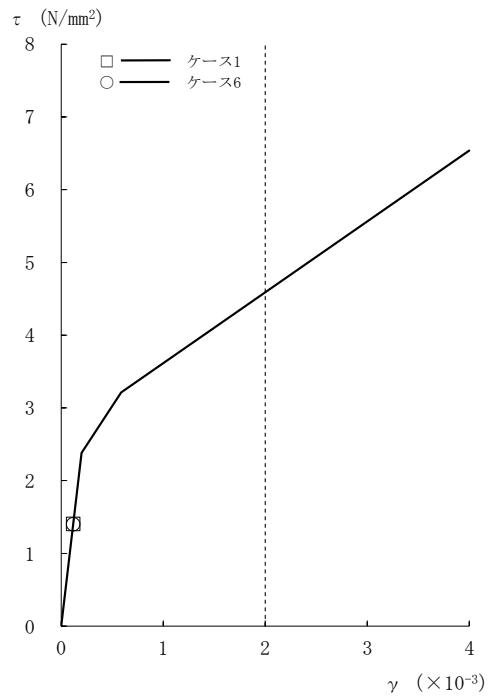
[RCCV部]

図2-86 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, NS方向, B3F) (8/8)



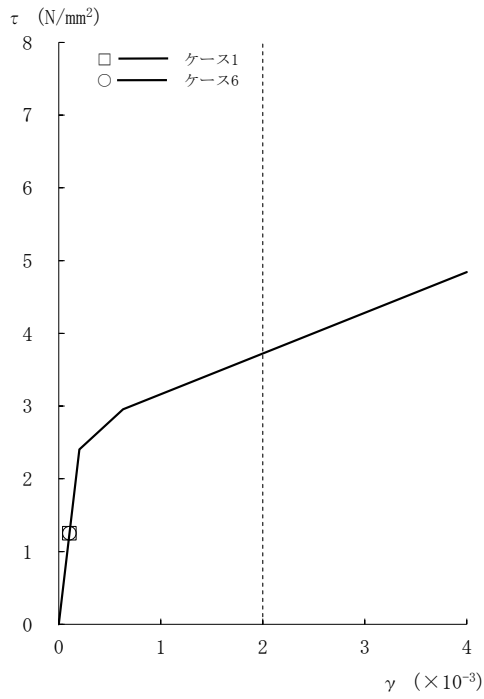
[外壁部]

図2-87 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-3, NS方向, CRF) (1/8)

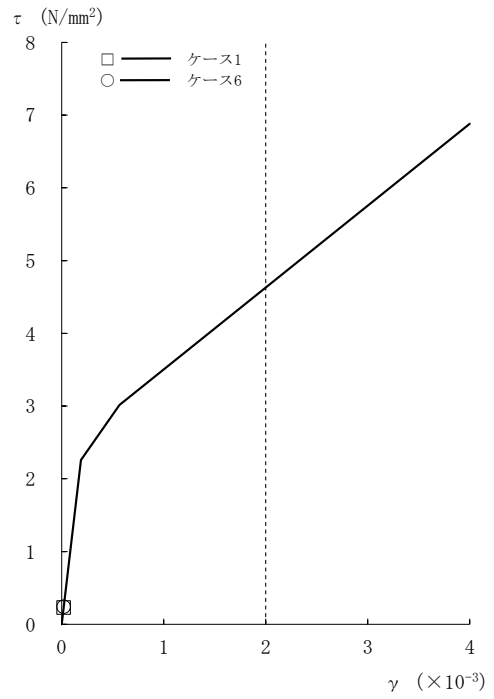


[外壁部]

図2-87 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-3, NS方向, 4F) (2/8)

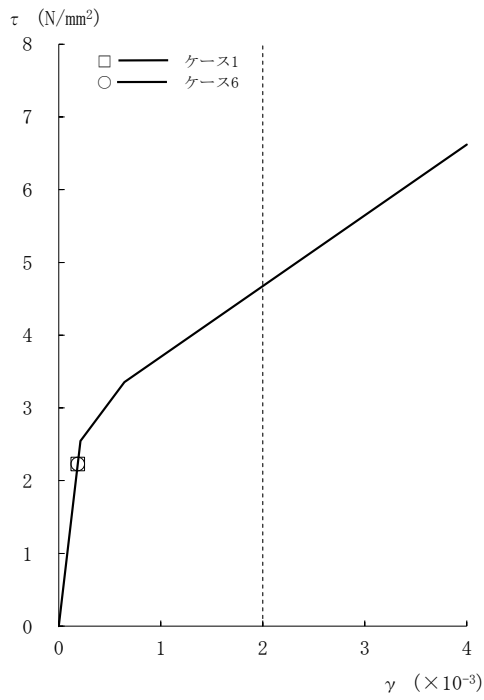


[外壁部]

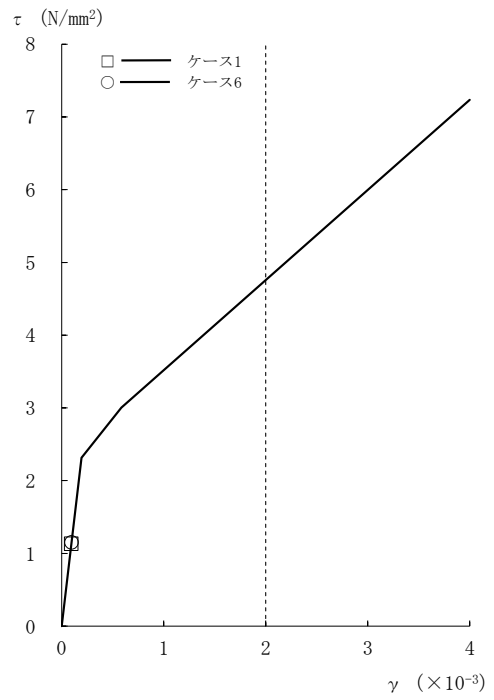


[RCCV部]

図2-87 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, 3F) (3/8)

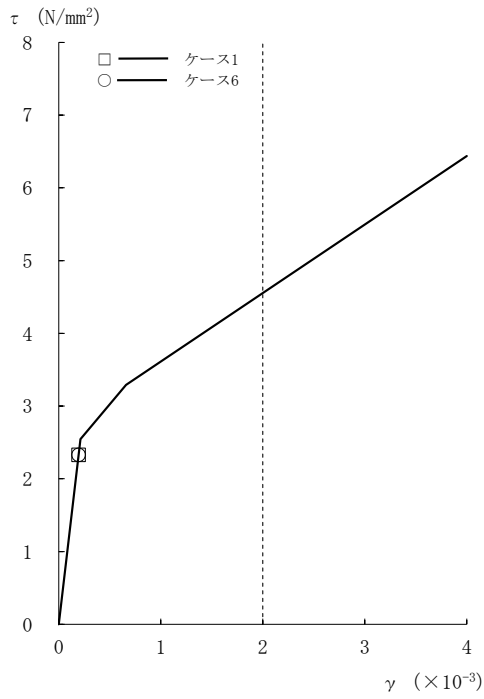


[外壁部]

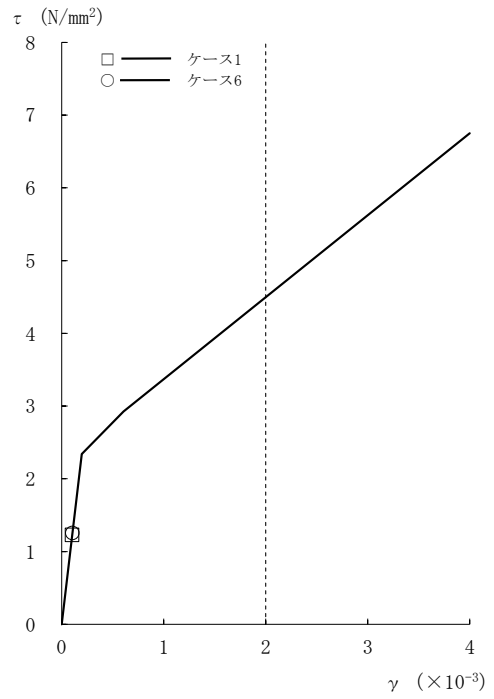


[RCCV部]

図2-87 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, 2F) (4/8)

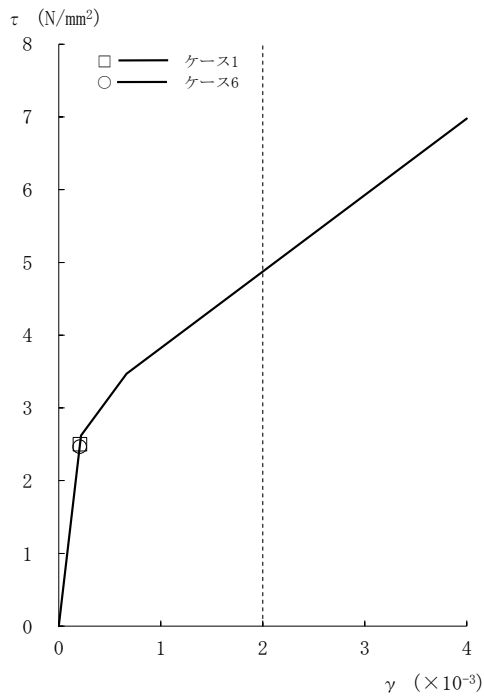


[外壁部]

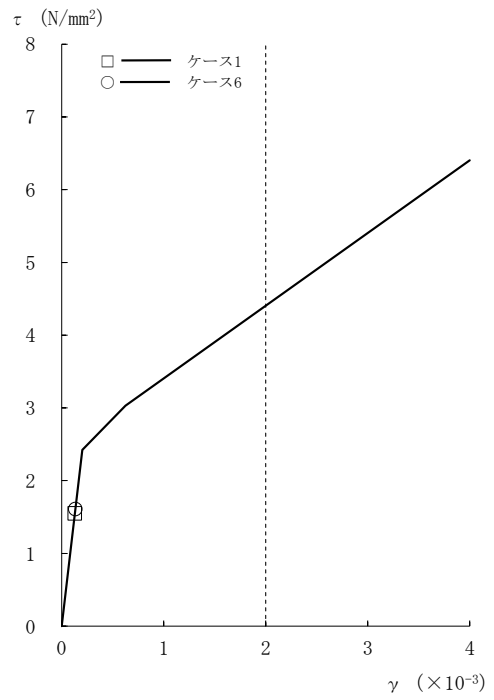


[RCCV部]

図2-87 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, 1F) (5/8)

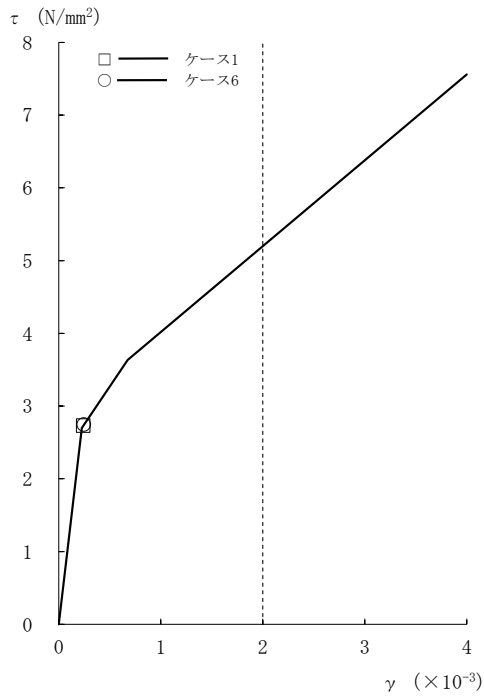


[外壁部]

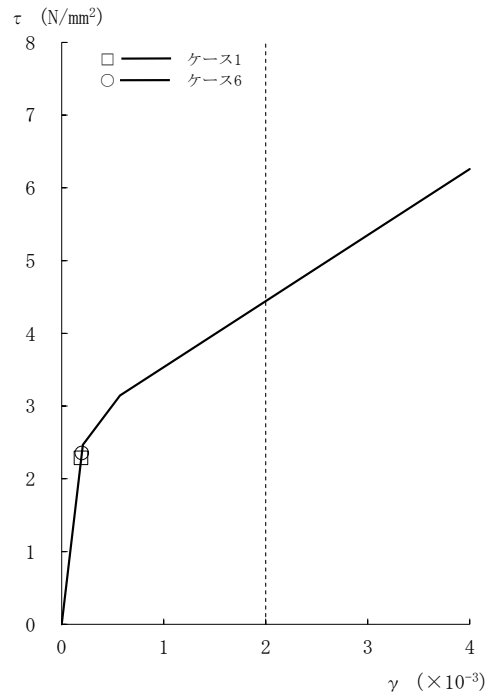


[RCCV部]

図2-87 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, NS方向, B1F) (6/8)

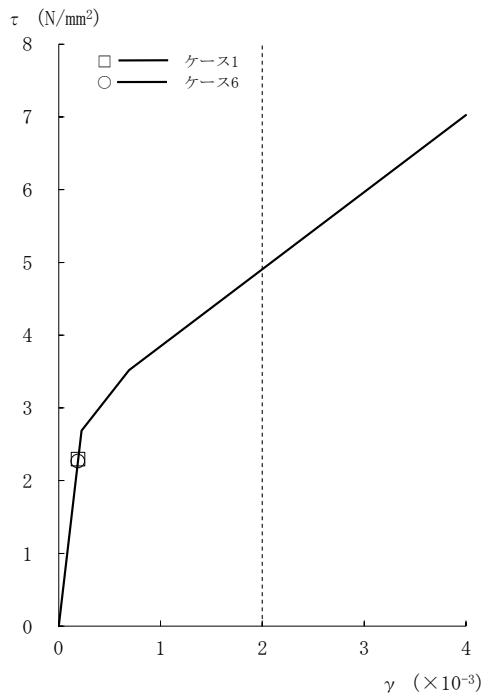


[外壁部]

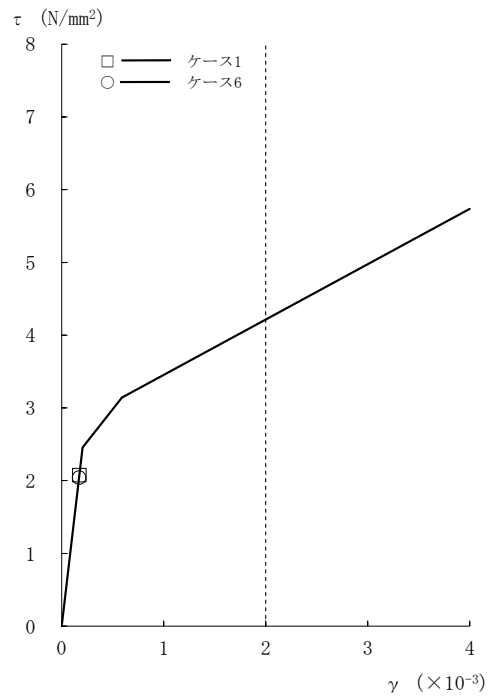


[RCCV部]

図2-87 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-3, NS方向, B2F) (7/8)

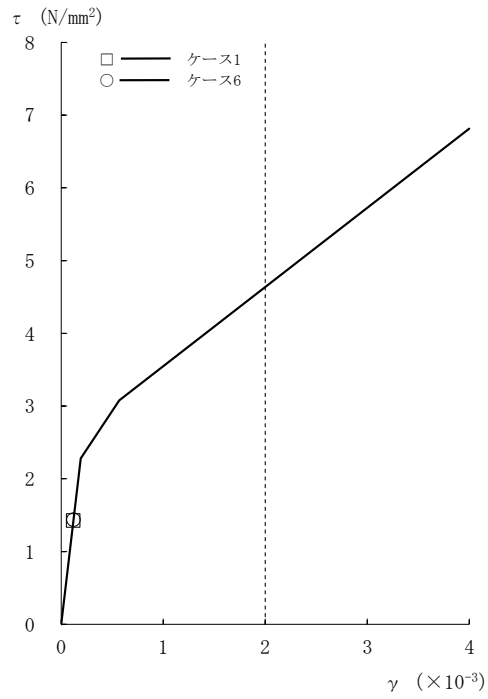


[外壁部]



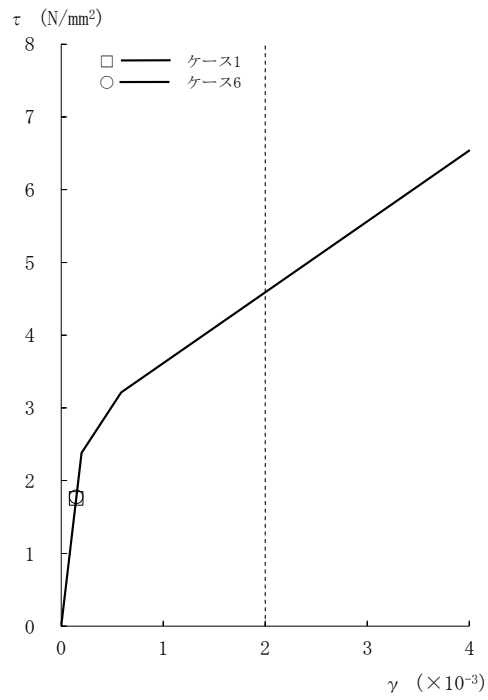
[RCCV部]

図2-87 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-3, NS方向, B3F) (8/8)



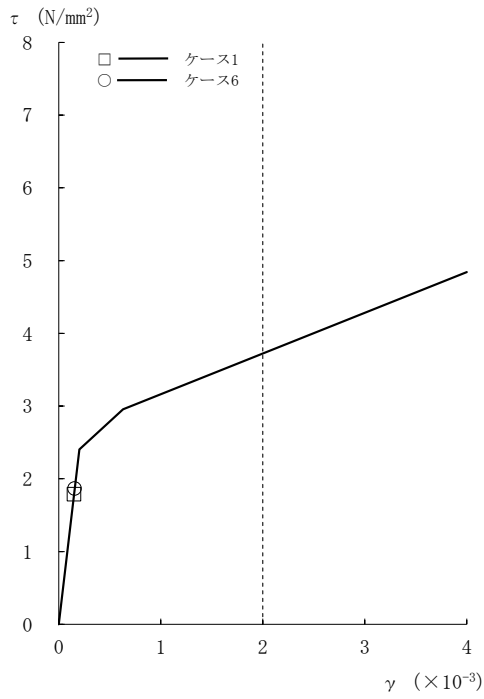
[外壁部]

図2-88 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, CRF) (1/8)

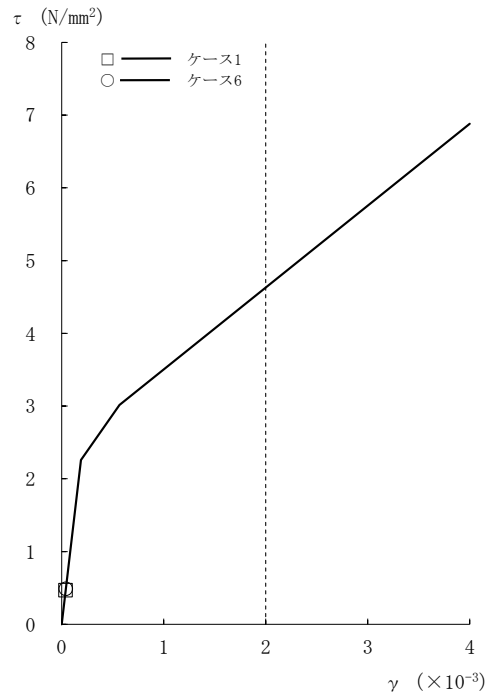


[外壁部]

図2-88 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, 4F) (2/8)

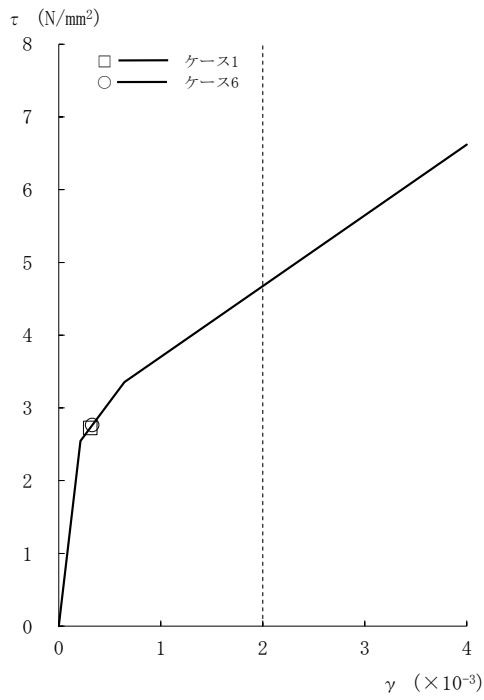


[外壁部]

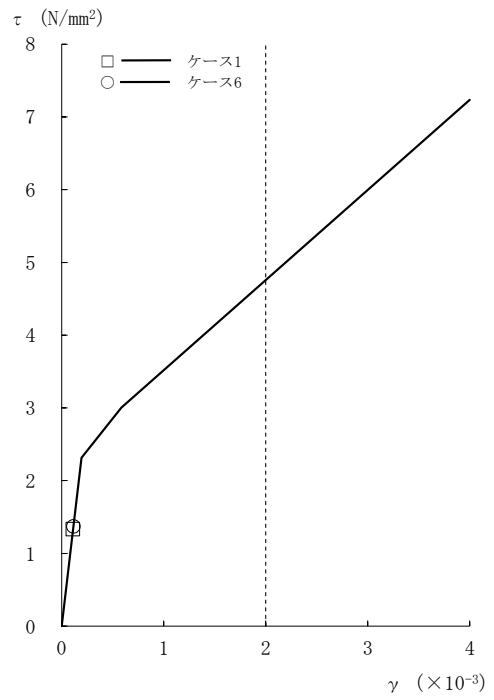


[RCCV部]

図2-88 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, 3F) (3/8)

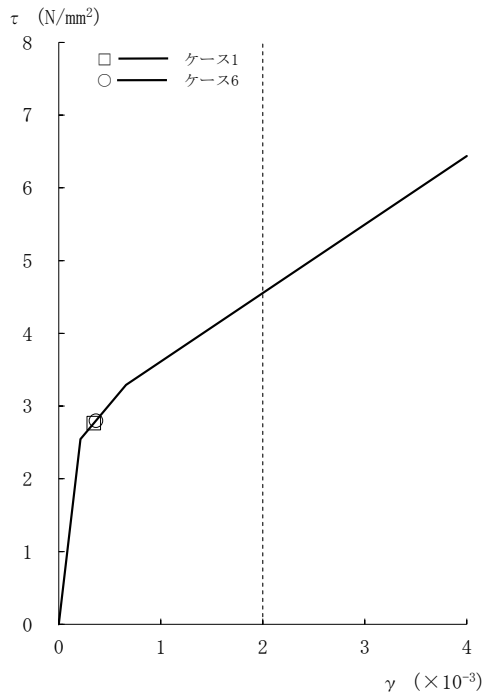


[外壁部]

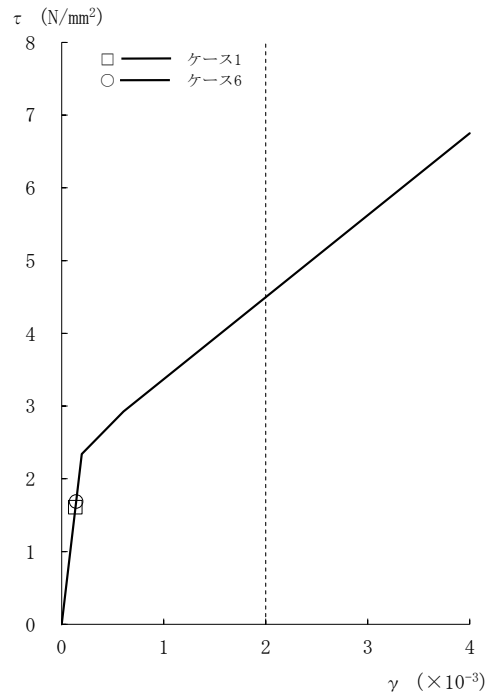


[RCCV部]

図2-88 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, 2F) (4/8)

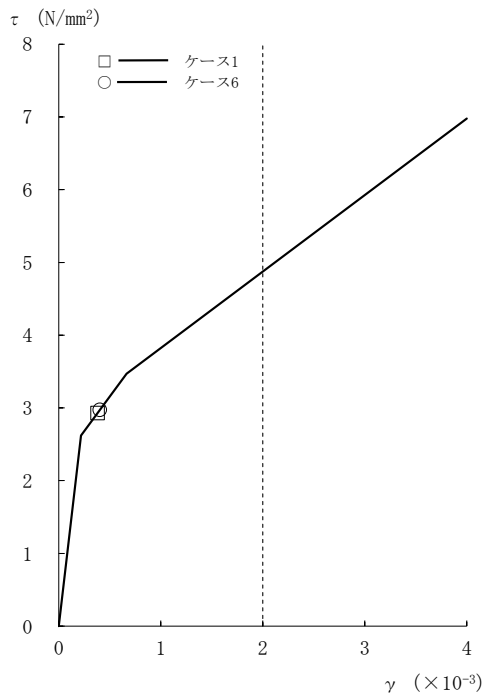


[外壁部]

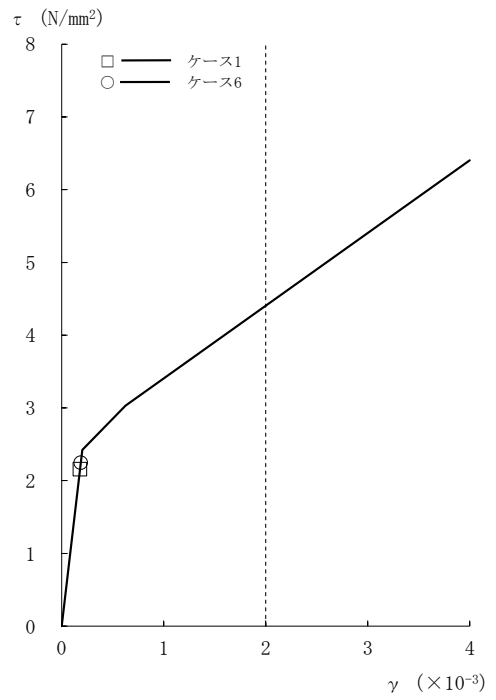


[RCCV部]

図2-88 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, 1F) (5/8)

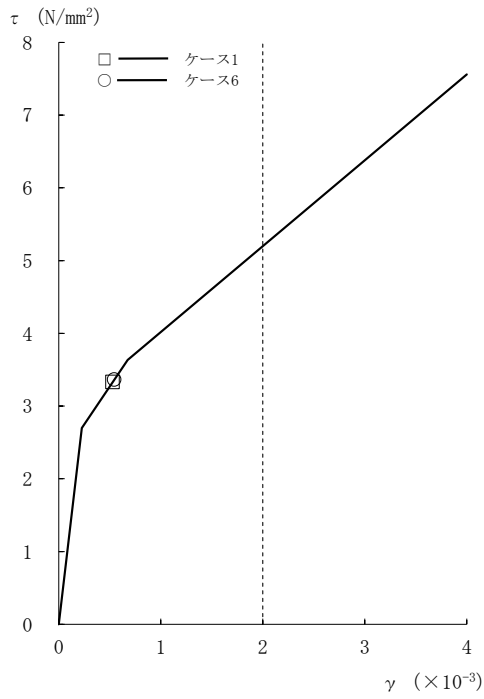


[外壁部]

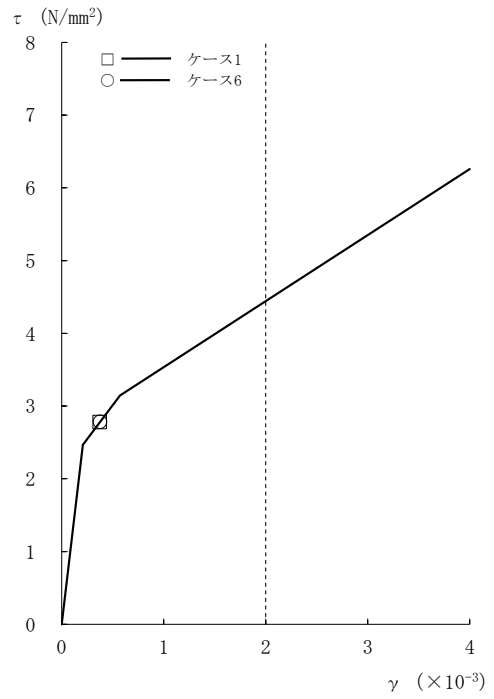


[RCCV部]

図2-88 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, NS方向, B1F) (6/8)

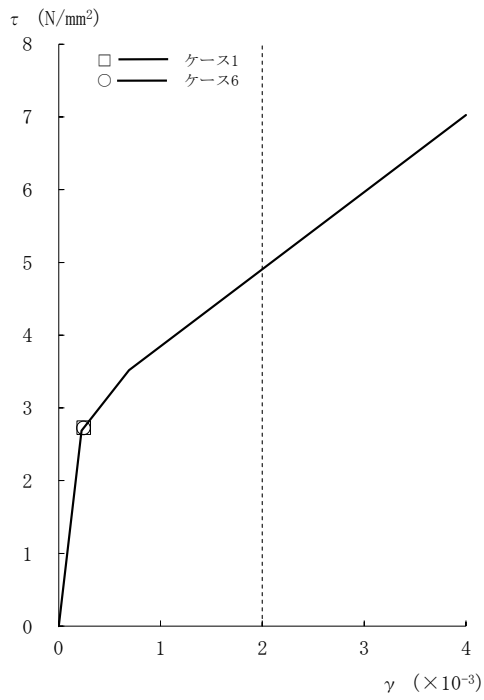


[外壁部]

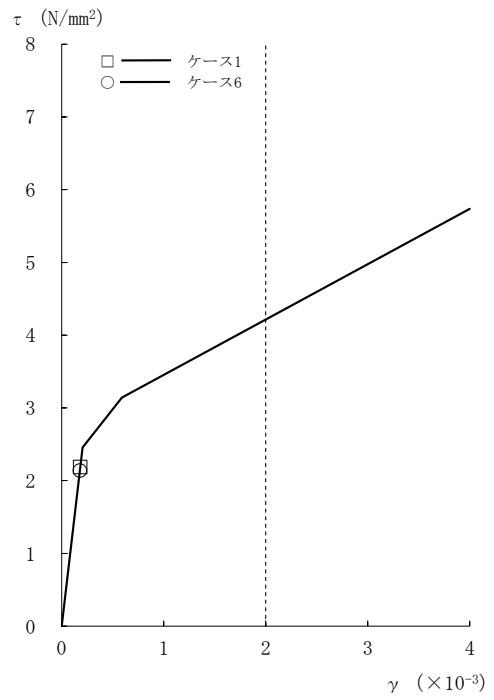


[RCCV部]

図2-88 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-8, NS方向, B2F) (7/8)

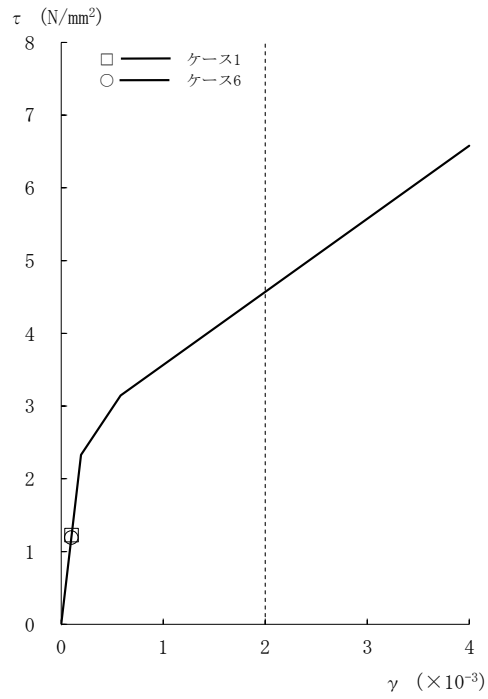


[外壁部]



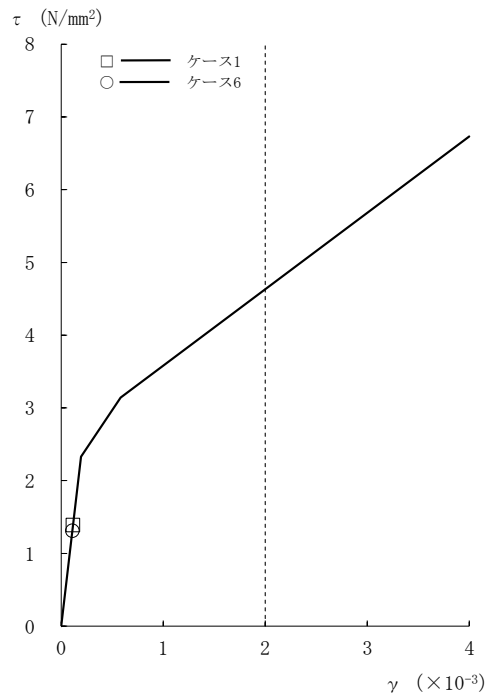
[RCCV部]

図2-88 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-8, NS方向, B3F) (8/8)



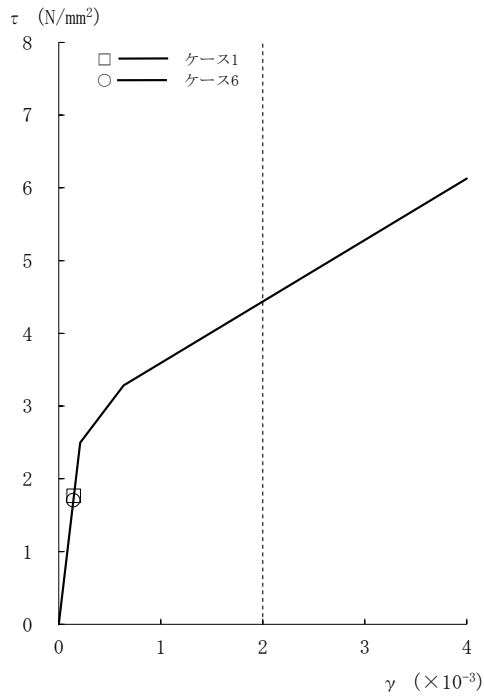
[外壁部]

図2-89 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, CRF) (1/8)

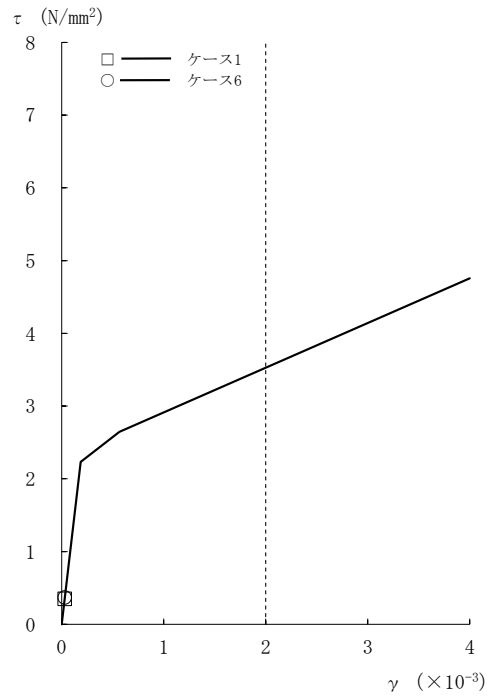


[外壁部]

図2-89 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, 4F) (2/8)

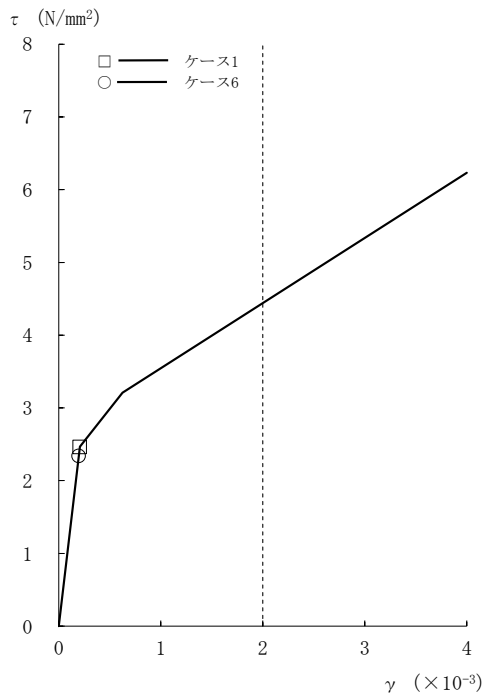


[外壁部]

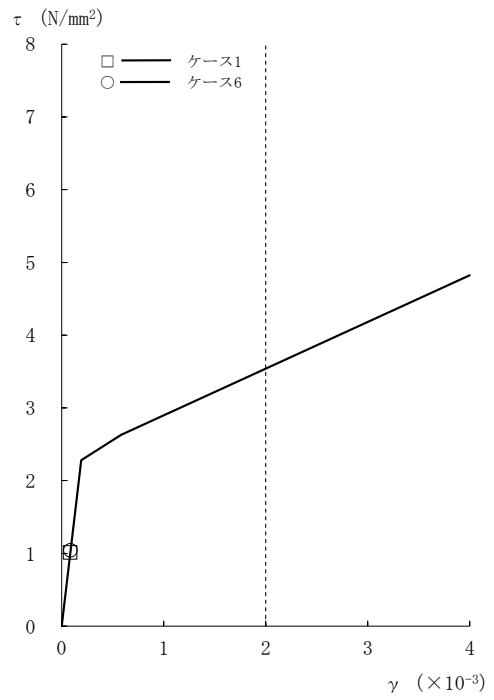


[RCCV部]

図2-89 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, 3F) (3/8)

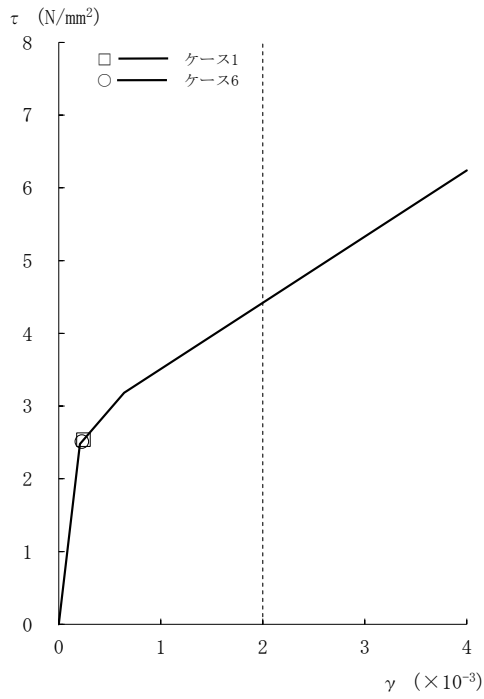


[外壁部]

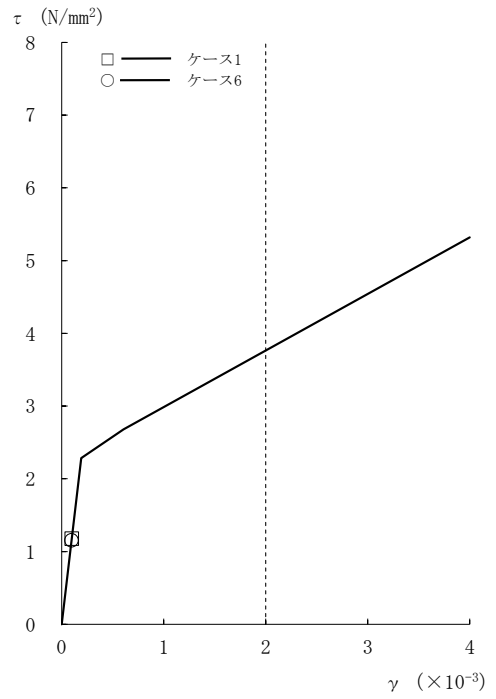


[RCCV部]

図2-89 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, 2F) (4/8)

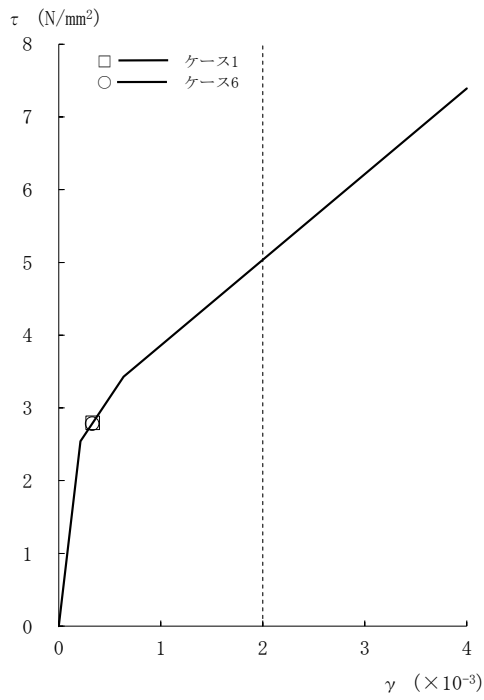


[外壁部]

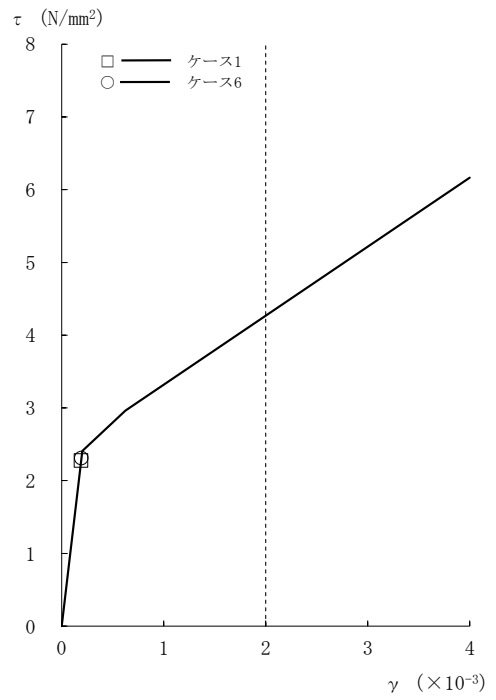


[RCCV部]

図2-89 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, 1F) (5/8)

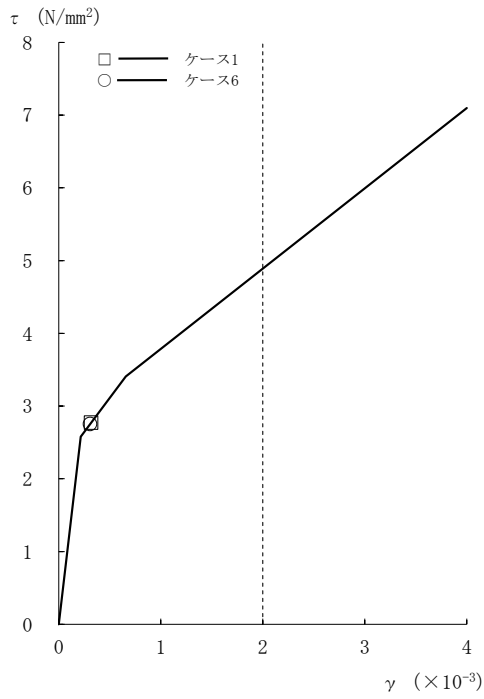


[外壁部]

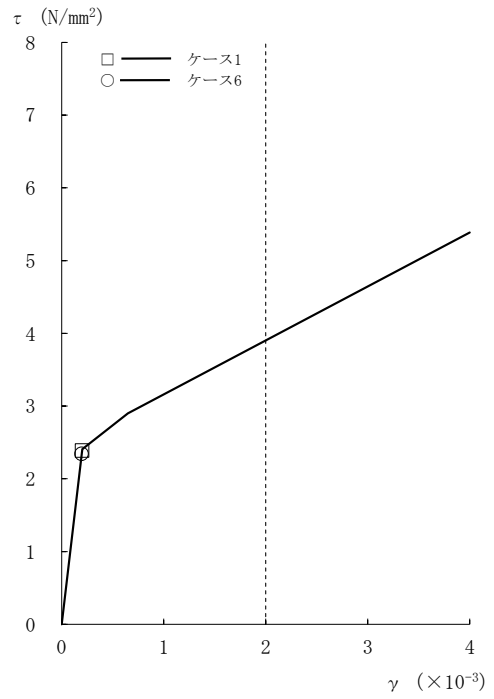


[RCCV部]

図2-89 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-1, EW方向, B1F) (6/8)

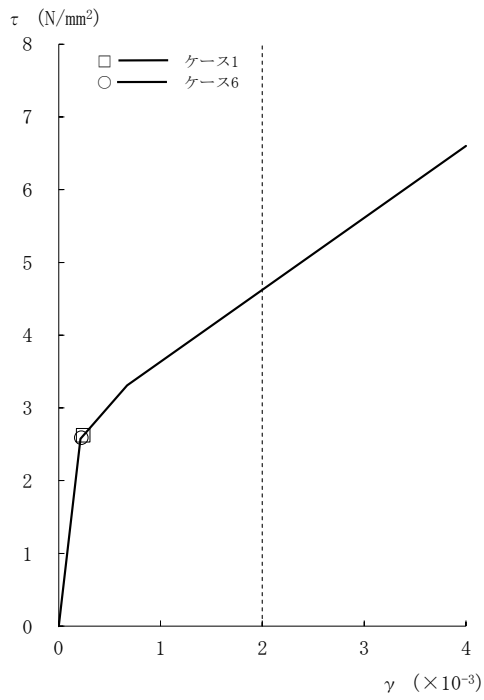


[外壁部]

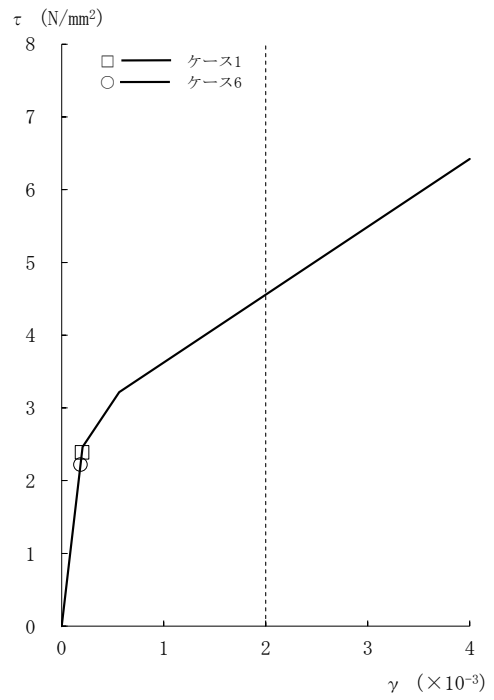


[RCCV部]

図2-89 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-1, EW方向, B2F) (7/8)

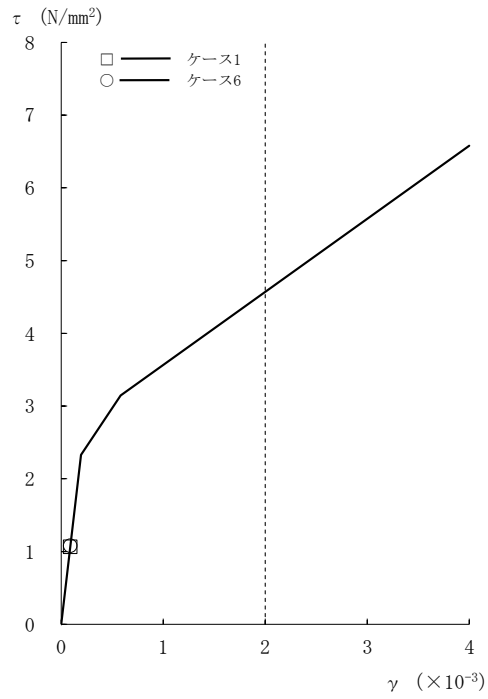


[外壁部]



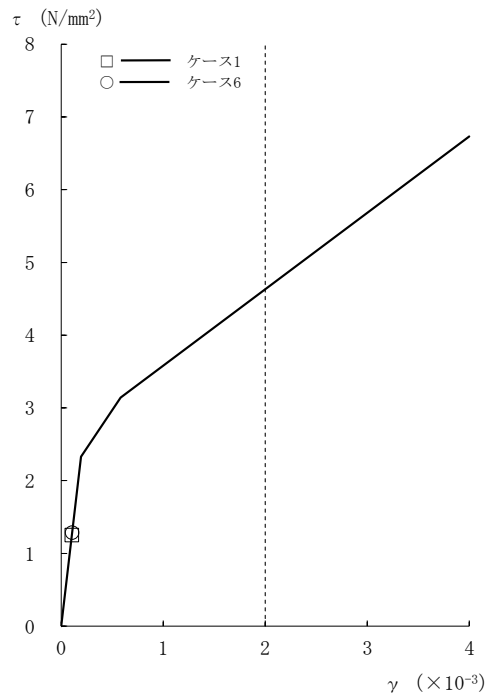
[RCCV部]

図2-89 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (S_s-1, EW方向, B3F) (8/8)



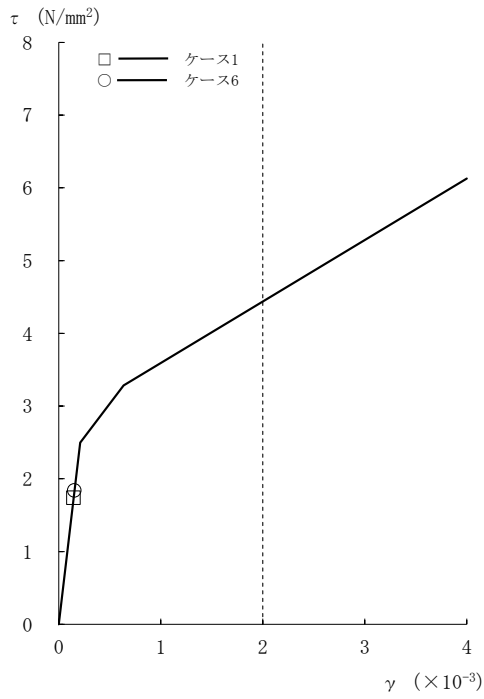
[外壁部]

図2-90 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, EW方向, CRF) (1/8)

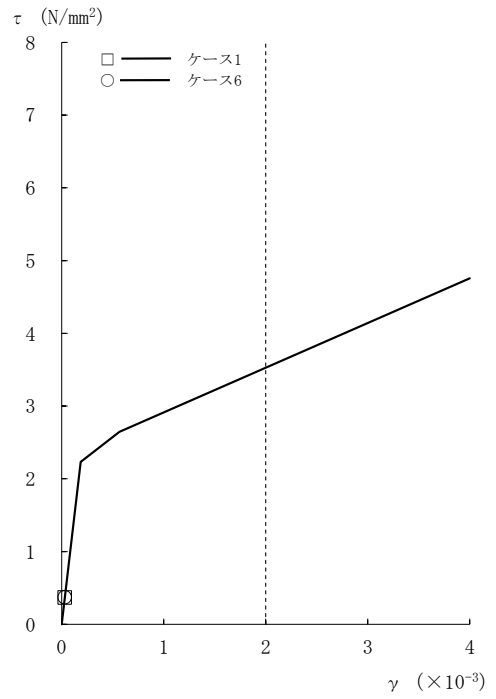


[外壁部]

図2-90 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, EW方向, 4F) (2/8)

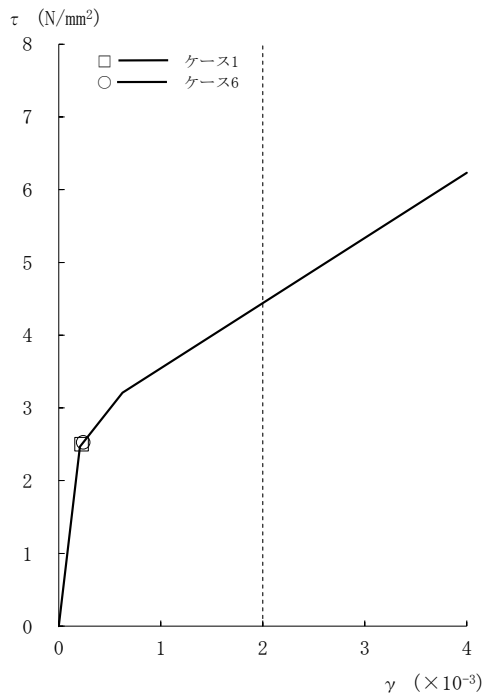


[外壁部]

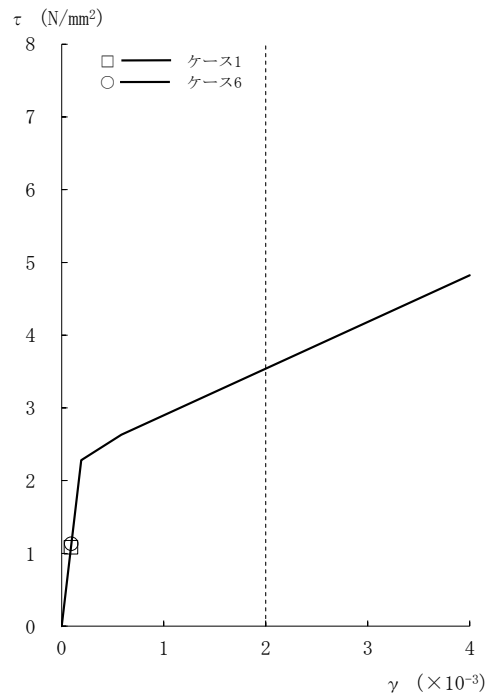


[RCCV部]

図2-90 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, 3F) (3/8)

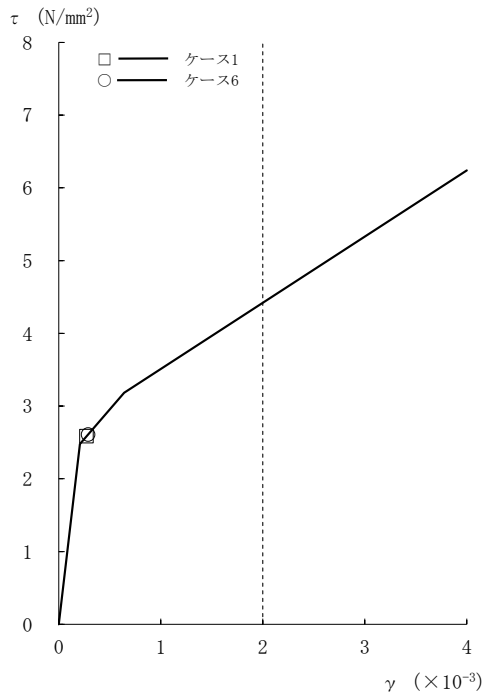


[外壁部]

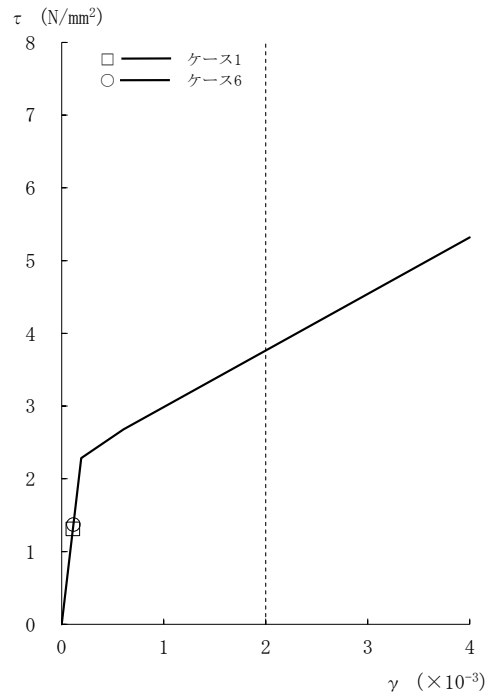


[RCCV部]

図2-90 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, 2F) (4/8)

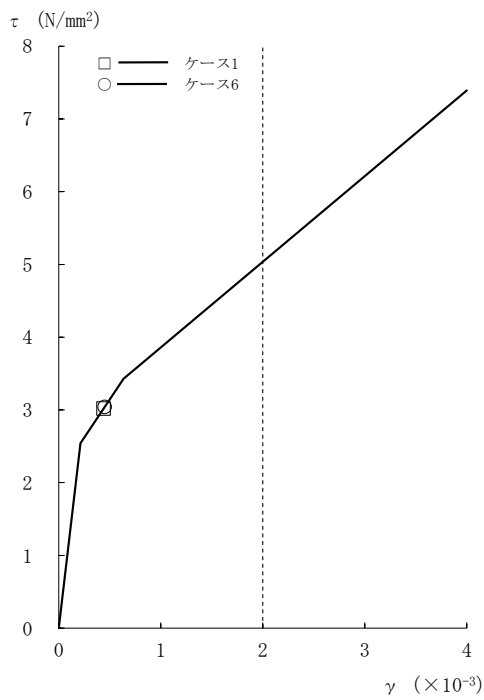


[外壁部]

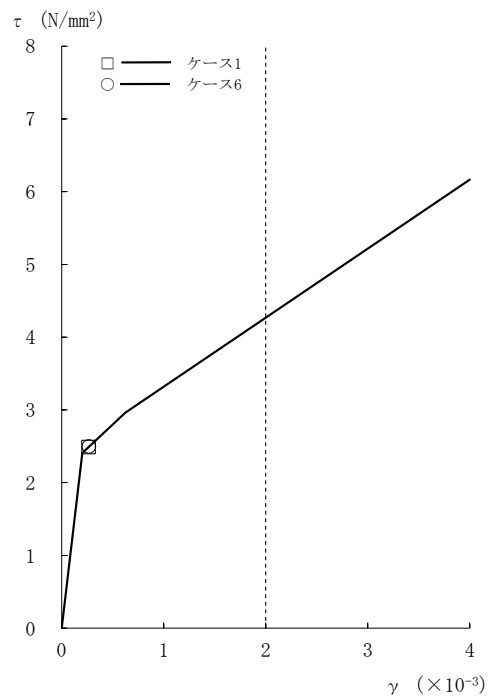


[RCCV部]

図2-90 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, 1F) (5/8)

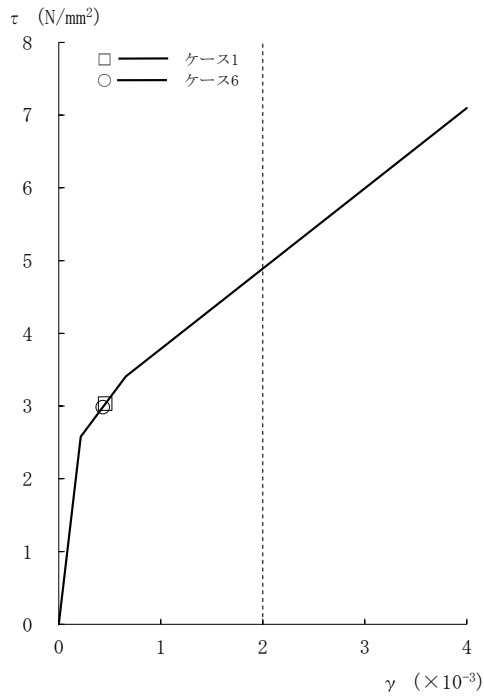


[外壁部]

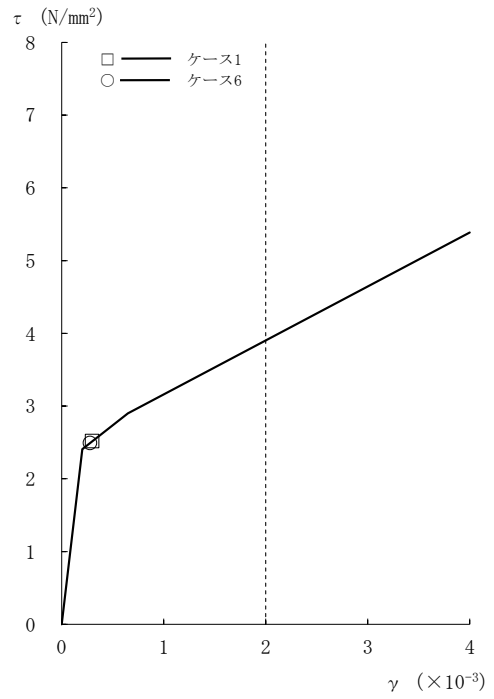


[RCCV部]

図2-90 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-2, EW方向, B1F) (6/8)

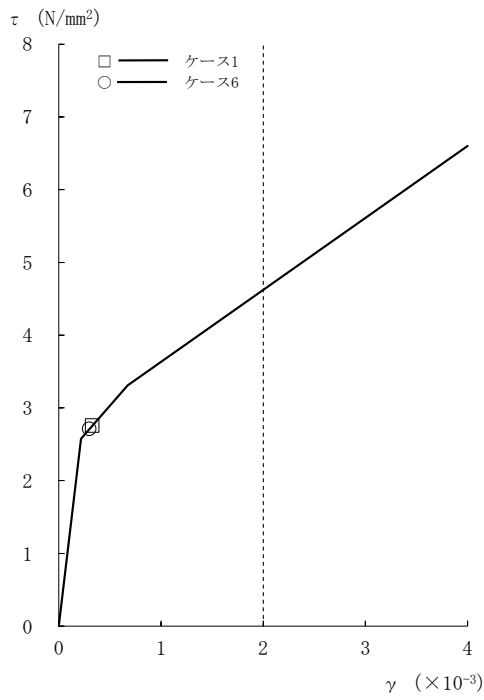


[外壁部]

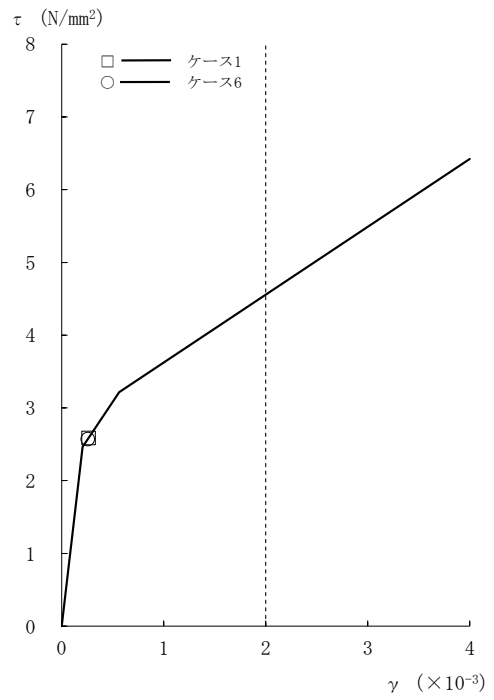


[RCCV部]

図2-90 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, EW方向, B2F) (7/8)

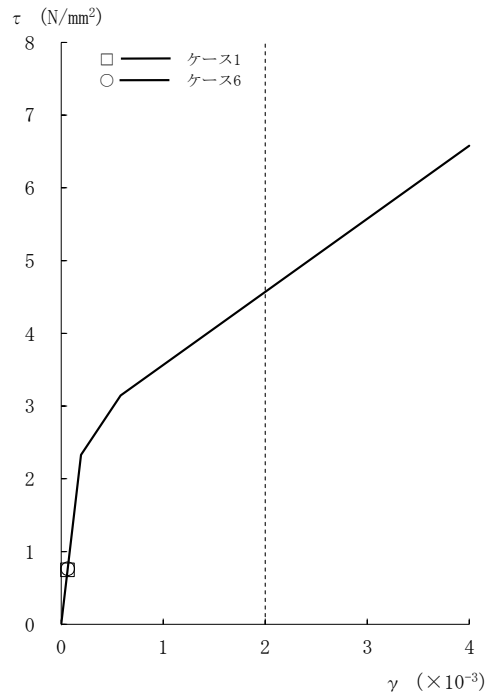


[外壁部]



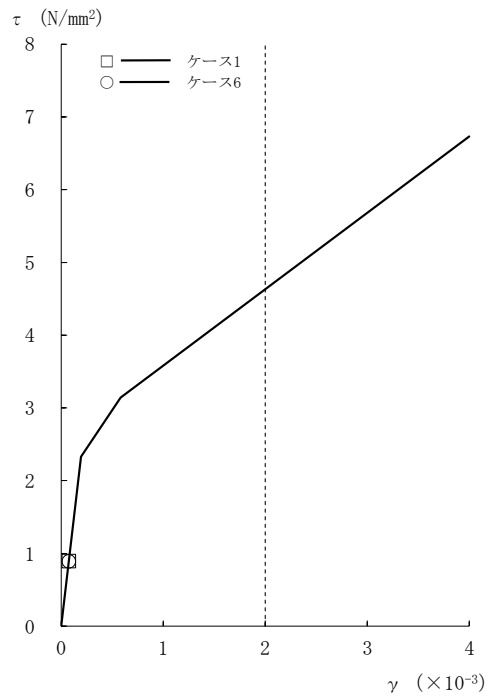
[RCCV部]

図2-90 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-2, EW方向, B3F) (8/8)



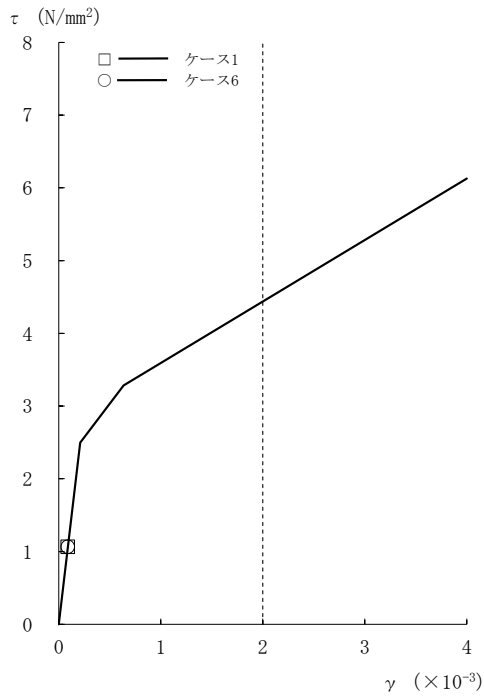
[外壁部]

図2-91 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-3, EW方向, CRF) (1/8)

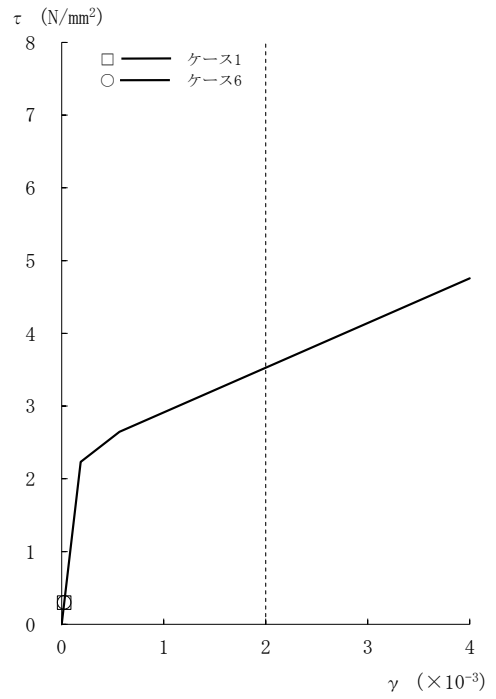


[外壁部]

図2-91 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-3, EW方向, 4F) (2/8)

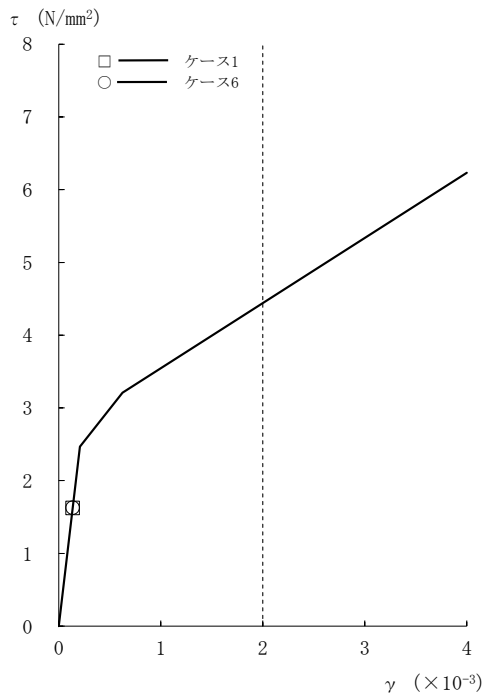


[外壁部]

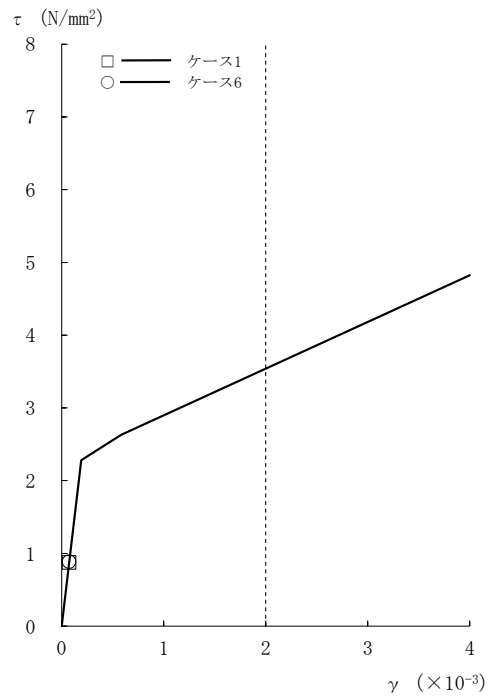


[RCCV部]

図2-91 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, 3F) (3/8)

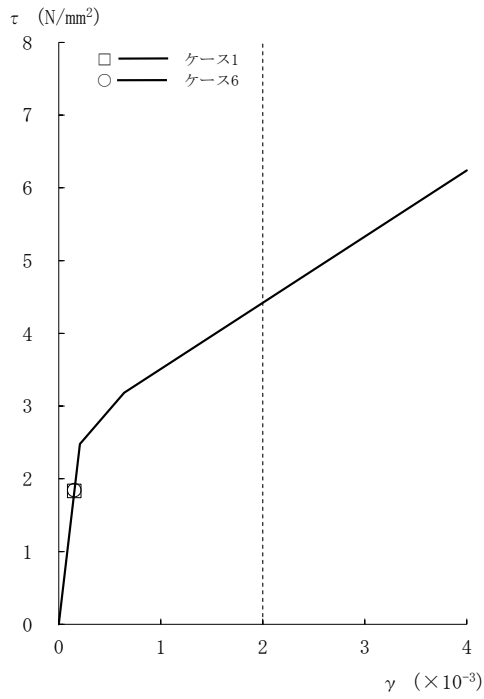


[外壁部]

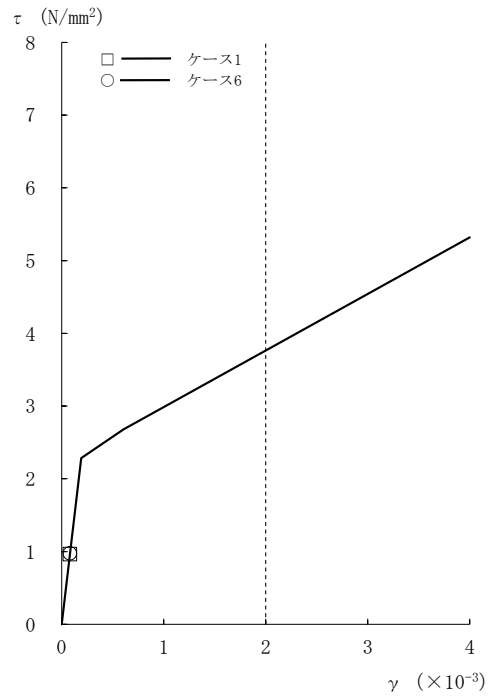


[RCCV部]

図2-91 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, 2F) (4/8)

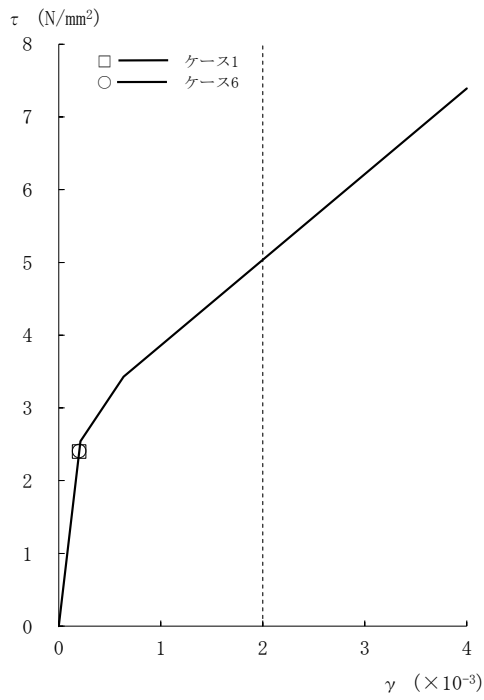


[外壁部]

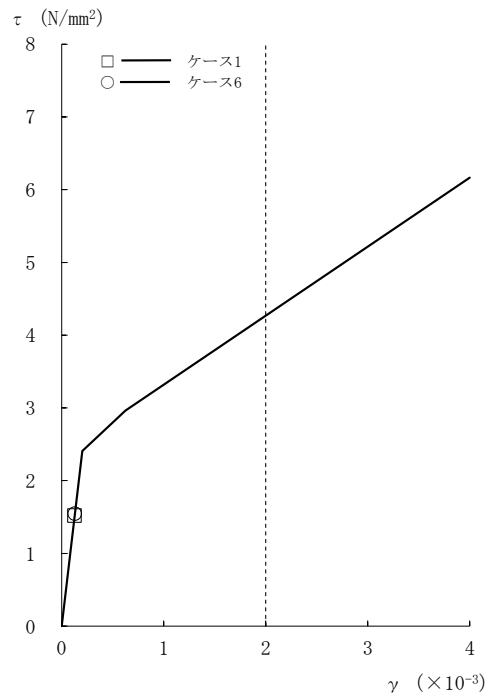


[RCCV部]

図2-91 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, 1F) (5/8)

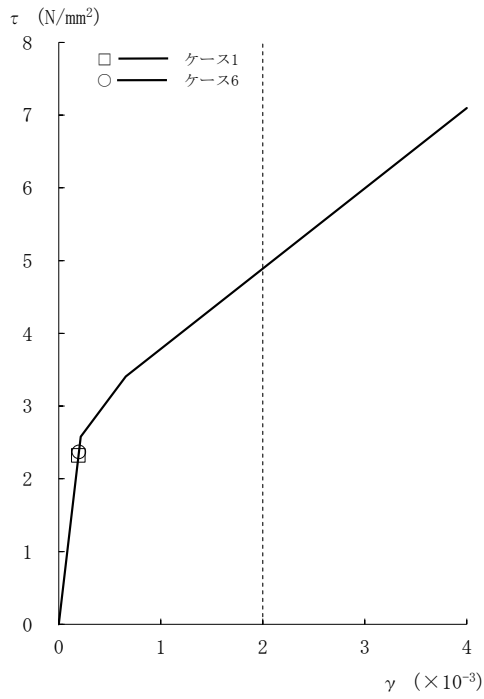


[外壁部]

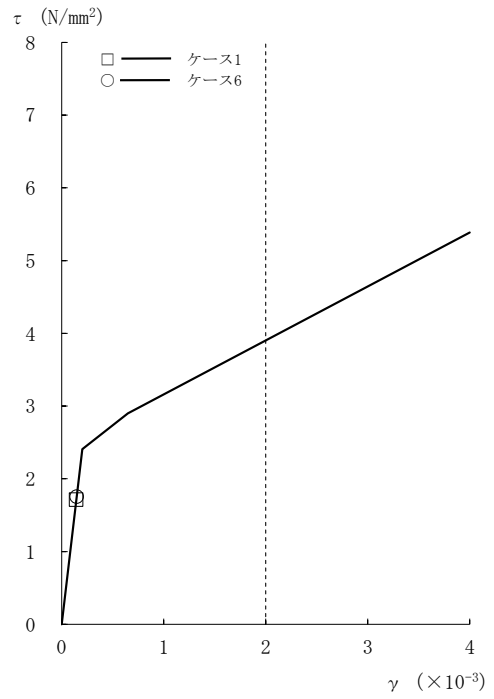


[RCCV部]

図2-91 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-3, EW方向, B1F) (6/8)

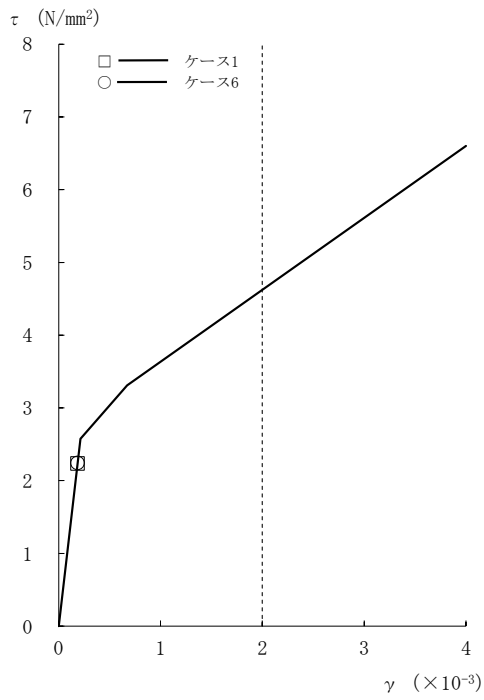


[外壁部]

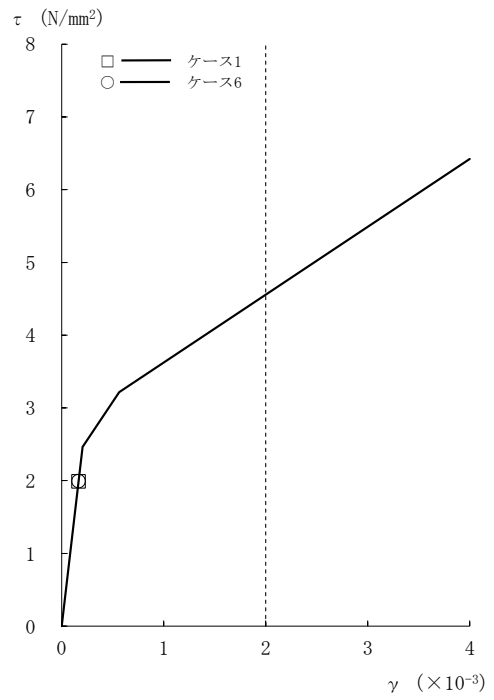


[RCCV部]

図2-91 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-3, EW方向, B2F) (7/8)

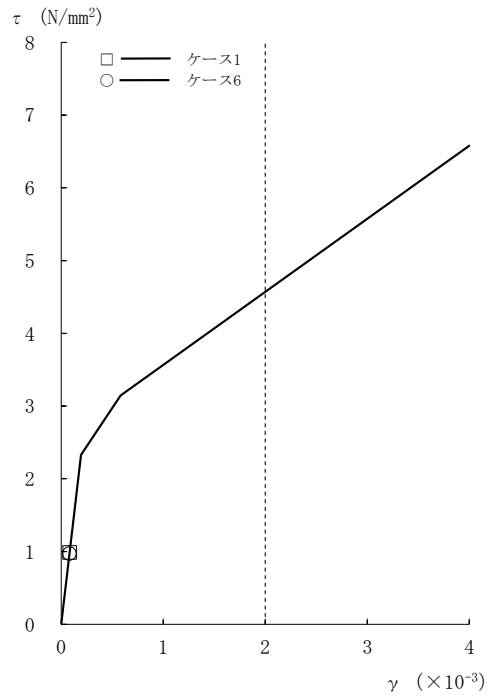


[外壁部]



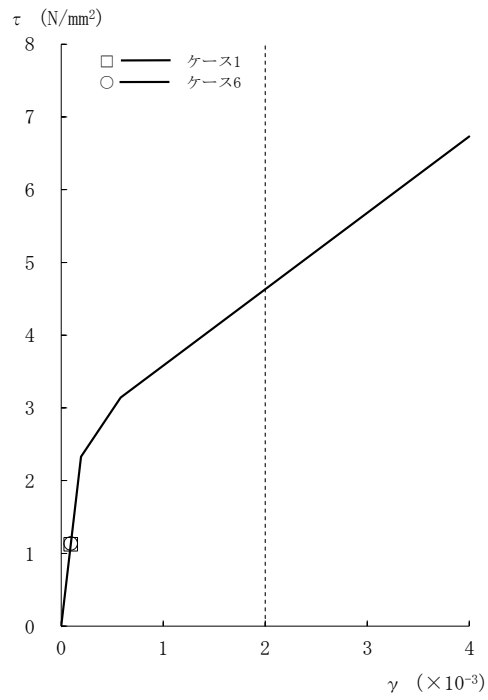
[RCCV部]

図2-91 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-3, EW方向, B3F) (8/8)



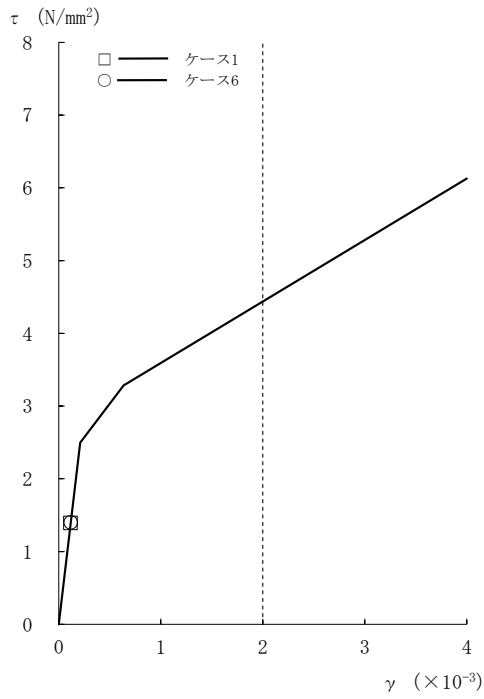
[外壁部]

図2-92 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-8, EW方向, CRF) (1/8)

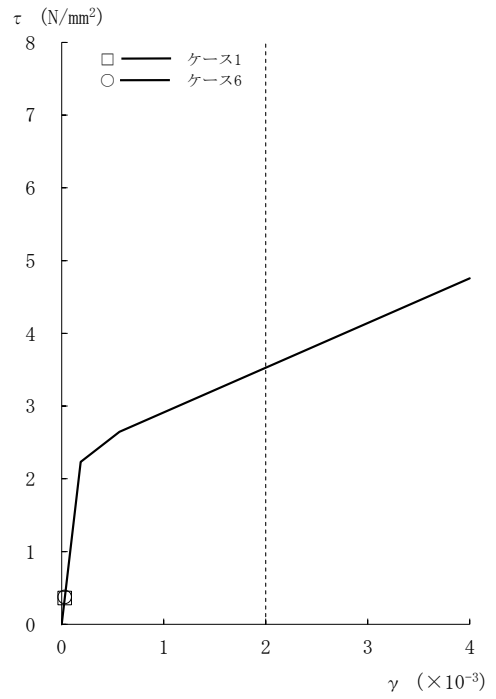


[外壁部]

図2-92 τ - γ 関係と最大応答値 (S_s-8, EW方向, 4F) (2/8)

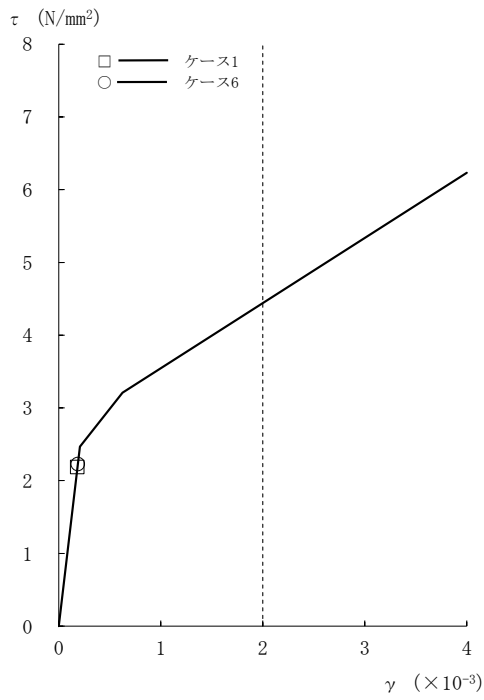


[外壁部]

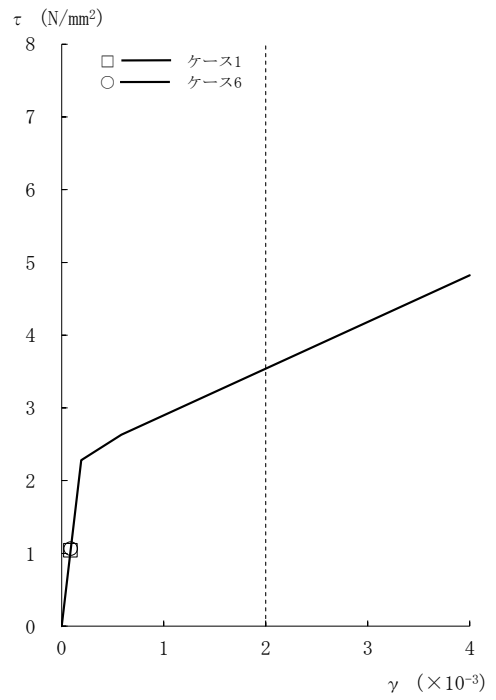


[RCCV部]

図2-92 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, 3F) (3/8)

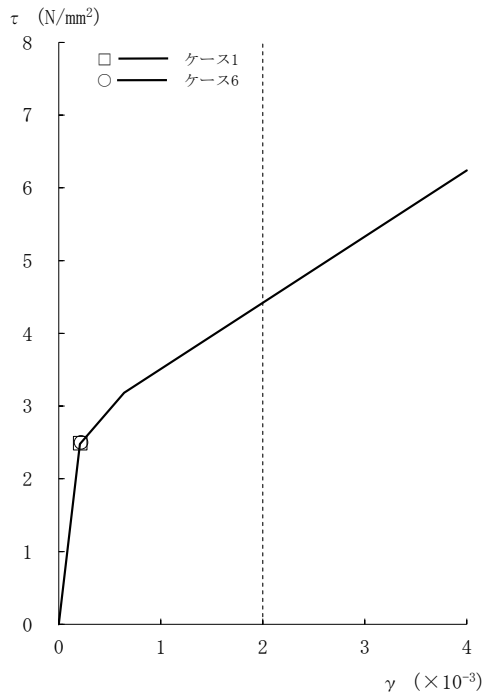


[外壁部]

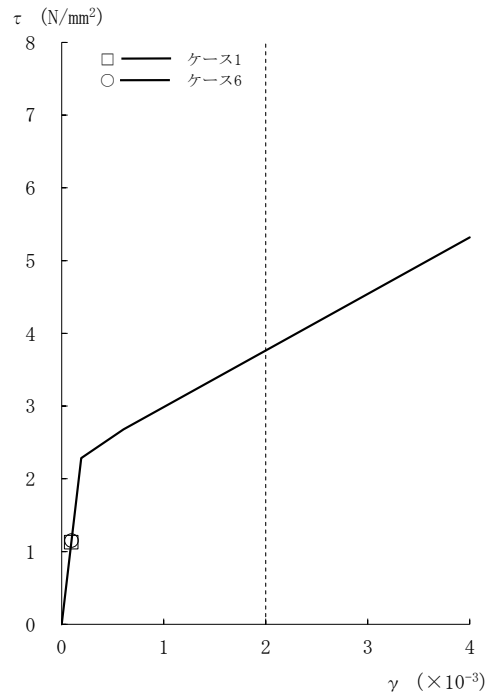


[RCCV部]

図2-92 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, 2F) (4/8)

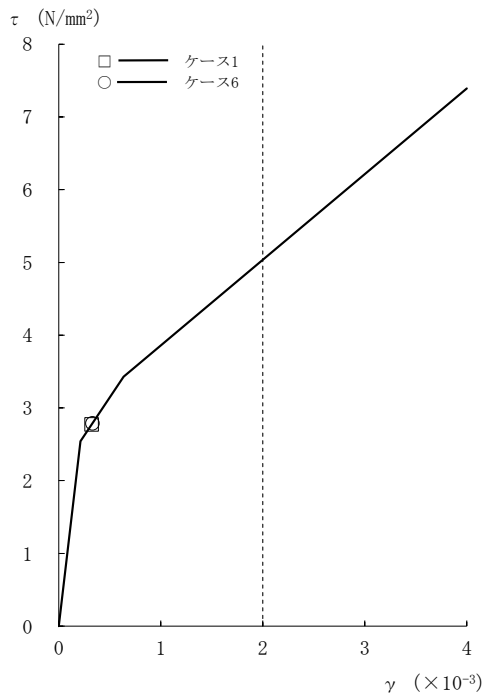


[外壁部]

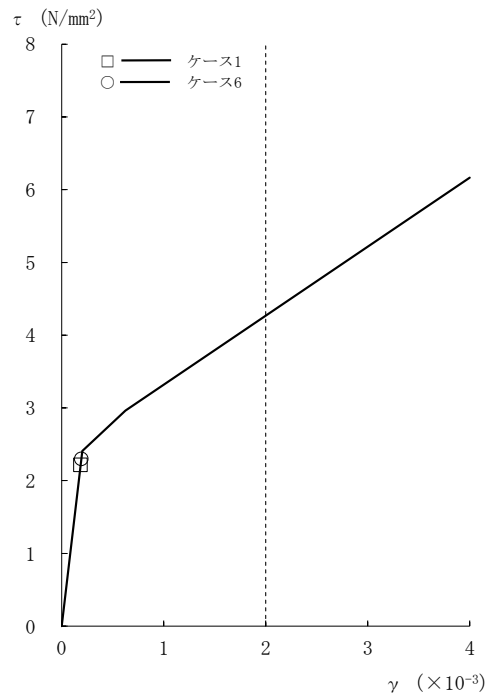


[RCCV部]

図2-92 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, 1F) (5/8)

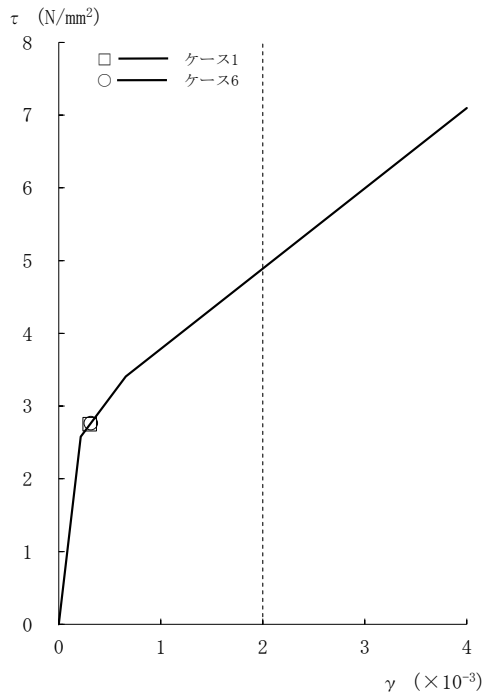


[外壁部]

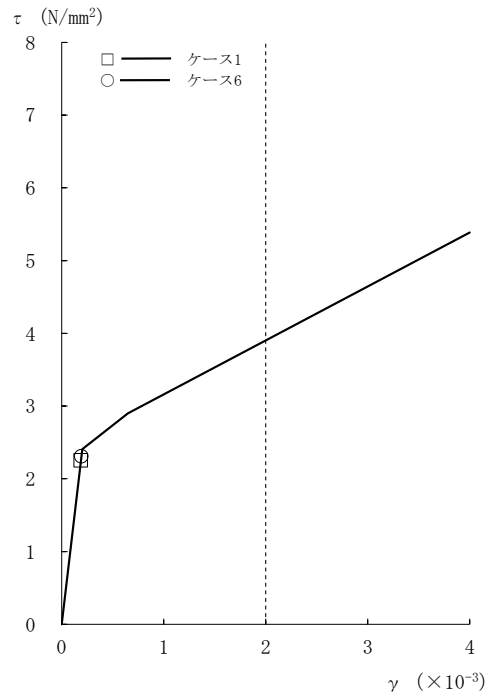


[RCCV部]

図2-92 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, B1F) (6/8)

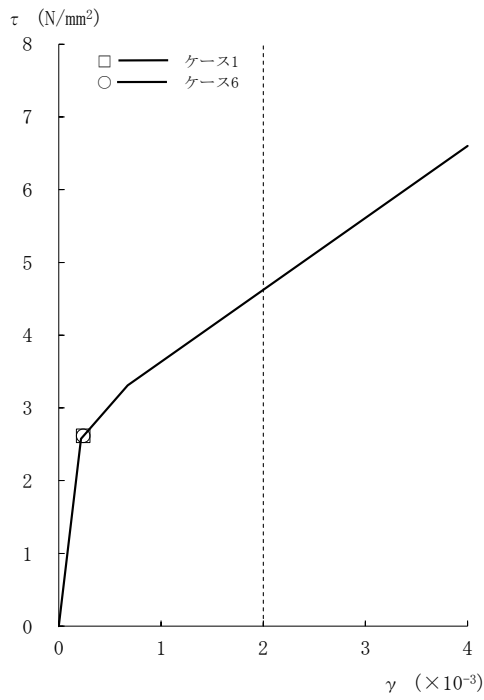


[外壁部]

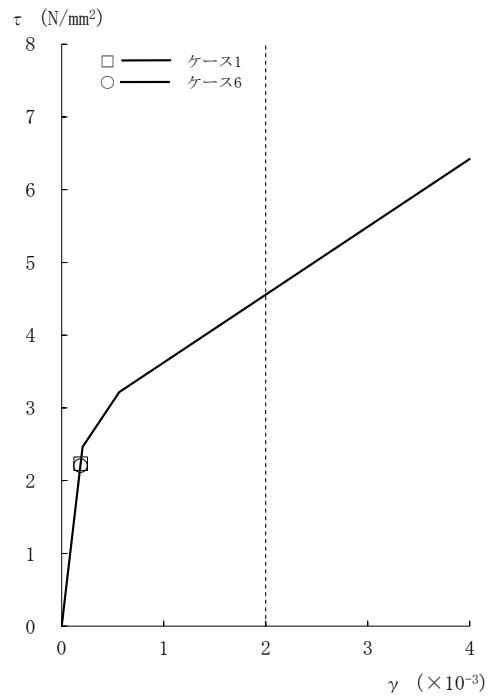


[RCCV部]

図2-92 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, B2F) (7/8)

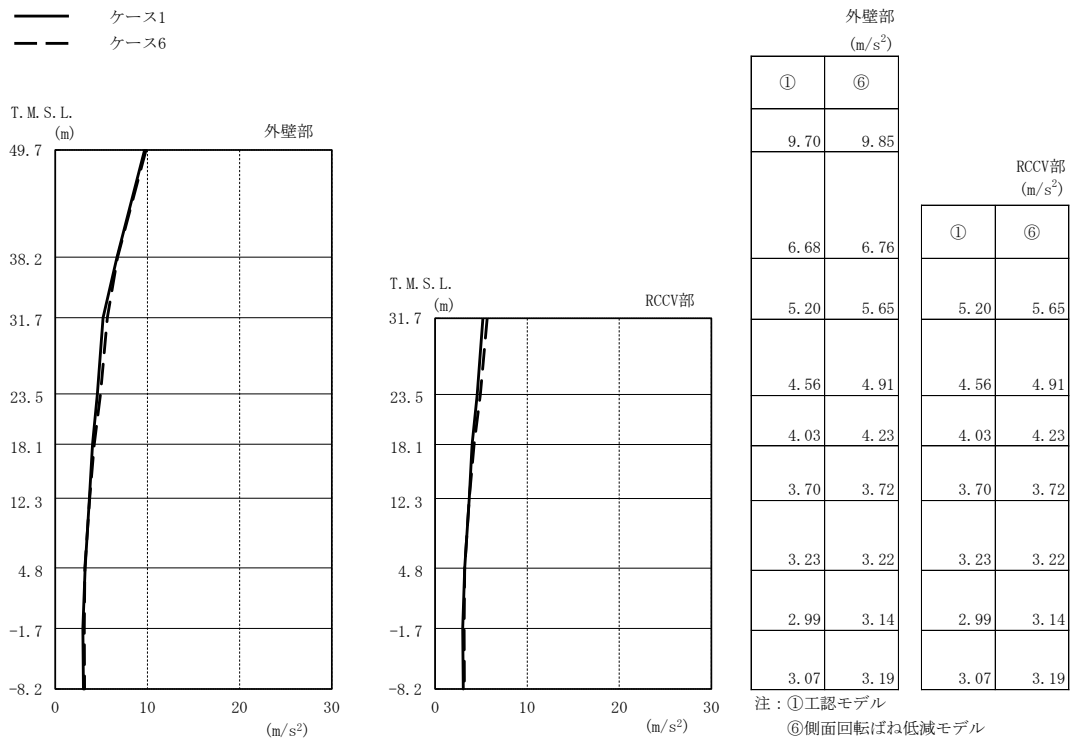


[外壁部]

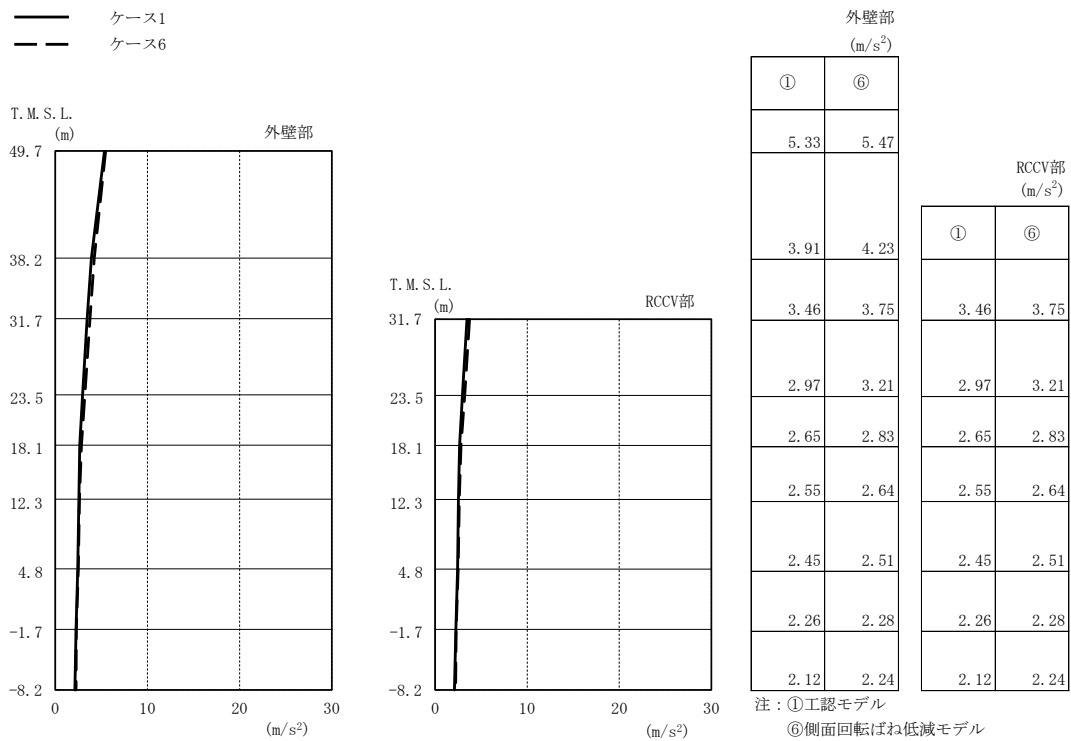


[RCCV部]

図2-92 τ - γ 関係と最大応答値 (Ss-8, EW方向, B3F) (8/8)

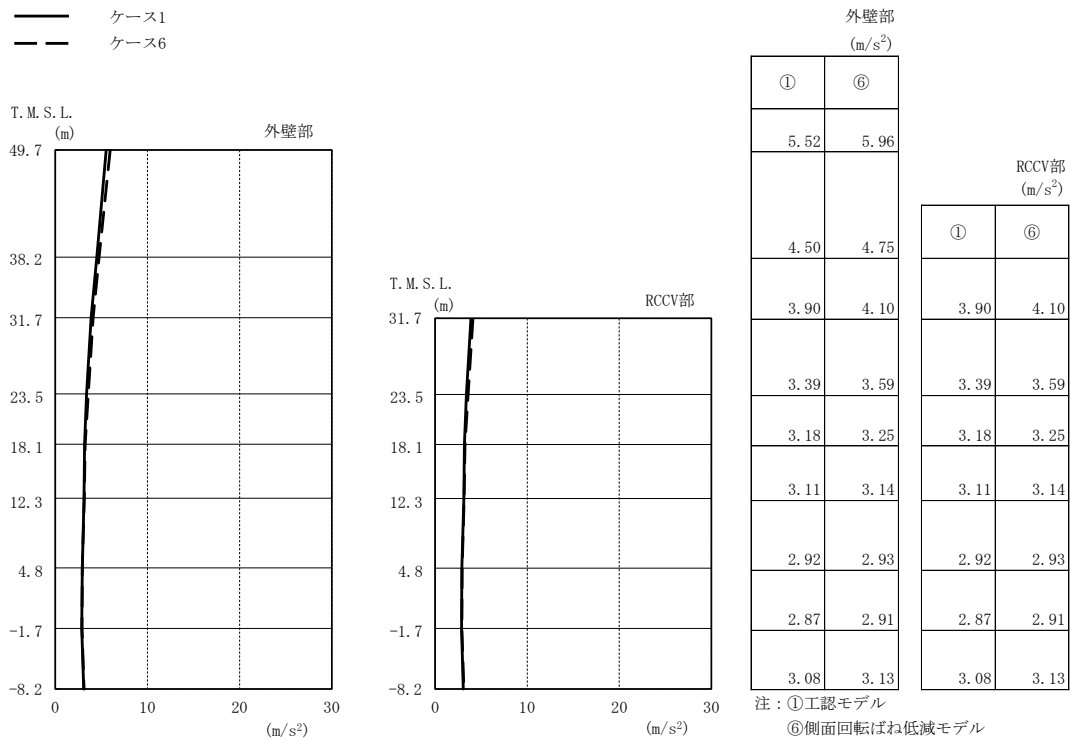


(a) Sd-1

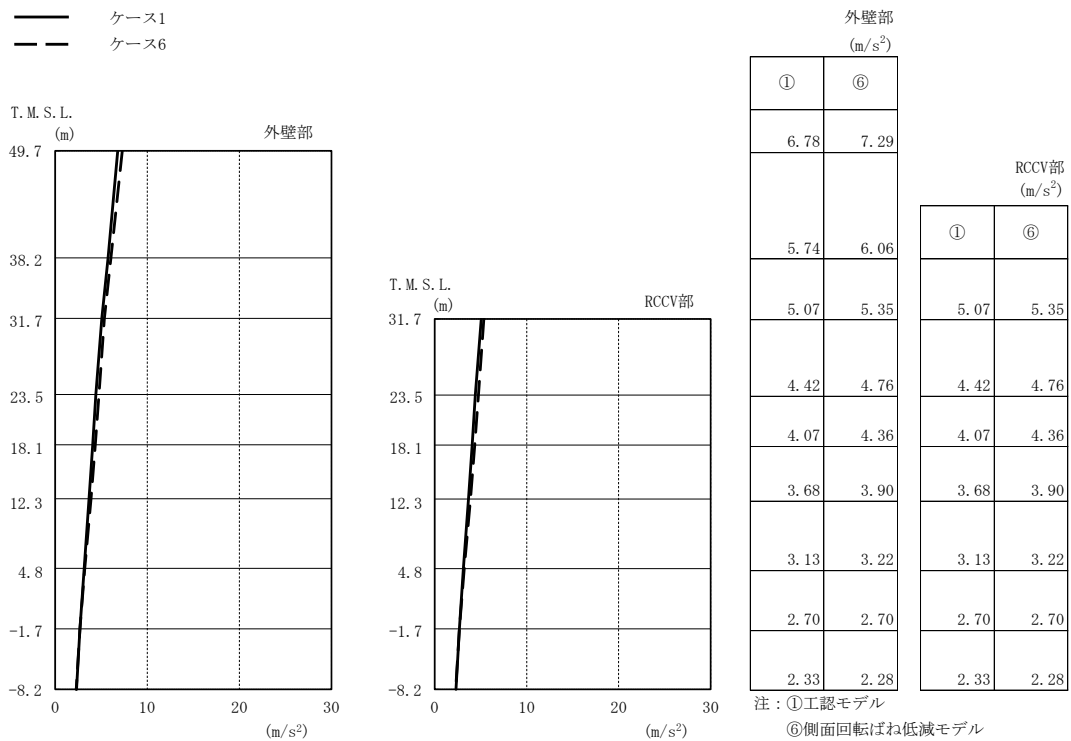


(b) Sd-2

図2-93 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d , NS方向）（1/2）

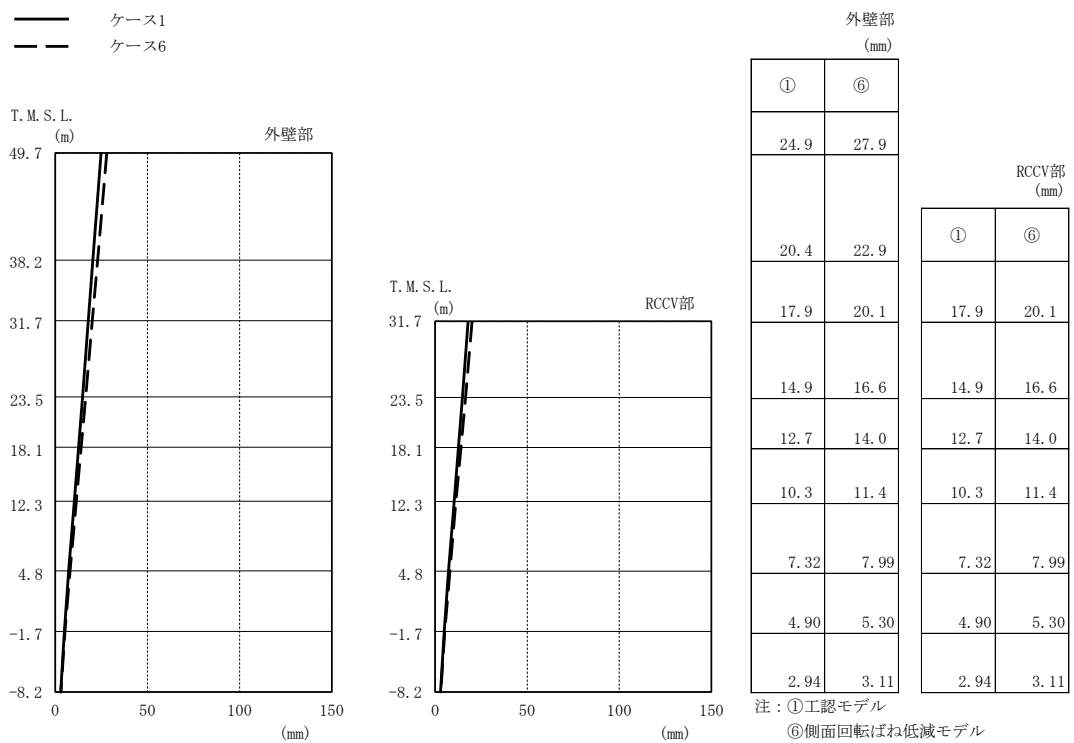


(c) Sd-3

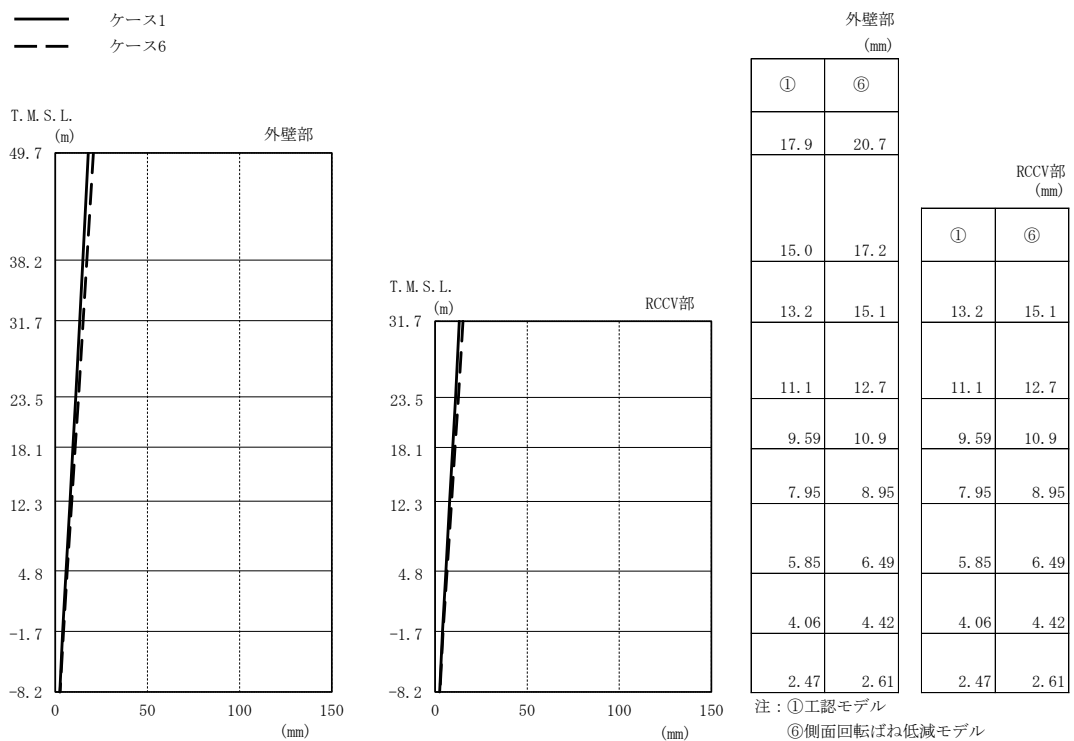


(d) Sd-8

図2-93 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d , NS方向）(2/2)

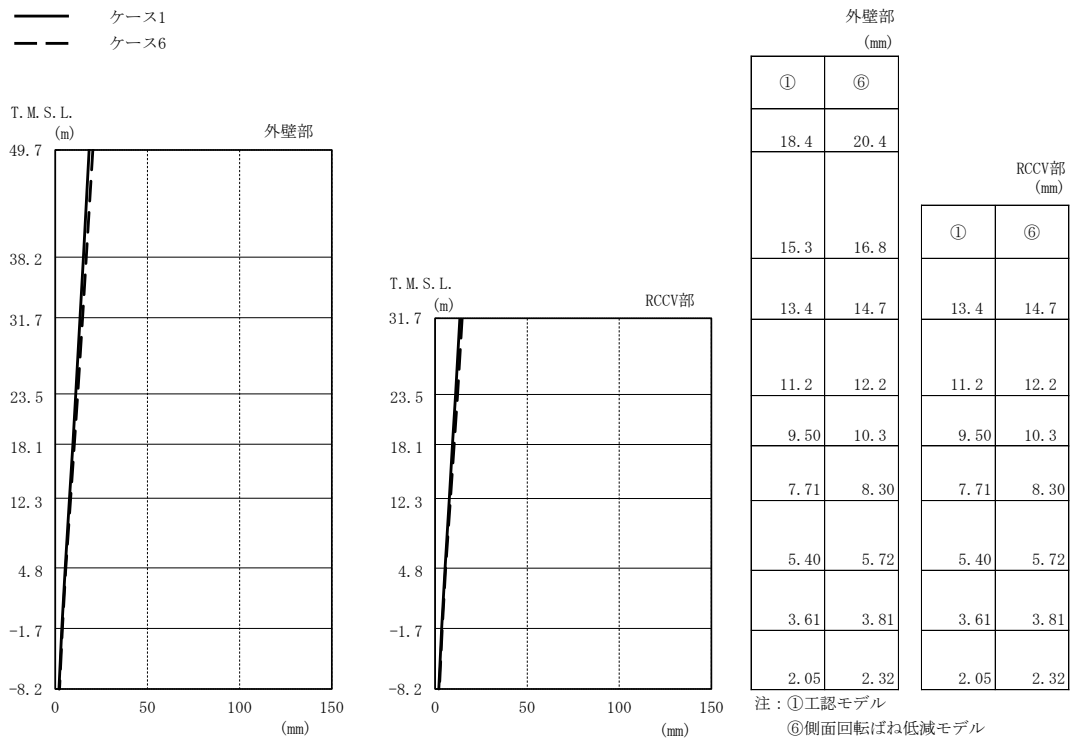


(a) Sd-1

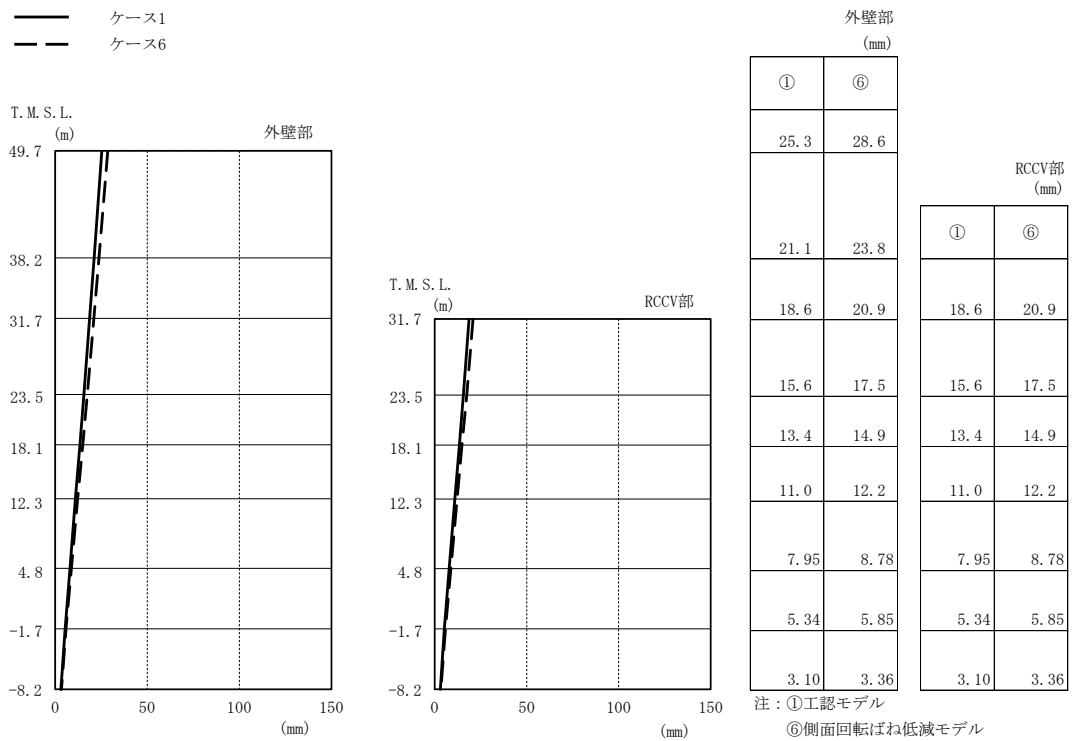


(b) Sd-2

図2-94 最大応答変位（弾性設計用地震動 S d，NS方向）（1/2）

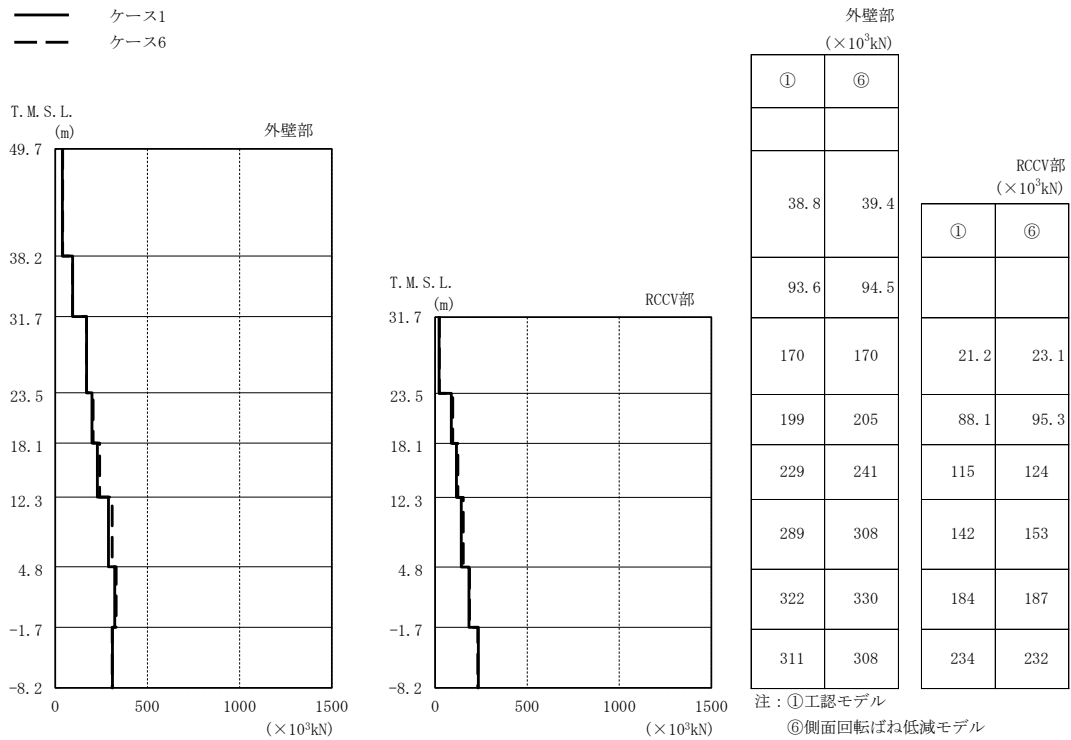


(c) Sd-3

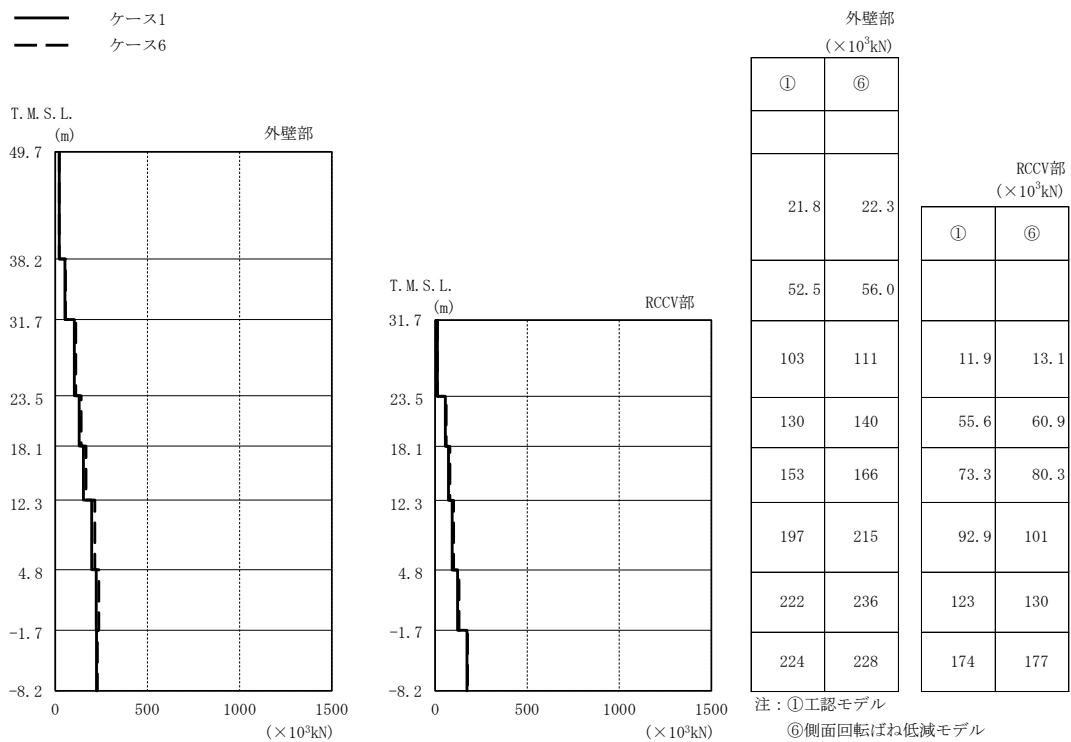


(d) Sd-8

図2-94 最大応答変位（弾性設計用地震動 S d，NS方向）（2/2）

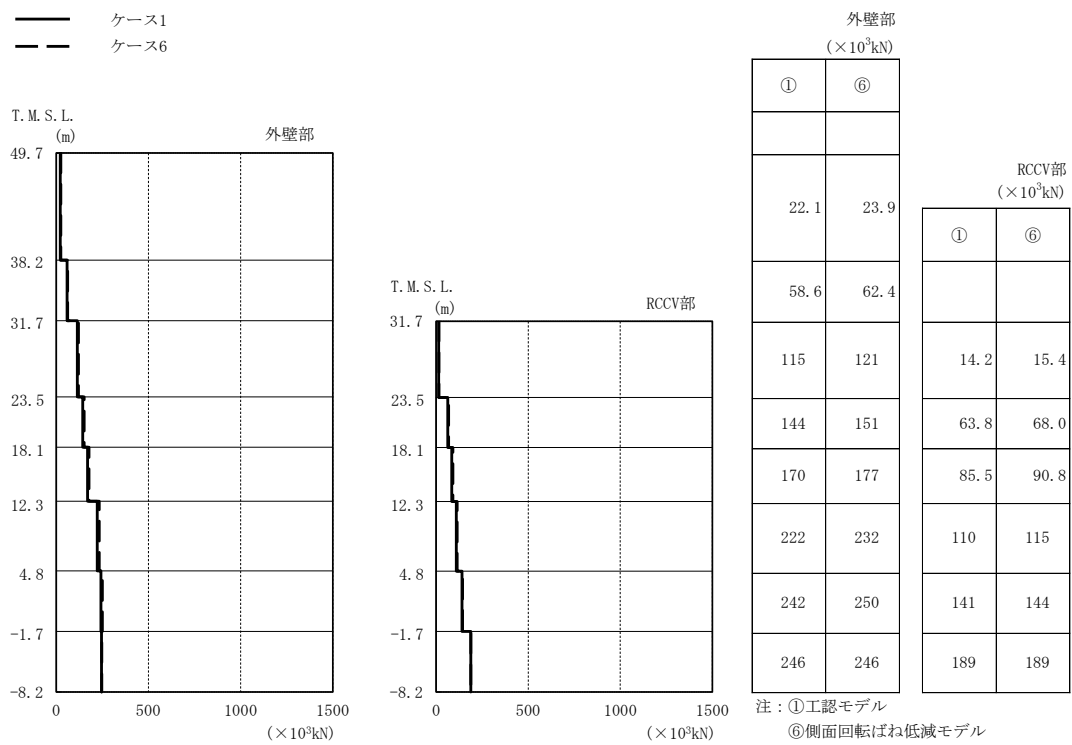


(a) Sd-1

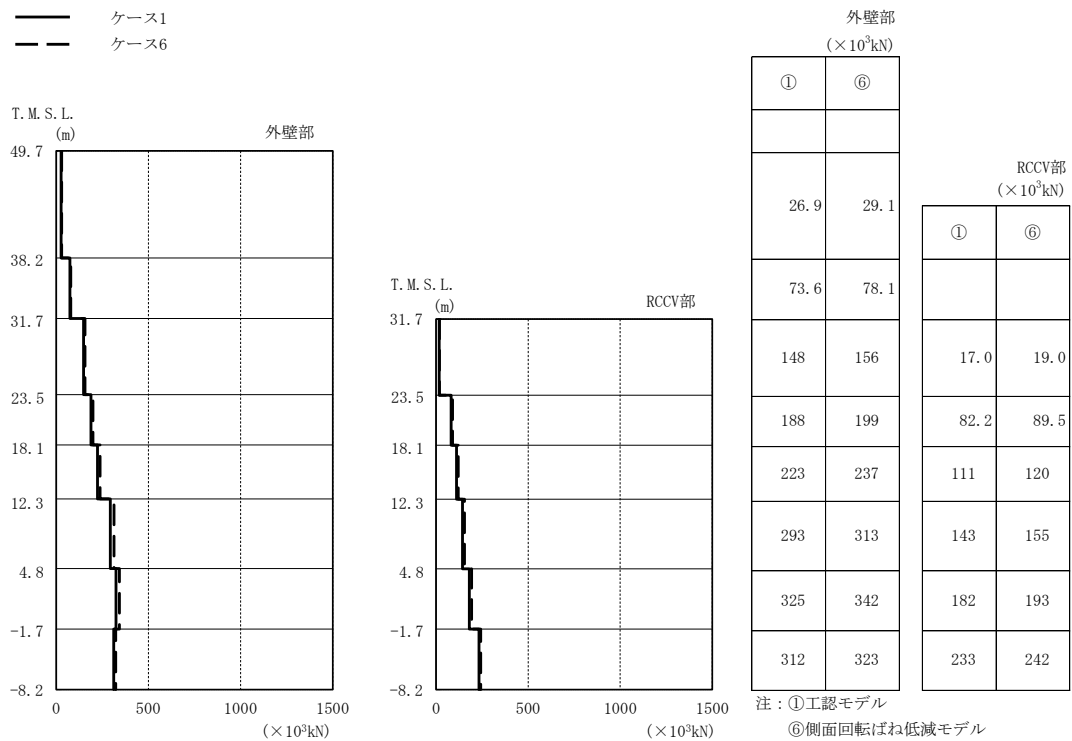


(b) Sd-2

図2-95 最大応答せん断力（弾性設計用地震動 S d，NS方向）（1/2）

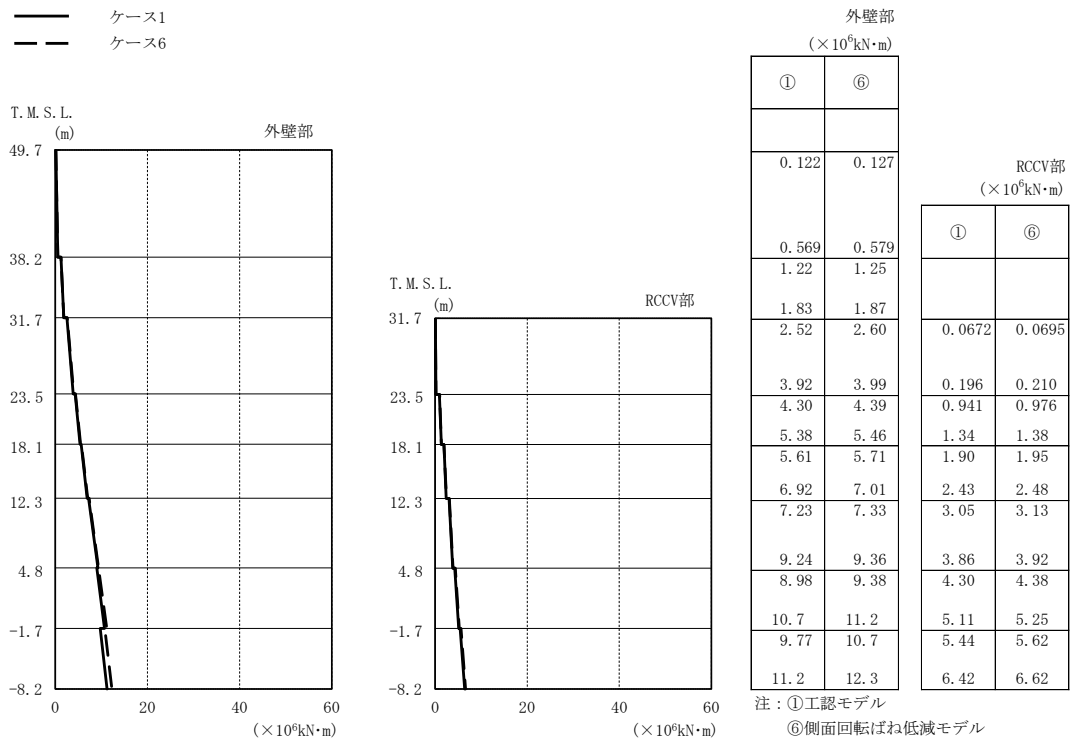


(c) Sd-3

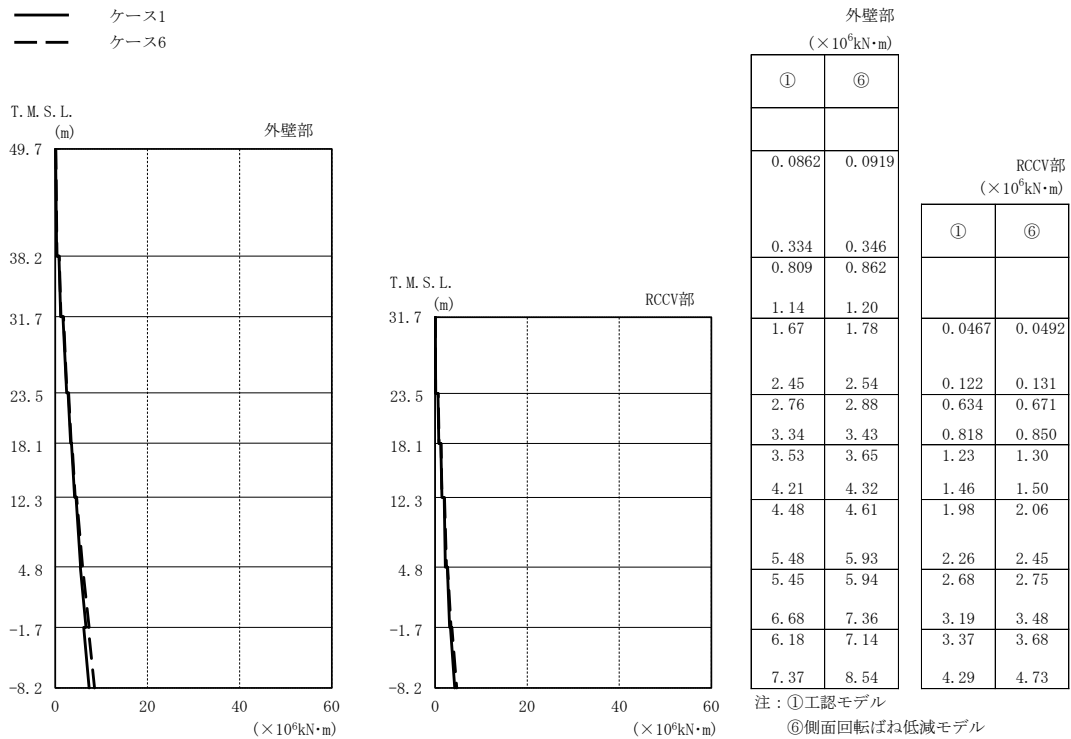


(d) Sd-8

図2-95 最大応答せん断力（弾性設計用地震動 S d，NS方向）（2/2）

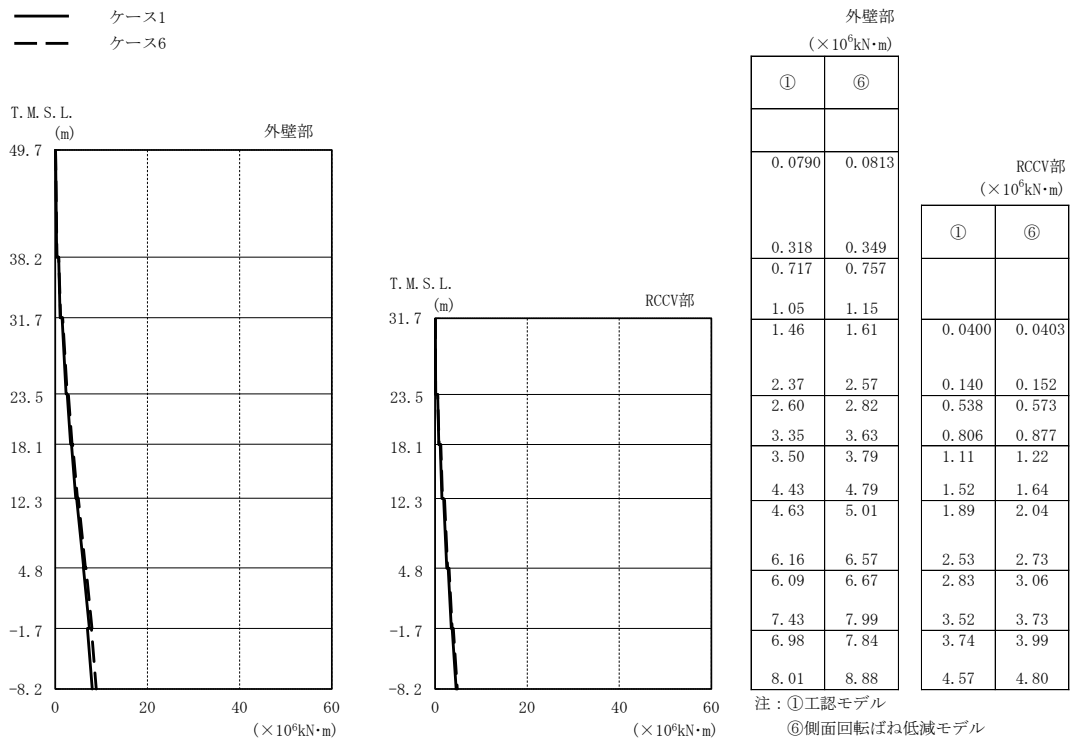


(a) Sd-1

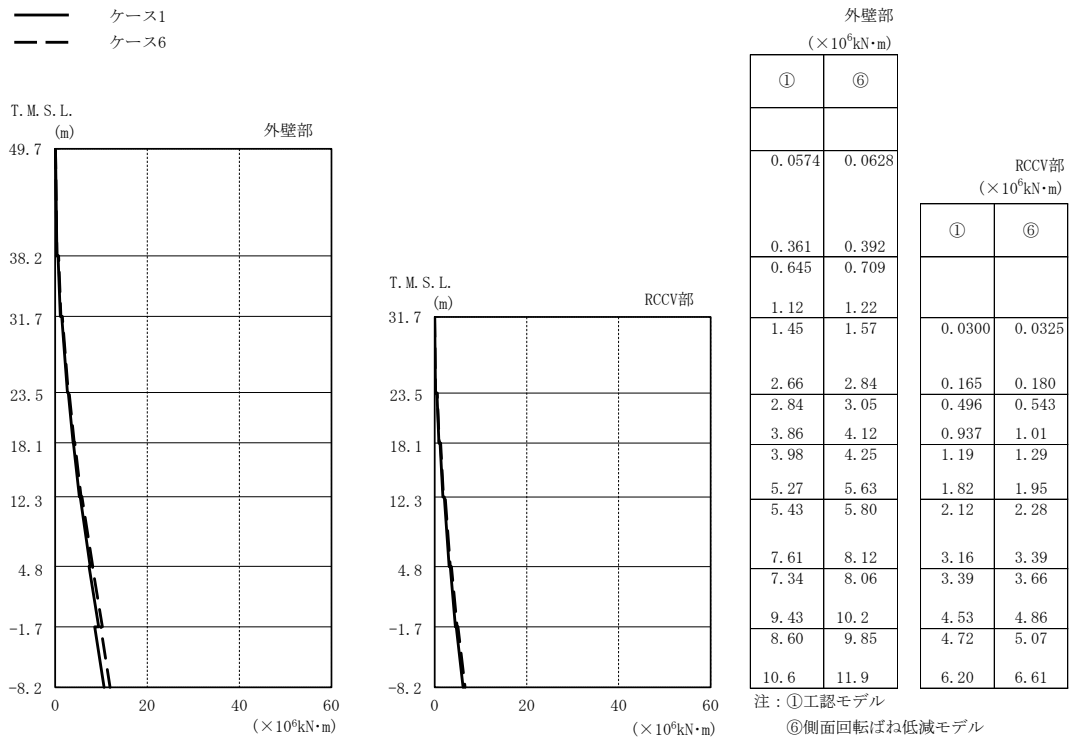


(b) Sd-2

図2-96 最大応答曲げモーメント（弾性設計用地震動 S d , NS方向）(1/2)

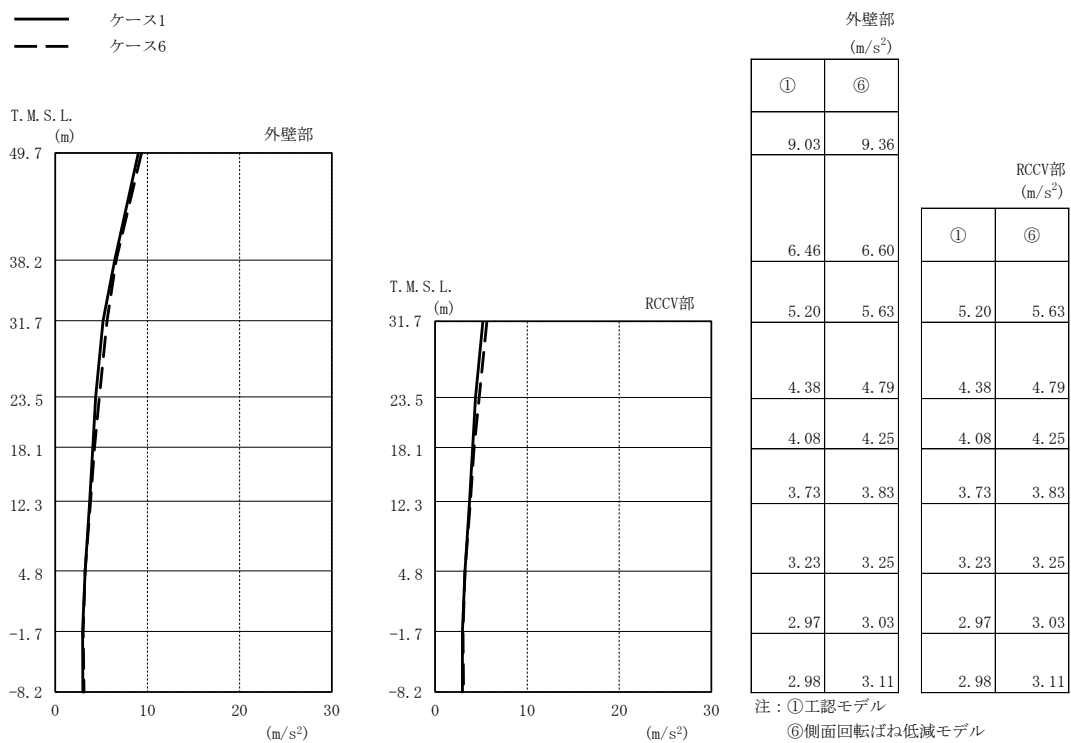


(c) Sd-3

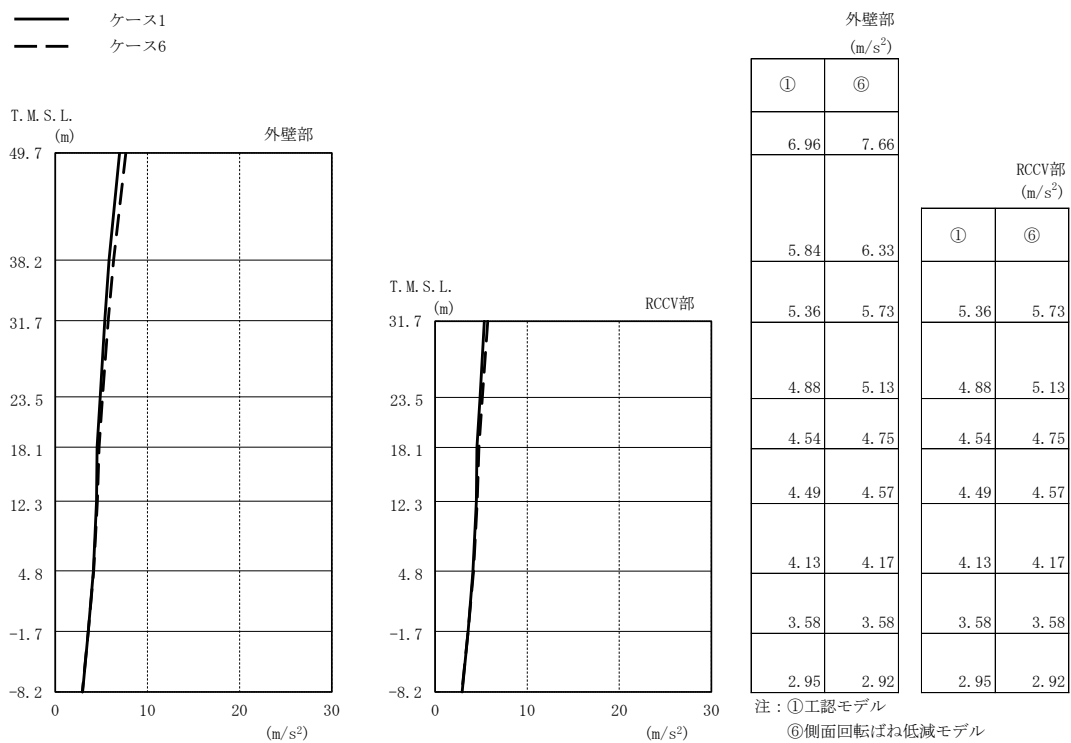


(d) Sd-8

図2-96 最大応答曲げモーメント（弾性設計用地震動 S d , NS方向）（2/2）

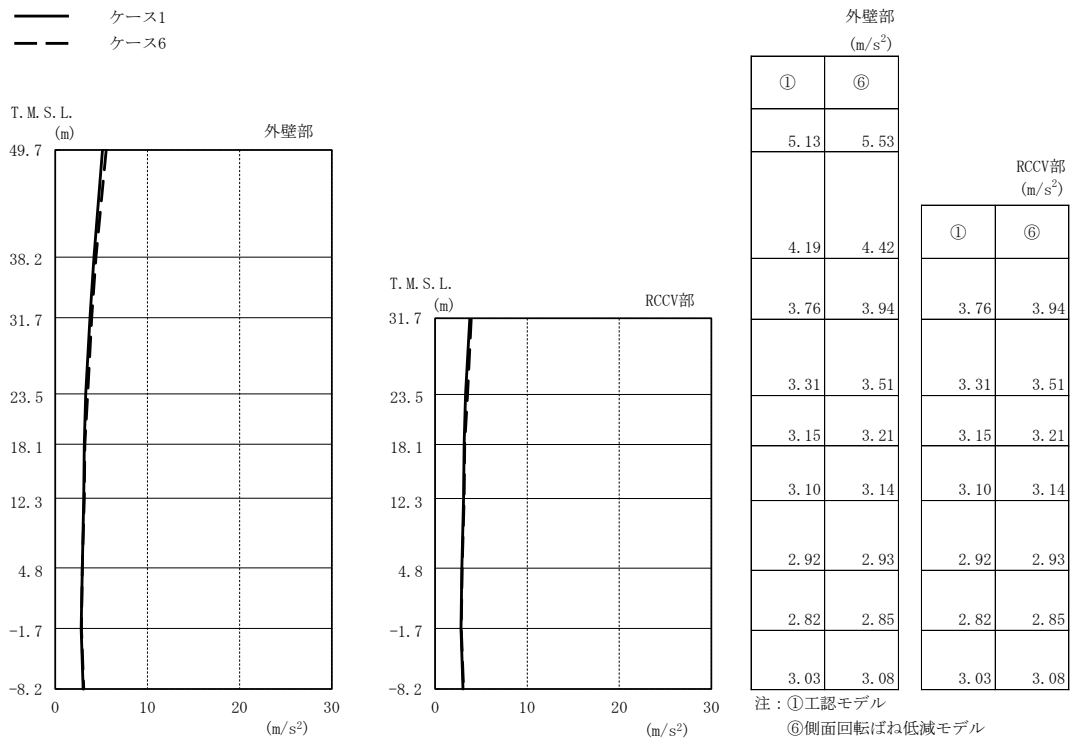


(a) Sd-1

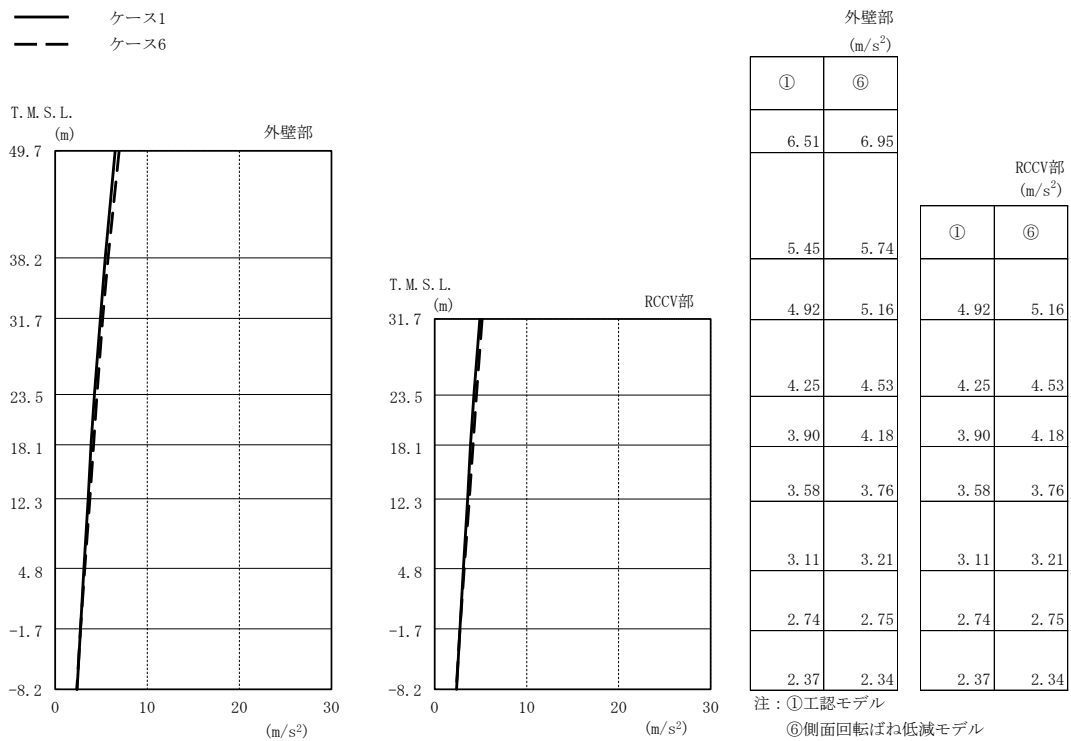


(b) Sd-2

図2-97 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d , EW方向）（1/2）

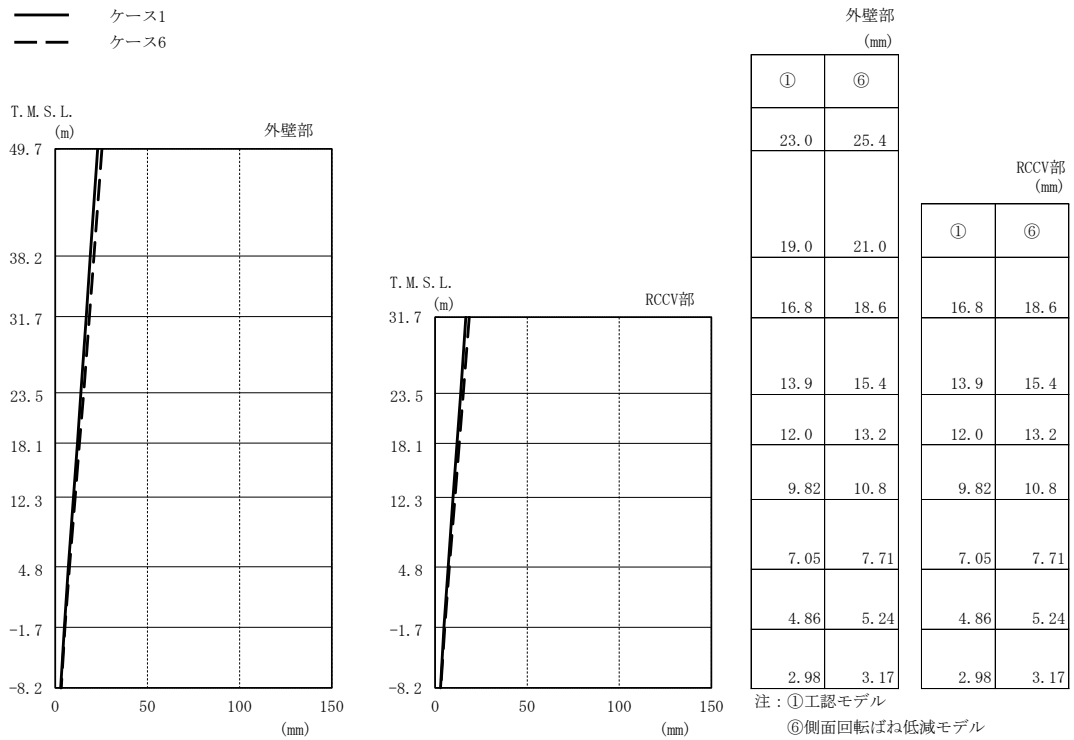


(c) Sd-3

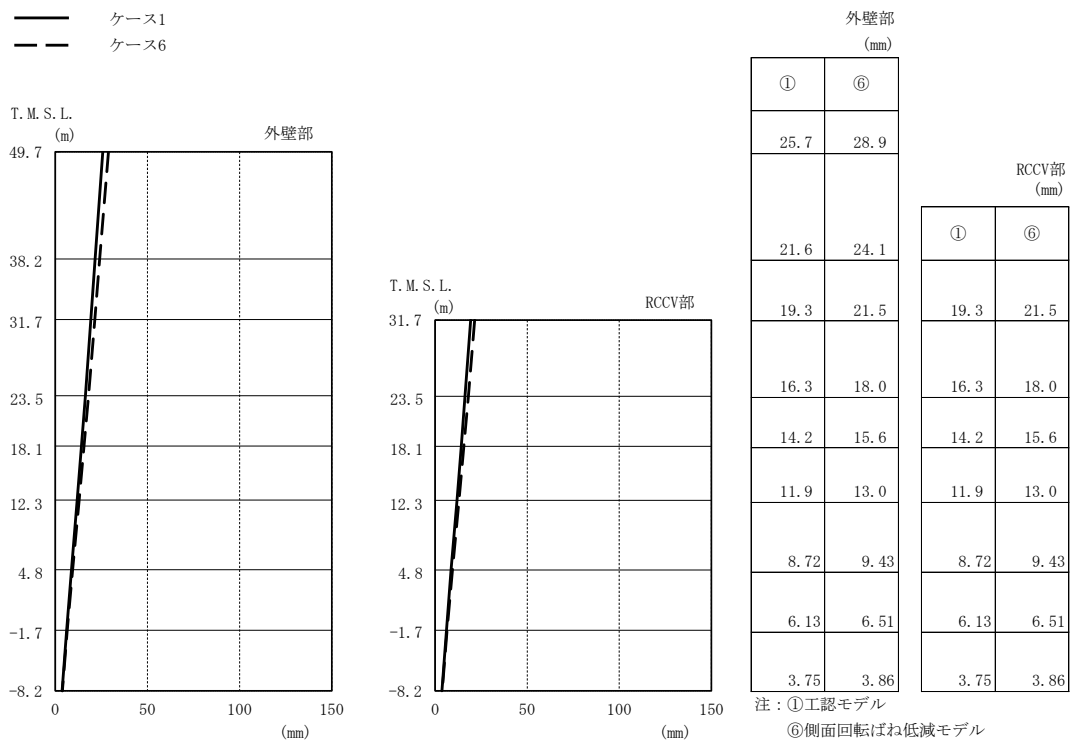


(d) Sd-8

図2-97 最大応答加速度（弾性設計用地震動 S d , EW方向）（2/2）

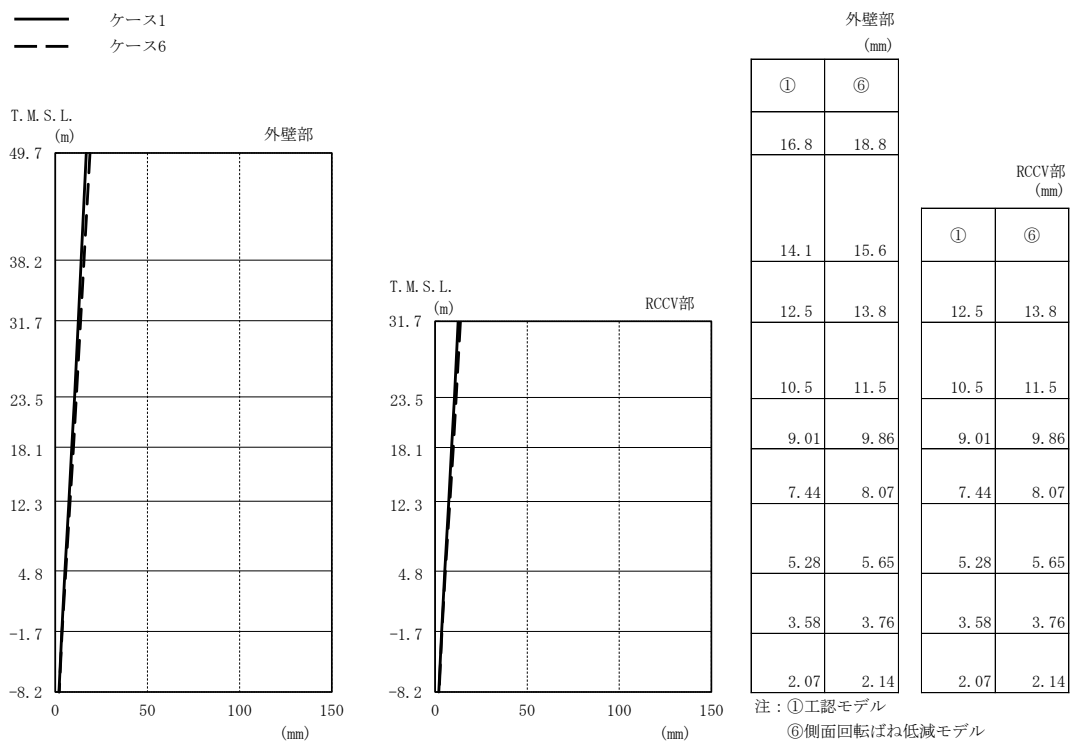


(a) Sd-1

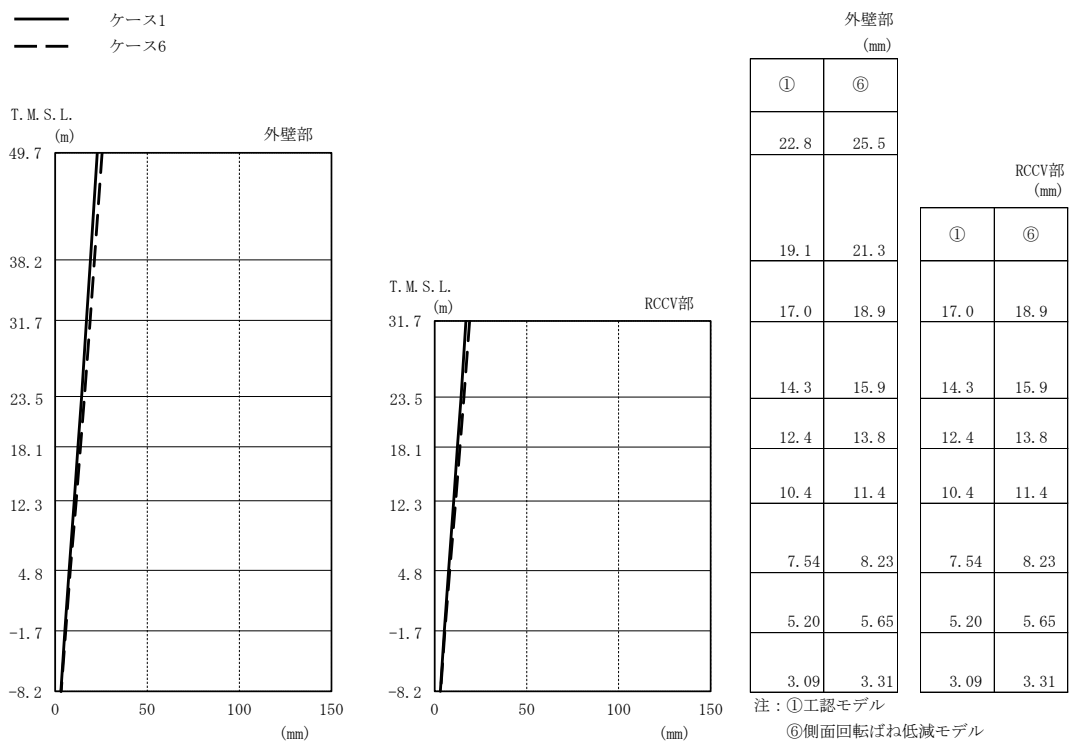


(b) Sd-2

図2-98 最大応答変位 (弾性設計用地震動 S_d, EW方向) (1/2)

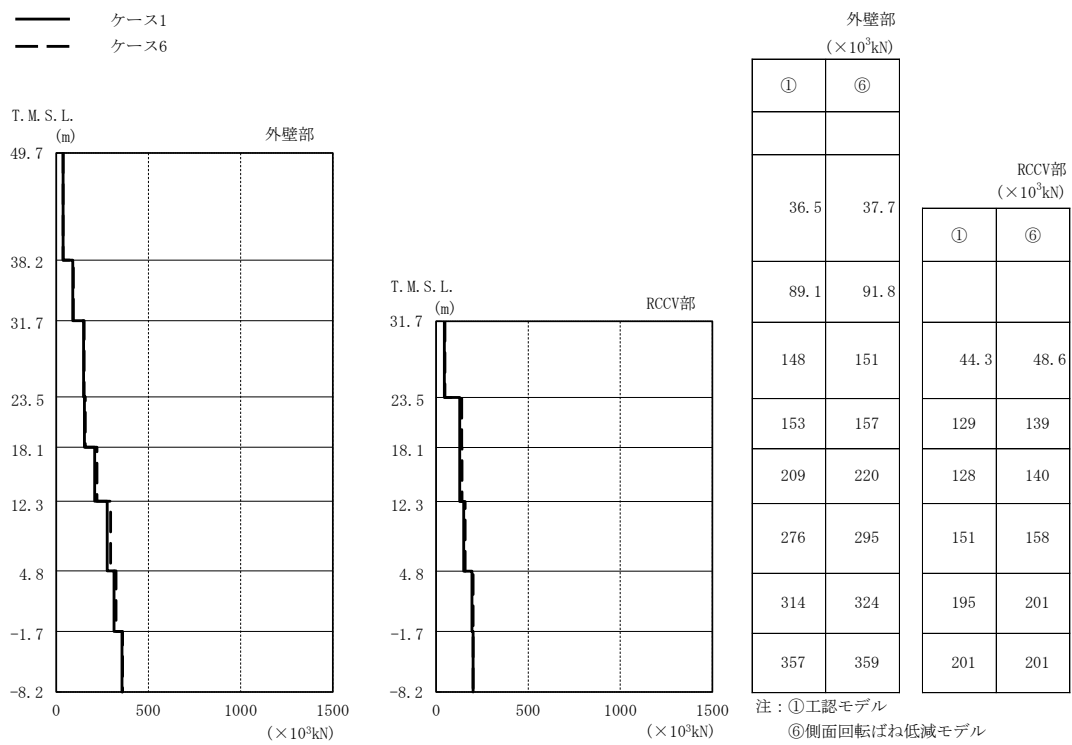


(c) Sd-3

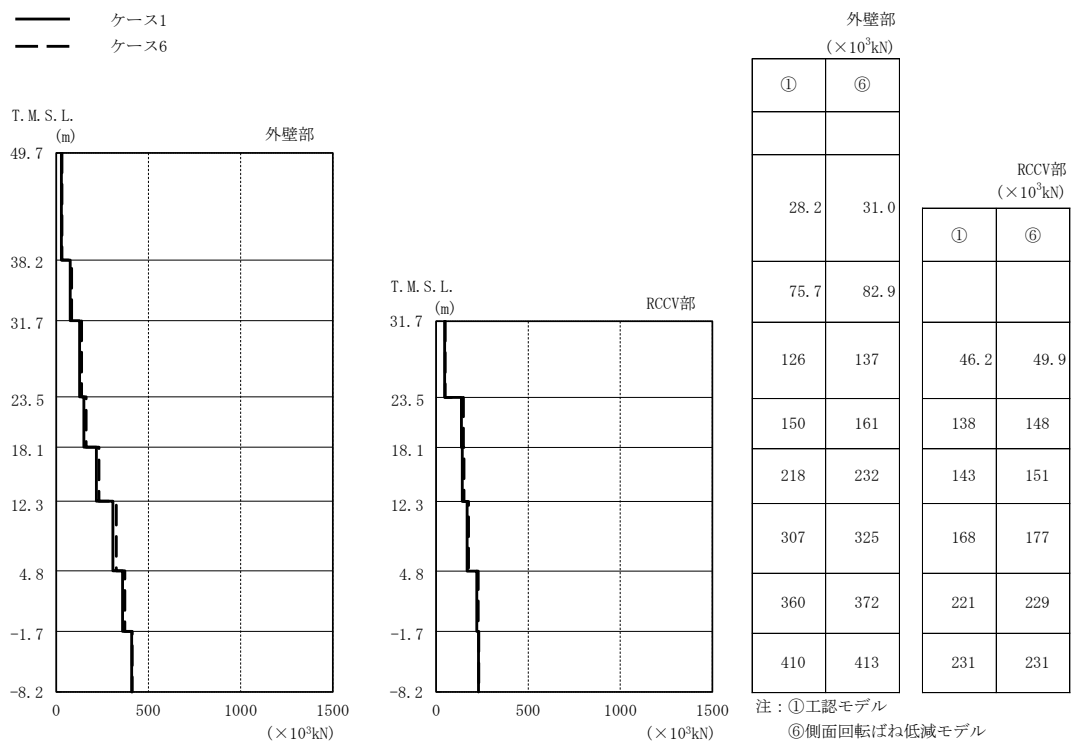


(d) Sd-8

図2-98 最大応答変位（弾性設計用地震動 S d，EW方向）（2/2）

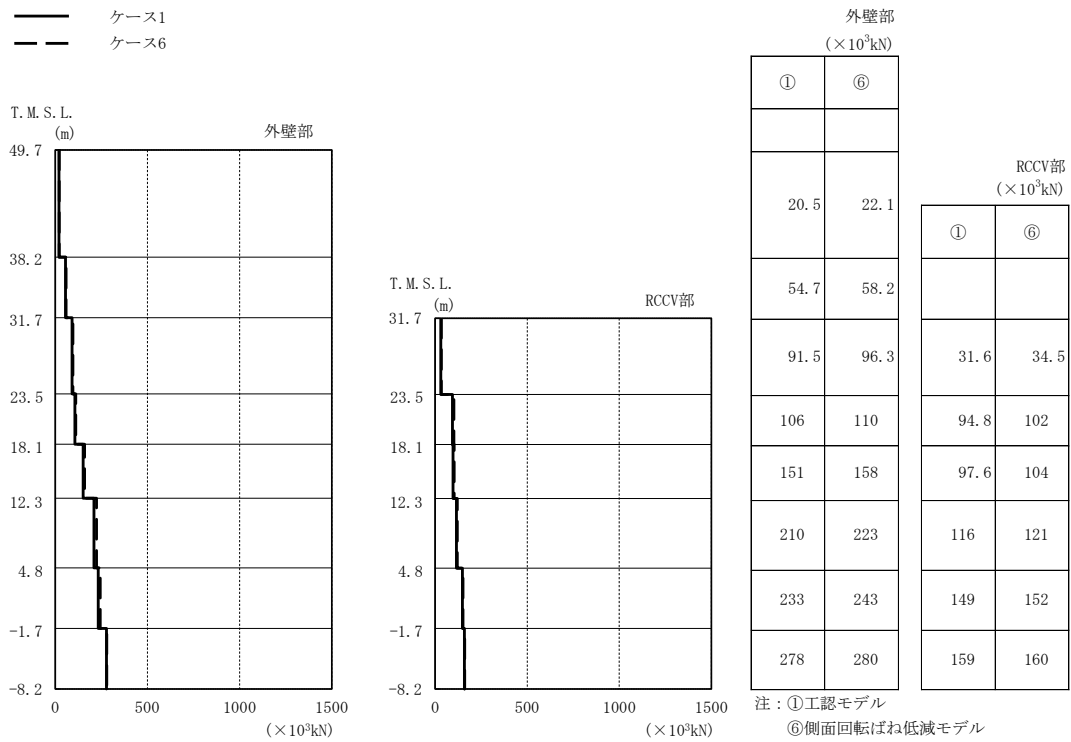


(a) Sd-1

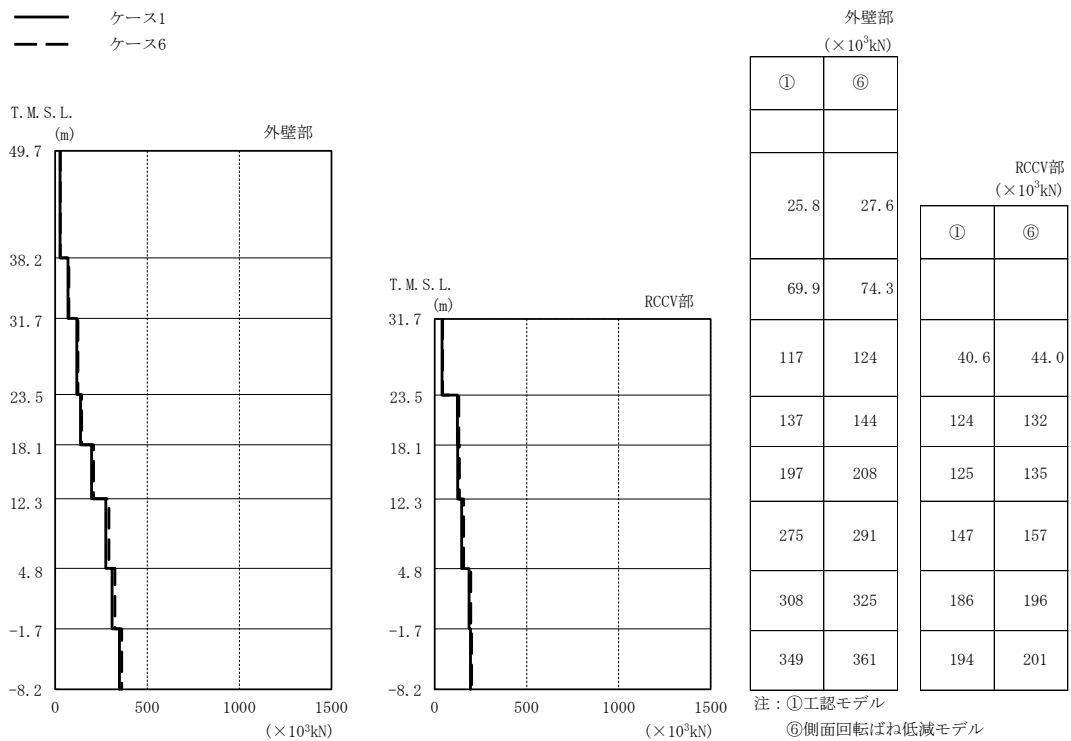


(b) Sd-2

図2-99 最大応答せん断力（弾性設計用地震動 S d，EW方向）（1/2）

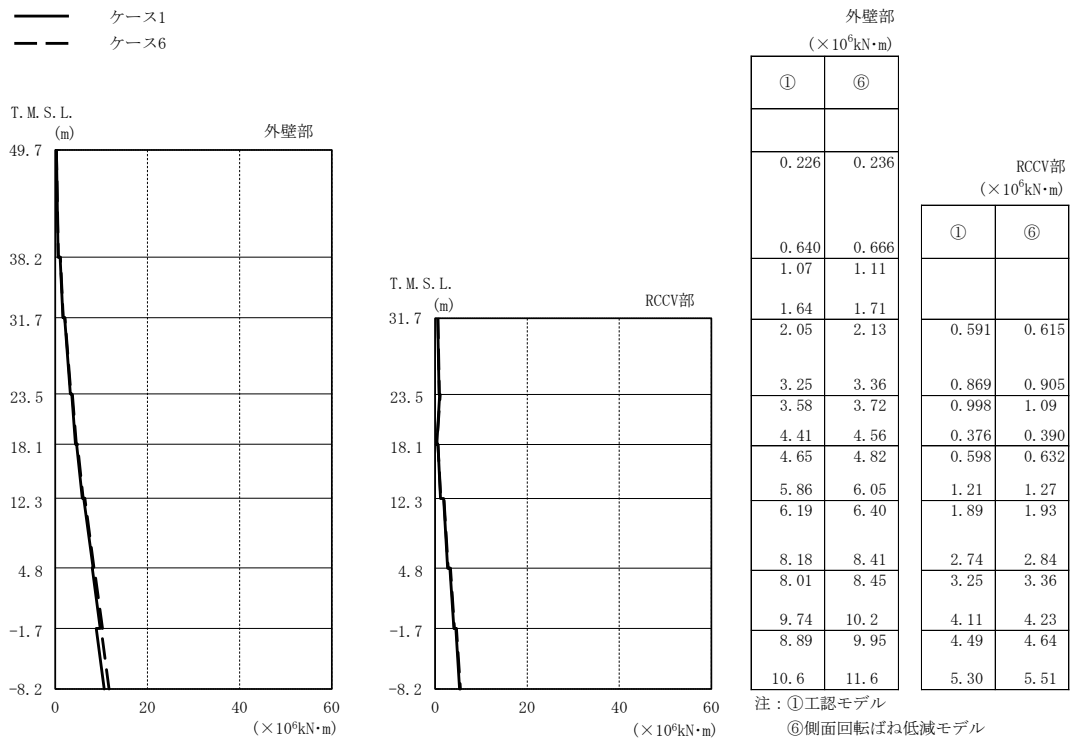


(c) Sd-3

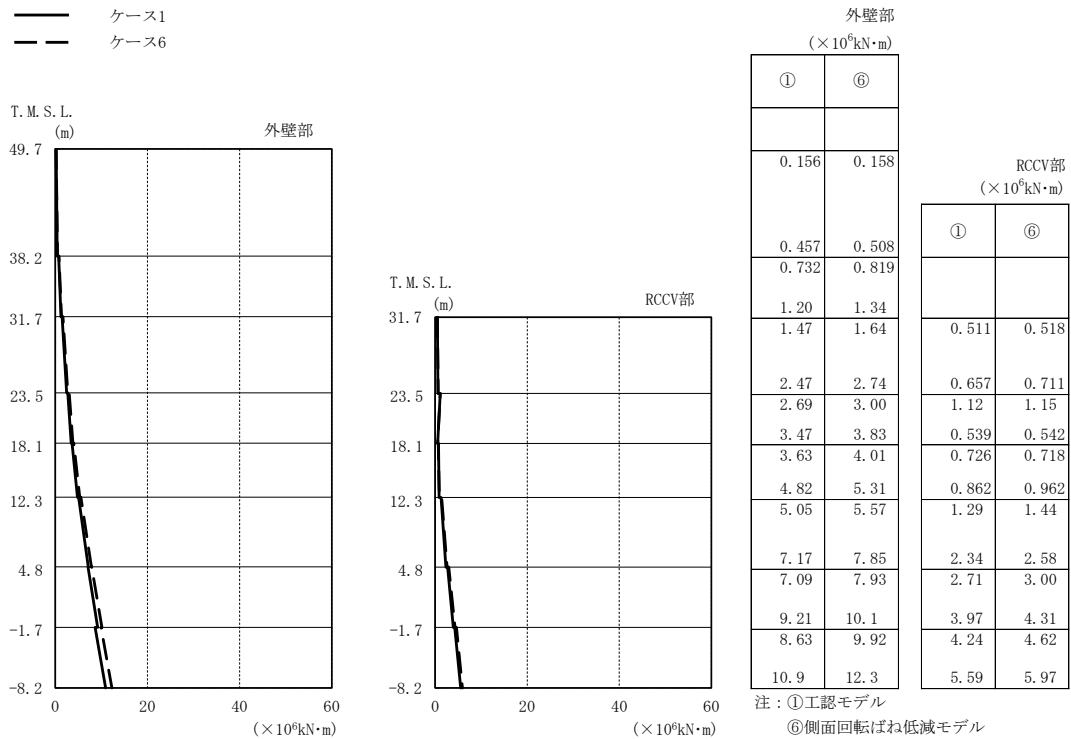


(d) Sd-8

図2-99 最大応答せん断力（弾性設計用地震動 S d，EW方向）（2/2）

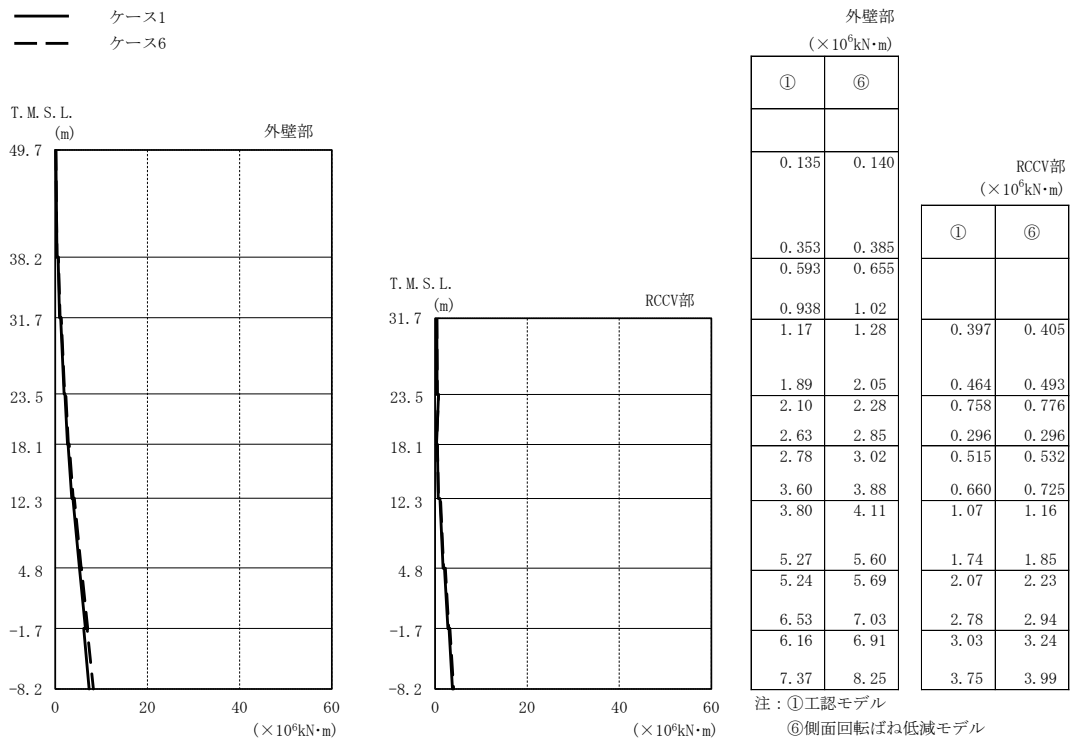


(a) Sd-1

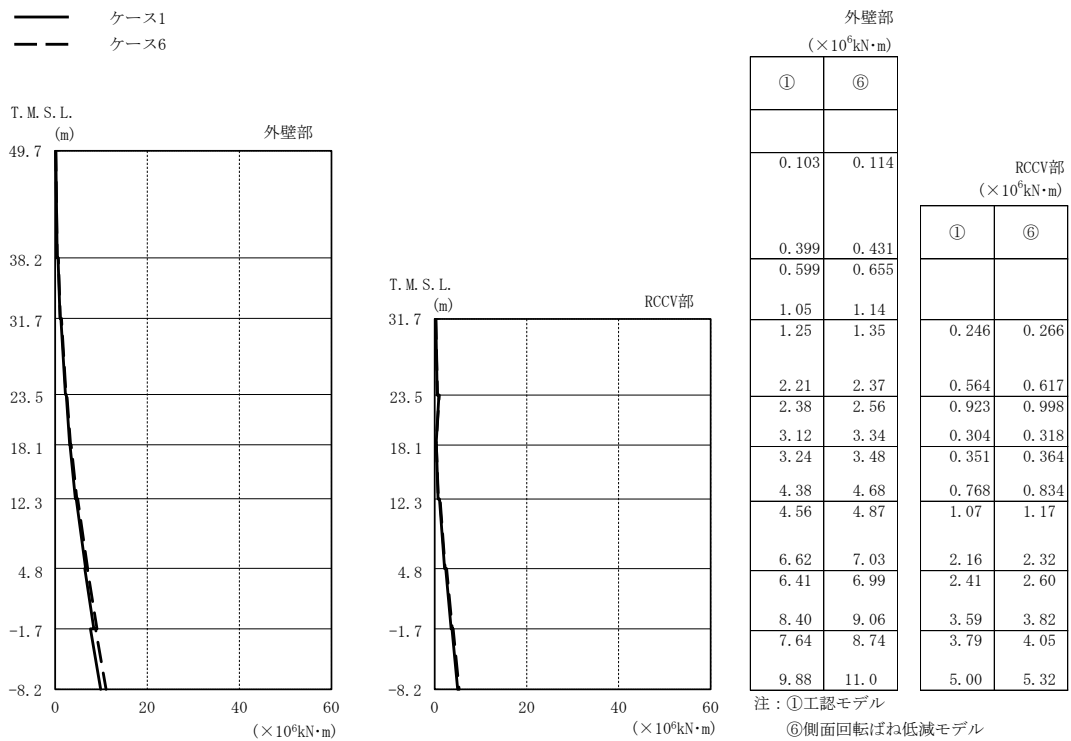


(b) Sd-2

図2-100 最大応答曲げモーメント（弾性設計用地震動 S d，EW方向）（1/2）

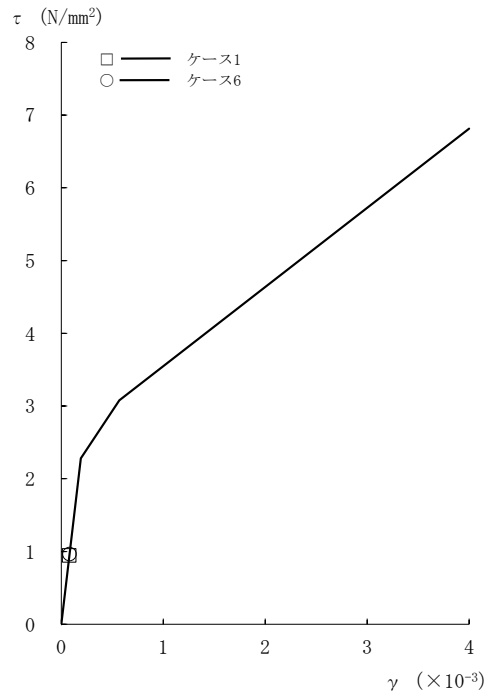


(c) Sd-3



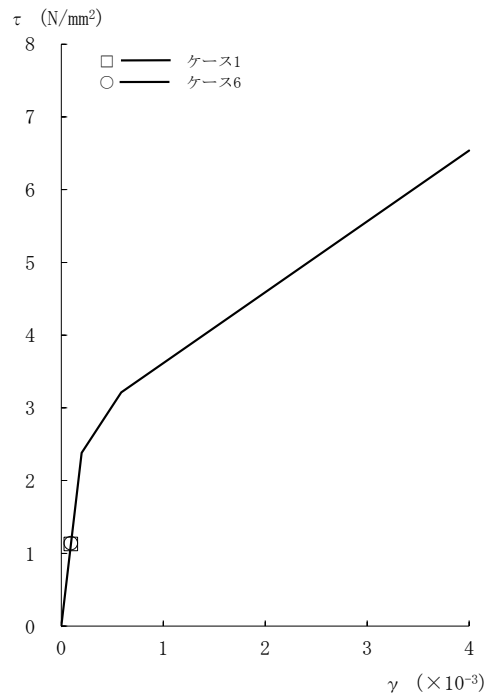
(d) Sd-8

図2-100 最大応答曲げモーメント（弾性設計用地震動 S d，EW方向）（2/2）



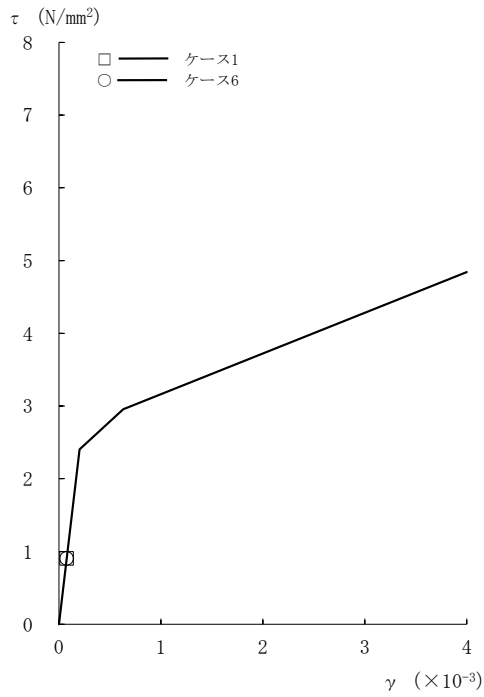
[外壁部]

図2-101 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, CRF) (1/8)

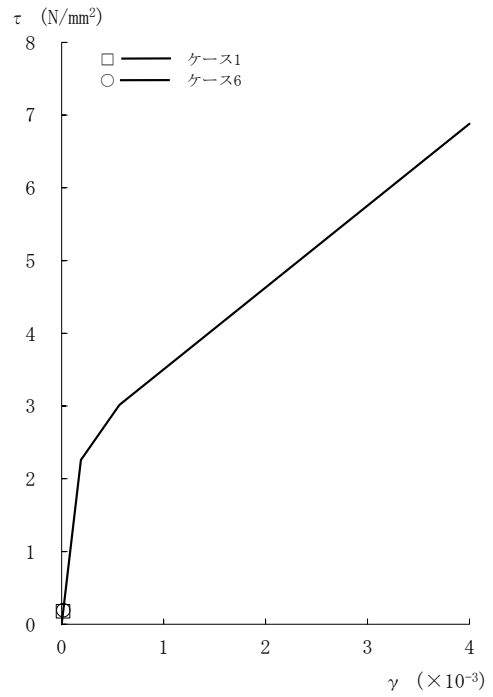


[外壁部]

図2-101 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, 4F) (2/8)

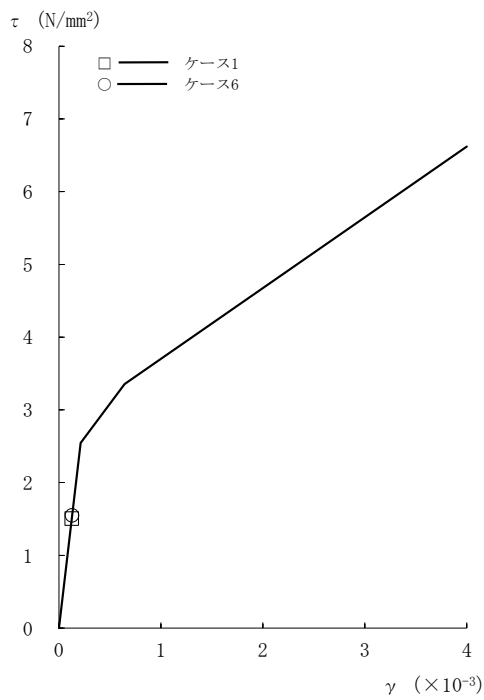


[外壁部]

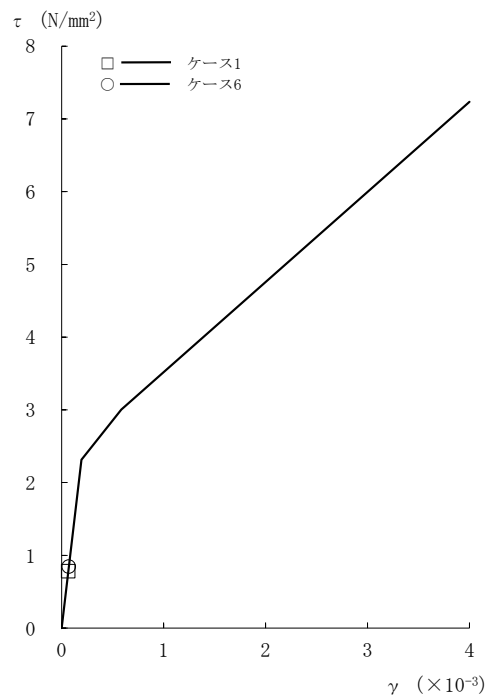


[RCCV部]

図2-101 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, 3F) (3/8)

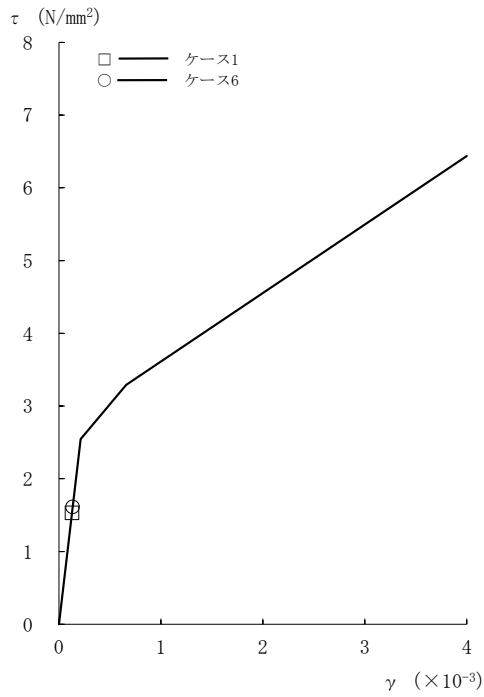


[外壁部]

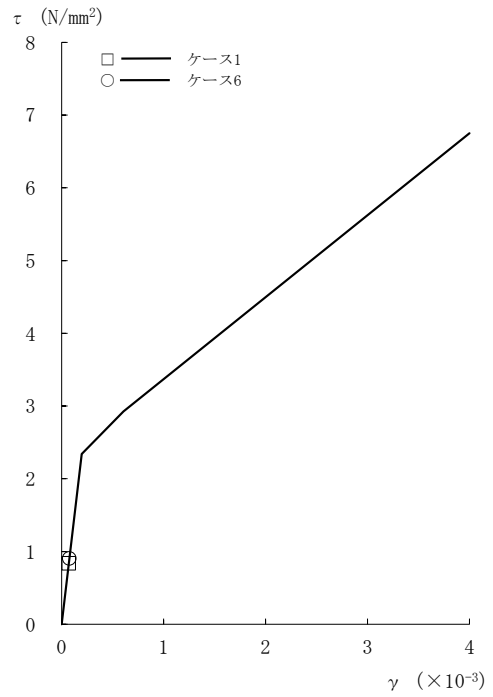


[RCCV部]

図2-101 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, 2F) (4/8)

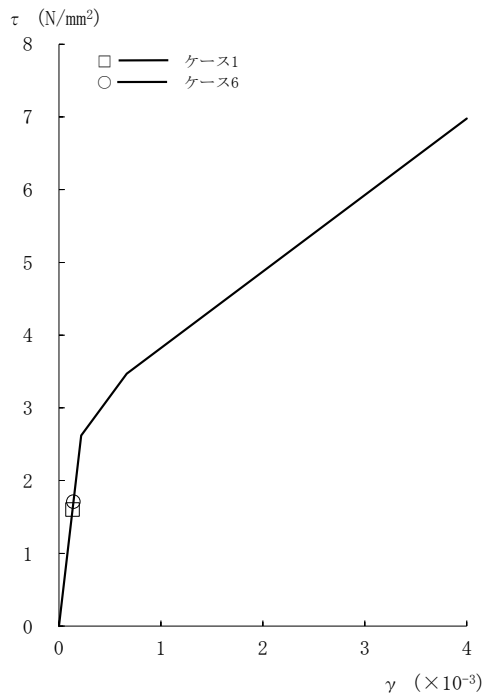


[外壁部]

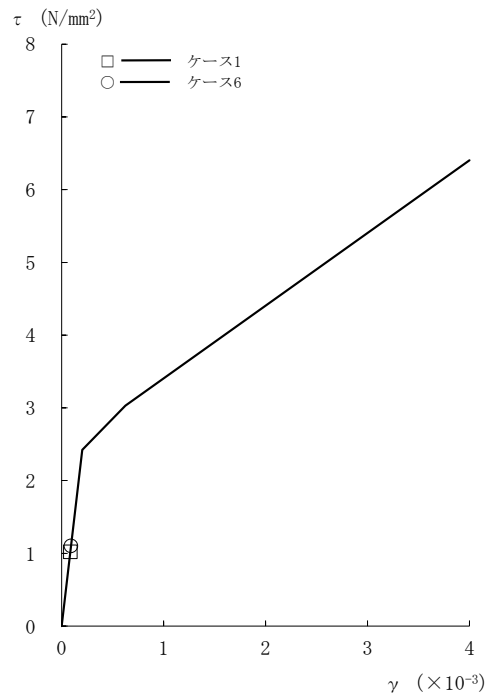


[RCCV部]

図2-101 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, 1F) (5/8)

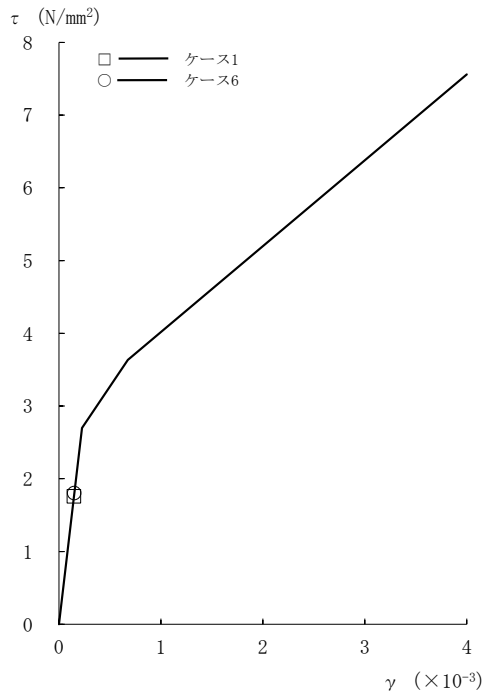


[外壁部]

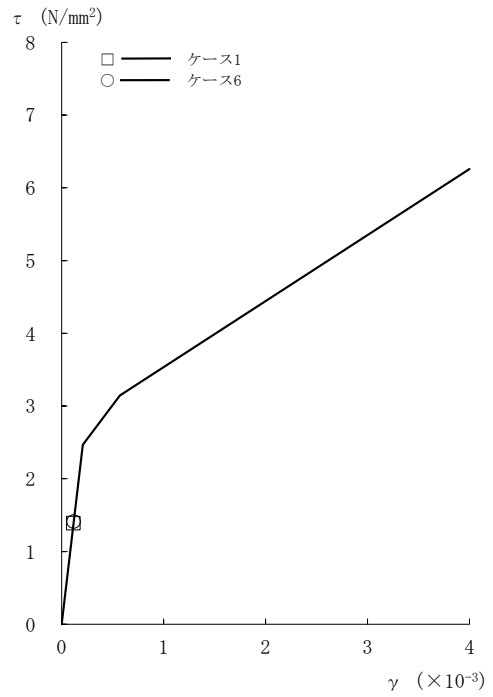


[RCCV部]

図2-101 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, B1F) (6/8)

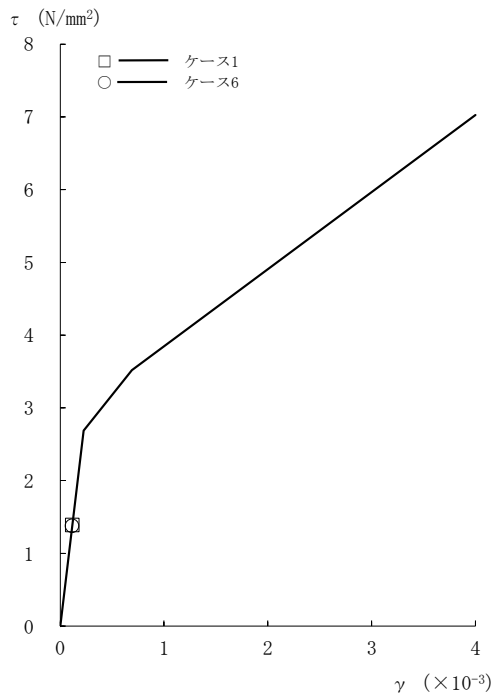


[外壁部]

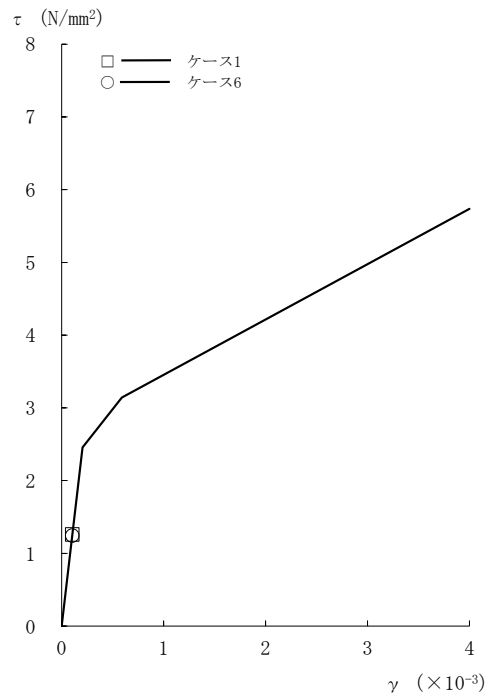


[RCCV部]

図2-101 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, B2F) (7/8)

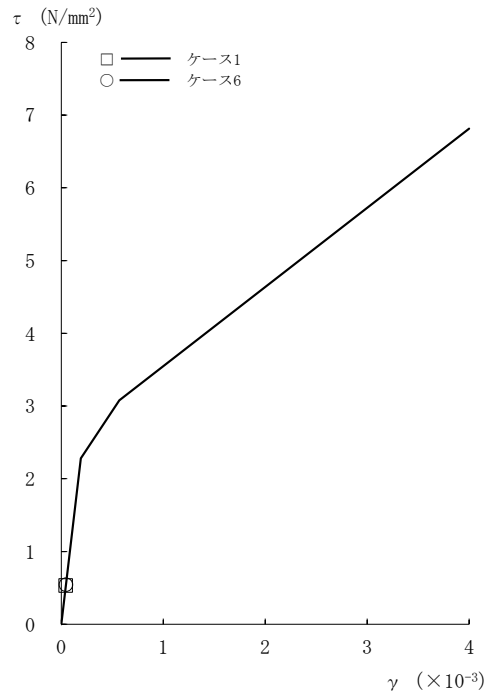


[外壁部]



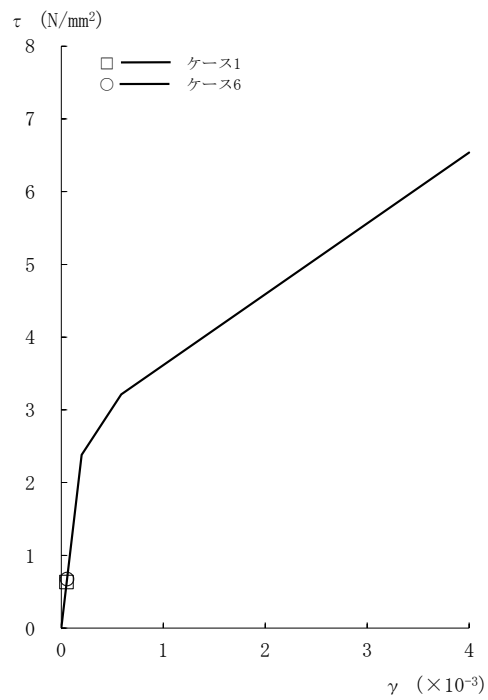
[RCCV部]

図2-101 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, NS方向, B3F) (8/8)



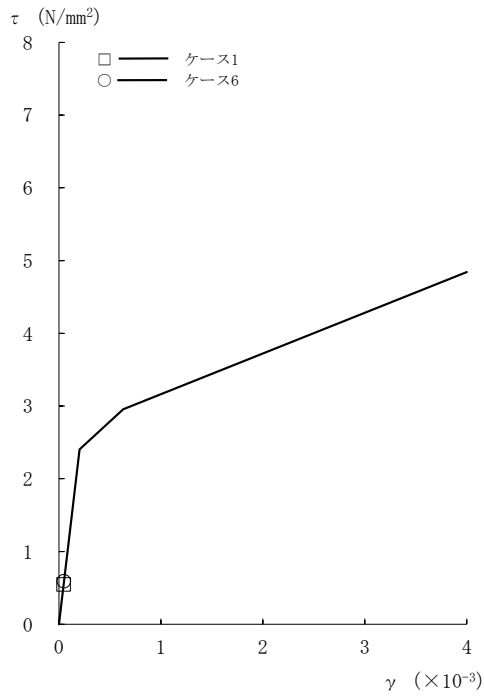
[外壁部]

図2-102 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, CRF) (1/8)

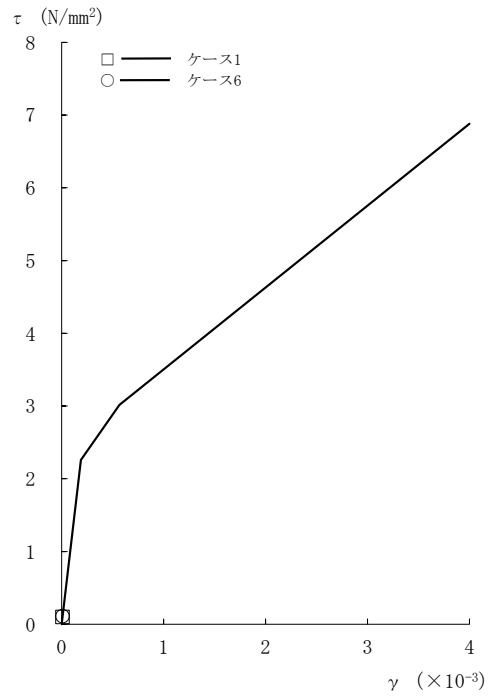


[外壁部]

図2-102 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, 4F) (2/8)

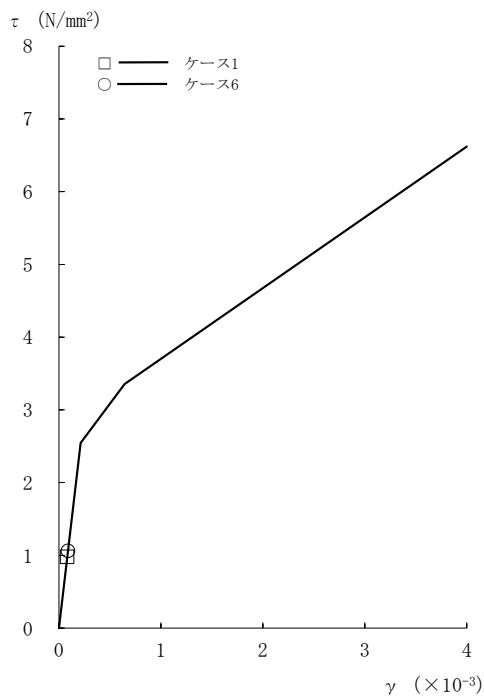


[外壁部]

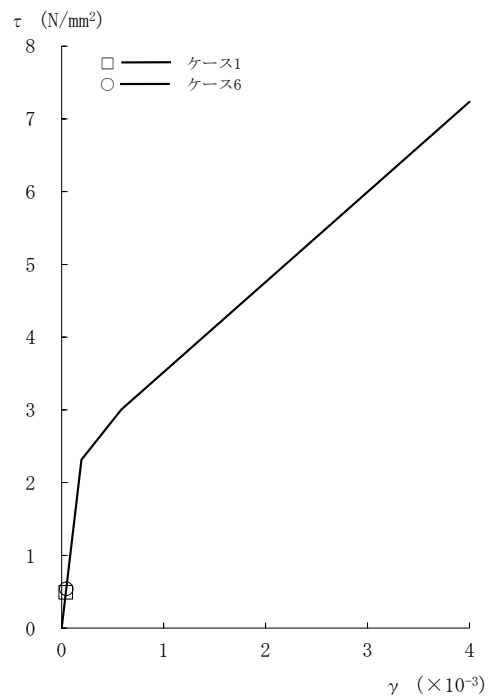


[RCCV部]

図2-102 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, 3F) (3/8)

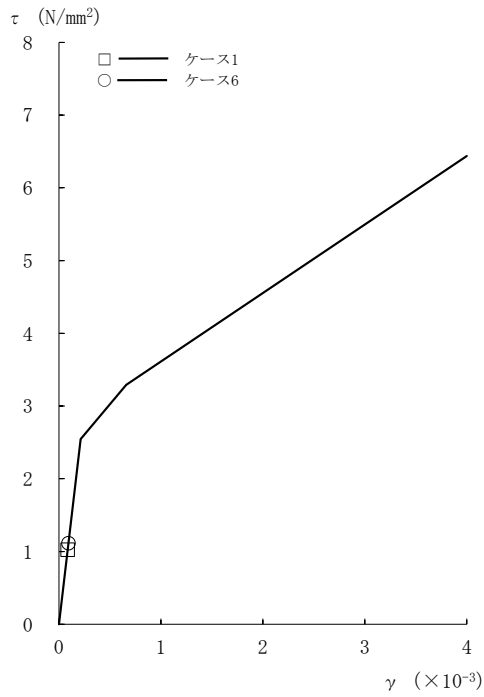


[外壁部]

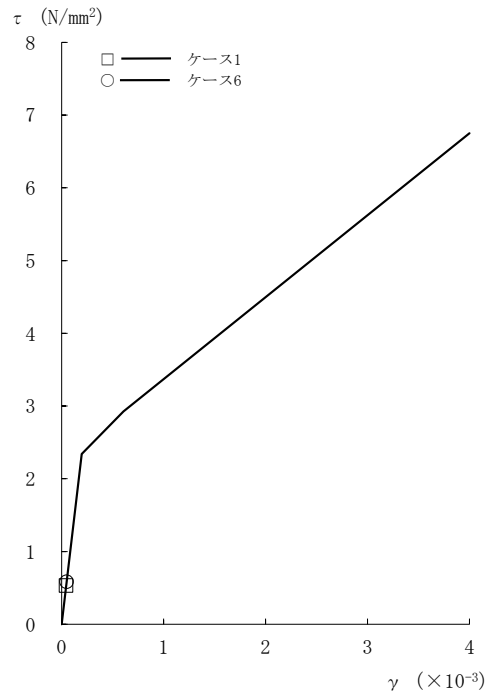


[RCCV部]

図2-102 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, 2F) (4/8)

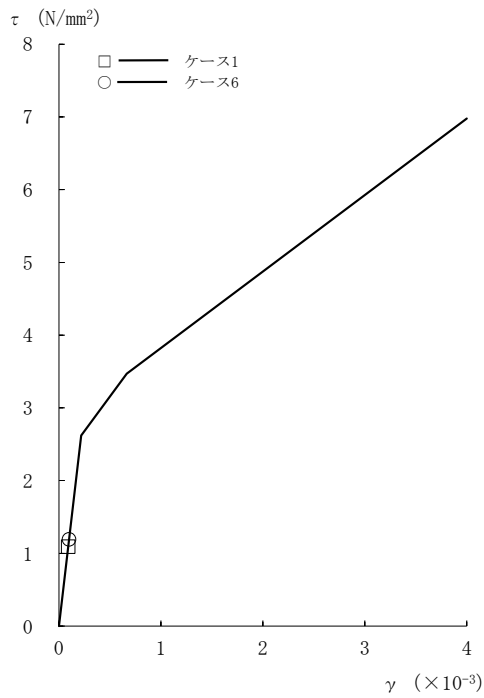


[外壁部]

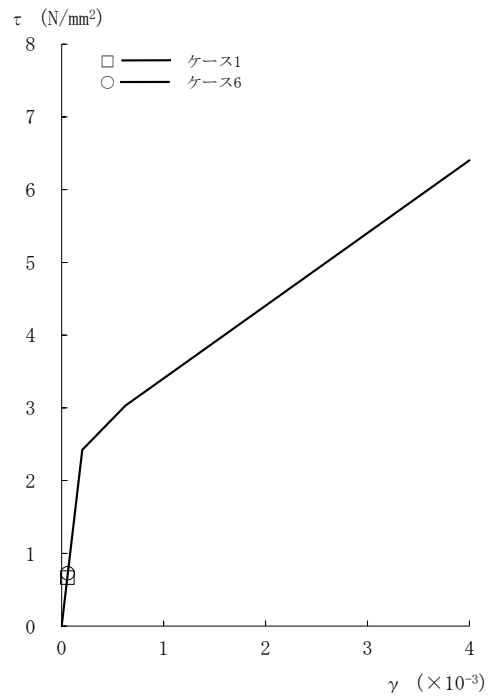


[RCCV部]

図2-102 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, 1F) (5/8)

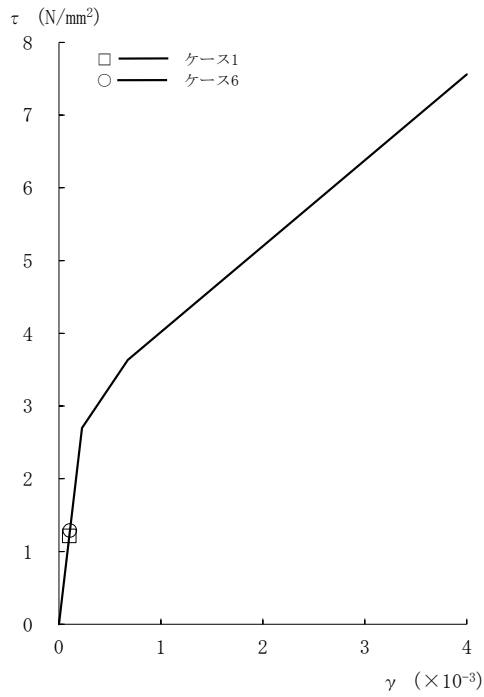


[外壁部]

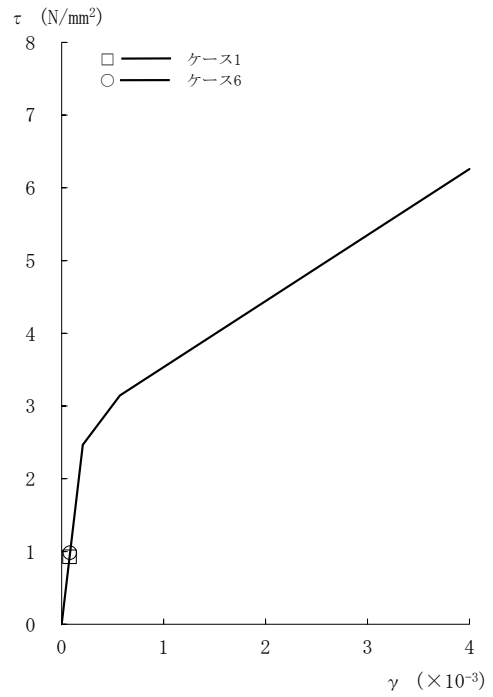


[RCCV部]

図2-102 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, B1F) (6/8)

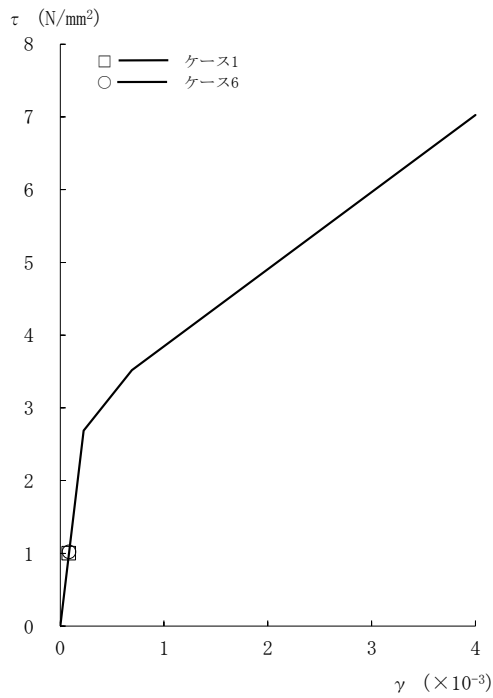


[外壁部]

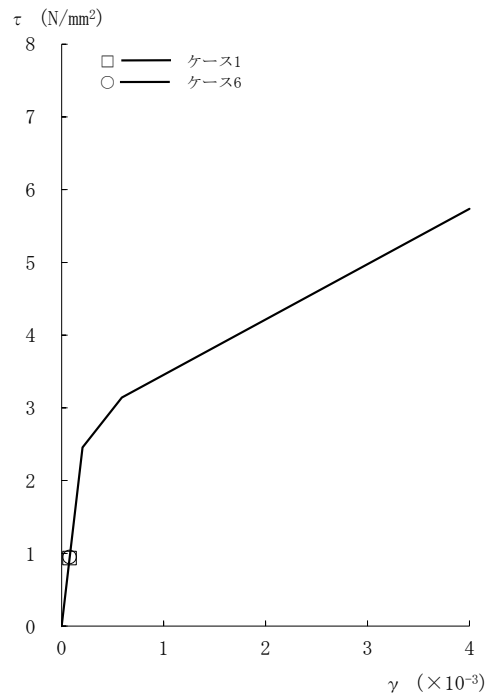


[RCCV部]

図2-102 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, B2F) (7/8)

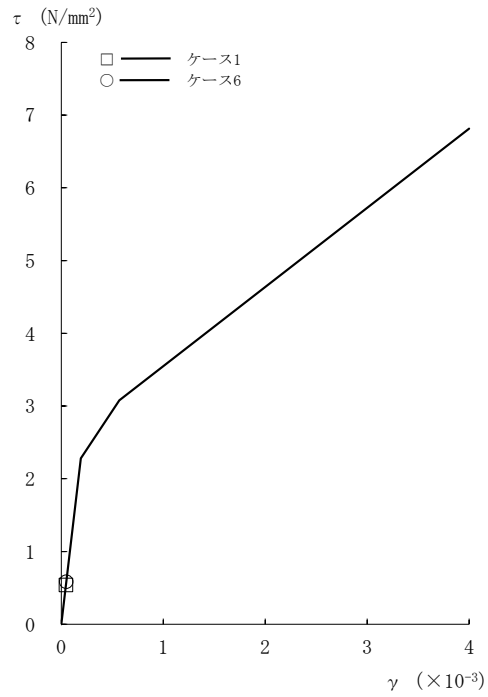


[外壁部]



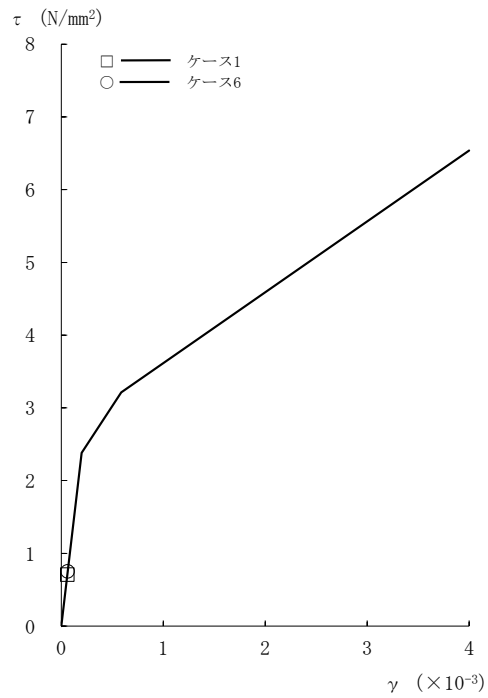
[RCCV部]

図2-102 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, NS方向, B3F) (8/8)



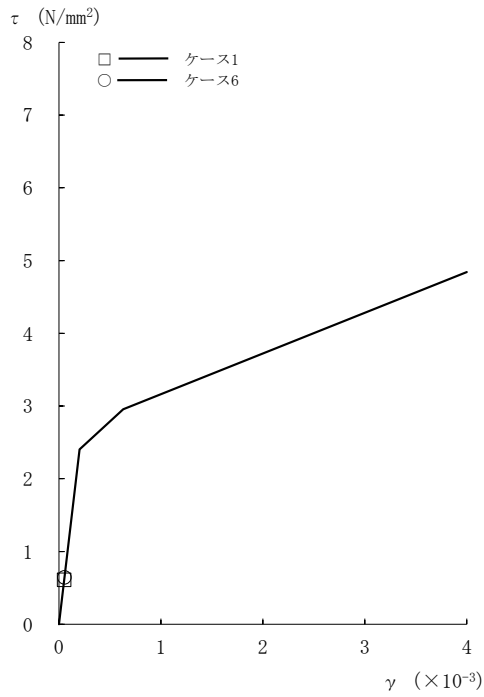
[外壁部]

図2-103 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, CRF) (1/8)

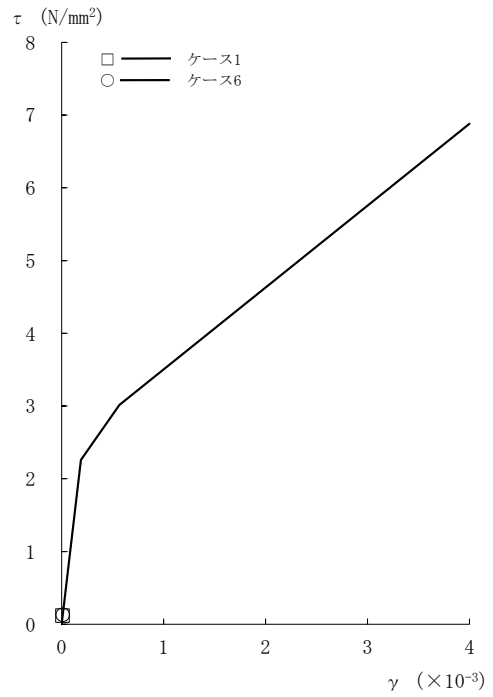


[外壁部]

図2-103 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, 4F) (2/8)

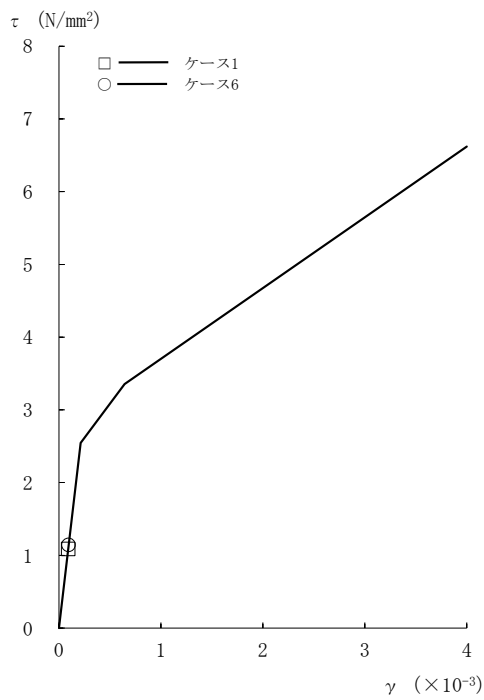


[外壁部]

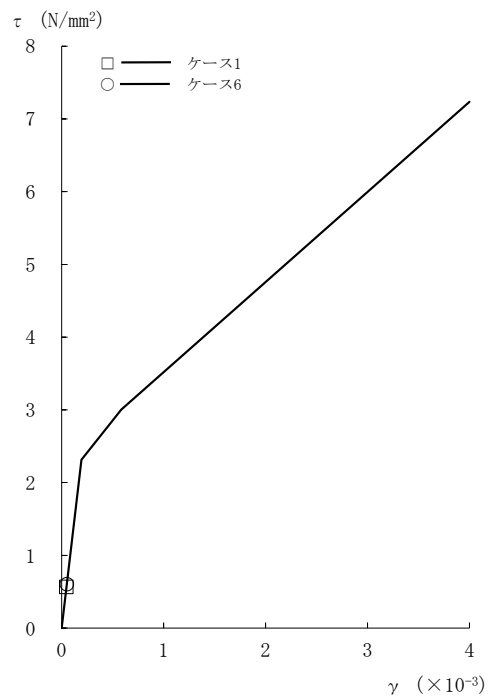


[RCCV部]

図2-103 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, 3F) (3/8)

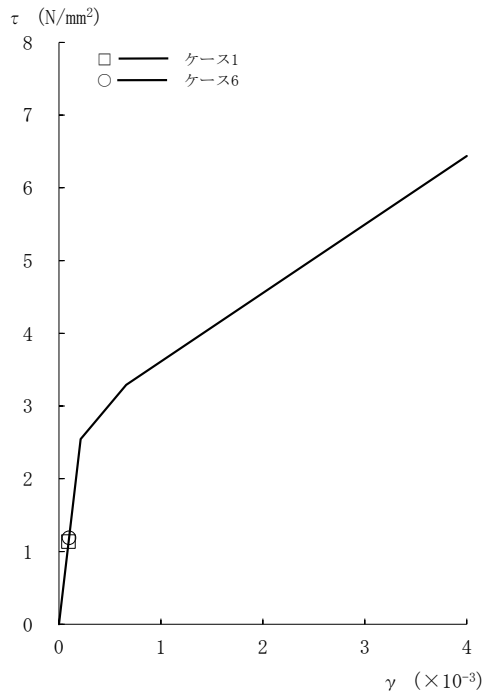


[外壁部]

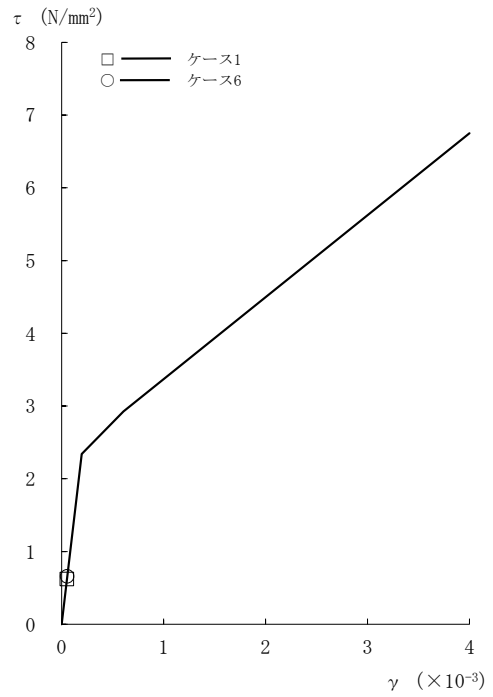


[RCCV部]

図2-103 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, 2F) (4/8)

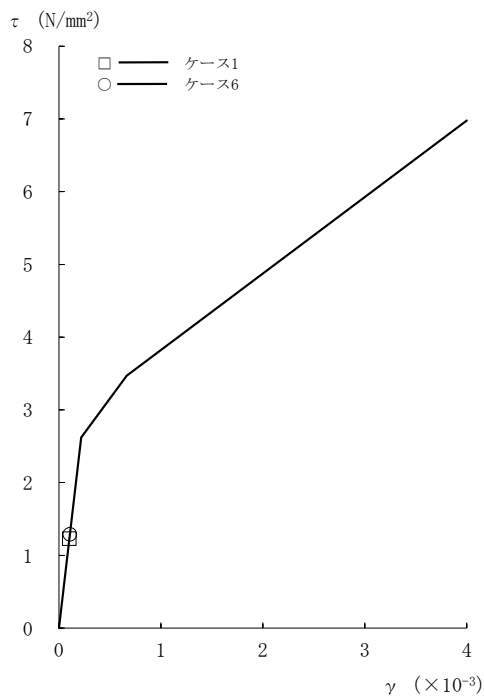


[外壁部]

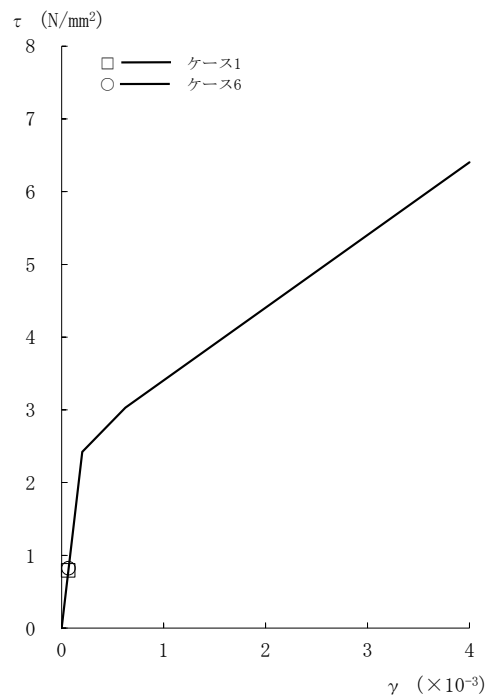


[RCCV部]

図2-103 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, 1F) (5/8)

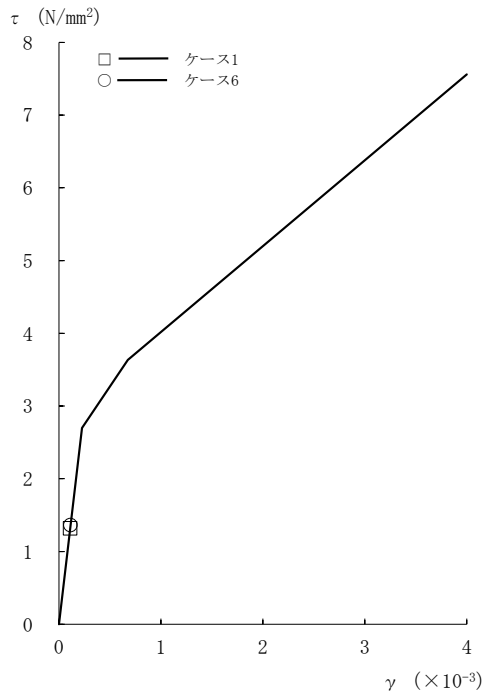


[外壁部]

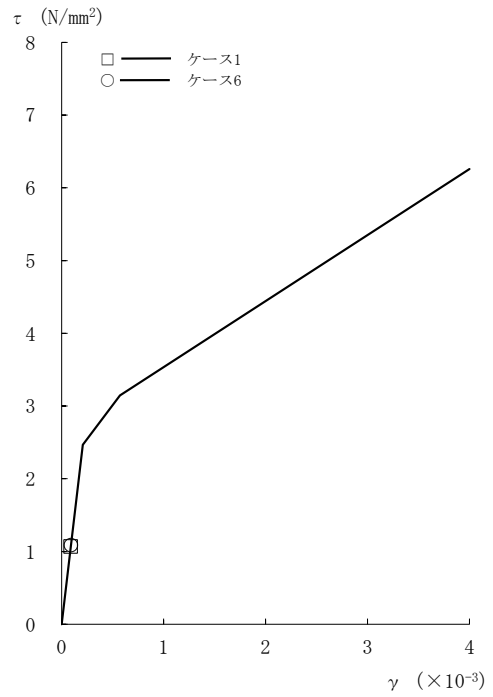


[RCCV部]

図2-103 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, B1F) (6/8)

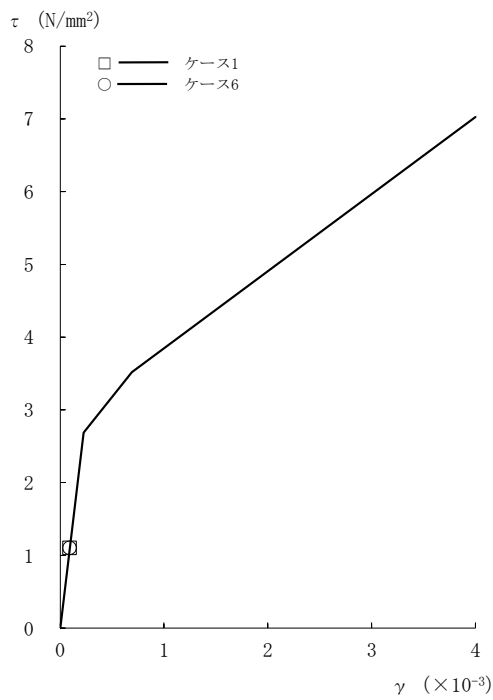


[外壁部]

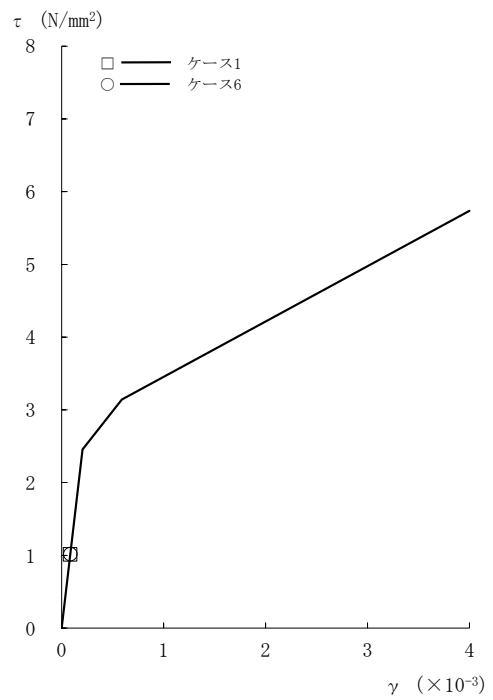


[RCCV部]

図2-103 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, B2F) (7/8)

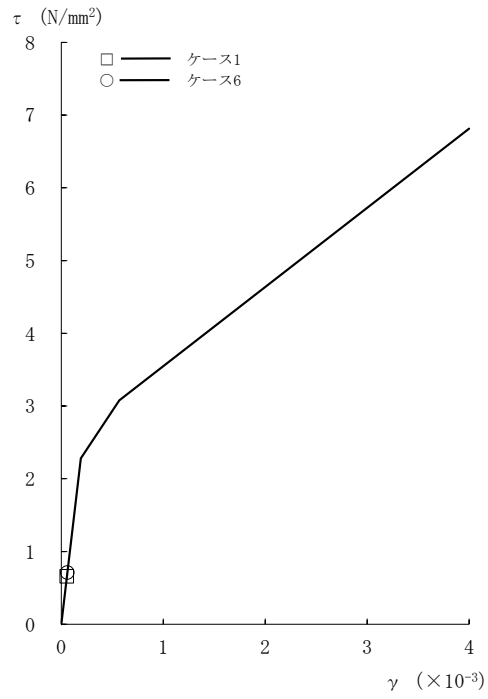


[外壁部]



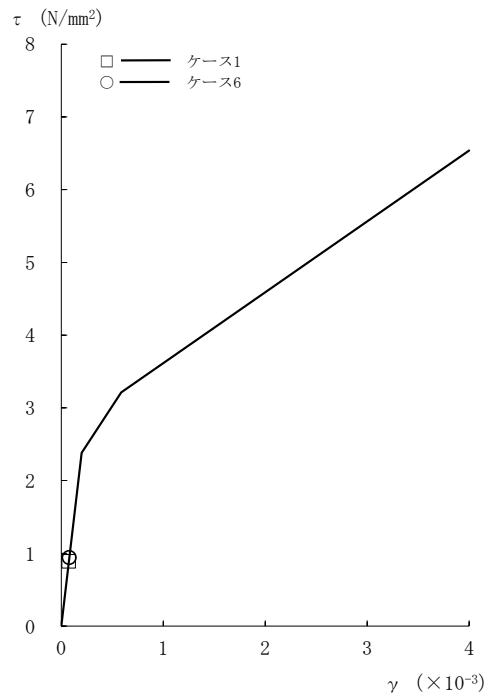
[RCCV部]

図2-103 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, NS方向, B3F) (8/8)



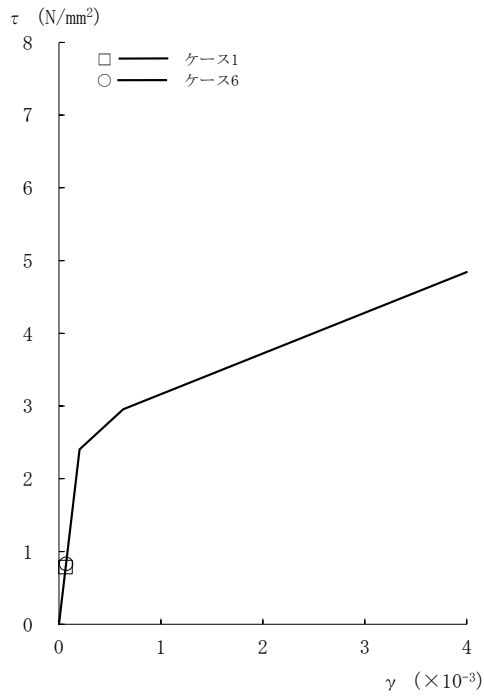
[外壁部]

図2-104 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, CRF) (1/8)

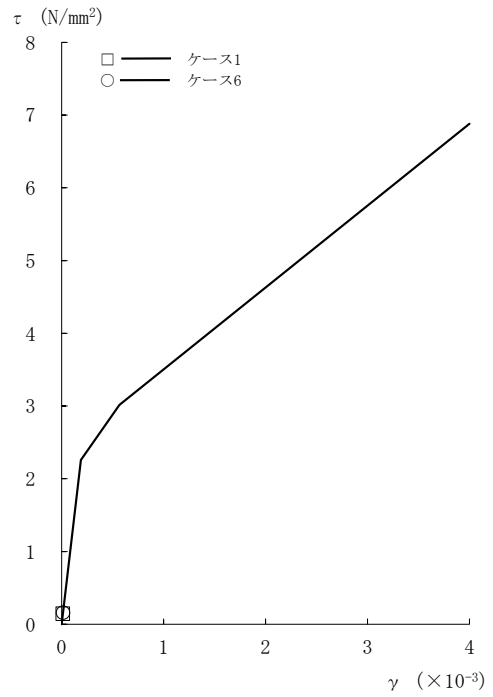


[外壁部]

図2-104 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, 4F) (2/8)

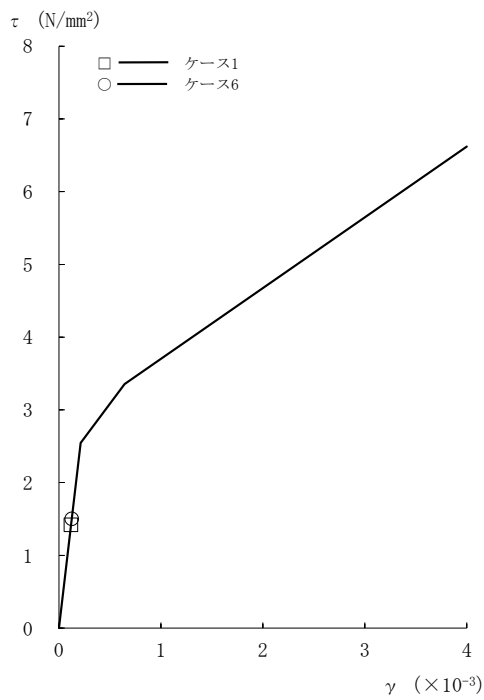


[外壁部]

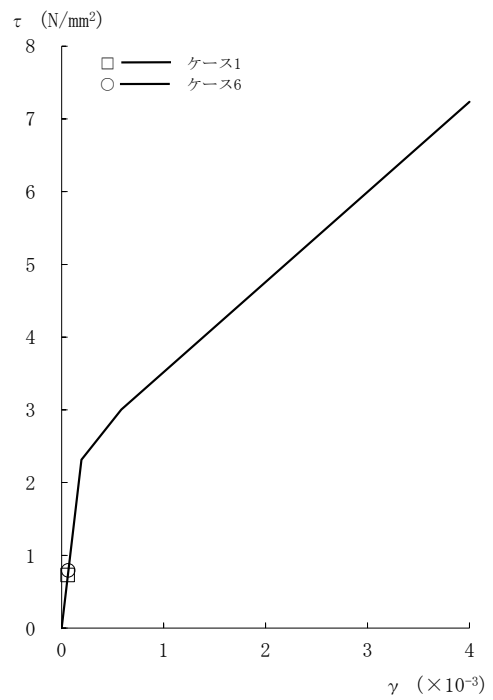


[RCCV部]

図2-104 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, 3F) (3/8)

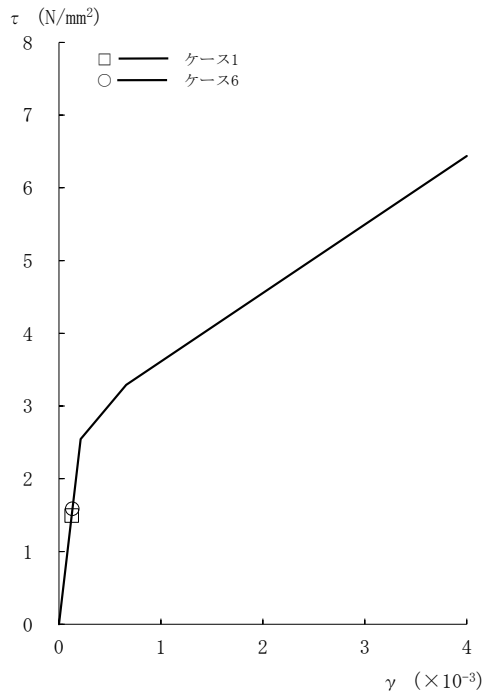


[外壁部]

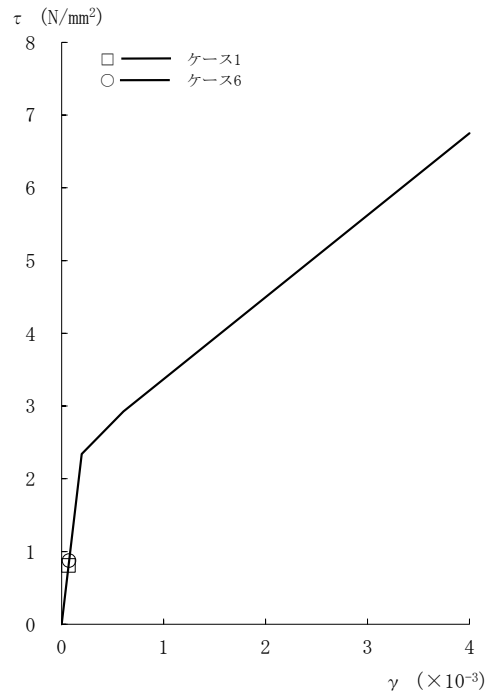


[RCCV部]

図2-104 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, 2F) (4/8)

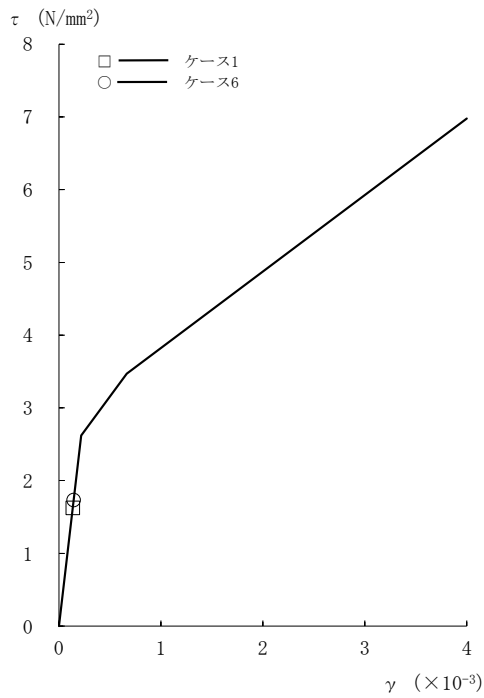


[外壁部]

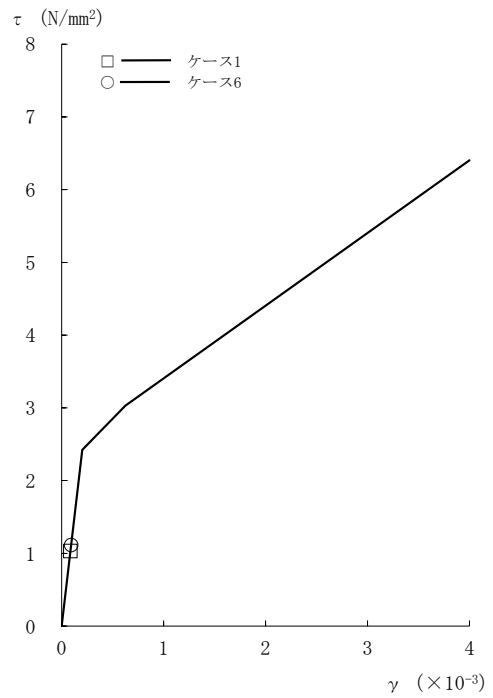


[RCCV部]

図2-104 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, 1F) (5/8)

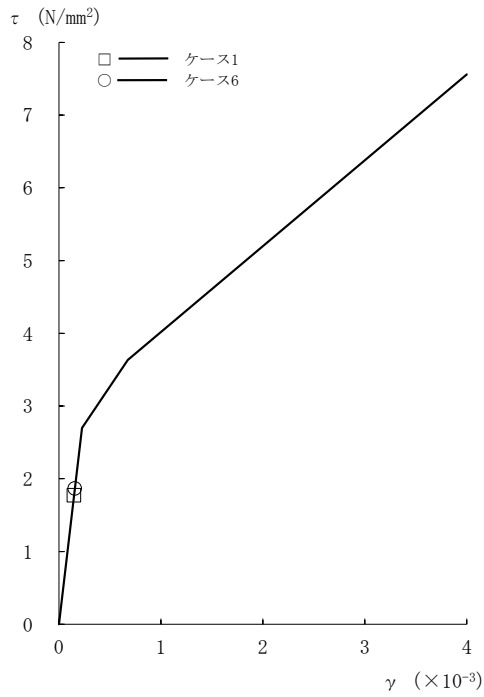


[外壁部]

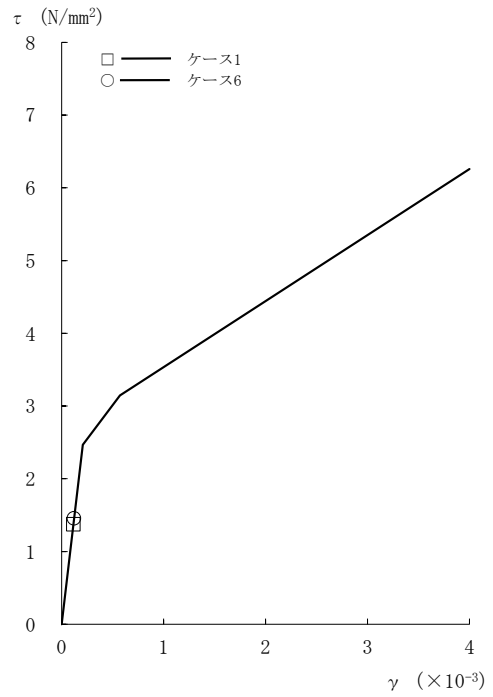


[RCCV部]

図2-104 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, B1F) (6/8)

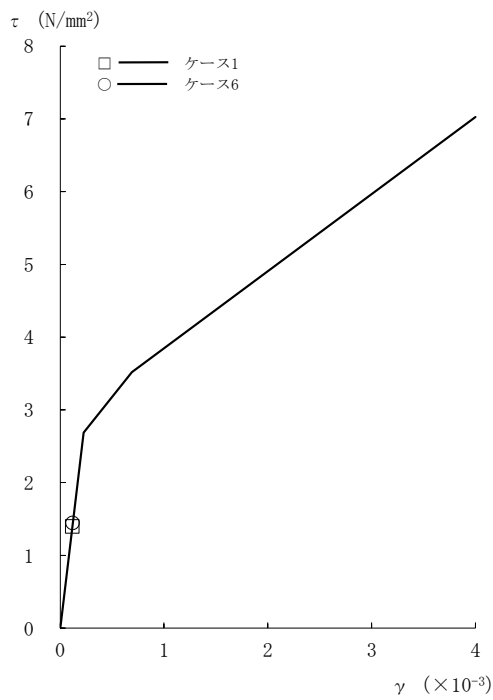


[外壁部]

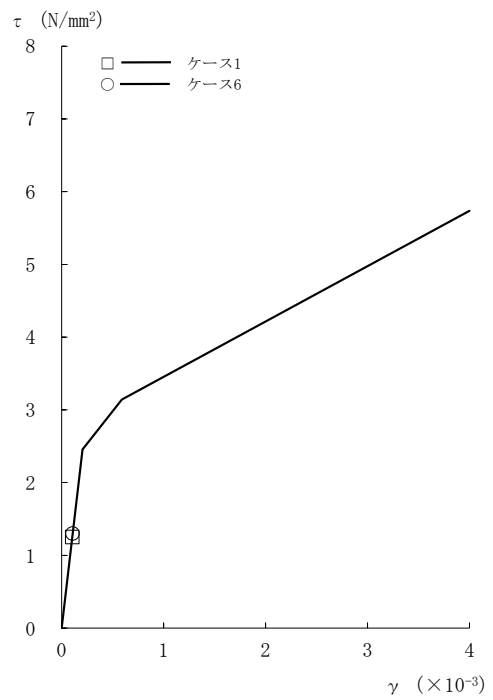


[RCCV部]

図2-104 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, B2F) (7/8)

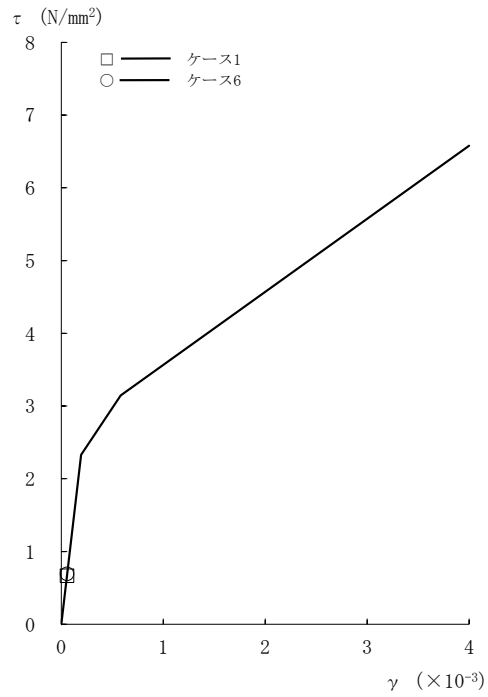


[外壁部]



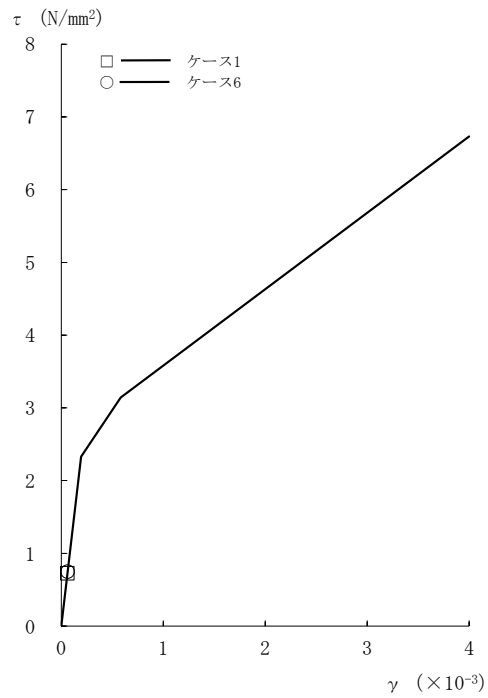
[RCCV部]

図2-104 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, NS方向, B3F) (8/8)



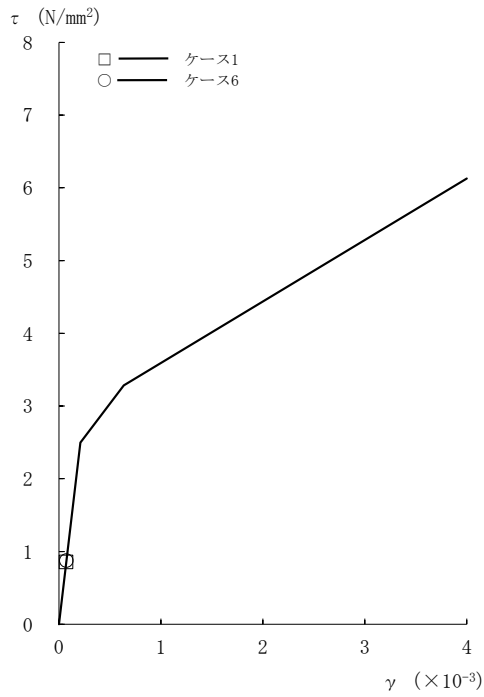
[外壁部]

図2-105 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, CRF) (1/8)

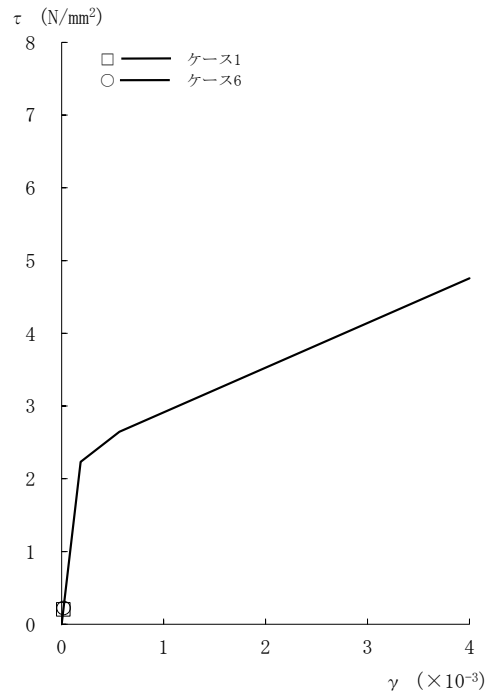


[外壁部]

図2-105 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, 4F) (2/8)

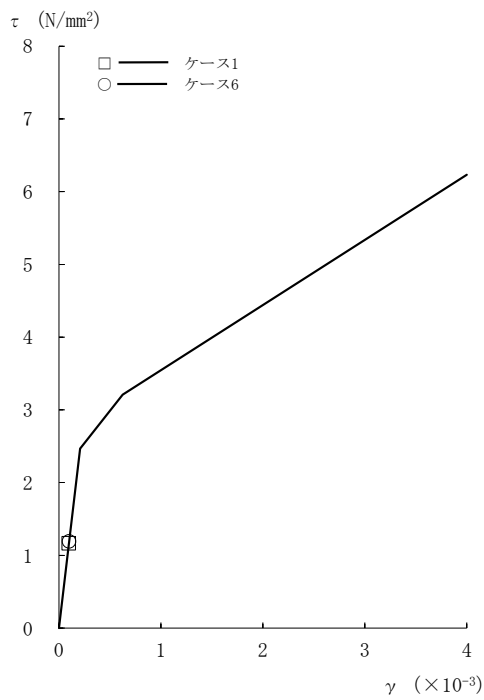


[外壁部]

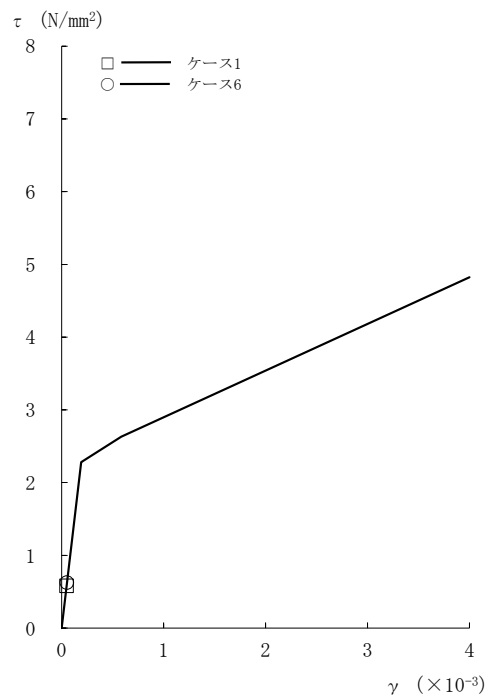


[RCCV部]

図2-105 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, 3F) (3/8)

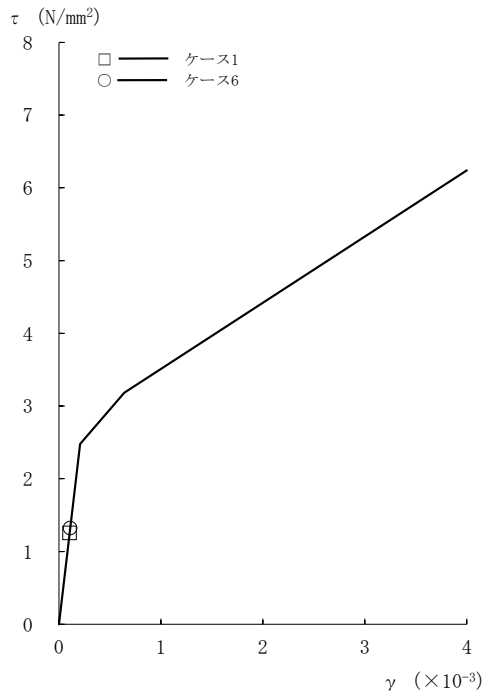


[外壁部]

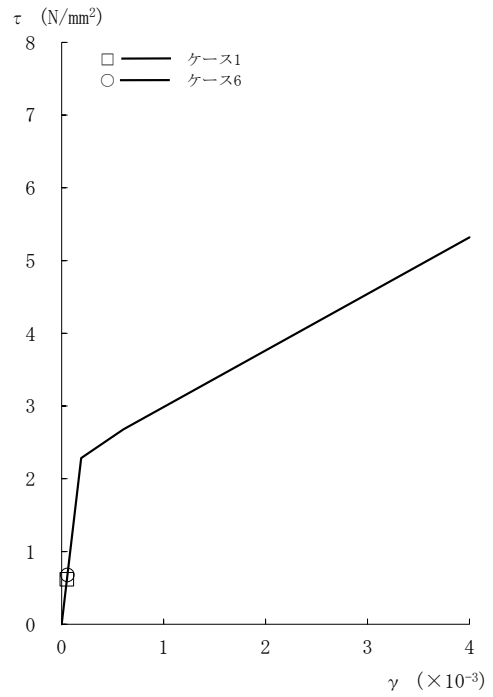


[RCCV部]

図2-105 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, 2F) (4/8)

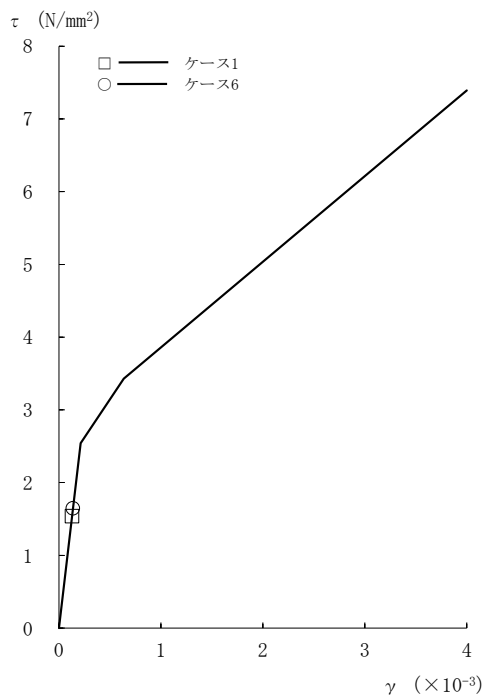


[外壁部]

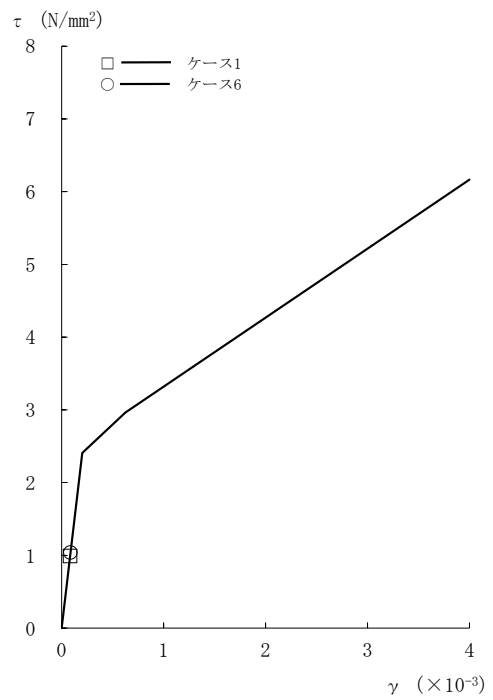


[RCCV部]

図2-105 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, 1F) (5/8)

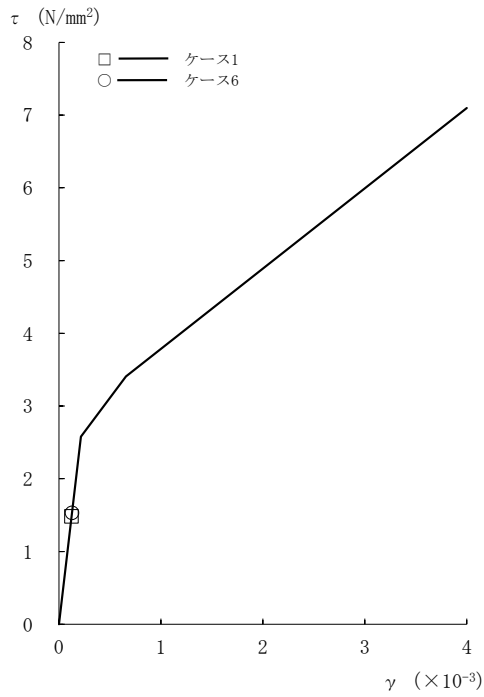


[外壁部]

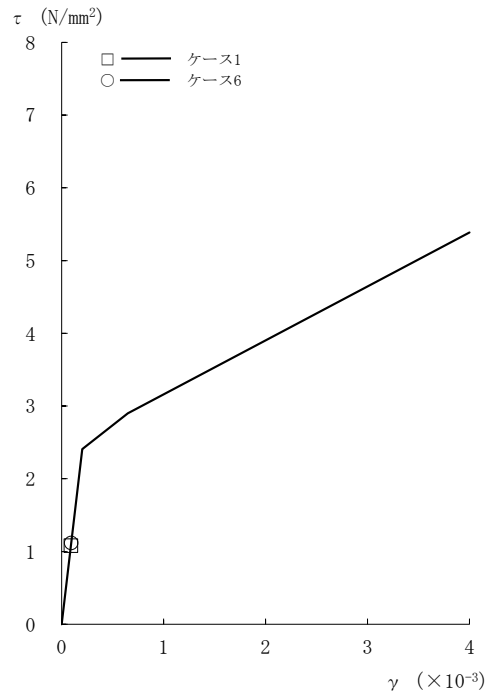


[RCCV部]

図2-105 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, B1F) (6/8)

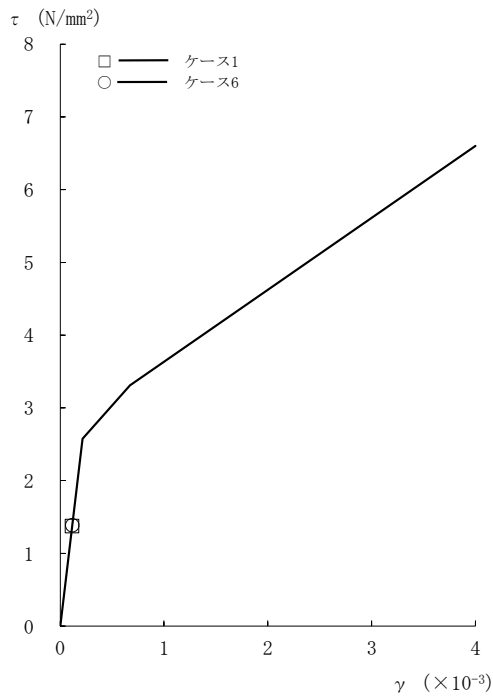


[外壁部]

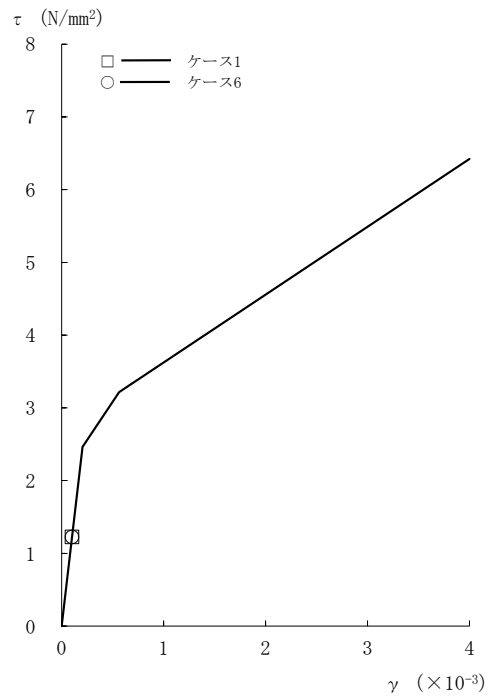


[RCCV部]

図2-105 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, B2F) (7/8)

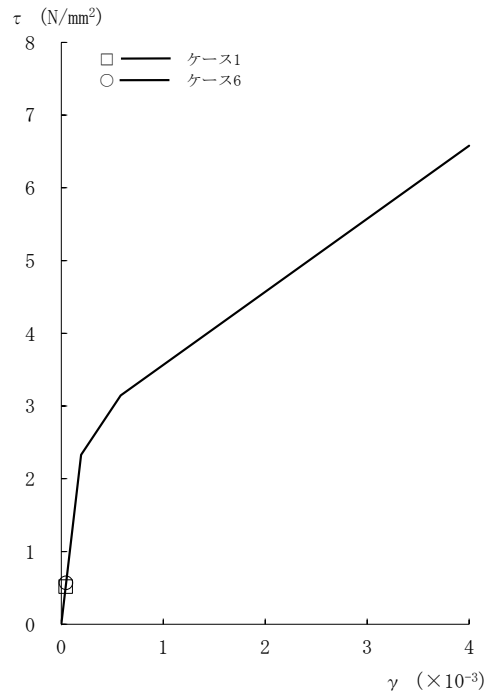


[外壁部]



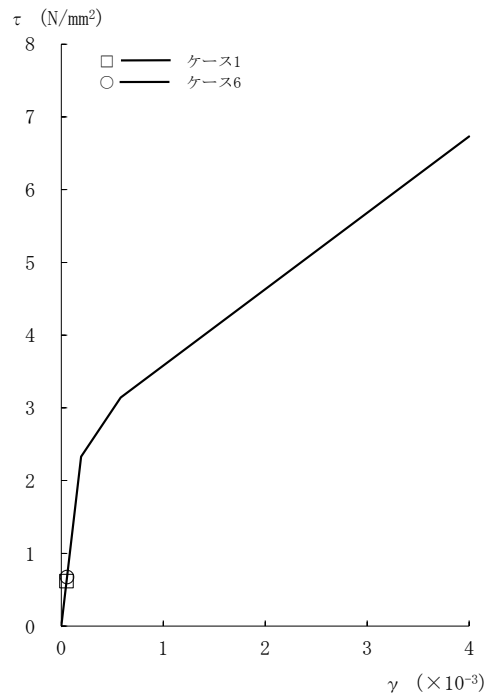
[RCCV部]

図2-105 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-1, EW方向, B3F) (8/8)



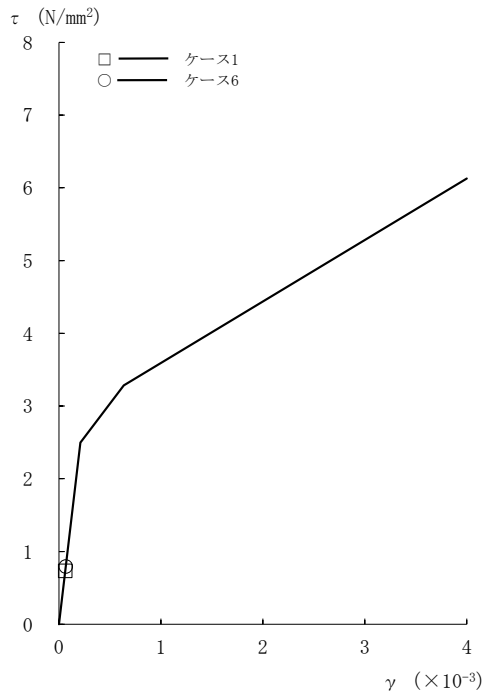
[外壁部]

図2-106 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, CRF) (1/8)

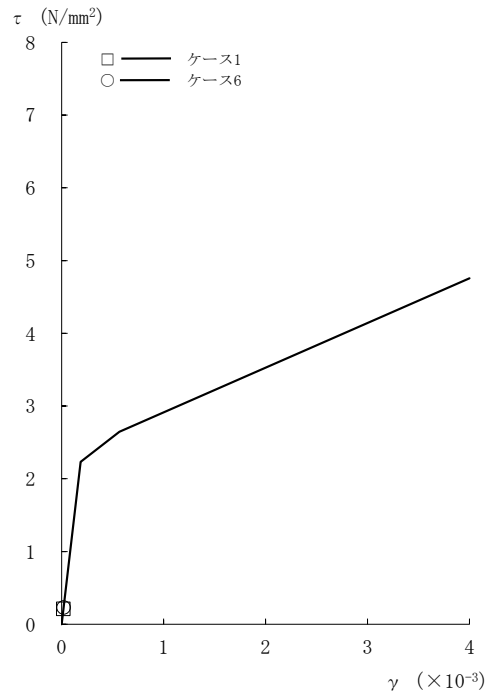


[外壁部]

図2-106 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, 4F) (2/8)

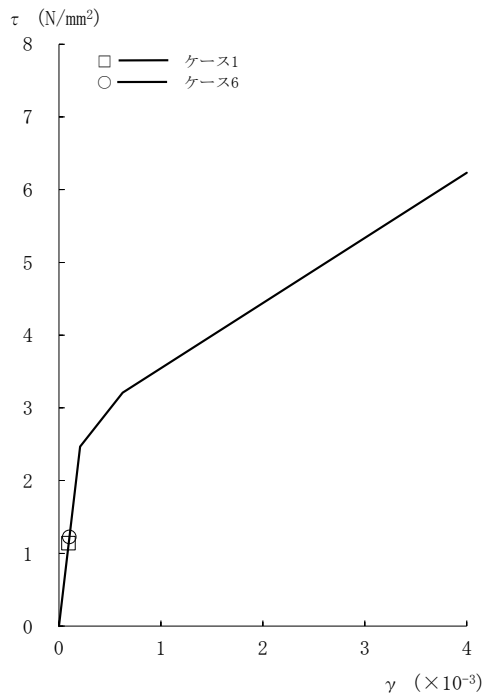


[外壁部]

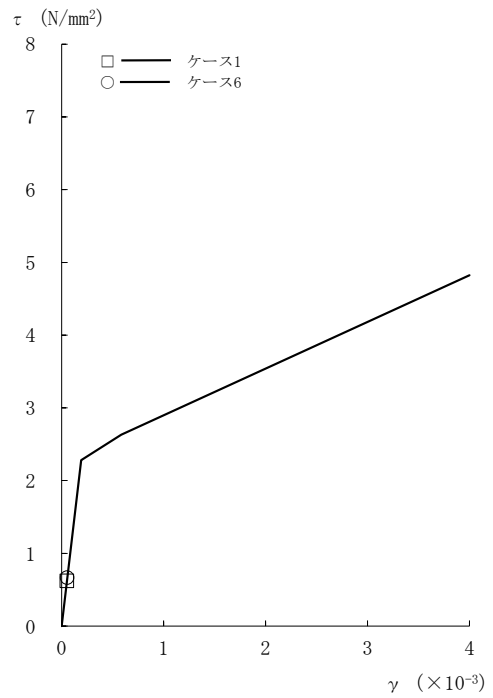


[RCCV部]

図2-106 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, 3F) (3/8)

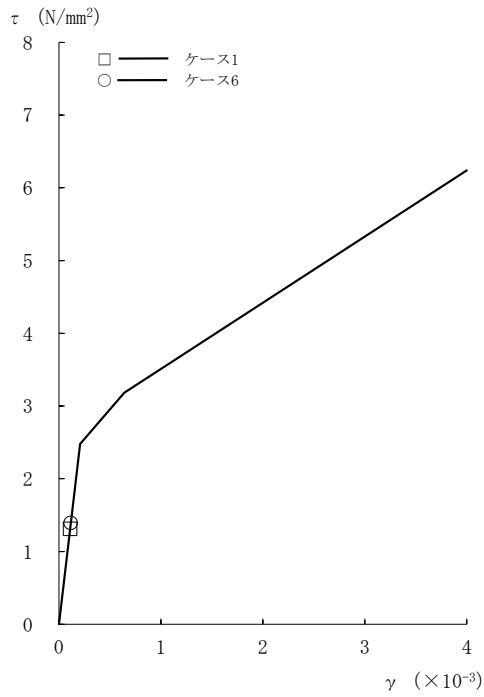


[外壁部]

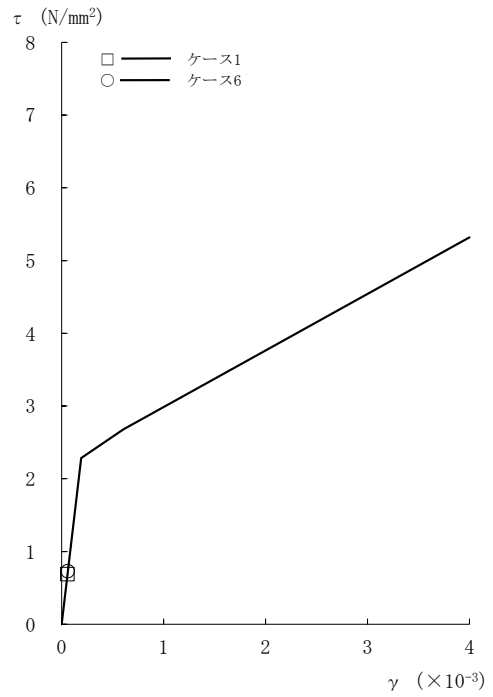


[RCCV部]

図2-106 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, 2F) (4/8)

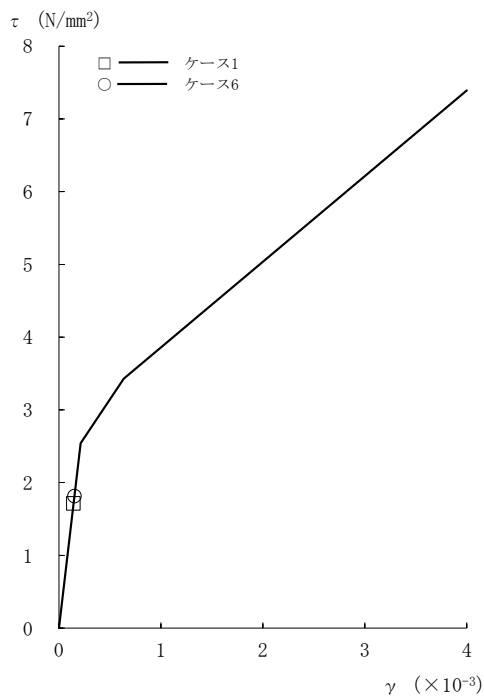


[外壁部]

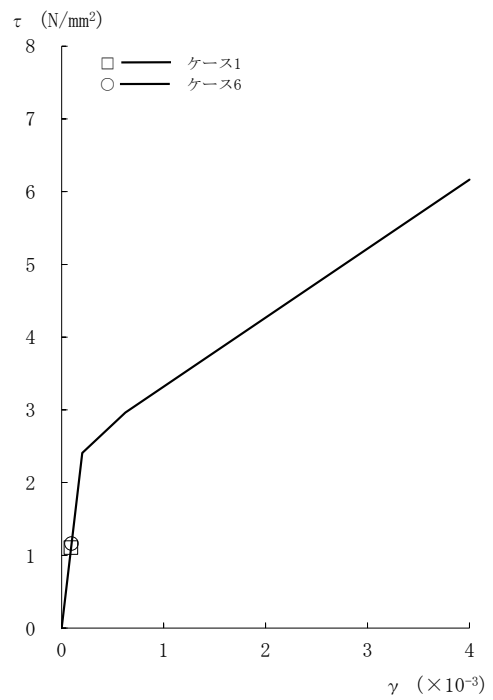


[RCCV部]

図2-106 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, 1F) (5/8)

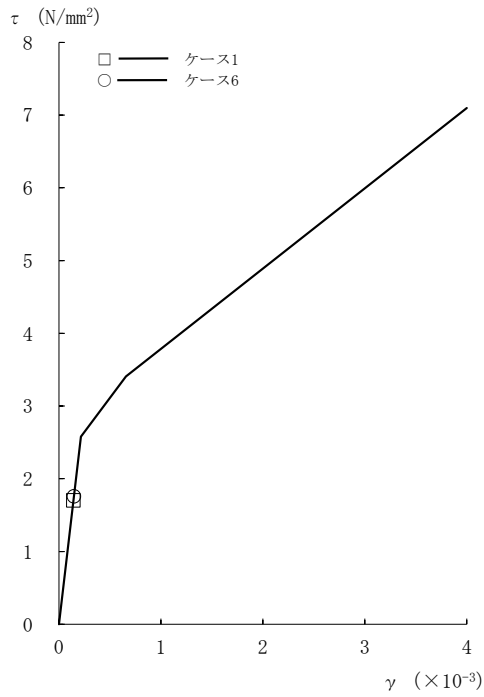


[外壁部]

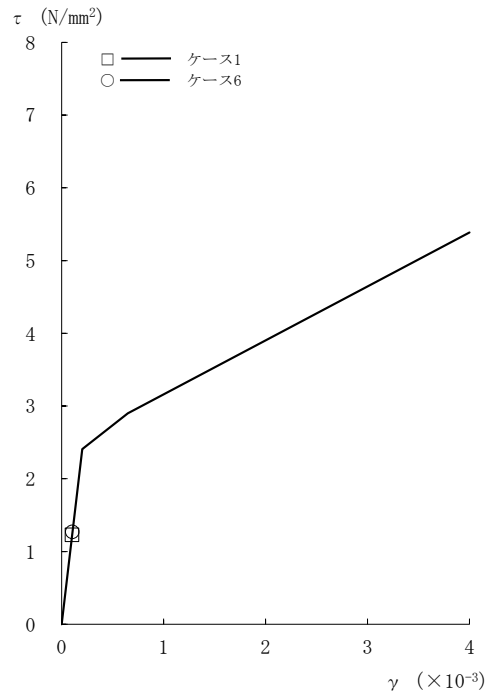


[RCCV部]

図2-106 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, B1F) (6/8)

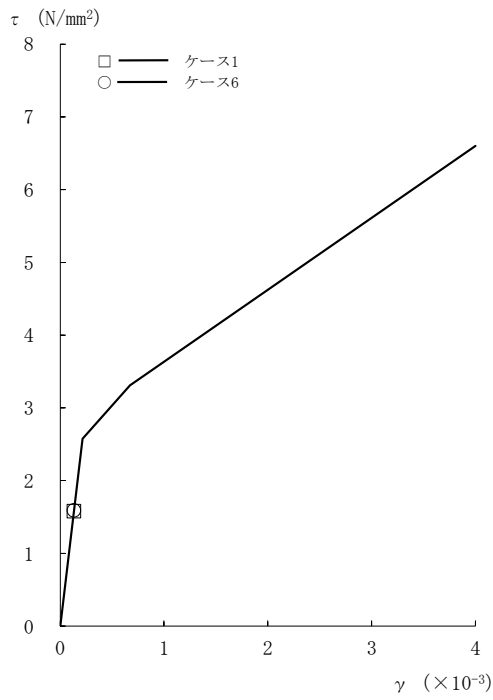


[外壁部]

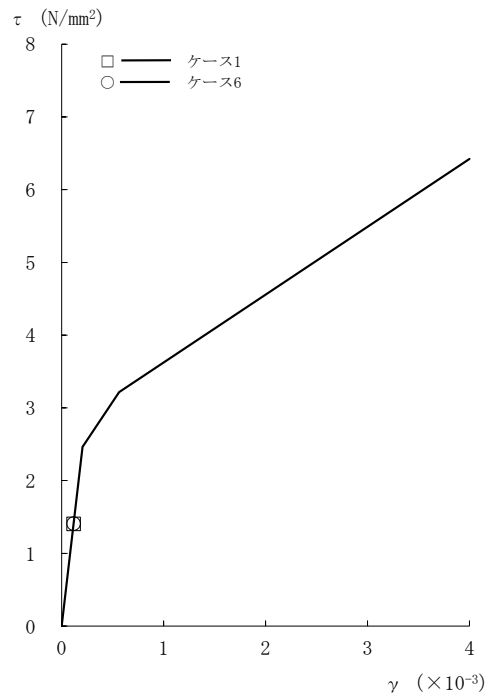


[RCCV部]

図2-106 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, B2F) (7/8)

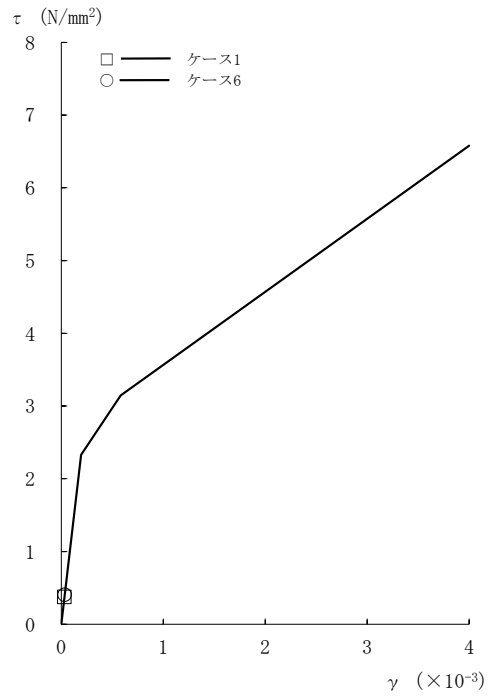


[外壁部]



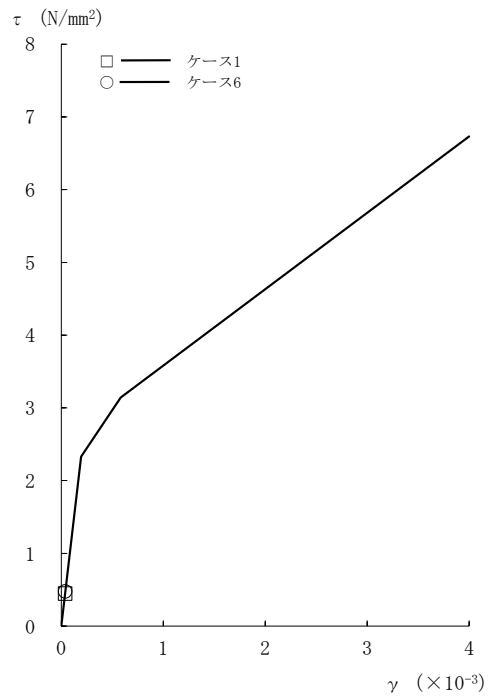
[RCCV部]

図2-106 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-2, EW方向, B3F) (8/8)



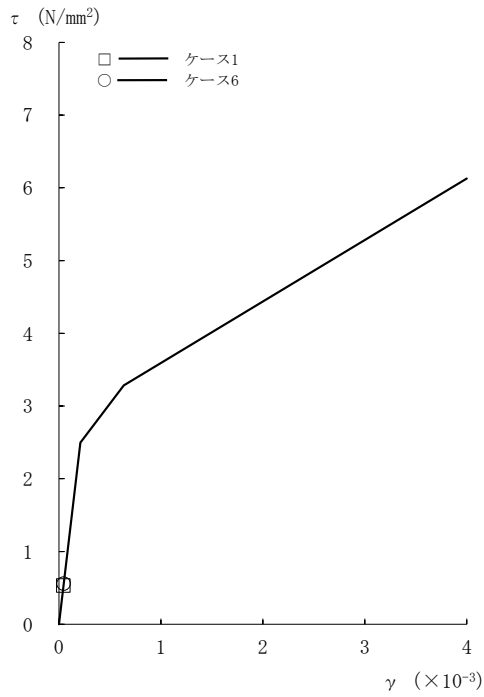
[外壁部]

図2-107 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, CRF) (1/8)

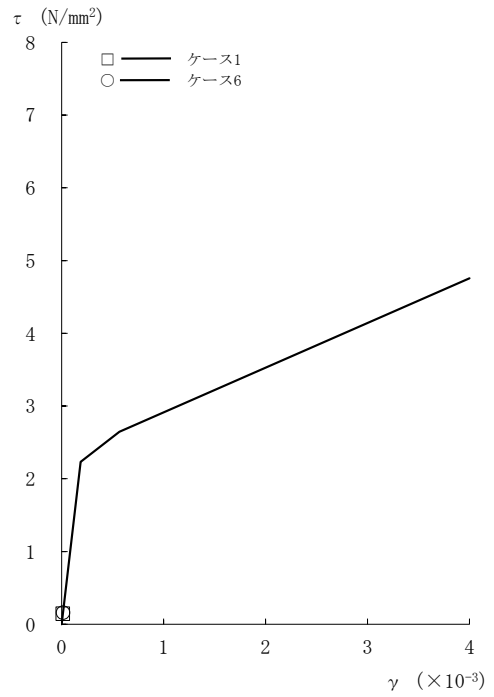


[外壁部]

図2-107 $\tau - \gamma$ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, 4F) (2/8)

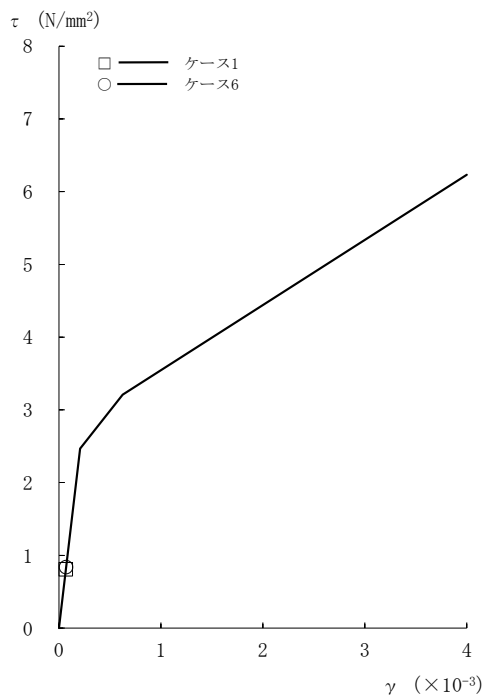


[外壁部]

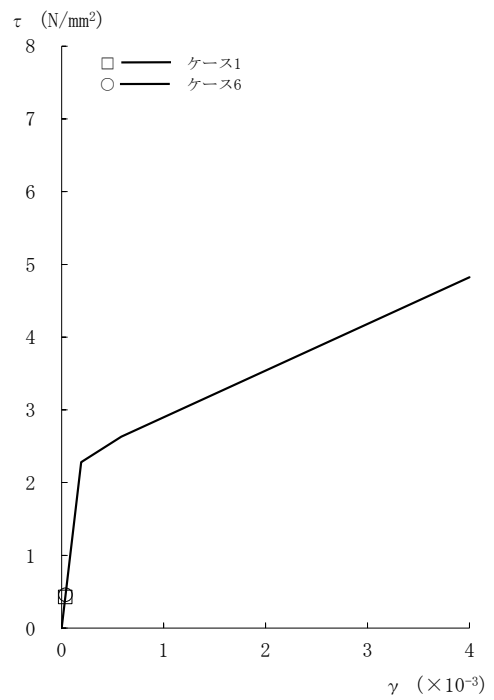


[RCCV部]

図2-107 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, 3F) (3/8)

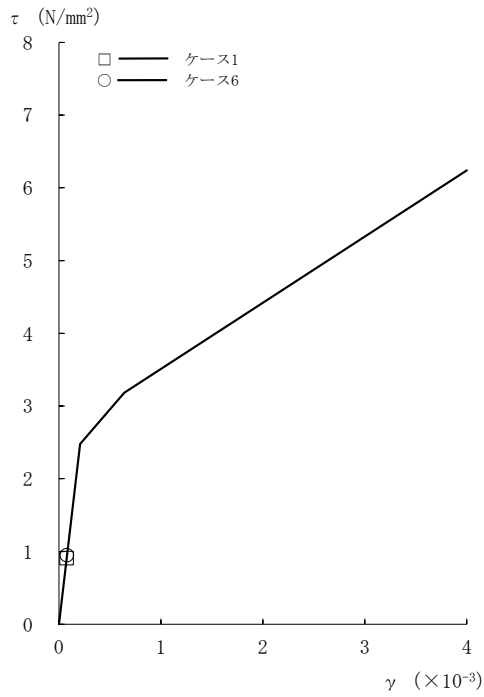


[外壁部]

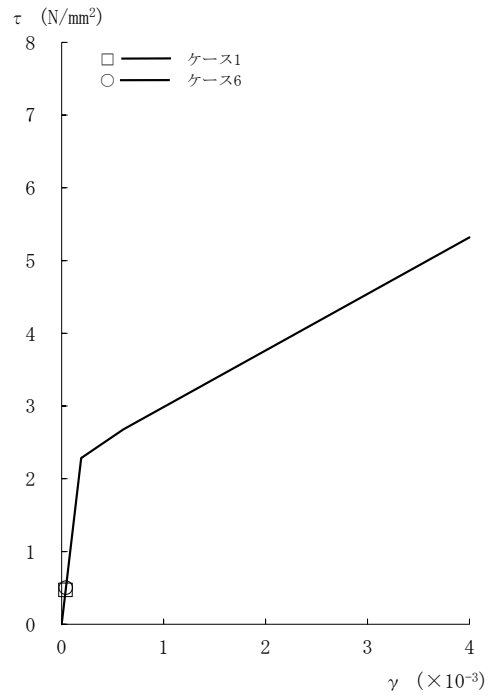


[RCCV部]

図2-107 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, 2F) (4/8)

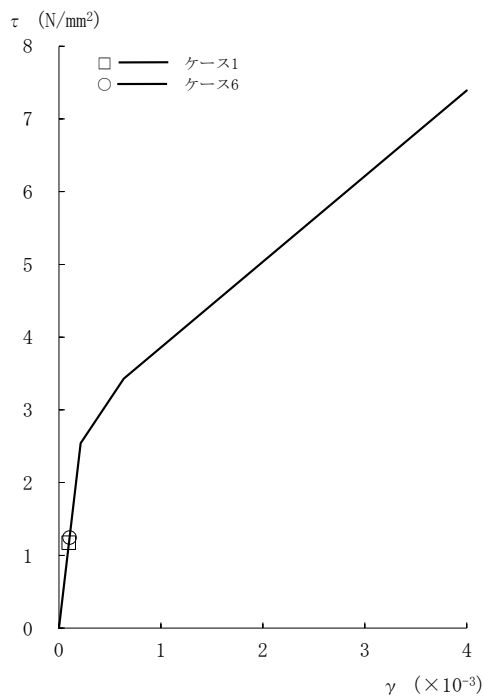


[外壁部]

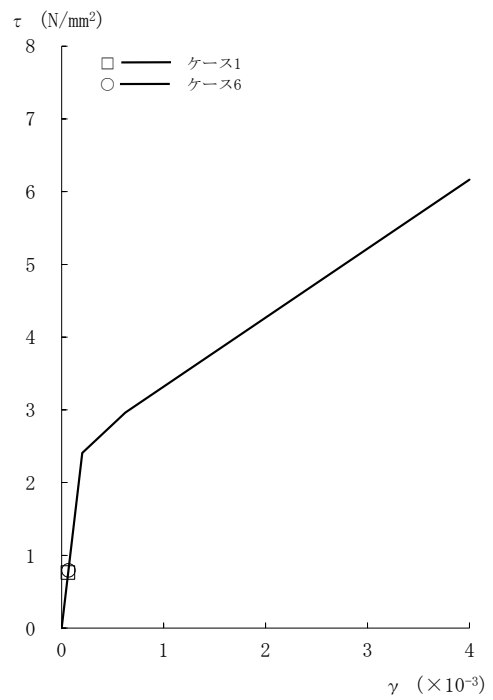


[RCCV部]

図2-107 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, 1F) (5/8)

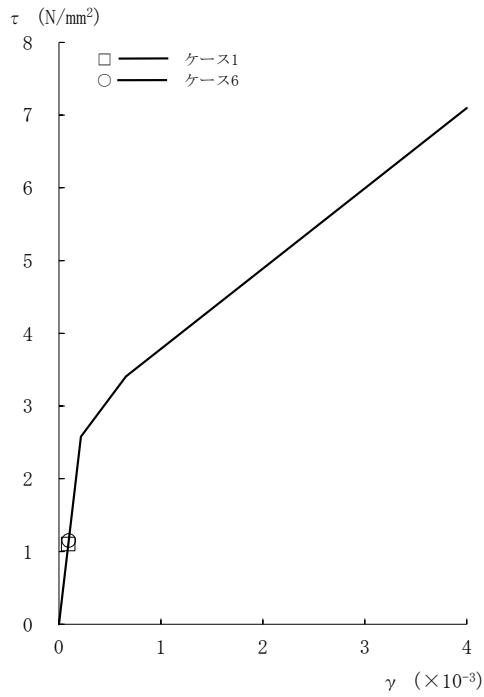


[外壁部]

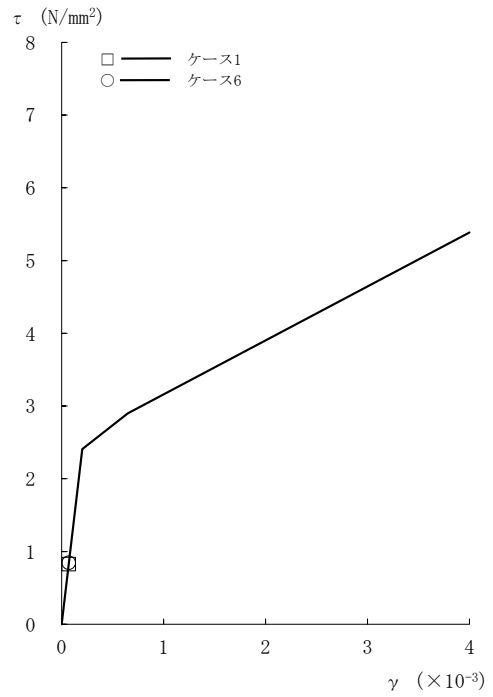


[RCCV部]

図2-107 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, B1F) (6/8)

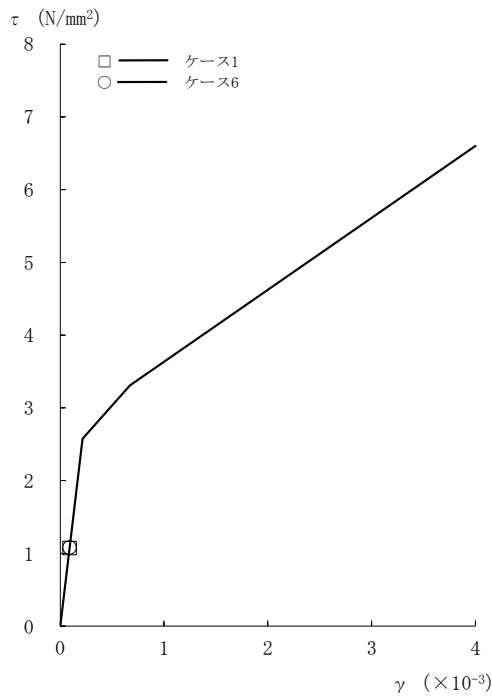


[外壁部]

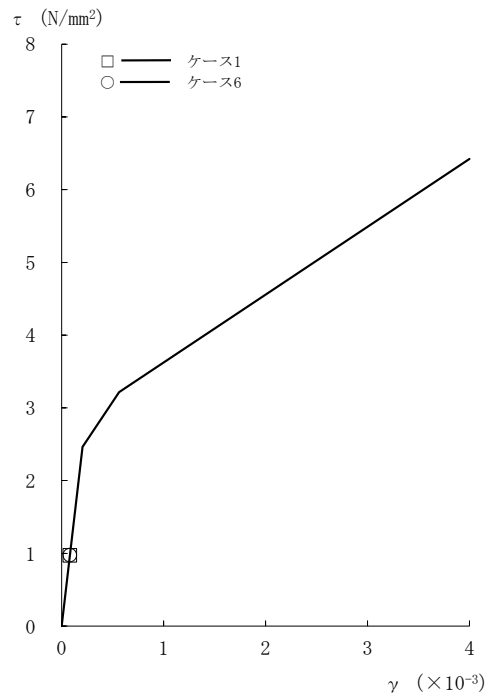


[RCCV部]

図2-107 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, B2F) (7/8)

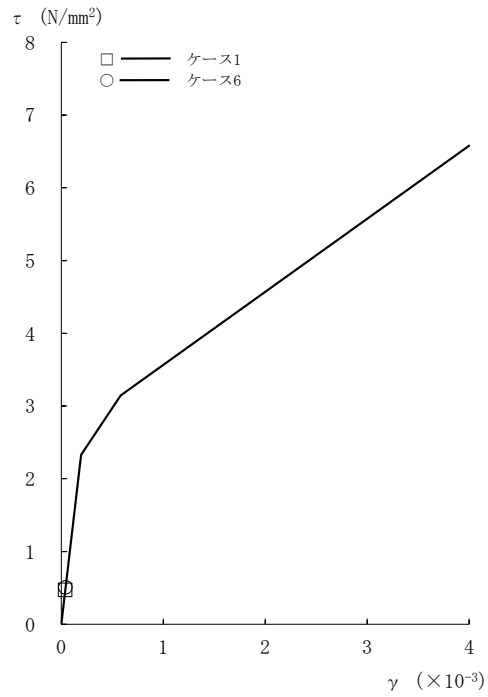


[外壁部]



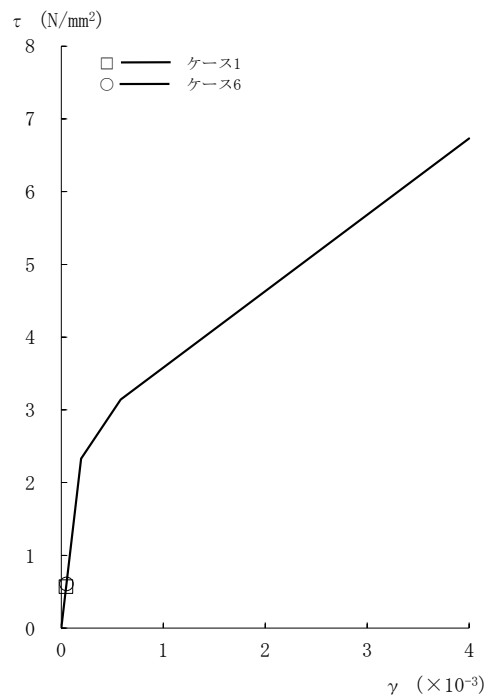
[RCCV部]

図2-107 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-3, EW方向, B3F) (8/8)



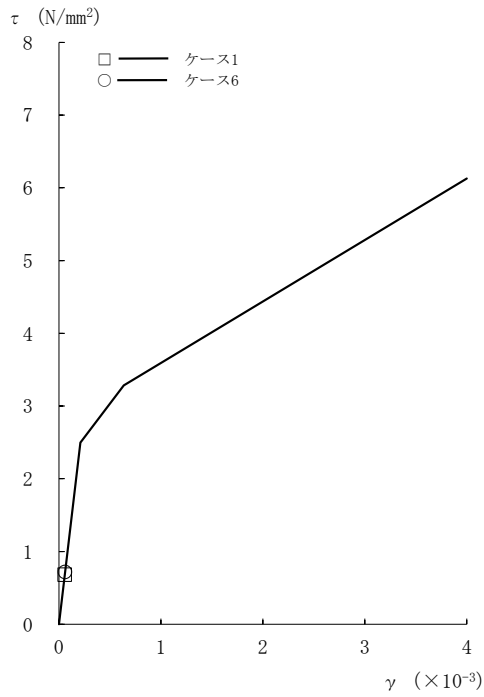
[外壁部]

図2-108 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, CRF) (1/8)

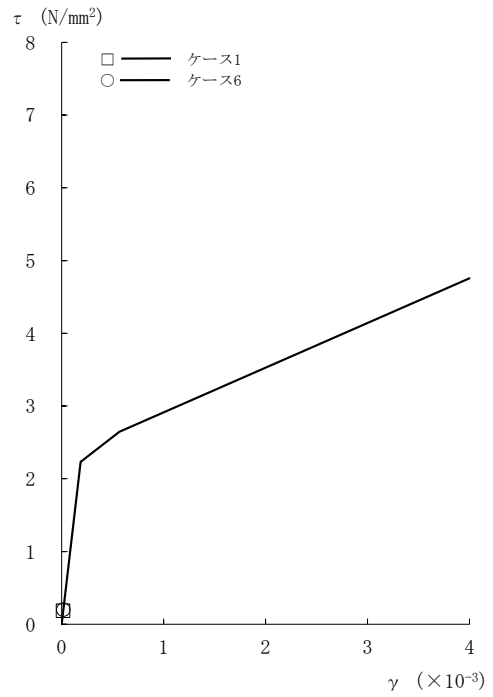


[外壁部]

図2-108 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, 4F) (2/8)

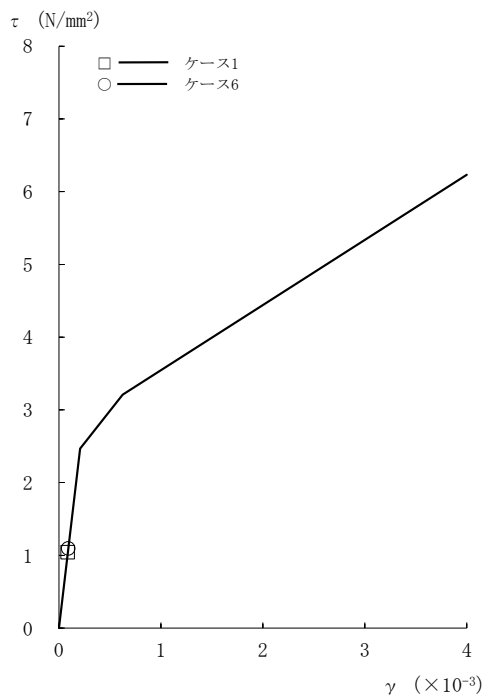


[外壁部]

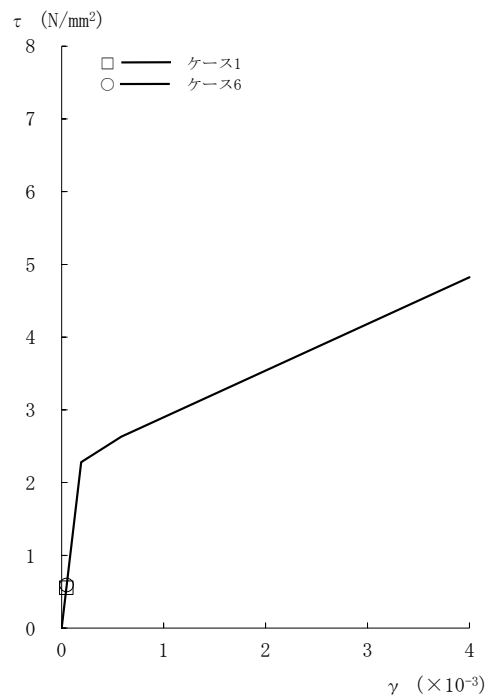


[RCCV部]

図2-108 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, 3F) (3/8)

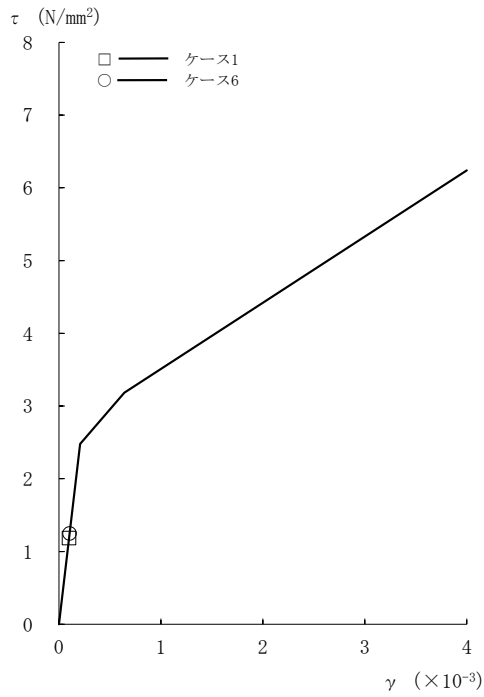


[外壁部]

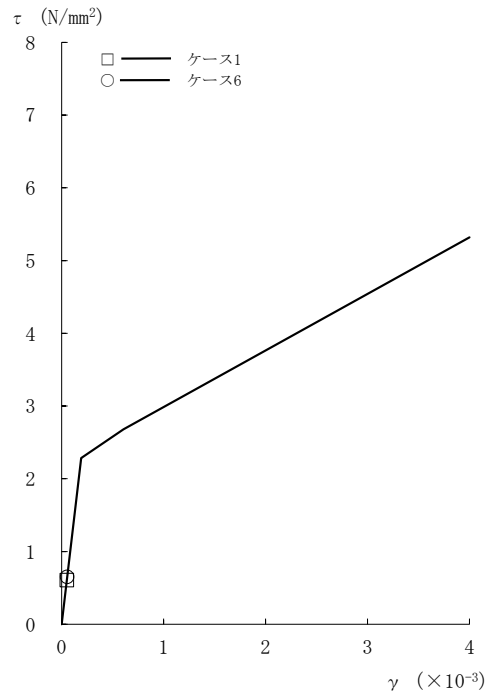


[RCCV部]

図2-108 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, 2F) (4/8)

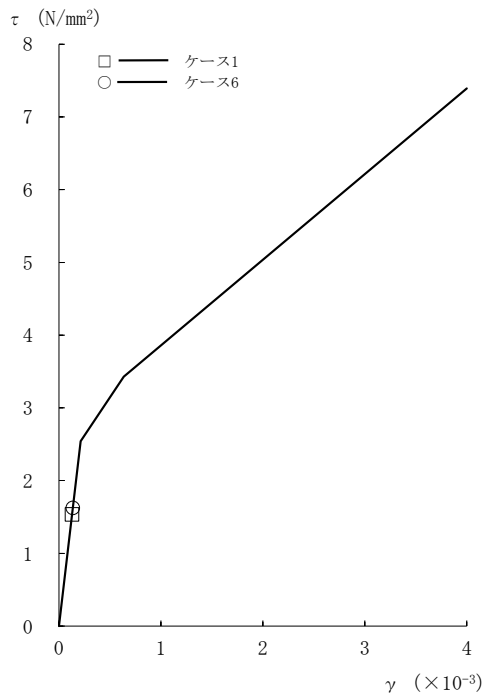


[外壁部]

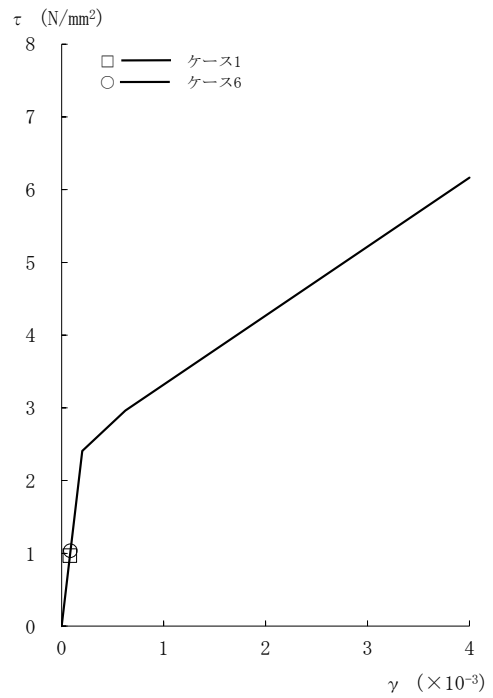


[RCCV部]

図2-108 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, 1F) (5/8)

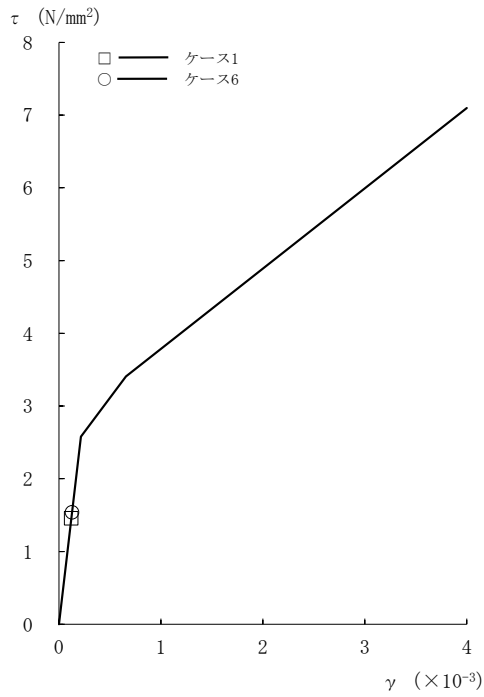


[外壁部]

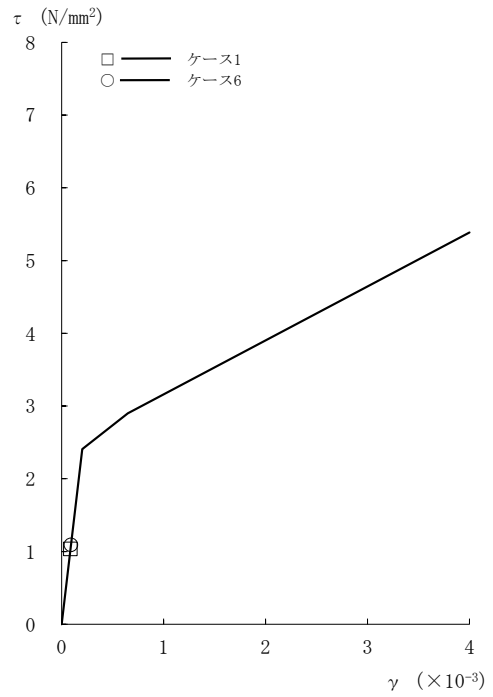


[RCCV部]

図2-108 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, B1F) (6/8)

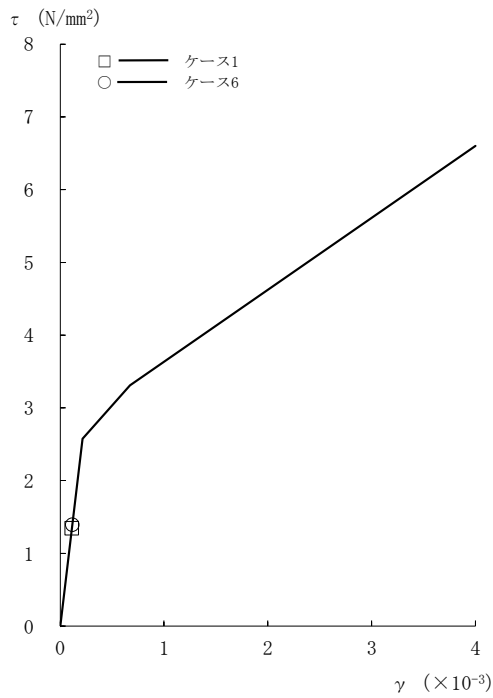


[外壁部]

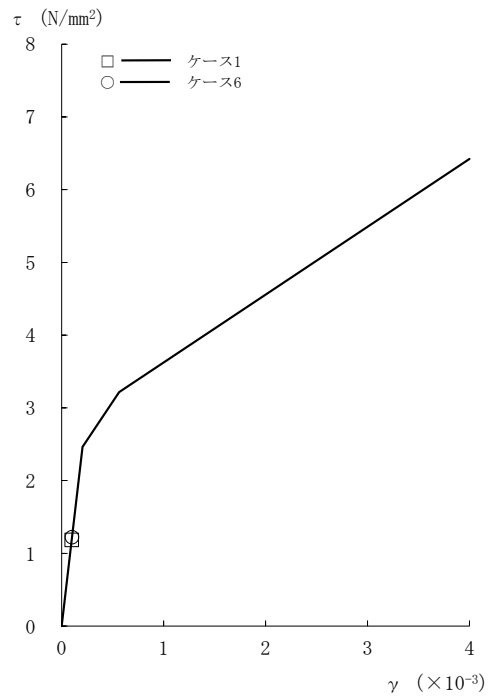


[RCCV部]

図2-108 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, B2F) (7/8)



[外壁部]



[RCCV部]

図2-108 τ - γ 関係と最大応答値 (Sd-8, EW方向, B3F) (8/8)

3. まとめ

前章で実施した材料物性の不確かさを考慮した地震応答解析結果を基本ケースと併せて以下に示す。

基準地震動 S_s に対する地震応答解析結果を表3-1～表3-11に，弾性設計用地震動 S_d に対する地震応答解析結果を表3-12～表3-22に示す。

表3-1 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S_s，NS方向）（1/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)											
		S _s -1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	17.7	18.5	14.8	17.4	17.8	18.1	17.7	18.5	15.1	17.4	17.8	18.1
	2	12.2	12.9	11.1	12.3	12.4	12.5	12.2	12.9	11.1	12.3	12.4	12.5
	3	10.9	10.6	10.0	10.4	10.9	10.8	10.9	10.6	10.8	10.4	10.9	10.8
	4	9.30	8.87	8.88	9.10	9.34	9.10	9.30	8.87	9.84	9.10	9.35	9.29
	5	8.34	8.21	7.71	8.24	8.08	8.20	8.34	8.21	8.89	8.24	8.21	8.20
	6	7.43	7.55	6.83	7.70	7.41	7.25	7.43	7.55	8.30	7.70	7.58	7.38
	7	6.57	6.58	6.94	6.77	6.54	6.56	6.57	6.58	6.94	6.77	6.54	6.56
	8	6.88	6.43	7.04	6.87	7.42	6.69	6.88	6.43	7.04	6.87	7.42	6.69
R C V 部	11	10.9	10.6	10.0	10.4	10.9	10.8	10.9	10.6	10.8	10.4	10.9	10.8
	12	9.30	8.87	8.88	9.10	9.34	9.10	9.30	8.87	9.84	9.10	9.35	9.29
	13	8.34	8.21	7.71	8.24	8.08	8.20	8.34	8.21	8.89	8.24	8.21	8.20
	14	7.43	7.55	6.83	7.70	7.41	7.25	7.43	7.55	8.30	7.70	7.58	7.38
	15	6.57	6.58	6.94	6.77	6.54	6.56	6.57	6.58	6.94	6.77	6.54	6.56
	16	6.88	6.43	7.04	6.87	7.42	6.69	6.88	6.43	7.04	6.87	7.42	6.69
基礎 上端	5.87	5.95	6.61	5.93	5.87	5.92	6.28	5.95	6.61	6.18	6.32	6.43	

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-1 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S_s，NS方向）（2/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)											
		S _s -2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	10.9	11.7	11.4	10.9	11.0	11.9	17.7	18.5	15.1	17.4	17.8	18.1
	2	8.62	8.43	8.84	8.36	8.73	9.17	12.2	12.9	11.1	12.3	12.4	12.5
	3	7.71	7.16	7.85	7.54	7.74	8.01	10.9	10.6	10.8	10.4	10.9	10.8
	4	6.69	6.03	6.74	6.56	6.74	6.93	9.30	8.87	9.84	9.10	9.35	9.29
	5	5.98	5.38	6.07	5.87	6.00	6.00	8.34	8.21	8.89	8.24	8.21	8.20
	6	5.22	5.12	5.64	5.18	5.38	5.47	7.43	7.55	8.30	7.70	7.58	7.38
	7	4.98	5.07	5.24	4.90	5.02	5.09	6.57	6.58	6.94	6.77	6.54	6.56
	8	4.60	4.67	5.14	4.59	4.60	4.63	6.88	6.43	7.04	6.87	7.42	6.69
R C V 部	11	7.71	7.16	7.85	7.54	7.74	8.01	10.9	10.6	10.8	10.4	10.9	10.8
	12	6.69	6.03	6.74	6.56	6.74	6.93	9.30	8.87	9.84	9.10	9.35	9.29
	13	5.98	5.38	6.07	5.87	6.00	6.00	8.34	8.21	8.89	8.24	8.21	8.20
	14	5.22	5.12	5.64	5.18	5.38	5.47	7.43	7.55	8.30	7.70	7.58	7.38
	15	4.98	5.07	5.24	4.90	5.02	5.09	6.57	6.58	6.94	6.77	6.54	6.56
	16	4.60	4.67	5.14	4.59	4.60	4.63	6.88	6.43	7.04	6.87	7.42	6.69
基礎 上端	4.43	4.27	5.28	4.49	4.40	4.40	6.28	5.95	6.61	6.18	6.32	6.43	

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-1 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S_s，NS方向）（3/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)											
		S _s -3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	10.9	10.7	12.4	10.4	11.1	10.7	17.7	18.5	15.1	17.4	17.8	18.1
	2	8.89	8.76	9.65	8.62	9.02	8.91	12.2	12.9	11.1	12.3	12.4	12.5
	3	7.82	7.84	8.35	7.64	7.90	7.86	10.9	10.6	10.8	10.4	10.9	10.8
	4	6.80	6.78	7.17	6.81	6.73	6.92	9.30	8.87	9.84	9.10	9.35	9.29
	5	6.30	6.38	6.53	6.19	6.24	6.45	8.34	8.21	8.89	8.24	8.21	8.20
	6	5.92	6.24	6.18	5.87	5.92	6.00	7.43	7.55	8.30	7.70	7.58	7.38
	7	5.63	5.92	5.57	5.62	5.62	5.61	6.57	6.58	6.94	6.77	6.54	6.56
	8	5.81	5.53	5.57	5.69	5.85	5.97	6.88	6.43	7.04	6.87	7.42	6.69
R C V 部	11	7.82	7.84	8.35	7.64	7.90	7.86	10.9	10.6	10.8	10.4	10.9	10.8
	12	6.80	6.78	7.17	6.81	6.73	6.92	9.30	8.87	9.84	9.10	9.35	9.29
	13	6.30	6.38	6.53	6.19	6.24	6.45	8.34	8.21	8.89	8.24	8.21	8.20
	14	5.92	6.24	6.18	5.87	5.92	6.00	7.43	7.55	8.30	7.70	7.58	7.38
	15	5.63	5.92	5.57	5.62	5.62	5.61	6.57	6.58	6.94	6.77	6.54	6.56
	16	5.81	5.53	5.57	5.69	5.85	5.97	6.88	6.43	7.04	6.87	7.42	6.69
基礎 上端		6.28	5.91	6.18	6.18	6.32	6.43	6.28	5.95	6.61	6.18	6.32	6.43

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-1 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S_s，NS方向）（4/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)											
		S _s -8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	14.5	13.2	15.1	13.6	14.8	14.6	17.7	18.5	15.1	17.4	17.8	18.1
	2	11.3	10.9	11.1	11.2	11.0	11.3	12.2	12.9	11.1	12.3	12.4	12.5
	3	10.0	9.57	10.8	9.93	10.2	10.1	10.9	10.6	10.8	10.4	10.9	10.8
	4	9.14	8.24	9.84	8.96	9.35	9.29	9.30	8.87	9.84	9.10	9.35	9.29
	5	8.16	7.71	8.89	7.97	8.21	8.15	8.34	8.21	8.89	8.24	8.21	8.20
	6	7.20	6.83	8.30	7.27	7.58	7.38	7.43	7.55	8.30	7.70	7.58	7.38
	7	6.20	5.93	6.94	6.54	6.07	6.25	6.57	6.58	6.94	6.77	6.54	6.56
	8	5.57	5.34	6.06	5.88	5.31	5.69	6.88	6.43	7.04	6.87	7.42	6.69
R C V 部	11	10.0	9.57	10.8	9.93	10.2	10.1	10.9	10.6	10.8	10.4	10.9	10.8
	12	9.14	8.24	9.84	8.96	9.35	9.29	9.30	8.87	9.84	9.10	9.35	9.29
	13	8.16	7.71	8.89	7.97	8.21	8.15	8.34	8.21	8.89	8.24	8.21	8.20
	14	7.20	6.83	8.30	7.27	7.58	7.38	7.43	7.55	8.30	7.70	7.58	7.38
	15	6.20	5.93	6.94	6.54	6.07	6.25	6.57	6.58	6.94	6.77	6.54	6.56
	16	5.57	5.34	6.06	5.88	5.31	5.69	6.88	6.43	7.04	6.87	7.42	6.69
基礎 上端		4.95	4.81	5.40	5.05	4.97	5.00	6.28	5.95	6.61	6.18	6.32	6.43

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-2 最大応答変位一覧表（基準地震動 S_s，NS方向）（1/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		S _s -1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	59.1	50.1	68.6	55.8	60.8	67.4	60.4	50.1	79.2	55.8	60.9	68.6
	2	49.9	42.3	57.6	46.8	51.5	56.4	51.4	42.3	67.3	46.8	51.9	57.9
	3	44.5	37.7	51.2	41.4	46.1	49.9	46.2	37.7	60.4	41.7	46.6	51.6
	4	37.5	31.6	43.0	34.8	39.0	41.6	39.5	31.6	51.5	35.3	39.8	43.6
	5	32.0	26.8	36.9	29.9	33.3	35.3	34.4	26.8	44.7	30.7	34.5	37.6
	6	26.1	21.5	30.3	24.7	27.1	28.5	28.8	21.5	37.3	25.6	28.6	31.0
	7	18.5	14.9	22.8	17.8	18.9	19.9	21.4	14.9	27.4	18.9	20.8	22.4
	8	12.3	9.30	16.1	12.1	12.3	13.1	14.3	9.30	18.3	13.0	13.1	14.4
RCV部	11	44.5	37.7	51.2	41.4	46.1	49.9	46.2	37.7	60.4	41.7	46.6	51.6
	12	37.5	31.6	43.0	34.8	39.0	41.6	39.5	31.6	51.5	35.3	39.8	43.6
	13	32.0	26.8	36.9	29.9	33.3	35.3	34.4	26.8	44.7	30.7	34.5	37.6
	14	26.1	21.5	30.3	24.7	27.1	28.5	28.8	21.5	37.3	25.6	28.6	31.0
	15	18.5	14.9	22.8	17.8	18.9	19.9	21.4	14.9	27.4	18.9	20.8	22.4
	16	12.3	9.30	16.1	12.1	12.3	13.1	14.3	9.30	18.3	13.0	13.1	14.4
基礎 上端		7.97	5.37	10.7	7.98	7.95	8.14	9.26	5.37	11.8	8.11	7.95	8.47

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-2 最大応答変位一覧表（基準地震動 S_s ，NS方向）（2/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		Ss-2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	41.9	31.2	50.1	39.4	43.0	49.0	60.4	50.1	79.2	55.8	60.9	68.6
	2	35.2	25.9	42.1	33.2	36.1	41.1	51.4	42.3	67.3	46.8	51.9	57.9
	3	31.3	22.9	37.4	29.6	32.2	36.4	46.2	37.7	60.4	41.7	46.6	51.6
	4	26.5	19.2	31.5	25.1	27.3	30.6	39.5	31.6	51.5	35.3	39.8	43.6
	5	23.0	16.5	27.3	21.9	23.6	26.5	34.4	26.8	44.7	30.7	34.5	37.6
	6	19.3	13.7	22.8	18.4	19.8	22.1	28.8	21.5	37.3	25.6	28.6	31.0
	7	14.6	10.1	17.1	14.1	14.9	16.4	21.4	14.9	27.4	18.9	20.8	22.4
	8	10.5	7.04	12.3	10.3	10.6	11.5	14.3	9.30	18.3	13.0	13.1	14.4
RCV部	11	31.3	22.9	37.4	29.6	32.2	36.4	46.2	37.7	60.4	41.7	46.6	51.6
	12	26.5	19.2	31.5	25.1	27.3	30.6	39.5	31.6	51.5	35.3	39.8	43.6
	13	23.0	16.5	27.3	21.9	23.6	26.5	34.4	26.8	44.7	30.7	34.5	37.6
	14	19.3	13.7	22.8	18.4	19.8	22.1	28.8	21.5	37.3	25.6	28.6	31.0
	15	14.6	10.1	17.1	14.1	14.9	16.4	21.4	14.9	27.4	18.9	20.8	22.4
	16	10.5	7.04	12.3	10.3	10.6	11.5	14.3	9.30	18.3	13.0	13.1	14.4
基礎 上端		7.01	4.41	9.15	7.02	6.99	7.25	9.26	5.37	11.8	8.11	7.95	8.47

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-2 最大応答変位一覧表（基準地震動 S_s ，NS方向）（3/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		Ss-3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	41.3	34.5	58.5	39.0	42.5	48.0	60.4	50.1	79.2	55.8	60.9	68.6
	2	34.3	28.7	49.4	32.5	35.3	39.7	51.4	42.3	67.3	46.8	51.9	57.9
	3	30.3	25.3	44.1	28.8	31.1	34.9	46.2	37.7	60.4	41.7	46.6	51.6
	4	25.4	21.1	37.4	24.1	26.1	29.0	39.5	31.6	51.5	35.3	39.8	43.6
	5	21.8	18.0	32.7	20.8	22.4	24.8	34.4	26.8	44.7	30.7	34.5	37.6
	6	18.0	14.6	27.6	17.3	18.5	20.3	28.8	21.5	37.3	25.6	28.6	31.0
	7	13.2	10.3	21.1	12.9	13.5	14.7	21.4	14.9	27.4	18.9	20.8	22.4
	8	9.07	6.65	15.6	9.03	9.06	9.84	14.3	9.30	18.3	13.0	13.1	14.4
RCV部	11	30.3	25.3	44.1	28.8	31.1	34.9	46.2	37.7	60.4	41.7	46.6	51.6
	12	25.4	21.1	37.4	24.1	26.1	29.0	39.5	31.6	51.5	35.3	39.8	43.6
	13	21.8	18.0	32.7	20.8	22.4	24.8	34.4	26.8	44.7	30.7	34.5	37.6
	14	18.0	14.6	27.6	17.3	18.5	20.3	28.8	21.5	37.3	25.6	28.6	31.0
	15	13.2	10.3	21.1	12.9	13.5	14.7	21.4	14.9	27.4	18.9	20.8	22.4
	16	9.07	6.65	15.6	9.03	9.06	9.84	14.3	9.30	18.3	13.0	13.1	14.4
基礎 上端		5.48	3.50	10.8	5.61	5.38	6.08	9.26	5.37	11.8	8.11	7.95	8.47

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-2 最大応答変位一覧表（基準地震動 S_s ，NS方向）（4/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		Ss-8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	60.4	44.1	79.2	55.6	60.9	68.6	60.4	50.1	79.2	55.8	60.9	68.6
	2	51.4	37.4	67.3	46.8	51.9	57.9	51.4	42.3	67.3	46.8	51.9	57.9
	3	46.2	33.4	60.4	41.7	46.6	51.6	46.2	37.7	60.4	41.7	46.6	51.6
	4	39.5	28.2	51.5	35.3	39.8	43.6	39.5	31.6	51.5	35.3	39.8	43.6
	5	34.4	24.3	44.7	30.7	34.5	37.6	34.4	26.8	44.7	30.7	34.5	37.6
	6	28.8	19.9	37.3	25.6	28.6	31.0	28.8	21.5	37.3	25.6	28.6	31.0
	7	21.4	14.2	27.4	18.9	20.8	22.4	21.4	14.9	27.4	18.9	20.8	22.4
	8	14.3	9.08	18.3	13.0	13.1	14.4	14.3	9.30	18.3	13.0	13.1	14.4
RCV部	11	46.2	33.4	60.4	41.7	46.6	51.6	46.2	37.7	60.4	41.7	46.6	51.6
	12	39.5	28.2	51.5	35.3	39.8	43.6	39.5	31.6	51.5	35.3	39.8	43.6
	13	34.4	24.3	44.7	30.7	34.5	37.6	34.4	26.8	44.7	30.7	34.5	37.6
	14	28.8	19.9	37.3	25.6	28.6	31.0	28.8	21.5	37.3	25.6	28.6	31.0
	15	21.4	14.2	27.4	18.9	20.8	22.4	21.4	14.9	27.4	18.9	20.8	22.4
	16	14.3	9.08	18.3	13.0	13.1	14.4	14.3	9.30	18.3	13.0	13.1	14.4
基礎 上端		9.26	5.12	11.8	8.11	7.90	8.47	9.26	5.37	11.8	8.11	7.95	8.47

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-3 最大応答せん断力一覧表（基準地震動 S_s ，NS方向）（1/4）

部位	部材番号	最大応答せん断力（ $\times 10^3 \text{kN}$ ）											
		S_s-1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	71.7	74.4	60.1	70.1	72.1	73.6	71.7	74.4	61.4	70.1	72.1	73.6
	2	168	178	140	171	171	175	168	178	147	171	171	175
	3	384	419	334	349	394	379	384	419	389	349	394	379
	4	374	387	352	391	363	370	374	387	370	391	363	370
	5	424	438	401	445	411	419	424	438	422	445	411	419
	6	537	554	511	560	526	531	537	554	563	560	526	537
	7	610	584	563	612	606	592	610	584	649	612	616	616
	8	600	580	595	614	574	596	609	594	605	624	586	609
RCV部	11	71.3	77.4	52.8	41.2	86.1	66.6	71.3	77.4	81.4	41.2	86.1	66.6
	12	175	170	171	156	185	169	175	170	177	156	185	169
	13	244	229	238	209	261	239	244	229	260	209	261	239
	14	314	290	305	279	320	305	314	290	340	279	320	313
	15	371	364	344	382	364	360	371	364	382	382	366	368
	16	420	413	447	441	421	430	420	413	447	441	426	430

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-3 最大応答せん断力一覧表（基準地震動 S_s ，NS方向）（2/4）

部位	部 材 番 号	最大応答せん断力（ $\times 10^3 \text{kN}$ ）											
		S_s-2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	44.6	47.9	45.3	44.4	44.9	48.5	71.7	74.4	61.4	70.1	72.1	73.6
	2	113	118	115	110	115	124	168	178	147	171	171	175
	3	226	219	227	219	230	241	384	419	389	349	394	379
	4	288	269	291	281	293	304	374	387	370	391	363	370
	5	343	316	347	334	347	360	424	438	422	445	411	419
	6	447	400	455	435	448	465	537	554	563	560	526	537
	7	493	441	484	476	478	498	610	584	649	612	616	616
	8	456	444	456	450	458	465	609	594	605	624	586	609
R C V 部	11	25.6	24.2	28.8	25.4	24.8	27.2	71.3	77.4	81.4	41.2	86.1	66.6
	12	125	114	129	123	123	131	175	170	177	156	185	169
	13	165	150	169	164	162	171	244	229	260	209	261	239
	14	208	187	209	208	204	212	314	290	340	279	320	313
	15	258	240	260	262	267	259	371	364	382	382	366	368
	16	354	346	350	350	355	360	420	413	447	441	426	430

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-3 最大応答せん断力一覧表（基準地震動 S_s ，NS方向）（3/4）

部位	部材番号	最大応答せん断力（ $\times 10^3 \text{kN}$ ）											
		S_s-3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	43.6	43.1	50.1	41.6	44.6	43.1	71.7	74.4	61.4	70.1	72.1	73.6
	2	116	114	128	112	118	116	168	178	147	171	171	175
	3	235	229	253	225	241	235	384	419	389	349	394	379
	4	295	291	312	284	301	295	374	387	370	391	363	370
	5	348	346	371	336	355	348	424	438	422	445	411	419
	6	451	456	467	444	448	445	537	554	563	560	526	537
	7	500	501	497	507	486	503	610	584	649	612	616	616
	8	513	489	531	515	507	507	609	594	605	624	586	609
RCV部	11	27.6	27.2	27.2	26.9	27.7	28.7	71.3	77.4	81.4	41.2	86.1	66.6
	12	128	127	132	128	127	130	175	170	177	156	185	169
	13	169	168	176	171	167	173	244	229	260	209	261	239
	14	216	218	224	218	210	224	314	290	340	279	320	313
	15	303	281	305	293	310	311	371	364	382	382	366	368
	16	386	375	400	387	379	380	420	413	447	441	426	430

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-3 最大応答せん断力一覧表（基準地震動 S_s ，NS方向）（4/4）

部位	部 材 番 号	最大応答せん断力（ $\times 10^3 \text{kN}$ ）											
		S_s -8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	58.4	52.3	61.4	54.6	59.5	58.9	71.7	74.4	61.4	70.1	72.1	73.6
	2	146	138	147	144	143	147	168	178	147	171	171	175
	3	336	294	389	304	353	351	384	419	389	349	394	379
	4	361	353	370	377	352	366	374	387	370	391	363	370
	5	413	404	422	434	402	418	424	438	422	445	411	419
	6	529	515	563	551	518	537	537	554	563	560	526	537
	7	610	560	649	601	616	616	610	584	649	612	616	616
	8	609	594	605	624	586	609	609	594	605	624	586	609
R C V 部	11	55.8	32.3	81.4	30.1	71.8	58.0	71.3	77.4	81.4	41.2	86.1	66.6
	12	151	152	177	156	156	155	175	170	177	156	185	169
	13	221	198	260	206	237	232	244	229	260	209	261	239
	14	300	267	340	271	317	313	314	290	340	279	320	313
	15	368	345	382	373	366	368	371	364	382	382	366	368
	16	407	381	429	399	426	398	420	413	447	441	426	430

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-4 最大応答曲げモーメント一覧表（基準地震動 S_s，NS方向）（1/4）

部位	部材番号	最大応答曲げモーメント（×10 ⁶ kN・m）											
		S _s -1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	1.06	1.13	0.859	1.06	1.03	1.05	1.06	1.13	0.891	1.06	1.03	1.05
	2	3.37	3.57	2.70	3.53	3.29	3.28	3.37	3.57	2.70	3.53	3.29	3.28
	3	7.65	8.16	6.15	7.72	7.60	7.32	7.65	8.16	6.15	7.72	7.60	7.32
	4	10.2	10.7	8.58	10.5	10.0	9.79	10.2	10.7	8.58	10.5	10.0	9.79
	5	12.9	13.5	11.2	13.4	12.6	12.4	12.9	13.5	11.2	13.4	12.6	12.4
	6	17.1	17.9	15.4	17.8	16.7	16.4	17.1	17.9	15.4	17.8	16.7	16.4
	7	19.9	20.5	18.1	20.6	19.5	19.3	19.9	20.5	18.1	20.6	19.5	19.3
	8	20.5	20.6	20.3	21.0	20.1	21.3	20.5	20.6	20.9	21.0	20.1	21.3
RCV部	11	0.526	0.592	0.376	0.321	0.644	0.469	0.526	0.592	0.638	0.321	0.644	0.469
	12	2.06	2.08	1.67	2.17	2.01	2.08	2.06	2.08	1.68	2.17	2.01	2.08
	13	3.88	4.19	3.24	3.98	3.93	3.86	3.88	4.19	3.24	3.98	3.93	3.86
	14	6.39	6.79	5.61	6.14	6.56	6.24	6.39	6.79	5.91	6.14	6.56	6.24
	15	8.84	9.38	8.14	8.43	9.05	8.81	8.84	9.38	8.89	8.43	9.05	8.81
	16	11.0	11.4	10.7	11.0	11.2	11.0	11.2	11.4	12.1	11.0	11.6	11.5

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-4 最大応答曲げモーメント一覧表（基準地震動 S_s ，NS方向）（2/4）

部位	部材番号	最大応答曲げモーメント（ $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ ）											
		S_s-2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	0.676	0.720	0.700	0.676	0.682	0.702	1.06	1.13	0.891	1.06	1.03	1.05
	2	2.32	2.44	2.41	2.32	2.33	2.43	3.37	3.57	2.70	3.53	3.29	3.28
	3	4.97	5.28	5.12	4.98	4.99	5.18	7.65	8.16	6.15	7.72	7.60	7.32
	4	6.80	7.23	6.97	6.81	6.82	7.06	10.2	10.7	8.58	10.5	10.0	9.79
	5	8.63	9.22	8.80	8.65	8.64	8.90	12.9	13.5	11.2	13.4	12.6	12.4
	6	11.8	12.0	11.9	11.5	11.9	12.1	17.1	17.9	15.4	17.8	16.7	16.4
	7	14.4	13.6	14.9	14.0	14.5	15.2	19.9	20.5	18.1	20.6	19.5	19.3
	8	16.1	14.3	16.9	15.6	16.2	17.5	20.5	20.6	20.9	21.0	20.1	21.3
RCV部	11	0.258	0.260	0.269	0.254	0.251	0.275	0.526	0.592	0.638	0.321	0.644	0.469
	12	1.71	1.80	1.68	1.68	1.71	1.77	2.06	2.08	1.68	2.17	2.01	2.08
	13	3.06	3.24	3.01	3.02	3.06	3.15	3.88	4.19	3.24	3.98	3.93	3.86
	14	4.75	5.08	4.68	4.74	4.74	4.89	6.39	6.79	5.91	6.14	6.56	6.24
	15	6.48	6.50	6.49	6.70	6.49	6.68	8.84	9.38	8.89	8.43	9.05	8.81
	16	8.87	8.38	8.82	8.94	8.88	9.08	11.2	11.4	12.1	11.0	11.6	11.5

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-4 最大応答曲げモーメント一覧表（基準地震動 S_s ，NS方向）（3/4）

部位	部 材 番 号	最大応答曲げモーメント（ $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ ）											
		S_s-3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	0.638	0.649	0.692	0.611	0.652	0.643	1.06	1.13	0.891	1.06	1.03	1.05
	2	2.12	2.12	2.19	2.05	2.16	2.25	3.37	3.57	2.70	3.53	3.29	3.28
	3	4.75	4.41	4.90	4.57	4.86	5.02	7.65	8.16	6.15	7.72	7.60	7.32
	4	6.68	6.27	6.95	6.43	6.83	7.00	10.2	10.7	8.58	10.5	10.0	9.79
	5	8.84	8.44	9.33	8.50	9.04	9.15	12.9	13.5	11.2	13.4	12.6	12.4
	6	12.3	11.9	13.1	11.9	12.6	12.6	17.1	17.9	15.4	17.8	16.7	16.4
	7	15.0	14.3	16.2	14.5	15.2	15.4	19.9	20.5	18.1	20.6	19.5	19.3
	8	16.3	15.2	18.4	15.8	16.4	17.1	20.5	20.6	20.9	21.0	20.1	21.3
R C V 部	11	0.257	0.250	0.248	0.250	0.256	0.268	0.526	0.592	0.638	0.321	0.644	0.469
	12	1.47	1.43	1.52	1.46	1.46	1.54	2.06	2.08	1.68	2.17	2.01	2.08
	13	2.81	2.74	2.85	2.79	2.77	2.89	3.88	4.19	3.24	3.98	3.93	3.86
	14	4.74	4.68	4.76	4.75	4.70	4.77	6.39	6.79	5.91	6.14	6.56	6.24
	15	6.67	6.56	7.06	6.73	6.71	6.71	8.84	9.38	8.89	8.43	9.05	8.81
	16	8.78	8.94	9.52	8.96	8.77	8.93	11.2	11.4	12.1	11.0	11.6	11.5

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-4 最大応答曲げモーメント一覧表（基準地震動 S_s，NS方向）（4/4）

部位	部材番号	最大応答曲げモーメント（×10 ⁶ kN・m）											
		S _s -8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	0.830	0.717	0.891	0.735	0.863	0.812	1.06	1.13	0.891	1.06	1.03	1.05
	2	2.52	2.19	2.68	2.22	2.62	2.37	3.37	3.57	2.70	3.53	3.29	3.28
	3	5.57	5.05	5.80	5.23	5.70	5.39	7.65	8.16	6.15	7.72	7.60	7.32
	4	7.79	7.21	8.02	7.50	7.86	7.63	10.2	10.7	8.58	10.5	10.0	9.79
	5	10.3	9.71	10.5	10.2	10.3	10.2	12.9	13.5	11.2	13.4	12.6	12.4
	6	14.4	13.8	14.5	14.5	14.2	14.3	17.1	17.9	15.4	17.8	16.7	16.4
	7	17.3	16.5	17.8	17.6	17.1	17.6	19.9	20.5	18.1	20.6	19.5	19.3
	8	18.8	17.6	20.9	19.1	18.5	20.5	20.5	20.6	20.9	21.0	20.1	21.3
RCV部	11	0.408	0.297	0.638	0.288	0.570	0.443	0.526	0.592	0.638	0.321	0.644	0.469
	12	1.51	1.46	1.55	1.58	1.45	1.58	2.06	2.08	1.68	2.17	2.01	2.08
	13	2.89	2.81	2.96	3.05	2.82	3.01	3.88	4.19	3.24	3.98	3.93	3.86
	14	5.56	5.07	5.91	5.18	5.70	5.67	6.39	6.79	5.91	6.14	6.56	6.24
	15	8.26	7.74	8.89	8.01	8.35	8.50	8.84	9.38	8.89	8.43	9.05	8.81
	16	11.2	10.5	12.1	11.0	11.6	11.5	11.2	11.4	12.1	11.0	11.6	11.5

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-5 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（1/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s^2)											
		Ss-1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	16.6	18.3	13.4	17.1	16.4	16.1	16.6	18.3	15.0	17.1	16.4	16.1
	2	12.6	13.3	11.3	12.8	12.0	12.0	12.6	13.3	11.7	12.8	12.0	12.2
	3	10.3	11.0	9.81	10.4	10.5	10.1	11.0	11.0	10.8	10.4	10.8	11.3
	4	8.98	8.83	8.60	8.93	9.41	8.85	9.77	8.83	9.63	9.38	9.87	9.74
	5	8.13	8.24	7.95	8.04	8.21	8.22	9.21	8.51	8.75	9.09	9.22	9.21
	6	7.66	7.53	6.87	7.59	7.59	7.66	8.42	8.64	8.24	8.56	8.46	8.70
	7	6.81	6.58	6.88	6.95	6.93	6.64	7.88	7.92	7.77	7.93	8.07	7.96
	8	6.97	6.33	6.81	6.57	6.88	6.63	8.28	8.10	7.65	8.06	8.39	8.07
RCV部	11	10.3	11.0	9.81	10.4	10.5	10.1	11.0	11.0	10.8	10.4	10.8	11.3
	12	8.98	8.83	8.60	8.93	9.41	8.85	9.77	8.83	9.63	9.38	9.87	9.74
	13	8.13	8.24	7.95	8.04	8.21	8.22	9.21	8.51	8.75	9.09	9.22	9.21
	14	7.66	7.53	6.87	7.59	7.59	7.66	8.42	8.64	8.24	8.56	8.46	8.70
	15	6.81	6.58	6.88	6.95	6.93	6.64	7.88	7.92	7.77	7.93	8.07	7.96
	16	6.97	6.33	6.81	6.57	6.88	6.63	8.28	8.10	7.65	8.06	8.39	8.07
基礎 上端	5.89	5.83	6.67	5.95	5.88	5.98	7.26	6.70	6.67	7.16	7.19	6.91	

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-5 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（2/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s^2)											
		Ss-2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	14.4	12.4	15.0	13.7	13.8	14.6	16.6	18.3	15.0	17.1	16.4	16.1
	2	11.6	9.62	11.7	11.1	11.6	12.2	12.6	13.3	11.7	12.8	12.0	12.2
	3	11.0	9.08	10.8	10.3	10.8	11.3	11.0	11.0	10.8	10.4	10.8	11.3
	4	9.77	8.70	9.63	9.38	9.87	9.74	9.77	8.83	9.63	9.38	9.87	9.74
	5	9.21	8.51	8.66	9.09	9.22	9.21	9.21	8.51	8.75	9.09	9.22	9.21
	6	8.42	8.64	7.63	8.56	8.46	8.70	8.42	8.64	8.24	8.56	8.46	8.70
	7	7.88	7.92	7.77	7.93	8.07	7.96	7.88	7.92	7.77	7.93	8.07	7.96
	8	8.28	8.10	7.65	8.06	8.39	8.07	8.28	8.10	7.65	8.06	8.39	8.07
RCV部	11	11.0	9.08	10.8	10.3	10.8	11.3	11.0	11.0	10.8	10.4	10.8	11.3
	12	9.77	8.70	9.63	9.38	9.87	9.74	9.77	8.83	9.63	9.38	9.87	9.74
	13	9.21	8.51	8.66	9.09	9.22	9.21	9.21	8.51	8.75	9.09	9.22	9.21
	14	8.42	8.64	7.63	8.56	8.46	8.70	8.42	8.64	8.24	8.56	8.46	8.70
	15	7.88	7.92	7.77	7.93	8.07	7.96	7.88	7.92	7.77	7.93	8.07	7.96
	16	8.28	8.10	7.65	8.06	8.39	8.07	8.28	8.10	7.65	8.06	8.39	8.07
基礎 上端		7.26	6.70	6.27	7.16	7.19	6.91	7.26	6.70	6.67	7.16	7.19	6.91

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-5 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（3/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s^2)											
		Ss-3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	10.2	10.1	11.1	9.80	10.3	10.4	16.6	18.3	15.0	17.1	16.4	16.1
	2	8.44	8.43	9.07	8.23	8.54	8.45	12.6	13.3	11.7	12.8	12.0	12.2
	3	7.56	7.64	8.15	7.44	7.63	7.67	11.0	11.0	10.8	10.4	10.8	11.3
	4	6.78	6.62	7.20	6.69	6.77	6.81	9.77	8.83	9.63	9.38	9.87	9.74
	5	6.17	6.28	6.65	6.13	6.21	6.38	9.21	8.51	8.75	9.09	9.22	9.21
	6	5.90	6.20	6.13	5.80	5.93	6.00	8.42	8.64	8.24	8.56	8.46	8.70
	7	5.63	5.90	5.43	5.61	5.62	5.63	7.88	7.92	7.77	7.93	8.07	7.96
	8	5.68	5.58	5.40	5.60	5.70	5.79	8.28	8.10	7.65	8.06	8.39	8.07
RCV部	11	7.56	7.64	8.15	7.44	7.63	7.67	11.0	11.0	10.8	10.4	10.8	11.3
	12	6.78	6.62	7.20	6.69	6.77	6.81	9.77	8.83	9.63	9.38	9.87	9.74
	13	6.17	6.28	6.65	6.13	6.21	6.38	9.21	8.51	8.75	9.09	9.22	9.21
	14	5.90	6.20	6.13	5.80	5.93	6.00	8.42	8.64	8.24	8.56	8.46	8.70
	15	5.63	5.90	5.43	5.61	5.62	5.63	7.88	7.92	7.77	7.93	8.07	7.96
	16	5.68	5.58	5.40	5.60	5.70	5.79	8.28	8.10	7.65	8.06	8.39	8.07
基礎 上端		6.18	5.81	6.03	6.11	6.21	6.30	7.26	6.70	6.67	7.16	7.19	6.91

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-5 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（4/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s^2)											
		Ss-8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	13.5	12.5	14.2	12.9	13.6	13.3	16.6	18.3	15.0	17.1	16.4	16.1
	2	10.7	10.3	11.0	10.7	10.6	10.8	12.6	13.3	11.7	12.8	12.0	12.2
	3	9.46	9.28	10.2	9.64	9.84	9.66	11.0	11.0	10.8	10.4	10.8	11.3
	4	8.98	8.10	9.36	8.48	8.99	9.00	9.77	8.83	9.63	9.38	9.87	9.74
	5	8.24	7.41	8.75	7.90	8.21	8.36	9.21	8.51	8.75	9.09	9.22	9.21
	6	7.43	6.73	8.24	7.28	7.41	7.53	8.42	8.64	8.24	8.56	8.46	8.70
	7	6.39	5.95	7.00	6.53	6.50	6.51	7.88	7.92	7.77	7.93	8.07	7.96
	8	5.63	5.35	6.49	5.82	5.76	5.78	8.28	8.10	7.65	8.06	8.39	8.07
RCV部	11	9.46	9.28	10.2	9.64	9.84	9.66	11.0	11.0	10.8	10.4	10.8	11.3
	12	8.98	8.10	9.36	8.48	8.99	9.00	9.77	8.83	9.63	9.38	9.87	9.74
	13	8.24	7.41	8.75	7.90	8.21	8.36	9.21	8.51	8.75	9.09	9.22	9.21
	14	7.43	6.73	8.24	7.28	7.41	7.53	8.42	8.64	8.24	8.56	8.46	8.70
	15	6.39	5.95	7.00	6.53	6.50	6.51	7.88	7.92	7.77	7.93	8.07	7.96
	16	5.63	5.35	6.49	5.82	5.76	5.78	8.28	8.10	7.65	8.06	8.39	8.07
基礎 上端		5.05	4.92	5.40	5.21	5.15	5.01	7.26	6.70	6.67	7.16	7.19	6.91

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-6 最大応答変位一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（1/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		Ss-1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	53.1	44.3	62.0	50.5	54.4	61.0	61.6	44.5	73.6	57.7	64.1	71.6
	2	44.7	37.1	52.0	42.4	46.0	51.0	52.2	37.8	61.9	48.7	54.7	60.1
	3	40.0	33.0	46.3	37.8	41.1	45.2	46.9	34.0	55.3	43.6	49.2	53.7
	4	33.7	27.7	38.9	31.8	34.8	37.7	39.8	28.9	46.5	36.9	42.1	45.2
	5	29.2	23.9	33.8	27.6	30.2	32.5	34.9	25.2	40.4	32.2	36.9	39.2
	6	24.3	19.6	28.2	23.0	25.2	26.8	29.4	21.2	34.2	27.1	31.2	32.6
	7	17.5	13.9	21.5	16.9	17.9	18.9	21.1	15.4	25.2	19.9	22.0	23.1
	8	12.2	9.35	16.0	11.9	12.3	13.1	14.2	10.6	18.0	14.0	14.5	15.2
RCV部	11	40.0	33.0	46.3	37.8	41.1	45.2	46.9	34.0	55.3	43.6	49.2	53.7
	12	33.7	27.7	38.9	31.8	34.8	37.7	39.8	28.9	46.5	36.9	42.1	45.2
	13	29.2	23.9	33.8	27.6	30.2	32.5	34.9	25.2	40.4	32.2	36.9	39.2
	14	24.3	19.6	28.2	23.0	25.2	26.8	29.4	21.2	34.2	27.1	31.2	32.6
	15	17.5	13.9	21.5	16.9	17.9	18.9	21.1	15.4	25.2	19.9	22.0	23.1
	16	12.2	9.35	16.0	11.9	12.3	13.1	14.2	10.6	18.0	14.0	14.5	15.2
基礎 上端		8.10	5.59	10.9	8.02	8.09	8.40	9.34	6.07	11.7	8.77	8.31	8.64

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-6 最大応答変位一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（2/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		Ss-2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	61.6	44.5	73.6	57.7	64.1	71.6	61.6	44.5	73.6	57.7	64.1	71.6
	2	52.2	37.8	61.9	48.7	54.7	60.1	52.2	37.8	61.9	48.7	54.7	60.1
	3	46.9	34.0	55.3	43.6	49.2	53.7	46.9	34.0	55.3	43.6	49.2	53.7
	4	39.8	28.9	46.5	36.9	42.1	45.2	39.8	28.9	46.5	36.9	42.1	45.2
	5	34.9	25.2	40.3	32.2	36.9	39.2	34.9	25.2	40.4	32.2	36.9	39.2
	6	29.4	21.2	33.5	27.1	31.2	32.6	29.4	21.2	34.2	27.1	31.2	32.6
	7	21.1	15.4	23.8	19.9	22.0	23.1	21.1	15.4	25.2	19.9	22.0	23.1
	8	14.2	10.6	16.0	14.0	14.5	15.2	14.2	10.6	18.0	14.0	14.5	15.2
RCV部	11	46.9	34.0	55.3	43.6	49.2	53.7	46.9	34.0	55.3	43.6	49.2	53.7
	12	39.8	28.9	46.5	36.9	42.1	45.2	39.8	28.9	46.5	36.9	42.1	45.2
	13	34.9	25.2	40.3	32.2	36.9	39.2	34.9	25.2	40.4	32.2	36.9	39.2
	14	29.4	21.2	33.5	27.1	31.2	32.6	29.4	21.2	34.2	27.1	31.2	32.6
	15	21.1	15.4	23.8	19.9	22.0	23.1	21.1	15.4	25.2	19.9	22.0	23.1
	16	14.2	10.6	16.0	14.0	14.5	15.2	14.2	10.6	18.0	14.0	14.5	15.2
基礎 上端		8.50	6.07	9.89	8.77	8.31	8.64	9.34	6.07	11.7	8.77	8.31	8.64

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-6 最大応答変位一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（3/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		Ss-3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	36.9	30.9	52.7	35.4	37.6	42.2	61.6	44.5	73.6	57.7	64.1	71.6
	2	30.9	25.9	44.5	29.7	31.6	35.2	52.2	37.8	61.9	48.7	54.7	60.1
	3	27.5	23.1	39.8	26.5	28.1	31.3	46.9	34.0	55.3	43.6	49.2	53.7
	4	23.2	19.4	33.9	22.3	23.7	26.2	39.8	28.9	46.5	36.9	42.1	45.2
	5	20.2	16.8	29.8	19.4	20.6	22.7	34.9	25.2	40.4	32.2	36.9	39.2
	6	17.0	13.9	25.4	16.4	17.3	19.0	29.4	21.2	34.2	27.1	31.2	32.6
	7	12.7	9.88	19.5	12.3	12.8	13.9	21.1	15.4	25.2	19.9	22.0	23.1
	8	9.04	6.61	14.7	8.94	9.07	9.74	14.2	10.6	18.0	14.0	14.5	15.2
R C V 部	11	27.5	23.1	39.8	26.5	28.1	31.3	46.9	34.0	55.3	43.6	49.2	53.7
	12	23.2	19.4	33.9	22.3	23.7	26.2	39.8	28.9	46.5	36.9	42.1	45.2
	13	20.2	16.8	29.8	19.4	20.6	22.7	34.9	25.2	40.4	32.2	36.9	39.2
	14	17.0	13.9	25.4	16.4	17.3	19.0	29.4	21.2	34.2	27.1	31.2	32.6
	15	12.7	9.88	19.5	12.3	12.8	13.9	21.1	15.4	25.2	19.9	22.0	23.1
	16	9.04	6.61	14.7	8.94	9.07	9.74	14.2	10.6	18.0	14.0	14.5	15.2
基礎 上端		5.67	3.67	10.4	5.76	5.62	5.87	9.34	6.07	11.7	8.77	8.31	8.64

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-6 最大応答変位一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（4/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		Ss-8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	53.9	39.3	71.8	50.0	54.0	60.7	61.6	44.5	73.6	57.7	64.1	71.6
	2	45.8	33.3	60.6	42.2	45.7	51.1	52.2	37.8	61.9	48.7	54.7	60.1
	3	41.1	29.8	54.2	37.7	41.0	45.6	46.9	34.0	55.3	43.6	49.2	53.7
	4	35.1	25.1	46.1	32.0	34.9	38.4	39.8	28.9	46.5	36.9	42.1	45.2
	5	30.9	21.8	40.4	28.0	30.6	33.5	34.9	25.2	40.4	32.2	36.9	39.2
	6	26.3	18.2	34.2	23.6	25.8	28.0	29.4	21.2	34.2	27.1	31.2	32.6
	7	19.6	13.1	25.2	17.6	18.8	20.4	21.1	15.4	25.2	19.9	22.0	23.1
	8	14.2	8.91	18.0	12.6	13.0	14.1	14.2	10.6	18.0	14.0	14.5	15.2
RCV部	11	41.1	29.8	54.2	37.7	41.0	45.6	46.9	34.0	55.3	43.6	49.2	53.7
	12	35.1	25.1	46.1	32.0	34.9	38.4	39.8	28.9	46.5	36.9	42.1	45.2
	13	30.9	21.8	40.4	28.0	30.6	33.5	34.9	25.2	40.4	32.2	36.9	39.2
	14	26.3	18.2	34.2	23.6	25.8	28.0	29.4	21.2	34.2	27.1	31.2	32.6
	15	19.6	13.1	25.2	17.6	18.8	20.4	21.1	15.4	25.2	19.9	22.0	23.1
	16	14.2	8.91	18.0	12.6	13.0	14.1	14.2	10.6	18.0	14.0	14.5	15.2
基礎 上端		9.34	5.17	11.7	8.07	8.02	8.52	9.34	6.07	11.7	8.77	8.31	8.64

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-7 最大応答せん断力一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（1/4）

部位	部 材 番 号	最大応答せん断力（ $\times 10^3 \text{kN}$ ）											
		S_s-1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	66.9	73.5	54.5	69.2	66.2	65.1	66.9	73.5	60.0	69.2	66.2	65.1
	2	170	180	146	174	164	161	170	180	154	174	164	161
	3	305	334	252	298	311	295	305	334	310	298	311	318
	4	324	340	282	314	313	308	329	340	325	329	315	333
	5	423	439	401	433	408	419	431	439	426	463	414	435
	6	501	514	480	530	489	499	541	514	536	553	557	545
	7	586	586	559	620	582	582	641	600	605	651	642	631
	8	680	676	655	714	654	672	715	723	684	758	699	704
R C V 部	11	76.3	73.3	74.8	81.2	75.6	80.5	80.4	77.6	77.9	82.5	81.0	82.2
	12	226	236	228	239	245	232	241	236	245	248	259	252
	13	244	233	225	249	266	239	272	234	279	258	302	284
	14	346	331	340	313	346	351	379	339	369	367	378	379
	15	430	392	380	401	418	422	453	445	430	462	443	449
	16	392	375	393	399	387	365	425	434	416	427	422	423

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-7 最大応答せん断力一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（2/4）

部位	部材番号	最大応答せん断力（ $\times 10^3 \text{kN}$ ）											
		S_s-2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	58.3	48.9	60.0	55.3	55.5	59.0	66.9	73.5	60.0	69.2	66.2	65.1
	2	154	126	154	145	151	158	170	180	154	174	164	161
	3	300	241	310	286	300	318	305	334	310	298	311	318
	4	329	283	325	329	315	333	329	340	325	329	315	333
	5	431	412	426	463	414	435	431	439	426	463	414	435
	6	541	504	536	553	557	545	541	514	536	553	557	545
	7	641	600	605	651	642	631	641	600	605	651	642	631
	8	715	723	684	758	699	704	715	723	684	758	699	704
RCV部	11	80.4	77.5	77.9	82.5	81.0	81.2	80.4	77.6	77.9	82.5	81.0	82.2
	12	241	224	245	248	259	252	241	236	245	248	259	252
	13	272	234	279	258	302	284	272	234	279	258	302	284
	14	379	339	369	367	378	379	379	339	369	367	378	379
	15	453	445	430	462	443	449	453	445	430	462	443	449
	16	425	434	416	427	422	423	425	434	416	427	422	423

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-7 最大応答せん断力一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（3/4）

部位	部 材 番 号	最大応答せん断力（ $\times 10^3 \text{kN}$ ）											
		Ss-3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	40.8	40.4	44.8	39.4	41.3	41.6	66.9	73.5	60.0	69.2	66.2	65.1
	2	110	109	118	107	111	109	170	180	154	174	164	161
	3	184	184	200	179	188	184	305	334	310	298	311	318
	4	214	213	230	209	218	214	329	340	325	329	315	333
	5	306	306	329	301	310	307	431	439	426	463	414	435
	6	430	426	447	425	430	432	541	514	536	553	557	545
	7	491	472	512	484	494	501	641	600	605	651	642	631
	8	580	554	591	578	581	581	715	723	684	758	699	704
R C V 部	11	65.0	61.6	68.0	63.5	64.7	66.0	80.4	77.6	77.9	82.5	81.0	82.2
	12	195	192	206	192	195	197	241	236	245	248	259	252
	13	200	195	211	197	198	202	272	234	279	258	302	284
	14	231	229	249	229	229	235	379	339	369	367	378	379
	15	308	298	311	305	310	316	453	445	430	462	443	449
	16	327	318	341	328	327	327	425	434	416	427	422	423

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-7 最大応答せん断力一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（4/4）

部位	部 材 番 号	最大応答せん断力（ $\times 10^3 \text{kN}$ ）											
		S_s-8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	54.0	49.1	57.1	51.5	54.4	53.1	66.9	73.5	60.0	69.2	66.2	65.1
	2	138	130	145	138	137	140	170	180	154	174	164	161
	3	240	219	251	231	250	242	305	334	310	298	311	318
	4	288	260	310	270	302	293	329	340	325	329	315	333
	5	414	378	412	393	399	417	431	439	426	463	414	435
	6	497	488	517	521	484	500	541	514	536	553	557	545
	7	581	573	593	615	568	585	641	600	605	651	642	631
	8	678	650	670	685	651	678	715	723	684	758	699	704
R C V 部	11	78.7	77.6	77.9	80.3	75.8	82.2	80.4	77.6	77.9	82.5	81.0	82.2
	12	232	230	229	242	227	237	241	236	245	248	259	252
	13	234	232	259	245	230	239	272	234	279	258	302	284
	14	337	304	367	303	346	349	379	339	369	367	378	379
	15	406	338	429	360	413	416	453	445	430	462	443	449
	16	367	336	382	353	381	363	425	434	416	427	422	423

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-8 最大応答曲げモーメント一覧表（基準地震動 S_s，EW方向）（1/4）

部位	部材番号	最大応答曲げモーメント（×10 ⁶ kN・m）											
		S _s -1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	1.21	1.31	0.954	1.21	1.23	1.16	1.21	1.31	1.05	1.21	1.23	1.16
	2	3.17	3.29	2.52	3.16	3.17	3.03	3.17	3.29	2.69	3.16	3.17	3.03
	3	6.45	6.72	5.22	6.33	6.49	6.19	6.45	6.72	5.60	6.33	6.49	6.19
	4	8.81	9.11	7.24	8.62	8.81	8.40	8.81	9.11	7.64	8.62	8.81	8.40
	5	11.7	12.0	9.83	11.5	11.6	11.2	11.7	12.0	10.1	11.5	11.6	11.2
	6	15.9	16.4	13.8	15.9	15.6	15.2	15.9	16.4	14.2	15.9	15.6	15.2
	7	18.7	18.9	16.7	18.8	18.2	18.4	18.7	18.9	17.9	18.8	18.2	18.4
	8	19.3	19.0	18.9	19.5	19.0	20.5	19.9	19.0	21.2	20.1	19.9	21.4
RCV部	11	1.50	1.37	1.35	1.58	1.41	1.63	1.50	1.37	1.35	1.58	1.41	1.63
	12	2.94	2.93	2.51	2.53	3.21	3.02	3.25	2.93	3.49	2.98	3.38	3.32
	13	1.49	1.70	1.47	1.81	1.56	1.78	1.56	1.76	1.49	1.81	1.58	1.78
	14	4.49	4.49	4.04	4.66	4.39	4.62	4.49	4.49	4.04	4.66	4.39	4.62
	15	6.97	7.37	6.37	6.85	7.11	6.84	7.13	7.37	7.45	7.10	7.13	7.38
	16	9.50	9.07	9.06	9.11	9.56	9.49	10.3	9.36	10.1	10.1	10.2	10.3

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-8 最大応答曲げモーメント一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（2/4）

部位	部材番号	最大応答曲げモーメント（ $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ ）											
		Ss-2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	1.04	0.871	1.05	1.00	0.956	1.05	1.21	1.31	1.05	1.21	1.23	1.16
	2	2.63	2.24	2.69	2.55	2.47	2.74	3.17	3.29	2.69	3.16	3.17	3.03
	3	5.40	4.57	5.60	5.23	5.27	5.76	6.45	6.72	5.60	6.33	6.49	6.19
	4	7.43	6.33	7.64	7.31	7.23	7.93	8.81	9.11	7.64	8.62	8.81	8.40
	5	9.95	8.63	10.1	9.99	9.68	10.6	11.7	12.0	10.1	11.5	11.6	11.2
	6	13.9	12.1	14.2	14.0	13.8	14.7	15.9	16.4	14.2	15.9	15.6	15.2
	7	17.3	14.8	17.9	17.3	17.3	18.3	18.7	18.9	17.9	18.8	18.2	18.4
	8	19.9	17.0	21.2	20.1	19.9	21.4	19.9	19.0	21.2	20.1	19.9	21.4
RCV部	11	1.21	1.34	1.05	1.14	1.25	1.22	1.50	1.37	1.35	1.58	1.41	1.63
	12	3.25	2.65	3.49	2.98	3.38	3.32	3.25	2.93	3.49	2.98	3.38	3.32
	13	1.56	1.76	1.44	1.46	1.58	1.56	1.56	1.76	1.49	1.81	1.58	1.78
	14	3.88	3.67	4.00	3.79	3.87	4.15	4.49	4.49	4.04	4.66	4.39	4.62
	15	7.13	6.40	7.45	7.10	7.13	7.38	7.13	7.37	7.45	7.10	7.13	7.38
	16	10.3	9.36	10.1	10.1	10.2	10.3	10.3	9.36	10.1	10.1	10.2	10.3

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-8 最大応答曲げモーメント一覧表（基準地震動 S_s ，EW方向）（3/4）

部位	部材番号	最大応答曲げモーメント（ $\times 10^6 \text{kN}\cdot\text{m}$ ）											
		Ss-3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	0.732	0.685	0.760	0.706	0.742	0.768	1.21	1.31	1.05	1.21	1.23	1.16
	2	1.92	1.78	1.98	1.87	1.94	2.04	3.17	3.29	2.69	3.16	3.17	3.03
	3	3.82	3.58	3.98	3.73	3.88	4.04	6.45	6.72	5.60	6.33	6.49	6.19
	4	5.29	4.99	5.51	5.16	5.36	5.58	8.81	9.11	7.64	8.62	8.81	8.40
	5	7.20	6.95	7.57	7.02	7.31	7.51	11.7	12.0	10.1	11.5	11.6	11.2
	6	10.5	10.3	11.2	10.2	10.6	10.7	15.9	16.4	14.2	15.9	15.6	15.2
	7	13.1	12.6	14.3	12.8	13.3	13.5	18.7	18.9	17.9	18.8	18.2	18.4
	8	14.9	14.1	17.0	14.7	15.0	15.7	19.9	19.0	21.2	20.1	19.9	21.4
RCV部	11	0.920	0.963	0.952	0.891	0.943	1.07	1.50	1.37	1.35	1.58	1.41	1.63
	12	1.55	1.48	1.62	1.47	1.65	1.60	3.25	2.93	3.49	2.98	3.38	3.32
	13	1.25	1.33	1.24	1.27	1.25	1.34	1.56	1.76	1.49	1.81	1.58	1.78
	14	3.31	3.39	3.35	3.30	3.28	3.33	4.49	4.49	4.04	4.66	4.39	4.62
	15	5.46	5.49	5.64	5.46	5.40	5.47	7.13	7.37	7.45	7.10	7.13	7.38
	16	7.47	7.48	7.85	7.51	7.39	7.47	10.3	9.36	10.1	10.1	10.2	10.3

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-8 最大応答曲げモーメント一覧表（基準地震動 S_s，EW方向）（4/4）

部位	部材番号	最大応答曲げモーメント（×10 ⁶ kN・m）											
		S _s -8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	0.855	0.741	0.948	0.755	0.883	0.782	1.21	1.31	1.05	1.21	1.23	1.16
	2	2.13	1.89	2.34	1.97	2.20	2.03	3.17	3.29	2.69	3.16	3.17	3.03
	3	4.35	3.97	4.66	4.16	4.44	4.30	6.45	6.72	5.60	6.33	6.49	6.19
	4	6.13	5.63	6.44	5.88	6.25	6.10	8.81	9.11	7.64	8.62	8.81	8.40
	5	8.66	8.01	8.98	8.35	8.73	8.65	11.7	12.0	10.1	11.5	11.6	11.2
	6	12.6	11.9	12.9	12.5	12.6	12.6	15.9	16.4	14.2	15.9	15.6	15.2
	7	15.7	14.9	16.3	15.9	15.4	16.1	18.7	18.9	17.9	18.8	18.2	18.4
	8	17.8	16.7	19.8	18.1	17.5	19.5	19.9	19.0	21.2	20.1	19.9	21.4
R C V 部	11	0.982	0.893	1.10	1.00	0.963	1.03	1.50	1.37	1.35	1.58	1.41	1.63
	12	2.62	2.16	3.07	2.21	2.80	2.72	3.25	2.93	3.49	2.98	3.38	3.32
	13	1.13	1.12	1.49	1.27	1.25	1.22	1.56	1.76	1.49	1.81	1.58	1.78
	14	3.75	3.63	3.75	3.84	3.68	3.85	4.49	4.49	4.04	4.66	4.39	4.62
	15	6.55	6.13	6.78	6.32	6.65	6.65	7.13	7.37	7.45	7.10	7.13	7.38
	16	9.20	8.67	9.84	9.00	9.47	9.37	10.3	9.36	10.1	10.1	10.2	10.3

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-9 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S_s ，鉛直方向）（1/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s^2)									
		S_s-1					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	60.8	57.8	64.6	65.9	58.1	60.8	57.8	64.6	65.9	58.1
	22	43.6	41.9	46.1	47.9	41.2	43.6	41.9	46.1	47.9	41.2
	23	23.8	22.7	26.1	25.8	23.4	23.8	22.7	26.1	25.8	23.4
外壁・RCCV部	1	9.57	9.99	8.92	9.29	9.66	9.57	9.99	8.92	9.29	9.66
	2	9.23	9.64	8.72	8.97	9.34	9.23	9.64	8.72	8.97	9.34
	3	8.93	9.33	8.59	8.77	9.01	8.93	9.33	8.59	8.77	9.01
	4	8.70	9.09	8.46	8.55	8.77	8.70	9.09	8.46	8.55	8.77
	5	8.46	8.83	8.35	8.33	8.52	8.46	8.83	8.35	8.33	8.52
	6	8.31	8.52	8.27	8.23	8.34	8.31	8.52	8.27	8.23	8.34
	7	8.08	8.02	8.17	8.06	8.09	8.08	8.02	8.17	8.06	8.09
	8	7.85	7.53	8.13	7.88	7.84	7.85	7.53	8.13	7.88	7.84
基礎 上端		7.74	7.39	8.18	7.74	7.74	7.74	7.39	8.18	7.74	7.74

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル

表3-9 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S_s ，鉛直方向）（2/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s^2)									
		Ss-2					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	36.7	30.1	43.5	35.7	36.8	60.8	57.8	64.6	65.9	58.1
	22	29.6	24.6	35.4	28.7	29.8	43.6	41.9	46.1	47.9	41.2
	23	17.2	14.7	20.0	16.8	17.2	23.8	22.7	26.1	25.8	23.4
外壁・RCCV部	1	6.02	6.26	5.32	5.86	6.08	9.57	9.99	8.92	9.29	9.66
	2	5.83	6.06	5.28	5.74	5.88	9.23	9.64	8.72	8.97	9.34
	3	5.72	5.94	5.22	5.64	5.76	8.93	9.33	8.59	8.77	9.01
	4	5.64	5.83	5.15	5.56	5.67	8.70	9.09	8.46	8.55	8.77
	5	5.55	5.73	5.07	5.47	5.58	8.46	8.83	8.35	8.33	8.52
	6	5.44	5.60	4.97	5.37	5.47	8.31	8.52	8.27	8.23	8.34
	7	5.23	5.38	4.79	5.19	5.26	8.08	8.02	8.17	8.06	8.09
	8	5.03	5.17	4.60	5.01	5.04	7.85	7.53	8.13	7.88	7.84
基礎 上端		4.82	4.95	4.41	4.83	4.83	7.74	7.39	8.18	7.74	7.74

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル

表3-9 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S_s ，鉛直方向）（3/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s^2)									
		Ss-3					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	32.2	30.0	32.3	31.8	31.9	60.8	57.8	64.6	65.9	58.1
	22	26.2	22.5	26.6	24.7	27.4	43.6	41.9	46.1	47.9	41.2
	23	15.2	13.2	16.0	14.3	15.4	23.8	22.7	26.1	25.8	23.4
外壁・RCCV部	1	6.55	6.05	6.62	6.32	6.61	9.57	9.99	8.92	9.29	9.66
	2	6.15	5.77	6.21	5.96	6.24	9.23	9.64	8.72	8.97	9.34
	3	6.01	5.76	6.23	5.93	6.06	8.93	9.33	8.59	8.77	9.01
	4	5.93	5.74	6.22	5.92	5.93	8.70	9.09	8.46	8.55	8.77
	5	5.90	5.68	6.19	5.88	5.90	8.46	8.83	8.35	8.33	8.52
	6	5.85	5.59	6.16	5.84	5.86	8.31	8.52	8.27	8.23	8.34
	7	5.81	5.52	6.12	5.79	5.83	8.08	8.02	8.17	8.06	8.09
	8	5.83	5.52	6.05	5.77	5.86	7.85	7.53	8.13	7.88	7.84
基礎 上端		5.81	5.52	6.04	5.75	5.83	7.74	7.39	8.18	7.74	7.74

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル

表3-9 最大応答加速度一覧表（基準地震動 S_s ，鉛直方向）（4/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s^2)									
		Ss-8					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	8.51	7.92	10.4	9.22	8.93	60.8	57.8	64.6	65.9	58.1
	22	7.62	6.78	9.29	7.70	8.02	43.6	41.9	46.1	47.9	41.2
	23	5.57	5.20	6.43	5.01	5.72	23.8	22.7	26.1	25.8	23.4
外壁・RCCV部	1	3.60	3.60	3.33	3.34	3.67	9.57	9.99	8.92	9.29	9.66
	2	3.12	3.11	2.89	2.96	3.17	9.23	9.64	8.72	8.97	9.34
	3	2.82	2.86	2.74	2.70	2.93	8.93	9.33	8.59	8.77	9.01
	4	2.69	2.71	2.60	2.55	2.77	8.70	9.09	8.46	8.55	8.77
	5	2.56	2.56	2.49	2.45	2.61	8.46	8.83	8.35	8.33	8.52
	6	2.40	2.38	2.45	2.36	2.42	8.31	8.52	8.27	8.23	8.34
	7	2.36	2.32	2.38	2.31	2.37	8.08	8.02	8.17	8.06	8.09
	8	2.38	2.33	2.50	2.34	2.42	7.85	7.53	8.13	7.88	7.84
基礎 上端		2.47	2.43	2.58	2.35	2.52	7.74	7.39	8.18	7.74	7.74

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル

表3-10 最大応答変位一覧表（基準地震動 S_s ，鉛直方向）（1/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)									
		Ss-1					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	105	98.1	112	113	99.3	105	98.1	112	113	99.3
	22	82.7	78.0	88.9	89.5	78.5	82.7	78.0	88.9	89.5	78.5
	23	44.0	41.5	48.3	47.3	42.5	44.0	41.5	48.3	47.3	42.5
外壁・RCCV部	1	10.7	9.00	12.9	10.4	10.7	10.7	9.00	12.9	10.4	10.7
	2	10.5	8.84	12.7	10.3	10.6	10.5	8.84	12.7	10.3	10.6
	3	10.4	8.74	12.6	10.2	10.5	10.4	8.74	12.6	10.2	10.5
	4	10.3	8.64	12.5	10.1	10.3	10.3	8.64	12.5	10.1	10.3
	5	10.2	8.52	12.4	10.1	10.2	10.2	8.52	12.4	10.1	10.2
	6	10.1	8.38	12.2	9.94	10.1	10.1	8.38	12.2	9.94	10.1
	7	9.82	8.13	12.0	9.74	9.85	9.82	8.13	12.0	9.74	9.85
	8	9.60	7.91	11.8	9.55	9.61	9.60	7.91	11.8	9.55	9.61
基礎 上端		9.36	7.70	11.6	9.35	9.36	9.36	7.70	11.6	9.35	9.36

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル

表3-10 最大応答変位一覧表（基準地震動 S_s ，鉛直方向）（2/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)									
		Ss-2					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	74.3	62.3	88.9	71.2	74.9	105	98.1	112	113	99.3
	22	60.5	50.7	72.4	57.7	61.0	82.7	78.0	88.9	89.5	78.5
	23	33.5	28.1	40.1	31.9	33.6	44.0	41.5	48.3	47.4	42.5
外壁・RCV部	1	5.52	4.73	7.42	5.42	5.57	10.7	9.00	12.9	10.4	10.7
	2	5.41	4.67	7.28	5.32	5.45	10.5	8.84	12.7	10.3	10.6
	3	5.35	4.62	7.21	5.27	5.38	10.4	8.74	12.6	10.2	10.5
	4	5.30	4.57	7.14	5.22	5.33	10.3	8.64	12.5	10.1	10.3
	5	5.24	4.53	7.08	5.17	5.27	10.2	8.52	12.4	10.1	10.2
	6	5.17	4.47	6.99	5.11	5.20	10.1	8.38	12.2	9.94	10.1
	7	5.05	4.36	6.84	5.01	5.07	9.82	8.13	12.0	9.74	9.85
	8	4.93	4.25	6.70	4.90	4.94	9.60	7.91	11.8	9.55	9.61
基礎 上端		4.82	4.13	6.55	4.80	4.82	9.36	7.70	11.6	9.35	9.36

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル

表3-10 最大応答変位一覧表（基準地震動 S_s ，鉛直方向）（3/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)									
		Ss-3					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	64.6	56.3	68.1	61.4	65.9	105	98.1	112	113	99.3
	22	52.5	45.3	56.1	51.0	53.6	82.7	78.0	88.9	89.5	78.5
	23	31.2	26.2	33.9	30.9	30.6	44.0	41.5	48.3	47.4	42.5
外壁・RCV部	1	9.48	7.51	12.0	9.36	9.53	10.7	9.00	12.9	10.4	10.7
	2	9.33	7.38	11.8	9.22	9.38	10.5	8.84	12.7	10.3	10.6
	3	9.25	7.30	11.8	9.15	9.30	10.4	8.74	12.6	10.2	10.5
	4	9.16	7.23	11.7	9.07	9.21	10.3	8.64	12.5	10.1	10.3
	5	9.08	7.15	11.6	8.99	9.12	10.2	8.52	12.4	10.1	10.2
	6	8.96	7.04	11.5	8.90	9.00	10.1	8.38	12.2	9.94	10.1
	7	8.77	6.86	11.2	8.73	8.80	9.82	8.13	12.0	9.74	9.85
	8	8.59	6.69	11.0	8.57	8.60	9.60	7.91	11.8	9.55	9.61
基礎 上端		8.40	6.52	10.8	8.40	8.40	9.36	7.70	11.6	9.35	9.36

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル

表3-10 最大応答変位一覧表（基準地震動 S_s ，鉛直方向）（4/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)									
		Ss-8					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	18.7	16.4	23.8	18.6	20.0	105	98.1	112	113	99.3
	22	15.6	13.6	19.8	15.1	16.7	82.7	78.0	88.9	89.5	78.5
	23	9.25	7.98	11.6	8.61	9.84	44.0	41.5	48.3	47.4	42.5
外壁・RCCV部	1	3.05	2.52	3.61	2.98	3.08	10.7	9.00	12.9	10.4	10.7
	2	3.00	2.48	3.56	2.94	3.03	10.5	8.84	12.7	10.3	10.6
	3	2.97	2.45	3.53	2.91	2.99	10.4	8.74	12.6	10.2	10.5
	4	2.94	2.42	3.50	2.89	2.96	10.3	8.64	12.5	10.1	10.3
	5	2.91	2.39	3.46	2.86	2.93	10.2	8.52	12.4	10.1	10.2
	6	2.86	2.35	3.42	2.82	2.88	10.1	8.38	12.2	9.94	10.1
	7	2.79	2.27	3.35	2.76	2.81	9.82	8.13	12.0	9.74	9.85
	8	2.72	2.21	3.27	2.70	2.73	9.60	7.91	11.8	9.55	9.61
基礎 上端		2.65	2.15	3.20	2.64	2.66	9.36	7.70	11.6	9.35	9.36

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル

表3-11 最大応答軸力一覧表（基準地震動 S_s ，鉛直方向）（1/4）

部位	部材番号	最大応答軸力（ $\times 10^4 \text{kN}$ ）									
		S_s-1					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
外壁・RCCV部	1	4.39	4.40	5.22	4.98	4.52	4.39	4.40	5.22	4.98	4.52
	2	11.5	11.4	11.5	11.3	11.4	11.5	11.4	11.5	11.3	11.4
	3	27.0	28.2	26.9	26.1	27.4	27.0	28.2	26.9	26.1	27.4
	4	48.2	50.5	47.6	46.7	48.7	48.2	50.5	47.6	46.7	48.7
	5	61.8	64.8	61.1	60.0	62.3	61.8	64.8	61.1	60.0	62.3
	6	85.1	89.2	84.5	83.2	85.6	85.1	89.2	84.5	83.2	85.6
	7	102	106	101	99.8	102	102	106	101	99.8	102
	8	119	122	119	117	119	119	122	119	117	119

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル

表3-11 最大応答軸力一覧表（基準地震動 S_s ，鉛直方向）（2/4）

部位	部材番号	最大応答軸力 ($\times 10^4 \text{kN}$)									
		S_s-2					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
外壁・RCCV部	1	3.40	3.07	3.82	3.56	3.30	4.39	4.40	5.22	4.98	4.52
	2	6.53	6.46	7.15	6.65	6.33	11.5	11.4	11.5	11.3	11.4
	3	16.5	17.1	15.0	16.0	16.6	27.0	28.2	26.9	26.1	27.4
	4	30.3	31.4	27.5	29.6	30.5	48.2	50.5	47.6	46.7	48.7
	5	39.2	40.7	35.7	38.4	39.5	61.8	64.8	61.1	60.0	62.3
	6	54.7	56.7	49.9	53.7	55.1	85.1	89.2	84.5	83.2	85.6
	7	65.6	67.9	59.7	64.4	66.0	102	106	101	99.8	102
	8	76.6	79.3	69.8	75.4	77.0	119	122	119	117	119

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル

表3-11 最大応答軸力一覧表（基準地震動 S_s ，鉛直方向）（3/4）

部位	部材番号	最大応答軸力 ($\times 10^4 \text{kN}$)									
		S_s-3					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
外壁・RCCV部	1	3.31	2.95	3.61	3.43	3.26	4.39	4.40	5.22	4.98	4.52
	2	8.00	7.22	8.38	8.12	8.02	11.5	11.4	11.5	11.3	11.4
	3	18.2	17.3	19.3	18.6	18.3	27.0	28.2	26.9	26.1	27.4
	4	32.7	31.3	34.5	33.1	32.7	48.2	50.5	47.6	46.7	48.7
	5	42.2	40.5	44.6	42.5	42.0	61.8	64.8	61.1	60.0	62.3
	6	58.8	56.4	62.2	59.2	58.7	85.1	89.2	84.5	83.2	85.6
	7	70.8	67.6	74.9	71.1	70.7	102	106	101	99.8	102
	8	83.4	79.2	88.4	83.8	83.3	119	122	119	117	119

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル

表3-11 最大応答軸力一覧表（基準地震動 S_s ，鉛直方向）（4/4）

部位	部材番号	最大応答軸力 ($\times 10^4 \text{kN}$)									
		S_s-8					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
外壁・RCCV部	1	1.29	1.27	1.34	1.27	1.28	4.39	4.40	5.22	4.98	4.52
	2	3.80	3.78	3.65	3.66	3.86	11.5	11.4	11.5	11.3	11.4
	3	8.80	9.00	8.58	8.42	9.16	27.0	28.2	26.9	26.1	27.4
	4	15.4	15.7	14.9	14.4	16.0	48.2	50.5	47.6	46.7	48.7
	5	19.6	19.9	18.9	18.1	20.2	61.8	64.8	61.1	60.0	62.3
	6	26.4	26.7	25.4	24.8	27.0	85.1	89.2	84.5	83.2	85.6
	7	30.7	30.9	29.7	29.3	31.3	102	106	101	99.8	102
	8	34.8	34.9	34.8	33.6	35.3	119	122	119	117	119

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル

表3-12 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動 S d, NS方向）（1/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)											
		Sd-1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	9.70	10.1	8.72	9.54	9.74	9.85	9.70	10.1	8.72	9.54	9.74	9.85
	2	6.68	7.35	6.04	6.59	6.74	6.76	6.68	7.35	6.05	6.59	6.74	6.76
	3	5.20	5.91	5.44	5.19	5.22	5.65	5.20	5.91	5.54	5.19	5.22	5.65
	4	4.56	4.54	4.70	4.48	4.59	4.91	4.56	4.54	4.94	4.48	4.59	4.91
	5	4.03	4.05	4.06	4.03	4.02	4.23	4.07	4.05	4.50	4.03	4.11	4.36
	6	3.70	3.78	3.55	3.67	3.70	3.72	3.70	3.78	4.00	3.67	3.70	3.90
	7	3.23	3.40	3.26	3.29	3.21	3.22	3.23	3.40	3.28	3.29	3.21	3.22
	8	2.99	3.10	3.17	2.96	3.02	3.14	2.99	3.10	3.17	2.96	3.02	3.14
R C C V部	11	5.20	5.91	5.44	5.19	5.22	5.65	5.20	5.91	5.54	5.19	5.22	5.65
	12	4.56	4.54	4.70	4.48	4.59	4.91	4.56	4.54	4.94	4.48	4.59	4.91
	13	4.03	4.05	4.06	4.03	4.02	4.23	4.07	4.05	4.50	4.03	4.11	4.36
	14	3.70	3.78	3.55	3.67	3.70	3.72	3.70	3.78	4.00	3.67	3.70	3.90
	15	3.23	3.40	3.26	3.29	3.21	3.22	3.23	3.40	3.28	3.29	3.21	3.22
	16	2.99	3.10	3.17	2.96	3.02	3.14	2.99	3.10	3.17	2.96	3.02	3.14
基礎 上端		3.07	2.96	3.08	3.01	3.08	3.19	3.08	2.96	3.32	3.06	3.08	3.19

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-12 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動 S d , NS方向）（2/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)											
		Sd-2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	5.33	5.76	5.48	5.24	5.37	5.47	9.70	10.1	8.72	9.54	9.74	9.85
	2	3.91	4.13	4.31	3.79	3.96	4.23	6.68	7.35	6.05	6.59	6.74	6.76
	3	3.46	3.38	3.84	3.36	3.49	3.75	5.20	5.91	5.54	5.19	5.22	5.65
	4	2.97	2.95	3.29	2.87	3.01	3.21	4.56	4.54	4.94	4.48	4.59	4.91
	5	2.65	2.68	2.92	2.57	2.67	2.83	4.07	4.05	4.50	4.03	4.11	4.36
	6	2.55	2.77	2.64	2.45	2.58	2.64	3.70	3.78	4.00	3.67	3.70	3.90
	7	2.45	2.75	2.51	2.41	2.48	2.51	3.23	3.40	3.28	3.29	3.21	3.22
	8	2.26	2.59	2.29	2.27	2.26	2.28	2.99	3.10	3.17	2.96	3.02	3.14
R C C V部	11	3.46	3.38	3.84	3.36	3.49	3.75	5.20	5.91	5.54	5.19	5.22	5.65
	12	2.97	2.95	3.29	2.87	3.01	3.21	4.56	4.54	4.94	4.48	4.59	4.91
	13	2.65	2.68	2.92	2.57	2.67	2.83	4.07	4.05	4.50	4.03	4.11	4.36
	14	2.55	2.77	2.64	2.45	2.58	2.64	3.70	3.78	4.00	3.67	3.70	3.90
	15	2.45	2.75	2.51	2.41	2.48	2.51	3.23	3.40	3.28	3.29	3.21	3.22
	16	2.26	2.59	2.29	2.27	2.26	2.28	2.99	3.10	3.17	2.96	3.02	3.14
基礎 上端		2.12	2.32	2.20	2.13	2.16	2.24	3.08	2.96	3.32	3.06	3.08	3.19

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-12 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動 S d , NS方向）（3/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)											
		Sd-3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	5.52	5.29	5.95	5.34	5.62	5.96	9.70	10.1	8.72	9.54	9.74	9.85
	2	4.50	4.44	4.70	4.36	4.57	4.75	6.68	7.35	6.05	6.59	6.74	6.76
	3	3.90	3.93	3.93	3.84	3.93	4.10	5.20	5.91	5.54	5.19	5.22	5.65
	4	3.39	3.54	3.44	3.35	3.42	3.59	4.56	4.54	4.94	4.48	4.59	4.91
	5	3.18	3.27	3.18	3.14	3.21	3.25	4.07	4.05	4.50	4.03	4.11	4.36
	6	3.11	3.21	2.93	3.09	3.13	3.14	3.70	3.78	4.00	3.67	3.70	3.90
	7	2.92	3.02	2.81	2.93	2.92	2.93	3.23	3.40	3.28	3.29	3.21	3.22
	8	2.87	2.83	3.08	2.84	2.88	2.91	2.99	3.10	3.17	2.96	3.02	3.14
R C C V部	11	3.90	3.93	3.93	3.84	3.93	4.10	5.20	5.91	5.54	5.19	5.22	5.65
	12	3.39	3.54	3.44	3.35	3.42	3.59	4.56	4.54	4.94	4.48	4.59	4.91
	13	3.18	3.27	3.18	3.14	3.21	3.25	4.07	4.05	4.50	4.03	4.11	4.36
	14	3.11	3.21	2.93	3.09	3.13	3.14	3.70	3.78	4.00	3.67	3.70	3.90
	15	2.92	3.02	2.81	2.93	2.92	2.93	3.23	3.40	3.28	3.29	3.21	3.22
	16	2.87	2.83	3.08	2.84	2.88	2.91	2.99	3.10	3.17	2.96	3.02	3.14
基礎 上端		3.08	2.82	3.32	3.06	3.08	3.13	3.08	2.96	3.32	3.06	3.08	3.19

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-12 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動 S d , NS方向）（4/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)											
		Sd-8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	6.78	6.49	7.32	6.54	6.87	7.29	9.70	10.1	8.72	9.54	9.74	9.85
	2	5.74	5.59	6.05	5.57	5.81	6.06	6.68	7.35	6.05	6.59	6.74	6.76
	3	5.07	4.96	5.54	4.97	5.11	5.35	5.20	5.91	5.54	5.19	5.22	5.65
	4	4.42	4.31	4.94	4.32	4.46	4.76	4.56	4.54	4.94	4.48	4.59	4.91
	5	4.07	3.91	4.50	4.00	4.11	4.36	4.07	4.05	4.50	4.03	4.11	4.36
	6	3.68	3.63	4.00	3.64	3.70	3.90	3.70	3.78	4.00	3.67	3.70	3.90
	7	3.13	3.22	3.28	3.13	3.14	3.22	3.23	3.40	3.28	3.29	3.21	3.22
	8	2.70	2.87	2.76	2.70	2.69	2.70	2.99	3.10	3.17	2.96	3.02	3.14
R C C V部	11	5.07	4.96	5.54	4.97	5.11	5.35	5.20	5.91	5.54	5.19	5.22	5.65
	12	4.42	4.31	4.94	4.32	4.46	4.76	4.56	4.54	4.94	4.48	4.59	4.91
	13	4.07	3.91	4.50	4.00	4.11	4.36	4.07	4.05	4.50	4.03	4.11	4.36
	14	3.68	3.63	4.00	3.64	3.70	3.90	3.70	3.78	4.00	3.67	3.70	3.90
	15	3.13	3.22	3.28	3.13	3.14	3.22	3.23	3.40	3.28	3.29	3.21	3.22
	16	2.70	2.87	2.76	2.70	2.69	2.70	2.99	3.10	3.17	2.96	3.02	3.14
基礎 上端		2.33	2.55	2.33	2.34	2.31	2.28	3.08	2.96	3.32	3.06	3.08	3.19

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-13 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 S d , NS方向）（1/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		Sd-1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	24.9	22.1	32.7	23.9	25.3	27.9	25.3	22.1	34.3	24.0	25.9	28.6
	2	20.4	17.8	27.1	19.6	20.8	22.9	21.1	17.8	28.8	20.0	21.6	23.8
	3	17.9	15.4	23.9	17.2	18.3	20.1	18.6	15.4	25.6	17.7	19.1	20.9
	4	14.9	12.6	20.0	14.3	15.2	16.6	15.6	12.6	21.7	14.8	16.0	17.5
	5	12.7	10.6	17.2	12.1	12.9	14.0	13.4	10.6	18.8	12.8	13.7	14.9
	6	10.3	8.49	14.3	9.92	10.5	11.4	11.0	8.49	15.7	10.6	11.2	12.2
	7	7.32	5.85	10.5	7.14	7.40	7.99	7.95	5.85	11.8	7.71	8.08	8.78
	8	4.90	3.68	7.29	4.86	4.92	5.30	5.34	3.73	8.50	5.26	5.38	5.85
RCV部	11	17.9	15.4	23.9	17.2	18.3	20.1	18.6	15.4	25.6	17.7	19.1	20.9
	12	14.9	12.6	20.0	14.3	15.2	16.6	15.6	12.6	21.7	14.8	16.0	17.5
	13	12.7	10.6	17.2	12.1	12.9	14.0	13.4	10.6	18.8	12.8	13.7	14.9
	14	10.3	8.49	14.3	9.92	10.5	11.4	11.0	8.49	15.7	10.6	11.2	12.2
	15	7.32	5.85	10.5	7.14	7.40	7.99	7.95	5.85	11.8	7.71	8.08	8.78
	16	4.90	3.68	7.29	4.86	4.92	5.30	5.34	3.73	8.50	5.26	5.38	5.85
基礎 上端		2.94	2.01	4.72	2.98	2.92	3.11	3.10	2.03	5.58	3.12	3.11	3.36

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-13 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 S d , NS方向）（2/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		Sd-2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	17.9	13.7	24.6	16.8	18.4	20.7	25.3	22.1	34.3	24.0	25.9	28.6
	2	15.0	11.2	20.6	14.1	15.3	17.2	21.1	17.8	28.8	20.0	21.6	23.8
	3	13.2	9.81	18.3	12.5	13.5	15.1	18.6	15.4	25.6	17.7	19.1	20.9
	4	11.1	8.10	15.6	10.5	11.4	12.7	15.6	12.6	21.7	14.8	16.0	17.5
	5	9.59	6.84	13.6	9.09	9.78	10.9	13.4	10.6	18.8	12.8	13.7	14.9
	6	7.95	5.49	11.4	7.59	8.08	8.95	11.0	8.49	15.7	10.6	11.2	12.2
	7	5.85	3.84	8.73	5.67	5.92	6.49	7.95	5.85	11.8	7.71	8.08	8.78
	8	4.06	2.52	6.38	4.01	4.08	4.42	5.34	3.73	8.50	5.26	5.38	5.85
RCV部	11	13.2	9.81	18.3	12.5	13.5	15.1	18.6	15.4	25.6	17.7	19.1	20.9
	12	11.1	8.10	15.6	10.5	11.4	12.7	15.6	12.6	21.7	14.8	16.0	17.5
	13	9.59	6.84	13.6	9.09	9.78	10.9	13.4	10.6	18.8	12.8	13.7	14.9
	14	7.95	5.49	11.4	7.59	8.08	8.95	11.0	8.49	15.7	10.6	11.2	12.2
	15	5.85	3.84	8.73	5.67	5.92	6.49	7.95	5.85	11.8	7.71	8.08	8.78
	16	4.06	2.52	6.38	4.01	4.08	4.42	5.34	3.73	8.50	5.26	5.38	5.85
基礎 上端		2.47	1.47	4.32	2.51	2.46	2.61	3.10	2.03	5.58	3.12	3.11	3.36

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-13 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 S d , NS方向）（3/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		Sd-3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	18.4	16.0	25.4	17.5	18.8	20.4	25.3	22.1	34.3	24.0	25.9	28.6
	2	15.3	13.2	21.2	14.6	15.6	16.8	21.1	17.8	28.8	20.0	21.6	23.8
	3	13.4	11.6	18.7	12.8	13.7	14.7	18.6	15.4	25.6	17.7	19.1	20.9
	4	11.2	9.62	15.7	10.7	11.4	12.2	15.6	12.6	21.7	14.8	16.0	17.5
	5	9.50	8.14	13.5	9.15	9.63	10.3	13.4	10.6	18.8	12.8	13.7	14.9
	6	7.71	6.56	11.3	7.47	7.79	8.30	11.0	8.49	15.7	10.6	11.2	12.2
	7	5.40	4.50	8.43	5.31	5.45	5.72	7.95	5.85	11.8	7.71	8.08	8.78
	8	3.61	2.77	5.99	3.60	3.62	3.81	5.34	3.73	8.50	5.26	5.38	5.85
R C V 部	11	13.4	11.6	18.7	12.8	13.7	14.7	18.6	15.4	25.6	17.7	19.1	20.9
	12	11.2	9.62	15.7	10.7	11.4	12.2	15.6	12.6	21.7	14.8	16.0	17.5
	13	9.50	8.14	13.5	9.15	9.63	10.3	13.4	10.6	18.8	12.8	13.7	14.9
	14	7.71	6.56	11.3	7.47	7.79	8.30	11.0	8.49	15.7	10.6	11.2	12.2
	15	5.40	4.50	8.43	5.31	5.45	5.72	7.95	5.85	11.8	7.71	8.08	8.78
	16	3.61	2.77	5.99	3.60	3.62	3.81	5.34	3.73	8.50	5.26	5.38	5.85
基礎 上端		2.05	1.61	3.81	2.09	2.05	2.32	3.10	2.03	5.58	3.12	3.11	3.36

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-13 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 S d , NS方向）（4/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		Sd-8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	25.3	20.1	34.3	24.0	25.9	28.6	25.3	22.1	34.3	24.0	25.9	28.6
	2	21.1	16.7	28.8	20.0	21.6	23.8	21.1	17.8	28.8	20.0	21.6	23.8
	3	18.6	14.6	25.6	17.7	19.1	20.9	18.6	15.4	25.6	17.7	19.1	20.9
	4	15.6	12.1	21.7	14.8	16.0	17.5	15.6	12.6	21.7	14.8	16.0	17.5
	5	13.4	10.3	18.8	12.8	13.7	14.9	13.4	10.6	18.8	12.8	13.7	14.9
	6	11.0	8.36	15.7	10.6	11.2	12.2	11.0	8.49	15.7	10.6	11.2	12.2
	7	7.95	5.82	11.8	7.71	8.08	8.78	7.95	5.85	11.8	7.71	8.08	8.78
	8	5.34	3.73	8.50	5.26	5.38	5.85	5.34	3.73	8.50	5.26	5.38	5.85
RCV部	11	18.6	14.6	25.6	17.7	19.1	20.9	18.6	15.4	25.6	17.7	19.1	20.9
	12	15.6	12.1	21.7	14.8	16.0	17.5	15.6	12.6	21.7	14.8	16.0	17.5
	13	13.4	10.3	18.8	12.8	13.7	14.9	13.4	10.6	18.8	12.8	13.7	14.9
	14	11.0	8.36	15.7	10.6	11.2	12.2	11.0	8.49	15.7	10.6	11.2	12.2
	15	7.95	5.82	11.8	7.71	8.08	8.78	7.95	5.85	11.8	7.71	8.08	8.78
	16	5.34	3.73	8.50	5.26	5.38	5.85	5.34	3.73	8.50	5.26	5.38	5.85
基礎 上端		3.10	2.03	5.58	3.12	3.11	3.36	3.10	2.03	5.58	3.12	3.11	3.36

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-14 最大応答せん断力一覧表（弾性設計用地震動Sd, NS方向）（1/4）

部位	部材番号	最大応答せん断力（ $\times 10^3 \text{kN}$ ）											
		Sd-1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	38.8	40.2	35.3	38.4	38.9	39.4	38.8	40.2	35.3	38.4	38.9	39.4
	2	93.6	100	84.2	92.3	94.2	94.5	93.6	100	84.2	92.3	94.2	94.5
	3	170	186	158	168	171	170	170	186	158	168	171	170
	4	199	219	198	199	199	205	199	219	204	199	199	205
	5	229	248	233	228	230	241	229	248	245	228	230	241
	6	289	296	297	287	290	308	293	296	325	288	296	313
	7	322	310	334	322	322	330	325	310	366	322	327	342
	8	311	283	320	314	309	308	312	283	348	314	313	323
RCV部	11	21.2	20.6	21.1	20.3	20.8	23.1	21.2	20.6	21.1	20.3	20.8	23.1
	12	88.1	86.5	90.7	86.2	88.2	95.3	88.1	86.5	92.8	86.2	88.2	95.3
	13	115	115	119	114	115	124	115	115	125	114	115	124
	14	142	143	147	140	143	153	143	143	159	141	145	155
	15	184	172	186	182	184	187	184	172	206	182	184	193
	16	234	213	240	238	233	232	234	213	261	238	234	242

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-14 最大応答せん断力一覧表（弾性設計用地震動Sd, NS方向）(2/4)

部位	部 材 番 号	最大応答せん断力 (×10 ³ kN)											
		Sd-2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	21.8	23.6	21.9	21.4	22.0	22.3	38.8	40.2	35.3	38.4	38.9	39.4
	2	52.5	57.9	56.5	51.9	53.0	56.0	93.6	100	84.2	92.3	94.2	94.5
	3	103	106	112	100	104	111	170	186	158	168	171	170
	4	130	127	143	126	131	140	199	219	204	199	199	205
	5	153	150	170	149	154	166	229	248	245	228	230	241
	6	197	194	220	191	200	215	293	296	325	288	296	313
	7	222	200	248	218	224	236	325	310	366	322	327	342
	8	224	202	238	221	224	228	312	283	348	314	313	323
R C V 部	11	11.9	12.7	13.5	11.0	12.0	13.1	21.2	20.6	21.1	20.3	20.8	23.1
	12	55.6	55.7	62.8	53.9	56.0	60.9	88.1	86.5	92.8	86.2	88.2	95.3
	13	73.3	73.5	82.9	71.0	74.1	80.3	115	115	125	114	115	124
	14	92.9	94.1	104	90.2	93.9	101	143	143	159	141	145	155
	15	123	114	138	121	123	130	184	172	206	182	184	193
	16	174	157	179	172	174	177	234	213	261	238	234	242

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性 (+σ) 考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性 (-σ) 考慮モデル
 ④建屋剛性 (コア強度平均) 考慮モデル ⑤建屋剛性 (-2σ) 考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-14 最大応答せん断力一覧表（弾性設計用地震動Sd, NS方向）(3/4)

部位	部材番号	最大応答せん断力 ($\times 10^3 \text{kN}$)											
		Sd-3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	22.1	21.6	23.8	21.4	22.5	23.9	38.8	40.2	35.3	38.4	38.9	39.4
	2	58.6	57.1	62.4	56.6	59.4	62.4	93.6	100	84.2	92.3	94.2	94.5
	3	115	113	120	112	116	121	170	186	158	168	171	170
	4	144	146	148	142	145	151	199	219	204	199	199	205
	5	170	175	174	167	171	177	229	248	245	228	230	241
	6	222	232	224	219	223	232	293	296	325	288	296	313
	7	242	244	268	240	242	250	325	310	366	322	327	342
	8	246	234	271	247	245	246	312	283	348	314	313	323
RCV部	11	14.2	14.6	14.0	13.7	14.1	15.4	21.2	20.6	21.1	20.3	20.8	23.1
	12	63.8	66.9	63.0	62.4	64.1	68.0	88.1	86.5	92.8	86.2	88.2	95.3
	13	85.5	89.9	84.8	83.6	85.9	90.8	115	115	125	114	115	124
	14	110	116	110	108	111	115	143	143	159	141	145	155
	15	141	139	153	140	142	144	184	172	206	182	184	193
	16	189	179	206	190	188	189	234	213	261	238	234	242

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-14 最大応答せん断力一覧表（弾性設計用地震動Sd, NS方向）（4/4）

部位	部材番号	最大応答せん断力（ $\times 10^3 \text{kN}$ ）											
		Sd-8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	26.9	25.5	29.3	25.9	27.4	29.1	38.8	40.2	35.3	38.4	38.9	39.4
	2	73.6	70.5	78.7	71.2	74.4	78.1	93.6	100	84.2	92.3	94.2	94.5
	3	148	143	158	145	149	156	170	186	158	168	171	170
	4	188	183	204	185	189	199	199	219	204	199	199	205
	5	223	217	245	220	225	237	229	248	245	228	230	241
	6	293	284	325	288	296	313	293	296	325	288	296	313
	7	325	297	366	320	327	342	325	310	366	322	327	342
	8	312	277	348	312	313	323	312	283	348	314	313	323
RCV部	11	17.0	16.4	19.6	17.5	17.4	19.0	21.2	20.6	21.1	20.3	20.8	23.1
	12	82.2	80.7	92.8	80.5	83.3	89.5	88.1	86.5	92.8	86.2	88.2	95.3
	13	111	108	125	109	112	120	115	115	125	114	115	124
	14	143	137	159	141	145	155	143	143	159	141	145	155
	15	182	164	206	180	183	193	184	172	206	182	184	193
	16	233	206	261	234	234	242	234	213	261	238	234	242

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-15 最大応答曲げモーメント一覧表（弾性設計用地震動 S d, NS方向）（1/4）

部位	部 材 番 号	最大応答曲げモーメント（ $\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$ ）											
		Sd-1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	0.569	0.585	0.512	0.558	0.572	0.579	0.569	0.585	0.512	0.558	0.572	0.579
	2	1.83	1.89	1.62	1.78	1.85	1.87	1.83	1.89	1.62	1.78	1.85	1.87
	3	3.92	4.13	3.48	3.82	3.96	3.99	3.92	4.13	3.48	3.82	3.96	3.99
	4	5.38	5.69	4.82	5.27	5.42	5.46	5.38	5.69	4.82	5.27	5.42	5.46
	5	6.92	7.36	6.26	6.82	6.96	7.01	6.92	7.36	6.26	6.82	6.96	7.01
	6	9.24	9.85	8.48	9.18	9.25	9.36	9.24	9.85	8.48	9.18	9.25	9.36
	7	10.7	11.2	10.4	10.7	10.7	11.2	10.7	11.2	10.5	10.7	10.7	11.2
	8	11.2	11.3	11.9	11.2	11.2	12.3	11.2	11.3	12.2	11.2	11.2	12.3
R C V 部	11	0.196	0.213	0.197	0.191	0.197	0.210	0.196	0.213	0.197	0.191	0.197	0.210
	12	1.34	1.45	1.18	1.31	1.36	1.38	1.34	1.45	1.18	1.31	1.36	1.38
	13	2.43	2.63	2.13	2.38	2.45	2.48	2.43	2.63	2.13	2.38	2.45	2.48
	14	3.86	4.16	3.48	3.80	3.87	3.92	3.86	4.16	3.48	3.80	3.87	3.92
	15	5.11	5.43	4.99	5.11	5.10	5.25	5.11	5.43	4.99	5.11	5.10	5.25
	16	6.42	6.63	6.72	6.42	6.42	6.62	6.42	6.63	6.91	6.42	6.42	6.62

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-15 最大応答曲げモーメント一覧表（弾性設計用地震動 S d, NS方向）(2/4)

部位	部 材 番 号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁶ kN・m)											
		Sd-2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	0.334	0.360	0.340	0.329	0.336	0.346	0.569	0.585	0.512	0.558	0.572	0.579
	2	1.14	1.23	1.17	1.13	1.15	1.20	1.83	1.89	1.62	1.78	1.85	1.87
	3	2.45	2.64	2.49	2.42	2.46	2.54	3.92	4.13	3.48	3.82	3.96	3.99
	4	3.34	3.60	3.37	3.31	3.34	3.43	5.38	5.69	4.82	5.27	5.42	5.46
	5	4.21	4.56	4.23	4.18	4.22	4.32	6.92	7.36	6.26	6.82	6.96	7.01
	6	5.48	5.88	5.94	5.39	5.53	5.93	9.24	9.85	8.48	9.18	9.25	9.36
	7	6.68	6.51	7.48	6.54	6.73	7.36	10.7	11.2	10.5	10.7	10.7	11.2
	8	7.37	6.71	8.67	7.21	7.41	8.54	11.2	11.3	12.2	11.2	11.2	12.3
R C V 部	11	0.122	0.131	0.131	0.113	0.125	0.131	0.196	0.213	0.197	0.191	0.197	0.210
	12	0.818	0.880	0.825	0.809	0.819	0.850	1.34	1.45	1.18	1.31	1.36	1.38
	13	1.46	1.58	1.46	1.45	1.46	1.50	2.43	2.63	2.13	2.38	2.45	2.48
	14	2.26	2.45	2.43	2.25	2.26	2.45	3.86	4.16	3.48	3.80	3.87	3.92
	15	3.19	3.13	3.54	3.11	3.21	3.48	5.11	5.43	4.99	5.11	5.10	5.25
	16	4.29	3.97	4.86	4.17	4.32	4.73	6.42	6.63	6.91	6.42	6.42	6.62

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性 (+σ) 考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性 (-σ) 考慮モデル
 ④建屋剛性 (コア強度平均) 考慮モデル ⑤建屋剛性 (-2σ) 考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-15 最大応答曲げモーメント一覧表（弾性設計用地震動 S d, NS方向）(3/4)

部位	部 材 番 号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁶ kN・m)											
		Sd-3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	0.318	0.333	0.345	0.306	0.327	0.349	0.569	0.585	0.512	0.558	0.572	0.579
	2	1.05	1.09	1.15	1.01	1.08	1.15	1.83	1.89	1.62	1.78	1.85	1.87
	3	2.37	2.20	2.56	2.28	2.40	2.57	3.92	4.13	3.48	3.82	3.96	3.99
	4	3.35	3.14	3.58	3.23	3.40	3.63	5.38	5.69	4.82	5.27	5.42	5.46
	5	4.43	4.20	4.68	4.29	4.49	4.79	6.92	7.36	6.26	6.82	6.96	7.01
	6	6.16	5.95	6.42	6.02	6.21	6.57	9.24	9.85	8.48	9.18	9.25	9.36
	7	7.43	7.14	7.89	7.29	7.48	7.99	10.7	11.2	10.5	10.7	10.7	11.2
	8	8.01	7.66	9.01	7.91	8.04	8.88	11.2	11.3	12.2	11.2	11.2	12.3
R C V 部	11	0.140	0.137	0.143	0.133	0.143	0.152	0.196	0.213	0.197	0.191	0.197	0.210
	12	0.806	0.758	0.864	0.777	0.820	0.877	1.34	1.45	1.18	1.31	1.36	1.38
	13	1.52	1.44	1.60	1.47	1.54	1.64	2.43	2.63	2.13	2.38	2.45	2.48
	14	2.53	2.44	2.64	2.47	2.56	2.73	3.86	4.16	3.48	3.80	3.87	3.92
	15	3.52	3.41	3.73	3.44	3.54	3.73	5.11	5.43	4.99	5.11	5.10	5.25
	16	4.57	4.58	5.07	4.52	4.59	4.80	6.42	6.63	6.91	6.42	6.42	6.62

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性 (+σ) 考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性 (-σ) 考慮モデル
 ④建屋剛性 (コア強度平均) 考慮モデル ⑤建屋剛性 (-2σ) 考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-15 最大応答曲げモーメント一覧表（弾性設計用地震動 S d, NS方向）（4/4）

部位	部 材 番 号	最大応答曲げモーメント（×10 ⁶ kN・m）											
		Sd-8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	0.361	0.338	0.394	0.348	0.366	0.392	0.569	0.585	0.512	0.558	0.572	0.579
	2	1.12	1.04	1.22	1.09	1.13	1.22	1.83	1.89	1.62	1.78	1.85	1.87
	3	2.66	2.48	2.86	2.60	2.67	2.84	3.92	4.13	3.48	3.82	3.96	3.99
	4	3.86	3.63	4.15	3.78	3.88	4.12	5.38	5.69	4.82	5.27	5.42	5.46
	5	5.27	4.99	5.69	5.17	5.30	5.63	6.92	7.36	6.26	6.82	6.96	7.01
	6	7.61	7.27	8.28	7.48	7.66	8.12	9.24	9.85	8.48	9.18	9.25	9.36
	7	9.43	8.82	10.5	9.28	9.51	10.2	10.7	11.2	10.5	10.7	10.7	11.2
	8	10.6	9.57	12.2	10.5	10.7	11.9	11.2	11.3	12.2	11.2	11.2	12.3
R C C V 部	11	0.165	0.158	0.182	0.156	0.167	0.180	0.196	0.213	0.197	0.191	0.197	0.210
	12	0.937	0.886	0.990	0.914	0.944	1.01	1.34	1.45	1.18	1.31	1.36	1.38
	13	1.82	1.73	1.94	1.79	1.83	1.95	2.43	2.63	2.13	2.38	2.45	2.48
	14	3.16	3.02	3.41	3.11	3.17	3.39	3.86	4.16	3.48	3.80	3.87	3.92
	15	4.53	4.28	4.99	4.48	4.56	4.86	5.11	5.43	4.99	5.11	5.10	5.25
	16	6.20	5.74	6.91	6.12	6.23	6.61	6.42	6.63	6.91	6.42	6.42	6.62

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-16 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動 S d , EW方向）（1/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)											
		Sd-1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	9.03	9.60	8.25	8.85	9.18	9.36	9.03	9.60	8.25	8.85	9.18	9.36
	2	6.46	7.01	5.93	6.42	6.46	6.60	6.46	7.01	6.62	6.42	6.46	6.60
	3	5.20	5.75	5.37	5.16	5.23	5.63	5.36	5.75	5.89	5.22	5.43	5.73
	4	4.38	4.47	4.62	4.35	4.44	4.79	4.88	4.66	5.21	4.80	4.92	5.13
	5	4.08	4.02	4.09	3.98	4.11	4.25	4.54	4.45	4.75	4.46	4.59	4.75
	6	3.73	3.69	3.67	3.72	3.71	3.83	4.49	4.48	4.33	4.32	4.58	4.57
	7	3.23	3.30	3.23	3.25	3.23	3.25	4.13	4.17	3.79	4.06	4.16	4.17
	8	2.97	3.07	3.16	2.94	2.98	3.03	3.58	3.61	3.43	3.66	3.55	3.58
RCCV部	11	5.20	5.75	5.37	5.16	5.23	5.63	5.36	5.75	5.89	5.22	5.43	5.73
	12	4.38	4.47	4.62	4.35	4.44	4.79	4.88	4.66	5.21	4.80	4.92	5.13
	13	4.08	4.02	4.09	3.98	4.11	4.25	4.54	4.45	4.75	4.46	4.59	4.75
	14	3.73	3.69	3.67	3.72	3.71	3.83	4.49	4.48	4.33	4.32	4.58	4.57
	15	3.23	3.30	3.23	3.25	3.23	3.25	4.13	4.17	3.79	4.06	4.16	4.17
	16	2.97	3.07	3.16	2.94	2.98	3.03	3.58	3.61	3.43	3.66	3.55	3.58
基礎 上端		2.98	2.92	3.10	2.94	3.00	3.11	3.03	3.23	3.29	3.10	3.04	3.11

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-16 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動S_d, EW方向）(2/4)

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)											
		S _d -2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	6.96	6.38	8.15	6.66	7.13	7.66	9.03	9.60	8.25	8.85	9.18	9.36
	2	5.84	5.38	6.62	5.63	5.91	6.33	6.46	7.01	6.62	6.42	6.46	6.60
	3	5.36	4.99	5.89	5.22	5.43	5.73	5.36	5.75	5.89	5.22	5.43	5.73
	4	4.88	4.66	5.21	4.80	4.92	5.13	4.88	4.66	5.21	4.80	4.92	5.13
	5	4.54	4.45	4.75	4.46	4.59	4.75	4.54	4.45	4.75	4.46	4.59	4.75
	6	4.49	4.48	4.33	4.32	4.58	4.57	4.49	4.48	4.33	4.32	4.58	4.57
	7	4.13	4.17	3.79	4.06	4.16	4.17	4.13	4.17	3.79	4.06	4.16	4.17
	8	3.58	3.61	3.43	3.66	3.55	3.58	3.58	3.61	3.43	3.66	3.55	3.58
RCV部	11	5.36	4.99	5.89	5.22	5.43	5.73	5.36	5.75	5.89	5.22	5.43	5.73
	12	4.88	4.66	5.21	4.80	4.92	5.13	4.88	4.66	5.21	4.80	4.92	5.13
	13	4.54	4.45	4.75	4.46	4.59	4.75	4.54	4.45	4.75	4.46	4.59	4.75
	14	4.49	4.48	4.33	4.32	4.58	4.57	4.49	4.48	4.33	4.32	4.58	4.57
	15	4.13	4.17	3.79	4.06	4.16	4.17	4.13	4.17	3.79	4.06	4.16	4.17
	16	3.58	3.61	3.43	3.66	3.55	3.58	3.58	3.61	3.43	3.66	3.55	3.58
基礎 上端		2.95	3.23	3.11	3.10	2.90	2.92	3.03	3.23	3.29	3.10	3.04	3.11

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-16 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動 S d , EW方向）（3/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)											
		Sd-3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	5.13	4.89	5.49	4.99	5.20	5.53	9.03	9.60	8.25	8.85	9.18	9.36
	2	4.19	4.19	4.34	4.09	4.23	4.42	6.46	7.01	6.62	6.42	6.46	6.60
	3	3.76	3.80	3.81	3.69	3.79	3.94	5.36	5.75	5.89	5.22	5.43	5.73
	4	3.31	3.39	3.35	3.24	3.33	3.51	4.88	4.66	5.21	4.80	4.92	5.13
	5	3.15	3.19	3.17	3.10	3.17	3.21	4.54	4.45	4.75	4.46	4.59	4.75
	6	3.10	3.16	2.93	3.07	3.11	3.14	4.49	4.48	4.33	4.32	4.58	4.57
	7	2.92	3.00	2.74	2.93	2.90	2.93	4.13	4.17	3.79	4.06	4.16	4.17
	8	2.82	2.84	3.04	2.79	2.83	2.85	3.58	3.61	3.43	3.66	3.55	3.58
R C C V部	11	3.76	3.80	3.81	3.69	3.79	3.94	5.36	5.75	5.89	5.22	5.43	5.73
	12	3.31	3.39	3.35	3.24	3.33	3.51	4.88	4.66	5.21	4.80	4.92	5.13
	13	3.15	3.19	3.17	3.10	3.17	3.21	4.54	4.45	4.75	4.46	4.59	4.75
	14	3.10	3.16	2.93	3.07	3.11	3.14	4.49	4.48	4.33	4.32	4.58	4.57
	15	2.92	3.00	2.74	2.93	2.90	2.93	4.13	4.17	3.79	4.06	4.16	4.17
	16	2.82	2.84	3.04	2.79	2.83	2.85	3.58	3.61	3.43	3.66	3.55	3.58
基礎 上端		3.03	2.78	3.29	3.02	3.04	3.08	3.03	3.23	3.29	3.10	3.04	3.11

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-16 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動Sd, EW方向）（4/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)											
		Sd-8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	6.51	6.14	7.01	6.43	6.51	6.95	9.03	9.60	8.25	8.85	9.18	9.36
	2	5.45	5.26	5.90	5.33	5.49	5.74	6.46	7.01	6.62	6.42	6.46	6.60
	3	4.92	4.81	5.39	4.81	4.96	5.16	5.36	5.75	5.89	5.22	5.43	5.73
	4	4.25	4.23	4.82	4.16	4.28	4.53	4.88	4.66	5.21	4.80	4.92	5.13
	5	3.90	3.79	4.42	3.86	3.94	4.18	4.54	4.45	4.75	4.46	4.59	4.75
	6	3.58	3.48	3.96	3.54	3.61	3.76	4.49	4.48	4.33	4.32	4.58	4.57
	7	3.11	3.16	3.33	3.08	3.13	3.21	4.13	4.17	3.79	4.06	4.16	4.17
	8	2.74	2.89	2.84	2.73	2.74	2.75	3.58	3.61	3.43	3.66	3.55	3.58
RCCV部	11	4.92	4.81	5.39	4.81	4.96	5.16	5.36	5.75	5.89	5.22	5.43	5.73
	12	4.25	4.23	4.82	4.16	4.28	4.53	4.88	4.66	5.21	4.80	4.92	5.13
	13	3.90	3.79	4.42	3.86	3.94	4.18	4.54	4.45	4.75	4.46	4.59	4.75
	14	3.58	3.48	3.96	3.54	3.61	3.76	4.49	4.48	4.33	4.32	4.58	4.57
	15	3.11	3.16	3.33	3.08	3.13	3.21	4.13	4.17	3.79	4.06	4.16	4.17
	16	2.74	2.89	2.84	2.73	2.74	2.75	3.58	3.61	3.43	3.66	3.55	3.58
基礎 上端		2.37	2.57	2.40	2.38	2.36	2.34	3.03	3.23	3.29	3.10	3.04	3.11

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-17 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 S_d, EW方向）（1/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		S _d -1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	23.0	20.1	30.1	22.1	23.4	25.4	25.7	20.1	34.3	24.4	26.3	28.9
	2	19.0	16.4	25.2	18.3	19.3	21.0	21.6	16.4	28.8	20.6	22.1	24.1
	3	16.8	14.3	22.5	16.2	17.0	18.6	19.3	14.4	25.7	18.4	19.7	21.5
	4	13.9	11.9	18.9	13.4	14.2	15.4	16.3	12.1	21.7	15.5	16.6	18.0
	5	12.0	10.2	16.5	11.5	12.1	13.2	14.2	10.4	18.9	13.6	14.4	15.6
	6	9.82	8.36	13.8	9.53	9.95	10.8	11.9	8.60	16.0	11.4	12.0	13.0
	7	7.05	5.81	10.3	6.88	7.13	7.71	8.72	6.07	12.0	8.48	8.82	9.43
	8	4.86	3.78	7.39	4.79	4.88	5.24	6.13	4.04	8.73	6.06	6.16	6.51
RCV部	11	16.8	14.3	22.5	16.2	17.0	18.6	19.3	14.4	25.7	18.4	19.7	21.5
	12	13.9	11.9	18.9	13.4	14.2	15.4	16.3	12.1	21.7	15.5	16.6	18.0
	13	12.0	10.2	16.5	11.5	12.1	13.2	14.2	10.4	18.9	13.6	14.4	15.6
	14	9.82	8.36	13.8	9.53	9.95	10.8	11.9	8.60	16.0	11.4	12.0	13.0
	15	7.05	5.81	10.3	6.88	7.13	7.71	8.72	6.07	12.0	8.48	8.82	9.43
	16	4.86	3.78	7.39	4.79	4.88	5.24	6.13	4.04	8.73	6.06	6.16	6.51
基礎 上端		2.98	2.01	4.75	3.01	2.96	3.17	3.75	2.33	5.75	3.81	3.72	3.86

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-17 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 S d , EW方向）（2/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		Sd-2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	25.7	19.3	34.3	24.4	26.3	28.9	25.7	20.1	34.3	24.4	26.3	28.9
	2	21.6	16.2	28.8	20.6	22.1	24.1	21.6	16.4	28.8	20.6	22.1	24.1
	3	19.3	14.4	25.7	18.4	19.7	21.5	19.3	14.4	25.7	18.4	19.7	21.5
	4	16.3	12.1	21.7	15.5	16.6	18.0	16.3	12.1	21.7	15.5	16.6	18.0
	5	14.2	10.4	18.9	13.6	14.4	15.6	14.2	10.4	18.9	13.6	14.4	15.6
	6	11.9	8.60	16.0	11.4	12.0	13.0	11.9	8.60	16.0	11.4	12.0	13.0
	7	8.72	6.07	12.0	8.48	8.82	9.43	8.72	6.07	12.0	8.48	8.82	9.43
	8	6.13	4.04	8.73	6.06	6.16	6.51	6.13	4.04	8.73	6.06	6.16	6.51
RCV部	11	19.3	14.4	25.7	18.4	19.7	21.5	19.3	14.4	25.7	18.4	19.7	21.5
	12	16.3	12.1	21.7	15.5	16.6	18.0	16.3	12.1	21.7	15.5	16.6	18.0
	13	14.2	10.4	18.9	13.6	14.4	15.6	14.2	10.4	18.9	13.6	14.4	15.6
	14	11.9	8.60	16.0	11.4	12.0	13.0	11.9	8.60	16.0	11.4	12.0	13.0
	15	8.72	6.07	12.0	8.48	8.82	9.43	8.72	6.07	12.0	8.48	8.82	9.43
	16	6.13	4.04	8.73	6.06	6.16	6.51	6.13	4.04	8.73	6.06	6.16	6.51
基礎 上端		3.75	2.33	5.75	3.81	3.72	3.86	3.75	2.33	5.75	3.81	3.72	3.86

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-17 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 S_d, EW方向）（3/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		S _d -3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	16.8	14.2	23.0	16.1	17.1	18.8	25.7	20.1	34.3	24.4	26.3	28.9
	2	14.1	11.9	19.4	13.5	14.3	15.6	21.6	16.4	28.8	20.6	22.1	24.1
	3	12.5	10.5	17.3	12.0	12.7	13.8	19.3	14.4	25.7	18.4	19.7	21.5
	4	10.5	8.78	14.6	10.1	10.6	11.5	16.3	12.1	21.7	15.5	16.6	18.0
	5	9.01	7.53	12.8	8.70	9.13	9.86	14.2	10.4	18.9	13.6	14.4	15.6
	6	7.44	6.16	10.8	7.22	7.52	8.07	11.9	8.60	16.0	11.4	12.0	13.0
	7	5.28	4.26	8.17	5.20	5.31	5.65	8.72	6.07	12.0	8.48	8.82	9.43
	8	3.58	2.73	5.99	3.55	3.58	3.76	6.13	4.04	8.73	6.06	6.16	6.51
RCV部	11	12.5	10.5	17.3	12.0	12.7	13.8	19.3	14.4	25.7	18.4	19.7	21.5
	12	10.5	8.78	14.6	10.1	10.6	11.5	16.3	12.1	21.7	15.5	16.6	18.0
	13	9.01	7.53	12.8	8.70	9.13	9.86	14.2	10.4	18.9	13.6	14.4	15.6
	14	7.44	6.16	10.8	7.22	7.52	8.07	11.9	8.60	16.0	11.4	12.0	13.0
	15	5.28	4.26	8.17	5.20	5.31	5.65	8.72	6.07	12.0	8.48	8.82	9.43
	16	3.58	2.73	5.99	3.55	3.58	3.76	6.13	4.04	8.73	6.06	6.16	6.51
基礎 上端		2.07	1.57	3.94	2.11	2.05	2.14	3.75	2.33	5.75	3.81	3.72	3.86

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-17 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 S_d, EW方向）（4/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)											
		S _d -8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	22.8	17.8	31.3	21.6	23.3	25.5	25.7	20.1	34.3	24.4	26.3	28.9
	2	19.1	14.9	26.4	18.2	19.5	21.3	21.6	16.4	28.8	20.6	22.1	24.1
	3	17.0	13.2	23.7	16.2	17.4	18.9	19.3	14.4	25.7	18.4	19.7	21.5
	4	14.3	11.0	20.1	13.7	14.6	15.9	16.3	12.1	21.7	15.5	16.6	18.0
	5	12.4	9.44	17.6	11.9	12.7	13.8	14.2	10.4	18.9	13.6	14.4	15.6
	6	10.4	7.74	14.9	9.94	10.5	11.4	11.9	8.60	16.0	11.4	12.0	13.0
	7	7.54	5.43	11.3	7.30	7.64	8.23	8.72	6.07	12.0	8.48	8.82	9.43
	8	5.20	3.58	8.32	5.12	5.25	5.65	6.13	4.04	8.73	6.06	6.16	6.51
RCV部	11	17.0	13.2	23.7	16.2	17.4	18.9	19.3	14.4	25.7	18.4	19.7	21.5
	12	14.3	11.0	20.1	13.7	14.6	15.9	16.3	12.1	21.7	15.5	16.6	18.0
	13	12.4	9.44	17.6	11.9	12.7	13.8	14.2	10.4	18.9	13.6	14.4	15.6
	14	10.4	7.74	14.9	9.94	10.5	11.4	11.9	8.60	16.0	11.4	12.0	13.0
	15	7.54	5.43	11.3	7.30	7.64	8.23	8.72	6.07	12.0	8.48	8.82	9.43
	16	5.20	3.58	8.32	5.12	5.25	5.65	6.13	4.04	8.73	6.06	6.16	6.51
基礎 上端		3.09	1.96	5.56	3.10	3.09	3.31	3.75	2.33	5.75	3.81	3.72	3.86

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-18 最大応答せん断力一覧表（弾性設計用地震動S_d，EW方向）（1/4）

部位	部材番号	最大応答せん断力（×10 ³ kN）											
		S _d -1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	36.5	38.5	33.2	35.4	37.0	37.7	36.5	38.5	33.2	35.4	37.0	37.7
	2	89.1	94.7	81.1	88.0	90.0	91.8	89.1	94.7	86.8	88.0	90.0	91.8
	3	148	156	136	146	149	151	148	156	144	146	149	151
	4	153	168	148	153	154	157	153	168	167	153	154	161
	5	209	229	211	209	209	220	218	229	239	213	220	232
	6	276	286	287	274	277	295	307	293	330	302	310	325
	7	314	307	329	309	315	324	360	329	378	356	362	372
	8	357	328	372	359	355	359	410	375	415	410	410	413
RCV部	11	44.3	42.7	47.4	43.8	44.5	48.6	46.2	43.4	49.9	45.7	46.4	49.9
	12	129	132	135	127	129	139	138	132	149	135	140	148
	13	128	130	135	127	130	140	143	137	152	140	144	151
	14	151	150	153	146	152	158	168	164	176	164	170	177
	15	195	182	201	193	195	201	221	204	228	218	222	229
	16	201	180	208	203	200	201	231	219	232	231	230	231

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-18 最大応答せん断力一覧表（弾性設計用地震動S_d，EW方向）（2/4）

部位	部材番号	最大応答せん断力（×10 ³ kN）											
		S _d -2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	28.2	26.1	32.9	27.0	28.9	31.0	36.5	38.5	33.2	35.4	37.0	37.7
	2	75.7	70.3	86.8	73.0	77.1	82.9	89.1	94.7	86.8	88.0	90.0	91.8
	3	126	117	144	122	128	137	148	156	144	146	149	151
	4	150	141	167	147	152	161	153	168	167	153	154	161
	5	218	204	239	213	220	232	218	229	239	213	220	232
	6	307	293	330	302	310	325	307	293	330	302	310	325
	7	360	329	378	356	362	372	360	329	378	356	362	372
	8	410	375	415	410	410	413	410	375	415	410	410	413
RCV部	11	46.2	43.4	49.9	45.7	46.4	49.9	46.2	43.4	49.9	45.7	46.4	49.9
	12	138	131	149	135	140	148	138	132	149	135	140	148
	13	143	137	152	140	144	151	143	137	152	140	144	151
	14	168	164	176	164	170	177	168	164	176	164	170	177
	15	221	204	228	218	222	229	221	204	228	218	222	229
	16	231	219	232	231	230	231	231	219	232	231	230	231

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-18 最大応答せん断力一覧表（弾性設計用地震動S_d，EW方向）（3/4）

部位	部材番号	最大応答せん断力（×10 ³ kN）											
		S _d -3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	20.5	19.6	22.1	20.0	20.8	22.1	36.5	38.5	33.2	35.4	37.0	37.7
	2	54.7	53.4	57.6	53.5	55.2	58.2	89.1	94.7	86.8	88.0	90.0	91.8
	3	91.5	91.0	95.2	89.1	92.7	96.3	148	156	144	146	149	151
	4	106	106	108	104	107	110	153	168	167	153	154	161
	5	151	153	153	149	152	158	218	229	239	213	220	232
	6	210	216	214	207	212	223	307	293	330	302	310	325
	7	233	231	259	232	234	243	360	329	378	356	362	372
	8	278	263	310	279	277	280	410	375	415	410	410	413
R C V 部	11	31.6	31.9	32.1	31.0	32.1	34.5	46.2	43.4	49.9	45.7	46.4	49.9
	12	94.8	97.0	95.4	92.8	95.6	102	138	132	149	135	140	148
	13	97.6	100	97.8	95.4	98.3	104	143	137	152	140	144	151
	14	116	118	116	114	116	121	168	164	176	164	170	177
	15	149	145	161	148	149	152	221	204	228	218	222	229
	16	159	151	175	160	159	160	231	219	232	231	230	231

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-18 最大応答せん断力一覧表（弾性設計用地震動S_d，EW方向）（4/4）

部位	部材番号	最大応答せん断力（×10 ³ kN）											
		S _d -8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外壁部	1	25.8	24.1	28.1	25.6	25.8	27.6	36.5	38.5	33.2	35.4	37.0	37.7
	2	69.9	66.3	76.4	68.8	70.4	74.3	89.1	94.7	86.8	88.0	90.0	91.8
	3	117	111	128	115	118	124	148	156	144	146	149	151
	4	137	133	150	135	139	144	153	168	167	153	154	161
	5	197	192	217	194	199	208	218	229	239	213	220	232
	6	275	268	307	270	277	291	307	293	330	302	310	325
	7	308	287	351	304	310	325	360	329	378	356	362	372
	8	349	308	393	347	350	361	410	375	415	410	410	413
RCV部	11	40.6	40.4	46.2	39.6	40.8	44.0	46.2	43.4	49.9	45.7	46.4	49.9
	12	124	121	139	121	125	132	138	132	149	135	140	148
	13	125	124	142	123	127	135	143	137	152	140	144	151
	14	147	143	166	144	148	157	168	164	176	164	170	177
	15	186	168	213	184	188	196	221	204	228	218	222	229
	16	194	171	219	194	195	201	231	219	232	231	230	231

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-19 最大応答曲げモーメント一覧表（弾性設計用地震動S_d，EW方向）（1/4）

部位	部 材 番 号	最大応答曲げモーメント（×10 ⁶ kN・m）											
		S _d -1						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	0.640	0.673	0.587	0.634	0.650	0.666	0.640	0.673	0.587	0.634	0.650	0.666
	2	1.64	1.72	1.50	1.64	1.66	1.71	1.64	1.72	1.50	1.64	1.66	1.71
	3	3.25	3.41	2.96	3.24	3.28	3.36	3.25	3.41	2.96	3.24	3.28	3.36
	4	4.41	4.63	4.03	4.42	4.45	4.56	4.41	4.63	4.11	4.42	4.45	4.56
	5	5.86	6.17	5.39	5.86	5.90	6.05	5.86	6.17	5.65	5.86	5.90	6.05
	6	8.18	8.64	7.66	8.15	8.21	8.41	8.18	8.64	8.27	8.15	8.21	8.41
	7	9.74	10.1	9.41	9.70	9.74	10.2	9.74	10.1	10.6	9.70	9.74	10.2
	8	10.6	10.5	11.1	10.6	10.6	11.6	10.9	10.5	12.6	10.7	11.0	12.3
R C V 部	11	0.869	0.875	0.816	0.854	0.874	0.905	0.869	0.875	0.816	0.854	0.874	0.905
	12	0.998	1.03	1.05	1.02	1.01	1.09	1.12	1.13	1.16	1.08	1.16	1.15
	13	1.21	1.27	1.08	1.17	1.23	1.27	1.21	1.27	1.08	1.17	1.23	1.27
	14	2.74	2.92	2.51	2.72	2.76	2.84	2.74	2.92	2.69	2.72	2.76	2.84
	15	4.11	4.35	3.94	4.10	4.11	4.23	4.11	4.35	4.49	4.10	4.11	4.31
	16	5.30	5.47	5.46	5.31	5.29	5.51	5.59	5.47	6.21	5.48	5.62	5.97

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-19 最大応答曲げモーメント一覧表（弾性設計用地震動 S d, EW方向）（2/4）

部位	部 材 番 号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁶ kN・m)											
		Sd-2						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	0.457	0.456	0.547	0.437	0.467	0.508	0.640	0.673	0.587	0.634	0.650	0.666
	2	1.20	1.16	1.44	1.16	1.23	1.34	1.64	1.72	1.50	1.64	1.66	1.71
	3	2.47	2.29	2.95	2.39	2.51	2.74	3.25	3.41	2.96	3.24	3.28	3.36
	4	3.47	3.18	4.11	3.35	3.52	3.83	4.41	4.63	4.11	4.42	4.45	4.56
	5	4.82	4.39	5.65	4.65	4.90	5.31	5.86	6.17	5.65	5.86	5.90	6.05
	6	7.17	6.59	8.27	6.98	7.26	7.85	8.18	8.64	8.27	8.15	8.21	8.41
	7	9.21	8.22	10.6	8.99	9.30	10.1	9.74	10.1	10.6	9.70	9.74	10.2
	8	10.9	9.38	12.6	10.7	11.0	12.3	10.9	10.5	12.6	10.7	11.0	12.3
R C V 部	11	0.657	0.695	0.772	0.630	0.675	0.711	0.869	0.875	0.816	0.854	0.874	0.905
	12	1.12	1.13	1.16	1.08	1.16	1.15	1.12	1.13	1.16	1.08	1.16	1.15
	13	0.862	0.931	1.01	0.828	0.881	0.962	1.21	1.27	1.08	1.17	1.23	1.27
	14	2.34	2.20	2.69	2.25	2.39	2.58	2.74	2.92	2.69	2.72	2.76	2.84
	15	3.97	3.59	4.49	3.85	4.02	4.31	4.11	4.35	4.49	4.10	4.11	4.31
	16	5.59	4.94	6.21	5.48	5.62	5.97	5.59	5.47	6.21	5.48	5.62	5.97

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-19 最大応答曲げモーメント一覧表（弾性設計用地震動 S d, EW方向）(3/4)

部位	部 材 番 号	最大応答曲げモーメント (×10 ⁶ kN・m)											
		Sd-3						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	0.353	0.351	0.395	0.345	0.357	0.385	0.640	0.673	0.587	0.634	0.650	0.666
	2	0.938	0.900	1.04	0.919	0.945	1.02	1.64	1.72	1.50	1.64	1.66	1.71
	3	1.89	1.77	2.07	1.85	1.91	2.05	3.25	3.41	2.96	3.24	3.28	3.36
	4	2.63	2.46	2.85	2.56	2.66	2.85	4.41	4.63	4.11	4.42	4.45	4.56
	5	3.60	3.43	3.86	3.53	3.63	3.88	5.86	6.17	5.65	5.86	5.90	6.05
	6	5.27	5.09	5.53	5.16	5.32	5.60	8.18	8.64	8.27	8.15	8.21	8.41
	7	6.53	6.26	6.93	6.43	6.58	7.03	9.74	10.1	10.6	9.70	9.74	10.2
	8	7.37	7.05	8.27	7.29	7.41	8.25	10.9	10.5	12.6	10.7	11.0	12.3
R C V 部	11	0.464	0.516	0.511	0.446	0.479	0.493	0.869	0.875	0.816	0.854	0.874	0.905
	12	0.758	0.750	0.788	0.733	0.759	0.776	1.12	1.13	1.16	1.08	1.16	1.15
	13	0.660	0.734	0.709	0.644	0.675	0.725	1.21	1.27	1.08	1.17	1.23	1.27
	14	1.74	1.69	1.80	1.69	1.76	1.85	2.74	2.92	2.69	2.72	2.76	2.84
	15	2.78	2.71	2.91	2.74	2.79	2.94	4.11	4.35	4.49	4.10	4.11	4.31
	16	3.75	3.70	4.10	3.71	3.76	3.99	5.59	5.47	6.21	5.48	5.62	5.97

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性 (+σ) 考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性 (-σ) 考慮モデル
 ④建屋剛性 (コア強度平均) 考慮モデル ⑤建屋剛性 (-2σ) 考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-19 最大応答曲げモーメント一覧表（弾性設計用地震動 S d, EW方向）（4/4）

部位	部 材 番 号	最大応答曲げモーメント（ $\times 10^6 \text{kN} \cdot \text{m}$ ）											
		Sd-8						最大値					
		①	②	③	④	⑤	⑥	①	②	③	④	⑤	⑥
外 壁 部	1	0.399	0.366	0.434	0.393	0.399	0.431	0.640	0.673	0.587	0.634	0.650	0.666
	2	1.05	0.974	1.15	1.03	1.06	1.14	1.64	1.72	1.50	1.64	1.66	1.71
	3	2.21	2.06	2.41	2.16	2.22	2.37	3.25	3.41	2.96	3.24	3.28	3.36
	4	3.12	2.92	3.40	3.06	3.14	3.34	4.41	4.63	4.11	4.42	4.45	4.56
	5	4.38	4.13	4.78	4.30	4.42	4.68	5.86	6.17	5.65	5.86	5.90	6.05
	6	6.62	6.29	7.23	6.50	6.67	7.03	8.18	8.64	8.27	8.15	8.21	8.41
	7	8.40	7.84	9.39	8.27	8.45	9.06	9.74	10.1	10.6	9.70	9.74	10.2
	8	9.88	8.85	11.5	9.73	9.95	11.0	10.9	10.5	12.6	10.7	11.0	12.3
R C C V 部	11	0.564	0.528	0.629	0.551	0.572	0.617	0.869	0.875	0.816	0.854	0.874	0.905
	12	0.923	0.923	1.07	0.913	0.931	0.998	1.12	1.13	1.16	1.08	1.16	1.15
	13	0.768	0.728	0.822	0.743	0.776	0.834	1.21	1.27	1.08	1.17	1.23	1.27
	14	2.16	2.07	2.35	2.11	2.18	2.32	2.74	2.92	2.69	2.72	2.76	2.84
	15	3.59	3.37	3.98	3.54	3.62	3.82	4.11	4.35	4.49	4.10	4.11	4.31
	16	5.00	4.64	5.64	4.95	5.03	5.32	5.59	5.47	6.21	5.48	5.62	5.97

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル ⑥側面回転ばね低減モデル

表3-20 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）（1/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)									
		Sd-1					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	29.9	28.5	33.2	30.8	28.8	29.9	28.5	33.2	30.8	28.8
	22	20.8	21.0	24.1	22.6	19.9	20.8	21.0	24.1	22.6	19.9
	23	11.3	11.2	13.4	12.1	11.2	11.3	11.2	13.4	12.1	11.2
外壁・RCCV部	1	4.84	4.95	4.55	4.65	4.90	4.84	4.95	4.55	4.65	4.90
	2	4.66	4.77	4.47	4.50	4.73	4.66	4.77	4.47	4.50	4.73
	3	4.54	4.63	4.39	4.43	4.59	4.54	4.63	4.39	4.43	4.59
	4	4.43	4.51	4.29	4.33	4.47	4.43	4.51	4.29	4.33	4.47
	5	4.31	4.38	4.24	4.23	4.35	4.31	4.38	4.24	4.23	4.35
	6	4.17	4.23	4.19	4.11	4.20	4.17	4.23	4.19	4.11	4.20
	7	3.96	3.98	4.10	3.93	3.97	3.96	3.98	4.10	3.93	3.97
	8	3.87	3.75	4.03	3.87	3.86	3.87	3.75	4.03	3.87	3.86
基礎 上端		3.80	3.62	4.02	3.79	3.82	3.80	3.62	4.02	3.79	3.82

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル

表3-20 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）（2/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)									
		Sd-2					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	17.1	14.7	22.8	16.5	17.4	29.9	28.5	33.2	30.8	28.8
	22	13.8	12.1	18.3	13.1	14.0	20.8	21.0	24.1	22.6	19.9
	23	8.05	7.21	10.5	7.74	8.20	11.3	11.2	13.4	12.1	11.2
外壁・RCCV部	1	3.06	3.12	2.76	2.97	3.10	4.84	4.95	4.55	4.65	4.90
	2	2.97	3.02	2.68	2.92	3.00	4.66	4.77	4.47	4.50	4.73
	3	2.92	2.96	2.66	2.88	2.94	4.54	4.63	4.39	4.43	4.59
	4	2.87	2.91	2.63	2.83	2.89	4.43	4.51	4.29	4.33	4.47
	5	2.82	2.85	2.59	2.79	2.84	4.31	4.38	4.24	4.23	4.35
	6	2.77	2.79	2.53	2.74	2.78	4.17	4.23	4.19	4.11	4.20
	7	2.66	2.68	2.44	2.64	2.68	3.96	3.98	4.10	3.93	3.97
	8	2.56	2.58	2.34	2.55	2.57	3.87	3.75	4.03	3.87	3.86
基礎 上端		2.45	2.46	2.25	2.46	2.45	3.80	3.62	4.02	3.79	3.82

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル

表3-20 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）（3/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)									
		Sd-3					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	15.2	14.9	17.5	14.6	15.2	29.9	28.5	33.2	30.8	28.8
	22	12.2	11.0	14.8	11.0	12.6	20.8	21.0	24.1	22.6	19.9
	23	6.92	6.42	8.41	6.51	7.11	11.3	11.2	13.4	12.1	11.2
外壁・RCCV部	1	3.11	2.96	3.35	3.00	3.18	4.84	4.95	4.55	4.65	4.90
	2	3.01	2.89	3.08	2.93	3.02	4.66	4.77	4.47	4.50	4.73
	3	2.94	2.90	3.07	2.89	2.96	4.54	4.63	4.39	4.43	4.59
	4	2.89	2.90	3.07	2.87	2.92	4.43	4.51	4.29	4.33	4.47
	5	2.87	2.88	3.05	2.86	2.90	4.31	4.38	4.24	4.23	4.35
	6	2.84	2.84	3.03	2.83	2.85	4.17	4.23	4.19	4.11	4.20
	7	2.84	2.75	3.00	2.82	2.86	3.96	3.98	4.10	3.93	3.97
	8	2.86	2.73	2.97	2.84	2.87	3.87	3.75	4.03	3.87	3.86
基礎 上端		2.85	2.72	2.96	2.84	2.86	3.80	3.62	4.02	3.79	3.82

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル

表3-20 最大応答加速度一覧表（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）（4/4）

部位	質点番号	最大応答加速度 (m/s ²)									
		Sd-8					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	4.19	3.95	5.07	4.30	4.41	29.9	28.5	33.2	30.8	28.8
	22	3.73	3.36	4.56	3.65	3.94	20.8	21.0	24.1	22.6	19.9
	23	2.75	2.62	3.20	2.43	2.85	11.3	11.2	13.4	12.1	11.2
外壁・RCCV部	1	1.88	1.85	1.81	1.69	1.94	4.84	4.95	4.55	4.65	4.90
	2	1.63	1.60	1.57	1.52	1.67	4.66	4.77	4.47	4.50	4.73
	3	1.48	1.44	1.42	1.40	1.51	4.54	4.63	4.39	4.43	4.59
	4	1.35	1.35	1.31	1.30	1.36	4.43	4.51	4.29	4.33	4.47
	5	1.27	1.29	1.27	1.21	1.30	4.31	4.38	4.24	4.23	4.35
	6	1.22	1.21	1.22	1.18	1.23	4.17	4.23	4.19	4.11	4.20
	7	1.17	1.17	1.21	1.13	1.18	3.96	3.98	4.10	3.93	3.97
	8	1.19	1.16	1.22	1.17	1.19	3.87	3.75	4.03	3.87	3.86
基礎 上端		1.20	1.21	1.26	1.19	1.22	3.80	3.62	4.02	3.79	3.82

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル

表3-21 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向）（1/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)									
		Sd-1					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	50.6	48.5	57.6	53.1	49.1	50.6	48.5	57.6	53.1	49.1
	22	39.8	38.4	46.2	42.0	38.6	39.8	38.4	46.2	42.0	38.6
	23	21.2	20.6	24.8	22.5	20.6	21.2	20.6	24.8	22.5	20.6
外壁・RCCV部	1	5.08	4.32	6.08	4.96	5.12	5.08	4.32	6.08	4.96	5.12
	2	5.00	4.25	5.98	4.90	5.03	5.00	4.25	5.98	4.90	5.03
	3	4.94	4.20	5.93	4.85	4.97	4.94	4.20	5.93	4.85	4.97
	4	4.89	4.15	5.88	4.81	4.92	4.89	4.15	5.88	4.81	4.92
	5	4.83	4.09	5.82	4.76	4.85	4.83	4.09	5.82	4.76	4.85
	6	4.76	4.03	5.75	4.70	4.78	4.76	4.03	5.75	4.70	4.78
	7	4.63	3.91	5.63	4.59	4.64	4.63	3.91	5.63	4.59	4.64
	8	4.51	3.79	5.51	4.48	4.51	4.51	3.79	5.51	4.48	4.51
基礎 上端		4.40	3.68	5.39	4.38	4.40	4.40	3.68	5.39	4.38	4.40

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル

表3-21 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）（2/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)									
		Sd-2					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	34.7	30.6	45.9	32.7	35.2	50.6	48.5	57.6	53.1	49.1
	22	28.3	24.9	37.3	26.5	28.7	39.8	38.4	46.2	42.0	38.6
	23	15.7	13.8	20.6	14.7	15.9	21.2	20.6	24.8	22.5	20.6
外壁・RCCV部	1	2.60	2.30	3.46	2.54	2.63	5.08	4.32	6.08	4.96	5.12
	2	2.57	2.27	3.39	2.52	2.60	5.00	4.25	5.98	4.90	5.03
	3	2.55	2.25	3.36	2.50	2.58	4.94	4.20	5.93	4.85	4.97
	4	2.53	2.23	3.33	2.48	2.55	4.89	4.15	5.88	4.81	4.92
	5	2.50	2.20	3.29	2.45	2.52	4.83	4.09	5.82	4.76	4.85
	6	2.46	2.17	3.25	2.42	2.49	4.76	4.03	5.75	4.70	4.78
	7	2.40	2.12	3.18	2.37	2.42	4.63	3.91	5.63	4.59	4.64
	8	2.34	2.06	3.11	2.31	2.35	4.51	3.79	5.51	4.48	4.51
基礎 上端		2.28	2.00	3.04	2.26	2.29	4.40	3.68	5.39	4.38	4.40

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+ σ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（- σ ）考慮モデル
④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2 σ ）考慮モデル

表3-21 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）（3/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)									
		Sd-3					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	29.8	27.5	36.0	27.7	30.3	50.6	48.5	57.6	53.1	49.1
	22	24.1	22.1	29.5	22.8	24.6	39.8	38.4	46.2	42.0	38.6
	23	14.2	12.7	17.3	13.9	14.1	21.2	20.6	24.8	22.5	20.6
外壁・RCCV部	1	4.30	3.51	5.47	4.23	4.33	5.08	4.32	6.08	4.96	5.12
	2	4.23	3.45	5.39	4.17	4.26	5.00	4.25	5.98	4.90	5.03
	3	4.19	3.41	5.34	4.14	4.21	4.94	4.20	5.93	4.85	4.97
	4	4.15	3.38	5.30	4.10	4.17	4.89	4.15	5.88	4.81	4.92
	5	4.11	3.34	5.25	4.07	4.13	4.83	4.09	5.82	4.76	4.86
	6	4.05	3.29	5.20	4.02	4.07	4.76	4.03	5.75	4.70	4.78
	7	3.96	3.20	5.09	3.94	3.97	4.63	3.91	5.63	4.59	4.65
	8	3.87	3.12	4.99	3.86	3.88	4.51	3.79	5.51	4.48	4.51
基礎 上端		3.78	3.03	4.89	3.78	3.78	4.40	3.68	5.39	4.38	4.40

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+ σ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（- σ ）考慮モデル
④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2 σ ）考慮モデル

表3-21 最大応答変位一覧表（弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向）（4/4）

部位	質点番号	最大応答変位 (mm)									
		Sd-8					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
屋根トラス部	21	9.05	8.11	11.4	8.75	9.66	50.6	48.5	57.6	53.1	49.1
	22	7.54	6.73	9.45	7.18	8.04	39.8	38.4	46.2	42.0	38.6
	23	4.46	3.92	5.57	4.08	4.75	21.2	20.6	24.8	22.5	20.6
外壁・RCCV部	1	1.45	1.22	1.72	1.42	1.47	5.08	4.32	6.08	4.96	5.12
	2	1.43	1.20	1.69	1.40	1.44	5.00	4.25	5.98	4.90	5.03
	3	1.41	1.18	1.67	1.38	1.42	4.94	4.20	5.93	4.85	4.97
	4	1.39	1.17	1.66	1.37	1.41	4.89	4.15	5.88	4.81	4.92
	5	1.38	1.15	1.64	1.36	1.39	4.83	4.09	5.82	4.76	4.85
	6	1.36	1.13	1.62	1.34	1.37	4.76	4.03	5.75	4.70	4.78
	7	1.33	1.10	1.59	1.31	1.34	4.63	3.91	5.63	4.59	4.64
	8	1.30	1.07	1.55	1.29	1.30	4.51	3.79	5.51	4.48	4.51
基礎 上端		1.26	1.03	1.52	1.26	1.27	4.40	3.68	5.39	4.38	4.40

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+ σ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（- σ ）考慮モデル
④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（- 2σ ）考慮モデル

表3-22 最大応答軸力一覧表（弾性設計用地震動 S d，鉛直方向）（1/4）

部位	部材番号	最大応答軸力（ $\times 10^4 \text{kN}$ ）									
		Sd-1					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
外壁・RCCV部	1	2.20	2.20	2.66	2.41	2.13	2.20	2.20	2.66	2.41	2.13
	2	5.65	5.69	5.98	5.60	5.76	5.65	5.69	5.98	5.60	5.76
	3	13.8	14.1	13.7	13.1	14.0	13.8	14.1	13.7	13.1	14.0
	4	24.7	25.2	24.1	23.7	25.0	24.7	25.2	24.1	23.7	25.0
	5	31.6	32.3	31.0	30.5	32.0	31.6	32.3	31.0	30.5	32.0
	6	43.5	44.4	42.9	42.3	44.0	43.5	44.4	42.9	42.3	44.0
	7	51.7	52.7	51.3	50.4	52.1	51.7	52.7	51.3	50.4	52.1
	8	59.8	60.9	60.1	58.6	60.3	59.8	60.9	60.1	58.6	60.3

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（ $+\sigma$ ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（ $-\sigma$ ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（ -2σ ）考慮モデル

表3-22 最大応答軸力一覧表（弾性設計用地震動S_d，鉛直方向）（2/4）

部位	部材番号	最大応答軸力（×10 ⁴ kN）									
		S _d -2					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
外壁・RCCV部	1	1.65	1.52	1.98	1.65	1.58	2.20	2.20	2.66	2.41	2.13
	2	3.17	3.24	3.61	3.16	3.18	5.65	5.69	5.98	5.60	5.76
	3	8.40	8.57	7.63	8.21	8.46	13.8	14.1	13.7	13.1	14.0
	4	15.4	15.7	14.0	15.1	15.5	24.7	25.2	24.1	23.7	25.0
	5	20.0	20.3	18.2	19.6	20.1	31.6	32.3	31.0	30.5	32.0
	6	27.8	28.3	25.4	27.4	28.0	43.5	44.4	42.9	42.3	44.0
	7	33.3	33.9	30.4	32.9	33.6	51.7	52.7	51.3	50.4	52.1
	8	39.0	39.6	35.5	38.5	39.2	59.8	60.9	60.1	58.6	60.3

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル

表3-22 最大応答軸力一覧表（弾性設計用地震動S_d，鉛直方向）（3/4）

部位	部材番号	最大応答軸力（×10 ⁴ kN）									
		S _d -3					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
外壁・RCCV部	1	1.53	1.45	1.85	1.59	1.51	2.20	2.20	2.66	2.41	2.13
	2	3.73	3.49	4.20	3.83	3.81	5.65	5.69	5.98	5.60	5.76
	3	8.88	8.72	9.50	8.95	8.96	13.8	14.1	13.7	13.1	14.0
	4	15.9	15.8	17.0	16.0	16.0	24.7	25.2	24.1	23.7	25.0
	5	20.5	20.5	21.9	20.6	20.6	31.6	32.3	31.0	30.5	32.0
	6	28.5	28.6	30.6	28.6	28.6	43.5	44.4	42.9	42.3	44.0
	7	34.3	34.3	36.8	34.4	34.3	51.7	52.7	51.3	50.4	52.1
	8	40.4	40.1	43.3	40.6	40.3	59.8	60.9	60.1	58.6	60.3

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性（+σ）考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性（-σ）考慮モデル
 ④建屋剛性（コア強度平均）考慮モデル ⑤建屋剛性（-2σ）考慮モデル

表3-22 最大応答軸力一覧表（弾性設計用地震動 S d , 鉛直方向）（4/4）

部位	部材番号	最大応答軸力 (×10 ⁴ kN)									
		Sd-8					最大値				
		①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤
外壁・RCCV部	1	0.676	0.654	0.666	0.641	0.682	2.20	2.20	2.66	2.41	2.13
	2	2.01	1.95	1.93	1.88	2.04	5.65	5.69	5.98	5.60	5.76
	3	4.64	4.50	4.43	4.39	4.71	13.8	14.1	13.7	13.1	14.0
	4	7.90	7.80	7.51	7.54	8.00	24.7	25.2	24.1	23.7	25.0
	5	9.85	9.90	9.46	9.46	9.95	31.6	32.3	31.0	30.5	32.0
	6	13.0	13.4	12.9	12.5	13.4	43.5	44.4	42.9	42.3	44.0
	7	15.3	15.6	15.1	14.5	15.7	51.7	52.7	51.3	50.4	52.1
	8	17.5	17.6	17.3	16.8	17.8	59.8	60.9	60.1	58.6	60.3

注：①工認モデル ②建屋剛性・地盤剛性 (+σ) 考慮モデル ③建屋剛性・地盤剛性 (-σ) 考慮モデル
 ④建屋剛性 (コア強度平均) 考慮モデル ⑤建屋剛性 (-2σ) 考慮モデル